

はじめに

国立大学は法人化以降、自主的かつ柔軟な運営を進める一方、少子高齢化とともに国の財政状況の悪化などの影響により、その経営環境は厳しさを増している。また、激変するグローバル社会の中では、様々な地球規模課題の解決が求められており、国立大学は「知の拠点」として、大きな期待と同時に厳しい視線を社会から注がれている。このような状況にあって、国立大学は不断に改革を進めて行かなければならない。経営の効率化を推進し、優れた研究・教育・社会貢献の成果を創出して社会の負託に応えていくことが、私たちに課せられた重要な責務である。

また、国立大学は、法人評価や認証評価などの外部評価によって、活動の成果をこれまで以上に厳しく問われており、これに的確に応えるためには、絶えず自らの活動を点検・評価し、更なる改善に結び付けていく自律的な評価・改善プロセスの確立が不可欠である。

筑波大学は、この自己点検・自己評価を開学以来一貫して実施し、その集大成として毎年度この年次報告書をまとめており、これまでに作成した報告書は、本学の歩みを記す貴重な財産となっている。

平成 28 年度より、第 3 期中期目標期間（平成 28 年度～33 年度）が始まった。第 3 期中期目標・計画の策定にあたっては、開学以来の本学の強みあるいは特長を分析・考察し、「学際性」と「国際性」の向上を基本的な考え方とした。これら 2 つのキーワードは、既に筑波大学の建学の理念の中にあり、40 年以上を経ても未だに色あせない本学の強みである。

平成 28 年度においても、この本学の強みを最大限に活かしつつ、更なる発展に向け、研究・教育から業務運営に亘る各分野において、研究教育の質の向上及び業務運営の改善・効率化に係る施策を実施した。

「新構想大学」から「未来構想大学」へ。筑波大学は、地球規模課題の解決に貢献できるグローバル人材の育成を目指し、幅広い研究教育を展開する総合大学の強みを活かしつつ、トランスボーダー大学の先駆者として国境や機関、制度といった様々な「壁」を越えた連携により、研究・教育を一層充実しているところである。これを加速するためには、本学の置かれている状況や自らの活動成果を常に的確かつ客観的に把握しておくことが必要不可欠である。本年次報告書が、その基礎資料として本学の改革・改善のために大いに活用されることを期待したい。

平成 29 年 12 月

筑波大学長 永 田 恭 介

I 総論

1. 本学の自己点検・評価

平成5年3月、大学設置基準の大綱化に伴う筑波大学自己点検・評価規則が制定されて以来、本学における研究教育活動の状況について、各組織は、本学の理念、目的、年次計画等を基準として、当該組織の設置目的等に即した自己点検・評価細目を設定し、自己点検・評価を実施してきた。

平成16年度からは、これまでの年次計画に代わるものとして、各組織が中期計画、年度計画を踏まえた「基本方針、重点施策、改善目標等」を提出し、年度終了後、組織ごとに自己点検・評価を実施して当該年度の活動状況を詳細に記述するとともに、その点検・評価の結果と次年度以降の課題をまとめることとした。

平成28年度からは、第3期中期目標期間の開始にあたって、自己点検・評価のより一層の実質化を図るため、これまでの自己点検・評価プロセスを見直し、全学の「重点施策」を精選化するとともに、研究教育組織の自己点検・評価を主として定量的評価指標に基づくものに転換することとし、試行的に実施している。

本年次報告は、本学が研究教育と業務運営の質的向上のために推進した諸施策の実施状況と今後の課題についてまとめたものであり、次年度以降の国立大学法人筑波大学の発展と改革の礎となるものである。

2. 中期計画の全体的な実施状況

本学は、前身校の歴史と伝統の上に「新構想大学」として設立され、国内的にも国際的にも開かれた大学であることを理念に、これまで我が国の大学の在り方を先導してきた。

第3期にあっては、本学に根ざす人材育成マインド「師魂理才」の下、地球規模課題の解決に向けた知の創造とこれを牽引するグローバル人材の創出を担う世界的な研究教育の拠点としての機能を充実・強化させるべく、国境や機関、制度といった様々な「壁」を越えたトランスボーダー連携による研究教育等の展開を核とした5つの基本目標を掲げた。

1. 高い倫理観の下、自然と人間、社会と文化に係る幅広い学問分野における深い専門性を追求するとともに、分野融合型の領域を開拓し、研究機能の再編成と国際性の強化により、卓越した知の創造拠点として世界トップレベルの研究を展開する。
2. 世界から多様な学生を受け入れるとともに、高度で最先端の研究成果に裏打ちされ、学生の個性と能力を開花させる教育システムを学位プログラムにより構築し、豊かな人間性と創造的な知力を生涯にわたって養い、自立してグローバルに活躍できる人材を育成する。
3. 国際的互換性のある教育と世界トップレベルの研究活動を多彩な分野を擁する総合大学として展開し、世界の国々や地域とのネットワークの中心としての存在感を高めるとともに、国際的な信頼性と発信力を備え、国際性が日常化された大学を実現する。
4. 科学技術が集積するイノベーション創出拠点TSUKUBAにおける中核的役割を担い、教育研究諸機関及び産業界との連携を強化し、自らの教育研究機能を高めるとともに、我が国のグローバルな産業競争力強化に貢献する。
5. 教職員のそれぞれが専門的かつ多様な能力を高めつつ、学長のリーダーシップの下、情報ガバナンスと経営基盤の強化及び学内資源の再配分を推進し、自律的に教育研究機能を改革することにより、世界と社会の変化に最も迅速に対応しうる大学として我が国の大学改革を先導する。

第3期中期目標期間の開始年度となった平成28年度においては、「学際性」と「国際性」の向上を念頭に、研究・教育から業務運営に亘る各分野において、研究教育の質の向上及び業務運営の改善・効率化に係る施策を実施した。

I. 研究教育等の質の向上の状況

1. グローバル化の推進に向けた大学運営上の取組

(1) 筑波研究学園都市全体のグローバル化の牽引

- ① 平成28年9月につくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) 2016 を開催した。7年目となる今回は、内閣府、文部科学省、経済産業省などの後援を得て、「G7 茨城・つくば科学技術大臣会合開催にかかる応援事業」と位置付け、「産学官連携とイノベーション」をテーマに、40を超える研究セッションに世界33か国、113機関からの発表者と国内では最大級の約1,500名の参加者により、研究分野ごとの討議を行った。これに加えて、筑波研究学園都市内の研究機関の若手研究者、女性研究者による研究分野を越えた討議を行い、その結果を文部科学省における基礎科学の振興に係る検討会において発表した。これらにより筑波研究学園都市の一体感の形成と国際的な名声の向上に寄与することができた。
- ② 国内外の若手研究者や学生らが、科学や社会が抱える課題などについて話し合う国際会議「筑波会議」の開催に向け、教職協働型タスクフォースの設置を決定するとともに、関係機関との協議を進めた。

(2) 本学におけるグローバル化の推進

- ① 我が国の学術研究と高等教育と社会を世界に開き、率先して世界の未来を拓く大学の構築に向け、研究と教育のトランスボーダー化を加速する全学的な国際戦略ーキャンパス・イン・キャンパス（以下、「CiC」）構想の取組みとして、平成28年4月にカリフォルニア大学アーバイン校 (UCI) と、平成28年9月にサンパウロ大学、マレーシア工科大学と CiC 協定を締結し、CiC パートナー校は5大学となった。
- ② 新たに UCI からスポーツ神経科学に関する海外研究ユニットを招致した。さらに今後の海外パートナー校の拡大に向け、オハイオ州立大学に加えてウプサラ大学及びユトレヒト大学において共同研究シンポジウムを開催し、CiC に関する協議を開始した。
- ③ 現地の事情を踏まえた各海外拠点の活動評価を行うとともに、CiC 構想に掲げるトランスボーダーな研究教育活動の展開支援を行う5つの海外拠点（台湾、クアラルンプール、ボルドー、アーバイン、サンパウロ）を、「高機能海外拠点」として整備すべく、海外拠点設置に関する基本方針の見直し案を策定した。
- ④ CiC パートナー校間で共通に履修可能なコース（科目）として、科目ジュークボックスに、本学（142科目）、国立台湾大学（169科目）、ボルドー大学（93科目）のコース掲載が実現し、本学及びパートナー校の学生に対して CiC による留学募集を開始した。
- ⑤ 本学と国立台湾大学、ボルドー大学による日本で初めての3大学によるジョイント・ディグリー・プログラム (JDP) としての「国際連携食料健康科学専攻」(仮称)、本学とマレーシア日本国際工科院との JDP としての「国際連携持続環境科学専攻」(仮称) の開設準備をそれぞれ進め、いずれも平成29年3月に設置申請を行った。
- ⑥ TV 会議システム等を活用した海外拠点による現地入試の支援を5拠点（上海、台湾、ホーチミン、ジャカルタ、ボルドー）において実施し、また、専任リクルーターを採用し優秀な留学生獲得に向けた取組みを行った。

2. 世界トップレベルの研究の推進に向けた大学運営上の取組

本学が有する幅広い学問分野において、真理を深く探究する研究と、研究成果の社会還元を目指す研究の両面において、世界トップレベルの最先端研究を展開するため、以下の3点を基本的な目標として整備を行った。

- ・ 分野融合型の領域の開拓と、研究機能の再編成と国際性の強化による、卓越した知の創造拠点の展開
- ・ 高い倫理観の下、自然と人間、社会と文化に係る幅広い学問分野における深い専門性の追求
- ・ 既存の研究センターの見直し・集約等による、基盤研究の着実な実施

(1) 分野融合型の領域の開拓と、研究機能の再編成と国際性の強化による、卓越した知の創造拠点の展開

- ① 外部資金等を事業運営費とし、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官による協働研究体制を構築することを目的として、従来の研究センター制度とは別に、外部資金のみによる開発研究組織

として開発研究センター制度を平成 27 年度に導入し、平成 28 年度においては、新たにプレジジョン・メディスン開発研究センターを設置した。次世代解析システムを導入し産学官連携によるオールジャパン全ゲノム解析サービス拠点の形成を目指す。さらに、未来社会工学開発研究センター及びスポーツイノベーション開発研究センターの平成 29 年度開設を決定した。

- ② オープンファシリティ推進活動による学内外への機器共用体制強化と機器利用環境の総合的な効率化を図るとともに、機器共同利用や技術的知見提供等を通して地域企業との連携関係を強化し社会への貢献度の向上を図るため、以下のとおり取り組んだ。
 - ・ 課金制を導入したオープンファシリティWebシステムを通じて、共同利用機器 154 台・委託業務（技術代行 15 業務の運営を行い、学内外の利用実績がともに増加し、円滑な研究機器の共用化を実証した。
 - ・ 当システムの利用環境の整備に努め、増加する留学生や本学で従事する日本学術振興会特別研究員、受入研究員、派遣社員等の利用を可能としている。また、東北大学へのライセンスが実現し、同大学での Web運用が平成 28 年10 月から開始された。また、他大学からも相談が寄せられており、全国の大学の先駆モデル例になりつつある。
- ③ URA を 28 名（自主経費等含む）を雇用するとともに、新たに URA 研究戦略推進室を設置し URA を全学的な観点から、さらに機動的、効果的に活用する体制を整備した。
- ④ 本部 URA 2 名を部局に配置して、より研究教育に近い現場での業務経験を積ませると同時に、URA の定例会議を毎週開催し本部 URA と部局 URA の緊密な連携を図った。また、高度専門職としての URA の位置付けについて検討を開始した。
- ⑤ プレ戦略イニシアティブを新たに外部資金獲得支援として位置付け、平成 28 年度は 2 件採択し、従来の 1 件と合わせて合計 3,700 千円の支援を実施した。また、従来の戦略イニシアティブに加えて戦略イニシアティブ(SS)を新設する検討を開始した。

(2) 高い倫理観の下、自然と人間、社会と文化に係る幅広い学問分野における深い専門性の追求

- ① 植物バイオテクノロジーと生物資源を基調とした基盤的な遺伝子研究から生産・流通を見据えた社会実装までのワンストップ化を実現し、国内外の植物・食料分野のイノベーション研究を牽引するハブ機関を目指す、「つくば機能植物イノベーション研究センター」の設置を検討し、平成 29 年度の開設を決定した。
- ② 公正で健全な研究環境の展開について(研究不正防止に向けた対応)
 - ・ 「筑波大学研究公正規則」を踏まえ、日本学術会議の「科学研究における健全性の向上について（回答）平成27 年 3 月 6 日」を基に、『研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン』への対応に関するタスクフォースにて検討を行い、「筑波大学研究倫理教育に関するガイドライン」、「筑波大学研究資料等の保存に関するガイドライン」等を作成した。また、論文剽窃チェックツールiThenticate及び研究倫理教育教材CITI Japanに加え、[eL-CoRE]を導入し、利用を促進するとともに、研究者が論文を投稿し掲載受理された場合に登録できる「論文受理報告書登録システム」の試験運用を開始し、利用を促進するなど、不正行為を抑止する環境を整備した。
 - ・ 研究成果及び研究データの適切な管理・保存の責務を果たし、本学における研究活動及び成果の適正性・正当性の確保に資するために構築した「論文受理報告書登録システム」を全学に向けて試験的な運用を経て、平成29年 3 月には学長決定により規則を整備し本格稼動を開始した。

(3) 既存の研究センターの見直し・集約等による、基盤研究の着実な実施

- ① 第 2 期中期目標期間において実施した学内研究センターの評価結果に基づき、各研究センターを「先端研究センター群」、「社会還元センター群」、「研究教育支援センター群」の機能別に分類するとともに、平成 29 年度から各センターを R1（世界級研究拠点）から R4（育成研究拠点）までの級認定を実施することが決定した。さらに PDCA サイクルを徹底して、5 年毎にセンターの研究実績による評価を行うシステム導入を図るなど再編計画について、報告書として取りまとめた。
- ② 研究戦略イニシアティブ機構により、重点センター、学術センターと位置づけた組織に対して 5 年間にわたる経費配分を行うなど重点的に支援し、世界的研究拠点形成に向けた一層の研究力強化につなげている。平成 28 年度は計算科学研究センター、生命領域学際研究センター、人文社会国際比較研究機構、数理工学融合科学センタ

一、地球・人類共生科学研究機構の5ヶ所に4,000千円を配分した。

- ③ 将来的なエフォート管理システムの導入を見据え、研究組織の年度活動実績について定量的評価指標を用いた組織評価を試行した。

◇ 共同利用・共同研究拠点の取組状況

(1) 『先端学際計算科学共同研究拠点』(計算科学研究センター)

① 共同利用・共同研究拠点としての取組と成果

- ・ 東京大学情報基盤センターと共同設置した「最先端共同 HPC 基盤施設」において、全国で初めて共同利用・共同研究拠点が共同運用するスーパーコンピュータ (Oakforest-PACS) を導入した。これにより、計算科学の幅広いユーザに最先端の計算機資源を提供することが可能となった。
- ・ 学際共同利用プログラムにより 62 課題のプロジェクトを採択し共同研究を実施した。重点課題についても、学際共同利用プログラムのプロジェクトとして実施した。これらの共同研究により、学術論文 179 件を発表した。10 月には、第 8 回「学際計算科学による新たな知の発見・統合・創出」シンポジウム—発展する計算科学と次世代の計算機—を開催し、様々な分野における計算科学の発展と次世代の計算機開発の展望を議論した。

② センターの独自の取組と成果

- ・ 東京大学情報基盤センターと共同設置した「最先端共同 HPC 基盤施設」において、新たなメニーコア型大規模スーパーコンピュータシステム Oakforest-PACS を導入し、国内最高性能となる総ピーク演算性能 25PFLOPS を達成し、Top500 ランキングで世界第 6 位 (国内第 1 位)、HPCG ランキングで世界第 3 位を獲得した。12 月に、Oakforest-PACS 全システムの運用を開始した。5 月には、米国ローレンスバークレー国立研究所 (LBNL) と、12 月にはエジンバラ大学 (EPCC) と合同ワークショップを開催し、2 月には、韓国 KISTI において、HPC Winter School とワークショップを開催し、国際的な活動を進めた。また、「計算基礎科学連携拠点」を基盤に、ポスト「京」に係る各研究課題に対し担当機関として研究を推進した。
- ・ センター部局化に向けた取組みについては、関係する教員組織 (系) との間で、人事・予算等についての基本方針について合意がなされた。12 月に、センター増築棟が竣工し、これまでセンター外に居室を持っていた教員全員の居室をセンターに移し、組織的にも物理的にも集中した研究体制の構築が実現した。

③ 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 (文部科学省) により示された「共同利用・共同研究体制の強化に向けて」に即した取組状況

- ・ 当センターとして、ミッションの再定義を、計算機工学として工学分野で、計算科学分野として理学分野で行った。科学諸分野と計算機科学分野の協働・融合を軸とした「学際計算科学」の推進をミッションとし、学際共同利用プログラムの実施、先進的な計算機技術に基づく新たな計算機の開発・製作、計算科学諸分野の融合、異分野間連携、国際連携の推進、人材育成のための教育プログラムの実施、スクール開催等を行っており、平成 28 年度には、センターが所有するスーパーコンピュータ HA-PACS, COMA に加えて、新たに導入した Oakforest-PACS を計算科学の幅広い分野に提供し、各分野での革新的な成果創出のための基盤研究を推進した。
- ・ 学内では、研究大学強化促進事業の下で、当センターを先端的研究型重点研究センターとして位置付けており、これにより、全学戦略枠の人員配置やプロジェクト予算の配分等を通じて重点的な機能強化が行われ、当センターは平成 28 年度より本学の独立した部局の一つとなった。当センターは、計算機科学分野と科学諸分野が融合・連携して「学際計算科学」を推進し、我が国の計算科学の発展に資する高性能計算機の開発・運用を行っている。
- ・ 本学の理念は、国、機関、学内組織などの境界を超えた研究教育のトランスボーダー化の加速であり、当センターの役割は、計算科学を通じた学際融合と国際化の加速である。学際計算科学は、計算機工学と科学諸分野の融合だけでなく、科学の異分野間融合の高い可能性を持つものであり、当センターでは「計算」を共通軸とした共同研究が多く行われている。センターが推進する「宇宙生命計算科学連携」及び「計算基礎科学連携」は、分野の境界を越えたグローバルな研究展開を実践できる拠点であり、既に様々な異分野間共同研究が進んでいる。今後、センターのもつ学際性と人材育成によって、機能強化・特色化を加速し、国際的なハブ拠点へと発展させる。

④ 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 (文部科学省) により示された「今後の共同利用・共同研究体制の在り方について」に即した取組状況

- ・ 「最先端共同 HPC 基盤施設」は、ネットワーク型拠点「学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点」の代表を

務める東京大学情報基盤センターと単独型拠点「先端学際計算科学共同研究拠点」である当センターの拠点間連携となっており、この連携によって、国内最高性能スーパーコンピュータ Oakforest-PACS の導入が実現した。

- ・ 拠点の意義・役割について、大学執行部へ十分な情報提供を行っており、大学執行部から人事・予算の面で多大な支援を受け、本学の研究力強化の観点から、平成 28 年度より部局局化が実現した。

(2) 『形質転換植物デザイン研究拠点』(遺伝子実験センター)

① 共同利用・共同研究拠点としての取組と成果

- ・ 当拠点認定機関の 2 期目初年度に際し、形質転換先端技術を活用した植物重要形質発現に関わる遺伝子群の機能理解に関する共同研究及び国内トップクラスの規模の研究施設・設備を活用した実用化候補作物作出に繋がる共同研究 (43 件) を公募・実施した (33 大学・機関、約 450 名が利用)。また、形質転換デザイン研究拠点平成 28 年度成果報告会や、国内外のシンポジウムや研究セミナー、技術セミナー等を開催した。また、近年注目が集まるゲノム編集技術に関する研究動向や規制動向に関して、関連学会・会議へ関係者が参加し、招待講演を行うなど国内外の植物ゲノム編集研究を牽引した。運営体制整備の面では、共同利用・共同研究を円滑に推進するため、事務職員 2 名・技術職員 1 名を雇用し、共同研究の実施、広報活動、設備維持管理支援等を行うとともに、研究設備等を整備した。
- ・ 2 期目においては、国内関連研究コミュニティの海外研究展開支援の一層の強化を計画している。平成 28 年度は、ベトナム国ホーチミン市バイテクセンター等海外連携研究機関においてワークショップ等を開催し、海外連携研究機関におけるバイテク研究安全管理能力の開発支援活動を実施した。また、一般向けの情報発信を強化することを目的に、高校生を対象とした重点公開講座を開催した。本重点公開講座は、平成 29 年度以降も継続して実施することを予定している。

② センターの独自の取組と成果

- ・ 遺伝子組換え生物 (LMO) 等に関する学内共同利用・共同研究及び LMO 安全管理を推進した。学内共同利用施設として 330 名の登録者があった。学内の遺伝子組換え実験安全委員会に委員を派遣すると共に、従事者講習会等の実施に協力した。地域連携として、つくば市・茨城県と緊密に連絡し情報提供を行った。また、遺伝子組換え関連実験技術の普及・教育に関連して、センター教員が中心となり、科学技術週間等に参加し、高校生や高校教員に対する特別講義・実習を精力的に行った。
- ・ 我が国初となる文部科学省管轄での遺伝子組換え体の第一種使用について、28 年度は、花の形質を改変し商業的価値を上げることを期待している遺伝子組換えシクラメンの第一種栽培試験の認可が得られ、来年度に栽培試験を開始することが可能となった。
- ・ ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) トマトの拠点として、バイオリソース・遺伝資源や遺伝子組換え植物に関する国際共同研究・国際連携研究を推進し、海外へのリソース提供数が大幅に増加するなどトマトの国際バイオリソース拠点としての見える化が飛躍的に向上した。また、遺伝資源の持続的利用とアクセス及び利益配分の研究について JST-SATREPS 事業において運営協力しているメキシコ国立遺伝資源銀行との研究推進を行った。さらに、メキシコ遺伝資源の解析と持続的利用をテーマに地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS) においては、メキシコのハヤトウリ遺伝子資源について、生物多様性条約名古屋議定書に基づき、メキシコ政府から分譲を受けた。名古屋議定書に基づく遺伝資源の国際分譲については世界的にも事例が少ない中、メキシコ・日本間では初めての事例であり、重要な事例構築となった。生物多様性条約及び名古屋議定書では、自国の生物資源 (遺伝資源を含む) についてはその国が主権的権利を有するとされていることから、ハヤトウリの主権的権利を有するメキシコ政府からの分譲承認の取得により実現したものである。
- ・ 高効率の形質転換効率を実現するアグロバクテリウム株の開発に成功し、エリアンサスなどこれまで形質転換が難しかった資源植物の形質転換に成功し研究成果を論文発表した。
- ・ 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 参画においては、新しい育種技術に関する研究開発・応用展開及び規制動向の情報収集を行った。その結果、トマト重要育種形質 (日持ち性、単為結果性、機能性物質高蓄積性) のゲノム編集に世界で初めて成功するとともに、ゲノム編集技術に関する国際シンポジウムを主催し、国内外の研究者に向けて当該技術に関する最新の情報を発信するなど、国内の植物ゲノム編集技術の普及に向けて先導的な活動を行った。さらに、SIP において、商業的価値の高い果物メロンの変異体遺伝資源整備を進めており、国内最大規模となる約 3000 系統の EMS 変異体集団を整備した。

- ・ ボルドー大学、フランス国立農学研究所（INRA）ボルドーセンターとの国際連携に伴い、国際ジョイントラボ活動を継続して進めた。さらに、本センター教員が中心となり、国立台湾大学、ホーチミン市バイオテクノロジーセンター、フロリダ大学と国際連携協定を締結し、積極的な人材交流を行った。
 - ・ 本学の特別共同研究事業（外部の企業等からの資金提供により、筑波大学に研究組織を設け研究を行う）として、インプラントイノベーションズ植物バイオ共同研究事業を継続実施し、平成 28 年度は、当センターで作出された、酸味を甘味に感じさせる作用を持つ、味覚修飾タンパク質「ミラクリン」を蓄積する組換えトマト（ミラクリントマト）の商業化支援を目指し、隔離ほ場試験実施に向けた申請を進めた。商業化に成功すれば国産初の食べる組換え作物となる。さらに、新たにトーヨーエネルギーファームと次世代野菜開発を進める特別共同研究事業を農林技術センターと連携して開設した。さらに、BASF ジャパン及び種苗企業を中核としたコンソーシアムと特別共同研究事業契約に向けた準備を進めた。
- ③ 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会（文部科学省）により示された「共同利用・共同研究体制の強化に向けて」に即した取組状況
- ・ IR 機能の強化として、拠点設立にあたり支援を表明した関連学会からの人員を含む運営協議会を設置し、また、International Advisory Board の設置準備を進めた。
 - ・ 他の国立研究開発法人との共同研究（理化学研究所環境科学センター等）体制整備を推進した。
 - ・ 産業界との共同研究事業による資金獲得を推進した。
 - ・ 他拠点（岡山大学資源植物科学研究所、鳥取大学乾燥地研究センター）との連携体制を検討した。
 - ・ 当センター独自のテニュアトラック制による若手人材育成を実施した。
 - ・ 国際公募/外国人教員の積極的な登用を推進し、外国人 PI を採用した。
 - ・ 安定的な外部資金の獲得による運営基盤を検討した。
 - ・ 拠点独自の形質転換植物試験栽培設備を活用することにより、共同研究課題採択数（率）を増加させた。
- ④ 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会（文部科学省）により示された「今後の共同利用・共同研究体制の在り方について」に即した取組状況
- ・ 当センターの強み・特色をさらに活かすため、学内の農林技術センター（附属農場）を統合した上部組織を創設し、つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）として発足する準備を完了した（平成 29 年 4 月発足）。T-PIRC は、当センターの植物・作物の基礎・応用研究に続けて、AI を活用した植物工場・圃場まで切れ目無く繋がる次世代農業の実用化研究のメッカを目指して計画した。
 - ・ 特別共同研究事業として、企業の件数を増やすと共に、農研機構の研究者をクロスアポイントメント制度の活用により受け入れる体制を進めている。
 - ・ 継続している拠点事業の中でも、公私立大学の研究者との共同研究を活発に展開中である。
 - ・ 国際連携としては、国際ジョイントラボ活動の一層の充実化と共に、国際連携協定校の締結数を増やしている。多様な地域との国際連携の強化により、様々な気候帯における研究活動が可能になる。上述の共同利用・共同研究拠点を推進中の遺伝子実験センターがハブとなり、国内の研究機関の多様な研究ニーズに対応、例えば熱帯地域での熱帯作物栽培試験など、より実情に即した植物研究が可能となることが期待される。また、その際に発生する国外遺伝資源の利用についても、上述の JST-SATREPS 事業等の実施過程で「遺伝資源へのアクセスと利益配分（Access and Benefit-sharing, ABS）」に関する専門的な知識や経験が蓄積しており、植物遺伝資源に関する ABS 支援及び国内導入に関わる諸手続きに関しても、遺伝子実験センターをハブとした手厚い研究支援が可能となる。さらに、T-PIRC 教員により本学が主催するつくばグローバルサイエンスウィーク（TGSW）2017（平成 29 年 9 月開催）において、「T-PIRC Symposium」を開催することとなった。日本版 Gordon Research Conference や Cold Spring Harbor Laboratory Symposium を目指し、国内外への強力な情報発信と共に、国を超えた産学官共同研究のきっかけとなるよう、継続的な開催を計画している。

3. 国際的に互換性のある教育の実施に向けた大学運営上の取組

「地球規模課題の解決に向けた知の創造とこれを牽引するグローバル人材の育成」を目指し、学問の進展と社会的ニーズに対応した、国際的通用性・国際的互換性のある教育を実施し、学生本位の視点に立った教育の質の向上

を図るため、以下の4点を基本的な目標として教育機能の強化・拡充を行った。

- ・ 国内外の大学や研究開発法人などとのトランスボーダー連携による教育の実施
- ・ 学位プログラム制への全学的移行に向けた取組
- ・ 世界から多様かつ優秀な学生を受け入れる入学者選抜の実施
- ・ 社会人受入の拡充など社会的ニーズに対応した取組

(1) 国内外の大学や研究開発法人などとのトランスボーダー連携による教育の実施

- ① 鹿屋体育大学との共同専攻として、「スポーツ国際開発学共同専攻」(修士課程)及び「大学体育スポーツ高度化共同専攻」(3年制博士課程)を開設し、本学9人(修士6人、博士3人)、鹿屋体育大学4人(修士2人、博士2人)の学生を受け入れ、年次進行に沿って教育課程を実施した。
- ② e-ラーニングを活用した教育課程の共同実施のモデルプログラムとして、鹿屋体育大学との2つの共同専攻(スポーツ国際開発学共同専攻、大学体育スポーツ高度化共同専攻)を開設・実施している。(平成28年度開設)
この2つの共同専攻においては、両大学の特色を活かした教育を実施するため、双方に整備した遠隔講義・自動収録システムを活用し、スポーツ国際開発学共同専攻(修士課程)においては14科目で、大学体育スポーツ高度化共同専攻(3年制博士課程)においては4科目で遠隔授業を行った。
- ③ 大学間協定による単位互換等を活用した画期的なモデルプログラムとして、信州大学、静岡大学、山梨大学との4大学連携による山岳科学学位プログラムを構想し、開設準備を行った。(平成29年度開設予定)
- ④ Campus-in-Campusの国内版であるCampus-with-Campus協定を国私立大学のモデル的連携として国際基督教大学と締結し、両キャンパス機能を共有化し、研究教育資源を積極的に活用した教育の展開を目指し、模擬授業の実施や学生交流の検討等を行った。
- ⑤ 研究開発法人及び企業の開発研究部門の研究者と本学の関連分野の研究者の協働による筑波研究学園都市の特性を活かした「協働大学院方式」を採用したライフイノベーション学位プログラム(区分制博士課程)において教育課程を実施した。
 - ・ 筑波研究学園都市の研究開発法人及び企業の開発研究部門の研究者に加えて、オックスフォード大学(イギリス)、モンペリエ大学(フランス)、ワーゲニンゲン大学(オランダ)、カリフォルニア大学サンディエゴ校(アメリカ)など海外の大学及び研究機関の研究者の参画も得て、国内外第一線の研究者による協働体制を構築し、高度な研究教育を展開している。
 - ・ 世界から多様かつ優秀な学生を受け入れており、平成29年3月までに入学した学生の出身国籍は12カ国に及ぶ。
 - ・ THE世界大学ランキング第1位のオックスフォード大学内に本学位プログラムの連携事務所を設置(平成29年2月)し、海外の卓越した研究者との連携・協働体制の一層の強化を図っている。
 - ・ 従来の4領域(病態機構、創薬開発、食料革新、環境制御)に加えて、平成29年度から新たに2領域(生体材料、生物情報)を開設するための準備を行った。

(2) 学位プログラム制への全学的移行に向けた取組

- ① グローバル教育院で運営する全学的な学位プログラムとして、博士課程教育リーディングプログラムの2つの学位プログラム(ヒューマンバイオロジー学位プログラム、エンパワーメント情報学プログラム)に加えて、新たに「協働大学院方式」を採用したライフイノベーション学位プログラムを開設・実施し、分野横断型の先導的学位プログラムを拡充した。また、学士課程における分野横断型学位プログラムとして地球規模課題学位プログラム(平成29年10月学生受入開始予定)の開設準備を進めた。
- ② 研究科で運営する学位プログラムを次のとおり実施・拡充した。
 - ・ 社会工学学位プログラム(区分制博士課程:平成26年度~)
 - ・ サービス工学学位プログラム(修士課程:平成26年度~)
 - ・ スポーツウエルネス学位プログラム(3年制博士課程:平成28年度~)
 - ・ 山岳科学学位プログラム(博士前期課程:平成29年度~)
 - ・ 教育学(国際教育)修士プログラム(修士課程:平成29年度~)

(3) 世界から多様かつ優秀な学生を受け入れる入学者選抜の実施

- ① グローバル化に向けた入試改革への対応として、推薦入試において英語4技能検定の導入及び国際的な活動を行っている者を対象とする新たな推薦要件の追加を行った。
- ② 入学者選抜方法の多様化という観点から、新たな学士課程の分野横断型英語プログラムである「地球規模課題学位プログラム入試」及び国際バカロレア資格以外の海外教育プログラム修了者等（ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められている「アビトゥア」の資格取得者やアメリカ合衆国の大学進学適性試験「SAT」の受験者など）を対象とした「海外教育プログラム特別入試（医学類）」の検討を行い、地球規模課題学位プログラム入試は平成29年度入試から、海外教育プログラム特別入試は平成30年度入試から、それぞれ導入を決定した。

(4) 社会人受入の拡充など社会的ニーズに対応した取組

- ① 社会人等が学びやすい環境実現の一環として、日本で初めてプログラム化した博士後期課程早期修了プログラムにおいて、生命環境科学研究科の実施専攻の拡大に向けた整備を行い、平成29年度から新たに生物機能科学専攻で実施することとした。これにより、平成29年度の実施組織は4研究科20専攻となった。
- ② 起業文化醸成や起業に向けた実践的なアントレプレナー教育プログラムとして、以下のとおり授業の開設やイベント等を開催し、各プログラムの実施による成果を検証し、シーズ事業化支援のために有効な要素を抽出した。
 - ・「筑波クリエイティブ・キャンプ（TCC）」
学生が実践的な起業力を身につけ、自ら起業することを目指す授業科目であり、本学出身者を中心とする経営者陣が、講義とメンタリングを担当し、最終日には一般公開によるプレゼンテーションを実施している。平成28年度は新たに、入門編としてベーシック（学群自由科目）及び起業を目指す人の事業化プランをブラッシュアップするアドバンスト（学群自由科目、大学院共通科目）の二本立てにより構成。
 - ・「ビジネスアイデア創出ワークショップ」
デザイン思考を用いて新事業アイデアを創出する方法を学ぶプログラム
 - ・起業家育成プログラム「リーローンチパッド」
想定顧客へのインタビューを通じたニーズ検証を特徴とするプログラム
 - ・平成28年度文部科学省受託事業：事業化・経営ノウハウ人材とシーズ人材を繋ぐことを目的とした人材マッチングイベント「Talent-Connect」及びマッチングにより成立したチームが事業化に向けて共同で実証活動を行う「アクセラレーションプログラム」

(関連事項)

つくば市で開催された「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」のプレイベントとして、「INNOVATION WORLD FESTA 2016」を開催した。動員数3,000人規模の日本最大級の「テクノロジーと音楽の祭典」として、日本を代表する各分野のイノベーターによるトークセッションや、アーティストによるライブ・パフォーマンス、最先端企業によるブース展示、ラジオ公開放送などのイベントにより構成されたもので、当イベントは筑波クリエイティブ・キャンプ（TCC）から端を発したものであり、本学学生も運営に参画することにより、起業家教育の観点から学生の教育に資することができた。

◇ 教育に関する全国共同利用拠点の取組状況

(1) 『日本語・日本事情遠隔教育拠点』（グローバルコミュニケーション教育センター（GEGLOC））

- ① 初級の日本語学習者の自立学習を支援するためのWeb版eラーニングシステムを提供している。加えて、スマートフォン用アプリを開発・公開した。中上級や上級学習者の自立学習を支援するための「日本語学習辞書」を提供している。また、教材や辞書を通じて学んだ日本語を測定するためのテストシステムとして「J-CAT」と「TTBJ」を提供している。さらに、日本語教育関係者への支援として本学で開発した教科書『*6E Jidokwa Japannede*』に対応したビデオ教材や大規模なウェブコーパス、学習項目チェックシステムを提供し、日本語教育全体に資する取り組みを行っている。以上のサービスを国内外の学習者、学習機関に対してすべて無料で提供している。全サービスの利用者は年間5万人を超えるまでになった。

(2) 『ナチュラルヒストリーに根ざした森と草原の生物多様性教育拠点』（菅平高原実験センター）

- ① 豊かな森と草原の山岳フィールドを舞台に、生物多様性の実体を理解・活用・保全する人材の育成と教育プログラムの開発・普及に向け、学部生向けに年間7つの公開実習を実施してきたが、新規に8つの院生向け公開実習を準備し、受講希望者数との兼ね合いから、「高原原生生物学実習」など3つの院生向け公開実習を開講し、他大学では類を見ない、多様な生物分類群を網羅した野外実習のラインナップを提供した。なお、積極的な広報活動の結果、公開実習を受講した他大学学生数は平成26年度8名、平成27年度27名、そして平成28年度34名と着実に増加した。
- ② 万全な体制、利用規定の整備により、全国初となる「林冠タワー」の実習利用も実現した。
- ③ 当拠点事業の一層の飛躍につながると期待される、本学、信州大学、静岡大学、山梨大学の連携による「山岳科学学位プログラム」が始動に向けての準備に加え、当センターと農林技術センター演習林部門との統合による「山岳科学センター」の発足(平成29年度)に向けた準備を進め、日本と世界の山岳科学研究を先導する拠点としての機能強化を推進した。

4. 学生の自立性を高めるための支援の実施に向けた大学運営上の取組

- ① 海外留学支援事業「はばたけ！筑大生」の支援プログラムについて、2プログラム（「キャンパス イン キャンパス (CiC) 等支援プログラム」及び「語学系研修等参加支援プログラム」）を新設し、計5プログラムによる支援体制とし、学生のニーズを踏まえつつ、より多様な海外派遣プログラムを拡充した。短期海外留学プログラムによる単位認定を行うこととし、特に「海外武者修行支援プログラム」では、参加者のうち希望者に対して選考時のプレゼン、武者修行実施、帰国報告会の発表等に基づき、単位を付与した。さらに、留学の身分異動を伴わない海外における教育活動について事前・事後教育を含めて、授業科目として単位授与を行えるための整理を行った。これらの取組みにより、海外派遣学生数が飛躍的に拡大し、質の保証を伴った海外派遣プログラムが実施可能となった。
(海外派遣学生数：平成27年度 1,747人 → 平成28年度 2,214人)
- ② 「はばたけ！筑大生」は、学生募集を平成27年12月期、平成28年4月期及び追加募集（平成28年8月）の3回実施し、より多くの学生派遣を支援した。さらに、「はばたけ！筑大生」以外の本学独自の奨学金制度である「つくばスカラシップ交換留学支援奨学金」、「筑波大学基金（開学40+101周年記念募金）海外留学支援事業」により、交換留学の支援を実施した結果、交換留学等が大幅に拡大するとともに、学生に「学業における武者修行」を体験させることにより、グローバル人材の育成に大いに寄与した。
(海外派遣支援採択数：平成27年度 316人 → 平成28年度 859人)
- ③ 本学独自の奨学金制度である筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」に、新たに個人篤志家の寄附を受けて今川FUTURE基金奨学金を設け、スーパーグローバル大学創成支援事業に基づき開設されたJapan-Expert(学士)プログラムヘルスケアコースの外国人留学生の入学者に対して支援を行った。さらに、平成28年度から、外部任意団体の「紫峰会」（筑波大学学生後援会）を大学内に取り込み、在学生の保護者からの寄附による紫峰会基金を設置し、課外活動等組織への運営支援、学生団体が主催する諸行事への財政支援、学生団体等や個人への財政支援等を行うとともに、本学の教職員等からの寄附による筑波大学留学生後援会基金を設置し、外国人留学生に対する一時金貸出等の支援を行った。
- ④ 授業料免除申請受付の集約化に向け、筑波キャンパスの学生に対して、平成29年度第1期授業料免除申請について一括受付（集約化）の試行を実施した。
- ⑤ 本学の更なる国際性への実現に向けた取り組みの一環として進めている「グローバルレジデンス」整備事業において、日常生活のなかで留学生と日本人学生の交流ができる場として、シェアハウス型の学生宿舎「グローバルヴィレッジ」の第1期工事7棟（310室）及び多彩な機能を備えた共用棟「コミュニティステーション」1棟を整備した。なお、グローバルヴィレッジ、コミュニティステーションのデザイン設計には本学の芸術系教員及び学生が参加し、周辺の景観に配慮した外観や学生の使いやすさを追求した内装にするなど本学の意向が反映され、既存の学生宿舎とは一線を画した素晴らしい空間が生まれた。
- ⑥ 館山研修所及び山中共同研修所の両施設とも、管理・運営等の全般について民間企業へ業務委託し、事業運営に

による独立採算型（宿泊料等を事業者の収入とし、その中から維持管理に必要な経費を相殺）とすることで、本学の維持管理経費についての負担を無くすための企画競争を実施した（平成 29 年 7 月運用開始）。

- ⑦ 食事提供事業への要望に対する意向反映策への新たな試みとしてキッチンカーの試行導入を実施した。学内 4 エリアにおいて展開し、多彩なメニューの提供や学生食堂の混雑緩和など、学生サービスの向上が図られた。多くの学生が利用し、アンケートによる評価も高く、平成 29 年度からの本格導入が決定した。また、学生及び留学生の居住環境の一層の向上に向け、学生宿舎及びグローバルヴィレッジにおいて「移動スーパー」の導入を決定した。
- ⑧ ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリア(DAC)センターの機能強化に向けた体制の強化として、同センターの責任者として専任の大学執行役員を配置し、また、支援に係る情報の共有化を図れるように教員の機能集約と事務処理体制の一元化を行うとともに、発達障害学生を中心にアセスメントを実施する拠点として「アセスメントサポートルーム」を整備し、各部門の有機的連携を推進した。
- ⑨ DACセンターキャリアサポート部門内に「イノベーション人材開発室」を設置し実施体制が整うとともに、博士後期課程学生及びポストクのキャリアパス形成支援のための産学協働イノベーション人材育成協議会委託契約を締結したことにより、実質的に機能する基盤が確立した。
- ⑩ 将来、起業を目指す学生に対し、大学業務を提供し業務委託することにより、学生自らマネジメントを行い、学生の自主性及び自立心を育成することを目的に、キャンパス内で学生が働ける場を設け、大学というコミュニティへの貢献に対する対価として報酬を支払うことにより、学生への経済的支援とキャリア支援を兼ねた制度として、筑波大学学生人材バンクを設置した。平成 27 年度から試行を開始し、平成 28 年度には同制度への学生登録、委託業務、短期雇用の各システムを筑波大学学生人材バンクHPに整備し、本格稼働に至った。平成28年度の実績は、学生登録者数214名、委託業務公募件数 1 件、短期雇用公募件数27件である。

5. 産学連携機能の強化とイノベーション創出

- ① 新たに大学執行役員（産学連携担当）及び副理事（産学連携担当）を配置し、体制を強化した。
- ② 平成 28 年度の運営費交付金の知的財産に係る経費について、予算管理の徹底と民間共同研究費の拡大による産学連携関係経費の戦略的活用により、11,800 千円（平成 27 年度 36,800 千円）に節減し、産学連携活動の自立化を推進した。
- ③ 技術移転マネージャー等の評価について MBO(目標管理)評価を実施した。年度当初に国際産学連携本部の方針を提示し、定量的目標を定めた。各技術移転マネージャーはこれに基づき、MBO 用紙を作成した。組織内の役割、年度目標、実現するためのプロセスを記載した後、面談し、目標設定した。毎週の定例会議で進捗確認し、年度末に面談及び評価、次年度への要望を確認した。
- ④ 共同研究の大型化に向け大型共同研究創生プログラムの構築を推進した。具体的な取り組みは以下のとおりである。
 - ・ 共同研究の大型化に向け、大学で産まれた技術や知的財産の移転先を探すという従来型の取組（A2B2M=Academia to Business to Market）に加え、社会実装のための Market から想起された Business に必須の技術について大学の研究力で対応する手法として、Market to Business to Academia（M2B2A）型研究プログラム活動を実践した。これにより複数/単独の教員の学際的な研究力、施設、人脈、教育環境、技術シーズ、知財など、本学の学際性を最大限に活用しフレキシブルな対応が可能となっている。
 - ・ 平成 26 年度から運用している特別共同研究事業は、企業等資金により本学内において共同（アンダーワンループ）で研究を行い、また、企業等資金のほか企業担当者を教員として雇用し、本学の教員と対等の立場で共通の課題について共同して研究を行うことが可能となった。平成 28 年度の同事業の実績は、6 件、141,653 千円（平成 27 年度は、5 件、149,713 千円）であり、また、平成 28 年度の 1,000 万円以上の共同研究は 21 件で、そのうち 14 件が新規、7 件が継続案件となっており、複数年契約が開始されたのも同事業の成果である。
- ⑤ 事業化を見据えた技術評価を行う発明等届出審査会を原則毎週 1 回開催している。また、知財マネジメントを強化するための組織改革を協議する場としてワーキンググループを 5 回開催した。技術移転マネージャー及び産学連携 URA の、より効果的な配置を検討した。さらに、外部の広域 TLO（Technology Licensing Organization 技

術移転機関)の活用を検討することとした。

- ⑥ 強い特許の創出のため、①発掘－特許化前のアイデア段階から、弁理士に相談する知財相談会 ②育成－知財委員会(弁理士2名、特許管理技能士1名、技術移転マネージャー等11名)において、教員と協議した。知財相談会は、平成28年度は医学医療分野以外の全学を対象に2回開催した。
- ⑦ つくば国際戦略総合特区において、筑波研究学園都市内関係機関等の協議組織として新たな産学官連携の中核(ハブ)となってグリーンイノベーション、ライフイノベーションの分野で8つのプロジェクトを推進する、つくばグローバル・イノベーション推進機構(TGI)との連携により、以下のとおりイノベーション創出の一翼を担った。
 - ・平成28年9月にTGIと茨城県の共同で申請した事業計画「つくばイノベーション・エコシステムの構築－医療・先進技術シーズを用いた超スマート社会の創成事業－」が、文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に採択されたことを受け、関係機関とともに参画・協力し、各機関の技術シーズを事業化させる取組を開始した。
 - ・当プログラムの採択決定により、事業を加速するため、事業プロデューサー(本学 山海嘉之教授)の下で、企画運営マネジメントチーム(各事業化リーダー(チーム長))が各事業化チームの活動全体を総括している。また、2つの事業化プロジェクトのコア技術は、本学国際統合睡眠医科学機構の柳沢正史教授及び数理物質系の安野嘉晃講師のものであり、本学も事業化に向けて主体的に関わっている。
- ⑧ つくば臨床医学研究開発機構(T-CReD0)を平成28年4月に全学組織として設置した。本学及び筑波研究学園都市を中心とする研究機関の医療技術に関する研究成果(シーズ)の収集・登録を開始した。シーズはそのステータスとプロフィールに応じて出口戦略を明確にし、知財戦略相談や実用化に向けた課題について支援を行った。その結果、共同研究等7件、技術移転15件を達成することができた。臨床開発も医師主導の治験の開始が1件、準備中が4件と急速な展開を図っている。
- ⑨ 大学内の起業家育成講座の把握、強化すべきプログラム案、民間資金の確保等に向けた、大学及び企業訪問(聞き取り調査)等の取り組みを行った。特に企業訪問は、過去10年間の就職者数上位50社のうち業種毎に分類し、その上位14社を選定し訪問したもので、各社の人事関係執行役員、人事部長等から「求められる人材像」等について意見交換を行い、その結果は、学長・副学長懇談会や学内会議においても報告され、学生担当、産学連携担当だけでなく、教育担当をはじめとした関係者により情報共有し有効活用している。

◇ 産学官連携を推進するためのマネジメント強化等に関する取組

イノベーション促進産学官対話会議(文部科学省・経済産業省)により示された「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」への対応として、以下のとおり取り組んだ。

- ① 国際産学連携本部に対応委員会(検討会)を設置し、「資金の好循環」検討WGにおいては費用負担の適正化(直接費と間接費のあり方)、「知の好循環」検討WGにおいては知的財産のマネジメント強化、リスクマネジメント(営業秘密管理)、「人材の好循環」検討WGにおいては、企業と大学のクロスアポイントメント制度、産学連携に関わる教員のインセンティブについて検討している。今後大学の方針をまとめ、実行に移して行き、「組織」対「組織」の「本格的な共同研究」を推進する。
- ② 当ガイドラインに示された「部局横断的な共同研究を企画・マネジメントできる体制」として、先行して、平成26年度に国際産学連携本部を創設している。さらに高度な産学連携体制の構築のため、新たな企画、提案として、平成29年度重点及び戦略的経費の予算において、以下の2つの新規事業を実施する計画を策定した。
 - ・【新規事業】共同研究実用化ブースト事業
本学教員の優れた研究成果を、大型の共同研究に発展させ実用化に結び付けるために、全学を対象に実用化を目指した優れた研究成果を募り、選抜された教員に共同研究、実用化ブースト資金を配分する。「組織」対「組織」型連携に向けた本学のラインナップを強化するとともに、共同研究の加速、大型化を促進することによって、外部資金の獲得を抜本的に強化する。
 - ・【新規事業】産官学共創プロデューサー人材活用事業
10年後、20年後の社会・産業を思い描き、バックキャスティングによって企業等との連携を企画・提案できる構想力のある人材、企業時代に培った人脈ごと大学に持参できる人財で、大型の資金をマネージしてプロジェク

トを完遂した経験を持ち、複数の部下のリーダーとなった経験を持つグローバル人材を次世代産官学連携人材として受け入れることを制度として構築、もって外部資金の獲得を拡大することを目的とする。

6. 社会との連携・地域貢献の推進／知的成果の幅広い社会還元

(産学連携関連については前項において記載)

- ① 筑波研究学園都市のネットワーク強化による省エネルギー・低炭素の科学都市構築に向けた取組として、平成29年1月に第10回目となる「つくば3Eフォーラム会議」を開催した。「地域を元気にして地球温暖化対策に貢献する経済活動」をテーマとして事例発表や活動報告を行った。さらに、各タスクフォースの活動としては、「茨城の地域特性を考慮した次世代エネルギーシステム概念の構築及び一般市民への啓発活動」等、計5件のプロジェクトを実施した。
- ② 国や地方公共団体からの受託研究事業等として、「震災復興に係る連携協定」を締結している神栖市3件、包括連携協定を締結している常総市2件を実施したほか、復興庁「心の復興」事業に1件が採択され、福島県南相馬市において東日本大震災以前の豊かな故郷の記憶を次世代に伝える取組みを実施した。
- ③ 以上のほか、筑波大学社会貢献プロジェクトとして、科学振興・教育、国際、環境、文化・地域活性化、健康・医療・福祉、防災・復興支援の各分野にわたり、45件のプロジェクトを実施し、本学の人材を活かした地域貢献を推進した。

◇ 知的成果の幅広い社会還元

履修証明プログラム、公開講座に加え、新たに本学独自のエクステンションプログラムを開設し、多様なニーズに合わせた知的成果の幅広い社会還元を推進した。

- ① 一般市民の教養・文化の向上等を目的とした公開講座は、平成29年度においては61講座を開講し、延べ1,861人の参加があった。
- ② 平成28年度からエクステンションプログラムを開設した。同プログラムは、本学の研究教育の成果等を広く社会に開放・発信することを目的としてニーズの高い専門的な講座を開設し、受講者に対し講師等の人件費を含む受講料の負担を求めることにより、その結果としての収入増を目指すものである。各部局に対し、同プログラムの概要と企画要請を兼ねた説明会を実施した。平成28年度は5講座を開設し約300万円の収入を得た。
- ③ 社会人（学生以外）等の多様なニーズに対して体系的な教育、学習機会を提供する履修証明プログラムについては、以下の4プログラムを実施するとともに、新たなプログラム開設に向けての検討・調整を行った。
 - ・ 図書館経営管理コース（図書館情報メディア研究科）
 - ・ 大学マネジメント人材養成（大学研究センター）
 - ・ 実地がん医療従事者のための最新知識習得コース（人間総合科学研究科）
 - ・ 多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム（医学群医療科学類）

<附属病院による地域医療への貢献>

- ① 地域における医療連携の強化及び医療提供体制の再構築に向けて、紹介患者増加のための前方支援病院との連携や在院日数短縮のための後方支援病院との連携の強化を図るため、以下のとおり取り組んだ。
 - ・ 医療機能連携協定締結を拡大（神立病院と平成28年11月締結）し、総数61医療機関となった。
 - ・ つくば双愛病院、筑波病院及び神立病院との多職種による病院訪問を行い、逆紹介の受入拡大を図った。
 - ・ 近隣医療機関等との定期的な情報交換会の体制を構築し、20の医療機関等と情報交換会を4ヵ月に1回のペースで実施していくこととした。
 - ・ 事務1名を配置し転院事務調整の効率化を促進し、医療職の負担軽減と在院日数の短縮を実現した。
(在院日数 平成27年度：13.8日→平成28年度：13.1日)

<附属学校による地域貢献活動の推進>

- ① 附属学校教育局、普通学校及び特別支援学校との連携による「共生社会を目指すスポーツ交流とシンポジウムの集い」を実施。本学附属学校の生徒児童の他、一般の方にも参加呼びかけを行い、スポーツ交流（ボッチャ・アダプテッドスポーツ）や講演、シンポジウムを開催し、約 180 名が参加した。
- ② 附属駒場中・高等学校において、世田谷区及び目黒区の教育委員会との協業により、両区民対象の地域連携講座「筑駒アカデメイア」として公開講演会を 2 回、公開講座 10 講座を開催した。
- ③ 本学「社会貢献プロジェクト」の一環として、以下のとおり取り組んだ。
 - ・ 附属高等学校「文京ラグビースクール活動支援」：グラウンド確保が厳しい状況下において附属学校のグラウンドを提供するとともに、本学ラグビー部、附属高校ラグビー部等の人材を活用し、文京区周辺の小中学生を対象としたラグビー普及活動を支援。
 - ・ 附属坂戸高等学校「つくさか地域食育支援プロジェクト」：坂戸市教育委員会を介して、小中学校における農業体験学習への指導・助言、坂戸高をフィールドとした農業体験学習や職員研修の実施、農場産野菜を給食食材として提供する取組みを実施。
 - ・ 附属視覚特別支援学校「高齢者健康教室」：文京区に在住する高齢者を対象とし、参加者のバイタルチェック・講義・体力チェック・体操等の指導を通して健康増進や疾病予防活動を推進。

7. 附属病院機能の強化

(1) 質の高い医療人育成及び臨床研究の推進

- ① 附属病院の組織であったつくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）を全学組織として設置し機能強化を図り、以下のとおり取り組んだ。
 - ・ 本学及び筑波研究学園都市を中心とする研究機関の医療技術に関する研究成果（シーズ）の収集・登録を行い、その数は 100 を上回った。シーズはそのステージとプロファイルに応じて出口戦略を明確にし、知財戦略相談や実用化に向けた課題について支援を行った。その結果、共同研究等 7 件、技術移転 15 件を達成することができた。臨床開発も医師主導の治験の開始が 1 件、準備中が 4 件と急速な展開をみており、大学と筑波研究学園都市内の関係機関、関係企業等との医工連携による臨床研究を一体的に推進する仕組みの構築は順調に進展している。
 - ・ 医療技術の開発を目指す若手研究者の育成のパイロットプログラムや、臨床研究に関わる研究者の生涯教育・研修の推進を実施した。
 - ・ 平成 29 年度 AMED（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）による橋渡し研究戦略的推進プログラム（TR 拠点）継続 9 拠点に加えて、唯一の新規拠点として 10 件目に、本学の「オープンイノベーションの推進により世界のつくばから医療の未来を加速開拓する事業」が採択された。
- ② 全国的な新専門医制度の開始が先送りされた関係で、例年通りの体制で研修プログラムを提供した。平成 28 年度は、国立大学病院として全国第 4 位となる 68 名のレジデントが新たに研修を開始し、79 人がチーフ課程を修了した。また、新たに 323 m²の医療技術トレーニングセンターを整備し、種々のシミュレーターを整備して、医療技術の向上を図った。同センターには革新的外科学教育システムの専用スペースを設けて、利用者が効果的に研修できる体制を整備した。
- ③ 陽子線治療の次世代装置像を具体化するために、国内外の 3 社からの新規装置とそのメンテナンスについての提案が示され、詳細に検討した。平成 29 年 1 月、原子力安全技術センターによる「筑波大学中性子医学研究開発室」に対する施設検査の結果が「合格」となり、これを受けてホウ素中性子捕捉療法（BNCT）の非臨床試験に必要な施設整備と手続き完了し、治験に向けた準備を進めた。

(2) 質の高い医療の提供及び開発

<附属病院による地域医療への貢献>

- ① 地域における医療連携の強化及び医療提供体制の再構築に向けて、紹介患者増加のための前方支援病院との連携や在院日数短縮のための後方支援病院との連携の強化を図るため、以下のとおり取り組んだ。

- ・ 医療機能連携協定締結を拡大（神立病院と平成28年11月締結）し、総数61医療機関となった。
- ・ つくば双愛病院、筑波病院及び神立病院との多職種による病院訪問を行い、逆紹介の受入拡大を図った。
- ・ 近隣医療機関等との定期的な情報交換会の体制を構築し、20の医療機関等と情報交換会を4ヵ月に1回のペースで実施していくこととした。
- ・ 事務1名を配置し転院事務調整の効率化を促進し、医療職の負担軽減と在院日数の短縮を実現した。
(在院日数 平成27年度：13.8日→平成28年度：13.1日)
- ② 体育系及び医学医療系との連携により設置されたつくばスポーツ医学・健康科学センターについて、サポート内容の充実、設備の設定など活動の基盤整備を重点的に行い、自由診療体制も整い附属病院の診療センターとして国内トップレベルのスポーツ医学・医療を実践した活動が本格化した。
- ③ ロボットスーツ HAL については、脳卒中片麻痺歩行障害患者の歩行機能獲得を目的とした医療機器として、T-CReDO が全面的に支援して平成28年度より医師主導の治験を開始した。T-CReDO の未来医工融合研究センターでは、HAL の臨床応用の更なる展開を図るべく、種々の疾患を対象とした実証研究を実施した。

(3) 継続的・安定的な病院運営

- ① 診療指標及び経営指標について（前年度との比較）
 - ・ 診療指標としては、7対1看護体制は維持しつつ、手術人数の増加（8,251人→8,708人）、初診患者（入院）の増加（入院：17,838人→18,576人）、病床稼働率の向上（88.7%→89.2%）、在院日数の短縮（13.8日→13.1日）を達成した。
 - ・ 経営指標としては、臨床指標の向上による診療単価の上昇（外来：19,332円→20,209円、入院：82,770円→85,841円）に伴い、病院収入金額は前年度実績を12.4億円上回る約305.2億円を達成した。
 - ・ 支出については、▲6.6億円（委託業務内容の見直し▲3.2億円、医薬品等診療材料の購入価格見直し▲1.7億円、後発医薬品への切替拡大▲約0.2億円、光熱水料費を含む管理的経費▲1.5億円）コスト削減を達成した。
 - ・ 収入増に伴う医薬品等診療材料費の増加、老朽化した医療機器の更新及び病院機能強化に向けた投資及び人事院勧告を準用した給与引上げ等の特殊要因により支出額も増加しているが、コスト削減の取組みにより前年度実績から約6.5億円増加した約299億円の支出に止めることができ、2期連続の黒字化を達成した。
- ② 更なる医療の安全と質の向上に向けて、病院機能評価及びISO9001の認証を継続するため、文書管理を主体に監査を実施するなどして対応した。また、国際病院評価基準であるJCI（Joint Commission International）への国立大学病院初の認証を目指し、医師、看護師、コメディカル及び事務職員による多職種チームを編成し、298項目中267項目を作成した。
- ③ 診療報酬改定等の外的要因に左右されない新たな収益確保策として、つくばスポーツ医学・健康科学センター及びつくば予防医学研究センターを整備し、自由診療・人間ドックの拡大を図る体制を構築した。

8. 附属学校教育の充実

(1) 教育課題の解決に向けた研究の推進

- ① 附属学校の児童生徒や教職員のグローバル化推進の一環として、留学(研修)及び海外の学校との交流を促進し、グローバル人材を育成するため、大学のSGU（スーパーグローバル大学）創成支援事業や附属学校のSGH（スーパーグローバルハイスクール）事業とSSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業等を活用した国際交流プログラムの開発等を推進した。
 - ・ 附属学校群全体として、児童生徒では583名が、教員では105名が海外での留学研修や授業交流などを行った。一方、海外から附属学校を訪問した児童生徒は87名、教員は738名であった。交流は、米国、カナダ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、タイ、中華人民共和国、大韓民国、台湾、フランス、チェコなどの学校と行った。
 - ・ 附属学校3校が海外4校（大韓民国、フィリピン、台湾）と新たに協定を締結した。
- ② 全国の大学やその附属学校等と連携し、グローバル社会で通用する人材育成カリキュラムを開発・提案した。

- ・ お茶の水女子大学との大学間協定の下、両大学の附属高校が協働して「グローバル時代に活躍できる人材育成のための高校生からのキャリア教育プログラム」の検討を開始し、キャリア講演会を両校生徒が参加して開催した。
- ・ 附属坂戸高等学校が、国際バカロレア (IB) 日本語ディプロマプログラム (DP) の認定を受けた。同校は、SGH 指定校でもあり、SGH と IBDP によるグローバル人材育成に向けた体制を構築した。
- ・ グローバルな素養を育てるカリキュラムの検討を開始し、30 年度の提案を目指した作業工程表を作成した。
- ③ 附属学校群をフィールドとしたインクルーシブ教育のプログラムの開発の一環として、文部科学省『学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解 (心のバリアフリー) の推進事業』を受託し、以下の活動を行った。いずれも、附属の普通学校と特別支援学校の児童生徒の交流を中心としており、障害の理解のみならず、異なる障害同士の理解促進という新たな教育活動の可能性も示され、本学附属学校群の特色が大いに活かされた活動となった。
- ・ 黒姫高原共同生活：附属学校 8 校から 73 名の児童生徒が参加した。参加人数、参加学年 (小学生～高校生)、参加校種など昨年度よりも拡大し、3 日間の共同生活を通しお互いの理解を深める教育実践ができた。
- ・ 共生社会を目指すスポーツ交流とシンポジウムの集い：附属学校児童生徒 110 名に一般参加者も加えた合計 180 名が参加した。障害者スポーツ及びアダプテッドスポーツ、パラリンピアンによる講演、学校種を越えた小学生から高校生までの児童生徒によるシンポジウムを実施した。
- ④ 関係機関との連携により、オリンピック・パラリンピック教育も含めたインクルーシブ教育のプログラムの開発の一環として、附属学校オリンピック教育推進委員会を中心に、オリンピック教育プラットフォームと連携して、附属学校群全校におけるオリンピック・パラリンピック教育の実施、オリンピックの価値教育プログラム (OVEP) に関する教員研修会への附属学校教員の派遣、トーマス・バッハ国際オリンピック委員会会長来日記念特別式典への附属学校高校生の派遣、オリンピック・パラリンピック全国展開事業への局指導教員の派遣、つくば国際アカデミックスポーツカンファレンスの大塚特別支援学校での開催などを実施した。
- ⑤ SGH 幹事校 (附属高等学校) 管理機関として、SGH に関する以下の活動を行い、全国の SGH 活動に貢献した。
- ・ 「グローバル人材育成とスーパーグローバルハイスクールの展望」をテーマに、スーパーグローバルハイスクール (SGH) 第 1 回全国フォーラムを開催 (参加者延べ約 1,000 名)
- ・ 坂戸高等学校の企画による第 5 回高校生国際 ESD シンポジウム及び第 2 回全国 SGH 校生徒成果発表会開催 (参加者約 250 名 うちインドネシア・タイ・フィリピンから生徒 8 名、教員 6 名)
- ・ スーパーグローバルハイスクール連絡協議会・連絡会を年 2 回開催 (参加者 1 回目約 300 名、2 回目約 350 名)
- ⑥ SSH 校 (附属駒場高等学校) 管理機関として、SSH に関する実践型プログラムの計画を支援し、次年度からの SSH 事業の認定を受けた。3 期 15 年に渡る SSH 事業の実績と成果を活かし、研究開発課題「国際社会に貢献する科学者・技術者の育成をめざした探究型学習システムの構築と教材開発」のもとに新たな実践型プログラムを計画し第 4 期の SSH 事業に申請した。その結果平成 29～33 年の 5 年間に渡る SSH 事業が採択された。
- ⑦ 朝永振一郎記念第 11 回「科学の芽」賞を実施し、全国の小学生から高校生の科学への探究心の育成に貢献した。今回初めて特別支援学校 (知的障害) の児童生徒からの応募があり、「探究賞」「特別探究賞」を新たに設定し表彰した。(応募総数 2,919 件 前年比 22%増で、過去最大)
- ・ 「科学の芽」賞受賞状況 小学生 10 件 中学生 8 件 高校生 3 件

(2) 大学及び附属学校間の連携強化

- ① 教員資格・教員免許状に関する以下の活動を行い、全国の教員の質の向上に貢献した。
- ・ 附属学校の特色を活かした教員免許状更新講習を実施し、総数 147 講習中 68 講習 (46.3%) について、受講者総数 5,324 名中 2,383 名 (44.8%) の受講者を受け入れた。(上記数値は、附属学校教育局及び附属学校から講師を派遣つくば地区で実施した講習と、東京地区で実施した講習の合計である。)
- ・ 特別支援学校教員資格認定試験 (文部科学省委託事業)：受験者 240 名、合格者 21 名
- ② 大学と附属学校による共同研究となる「附属学校教育局プロジェクト研究」として、平成 28 年度は以下の 3 つのプロジェクト研究を実施し、日本の教育現場で解決が迫られている今日的課題の解決に向け、附属学校教育局教員を中心に検討を進めた。

- ・ P1 子どもの自主性を育てる学校行事（継続 3年目）
- ・ P2 学校教育における ICT 活用に関する研究2（新規（第2期））
- ・ P3 子どもの国際的資質を育てる実践（継続 2年目）

（3）地域との連携、社会貢献活動の推進

- ① 附属学校教育局、普通学校及び特別支援学校との連携による「共生社会を目指すスポーツ交流とシンポジウムの集い」を実施。本学附属学校の生徒児童の他、一般の方にも参加呼びかけを行い、スポーツ交流（ポッチャ・アダプテッドスポーツ）や講演、シンポジウムを開催し、約 180 名が参加した。
- ② 附属駒場中・高等学校において、世田谷区及び目黒区の教育委員会との協業により、両区民対象の地域連携講座「筑駒アカデミア」として公開講演会を 2 回、公開講座 10 講座を開催した。
- ③ 本学「社会貢献プロジェクト」の一環として、以下のとおり取り組んだ。
 - ・ 附属高等学校「文京ラグビースクール活動支援」：グラウンド確保が厳しい状況下において附属学校のグラウンドを提供するとともに、本学ラグビー部、附属高校ラグビー部等の人材を活用し、文京区周辺の小中学生を対象としたラグビー普及活動を支援。
 - ・ 附属坂戸高等学校「つくさか地域食育支援プロジェクト」：坂戸市教育委員会を介して、小中学校における農業体験学習への指導・助言、坂戸高をフィールドとした農業体験学習や職員研修の実施、農場産野菜を給食食材として提供する取組みを実施。
 - ・ 附属視覚特別支援学校「高齢者健康教室」：文京区に在住する高齢者を対象とし、参加者のバイタルチェック・講義・体力チェック・体操等の指導を通して健康増進や疾病予防活動を推進。

（4）附属学校の体制・機能の見直し

附属学校の機能に着目した再編を念頭に、附属学校群全体の教職員を効果的に活用するとともに、自己収入の拡大や支出削減、高度な専門性を持つ教師の育成システム構築のための経営基盤の整備を進めた。

- ① 自己収入の拡大や支出削減
 - ・ 附属小学校において募集要項の有料化を継続して実施した。（平成 28 年度収入額 4,229 千円）
 - ・ 心理・発達教育相談室の適正な運営と収入確保の観点から、相談料の増額改定を行った。（収入額 平成 27 年度 3,339 千円 → 平成 28 年度 3,776 千円）
 - ・ 附属視覚特別支援学校運行業務について、不要となったバスを活用することにより、車両借上げ契約が不要となり、値上がりが見込まれる平成 29 年度運行業務契約額を削減（約 700 万円）した。
 - ・ 附属久里浜特別支援学校の有人警備業務を機械警備とし契約額を削減（約 400 万円）した。
- ② 研究教育成果を活かした外部競争的資金の確保、産学連携活動の促進
 - ・ 聴覚特別支援学校において、集団補聴器に関する研究を企業と連携して行った。
 - ・ 産学連携相談（技術移転マネージャー）を活用し、企業との共同研究契約を締結した。
 - ・ 科学研究費助成事業の申請・採択率の向上を目指し、附属学校長及び附属学校教育局指導教員が附属学校教員の奨励研究申請に際して、助言指導ができる体制を設置し、平成 29 年度科研費申請件数が前年度 27 件から 35 件と増加した。
 - ・ 附属学校教育局で科研費申請のワーキンググループを設置し、平成 29 年度科研費に基盤研究(B)と挑戦的萌芽研究の 2 研究を申請した。
- ③ 附属学校群全体の教職員の効果的な活用
 - ・ 附属学校長は、教授が兼務することを原則としつつ、附属学校教員の校長を任用できることとする人事制度改革を決定し必要な規則改正を行った。
 - ・ 附属学校教員の人事異動・人事交流について企画調整会議及び教育審議会で審議を進め、附属学校の専門性確保や管理運営機能改善の観点から実施することの必要性が共有された。今後、具体的な制度設計を検討する。
 - ・ 附属坂戸高等学校におけるIBDPの運営経費につき、36年度までのシミュレーションを種々の条件で行い、黒字転換が可能な人事・経営戦略を検討した。

(5) 「附属学校における免許状失効教員による授業の実施」事例について

- ① 各学校において、教員免許状の更新に該当する教員から関係する証明書（更新講習修了確認証明書、免許状更新講習免除証明書等）を提出させ、有効期限の確認を行う。新たに教員を採用する場合も同様に証明書を提出させ確認し、さらにそれらの証明書を附属学校教育局に送付し、そこでも確認を行うことで二重にチェックする体制を構築した。さらに、附属学校教育局に所属するすべての教員の教員免許状の状況を把握するデータベースを作成し、状況を一元的に管理・把握する。以上の三重のチェックを行うことにより、再発防止の万全を図っている。
- ② この体制により、平成28年末において、附属学校教員全員の免許の種類、有効期限など、免許更新状況及び今後の更新手続スケジュールを確認することができた。

II. 業務運営・財務内容等に関する取り組み状況

1. 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(1) 大学戦略室による経営的な観点からの中長期の大学戦略についての検討と情報ガバナンス機能の強化

- ① 国立大学法人としての選択、戦略策定に資する体制を整備するため、新たに学長直轄の「大学戦略室」を設置し、経営的な観点から法人の中長期のビジョンと戦略について検討を開始した。具体的には、社会環境の変化要因に応じて考えられる「教育目的や内容の在り方」、「規模の在り方」、「新たな事業の拡大の在り方」、「他の設置形態を異にする法人との統合の在り方」などに関する様々な選択肢を検討し提示することとして、中間報告「中長期の大学戦略に関する検討状況」をまとめた。
- ② 企画室（出版会担当）・総務部（情報化推進課）・附属図書館（情報管理課・情報サービス課）を統合し学術情報部に改組再編し、併せて、従来のように専任を配置するのではなく、複数の教員組織の教員と複数の事務組織の職員がエフォートの一部を使って兼務する教職協働型チームとして機能する情報ガバナンス基盤室を設置し、学内に散在する学内作成情報の集約的把握と組織横断的課題に対する分析体制を構築した。これにより平成 28 年度は当初の予定を超えて、以下の取組みの実施に成功した。
 - ・ 大学作成情報を学内で共有・活用する上での課題を明らかにするとともに、URA 研究戦略推進室、国際室等を対象とした聞き取りを行い、大学作成情報の提供者、分析者双方の要望を把握した。
 - ・ 把握された要望を踏まえ、大学作成情報に付与すべきメタデータ項目（所在や管理者・分類等の情報）を決定した。
 - ・ タスクフォースによる分析を行っていくことを想定し、その試験的事例として2つの分析課題を設定し、室員及びURA等によるチームを組織して検討を行い、その結果を執行部に報告した。
 - ・ 上記検討の際に必要な大学作成情報の所在を調査した上で、当該情報を実際に収集するとともにメタデータを付与した。
 - ・ メタデータを管理するためのシステムである「大学作成情報マネジメントシステム」β版を全学サーバ上に構築し、サンプルデータとして上記のメタデータを投入した上で、室員及びURAにより有用性を確認した。
 - ・ 全学的な大学作成情報の収集計画及びメタデータ付与のためのガイドラインを策定した。
 - ・ 情報ガバナンス基盤室の枠組みを活用することにより世界大学ランキング対策検討タスクフォースを設置し、ランキング対策を継続的に実施する体制等について検討した。この結果を踏まえて、国際的評価の向上に取り組むための「世界大学ランキング情報共有ユニット」を基盤とした全副学長体制を整えた。

(2) 全学的かつ戦略的な視点からの教員任用

- ① 年俸制教員については、平成 28 年度実績で 544 名（平成 27 年度実績：474 名）と拡大しており、全学年俸制教員評価実施委員会において評価方法等の検証を行った結果、各部局独自で、部局の特色を踏まえた評価基準及び評価方法を策定し、評価が実施できるように「基本年俸表を適用する大学教員の業績評価指針」を変更した。平成 28 年度は対象者 166 名に対して評価を行い、その評価結果を年俸に反映させた。

また、これまで非年俸制教員だけを対象に、優れた取組や活動を行っているとして認定した教員に対して「BEST FACULTY MEMBER」と認定し学長表彰を行っていたが、年俸制教員の増加を受け、平成 28 年度より、対象を年俸制教員にも拡大して表彰を行った。
- ② 外国人・女性・若手教員の増加に向けた方策として、学長のリーダーシップの下で全学的見地から戦略的かつ柔軟な教員配置を行う「全学戦略枠」の運用結果を検証し、また、教員の人件費管理方式を「ポイント制」に改めたことも踏まえ、平成 28 年度に、これまでの「全学戦略枠」に代わる「全学戦略ポイント」を新たに創出した。これにより、自律的な大学改革や戦略的分野の機能強化の推進に資するよりスピード感のある人事が可能となるよう、各系及び重点研究センターが教員人事を迅速に行える環境を整備し、さらに、当初の計画を前倒しして、平成 29 年度に実施公募予定であった助教 13 枠相当の全学戦略ポイントのうち、助教 3 枠相当を平成 28 年度に先行して公募を行い配分先を決定しており、戦略的な教員配置を実施している。

(3) 監査機能の強化

- ① 監事監査については、中期目標達成の支援及び業務の健全性の確保、全学的かつ組織横断的な対話と情報共有の促進、部局の状況等を踏まえた執行部との対話と課題解決に向けた助言・提言等を基本方針に、新たに個人情報保護の管理に関する対応状況について監査を実施した。
- ② 監事監査の一環であるテーマ監査として「業務方法書の変更への具体的な対応状況」について監査を実施し、業務方法書に基づく内部統制システムの整備・運用状況等を中心にモニタリング調査を行った。
- ③ 監事監査が有効に機能し法人業務の適正性の確保に資するため、監事による重要文書の調査及び監事への重要事項の報告に関する制度を運用（平成28年度実績：重要文書の調査7件、重要事項の報告49件）し、中期計画や財務諸表等の認可・承認申請などのほか、法人の業務運営に大きな影響を及ぼす恐れのある事項全般について、監事に対する確実かつ十分な情報伝達を行うことにより、監事の日常的な監査機能の強化に繋がった。一連の監査活動の結果、改善を要する事項については、監査の講評の場や監査報告書、大学執行部との意見交換会等を通じて原因を指摘するとともに再発防止策の助言・提言により適切にフィードバックしており、監査におけるPDCAサイクルを着実に回すことで大学運営全体のスパイラルアップに繋がった。

(4) 「働き方改革」につながる業務の効率化、業務改善に向けた取組

- ① 職場環境等の整備
 - ・ 研究・教育・就業と家庭生活との両立支援に関する手引きの改訂、一部英語版の作成などを行い周知を図った。また、制度面に関しては、育児介護休業法の改正を踏まえ、介護休業の分割取得、育児休業等に係る子の対象範囲の拡大等、また、本学独自の制度である不妊治療に関する休暇の取得単位の見直しを行い、より取得しやすい制度となるよう就業規則を改正した。
 - ・ 平成27年度に学長を本部長として設置された業務改革推進本部が主導して業務改善に取り組み、業務削減等の提言を受けた業務のうち、改善・対応可能とされた99項目のうち、任用手続きや科研費申請チェック体制の見直し、研究情報HPの集約・整備など53項目（平成28年度末現在）の対応を完了した。また、業務の一つひとつの処理や判断と全体の流れを図で表した「業務フロー」の策定により可視化を進める方針を決定し、業務プロセスの適正化や効率化を組織的に推進することとなった。
- ② 業務効率化推進の実例
 - ・ 本学では国立大学法人評価に係る年度計画とは別に、全学において年度重点施策を策定し自己点検・自己評価の一環として実施していたが、当制度を発展的に見直し、真に重点的に実施する施策による構成として実質化を図るとともに、法人評価に係る年度計画と一元化した。また、各部局に係る組織評価との連動性を高め、年度における活動実績に係る報告書の項目等を集約するなどして、本部、部局とも業務の効率化を図った。
 - ・ 中期計画とそれに対応する年度計画の確実な進行管理を実現する方策として、当該中期目標期間中の年度別及び各年度計画記載事項に関連する計画事項とそれに係る取組みを列挙し、それぞれについての中期目標期間中の年度別及び当該年度四半期別の進捗計画を明定（「見える化」）した。また、各年度記載事項に関連する年度計画記載事項に係る取組みを進捗計画に併記した。これらにより、関係教職員による共通理解を得て、各計画等の進捗管理の徹底を図るとともに、計画記載事項に係る取組みの関連性をより整合的なものとする事ができ、業務の効率化を実現することができた。
 - ・ 会計業務の一元集中化による合理化の実現
 - ・ 学生人材バンクの活用による学生との協働
- ③ 人材育成の取組
 - ・ 業務の高度化・多様化に対応する人材を育成し、職員一人ひとりの能力向上を図るため、職位ごとに求める人材育成の役割を定めるとともに、採用から3年目までの職員にOJTリーダーを配置して組織全体で人材を育成することを明記した「筑波大学OJT体制」を策定し、平成29年4月1日から実施することとした。また、国際化に対応しうる職員を育成するため、職員に対する語学研修（158名受講）や、海外短期派遣・受入研修（1名受入れ・12名派遣）を実施し、真の国際性を身に付けた職員を育成するプログラムを充実させ、体系的に実施した。
 - ・ 今後の職員の少数精鋭化を念頭に、10年後20年後に大学の中核となる係長や主任の職員と、その職員を育成する課長（室長）や主幹を対象に、「中核人材育成研修」を実施した（平成28年度：各19名、計38名が受

講)。上司と部下の位置にある2つの研修の連動を図ることで、OJT能力を組織的に強化し、「研究総合大学」としての本学の研究・教育・社会貢献等を支える、骨太な人材の育成を推進した。

④ LGBT等への対応

- ・ LGBTに対する支援を本格的に実施することを目的として、DACセンターダイバシティ部門内に相談窓口を設置するとともに、「LGBT支援のガイドライン作成に係るタスクフォース」を設置のうえ検討を行い、国立大学法人初となる「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」を作成し、支援体制を強化した。

(5) ハラスメント防止を含めた法令遵守の徹底

- ① 有資格のカウンセラーを常時配置したハラスメント相談センターを設置し、相談者に配慮した事案の早期解決を図るとともに、階層別職員研修等におけるハラスメント防止に関する講演の実施、パンフレットのリニューアル、ポスターの作成・配布、書籍・DVDの貸出し等を行い、啓発活動を積極的に推進した。
また、「コンプライアンスチェックリスト」を全体的に見直して記述の明確化・厳密化を図るとともに、特に個人情報保護に重点を置き、「個人情報保護管理の手引き（簡易版）」の作成や、全ての教職員を対象に「個人情報、機密情報の盗難・漏えいを防ぐための各自チェック」を実施し、全教職員に周知徹底をした。

◇ ガバナンスの強化に関する取り組みについて

① 学長のリーダーシップの確立

- ・ 学長の諮問に応じて、研究教育活動等に関する事項の調査・検討等を行う組織として設置している「学長補佐室」に加え、新たに学長直轄の「大学戦略室」を設置し、経営的な観点から法人の中長期のビジョンと戦略について検討を開始した。社会環境の変化要因に応じて考えられる様々な選択肢を検討し提示することをミッションとし、国立大学法人としての方針選択、戦略決定に資する体制を整備したものであり、平成28年度における検討状況については中間報告「中長期の大学戦略に関する検討状況」としてまとめ、学長・副学長懇談会において報告を行った。

② 学長の選考・業績評価

- ・ 学長選考会議により、監事との連携協力のもとで年に一度、学長の業績評価を実施しており、評価結果については、学内外に公表している。また、学長選考基準（学長選考要項の一部改正）及び学長解任要項の制定を行った。

③ IR機能の強化・拡充

- ・ 企画室（出版会担当）・総務部（情報化推進課）・附属図書館（情報管理課・情報サービス課）を統合し学術情報部に改組再編し、併せて、従来のように専任を配置するのではなく、複数の教員組織の教員と複数の事務組織の職員がエフォートの一部を使って兼務する教職協働型チームとして機能する情報ガバナンス基盤室を設置し、学内に散在する学内作成情報の集約的把握と組織横断的課題に対する分析体制を構築した。

④ 事務職員の高度化～財務部独自の人材育成に係る取組

- ・ 国立大学法人を取り巻く財政状況や経営力強化の必要性などについて、財務部の若手職員を対象に勉強会を実施した。
- ・ 「財務部収益的事業等プロジェクトチーム」の構成員に多くの若手職員を登用し、新たな収益的事業になり得るアイデアの発掘に取り組んだ。
- ・ 会計業務を担当している学内職員を対象とした「ビジネス実務法務検定3級講座」を開催し、最低限の心得、法的センス及び思考方法を体系的に身に付ける研修を実施した。

⑤ 内部統制システムの整備

- ・ 監事監査の一環であるテーマ監査として「業務方法書の変更への具体的な対応状況」について監査を実施し、業務方法書に基づく内部統制システムの整備・運用状況等を中心にモニタリング調査を行った。この結果を基に、本学の業務の適正性、効率性の更なる向上につなげるシステム構築を図ることとしている。

2. 財務内容の改善に関する目標

(1) 基金の受入れ体制の更なる充実・強化

- ① 恒常的な基金の募金体制及び50周年基金事業に関し、検討を開始し、50周年基金事業については、今後の計画とスケジュールを策定した。なお、基金の受入れ体制の強化のため、平成29年度からファンドレイザー1名を追加することを決定した。また、平成21年度から地元企業の社長、役員等を招待し、本学学長、執行部との懇談会を開催することにより、face-to-faceで親近感も沸き、本学に対する理解も深まったため、平成28年度に地元企業から1億5千万円のグラウンド整備及び修学支援事業基金として、個人から500万円の受け入れがあった。附帯事業については、サンパウロ大学及びサンタクルス病院との協定締結記念としてサンタクルス病院の理事長の所有する農園のコーヒーを本県に所在するコーヒー会社と提携して大学ブランドのコーヒーを販売し、売り上げの一部を大学基金へ受け入れる仕組みを拡充した。また、紳士服販売の大手4社との提携によるスーツ割引販売事業等を新たに開始するとともに、不動産を活用した取組みについて検討を開始した。

(2) 財政維持を勘案した教職員の戦略的な配置計画の推進

- ① 財政維持を勘案した教員の戦略的な配置計画の策定準備として、学長のリーダーシップの下で、全学的な見地から戦略的かつ柔軟な教員配置を行う全学戦略ポイントを創出するとともに、それらを競争原理のもと、部局へ戦略的にポイント配分できる仕組みとして構築した。加えて、当初の計画を前倒して、平成29年度に実施公募予定であった助教13枠相当の全学戦略ポイントのうち助教3枠相当を平成28年度に先行して公募を行い、配分先を決定した。また、若手教員早期昇任人事（ツクバ・トップ・ランナー）の制度設計を行い、平成29年度に実施することとした。
- ② 事務職員については、学内リソースを集約し戦略的な配置を行うための事務系戦略枠により、研究力強化・国際化・業務の高度化等に対応するための職員枠を10枠配置した。

(3) 会計業務の一元集中化による合理化の実現

これまで試行的に実施してきた全学会計センターへの会計業務の一元集中化を、平成28年7月から本格実施した。本格実施後は、会計業務を効率化するため人員配置及び役割分担の見直しを行ったほか、業務マニュアルの整備や財務会計システムの運用改善など、15項目にわたる見直しを実施し業務を合理化した。

業務の主な見直し状況は以下のとおり。

- ・ 業務マニュアル策定による業務の適正化及び統一化
- ・ 財務会計システムの利用方法及び作業工程の改善
- ・ 法人カード利用に係る財務会計システム計上方法の簡素化
- ・ 勘定科目の統廃合による財務会計システム入力業務の簡素化
- ・ 旅費計算書の簡素化（規則の改正） など

上記の業務見直しによる削減効果を人件費に換算した結果、平成28年度においては、試行開始時（平成28年1月）と比較して4,700万円の削減（約21%）効果があった。また、試行開始時から平成32年度までの試算では、約9,000万円の削減（約40%）が見込まれる。

(4) 施設マネジメントによる戦略的な施設有効活用

- ① スペースチャージ制度は、「スペースチャージ運用ガイドライン」に基づき、系組織の研究室及び実験室を対象に、今年度より運用を開始した。確保した財源は維持管理費とし、「スペースチャージ財源による平成28年度実施計画」に基づき空調設備の整備等を実施した。なお、整備にあたっては、優先度を客観的に評価して作成された全学的な実施計画に基づき進められた。
- ② スペースチャージの対象範囲をセンター等まで拡大するため施設・土地委員会の下に新たにWGを設置し、これまで3回のWGを開催し、センター等も系組織と同様、専有する研究室及び実験室を対象とするガイドラインの改定案を策定し、平成29年度より運用することが決定した。
- ③ 全学共用スペースである公募スペースは「公募スペース運用ガイドライン」に基づき、今年度新たに約1,400㎡のスペースを確保し、全体で約15,000㎡となった。公募スペース確保の拡大については厳しい制約がある中、限

られたスペースの有効活用を念頭に施策の推進に努めた結果、毎年度拡大を続けており、28年度においても当初の想定（1,200㎡程度）を上回る成果を実現し、競争的外部資金を獲得したプロジェクト研究チームや拠点未整備の組織に効果的に配分した。

(5) 経営力強化に向けた取組

- ① 「国立大学経営力戦略（平成27年6月、文部科学省）」を踏まえ、大学の自主財源を多様化し財務基盤の強化を図るため、「外部資金獲得戦略」、「収益的事業の展開」及び「人事戦略」の3つの柱からなる収支構造改革を目的とした「第3期中期目標期間における経営力強化方策」を策定し、行うべき取組内容や数値目標を明記し学内に情報発信した。さらに、方策に掲げた数値目標を着実に達成できるよう、それぞれの戦略等の責任者（副学長等）を明確化し、推進体制を整備した。なお、本方策全体の進捗状況や目標の達成状況に関しては、毎年度定期的にフォローアップすることとしている。
- ② 寄附金については、「外部資金獲得戦略」に基づき、効果的な募集を行うため、国立大学では初となるクラウドファンディング事業者とオフィシャル契約を締結し、寄付募集を行い1,197万円（2件）の寄附金を獲得した。また、「収益的事業の展開」の一つとして、「エクステンションプログラム」を実施し、304万円（5件）の成果を挙げた。（エクステンションプログラム：本学の高度で先駆的な研究・教育分野から得られた成果を、いち早く社会に還元することを目的とした収益プログラム）これらの取組の他、職員宿舎跡地の有効活用方策など新たな取組案を担当部局へ提案し、検討の一助としている。
- ③ 「第3期中期目標期間における経営力強化方策」の策定と併行して、平成28年7月に財務部内に「財務部収益的事業等プロジェクトチーム」を設置し、社会環境の変化や国の制度改革等を踏まえ、収益的事業を積極的に展開し新たなスキームによる自己収入を確保するための具体的な取り組みの立案とその確実な実施を実現した。また、これまでに取りまとめた収入・支出改革に関する取組を推進した結果、平成28年度は、前記に挙げた収入増の他、施設維持管理業務契約を他機関との共同契約とすることで1,150万円、つくばキャリアポートフォリオの作成経費を削減することで260万円の経費削減を実現した。

(6) 産学連携活動の自立化に向けた多様な取組

平成28年度の運営費交付金の知的財産に係る経費について、予算管理の徹底と民間共同研究費の拡大による産学連携関係経費の戦略的活用により、11,800千円（平成27年度36,800千円）に節減し、産学連携活動の自立化を推進した。共同研究の大型化に向け大型共同研究創生プログラムの構築を推進した。具体的な取り組みは以下のとおりである。

- ① 平成26年度から運用している特別共同研究事業は、企業等資金により本学内において共同（アンダーワングループ）で研究を行い、また、企業等資金のほかに企業担当者を教員として雇用し、本学の教員と対等の立場で共通の課題について共同して研究を行うことが可能となり、優れた研究成果が生まれることを促進する制度であり、平成28年度の同事業の実績は、6件、141,653千円（平成27年度は、5件、149,713千円）であった。平成28年度の1,000万円以上の共同研究は21件で、そのうち14件が新規、7件が継続案件であり、複数年契約が開始されたのも、当事業の成果である。
- ② 知財収入（特許権実施等収入）は、平成27年度実績において前年度から飛躍的な伸び（前年度比1.8倍）を示し、平成28年度においても増加した。
知財収入（特許権実施等収入）
平成26年度：17,463千円 → 平成27年度：31,563千円 → 平成28年度：32,064千円

◇ 寄附金の獲得に関する取組について

「外部資金獲得戦略」、「収益的事業の展開」及び「人事戦略」による収支構造改革を目的とした「第3期中期目標期間における経営力強化方策」を策定したところであるが、特に寄附金については、「外部資金獲得戦略」に学術研究関係寄附金の拡大を、「収益的事業の展開」に基金の拡充をそれぞれ取組として掲げ、具体的な数値目標を設定して推進することとしている。

また、寄附金の効果的な募集を行うため、平成28年度においては以下のような事業を行った。

- ・ 国立大学では初となるクラウドファンディング事業者とオフィシャル契約を締結し、研究費や学生生活動経費の募集を行った結果、デジタルとコンピュータを融合させるデジタルネイチャー研究を補助する目的とし、「新たな研究領域における環境整備」の資金募集で939万円（目標額に対して117%達成）、駅伝部の古豪復活を目的とし、「箱根駅伝復活プロジェクト支援」の資金募集で258万円（目標額に対して129%達成）の総額1,197万円の寄附金を獲得した。
- ・ 平成28年度からスタートした所得税の税額控除制度を活用し創設した修学支援事業の財源として、個人から500万円の寄附があった。
- ・ 平成21年度から地元企業の社長、役員等を招待し、本学学長、執行部との懇談会を開催している。face-to-faceで親近感も沸き、本学に対する理解も深まり、平成28年度に地元企業から1億5千万円のグラウンド整備の受け入れがあった。
- ・ 寄附関連の附帯事業として、平成27年度に実施したワインの販売に加え、平成28年度から大学ブランドのコーヒーの販売等を行い、売上げの一部が寄附された。

◇ 施設マネジメントに関する取組について

- ① 施設の有効利用や維持管理（予防保全を含む）に関する事項
 - ・ 戦略的な施設の有効活用・配分策として、新たなスペースの確保につなげるために、「スペースの流動化・共用化に関する基本構想」「公募スペース運用ガイドライン」を策定し、既存スペースの再配分を実施している。平成28年度は、新たに1,400㎡のスペースを確保し、全体で約15,000㎡となり、競争的外部資金を獲得したプロジェクト研究チームや拠点未整備の組織に効果的に配分した。
 - ・ 系組織の研究室及び実験室を対象に、スペースの流動化・共用化を促して専有面積の最適化を図るとともに、必要な維持管理の財源を確保し計画的な維持管理を行うことを目的とした、スペースチャージ制度の運用が平成28年度から開始され、スペースチャージ料として4千万円の財源を確保することができ、公募スペース使用料3千8百万円と合わせて空調設備整備、部局裁量の修繕、公募スペース等整備を実施した。平成29年度からは新たにセンター等の研究室及び実験室を対象とし、約4百万円の財源確保を予定している。
 - ・ スペースチャージ財源により、平成28年度においては研究室及び実験室の空調機1,664㎡の整備を行い、研究教育環境の改善を図った。
 - ・ 附属病院MRI-CT装置棟を改修し人間ドックのサービス提供施設を整備した。
 - ・ 施設予算の一元管理による効果的な運営として、宿舍料及び施設利用料、スペースチャージ財源及び各所修繕費等を「施設修繕基盤経費」に包括し、中期目標期間の施設修繕の計画的な実施を推進できる体制を構築した。
- ② キャンパスマスタープラン等に基づく施設整備に関する事項
 - ・ 建物の計画（アメニティの形成）に沿って、講堂便所改修を実施し、施設の充実を図った。
 - ・ 設備計画（太陽光発電設備）に沿って、3A棟、スポーツリエゾン棟に太陽光発電設備20kwを設置した。
 - ・ 設備計画（照明設備）に沿って、体芸図書館、図書館情報学図書館、情報メディアユニオンの照明、工学系学系F棟、G棟の廊下照明をLED化し、併せて1D棟周辺の外灯5基をLED街路灯に更新等して高効率機器を導入した。
 - ・ 設備計画（電力設備）に沿って、中・南・西地区の電気室と中央機械室の低圧配電盤に電力メータを設置して棟別の電力量を可視化して棟別電力量の把握及び利用者への節電意識を促すこととした。
 - ・ 設備計画（空調システム）に沿って、2H棟、理科系C棟、工学系学系G棟の空調を高効率空調（個別方式）に更新してランニングコストの低減を図った。
- ③ 多様な財源を活用した整備手法による整備に関する事項
 - ・ 平成28年度より系組織の研究室及び実験室を対象にスペースチャージ制度を開始し、総合研究棟D棟の研究室・実験室の空調設備の整備を実施した。
 - ・ PFI事業による学生宿舎（グローバルヴィレッジ）7棟（310戸）及び共用施設（コミュニティステーション）1棟を新築整備した。併せて、長期借入金による既存学生宿舎2棟（124戸）の改修整備を行った。

- ・財物による寄附に伴い、第2サッカー場人工芝の敷設工事を実施した。また、附属中学校トイレ改修、附属高校教官室等の空調設備改修を実施した。
- ④ 環境保全対策や積極的なエネルギーマネジメントの推進に関する事項
 - ・平成28年度より新たに「筑波大学における温室効果ガス排出抑制等のための実施計画」を策定し、計画に基づき実行した。
 - ・毎月の温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量（電気・ガス・重油）を学内会議へ報告し、また、学内へ周知することによる教職員の省エネルギーに対する意識改革を図った。
 - ・夏季・冬季節電行動計画を策定し、学内へ周知することにより、節電対策を実施した。
 - ・温室効果ガス排出量削減及び省エネルギー対策として太陽光発電設備の設置（▲12.6t-CO₂）、照明設備のLED化（▲66.6t-CO₂）及び空調機の高効率化（▲40.5t-CO₂）により、年間約120t-CO₂の削減を図った。

3. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

(1) 定量的評価指標を用いた組織評価の試行

- ① 定量的評価指標の内容として、当該組織の収入と支出、人員数等を明示するとともに、研究及び教育の活動状況を示す定量的評価指標（研究分野一系・センター：指標15項目、教育分野一学群：指標6項目、研究科：指標8項目）を定め、客観的評価システムを試行・検証した。検証結果を踏まえ、国立大学法人評価との連動性を踏まえた「国立大学法人筑波大学組織評価規程」を制定するとともに、定量的評価指標に基づく研究教育組織評価を本格的に実施した。なお、定量的評価指標に基づく組織評価の本格実施は、当初、平成31年度頃を想定していたが、環境が整ったことから前倒したものである。
- ② 定量的評価指標に基づく組織評価の本格実施と関連して重点及び戦略的経費の傾斜配分を実施する方針を決定した。

(2) オープンアクセス方針の周知及びつくばリポジトリへの登録推進

- ① つくばリポジトリ Web サイトを充実させ、併せて英文の Web サイトも作成した。また、オープンアクセスウィークイベントとして館内ポスター展示を行ったほか、リポジトリ登録の方法及びその効果等をまとめたパンフレットを作成し配布した。説明会としては、留学生も参加できるように英語併記の資料を用意し、博論インターネット公表説明会を2回（参加者134名）開催した。教員対象としては個別リポジトリ説明会を行い、各研究室等へ随時赴いて説明を行った（3回）。
- ② 本学研究者の学術雑誌論文（学術論文データベース Web of Science による）1,731件（平成29年3月末現在）で登録可能な987件のうち692件を登録した。昨年度は38%（311/812件）の登録率だったが、今年度は70%（692/987件）と約1.8倍となり、前年実績を大きく上回る登録率を実現した。また、学内紀要については、203誌のうち130誌が登録されており、紀要の登録率は約64%となっている。
- ③ つくばリポジトリ収録コンテンツの総数においては、平成28年度は前年度から8.3%増加し、40,344件に拡充した。（平成29年3月末現在）

(3) 研究教育分野の特性を踏まえ多様なメディアを活用した情報発信

- ① 全米50州すべてで販売されている数少ない全国紙である、USA Today（発行部数が近年まで首位であった）へ学長インタビューを掲載し、本学の特色・魅力を発信した。また、国や機関の研究成果に興味のある研究者や科学記者が多数閲覧しているデータベース Nature INDEX WEB へ本学のプロフィールを掲載するとともに、Nature INDEX 編集者が選定する本学教員の研究論文を毎月1本掲載することで、世界中へ研究成果を発信し、より多くの研究者や科学記者が研究成果を閲覧できるよう精力的に展開した。なお、前年度に引き続き、海外の世界最大級のネットワークを有する有料のメディア向け情報発信サービス（AlphaGalileo, EurekAlert!）を活用し、研究成果を発信している。

(4) 社会に向けた研究教育成果等の発信

- ① 教職員一人ひとりが広報マインドを持ち、主体的に情報を提供することが大切であることから、サイエンスコミュニケーションが系や専攻等に出向き、教職員に対して、研究教育広報の必要性や研究教育成果の積極的な配信への理解と協力を求めることにより広報意識の醸成を図るとともに、研究教育広報を迅速かつ広範に展開すべく、関連部局との連携を密にした。
- ② 公式英語ウェブサイトにおいて、教育組織のページの見やすさや情報到達までの導入ルートの検証を行った。英語サイトの無い教育組織に対し、同サイトに代わる英語紹介ページを設けるとともに、そのための「フォーマット」を定め、当該組織に提出を要請した。また、学群や大学院の情報を、サイト閲覧者が最短のクリック数でたどりつけるように、ページの構成を変更した。
- ③ サテライトオフィスが常に賑わいを創出し、本学の情報発信活動を効果的に推進する拠点として確立されるべく、「サテライトオフィス活性化プロジェクト」を企画し、学内公募を行った。その結果、4件のプロジェクトを採択し、サテライトオフィスの活性化に寄与した。また、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの開催にあたり、本学関係選手(20人)の写真展をサテライトオフィス及び東京キャンパスで開催した。
- ④ 年度法人評価結果において「優れた取組」として取り上げられた事項について、今回新たにパンフレットにまとめ、記者クラブやステークホルダーに対し配付し本学の活動に対する理解を深める一助とするとともに、学内に対しても周知し、担当部署や関係教職員のモチベーションの向上を図った。また、極めて優れた取組や活動を行っている認定した教員を対象とする「BEST FACULTY MEMBER」の表彰にあたり、今回新たに、被表彰者の業績を分かりやすく紹介するパンフレットを作成し、本学の優れた研究教育等の成果として周知した。いずれも当該データを Web にも掲載し広く社会へ発信した。

(5) 附属図書館における知識情報基盤及び知の集積・発信システムの整備

- ① 電子ジャーナル等の高騰により、紙媒体資料の購入予算が減少しているため、学生用図書や学生用雑誌の充実を目的としてクラウドファンディングにより寄附を募った。企画・実施にあたっては、若手職員による機動的なプロジェクトチームを組織し、当初の目標額である300万円を大きく上回る寄附額(5,124,000円)を準備も含め約3ヶ月半という短期間で集めることができた。これは、大学図書館では他に例をみない試みであり、大学図書館における資金獲得の新しい取り組みとして、他大学からも問合せが寄せられ注目されるものとなった。
- ② 民間財団の助成金を獲得し、体育・芸術図書館にアクティブラーニングスペースを整備した。企画から実際の工程まで職員と学生とが協力し、学生の力を生かした整備を行った。
- ③ 学内のアカデミックライティングや留学生向け文書作成サポート担当者による連絡会の事務局として、ライティング支援サービスの全学的展開を支援した。平成28年度は特に英文ライティング支援に注力し、海外のライティングセンター担当教員による英文ライティングセミナーや、英文履歴書作成セミナー、英文助成申請書作成セミナーなどを、他部署とも連携の上、実施した。
- ④ 平成28年4月に施行された障害者差別解消法への対応として、DACセンターアクセシビリティ部門と連携して、教科書等をテキストデータ化し、蓄積・提供するサービスの検討を行い、平成29年4月からの試行を決定した。
- ⑤ 状態の劣化が懸念される、附属図書館所蔵の貴重資料である「狩野探幽屏風」の修復を行うため、公益財団法人出光文化福祉財団の平成28年度美術品修復助成の申請を行い採択された。600万円の助成を受けることができ、平成29年度より、2年間の予定で修復作業を開始する。
- ⑥ 平成23年度から10年計画で実施している蔵書点検について、平成28年度の対象の蔵書約38万冊に加え、次年度以降の対象箇所の一部(12万冊)を追加し、合計50万冊について点検を実施した。資料の単純な読込作業には学内ワークスタディ事業を活用し、学生の協力によりデータ処理等の業務を効率的に行うことで、予定の範囲を超えて点検を行うことができた。

4. その他業務運営に関する重要目標

◇ 法令遵守（コンプライアンス）に関する取組について

(1) 情報セキュリティ強化に向けた取組

情報セキュリティ対策を経営上の重要課題と位置付け、法人全体として組織的・計画的に取り組むため、「筑波大学における情報セキュリティ対策基本計画（平成28年度から3ヵ年）」を策定した。当計画には6つの「個別取組方針」を掲げており、また、それぞれに対応する取組みとして以下のとおり実施した。

<個別取組方針と取組実績>

- ① 情報セキュリティインシデント対応体制及び手順書等の整備
 - ・ 情報セキュリティインシデント通報窓口を一本化するなど、情報資産紛失・漏洩に関する総合的な情報セキュリティインシデント対応フローを整備
- ② 情報セキュリティポリシーや関連規程の組織への浸透
 - ・ 教職員及び対象学生(※)に対し、個人情報・重要な機密情報保護チェックリストによる自己点検を実施
※対象学生は以下のとおり
 - 本学と雇用関係が生じる学生（TA/TF、RA、短期雇用）
 - 研究室や研究プロジェクト等において本学の研究活動に関わる学生
 - 課外活動のサークル運営等に関わる学生
 - ・ 情報の格付け及び取扱制限に関する規程の見直しを実施
- ③ 情報セキュリティ教育・訓練及び啓発活動
 - ・ 学生・教職員を対象としたeラーニング（INFOSS 情報倫理）を実施
 - ・ 教職員、学生を対象とした情報セキュリティセミナーを開催
 - ・ 一部部局FD研修でのセキュリティ研修を試行
 - ・ 情報システム管理者を対象としたセキュリティ技術セミナーを開催
 - ・ インシデント対応机上訓練を検討するとともに、トライアルを実施
- ④ 情報セキュリティ対策に係る自己点検・監査の実施
 - ・ 教職員及び対象学生に対し、個人情報・重要な機密情報保護チェックリストによる自己点検を実施（再掲）
 - ・ 監査室及び情報セキュリティリスク管理室により、抽出した一部の組織（5部局）を対象とした情報セキュリティ監査を実施
 - ・ 脆弱性診断を試行
- ⑤ 情報機器の管理状況の把握及び必要な措置
 - ・ 学習管理システムを利用した情報機器利用状況の報告・管理を実施
- ⑥ 基幹ネットワークシステムでの情報セキュリティ侵害検知・防御強化
 - ・ URLフィルタ及びサンドボックス機能等の新導入セキュリティ対策機能の試行運用に基づく運用手順を検討

(2) 個人情報の適切な管理

- ① 個人情報保護管理規則の規定内容（保護管理者、保護担当者等の役割、遵守事項）をよりわかりやすく記載した「個人情報保護管理の手引き（簡易版）」を新たに作成し、また、全ての教職員を対象に「個人情報、機密情報の盗難・漏えいを防ぐための各自チェック」を実施し、全教職員に周知徹底をした。さらに、各組織において個人情報を取り扱う業務実務者を対象に説明会を開催し、個人情報保護管理の基本的ルールに対する理解を深めた。
- ② 個人情報保護管理の実行性を高めるよう各組織における管理体制を再確認し、必要に応じて、管理範囲の見直しを行い、個人情報保護管理者を増員した。
- ③ 監査室と連携して、全ての個人情報保護管理者に監査チェックシートを送付するとともに、抽出した一部の組織（国際総合学類、芸術専門学群、学術情報メディアセンターの3組織）を対象に個人情報保護管理に関する監査を実施した。

(3) その他の取組<障害者差別解消法への対応>

- ① 障害者差別解消法に関する講習会を2回開催し、本学の対応要領及び合理的配慮の具体例等について教職員への周知を行った。
- ② 附属図書館において、DACセンターアクセシビリティ部門と連携して、教科書等をテキストデータ化し、蓄積・提供するサービスの検討を行い、平成29年4月からの試行を決定した。

Ⅱ 各組織の現状と自己評価

教育

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) 学位プログラム制への全学的移行に向けた方針とスケジュールを策定し公表する。
学位プログラム制への全学的移行に向けた方針とスケジュールを含む「筑波大学の教育改革の全体像」を策定し、本学ウェブサイトに掲載し公表した。
- (2) 授業科目の学修段階や順序性を体系化したナンバリングコードを全科目に付番し、教育目標達成の構造を表すカリキュラムマップを作成する。
学位プログラム制をふまえた人材養成目的、教育目的、カリキュラムマップ、コンピテンス、チューニング、ナンバリングの考え方を整理し、現在の授業科目番号をふまえた授業科目の順次性、分野の体系化について検討し、次年度におけるナンバリングコード付番準備を行った。
- (3) 専門学位を授与する学位プログラムとして、スポーツウエルネス学位プログラムを開設・実施する。
専門学位を授与する学位プログラムの先行的取組として、「スポーツウエルネス学位プログラム」（3年制博士課程）を平成 28 年 4 月に開設し、3 人の学生を受け入れ、年次進行にそって教育課程を実施した。
- (4) 大括り入学者選抜に対応する新たな教養教育・専門教育導入カリキュラムとして「Specialty Finding Term」の導入を構想し、その具体案の検討を進める。
教育企画室に「Specialty Finding Term WG」及び 2 つのサブワーキンググループを設置し、各学群・学類の意見を集約しながら具体案の検討を進めた。平成 29 年 4 月の学群教育会議において、「Specialty Finding 教育」実施案として構想の骨子を提案し、引き続き検討を進めることで承認を得た。
- (5) 鹿屋体育大学との連携により体育・スポーツ学分野における共同専攻を開設・実施する。
鹿屋体育大学との共同専攻として、「スポーツ国際開発学共同専攻」（修士課程）及び「大学体育スポーツ高度化共同専攻」（3 年制博士課程）を平成 28 年 4 月に開設し、本学 9 人（修士 6 人、博士 3 人）、鹿屋体育大学 4 人（修士 2 人、博士 2 人）の学生を受け入れ、年次進行に沿って教育課程を実施した。
また、TV 会議システムを利用した遠隔地授業を平成 28 年度に 25 科目実施した。
- (6) 従来、留学生に対して「日本語・日本事情」科目の一環として開設していた日本語科目を各学群における正規の外国語科目「日本語」へ移行し、グローバルコミュニケーション教育センターにおいて開設する。
平成 28 年度において、従来「日本語・日本事情科目」として開設してきた「日本語」に関して、学群共通科目の外国語科目「日本語」として、グローバルコミュニケーション教育センターで 10 科目を開設し、学群留学生が大学の講義・演習に必要な力を実践的に学べるように授業を行い、日本語能力向上を図った。
- (7) 学生による学修成果の達成度自己評価システムを確立するため、専門分野ごとの特性を踏まえた学生ワークシートを開発し、1～2 分野で試行する。
達成度自己評価システムを確立するため、平成 29 年度に試験運用及び検証ができるよう仕様の検討を行うとともに、併せて、専門分野の特性をふまえた学生ワークシートの試行についても達成度自己評価システムと統合して開発できるよう継続検討を開始した。
- (8) 社会人等が学びやすい環境実現の一環として、博士後期課程早期修了プログラムの拡大を優先することとし、対象とする分野の検討を進める。
生命環境科学研究科において博士後期課程早期修了プログラムの実施専攻を拡大することとし、平成 29 年度から新たに生物機能科学専攻で実施することを決定した。これにより、平成 29 年度の実施組織は 4 研究科 20 専攻となった。

- (9) 鹿屋体育大学との共同学位プログラム〔スポーツ国際開発学共同専攻(修士課程)、大学体育スポーツ高度化共同専攻(3年制博士課程)〕を、TV会議システムを利用した遠隔地授業により実施する。
両大学に整備した遠隔講義・自動収録システムを活用し、スポーツ国際開発学共同専攻(修士課程)においては14科目で、大学体育スポーツ高度化共同専攻(3年制博士課程)においては4科目で遠隔授業を行い、両大学の特色を活かした教育を実施した。
- (10) 研究開発法人及び企業の開発研究部門の研究者と筑波大学の関連分野の研究者の協働による「協働大学院方式」を採用したライフイノベーション学位プログラムを開設し、学生を受け入れる。
筑波研究学園都市の特性を活かした「協働大学院方式」を採用したライフイノベーション学位プログラム(区分制博士課程)において、平成29年3月までに博士前期課程17人、博士後期課程11人の学生を受け入れ、教育課程を実施した。
- (11) ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえた一体的なアドミッションポリシーの策定のため、各学群ごとに準備を進めるとともに、入学者選抜方法の多様化という観点から、IBスコアの一層の活用に向けた方針を策定する。
各組織において、中教審の3ポリシーのガイドラインに沿って、アドミッションポリシーの見直しを行った。
また、グローバル化に向けた入試改革への対応として、推薦入試において英語4技能検定の導入及び国際的な活動を行っている者を対象とする新たな推薦要件の追加を行った。
さらに、入学者選抜方法の多様化という観点から、新たな学士課程の分野横断型英語プログラムである「地球規模課題学位プログラム入試」及び国際バカロレア資格以外の海外教育プログラム修了者等(ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められている「アビトゥア」の資格取得者やアメリカ合衆国の大学進学適性試験「SAT」の受験者など)を対象とした「海外教育プログラム特別入試(医学類)」の検討を行い、地球規模課題学位プログラム入試は平成29年度入試から、海外教育プログラム特別入試は平成30年度入試から、それぞれ導入を決定した。
- (12) 大括り入試を行うための基本的枠組み及び入学者選抜実施方針について検討し策定する。
全学学群入試改革検討委員会に大括り入学システム作業部会(WG)を設置し、大括り入試の理念、求める能力、入試区分、参加組織等の基本的な枠組みを検討、策定を行った。
また、各区分の試験科目、募集人員、学力の3要素を多面的、総合的に評価する選抜方法等の検討を行った。
- (13) 短期海外留学プログラムによる単位認定を制度化するなど、学生のニーズを踏まえつつ海外派遣プログラムの拡充を図るとともに、海外派遣事業の学生募集を実施する。
留学先において修得した単位を本学において単位認定する以外に、留学の身分異動を伴わない海外における教育活動について事前・事後教育を含めて、授業科目として単位授与を行えるための整理を行った。
- (14) スーパーグローバル大学創成支援事業にかかるキャンパス・イン・キャンパスを実現し、教育活動を推進する。
我が国の学術研究と高等教育と社会を世界に開き、率先して世界の未来を拓く大学の構築に向け、研究と教育のトランスボーダー化を加速する全学的な国際戦略ーキャンパス・イン・キャンパス(以下、「CiC」)構想の取組みとして、平成28年4月にカリフォルニア大学アーバイン校(UCI)と、平成28年9月にサンパウロ大学、マレーシア工科大学とCiC協定を締結し、CiCパートナー校は5大学となった。
- (15) キャンパス・イン・キャンパスによるトランスボーダー大学を具現化するために、科目ジュークボックスの運用を開始するとともに、学生のモビリティを推進する。
CiCパートナー校間で共通に履修可能なコース(科目)として、科目ジュークボックスに、筑波大学約150科目、ボルドー大学約100科目、国立台湾大学約150科目を登録し公開した。また、筑波大学海外留学支援事業「はばたけ!筑大生」を活用してパートナー校に派遣し、学生のモビリティを推進した。

(16) グローバルイノベーション学位プログラムによる国立台湾大学、ボルドー大学とのジョイント・ディグリー・プログラム開設準備を進める他、海外の大学との共同事業推進に向けて準備を進める。

本学と国立台湾大学、ボルドー大学による日本で初めての3大学によるジョイント・ディグリー・プログラム（JDP）としての「国際連携食料健康科学専攻」（仮称）、本学とマレーシア日本国際工科院との JDP としての「国際連携持続環境科学専攻」（仮称）の開設準備をそれぞれ進め、いずれも平成 29 年 3 月に設置申請を行った。

(17) ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえた、一体的なアドミッションポリシーの策定のため、現行の入試に係るもの見直し及び新たに導入する大括り入試について検討する。

全学学群入試改革検討委員会に大括り入学システム作業部会（WG）を設置し、大括り入試の理念、求める能力、入試区分、参加組織等の基本的な枠組みを検討、策定を行った。

また、各区分の試験科目、募集人員、学力の3要素を多面的、総合的に評価する選抜方法等の検討を行った。

(18) 大括り入試導入に関連して、高大接続システム改革に係る検討を進める。

高大接続システム改革を含む学士課程教育の改革を進めるため、新たな教養教育・専門教育導入カリキュラムとして「Specialty Finding 教育」の具体案を検討するとともに、入学から卒業までの学生の学修を効果的かつ円滑に進めることを目的として、学士課程における到達度評価システムの導入に向けた検討を進め、プロトタイプを開発した。また、学生の学びの現状把握とその教育改善への活用のためエンロールメントマネジメントの取組を開始した。

(19) 本学の教育研究成果を普及し、社会に還元することを目的としてニーズの高い専門的な講座をエクステンションプログラムとして開設し、受講料等の適正化を進める。また、履修証明プログラム等数の増加に向けた数値目標の実現のため必要な準備を進める。

各プログラム等を確認するとともに、各教育組織に照会を行い、新たな取り組み状況について、把握・整理した。

(20) 国際バカロレア（IB）教員養成のための学位プログラムを開設し、平成 29 年 4 月から学生を受け入れる。また、附属学校への IB 教育導入のための国際バカロレア機構のコンサルタント訪問に対応する。

①教育研究科は、平成 28 年 8 月に国際バカロレア機構からの認定を受け、平成 29 年 4 月から学生を受け入れることとなった。（募集人員：10 名、志願者：33 名、合格者：15 名）

②附属坂戸高校は、平成 29 年 1 月に国際バカロレア機構からのコンサルタント訪問に対応し、DP の認定を受けた。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

(1) 「協働大学院方式」を採用したライフイノベーション学位プログラム（区分制博士課程）において、次のような特色ある取組を実施した。

①筑波研究学園都市の研究開発法人及び企業の研究開発部門の研究者に加えて、オックスフォード大学（イギリス）、モンペリエ大学（フランス）、ワーゲンゲン大学（オランダ）、カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ）など海外の大学及び研究機関の研究者の参画も得て、国内外第一線の研究者による協働体制を構築し、高度な教育研究を展開している。

②世界から多様かつ優秀な学生を受け入れており、平成 29 年 3 月までに入学した学生（博士前期課程 17 人、博士後期課程 11 人）の出身国籍は 12 カ国に及ぶ。

③THE 世界大学ランキング第 1 位のオックスフォード大学内に本学位プログラムの連携事務所を設置（平成 29 年 2 月）し、海外の卓越した研究者との連携・協働体制の一層の強化を図っている。

(2) 博士後期課程早期修了プログラムは、平成 19 年度の開始以降、学生受入・修了の実績を積み重ねるとともに、企業等への広報活動や説明会の開催等により志願者の裾野を広げ、着実に履修者が増加している。平成 28 年度における博士後期課程の総入学定員に占める本プログラム履修者の占める割合は 7.5%であり、前年度から 1.7 ポイント増加した。

(3) Campus-in-Campus の国内版である Campus-with-Campus 協定を国私立大学のモデル的連携として国際基督教大学と締結し、国外のみならず国内の大学ともトランスボーダーな連携を推進している。

2. 自己評価と課題

- (1) 平成 28 年度年度計画及び重点施策に掲げた取組は、計画に沿って進捗している。「戦略性が高く、意欲的な目標・計画」についても、実績を積み上げながら取組を進めている。
- (2) 学位プログラム制への移行と併せて、大括り入試と「Specialty Finding Term 教育」の導入、科目ナンバリング制の整備・充実及びチューニングシステムの構築、3 系統の学位プログラムの整理・明確化、分野横断型の学位プログラムの導入推進、トランスボーダー連携の推進など、相互に密接に関連する新たな施策が多数あることから、これら全体が一貫した教育システムとして効果的に機能するよう設計する必要があることに、特に留意する。
- (3) 学位プログラムを効果的に運営するための体制の見直しについては、実施内容及びスケジュールを踏まえて、各教育研究組織・支援室及び他部門（研究、管理運営）との連携を密にして円滑に進められるよう、特に留意する。

研究

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) 海外研究機関から招致したユニットについて、URA 等による招致候補の分析評価及び成果のモニター等により、活動状況を把握し、各ユニットの定着・安定・強化につながる支援方法を策定する。また、国際共同拠点育成のための研究の進行状況の把握、支援ニーズの調査及び支援を実施する。

対応事務組織間と共同で平成 29 年 3 月にユニット招致報告会を開催し、現在海外から招致している全 6 ユニット参加のもと、各ユニットにおける活動内容、進捗状況を確認した。

研究戦略イニシアティブ推進機構において、海外教育研究ユニットに対し招致開始から 5 年間人件費及び運営費を支援している。なお、平成 30 年度において実施期間の終了するユニットについては、実績を踏まえ、継続方法について部局の意見等を聴取した上で、検討を開始することとする。

平成 30 年度に終了する 2 つのユニット（人文社会科学、医学）に代わるユニットの公募及び国際共同拠点となるプロジェクト等の調査を平成 29 年度に開始することとする。
- (2) 世界 100 位以内を実現できる研究領域・研究項目を洗い出し、達成度のモニターと評価手法を提案する。また、研究現場の実情との乖離が大きい場合は問題点を洗い出し、フィードバックにより改善する。

研究力強化委員会において、各研究領域の QS 世界大学ランキングを参照して本学の研究力の現状認識を共有し、世界 100 位以内の実現が期待できる研究分野の検証を実施した。

平成 28 年度に世界大学ランキング対策検討タスクフォースを立ち上げ状況の分析と平成 29 年度以降の対応体制等を検討した。平成 29 年度は具体的な施策に落とし込んでいく予定である。
- (3) 第 2 期中期目標期間において実施した学内研究センターの評価結果に基づく改組・再編・集約について、具体的な計画の策定を行う。

研究センター組織再編成構想に関する検討タスクフォースを新たに設置して、既存の研究センター及び研究支援センターに係るヒアリングを行い、各センターを「先端研究センター群」、「研究支援センター群」の機能別に分類するとともに、平成 29 年度から各センターを R1（世界級研究拠点）から R4（育成研究拠点）までの級認定を行い、さらに、PDCA サイクルを徹底して、5 年毎にセンターの研究実績による評価を行うシステム導入を図るなど再編計画について、報告書として取りまとめた。
- (4) 現状の戦略的支援システムを検証し、今後の中長期的な展望に立った資源（ヒト・モノ・カネ）の再配分システムの策定を行うとともに、支援ニーズを踏まえ、高度で効果的な研究支援策、業務フローを策定・検証する。

プレ戦略イニシアティブを新たに外部資金獲得支援として位置付け、平成 28 年度は 2 件採択し、従来の 1 件と合わせて合計 3,700 千円の支援を実施した。また、従来の戦略イニシアティブに加えて戦略イニシアティブ（SS）を新設することを決定した。
- (5) 総合的データベース構築の一環として、より有効な情報発信に向けた研究成果公表ホームページの運用方針を策定するとともに、学内データベース間の連携について調査する。

統合的データベース構築及び、オープンサイエンスの推進に向け、研究データリポジトリ、研究支援体制等のアンケート調査を行った。

平成 29 年度において、調査結果を基に統合的データベース検討タスクフォース（仮称）を設置し、検討を開始することとしている。
- (6) 平成 27 年度に開発した「論文受理報告書登録システム」を試行期間を経て、利用説明会を開催し、全学に導入する。

研究成果及び研究データの適切な管理・保存の責務を果たし、本学における研究活動及び成果の適正性・正当性の確保に資するために構築した「論文受理報告書登録システム」について全学に向けて利用説明会を開催し利用を促進するとともに、運用に関する規程を制定し、本格稼働させる環境を整備した。
- (7) URA 研究支援室、研究推進部、産学連携部等外部資金獲得に関連する組織の業務を整理する。また、研究成果等の分析等により、本学の得意分野及び将来を見据えた重点分野を明確化するとともに、外部資金担当部局と連携して研究支援策を策定し、試行的に実施する。

URA 研究戦略推進室、研究推進部、産学連携部による打合せを定期的開催し、関連する組織の業務を整理のうえ外部資金獲得体制を構築した。

また、科学研究費の採択状況等を分析し重点的に支援する方策を明確にし、併せて大型の研究種目へ積極的に応募することを促すような施策を試行的に実施した。

さらに、人工知能領域を重点分野として、人工知能科学センターの設置に向けてキックオフシンポジウムを開催した。

- (8) 国際的に高い評価を受けている研究分野へ継続して支援を行う。また、更に国際的に高い評価を期待できる研究分野の調査及び分析を行い、効果的な研究支援を行う。

研究力強化委員会において、各研究領域の QS 世界ランキングを参照して本学の研究力の現状認識を共有し、世界 100 位以内の実現が期待できる研究分野の検証を実施した。

- (9) WPI「国際統合睡眠医科学研究機構」において睡眠覚醒の制御機構解明のための研究を強力に推進するとともに、動物施設等の研究基盤整備を改善する。

平成 28 年度は、金沢大学から櫻井武教授を副拠点長としてとして迎えることにより、IIIS のさらなる研究体制強化に加え、管理運営体制および若手研究者の指導体制の強化ができた。また、研究面では、新規睡眠覚醒制御遺伝子の機能解析において、Nature に論文を発表することができた。CREST や科研費（新学術領域研究）、地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（文科省）、AMED（脳融合）等の大型外部競争資金の獲得をするとともに、長期的な運営基盤を確立できた。

- (10) オープンファシリティ推進活動による学内外への機器共用体制強化と機器利用環境の総合的な効率化を図る。また、自立化に向けた工程表等を検討する。機器共同利用や技術的知見提供等を通して地域企業との連携関係を強化する。

研究機器共同利用に関する全学説明会を実施し、機器共同利用化の重要性と本学のオープンファシリティ Web システムとその利用方法を学生・教職員及び学外からの利用希望者に説明し、機器登録と利用促進を図った。また、本年度の新たな試みとしてオープンファシリティ登録部局である工作部門及び医学工作室が合同で「ものづくり工房なんでも相談会」を開催、オープンファシリティ推進室、研究基盤総合センター応用加速器部門及び数理物質系が合同で「ものづくり企業フォーラム」に出展するなど、学内外の新規利用者開拓のための PR を積極的に行った。

課金制を導入した Web システムを通じて、共同利用機器 154 台・委託業務（技術代行）15 業務の運営を行い、学内利用件数（21,322 件（共同利用 42,879 時間、委託業務 3,201 時間・945 検体））、学外利用件数（127 件（共同利用 372 時間、委託業務 24 時間・22 検体））ともに増加し、円滑な研究機器の共用化を実証した。

増加する留学生への利便性向上のために、日本語ページと同一機能・同一情報をもつ英語版 HP を整備した。また、輸出管理貿易管理令に対応する事前審査機能を更に一部改善し、対象者全員が審査後に利用可能となるよう体制を強化した。

Web システム利用のためのローカルアカウントの新設及び発行基準を定め、運用を開始した。これにより、統一認証 ID を所持しない本学で従事する日本学術振興会特別研究員、受入研究員、派遣社員等もシステムの利用が可能となった。Web システムに関しては、東北大学へのライセンスが実現し、同大学での Web 運用が平成 28 年 10 月から開始された。また、他大学からも相談が寄せられており、全国の大学の先駆モデル例になりつつある。

自立化の提案内容をまとめ、工程表の素案を財務当局に提出し、自立化に向けた管理費の捻出・増額の方法について協議を始めた。

地域企業との連携関係強化に関しては、企業訪問を実施している国際産学連携本部との連携を開始するとともに、上記のとおり、展示会や相談会等を開催し、学外への PR 活動を実施した。

- (11) URA 研究戦略推進室の組織体制の見直しを図り、URA 等の人材養成を行う。また、第 3 の職として体制整備を検討する。

本部 URA 2 名を部局に配置して、より教育研究に近い現場での業務経験を積ませると同時に、URA の定例会議を毎週開催し本部 URA と部局 URA の緊密な連携を図った。また、高度専門職としての URA の位置付けについて検討を開始した。

(12) 研究倫理教育の定着に向けてルール化を進めるとともに、平成 27 年度に開発した「論文受理報告書登録システム」を試行期間を経て、利用説明会を開催し、全学に導入する。

筑波大学研究公正規則の対象となる研究者等について（研究公正委員会委員長決定）を制定し、研究倫理教育の対象となる研究者等を明確にするとともに、筑波大学研究倫理教育に関するガイドライン（学長決定）を制定し、研究倫理教育の対象者別の学修方法や実施時期について参照基準を示した。また、「論文受理報告書登録システム」について利用説明会を開催し利用を促進するとともに、運用に関する規程を制定し、本格稼働させる環境を整備した。

(13) URA 研究戦略推進室、研究推進部及び産学連携部の業務の整理を行う。特に新設の外部資金課の業務流れ図を作成し、PDCA サイクルをまわす。また、外部資金獲得増加を目指し、研究成果等の分析等により、本学の得意分野及び将来を見据えた重点分野を明確化し、研究支援策を検討し、試行的に実施する。

URA 研究戦略推進室、研究推進部、産学連携部による打合せを定期的に開催し、関連する組織の業務を整理のうえ外部資金獲得体制を構築した。新設された外部資金課の外部資金獲得業務については、業務流れ図を作成し、PDCA サイクルを開始した。

また、科学研究費の採択状況等を分析し重点的に支援する方策を明確にした。併せて大型の研究種目へ積極的に応募することを促すような施策を試行的に実施した。

さらに、人工知能領域を重点分野として、人工知能科学センターの設置に向けてキックオフシンポジウムを開催した。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

- (1) 我が国初となる文部科学省管轄での遺伝子組換え体の第一種使用について、過年度から継続して研究開発・産学連携を推進した。研究活動の成果としての特許等も申請・登録している。本年度は、花の形質を改変し商業的価値を上げることを期待している遺伝子組換えシクラメンの第一種栽培試験の認可が得られ、来年度に栽培試験を開始することが可能となった。筑波大学の特別共同研究事業として、インプラントイノベーションズ植物バイオ共同研究事業を継続実施した。本年度は、遺伝子実験センターで作出された、酸味を甘味に感じさせる作用を持つ、味覚修飾タンパク質「ミラクリン」を蓄積する組換えトマト（ミラクリントマト）の商業化を目指し、隔離ほ場試験実施に向けた申請を進めた。新たにトーヨーエネルギーファームと次世代野菜開発を進める特別共同研究事業を農林技術センターと連携して開設した。さらに、BASF ジャパン、日本農林社を中核としたコンソーシアムと特別共同研究事業契約に向けて準備を進めた。これらの特別共同研究事業は平成29年4月より開設される T-PIRC の産学連携活動の中核の1つとなることが期待される。
- (2) 生命領域学際研究センターでは、新たに部局としての活動を開始すると同時に部門構成の再編を行い、学際融合の推進を目的とした外部資金研究プロジェクト（野村 ERATO プロジェクト）をセンター内に設置した。重点研究センターとして世界トップレベルの研究を推進することを目的とし、改めてセンターの強みと将来構想の検討を行い、研究テーマとして「栄養・代謝・老化」をキーワードとし、数理統計・ケミカルバイオロジー・構造生物の3分野との連携強化に努めると共に、早期に2部門以上の研究グループを設置することを新たな方針として策定した。センター内の連携強化を目的とし、センター長を中心とするPI会議（教授の会）において、将来構想や大型外部資金獲得戦略に関する議論を継続的に行い、プロジェクト単位でも外部資金の獲得を推進した他、国立研究機関との連携による大型資金の獲得に向け、新たな活動を開始した。その他、留学生や外国人研究者を積極的に受け入れると共に、新たにドイツのフラウンホーファー研究機構との共同研究を開始するなど、国際化の推進も順調に進んでいる。人事面では3名の国際テニュアトラック助教の活動について中間評価を行い、3名共にトップジャーナルに査読付き原著論文を複数持つなど、極めて優れた実績を挙げていることを確認した。また、新規プロジェクトの設置を前提とした助教の国際公募を行い、優れた研究実績をもつ若手女性研究者を候補者として選考した。

2. 自己評価と課題

【全体状況】

- (1) 平成 28 年度においては、URA28 名(自主経費等含む)を雇用し、研究企画、研究戦略、産学連携、外部資金調達等の業務に取り組むとともに、本部と部局を有機的に連携する機能を充実させ、さらなる研究支援体制の強化を図った。
- (2) URA 研究戦略推進室において Web of Science や Scopus などの学術データベースから論文情報等を抽出し、研究者の採用、招聘、派遣等の選考に際して分析データを活用し、研究力強化のための事業を推進した。
また、研究者の科研費獲得及び論文業績等の分析結果を研究推進会議で報告する等、研究者・研究組織へフィードバックを実施した。
- (3) 研究戦略イニシアティブ推進機構の支援の下で、重点センター及び学術センター等において世界的研究拠点形成を目指して重点的に研究を実施した。また、海外の優れた研究機関と連携し、海外教育研究機関の教員を含めユニットごと招致し拠点形成を図った。
- (4) 研究者情報システム (TRIOS) について、更に研究成果の可視化を推進した。また、研究者へ公募情報を HP 上から案内するとともに、研究者が希望する分野等の情報を個別にメール配信する RISS を公開し、外部資金獲得に向けた研究者支援に貢献するとともに、COTRE においてリサーチユニットの研究成果紹介記事等を大学 HP 上に公開し、研究成果の広報に勤めた。
- (5) 研究推進会議において、情報提供及び意見聴取等を積極的に行い、本部と部局間の意見交換や情報共有の場として有効に活用した。
- (6) 教育研究基盤経費の予算総額の減少に伴い、基盤的部分の比率を高め、小規模の系における減少額が最小限になるように配慮した配分方法とした。
- (7) 研究センター組織再編構想に関する検討タスクフォースにおいて、センター再編構想に基づき、研究センター及び研究支援センターに係るヒアリングを実施し、検討を行い、各センターを「先端研究センター群」、「研究支援センター群」に分類し R1 (世界級研究拠点) から R4 (育成研究拠点) といったランク分けを行う再編計画を報告として取りまとめた。また、PDCA サイクルを回すことにより、5 年ごとの評価システムを導入することとした。
- (8) 平成 30 年度共同利用・共同研究拠点認定に下田臨海実験センターを申請した。
また、プラズマ研究センターでは、核融合科学研究所との双方向型共同研究において国内の拠点大学間の連携研究を積極的に推進するとともに、九州、京都、東北大学との連携研究を推進した。その他、研究基盤総合センターでは、タンデム加速器の修復が済み、オープンファシリティとして共用を推進することとした。
- (9) 「筑波大学研究公正規則」を踏まえ、日本学術会議の「科学研究における健全性の向上について (回答) 平成 27 年 3 月 6 日」を基に、『研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン』への対応に関するタスクフォースにて検討を行い、「筑波大学研究倫理教育に関するガイドライン」、「筑波大学研究資料等の保存に関するガイドライン」等を作成した。また、論文剽窃チェックツール iThenticate 及び研究倫理教育教材 CITI Japan に加え、[eL-CoRE] を導入し、利用を促進するとともに、研究者が論文を投稿し掲載受理された場合に登録できる「論文受理報告書登録システム」の試験運用を開始し、利用を促進するなど、不正行為を抑止する環境を整備した。
- (10) サイバニクス研究センターにおいて、関係機関等との連携による臨床試験の実施及び基礎研究へのフィードバック等を推進した。

【自己評価】

当初目標に向かって順調に進んでいる。

【課題等】

- (1) センターの統合、再編を具体的に進めるための工程表を作成し実施していく。
- (2) 研究力をさらに強化するに当たっては、URA の活用、資源 (ヒト・モノ・カネ) の集約を戦略的に行う。
- (3) 不正行為に対する事前防止に向けた啓蒙、施策の継続的な実施
- (4) 外部資金課において対策チームの編成等、外部資金獲得施策を実施していく。
- (5) 先端研究基盤共用促進事業 (新たな共用システム導入支援プログラム) を申請し、採択された。

学生

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) 短期海外留学プログラムによる単位認定を制度化するなど、学生のニーズを踏まえつつ海外派遣プログラムの拡充を図るとともに、海外派遣事業の学生募集を実施する。

海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）の支援プログラムを2プログラム（「キャンパス・イン・キャンパス（CiC）等支援プログラム」及び「語学系研修等参加支援プログラム）を新設し、計5プログラムとした。また、学生募集を平成27年12月期、平成28年4月期及び追加募集（平成28年8月）の3回実施し、出来るだけ多くの学生派遣を支援した。さらに、はばたけ！筑大生以外の本学独自の奨学金制度である「つくばスカラシップ交換留学支援奨学金」、「筑波大学基金（開学40+101周年記念募金）海外留学支援事業」により、交換留学の支援を実施した。

（海外派遣支援採択数 平成27年度 316人 → 平成28年度 859人）

また、短期海外留学プログラムによる単位認定を行うこととし、特に「海外武者修行支援プログラム」では、参加者のうち希望者に対して選考時のプレゼン、武者修行実施、帰国報告会の発表等に基づき、単位を付与した。

- (2) 一の矢地区における新たなPFI事業による短期・ショートステイハウスの運用開始に伴い、既存宿舎の運営者とPFI事業者との業務の重複やリスク管理体制等の検証を行い、円滑な運営体制を構築する。

大学及び2事業者による三者連絡会で、災害・事件・事故発生時の対応や宿舎敷地内への不法投棄物の処理に関するリスク分担、防災監視盤やマスターキーの管理方法等の課題検証及び分担等、円滑な運営体制について協議した。また、一般競争入札により既存宿舎の運営者を決定し、平成29年9月業務開始に向け、円滑な移行体制を構築した。

短期・ショートステイハウスについては、長期借入金による第2期改修工事を開始し、併せて、平成29年度からの運用開始に向け、PFI事業者と管理運営体制を構築した。

- (3) 留学生の学修・生活支援については、チューターによる支援だけでなく、学生交流課事務室前他の2か所にAsk us deskを設置して、留学生の質問等に対応するなど留学生支援の充実を図る。また、在籍確認について、エリア支援室の学生支援及びエリア・コモンズと連携して情報共有し、留学生の問題等への対応により早期問題解決に努める。

新規留学生にチューターを配置して生活、学修支援を行うとともに、日本人学生による渡日時のWelcome desk、在学中対応のAsk Us Deskを設置し、留学生への質問等に対応するなど、留学生支援の充実を図った。

在籍確認については、在留資格（留学）に関わる活動を確認した最後の日から3ヶ月を経過した時点で、当該留学生が行方不明になっているときは、東京入国管理局へ報告義務があること、在留期間の3ヶ月前に学生に対して、在留資格更新のリマインドを行っていること等について、各エリア支援室と情報共有して対応した。また、12月には留学生の在籍管理を徹底するために、教育組織へ在籍状況調査を実施した。

- (4) 海外留学プログラムの一層の検討を行い、海外渡航経験のない学生でも参加しやすい支援プログラムを実施することで、更なる派遣学生数の増を図る。

海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）の支援プログラムに海外渡航経験のない学生でも参加しやすいプログラムとして、これまでの「海外武者修行支援プログラム」に加え、「語学系研修等参加支援プログラム」を新設し、同プログラムでの海外派遣を推進した。

- (5) 授業料免除申請受付の集約化の試行について、授業料免除業務改善WGでの検討を踏まえ、平成29年度第1期授業料免除申請（筑波キャンパスのみ）から実施する。

授業料免除申請受付の集約化に向け、筑波キャンパスの学生に対して、平成29年度第1期授業料免除申請について一括受付（集約化）の試行を実施した。

- (6) 学生のメンタルヘルス問題（精神疾患、発達障害、自殺予防、休学・留年などの大学不適應）への包括的対策を実施する部門として、新たにメンタルウェルネスセンター（仮称）の設置の検討を開始する。

メンタルウェルネスセンターの設置を含め保健管理センターの改革について検討を行った。学長の下に保健管理センター改革準備委員会を設置し、保健管理センターの改革事項とそのロードマップの作成を行った。同委員会では、学生のニーズにあった組織改革が討議され、学生相談室は総合相談窓口の相談ハブ機能に重心を移し、新たな組織体制を検討すること等が提言された。これら一連の改革は、平成30年を目標に進めていくこととなった。

- (7) 校友会の組織化・実質化による卒業生等とのネットワークの強化のため、学内外の有識者からなる委員会において、校友会のあり方を検討し、方向性を決定する。

学内外の有識者等による筑波大学校友会準備委員会を設置し、計7回の委員会を開催し、会員の範囲、会費の額、会員サービス等について検討を行い、校友会の骨格を策定し、校友会設立（平成29年1月21日）を支援した。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

- (1) 福利厚生委員会において、新たな福利厚生事業のあり方について検討し、キッチンカーの試行導入を図った。また、利用者からのアンケート等による評価に基づき、平成29年度からの本格導入に向けた検討を開始した。
- (2) 館山研修所及び山中共同研修所の両施設とも、管理・運営等の全般について民間企業へ業務委託し、事業運営による独立採算型（宿泊料等を事業者の収入とし、その中から維持管理に必要な経費を相殺）とすることで、本学の維持管理経費についての負担を無くするための企画競争による入札を実施した。（平成29年7月運用開始）

2. 自己評価と課題

学生担当副学長所掌の第3期中期目標は、学生の自立性を高めるための支援等に関する目標として、グローバル社会を生き抜くための人間力を身に付けられるように、多様でかつきめ細やかな学生支援を実施するとしている。

その1年目である平成28年度の年度計画等の実施状況は、実績報告に記載のとおりであるが、特に、海外派遣プログラムの拡充及び既存学生宿舎の運営業者の決定と業務開始に向けた移行体制の構築についても、中期目標のきめ細やかな学生支援を念頭に計画どおりに実施することができた。

今後は、年度計画に基づき、海外派遣プログラムの検証と改善案の策定、また、学生宿舎においては、ショートステイハウス、グローバルヴィレッジ等の円滑な運営を行い、本学が掲げる「国際性の日常化」を推進し、留学生及び日本人学生が共に生活することができる住環境の提供に取組むこととしている。

国際

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) 国際協働教育研究推進の一環として、海外パートナー校を拡大し、科目ジュークボックスによるコース履修を実現する。また、教育研究ユニットの招致拡大に向けた具体的環境整備を行う。

新たにサンパウロ大学とマレーシア工科大学とキャンパス・イン・キャンパス（以下、「CiC」）協定を締結し、海外パートナー校が累計5校となった（カリフォルニア大学アーバイン校（UCI）は、CiC 研究パートナー校）。科目ジュークボックスによるコース履修に関して、筑波大学（142 科目）、国立台湾大学（169 科目）、ボルドー大学（93 科目）のコース掲載が実現し、本学およびパートナー校の学生に対して CiC による留学募集を開始した。また、UCI からスポーツ神経科学に関する海外研究ユニットを招致した。今後の海外パートナー校の拡大に向け、オハイオ州立大学に加えてウブサラ大学及びユトレヒト大学において共同研究シンポジウムを開催し、CiC に関する協議を開始した。

- (2) 海外拠点における TV 会議システムを活用し、本学学生に対し留学先現地情報の提供を行うとともに、優秀な留学生受入のための入学者選抜試験実施支援や現地高校生のリクルート活動を実施する。

TV 会議システム等を活用した海外拠点による現地入試の支援を5拠点（上海、台湾、ホーチミン、ジャカルタ、ボルドー）において実施した。また、優秀な留学生獲得に向け、専任リクルーターを採用した。海外拠点、国際室 UIA、各種プログラム担当教員（のべ数で80人弱）と連携し、海外からの志願者の立場に立った広報資料の作成、本学主催による日本留学フェアの企画・実施（ブラジル、チリ、ミャンマー、キルギス）、海外における日本留学フェアへの参加（中国、台湾、マレーシア、インドネシア、カザフスタン、US、ドイツ、オランダ、フランス等）、現地高校訪問（中国、台湾、ベトナム、US、ブラジルにある20校）などのリクルート活動を行い、6,800人を超える潜在的な志願者およびその家族、指導教員に留学に関する情報を提供した。

- (3) 海外拠点を置く国・地域の事情を踏まえた活動評価を行い、同地域における海外パートナー大学（予定を含む。）との相互オフィスの充実・拡大と活用による高機能中核拠点化に向けた方策を策定する。

現地の事情を踏まえた各海外拠点の活動評価を行うとともに、CiC 構想に掲げるトランスボーダーな教育研究活動の展開支援を行う5つの海外拠点（台湾、クアラルンプール、ボルドー、アーバイン、サンパウロ）を、「高機能海外拠点」として整備すべく、海外拠点設置に関する基本方針の見直しを行った。また、4月にはクアラルンプールとの相互オフィスとなる MJIT Tsukuba Office が学内に開設され、共同研究・共同教育プログラムがより一層推進される体制を整備した。

- (4) TGSW2016 の開催により、「産学官連携とイノベーション」をテーマに、筑波研究学園都市を拠点とする諸機関と協力して教育研究成果の国際的発信を行うとともに、「G7 茨城・つくば科学技術大臣会合開催にかかる応援事業」としての広報活動を行う。また、地域のグローバル化を牽引する活動の一つとして国際医療センター（仮称）を設置し、外国人対応を行う。

9月17日から19日の3日間、「産学官連携とイノベーション」をテーマに TGSW2016 を開催した。7年目となる今回は、内閣府、文科省、経産省、茨城県、つくば市を後援組織に迎え、「G7 茨城・つくば科学技術大臣会合開催にかかる応援事業」として広報を行うとともに、研究学園都市内の研究機関にも参加要請を行った。その結果、40を超える研究セッションに世界33か国、113機関からの発表者と国内では最大級の約1,500名を超える参加者により、研究分野ごとの討議を行い、つくば市のレピュテーションの向上に貢献することができた。

- (5) 海外拠点を中心に現地報の提供や TV 会議システムを活用した現地入試支援を行うとともに、専任リクルーターを雇用し、現地高校生のリクルート活動を促進する。

TV 会議システム等を活用した海外拠点による現地入試の支援を5拠点（上海、台湾、ホーチミン、ジャカルタ、ボルドー）において実施した。また、優秀な留学生獲得に向け、専任リクルーターを採用した。海外拠点、国際室 UIA、各種プログラム担当教員（のべ数で80人弱）と連携し、海外からの志願者の立場に立った広報資料の作成、本学主催による日本留学フェアの企画・実施（ブラジル、チリ、ミャンマー、キルギス）、海外における日本留学フェアへの参加（中国、台湾、マレーシア、インドネシア、カザフスタン、US、ドイツ、オランダ、フランス等）、現地高校訪問（中国、台湾、ベトナム、US、ブラジルにある20

校)などのリクルート活動を行い、6,800人を超える潜在的な志願者およびその家族、指導教員に留学に関する情報を提供した。

(6) **スーパーグローバル大学創成支援事業にかかるキャンパス・イン・キャンパス (CiC) 実現のため、海外パートナー校の拡大等の環境整備を行う。**

CiC 実現に関して、海外パートナー校の拡大 (5校)、科目ジュークボックスへの各パートナー校からのコース登録 (計 404 科目)、海外研究ユニットの招致 (6 件) およびパートナー校とのダブルディグリーやジョイントディグリーの創設など、その環境整備は順調に進捗している。

(7) **Tsukuba Alumni Network (T-Net) の登録促進を進めるとともに、T-Net を活用した同窓生への情報発信を行う。また TGSW2016 のセッションの 1 つとして年次大会 (Overseas Alumni Conference) を開催し、各地域代表との意見交換、地域間ネットワークの連携強化を図る。**

第 2 回開催となる今年度の海外同窓生ネットワーク年次大会 (Overseas Alumni Conference) は、2 つの方向で前年より規模を拡大し、地域間ネットワークの強化を図った。それは参加国・地域の拡大 (9→13)、および学生代表の招待である。当日は地域間協力に関するグループ議論を行い、後日、(参加者からの要請により) 連絡網リストを共有した。また、同窓生ニュースの発信を積極的に行い、その数は 2017 年 2 月時点までで 48 件である。また、T-Net 登録者数は前年度末の登録者数 (666 名) の 1.5 倍の 1,022 人まで拡大した。

(8) **海外拠点の設置形態について、実態に合った効率的な運営のための設置形態の見直しを検討する。**

CiC 協定を締結したパートナー大学に設置されている 5 つの海外拠点 (台湾、クアラルンプール、ボルドー、アーバイン、サンパウロ) は、CiC 構想に掲げるトランスボーダーな教育研究活動の展開支援を行う高機能中核的な役割を担っている。このような拠点機能の高度化に対応した「高機能海外拠点」を整備すべく、海外拠点設置に関する基本方針の見直しを行った。

(9) **Tsukuba Alumni Network (T-Net) の登録拡大に向けて、現在の学生に積極的に活用して貰えるような取組について検討する。**

今年度の海外同窓生ネットワーク年次大会 (Overseas Alumni Conference) では、国外 13 か国・地域の同窓生代表に加え、それぞれの学生代表も招待して開催し、その準備プロセスを通じて、各留学生会メンバーの T-Net 登録を呼びかけた。2016 年 12 月には大会に参加した学生代表を招きフォローアップミーティングを行った。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

日越大学の公共政策分野の幹事校として同大学の開設支援、マレーシア・日本国際工科院 (MJIT) 防災プログラムの幹事校として同プログラムの開設支援など、JICA 等を通じた新興国に対する国際協力支援を実施した。

2. 自己評価と課題

キャンパス・イン・キャンパス (CiC) 実現に向け、海外パートナー校の拡大、科目ジュークボックスへのコース登録、海外研究ユニットの招致およびパートナー校とのダブルディグリーやジョイントディグリーの創設など、CiC 環境の整備は順調に進捗している。また、優秀な留学生獲得に向け、専任リクルーターを採用の上、現地高校訪問などのリクルート活動のほか、TV 会議システム等を活用した海外拠点による現地入試支援を実施した。さらに本学の海外拠点を高機能海外拠点として整備すべく、海外拠点設置方針の見直しを行った。また、「産学官連携とイノベーション」をテーマに TGSW2016 を開催し、研究学園都市内の研究機関の参加を得て世界 33 か国、113 機関からの発表者と実数で 1,500 名を超える来場者があった。TGSW と同時開催した第 2 回海外同窓生ネットワーク年次大会で地域間ネットワークの強化を図るとともに、海外同窓生のプラットフォームである T-Net の登録者数を 1,022 名まで拡大するなど、年度計画に掲げた施策は十分に実施している。今後、更なる CiC パートナー校の拡大、科目ジュークボックスによる履修開始、各教育組織における現地入試に係る調査、TGSW 及び同窓会ネットワークの更なる充実などが課題であり、次年度以降もこれらの課題に着実に対応していく予定である。

財務・施設

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

【地域連携】

- (1) つくば3Eフォーラムの活動を通じて、筑波研究学園都市の自治体や研究機関等との連携を推進し、環境・エネルギー等に関する社会的な課題に対して、タスクフォースを中心としたプロジェクト及び積極的な社会発信を実施する。
 - ①平成29年1月に第10回「つくば3Eフォーラム会議」を開催した。「地域を元気にして地球温暖化対策に貢献する経済活動」をテーマとして、地方自治体の長、研究機関、企業及び本学学生等が事例発表や活動報告を行い、市民、研究者、行政関係者合わせて約100名の参加者があった。
 - ②タスクフォースの活動については、「茨城の地域特性を考慮した次世代エネルギーシステム概念の構築及び一般市民への啓発活動」や「アクアポニックス技術のマニュアル化及びアクアポニックスへのバイオマス技術の新たな活用のための試行」等、計5件のプロジェクトを実施した。
- (2) 第1期及び第2期で実施した地域連携や震災復興支援等を通じて構築した地方自治体等との関係をさらに強化し、本学の教育研究機能を活かした地域貢献活動を実施する。
 - ①国や地方公共団体からの受託研究事業等として、「震災復興に係る連携協定」を締結している神栖市3件、「包括連携協定」を締結している常総市2件を実施したほか、「復興庁「心の復興」事業」に1件が採択され、福島県南相馬市において震災以前の豊かな故郷の記憶を次世代に伝える取組みを実施した。
 - ②地域貢献、地方創生を目的とした「社会貢献（地域貢献）プロジェクト」では、45件（採択課題28件、登録課題17件）の取組みを実施した。

【財務】

- (1) 授業料等の改定に向け、他大学の検討状況及び増額による影響度合の調査・分析を実施する。

平成29年度から、国による「給付型奨学金制度」が新たに創設されたことから、当該制度及び学内の関連する制度（授業料等の減免制度、奨学金制度）との整合性を含め、今後の授業料等の改定に向けた論点を整理した。
- (2) 恒常的な基金の募金体制及び50周年基金事業に関し、検討を開始し、今後の計画とスケジュールを策定する。

恒常的な基金及び50周年基金事業のため、平成29年度からファンドレイザー1名を追加し、体制を強化する。また、50周年基金事業を中心に平成35年度までの計画及びスケジュールを策定した。
- (3) 平成28年度中の契約業務等の一元集中化の本格実施に向け、会計業務の合理化・効率化を踏まえた組織体制の構築や統一化及び簡素合理化した業務マニュアルの策定など業務プロセスの簡略化を推進し、経費（人件費）の削減を図るとともに、評価システムの導入に向けた検討を開始する。

これまで、試行的に実施してきた会計業務の一元集中化を、平成28年7月から本格実施した。本格実施後は、会計業務を効率化するため人員配置及び役割分担の見直しを行ったほか、業務マニュアルの整備や財務会計システムの運用改善など、15項目にわたる業務の見直しを実施し業務を合理化した。業務の主な見直し状況は以下のとおり。

 - ・業務マニュアル策定による業務の適正化及び統一化
 - ・財務会計システムの利用方法及び作業工程の改善
 - ・法人カード利用に係る財務会計システム計上方法の簡素化
 - ・勘定科目の統廃合による財務会計システム入力業務の簡素化
 - ・旅費計算書の簡素化（規則の改定） など

上記の業務見直しによる削減効果を人件費に換算した結果、平成28年度においては、試行開始時（平成28年1月）と比較して4,700万円の削減（約21%）効果があった。また、試行開始時から平成32年度までの試算では、約9,000万円の削減（約40%）が見込まれる。

- (4) 経営力強化のための方策として、関係部署の協力を得ながら人事戦略（人件費削減など）、外部資金獲得戦略（共同研究・受託研究の拡充など）、収益的事業の展開（土地等の活用など）を策定するとともに、取組の実施に向けた部局間の調整やフォローアップを行う。

「外部資金獲得戦略」、「収益的事業の展開」及び「人事戦略」による収支構造改革を目的とした「第3期中期目標期間における経営力強化方策（平成29年3月23日役員会決定）」を策定した。

特に寄附金については、「外部資金獲得戦略」に学術研究関係寄附金の拡大を、「収益的事業の展開」に基金の拡充をそれぞれ取組として掲げ、具体的な目標額を設定して推進するとともに、効果的な寄附募集を行うため、国立大学では初となるクラウドファンディング事業者とオフィシャル契約を締結し、寄附金調達を行った。

また、前記の寄附募集のほか、教育研究成果を社会に還元する「エクステンション・プログラム」を実施するなど、「収益的事業の展開」に掲げた取組の一部を平成28年度に先行実施した結果、総額1,501万円（クラウド：1,197万円、エクステンション：304万円）の成果を挙げた。

なお、本方策全体の進捗状況や目標の達成状況に関しては、毎年度定期的にフォローアップすることとしている。

- (5) 平成28年7月の全学会計センターの本格運用開始に向け、会計業務の合理化・効率化を踏まえた組織体制の構築や統一化及び簡素合理化した業務マニュアルの策定など業務プロセスの簡素化を推進し、業務の検証を実施する。

前記（3）記載のとおり

- (6) 社会環境の変化や国の制度改革等を踏まえつつ、新たなスキームによる収益的事業を展開するために業務体制の見直し、経営力強化に必要な情報発信などを行うとともに、これまでに取り纏めた収入・支出改革のフォローアップを行う。

収益的事業を積極的に展開し新たなスキームによる自己収入を確保するため、「財務部収益的事業等プロジェクトチーム」を平成28年7月に設置し、職員宿舎跡地の有効活用など新たな取組案を担当部局へ提案した。

また、これまでに取りまとめた収入・支出改革に関する取組（収入・支出改革アクションプラン推進委員会による提言、学長副学長懇談会が取りまとめた提言）を推進した結果、平成28年度は1,431万円の収入増、1,410万円の経費削減を実現した。

さらに、平成29年に3月に策定した「第3期中期目標期間における経営力強化方策（平成29年3月23日役員会決定）」を着実に達成できるよう、それぞれの戦略等の責任者（副学長等）を明確化し、推進体制を整備した。

当該経営力強化方策の一つとして掲げた「収益的事業の展開」においては、土地の有効活用や基金の拡充など行うべき取組を明確にするとともに、自己収入の獲得目標額を明記し学内に情報発信した。

- (7) 恒常的な基金の募金体制及び50周年基金事業に関し、検討を開始し、今後の計画とスケジュールを策定する。また、規制緩和を念頭に附帯事業についても検討する。

恒常的な基金及び50周年基金事業のため、平成29年度からファンドレイザー1名を追加し、体制を強化する。また、50周年基金事業を中心に平成35年度までの計画及びスケジュールを策定した。附帯事業については、コーヒーの販売、スーツ事業等をスタートするとともに、不動産を活用した取組みについて、検討を開始した。

【施設】

- (1) 全学の土地・施設の使用状況を順次点検・検証するとともに、職員宿舎の再開発整備計画の方向性を策定する。

全学の土地・施設の使用状況を順次点検し、附属小学校保谷田園教場の農具舎、物置及び農林技術センター温室2棟は、重要な財産の不用決定及び取りこわし処分を行った。また、東京キャンパス文京校舎の講義室等の利用状況を調査の上、有効活用の観点から積極的に学外へ貸し出す方策を検討した。その他、遠隔地の職員宿舎について、長期的な修繕計画の観点から入居状況、収支状況を調査し、筑波地区の職員宿舎は、用途廃止計画（平成26年度策定）に基づき、並木2丁目及び並木4丁目職員宿舎の新規の入居を停止し、退去が完了した吾妻1丁目職員宿舎は用途廃止とした。

筑波地区の職員宿舎全敷地について、土地貸付等の有効活用の可能性をコンサルタント事業者に調査を

委託し実施した。全敷地のうち、一度売却を決定後保留していた並木3丁目職員宿舍敷地は、譲渡（売却）することを決定し、1月に第3期中期計画の変更を申請し、文部科学大臣の認可後、譲渡（売却）手続きを行う予定である。

職員宿舍の再開発整備計画については、用途等つくば市条例による制限、市場も変化することから、用途廃止時期に応じた活用方策等の検討が必要なため、平成28年度は用途廃止した吾妻1丁目職員宿舍敷地の土地貸付の可能性を検討した。

- (2) **スペースチャージの対象範囲や課金方法設定等の用途を定めた運用ガイドラインに基づき、スペースチャージの全学導入を開始し、専有面積の最適化を図り維持管理費を確保する。また、戦略的な施設有効活用のため、共用スペースを公募し配分を実施する。**

スペースチャージ制度は、「スペースチャージ運用ガイドライン」に基づき、系組織の研究室及び実験室を対象に、今年度より運用を開始した。確保した財源は維持管理費とし、「スペースチャージ財源によるH28年度実施計画」に基づき空調設備の整備等を実施した。

また、スペースチャージの対象範囲をセンター等まで拡大するため施設・土地委員会の下に新たにWGを設置し、これまで3回のWGを開催し、センター等も系組織と同様、専有する研究室及び実験室を対象とするガイドラインの改定案を示し、学内会議の了承を得て、H29年度より運用することが決定した。

全学共用スペースである公募スペースは「公募スペース運用ガイドライン」に基づき、今年度新たに約1,400㎡のスペースを確保し、全体で約15,000㎡となり、競争的外部資金を獲得したプロジェクト研究チームや拠点未整備の組織に効果的に配分した。

- (3) **グローバルレジデンス整備計画に基づき、PFI事業などの多様な方法によりグローバルレジデンス整備事業を実施する。**

PFI事業による新築宿舍（グローバルヴィレッジ）11棟のうち7棟（310戸）及び、共用施設1棟（コミュニティステーション）の新築整備と、長期借入金による既存宿舍2棟（124戸）の改修整備を行った。

- (4) **現在PFI事業により実施中の生命科学動物資源センター整備事業、附属病院再開発事業を着実に実施するとともに新たな附属病院再開発事業を推進する。**

PFI事業により生命科学動物資源センター施設整備事業、附属病院再開発事業を着実に実施した。

新たな附属病院再開発事業として、病棟Bについて中間免震を用いた改修工事として概算要求を行い、平成29年度施設整備補助事業として採択された。デザインビルド方式による発注を行うため、基本計画策定・発注支援業務を締結し、グランドデザイン打合せを行っている。

- (5) **全学を対象にした計画的な修繕と維持管理計画を策定する。**

文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）を踏まえて、平成28年9月の施設・土地委員会において、中長期的な修繕計画等「インフラ長寿命化計画（行動計画）」検討WGを設置し、施設の課題、中長期的な維持管理等のコストの見通し及び、取組の方向性等を検討し、取りまとめて、本学の計画的な修繕及び、維持管理の中長期的な「インフラ長寿命化計画（行動計画）」を策定した。

- (6) **キャンパスマスタープランについて、これまでの取組状況を総括し、土地・施設の有効活用も加味した新たなキャンパスマスタープランの作成を検討する。**

平成28年9月の施設・土地委員会において、キャンパスマスタープラン2017への改定の検討を行うべくWGを設置し、パブリックスペース、防災、防犯、ユニバーサルデザインの事項を追加し、更に今後6年間の整備計画も盛り込み、作成中である。

- (7) **太陽光発電等の設置計画の策定、空調設備等の高効率機器の導入を実施する。**

太陽光発電設備設置計画に沿って、3A棟、スポーツリエゾン棟に太陽光発電設備20kWを設置した。

2H棟、理科系C棟、工学系学系G棟の空調を高効率空調（個別方式）にするとともに、体芸図書館、図書館情報学図書館、情報メディアユニオンの照明をLED化し、併せて1D棟周辺の外灯5基をLED街路灯に更新等して高効率機器を導入した。

棟別電力量の把握及び利用者への節電意識を促すため、中、南、西地区の電気室と中央機械室の低圧配電盤に電力メータを設置して棟別の消費電力量を可視化した。

〔改善目標の達成状況〕

【財務】

インターネットを活用した TUPS（購買システム）の改善に関する取組状況
（平成 27 年度監事監査による所見）

TUPS の利用率の向上の妨げとなっている要因分析やサプライヤーとの意見交換を実施したことにより、平成 27 年度の利用率 15.7%、利用額 82,289 千円に対し、平成 28 年度は利用率 33.6%、利用額 129,197 千円となった。

【施設】

キャンパスマスタープランについて、これまでの取組状況を総括し、土地・施設の有効活用も加味した新たなキャンパスマスタープランの作成を検討する。

平成 28 年 9 月の施設・土地委員会において、キャンパスマスタープラン 2017 への改定の検討を行うべく WG を設置し、パブリックスペース、防災、防犯、ユニバーサルデザインの事項を追加し、更に今後 6 年間の整備計画も盛り込み、作成中である。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

【財務】

(1) 財務部独自の人材育成に係る取組

- ①国立大学法人を取り巻く財政状況や経営力強化の必要性などについて、財務部の若手職員を対象に勉強会を実施した。
- ②「財務部収益的事業等プロジェクトチーム」の構成員に多くの若手職員を登用し、新たな収益的事業になり得るアイデアの発掘に取り組んだ。
- ③会計業務を担当している学内職員を対象とした「ビジネス実務法務検定 3 級講座」を開催し、最低限の心得、法的センス及び思考方法を体系的に身に付ける研修を実施した。

(2) 財政基盤強化に向けた外部資金の獲得に係る取組

〔年度計画の達成状況〕【財務】（4）記載のとおり

【施設】

系組織の研究室及び実験室を対象に、スペースの流動化・共用化を促して専有面積の最適化を図るとともに、必要な維持管理の財源を確保し計画的な維持管理を行うことを目的とした、スペースチャージ制度の運用が平成 28 年度から開始され、スペースチャージ料として 4,000 万円の財源を確保することができ、公募スペース使用料 3,800 万円と合わせて空調設備整備、部局裁量の修繕、公募スペース等整備を実施した。平成 29 年度からは新たにセンター等の研究室及び実験室を対象とし、約 400 万円の財源確保を予定している。

また、本学において効率的かつ効果的に施設を整備するとともに、低廉かつ良好なサービスの提供を確保するため、「PPP/PFI 手法導入優先的検討に関する取扱い」を定めた。

2. 自己評価と課題

【財務】

平成 28 年度は、第 3 期中期目標期間（6 年間）を通じた「第 3 期中期目標期間に取り組む方策と学内予算編成の方針（平成 28 年 3 月 24 日役員会決定）」や、大学の収支構造改革を目的とした「第 3 期中期目標期間における経営力強化方策（平成 29 年 3 月 23 日役員会決定）」の策定など当該期間の財政運営上の指針を明確化するとともに、従前から継続して取り組んできた収入・支出改革に関する取組（収入・支出改革アクションプラン推進委員会による提言、学長副学長懇談会が取りまとめた提言）による 1,431 万円の収入増や 1,410 万円の経費削減を実現したほか、国立大学では初となるクラウドファンディング事業者とのオフィシャル契約による寄附金募集や教育研究の成果を社会に還元する「エクステンション・プログラム」の実施による総額 1,501 万円の増収など、経営力の強化に向けた一定の成果を挙げたものと認識している。

今後は、当該強化方策で掲げた各戦略等を着実に達成できるよう定期的なフォローアップを行うとともに、新たな方策等による財源の多様化についてそれぞれの戦略担当とも連携・協働しながら検討・実行し、財務基盤を強化していくことが課題である。

【施設】

重点施策については、概ね実施することができた。特にスペースチャージ制度の運用を開始し、整備の優先度を客観的に評価して全学的な実施計画を作成した上で、総合研究棟D等の研究室・実験室空調設備を改修したことは特筆すべき点である。

課題：全学を対象とした計画的な修繕及び維持管理の中長期的なインフラ長寿命化計画（行動計画）を策定したところであるが、具体的な対応として各施設の特性や維持管理・更新等に係る取組状況等を踏まえつつ、出来るだけ早期に個別施設計画を策定し、計画的な維持管理等を推進することが今後の重要課題である。

総務・人事

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) 年俸制教員の増加を図りつつ、平成 27 年度に導入した混合給与制度の適用教員の増加を図る。

年俸制については、平成 28 年度末現在で 544 名（平成 27 年度末現在：474 名）、混合給与については、平成 28 年度末現在でクロスアポイントメントシステム 16 件（平成 27 年度末：16 件）、ハイブリッドサラリーシステム 2 件（平成 27 年度末：1 件）が適用された。
- (2) 経営協議会学外委員に外国人を登用するとともに、同学外委員と大学執行部との懇談の形態や実施について方針を策定する。

平成 28 年 4 月から経営協議会学外委員に外国人を登用している。また、同協議会学外委員と大学執行部との懇談の形態や実施については、昨年度の方針を踏襲することとし、平成 28 年 11 月と平成 29 年 3 月に同学外委員との懇談の場を設けた。
- (3) 年俸制教員評価の実施評価方法等の検証を行うとともに、全学的かつ戦略的な視点からの教員任用が可能となるような運用方法を検討する。また、教員人事における客観性、厳格性の確保に向けた検討を開始する。

全学年俸制教員評価実施委員会において評価方法等の検証を行い、各部局独自で、部局の特色を踏まえた評価基準及び評価方法を策定し、評価が実施できるように「基本年俸表を適用する大学教員の業績評価指針」を変更した。平成 28 年度については、対象者 166 名に対して評価を行い、その評価結果を年俸に反映させた。また、全学年俸制教員評価実施委員会での評価結果を基に、BEST FACULTY MEMBER として表彰できる制度を策定した。

学長リーダーシップの下で、全学的な見地から戦略的かつ柔軟な教員配置を行うための全学戦略ポイントを創出した。加えて、平成 29 年度に公募予定であった助教 13 枠相当の全学戦略ポイントのうち助教 3 枠相当を平成 28 年度に先行して公募を行い、配分先を決定した。
- (4) 女性管理職の登用を促進する行動計画を確実に実行するため、本学の女性の活躍を推進する各種政策を策定する女性の学長特別補佐を配置する。

平成 28 年 4 月 1 日付けでダイバーシティ担当の女性の学長特別補佐を 1 名配置した。
- (5) ハラスメント防止に係る対応を強化するため、常時カウンセラーを配置したハラスメント相談センターを設置し、相談者に配慮した事案の早期解決及び啓発活動を推進する。また、留意事項を取りまとめた「コンプライアンスチェックリスト」を作成し、全教職員に周知する。

有資格のカウンセラーを常時配置したハラスメント相談センターを設置し、相談者に配慮した事案の早期解決を図るとともに、階層別職員研修等におけるハラスメント防止に関する講演の実施、パンフレットのリニューアル、ポスターの作成・配布、書籍・DVD の貸出し等を行い、啓発活動を積極的に推進した。

また、「コンプライアンスチェックリスト」を全体的に見直して記述の明確化・厳密化を図るとともに、特に個人情報保護に重点を置き、「個人情報保護管理の手引き（簡易版）」の作成や、全ての教職員を対象に「個人情報、機密情報の盗難・漏えいを防ぐための各自チェック」を実施し、全教職員に周知徹底をした。
- (6) 財政維持を勘案しつつ、教員については戦略的な教員配置計画の策定準備を行い、事務職員については組織や職員配置、業務内容を見直し、戦略的に重点配置することにより、流動化を推進する。

教員については、学長リーダーシップの下で、全学的な見地から戦略的かつ柔軟な教員配置を行う全学戦略ポイントを創出するとともに、それらを競争原理のもと、部局へ戦略的にポイント配分できる仕組みとして構築した。事務職員については、学内リソースを集約し戦略的な配置を行うための事務系戦略枠により、研究力強化・国際化・業務の高度化等に対応するための職員枠を 10 枠配置した。

- (7) 教育研究分野の特性を踏まえ、専門誌や雑誌など記者会以外の新たな配信先を開拓し、多様なメディアの活用を図る。

全米 50 州すべてで販売されている数少ない全国紙である、USA Today（発行部数が近年まで首位であった）へ学長インタビューを掲載し、本学の特色・魅力を発信した。また、国や機関の研究成果に興味のある研究者や科学記者が多数閲覧しているデータベース Nature INDEX WEB へ本学のプロフィールを掲載するとともに、Nature INDEX 編集者が選定する本学教員の研究論文を毎月 1 本掲載することで、世界中へ研究成果を発信し、より多くの研究者や科学記者が研究成果を閲覧できるようにした。なお、前年度に引き続き、海外の世界最大級のネットワークを有する有料のメディア向け情報発信サービス（AlphaGalileo, EurekAlert!）を活用し、研究成果を発信している。

- (8) 公文書館指定に向け、筑波大学アーカイブズの運営体制等を整備するとともに、設立 50 周年に向け筑波大学 50 年史編纂委員会を設置する。

平成 28 年 4 月 1 日に「筑波大学アーカイブズ」を設置し、利用規程等の制定、施設環境等の充実を図り、公文書館指定に向けた整備等を行った。また、同年に「筑波大学 50 年史編纂委員会」を設置し、同委員会の下に置いた「筑波大学 50 年史編纂専門委員会」において、編纂方針等の検討を開始した。

- (9) 危機発生時の対応訓練及び対応体制の検証を実施するとともに、各所管省庁の指針等を踏まえた危機管理マニュアル等の再点検を実施し、必要に応じて見直しを行う。また、他機関との相互支援体制の在り方について調査研究を行う。

平成 28 年 11 月 18 日（金）、地震発生時の避難誘導及び災害対策本部設置等を内容とした全学防災訓練を実施し、実施後は各組織の意見を基に検証を行った。平成 29 年 3 月、これまでの「危機管理に関する基本計画」を見直し、大学を取り巻く様々なリスクに対応するための「リスクマネジメント基本計画」を新たに策定した。また、他機関との相互支援体制について、既に自治体との体制を構築している他大学等の状況を調査した。

- (10) 安全衛生に関する科目として、従来から開講している科目に加えて、学群生を対象とした総合科目「実践・安全衛生と化学物質」を開講し、学群学生の安全技術教育の習得を図る。

学群の 1～2 年生を対象とした基礎的科目「安全衛生と化学物質」に加え、平成 28 年 9 月、3～4 年生を対象とした実践的科目「実践・安全衛生と化学物質」を新たに開講し、化学物質の危険性・有害性・環境影響がもたらすリスク回避のための方策について、演習を中心とした講義を開始した。

- (11) 事務職員及び技術職員に係る定期評価について、二次評価の在り方等について検証し、必要に応じて見直しを行う。

定期評価については、評価者の評価に係る負荷及び評価者と二次評価者間の評価の乖離の観点から、二次評価の在り方について検証を行った。検証の結果、評価の補助的な役割を担当できる補助者の範囲・役割を明確にし、評価者のサポート体制を強化した。また、二次評価者を調整者とし、調整者は、評価対象者の自己評価と評価者の評価に乖離がある場合などに調整を行うこととし、平成 29 年 3 月期評価（平成 28 年 10 月開始）から実施した。

- (12) 平成 27 年度の監事監査において指摘のあった労働安全衛生法が定める安全衛生委員会の開催及び職場巡視について、大学本部等事業場を始めとする全事業場において、確実に実施することを徹底し、職員の安全衛生の確保に努める。

各事業場の長に対して、法令遵守の観点から、「安全衛生委員会は月に 1 回開催とされていることから 8 月も例外ではないこと」「職場巡視は産業医と衛生管理者の両者で実施すること」「巡視票を整備し記録を残しておくこと」等の具体的指示を徹底し、労働安全衛生法に基づく安全衛生の確保を図った。

- (13) サイエンスコミュニケーターを活用した教育研究成果の的確な捕捉、及び国内外への戦略的広報の強化を図る。

教職員一人ひとりが広報マインドを持ち、広報室に対し主体的に情報を提供することが大切であることから、サイエンスコミュニケーターが系や専攻等に出向き、教職員に対して、教育研究広報の必要性や教育研究成果の積極的な配信への理解と協力を求めることにより広報意識の醸成を図るとともに、教育研究広報を迅速かつ広範に展開すべく、関連部局との連携を密にした。

(14) 公式英語ウェブサイト等において、海外の留学希望者や研究者等が必要とする本学の特長や優れた教育研究成果等の的確な情報発信を図る。

公式英語ウェブサイトにおいて、教育組織のページの見やすさや閲覧したいページまでの到達時間について検証を行った。その結果、英語サイトを開設していない組織があることが判明したことから、英語サイトの無い教育組織に対し、同サイトに代わる英語紹介ページを設けるとともに、そのための「フォーマット」を定め、当該組織に提出を要請した。また、学群や大学院の情報を、サイト閲覧者が最短のクリック数でたどりつけるように、ページの構成を変更した。

(15) 本学のブランドイメージのさらなる向上のため、地域との新たな連携による広報活動を強化し、広報戦略の立案、広報活動の推進を図る。

下田臨海実験センターがフランス共和国タラ財団が保有する「タラ号」の海洋探検プロジェクトのパートナーとして調査協力していることについて、関係組織と連携しながら継続的に公式サイトで周知した。また、平成 28 年度第 6 回広報戦略室会議において、広報戦略の原案を提示し検討を開始した。

(16) 平成 27 年度の監事監査において指摘された、教育研究成果の積極的な情報発信について、学内の情報を効率的に広報室に集める体制の仕組みを構築する。

教職員一人ひとりが広報マインドを持ち、広報室に対し主体的に情報を提供することが大切であることから、サイエンスコミュニケーターが系や専攻等に出向き、教職員に対して、教育研究広報の必要性や教育研究成果の積極的な配信への理解と協力を求めることにより広報意識の醸成を図った。また、情報をタイムリーに収集するため、学内専用サイトにフォーマットを掲載した。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

- (1) 業務の高度化・多様化に対応する人材を育成し、職員一人ひとりの能力向上を図るため、職位ごとに求める人材育成の役割を定めるとともに、採用から 3 年目までの職員に OJT リーダーを配置して組織全体で人材を育成することを明記した「筑波大学 OJT 体制」を策定し、平成 29 年 4 月 1 日から実施することとした。
- (2) 茨城県原子力災害医療協力機関（附属病院を除く。）として、被災者の放射性物質による汚染の測定等 3 項目について、協力の登録を行った。
- (3) サテライトオフィスが常に賑わいを創出し、本学の情報発信活動を効果的に推進する拠点として確立されるため、「サテライトオフィス活性化プロジェクト」を企画し、学内公募を行った。その結果、3つのプロジェクトを採択し、サテライトオフィスの活性化に寄与した。また、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの開催にあたり、本学関係選手の写真展をサテライトオフィスおよび東京キャンパスで開催した。

2. 自己評価と課題

重点施策に掲げた事項については、計画どおりに実施できている。

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) e-ラーニングシステムと教育情報システム（TWINS）との一体的な運用体制の構築に向け、技術面及び環境面での調整を進めるとともに、教育用情報基盤である全学計算機システムを更新する。

教育情報システム（TWINS）が保持している履修データを e-ラーニングシステム（manaba）に自動で取り込む機能拡張を実施した。さらに、教育情報システム（TWINS）に学生向け Web 掲示板機能を導入したことに伴い、e-ラーニングシステム（manaba）で入力した休講情報データを教育情報システム（TWINS）に自動的に表示する機能拡張を実施した。また、全学計算機システムにおいては、導入検討 WG の方針に基づき、端末台数削減、学生用メールのクラウド利用を考慮した仕様書を策定し、システム更新を実施した。

- (2) 学長直轄の大学戦略室を設置し、経営的な観点から法人の将来ビジョンと戦略について検討を開始する。また、関係組織を改組再編し、新たな組織として情報ガバナンス基盤室を設置し、大学作成情報の調査及びメタデータ付与に着手する。

企画室（出版会担当）・総務部（情報化推進課）・附属図書館（情報管理課・情報サービス課）を統合し学術情報部に改組再編し、併せて、従来のように専任を配置するのではなく、複数の教員組織の教員と複数の事務組織の職員がエフォートの一部を使って兼務する教職協働型チームとして機能する情報ガバナンス基盤室を設置し、学内に散在する学内作成情報の集約的把握と組織横断的課題に対する分析体制を構築した。これにより平成 28 年度は当初の予定を超えて、以下の取組みの実施に成功した。

- ① 大学作成情報を学内で共有・活用する上での課題を明らかにするとともに、URA 研究戦略推進室、国際室等を対象とした聞き取りを行い、大学作成情報の提供者、分析者双方の要望を把握した。
- ② 把握された要望を踏まえ、大学作成情報に付与すべきメタデータ項目（所在や管理者・分類等の情報）を決定した。
- ③ タスクフォースによる分析を行っていくことを想定し、その試験的事例として 2 つの分析課題を設定し、室員及び URA 等によるチームを組織して検討を行い、その結果を執行部に報告した。
- ④ ③の検討の際に必要なとなった大学作成情報の所在を調査した上で、当該情報を実際に収集するとともにメタデータを付与した。
- ⑤ メタデータを管理するためのシステムである「大学作成情報マネジメントシステム」β 版を全学サーバ上に構築し、サンプルデータとして④のメタデータを投入した上で、室員及び URA により有用性を確認した。
- ⑥ 全学的な大学作成情報の収集計画及びメタデータ付与のためのガイドラインを策定した。
- ⑦ 情報ガバナンス基盤室の枠組みを活用することにより世界大学ランキング対策検討タスクフォースを設置し、ランキング対策を継続的に実施する体制等について検討した。この結果を踏まえて、国際的評価の向上に取り組むための「世界大学ランキング情報共有ユニット」を基盤とした全副学長体制を整えた。

- (3) 学生・教職員の e-ラーニング及びセミナーによる情報セキュリティ教育の徹底に向けた取り組みを行い、セキュリティ監査の実施によるリスクマネジメントを行う。また、セキュリティ強化のため、キャンパス情報ネットワークのセキュリティ評価を実施するとともに、新しく導入されたセキュリティ対策機能の運用方針を策定する。

情報セキュリティ教育については、学生・教職員を対象とした e-ラーニング（INFOSS 情報倫理）を推進し、教職員、学生を対象とした情報セキュリティセミナー及びシステム管理者を対象としたセミナーを開催した。リスクマネジメントについては、5 組織を対象とした情報セキュリティ監査及び機密情報管理に関する自己点検を実施した。また、脆弱性診断実施のための検討、新導入セキュリティ対策機能の試験運用に基づく運用手順の検討を行った。

- (4) 人事・給与システム（PERSON）を更新し、諸手当等の Web 申請等省力化機能、人物情報源機能、API 連携機能を強化するとともに、決算業務の継続性を担保しながら財務会計システム（FAIR）を更新する。

人事・給与システム（PERSON）については、業務の省力化・サービス性の向上を目指し、基本機能に加え、諸手当等の Web 申請等省力化機能、人物情報源機能、API 連携機能を導入し、システム更新を実施した。財務会計システム（FAIR）は、業務効率化のため業務手順の更なる見直しを行い、機能拡張（マイナン

バー対応、共同研究会計基準変更対応)を実施し、システム更新を実施した。

(5) **オープンアクセス方針について教員への周知を図り、学術雑誌論文を中心とする研究成果のつくばリポジトリへの登録率を高める。**

オープンアクセス方針の周知及びつくばリポジトリへの登録推進のため、つくばリポジトリ Web サイトを充実させ、併せて英文の Web サイトも作成した。また、オープンアクセスウィークイベントとして館内ポスター展示を行ったほか、リポジトリ登録の方法及びその効果等をまとめたパンフレットを作成し配布した。説明会としては、留学生も参加できるように英語併記の資料を用意し、博論インターネット公表説明会を2回(参加者134名)開催した。教員対象としては個別リポジトリ説明会を行い、各研究室等へ随時赴いて説明を行った。

本学研究者の学術雑誌論文(学術論文データベース Web of Science による)1,731件(3月末)で登録可能な987件のうち692件を登録した。昨年度は38%(311/812件)の登録率だったが、今年度は70%(692/987件)と約1.8倍となり、大幅に登録率が上昇した。また、学内紀要については、203誌のうち130誌が登録されており、紀要の登録率は約64%となっている。

つくばリポジトリ収録コンテンツの総数においては、平成28年度は前年度から8.3%増加し、40,344件に拡充した。

(6) **附属学校等への学術情報の提供を強化し、次年度以降の高大連携の計画策定のため、関係組織との協議に着手する。**

附属高等学校への貸出制度の整備を進め、今年度駒場高等学校へ55冊(更新を含めると133冊)、坂戸高等学校へ4冊の貸出を実施した。(平成29年3月31日現在)また、学術論文を検索できるデータベース「Web of Science」を附属学校を含めた契約に変更し、附属高等学校3校でのアクセスを可能とし、データベース提供元と高校生向けの情報検索プログラムの検討を行った。また、次年度以降の連携協力に向け、附属高・駒場高・坂戸高での連絡窓口を確保し、それぞれの図書館関係者と意見交換を行った。さらに、近隣高校では、竹園高等学校と茗溪学園高等学校を訪問し、連携の可能性について情報交換を行った。

(7) **監査法人監査において指摘され、平成23年度から10年計画で実施している蔵書点検については、点検計画及び実施方法の改善策を検討し、継続的に実施する。**

今年度の対象の蔵書約38万冊に加え、来年度以降の対象箇所の一部(12万冊)を追加し、合計50万冊について点検を実施した。資料の単純な読込作業には学内ワークスタディ事業を活用し、データ処理等の業務を効率的に行うことで、予定の範囲を超えて点検を行うことができた。

〔改善目標の達成状況〕

内部監査で指摘のあった文献複写等料金相殺サービスの会計処理について、文献複写等に係る受付料金(収益)は債権計上し、依頼料金(費用)は債務計上するよう会計処理を改善する。

財務管理課と打合せを行い、債権計上は学術情報部アカデミックサポート課相互利用担当で行い、債務計上は今までどおり契約課で行うこととし、債権計上、債務計上を各部署で決裁を終えた後、財務管理課出納へ送付することとした。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

(1) **情報セキュリティインシデント通報窓口の一本化**

「情報セキュリティインシデントを把握した場合の連絡・対応の基本フロー」を策定した。

(2) **情報セキュリティ対策に係る自己点検の実施**

教職員に対し、個人情報・重要な機密情報管理状況の自己点検を実施した。

(3) **筑波大学における情報セキュリティ対策基本計画の策定**

平成28年6月29日に文部科学省通達により、情報セキュリティ対策項目の提示及びそれに基づく情報セキュリティ対策基本計画の平成28年度中の策定指示を受け、情報セキュリティ対策基本計画(平成28年度から3カ年の基本計画)を策定した。

(4) **資料費の減少に対応するため、300万円を目標にクラウドファンディングにより寄付を募った。この寄付は、学生用図書や学生用雑誌の充実にあてる。**

- (5) 民間財団の助成金を獲得し、体育・芸術図書館にアクティブラーニングスペースを整備した。企画から実際の工程まで職員と学生とが協力し、学生の力を生かした整備を行った。
- (6) 学内のアカデミックライティングや留学生向け文書作成サポート担当者による連絡会の事務局として、ライティング支援サービスの全学的展開を支援した。平成 28 年度は特に英文ライティング支援に注力し、海外のライティングセンター担当教員による英文ライティングセミナーや、英文履歴書作成セミナー、英文助成申請書作成セミナーなどを、他部署とも連携の上、実施した。
- (7) 平成 28 年 4 月に施行された障害者差別解消法への対応として、DAC センターアクセシビリティ部門と連携して、教科書等をテキストデータ化し、蓄積・提供するサービスの検討を行い、平成 29 年 4 月からの試行を決定した。
- (8) 状態の劣化が懸念される、附属図書館所蔵の貴重資料である「狩野探幽屏風」の修復を行うため、公益財団法人出光文化福祉財団の平成 28 年度美術品修復助成の申請を行い採択された。600 万円の助成を受けることができ、平成 29 年度より、2 年間の予定で修復作業を開始する。

2. 自己評価と課題

学内構成員に対し、情報セキュリティ教育・啓発、情報セキュリティ自己点検の実施等、啓発活動を行い、セキュリティ強化に取り組むことができた。

さらに、学外での個人情報等の持ち出しによる情報の盗難・漏えい防止に対応するため、個人情報等の安全な取扱いを目的とした、学外から安全にネットワーク経由で情報にアクセス可能でセキュリティを維持したオンラインストレージシステムの試行を開始し、セキュリティ環境の準備を図ることができた。

本学において情報セキュリティ対策は社会的に求められるものであり、経営上の重要課題との認識の下、法人全体として組織的・計画的に取り組むため、「筑波大学における情報セキュリティ対策基本計画（平成 28 年度から 3 年）」を基本として、今後のセキュリティ体制の強化を進める。

図書館の事業を充実させるため、外部資金の獲得に努め、クラウドファンディングによる資料費の獲得、民間財団からの助成によるアクティブラーニングスペースの整備、貴重資料の修復費の獲得を行い、学術情報基盤としての資料の整備、学術情報発信のためのオープンアクセス、オープンサイエンスへの対応、学習支援環境の整備等を進めた。引き続き、助成金の申請や筑波大学基金等を活用した寄付金の獲得を行う。

資料整備においては、電子ジャーナル等の整備方針に基づき、筑波大学の学術情報基盤として電子ジャーナル整備に努め、Wiley Online Library の Journal of Polymer Sciences のバックファイルを追加整備した。電子ブックの充実にも努め、Springer eBooks: Computer Science 2017 を継続して購入することができた。また、シラバス掲載図書 of 全点購入を目指し、追加的な整備を行った。

また、助成により体育・芸術図書館のアクティブラーニングスペースの整備を行ったが、今後は、中期計画 69 にある、「学生の新しいタイプの学習スタイルに対応した次世代学習スペース」の整備に向けて計画立案の準備を進める。

同じく中期計画 69 に基づき、「教育研究成果の保存・発信としてのつくばリポジトリのコンテンツ充実」を行うとともに、オープンアクセス及びオープンサイエンスへの対応を進めていく。平成 28 年度においては、本学研究者による、データリテラシーの国際調査実施に協力した。今後はこの調査等をもとに、本学のオープンデータ、オープンサイエンス推進に積極的な関与を行う。

医療・附属病院

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) TGSW2016 の開催により、「産学官連携とイノベーション」をテーマに、筑波研究学園都市を拠点とする諸機関と協力して教育研究成果の国際的発信を行うとともに、「G7 茨城・つくば科学技術大臣会合開催にかかる応援事業」としての広報活動を行う。また、地域のグローバル化を牽引する活動の一つとして国際医療センター（仮称）を設置し、外国人対応を行う。

国際化推進のために人材交流の推進としていくつかのプログラムを実施し、ベトナムを中心に 28 名の本院医療スタッフの海外派遣と 21 名の外国人医療従事者の受け入れ、海外からの 20 視察団 158 名の受け入れなどを行った。

外国人患者対応としては通訳クラウドサービスを導入、各種院内文書の多言語化などを行った。

- (2) つくばグローバル・イノベーション推進機構と連携してイノベーション創出のための一体的・一元的な基盤を整備するとともに、つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）を全学組織として設置し、大学、研究機関等と連携し、医工連携による臨床研究を推進する。

つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）は、平成 27 年 6 月 1 日に部局内センターとして設立後、平成 28 年 4 月に全学組織として設置された。本学および筑波研究学園都市を中心とする研究機関の医療技術に関する研究成果（シーズ）の収集・登録を行い、その数は 100 を上回った。シーズはそのステージとプロフィールに応じて出口戦略を明確にし、知財戦略相談や実用化に向けた課題について支援を行った。その結果、共同研究 7 件、技術移転 15 件を達成することができた。臨床開発も医師主導の治験の開始が 1 件、準備中が 4 件と急速な展開を図っている。

また、医療技術の開発を目指す若手研究者の育成のパイロットプログラムや、臨床研究に関わる研究者の生涯教育・研修の推進を実施した。

さらに、平成 29 年度 AMED 橋渡し研究戦略的推進プログラム（TR 拠点）に採択された。

- (3) 高度医療人育成のための臨床研修プログラムの充実、専門医レジデント・フェローコースの拡充を図るとともに、医療技術トレーニングセンター（仮称）の整備及び革新的外科学教育システム等の効率的な運用を行う。

全国的な新専門医制度の開始が先送りされた関係で、例年通りの体制で研修プログラムを提供した。平成 28 年度は、68 人のレジデントが新たに研修を開始し、79 人がチーフ課程を修了した。春日プラザに 323 m²の医療技術トレーニングセンターを整備し、種々のシミュレーターを整備して、医療技術の向上を図った。同センターには革新的外科学教育システムの専用スペースを設けて、利用者が効果的に研修できる体制を整備した。

- (4) 粒子線治療等の高度ながん治療の推進のため陽子線治療の次世代装置の導入計画を策定するとともに、BNCT 治験に向けた非臨床試験を開始する。

次世代の治療装置像を具体化するために、国内外の 3 社からの新規装置とそのメンテナンスについての提案が示され、詳細に検討した。平成 29 年 1 月、原子力安全技術センターによる「筑波大学中性子研究開発室」に対する施設検査の結果が「合格」となり、これを受けてホウ素中性子捕捉療法（BNCT）の非臨床試験に必要な施設整備と手続きが終了した。

- (5) 地域における医療連携の強化及び医療提供体制の再構築に向けて、紹介患者増加のための前方支援病院との連携や在院日数短縮のための後方支援病院との連携の強化を図る。

医療機能連携協定締結を拡大（神立病院と平成 28 年 11 月締結）し、総数 61 医療機関となった。また、つくば双愛病院、筑波病院及び神立病院との多職種による病院訪問を行い、逆紹介の受入拡大を図った。さらに、近隣医療機関等との定期的な情報交換会の体制を構築し、20 の医療機関等と情報交換会を 4 か月に 1 回のペースで実施していくこととした。事務 1 名を配置し転院事務調整の効率化を促進することで、医療職の負担軽減と在院日数の短縮を図った。

- (6) 体育系及び医学医療系との連携により、スポーツ医学・健康科学センターを設置し、国内トップレベルのスポーツ医学・医療を実践するとともに、ロボットスーツ HAL を用いたリハビリ療法の臨床研究の推進や生体適合性や安全性の高いデバイスの研究開発を推進する。

スポーツ医学・健康科学センターのサポート内容の充実、設備の設定など活動の基盤整備を重点的にを行い、自由診療体制も整い附属病院の診療センターとしての活動が本格化した。ロボットスーツ HAL については、脳卒中片麻痺歩行障害患者の歩行機能獲得を目的とした医療機器として、T-CReDO が主導して平成 28 年度医師主導の治験を開始した。T-CReDO の未来医工融合研究センターでは、HAL の臨床応用の更なる展開を図るべく、種々の疾患を対象とした実証研究を実施している。

- (7) 外来診療及び内科系入院機能の充実による高度急性期医療機能の強化を図るための、施設改修計画を策定する。

内科系入院機能が存する既存 B 棟の改修計画を策定し平成 29 年度概算要求を行い、平成 29 年度政府予算案に計上された。

- (8) 平成 28 年度の収入目標額（約 293 億円）の達成に向けて、7 対 1 看護体制の推進、病床稼働率 89% 台を維持しつつ、さらなる在院日数の短縮等に取り組むことにより収入金額を確保する。一方で、支出については、委託業務内容の見直し、医薬品等診療材料の購入価格見直し及び後発医薬品への切替拡大等によるコスト削減を図る。

①診療指標としては、7 対 1 看護体制は維持しつつ、手術人数の増加（8,251 人→8,708 人）、初診患者（入院）の増加（入院：17,838 人→18,576 人）、病床稼働率の向上（88.7%→89.2%）、在院日数の短縮（13.8 日→13.1 日）を達成した。

②経営指標としては、臨床指標の向上による診療単価の上昇（外来：19,332 円→20,209 円、入院：82,770 円→85,841 円）に伴い、病院収入金額は前年度実績を 12.4 億円上回る約 305.2 億円を達成した。

③支出については、▲6.6 億円（委託業務内容の見直し▲3.2 億円、医薬品等診療材料の購入価格見直し▲1.7 億円、後発医薬品への切替拡大▲約 0.2 億円、光熱水料費を含む管理的経費▲1.5 億円）コスト削減を達成した。

④収入増に伴う医薬品等診療材料費の増加、老朽化した医療機器の更新及び病院機能強化に向けた投資及び人事院勧告を準用した給与引上等の特殊要因により支出額も増加しているが、コスト削減の取り組みにより前年度実績から約 6.5 億円増加した約 299.0 億円の支出に止めることができ、2 期連続の黒字化を達成した。

- (9) 更なる医療の安全と質の向上にむけて国際病院評価基準、ISO9001 などへの対応を強化する。

病院機能評価及び ISO9001 の認証を継続するため、文書管理を主体に監査を実施するなどして対応した。また、国際病院評価基準である JCI (Joint Commission International) への、国立大学病院初の認証を目指し、医師、看護師、コメディカル及び事務職員による多職種チームを編成し、298 項目に及ぶポリシーを大多数作成した。

[その他特色ある取組の実施状況]

(チャレンジプランの取り組み状況)

- (1) 原子力安全技術センターによる「筑波大学中性子研究開発室」に対する施設検査の結果が「合格」となり、医薬品医療機器総合機構では対面助言を受けた。その結果、ホウ素中性子捕捉療法の実施に必要な施設整備と手続きが終了した。
- (2) JCI (Joint Commission International) への、国立大学病院初の認証を目指し、医師、看護師、コメディカル及び事務職員による多職種チームを編成し、298 項目に及ぶポリシーを大多数作成した。

2. 自己評価と課題

- (1) 重点施策並びに改善目標に掲げた施策については、概ね計画どおりに実施することができ、特に経営面においては昨年度に続き黒字を確保することができた。
- (2) 第3期中期計画においては経営体質を筋肉質に改善して自立的な病院運営の確立を目指し、再開発整備を確実に実施したい。
- (3) 診療報酬改定等の外的要因に左右されない新たな収益確保策として、つくばスポーツ医学・健康科学センター及びつくば予防医学研究センターを整備し、自由診療・人間ドックの拡大を図るとともに、つくば臨床医学研究開発機構を拡充し治験拡大による外部資金のさらなる獲得を目指していきたい。
- (4) 医師不足地域における自立可能な地域医療体制の整備に向けた地域医療再生プランに取り組んできており、配置教員の増員を図り地域貢献の充実を図っていきたい。

附属学校

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) 附属学校の児童生徒や教職員のグローバル化推進の一環として、留学（研修）及び海外の学校との交流を促進し、グローバル人材を育成するため、大学の SGU や附属学校の SGH と SSH 事業等を活用した国際交流プログラムを開発する。
- ①今年度も、附属学校群の児童生徒及び教員は、SGU、SGH、SSH 事業と連携し、積極的に海外の学校との交流を行った。附属学校群全体として、児童生徒では 583 名が、教員では 105 名が海外での留学研修や授業交流などを行った。一方、海外から附属学校を訪問した児童生徒は 87 名、教員は 738 名であった。交流は、米国、カナダ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、タイ、中華人民共和国、大韓民国、台湾、フランス、チェコスロバキアなどの学校と行った。
- ②今年度は、附属学校 3 校が海外 4 校（大韓民国、フィリピン共和国、台湾）と新たに協定を締結した。
- ③SGH 事業の一環として以下の国際交流プログラムの発展開発及び新規開発を行った。
- ・筑波-UBC グローバルリーダーズプログラム（T-UBC）の発展開発
カナダのブリティッシュコロンビア大学との共同プログラムである。平成 27 年度は附属高校を対象として実施したが、28 年度は対象を首都圏の SGH 校に広げ、筑波大学附属学校教育局が提供する国際交流プログラムに発展させ実施した。参加生徒は 29 名（附属高校 3 名、他校 26 名）であった。
 - ・ジュニアグローバルリーダーズプログラム（JGL）の新規開発
T-UBC 参加希望者の英語能力向上を目的として、首都圏 SGH 校（アソシエイト校を含む）の中学 3 年生及び高校 1 年生を対象とした、英語 4 技能の実践的能力育成プログラムである。1 泊 2 日の合宿も含めた短期集中講座として実施した。中学生 15 名（附属中学 9 名）、高校生 5 名（全て他校）が参加した。
- ④SSH 事業の一環として以下の国際交流プログラムの発展開発を行った。
- ・附属駒場高等学校は、台湾台中第一高級中学との生徒研究発表会（2009～16 年度は毎年相手校で実施、2013・15 年度は本校でも実施、2015 年度に姉妹校協定を締結）の規模を発展させ、生徒 20 名を派遣して 14 件（相手校 7 件、本校 7 件）の研究発表を実施した。両校とも毎年、国際科学オリンピックに多くの生徒を国の代表として派遣する学校で、高校生としては国際レベルに達した研究発表が実施できた。
- (2) 附属学校の機能に着目した再編を念頭に、附属学校群全体の教職員を効果的に活用するとともに、自己収入の拡大や支出削減に努める。また、高度な専門性を持つ教師の育成システム構築のための経営基盤の整備を進める。
- 自己収入の拡大や支出削減に向けた以下の施策を実施することにより経営基盤の強化を図った。
- ・附属小学校において募集要項の有料化を継続して実施した。（28' 収入額 4,229 千円）
 - ・心理・発達教育相談室の適正な運営と収入確保の観点から、相談料の増額改定を行った。（27' 収入額 3,339 千円 → 28' 収入額 3,776 千円）
 - ・附属視覚特別支援学校運営業務について、不要となったバスを活用することにより、車両借上げ契約が不要となり、値上がりが見込まれる 29 年度運営業務契約額を削減（約 7,000 千円）した。
 - ・附属久里浜特別支援学校の有人警備業務を機械警備とし契約額を削減（約 4,000 千円）した。
- (3) 全国の大学やその附属学校等と連携し、グローバル社会で通用する人材育成カリキュラムを開発・提案する。
- ①お茶の水女子大学との大学間協定の下、両大学の附属高校が協働して「グローバル時代に活躍できる人材育成のための高校生からのキャリア教育プログラム」の検討を開始し、キャリア講演会を両校生徒が参加して開催した。また、当該プログラム開発を目的とした平成 29 年度概算要求を両大学で行った。
- ②附属坂戸高等学校が、国際バカロレア（IB）日本語ディプロマプログラム（DP）の認定を受けた。
- ③グローバルな素養を育てるカリキュラムの検討を開始し、平成 30 年度提案を目指した作業工程表を作成した。

(4) 附属 11 校の人的・物的資源（リソース）の相互活用を促進するとともに、大学、特別支援教育研究センター、その他関係機関との連携により、附属学校群をフィールドとしたインクルーシブ教育のプログラムの開発に取り組む。

①文部科学省『学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解（心のバリアフリー）の推進事業』を受託し、以下の活動を行った。いずれも、附属の普通学校と特別支援学校の児童生徒の交流を中心としており、障害の理解のみならず、異なる障害同士の理解促進という新たな教育活動の可能性も示され、筑波大学附属学校群の特色が大いに活かされた活動であった。

・黒姫高原共同生活

附属学校 8 校から 73 名の児童生徒が参加した。参加人数、参加学年（小学生～高校生）、就学種別とも昨年度よりも広がり、3 日間の共同生活を通しお互いの理解を深める教育実践ができた。

・共生社会を目指すスポーツ交流とシンポジウムの集い

附属学校児童生徒 110 名に一般参加者も加えた合計 180 名が参加した。障害者スポーツ及びアダプテッドスポーツ、パラリンピアンによる講演、学校種を越えた小学生から高校生までの児童生徒によるシンポジウムを実施した。

さらに、これら 2 つの活動に関して、児童生徒にアンケートを採り、研究としてまとめたものを平成 28 年度の附属学校教育局の「学校教育論集」に 2 編の論文として報告した。

②筑波型インクルーシブ教育システムを目指すプログラムの検討を開始し、平成 31 年度提案を目指した作業工程表を作成した。

(5) 本学教育研究組織、他大学及びその附属学校と連携し、グローバル社会で通用する人材育成カリキュラムを開発・提案する。

①お茶の水女子大学との大学間協定の下、両大学の附属高校が協働して「グローバル時代に活躍できる人材育成のための高校生からのキャリア教育プログラム」の検討を開始し、キャリア講演会を両校生徒が参加して開催した。また、当該プログラム開発を目的とした平成 29 年度概算要求を両大学で行った。

②附属坂戸高等学校が、国際バカロレア（IB）日本語ディプロマプログラム（DP）の認定を受けた。

③グローバルな素養を育てるカリキュラムの検討を開始し、平成 30 年度提案を目指した作業工程表を作成した。

(6) 附属 11 校、大学、特別支援教育研究センター、その他関係機関との連携により、オリンピック・パラリンピック教育も含めたインクルーシブ教育のプログラムの開発に取り組む。

①附属学校オリンピック教育推進委員会を中心に、オリンピック教育プラットフォームと連携して、附属学校群全校におけるオリンピック・パラリンピック教育の実施、オリンピックの価値教育プログラム（OVEP）に関する教員研修会への附属学校教員の派遣、トーマス・バッハ国際オリンピック委員会会長来日記念特別式典への附属学校高校生の派遣、オリンピック・パラリンピック全国展開事業への局指導教員の派遣、つくば国際アカデミックスポーツカンファレンスの大塚特別支援学校での開催などを実施した。

②第 11 回国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム（2017 年 8 月、エストニア共和国）への日本代表チームに選考された 7 名の高校生中 4 名が附属学校の高校生となった。

③高校生を対象としたオリンピック・パラリンピック・ボランティア講座の概要を作成した。

(7) 附属学校の人事・運営・経営面における改革推進に関する具体的スケジュールを策定する。

①附属学校長は、教授が兼務することを原則としつつ、附属学校教員の校長を任用できることとする人事制度改革を決定した。

②附属学校教員の人事異動・人事交流について企画調整会議及び教育審議会で審議を進め、附属学校の専門性確保や管理運営機能改善の観点から実施することの必要性が共有された。今後、具体的な制度設計を検討する。

③附属坂戸高等学校における IBDP の運営経費につき、平成 36 年度までのシミュレーションを種々の条件で行い、黒字転換が可能な人事・経営戦略を検討した。

- (8) 「校長は教授をもって充てる」とした基本規則条項の見直しについては、本年度末までに規則改正を行う。
附属学校長は、教授が兼務することを原則としつつ、附属学校教員の校長を任用できることとし、必要な規則改正を行った。
- (9) 「附属学校教員の人事異動・人事交流の活性化」については、附属学校教育審議会での議論をさらに進め具体化する。
附属学校教員の人事異動・人事交流について企画調整会議及び教育審議会で審議を進めた。今後、附属学校教育の専門性確保や管理運営機能の改善の観点を中心に、具体的な制度設計を検討する。
- (10) 「附属学校の教育研究成果を活かした産学連携活動の促進など、自己収入確保のためのあらゆる施策の検討と実施」については、附属学校から積極的に意見を取り上げ、実現可能な施策を検討し自己収入確保を進める。
- ①聴覚特別支援学校において、集団補聴器に関する研究を企業と連携して行った。
 - ②産学連携相談（相談技術移転マネージャー）を活用し、企業との共同研究契約を締結した。
 - ③科学研究費助成事業の申請・採択率の向上を目指し、附属学校長及び学校教育局指導教員が附属学校教員の奨励研究申請に際して、助言指導ができる体制を設置し、29年度科研費申請件数が前年度27件から35件と増加した。
 - ④附属学校教育局で科研費申請のワーキンググループを設置し、29年度科研費に基盤研究(B)と挑戦的萌芽研究の2研究を申請した。
 - ⑤附属小学校において募集要項の有料化を継続して実施した。(28'収入額 4,229千円)
 - ⑥心理・発達教育相談室の適正な運営と収入確保の観点から、相談料の増額改定を行った。(28'収入額 3,776千円)

〔改善目標の達成状況〕

- (1) 附属学校群の再編を含む人事・運営・経営面における改革の推進に関する取り組み
- ①人事に関しては、教授以外の附属学校教員を附属学校長に任用できるように規則改正を行った。
 - ②経営面に関しては、外部資金獲得のため、科学研究費補助金申請の支援体制を構築し、附属学校教諭からの申請件数の増加及び学校教育局としての申請2件につなげた。
- (2) 初等・中等教育及び特別支援教育における教育モデルの構築に関する取り組み
- ①小学校、中学校、高等学校、大学の4者協働（四校研）による教科ごとの一貫教育モデル構築を目指す検討を行った。
 - ②附属学校群全校でオリンピック・パラリンピック教育を行い、普通学校・特別支援学校におけるオリンピック・パラリンピック教育のあり方を検討した。
 - ③普通学校・特別支援学校の児童生徒及び教員の協働による共同生活型学習とスポーツ交流活動を行い、インクルーシブ教育モデルの構築を目指す検討を行った。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

- (1) SGH 幹事校（附属高等学校）管理機関として、SGH に関する以下の活動を行い、全国の SGH 活動に貢献した。
- ①スーパーグローバルハイスクール（SGH）第1回全国フォーラム開催（参加者延べ約1,000名）
 - ②坂戸高等学校の企画による第5回高校生国際ESDシンポジウム及び第2回全国SGH校生徒成果発表会開催（参加者約250名うちインドネシア・タイ・フィリピンから生徒8名、教員6名）
 - ③スーパーグローバルハイスクール連絡協議会・連絡会を年2回開催（参加者1回目約300名、2回目約350名）
「インドネシアとの国際フィールドワーク」プログラムを昨年度に引き続き今年でも実施し、さらに充実した活動を行った。

- (2) SSH 校（附属駒場高等学校）管理機関として、SSH に関する実践型プログラムの計画を支援し、次年度からの SSH 事業の認定を受けた。3 期 15 年に渡る SSH 事業の実績と成果を活かし、研究開発課題「国際社会に貢献する科学者・技術者の育成をめざした探究型学習システムの構築と教材開発」のもとに新たな実践型プログラムを計画し、第 4 期の SSH 事業に申請した。その結果、平成 29～33 年の 5 年間に渡る SSH 事業が採択された。
- (3) 教員資格・教員免許状に関する以下の活動を行い、全国の教員の質の向上に貢献した。
- ①特別支援学校教員資格認定試験（文部科学省委託事業）：受験者 240 名、合格者 21 名
 - ②教員免許状更新講習：147 講習 受講者 5,304 名
- (4) 朝永振一郎記念第 11 回「科学の芽」賞を実施し、全国の小学生から高校生の科学への探究心の育成に貢献した。（応募総数 2,919 件（過去最大） 「科学の芽」賞受賞 小学生 10 件 中学生 8 件 高校生 3 件）今年度、初めて特別支援学校（知的障害）の児童生徒からの応募があり、「探究賞」「特別探究賞」を新たに設定し、表彰した。
- (5) 桐が丘特別支援学校の高校生 3 名が、東京キャンパス事務室においてインターンシップを行った。
- (6) 附属学校及び附属学校教育局における研究成果を発表し、広く参加者から意見を求めることを目的とする附属学校研究発表会を開催した。「附属学校の新たな挑戦－筑波大学附属学校群からの発信－」を研究主題として、附属学校及び附属学校教育局が取り組んでいるプロジェクト研究、グローバル教育及びインクルーシブ教育から 5 つの研究発表と附属学校教育局教育長による「筑波大学附属学校群・今後の展望」と題した講演及び「各校における研究の取り組み」をテーマにしたポスターセッションを実施した。
- (7) 附属学校教育局教員を中心に、筑波大学と附属学校による共同研究の一環として、「附属学校教育局プロジェクト研究」を行い、平成 28 年度は、3 つのプロジェクト研究を実施した。
- P1 子どもの自主性を育てる学校行事（継続 3 年目）
 - P2 学校教育における ICT 活用に関する研究 2（新規（第 2 期））
 - P3 子どもの国際的資質を育てる実践（継続 2 年目）

2. 自己評価と課題

今年度は、年度当初、教員免許状失効問題への対応に追われたものの、最終的には附属学校群の特色が活かされた活動ができた。第 3 期中期目標・中期計画期間、附属学校教育局及び附属学校群は、グローバル教育とインクルーシブ教育を 2 本柱に活動の展開を計画しており、今年度は、どちらの分野でも一定の成果を出すことができたと考えている。

一方で、附属学校群の今後の在り方の検討や経営基盤の整備については十分な検討ができておらず、次年度以降の課題として取り組んでいきたい。

大学戦略・企画評価

1. 平成 28 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

【企画・評価】

- (1) 定量的評価指標を用いた研究組織評価を試行し、エフォート管理システムの導入に向けた検証を行う。
定量的評価指標を用いた研究組織評価を試行した。エフォート管理システムの導入に向けて、調査を行った。
- (2) 学長直轄の大学戦略室を設置し、経営的な観点から法人の将来ビジョンと戦略について検討を開始する。
また、関係組織を統合再編し、新たな組織として情報ガバナンス基盤室を設置し、大学作成情報の調査及びメタデータ付与に着手する。
平成 28 年 4 月に大学戦略室を設置し、法人の将来ビジョンと戦略について、10 回の室員会議で検討を行った。
- (3) 平成 28 年度中の契約業務等の一元集中化の本格実施に向け、会計業務の合理化・効率化を踏まえた組織体制の構築や統一化及び簡素合理化した業務マニュアルの策定など業務プロセスの簡略化を推進し、経費（人件費）の削減を図るとともに、評価システムの導入に向けた検討を開始する。
「事業評価システム」の検討を開始し、骨子案について執行部レベルにおいて意見交換を行った。
- (4) 全学的調整を経て策定した定量的評価指標を用いた客観的評価システムを試行し、教育研究組織に対する評価を実施・検証する。
全学的調整を経て策定した定量的評価指標を用いた客観的評価システムを試行・検証した。検証内容を踏まえ、国立大学法人筑波大学組織評価規程を制定し、国立大学法人評価との連動を高めた。また、定量的評価指標に基づく組織評価を来年度から実施する。
- (5) 全学的調整を経て策定した定量的評価指標を用いた客観的評価システムを試行し、教育研究組織に対する評価を実施・検証するとともに、当該評価による学内資源配分等の実現に向けて必要な準備を進める。
全学的調整を経て策定した定量的評価指標を用いた客観的評価システムを試行・検証した。検証内容を踏まえ、国立大学法人筑波大学組織評価規程を制定し、国立大学法人評価との連動を高めた。また、定量的評価指標に基づく組織評価を来年度から実施し、重点及び戦略的経費の傾斜配分を実施する。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

大学教員業績評価指針に基づき、極めて優れた取組や活動を行っているとして認定した教員（年俸制教員業績評価対象教員を除く）に対して、学長より表彰を行っていたが、年俸制教員業績評価対象教員が年々増えているため、対象を年俸制教員業績評価対象教員にも拡大し、表彰を行った。

2. 自己評価と課題

平成 28 年度の年度計画や重点施策は、上記のとおりいずれも計画を上回って達成できた。詳細について以下に記す。

- (1) 国立大学法人としての選択、戦略策定に資する体制を整備するために新たに設置された学長直轄の「大学戦略室」において、経営的な観点から法人の中長期のビジョンと戦略について検討を開始した。具体的には、社会環境の変化要因に応じて考えられる「教育目的や内容の在り方」、「規模の在り方」、「新たな事業の拡大の在り方」、「他の設置形態を異にする法人との統合の在り方」などに関する様々な選択肢を検討し提示することとして、中間報告「中長期の大学戦略に関する検討状況」をまとめた。
- (2) これまで、国立大学法人評価に係る年度計画とは別に、全学において年度重点施策を策定し自己点検・自己評価の一環として実施していたが、当制度を発展的に見直し、真に重点的に実施する施策による構成として実質化を図るとともに、法人評価に係る年度計画と一元化した。また、各部局に係る組織評価との連動性を高め、年度における活動実績に係る報告書の項目等を集約するなどして、本部、部局とも業務の効率化を図った。さらに、中期計画とそれに対応する年度計画の確実な進行管理を実現する方策として、当該中期目標期間中の年度別及び各年度計画記載事項に関連する計画事項とそれに係る取組みを列挙し、それぞれについての中期目標期間中の年度別及び当該年度四半期別の進捗計画を明定（「見える化」）した。また、各年度記載事項に関連する年度計画記載事項に係る取組みを進捗計画に併記した。これらにより、関係教職員による共通理解を得て、各計画等の進捗管理の徹底を図るとともに、計画記載事項に係る取組みの関連性をより整合的なものとすることができ、業務の効率化を実現することができた。
- (3) 定量的評価指標を用いた客観的評価システムの試行に夜教育研究組織の評価においては、評価指標の内容として、当該組織の収入と支出、人員数等を明示するとともに、研究及び教育の活動状況を示す定量的評価指標（研究分野一系・センター：指標 15 項目、教育分野一学群：指標 6 項目、研究科：指標 8 項目）を定め、客観的評価システムを試行・検証した。検証結果を踏まえ、国立大学法人評価との連動性を踏まえた「国立大学法人筑波大学組織評価規程」を制定するとともに、定量的評価指標に基づく教育研究組織評価を本格的に実施した。なお、定量的評価指標に基づく組織評価の本格実施は、当初、平成 31 年度頃を想定していたが、環境が整ったことから前倒したものである。さらに 定量的評価指標に基づく組織評価の本格実施と関連して重点及び戦略的経費の傾斜配分を実施する方針を決定した。

産学連携

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) オープンファシリティ推進活動による学内外への機器共用体制強化と機器利用環境の総合的な効率化を図る。さらに、機器共同利用や技術的知見提供等を通して地域企業との連携関係を強化し、社会への貢献度を高める。

研究機器共同利用に関する全学説明会を実施し、機器共同利用の重要性と本学のオープンファシリティWebシステムとその利用方法を学生・教職員及び学外からの利用希望者に説明し、機器登録と利用促進を図った。また、本年度の新たな試みとしてオープンファシリティ登録部局である工作部門及び医学工作室が合同で「ものづくり工房なんでも相談会」を開催、オープンファシリティ推進室、研究基盤総合センター応用加速器部門及び数理物質系が合同で「ものづくり企業フォーラム」に出展するなど、学内外の新規利用者開拓のためのPRを積極的に行った。

課金制を導入したWebシステムを通じて、共同利用機器154台・委託業務（技術代行）15業務の運営を行い、学内利用件数（21,322件（共同利用42,879時間、委託業務3,201時間・945検体））、学外利用件数（127件（共同利用372時間、委託業務24時間・22検体））ともに増加し、円滑な研究機器の共用化を実証した。

増加する留学生への利便性向上のために、日本語ページと同一機能・同一情報をもつ英語版HPを整備した。また、輸出管理貿易管理令に対応する事前審査機能を更に一部改善し、対象者全員が審査後に利用可能となるよう体制を強化した。

Webシステム利用のためのローカルアカウントの新設及び発行基準を定め、運用を開始した。これにより、統一認証IDを所持しない本学で従事する日本学術振興会特別研究員、受入研究員、派遣社員等もシステムの利用が可能となった。Webシステムに関しては、東北大学へのライセンスが実現し、同大学でのWeb運用が平成28年10月から開始された。また、他大学からも相談が寄せられており、全国の大学の先駆モデル例になりつつある。

自立化の提案内容をまとめ、工程表の素案を財務当局に提出し、自立化に向けた管理費の捻出・増額の方法について協議を始めた。

地域企業との連携関係強化に関しては、企業訪問を実施している国際産学連携本部との連携を開始するとともに、上記のとおり、展示会や相談会等を開催し、学外へのPR活動を実施した。

- (2) TIA-nano 方式を一層発展させた連携形態によるイノベーション研究プラットフォームの構築について具体的方針やスケジュールを策定する。

平成 29 年 4 月の設置に向け、植物バイオテクノロジーと生物資源を基調とした基盤的な遺伝子研究から生産・流通を見据えた社会実装までのワンストップ化を実現し、国内外の植物・食料分野のイノベーション研究を牽引するハブ機関を目指す、「つくば機能植物イノベーション研究センター」の設置について、検討した。

- (3) 専任の産学連携担当大学執行役員及び副理事を配置することにより体制を強化するとともに、民間共同研究費や知財収入を増加させ、産学連携活動の自立化を促進する。また、技術移転マネージャー等の評価制度を本格導入する。

4月から大学執行役員（産学連携担当）及び7月から副理事（産学連携担当）を配置し、体制を強化した。平成 28 年度の運営費交付金の知的財産に係る経費について、予算管理の徹底と民間共同研究費の拡大による産学連携関係経費の戦略的活用により、11,800千円（平成 27 年度 36,800千円）に節減し、産学連携活動の自立化を推進している。また、技術移転マネージャー等の評価について、MBO 評価を実施した。

年度当初に国際産学連携本部の方針を提示し、定量的目標を定めた。各技術移転マネージャーはこれに基づき、MBO 用紙を作成した。組織内の役割、年度目標、実現するためのプロセスを記載した後、面談し、目標設定した。毎週の定例会議で進捗確認し、年度末に面談及び評価、次年度への要望を確認した。

①民間共同研究費 401件 1,019,570千円（平成 27 年度 320件、1,044,289千円）

②知財収入 32,063千円（平成 27 年度 31,563千円）

(4) 世界トップ企業との連携を大学経営に資するべく、包括協定の締結や特別共同研究事業を推進し、大型の共同研究件数の増加を図る。

①大型共同研究創生プログラムとして、以下の取り組みを実施している。

大型の共同研究を盛んにするためのプログラム(本学の学際性を最大限に活かす産学連携プロセスは、M2B2A(=Market to Business to Academia)プロセスであり、社会・産業の将来の課題を大学が持つ研究力で解決することである。本学は講座制ではないので、各系の教員を容易にチーム構成できる。従来型のA2B2M(=Academia to Business to Market)、大学で生まれた技術や知的財産を移転先を探す取組に加えてこれを強化した。企業との最初のミーティングではCTO(最高技術責任者)クラスと将来課題を議論し、コンセンサスのもと共同研究の具体化をしていく。この時最適な教員群を作る取り組みを行った。

②特別共同研究事業は、企業等資金により、本学内において共同(アンダーワンルーフ)で研究を行う。また、企業等資金のほかに企業の研究者を受け入れて、本学の教員と対等の立場で共通の課題について共同して研究を行うことによって、優れた研究成果が生まれることを促進する制度である。平成28年度の特別共同研究事業は、6件、141,653千円である(平成27年度は、5件、149,713千円)。

③平成28年度の1,000万円以上の共同研究は19件で、そのうち新規が14件、5件は継続案件であり、複数年契約が始まったのも、特別共同研究事業の成果である。

(5) 本学卒業生をはじめとした起業家等の協力を得て、起業文化醸成や起業に向けた実践的なアントレプレナー教育プログラムの開発に着手する。

本学では、起業文化醸成や起業に向けた実践的なアントレプレナー教育プログラムとして、以下のような授業の開設やイベント等を開催した。

①筑波クリエイティブ・キャンプ(TCC)は、学生が、実践的な起業力を身につけ、自ら起業することを目指す授業科目である。本学出身者を中心とする経営者陣が、講義とメンタリングを担当し、最終日には一般公開によるプレゼンテーションを行う。平成27年度から、学群自由科目として開講され、同年度の受講者数は89名であった。平成28年度は、前年度の状況を踏まえ、入門編としてベーシック(学群自由科目)及び起業を目指す人の事業化プランをブラッシュアップするアドバンスト(学群自由科目、大学院共通科目)の二本立ての構成とした。

(TCCベーシック受講者数:38名、TCCアドバンスト受講者数:28名)

②ビジネスアイデア創出ワークショップ(H28年6月、デザイン思考を用いて新事業アイデアを創出する方法を学ぶワークショップ)を実施した(参加者:16名)。

③起業家育成プログラム「リーンローンチパッド」(想定顧客へのインタビューを通じたニーズ検証を特徴とするプログラム)を実施した。

(H28年7月~10月、基礎編4回+応用編2回、基本2週に1回で実施 参加者:21名)

④平成28年度文部科学省受託事業:「Talent-Connect」&「アクセラレーションプログラム」を実施した。事業化・経営ノウハウ人材とシーズ人材を繋ぐことを目的とした人材マッチングイベント「Talent-Connect」(平成28年10月)及びマッチングにより成立したチームが事業化に向けて共同で実証活動を行う「アクセラレーションプログラム」(平成28年12月~平成29年2月)からなる。経営人材延べ40名、シーズ人材21チーム(29名)が参加した。マッチング申請数12チームの中からアクセラレーションプログラムに7チームを選出した。平成29年3月に最終成果発表会を実施した。最優秀賞には、本学体育専門学群生が代表のチームが選ばれた。これらのプログラムを実施し、その成果を検証し、シーズ事業化支援のために有効な要素を抽出した。これらの成果を来年度以降の同プログラム及びアントレプレナー教育センターの設置準備を進める際に活かす予定である。

また、文部科学省の次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)申請に向けた取り組みとしては、大学内の起業家育成講座の把握、強化すべきプログラム案、民間資金の確保等に向けた、大学及び企業訪問(聞き取り調査)等の取り組みを行った。

- (6) つくばグローバル・イノベーション推進機構と連携してイノベーション創出のための一体的・一元的な基盤を整備するとともに、つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）を全学組織として設置し、大学、研究機関等と連携し、医工連携による臨床研究を推進する。

当機構は、平成 27 年 6 月 1 日に部局内センターとして設立後、平成 28 年 4 月に全学組織として設置した。本学および筑波研究学園都市を中心とする研究機関の医療技術に関する研究成果（シーズ）の収集・登録を行い、その数は 100 を上回った。シーズはそのステージとプロフィールに応じて出口戦略を明確にし、知財戦略相談や実用化に向けた課題について支援を行った。その結果、共同研究 4 件、技術移転 15 件を達成することができた。臨床開発も医師主導の治験の開始が 1 件、準備中が 4 件と急速な展開を図っている。

また、医療技術の開発を目指す若手研究者の育成のパイロットプログラムや、臨床研究に関わる研究者の生涯教育・研修の推進を実施した。

筑波大学は、平成 29 年度 AMED 橋渡し研究戦略的推進プログラム（TR 拠点）に採択された。

- (7) 学内関連組織や学外組織と連携を強化し、保有する特許等の知的財産について、事業化シナリオの作成等による高付加価値化に努め、活用を推進する。

事業化を見据えた技術評価を行う発明等届出審査会を原則毎週 1 回開催している。また、知財マネジメントを強化するための組織改革を協議する場としてワーキンググループを 5 回開催した。技術移転マネージャー及び産学連携 URA の、より効果的な配置を検討した。さらに、外部の広域 TL0 の活用を検討することとした。

26 年度から 27 年度にかけて、知財収入は 80% 増えて、31,563 千円になった。強い特許の創出のため、発掘：特許化前のアイデア段階から、弁理士に相談する知財相談会、育成；知財委員会（弁理士 2 名、特許管理技能士 1 名、技術移転マネージャー 11 名）で、教員と議論している。知財相談会は、平成 28 年度は医学医療分野以外の全学を対象に 2 回開催した。

また、文部科学省、経済産業省の作成した「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」の対応として、知的財産の活用に向けたマネジメント強化に係る検討を開始した。

(27' 知財収入 31,563 千円 → 28' 知財収入 32,063 千円)

- (8) 世界トップの創薬企業やエレクトロニクス産業を対象に海外企業との連携について推進し、共同研究費を増加させる。

平成 27 年度の文部科学省の調査で外国企業との共同研究費受入額が昨年 16 位から 2 位になった。受入額は、129,765 千円である。国際産学連携が対 26 年度比 10 倍に拡大した。

(27' 海外企業との共同研究 7 件、129,765 千円 → 28' 海外企業との共同研究 7 件、154,685 千円)

平成 26 年度までは海外企業との共同研究はわずかだったが、平成 27 年度に 10 倍近い額になり、海外企業との共同研究の受入額は、全国の大学の第 2 位となった。本学は附属病院、医学医療系を有しており、日本の製薬企業とは共同研究を行っていたが、製薬企業の TOP は海外企業であり、この共同研究を強化しようと活動した。1 次面談から 4 次面談のプロセスを経てその結果大きな共同研究がスタートした。今後、電機メーカー等にも拡大していく。

平成 28 年度の海外企業との共同研究は、3 件、16,634 千円。

- (9) 本学の教育研究成果を普及し、社会に還元することを目的としてニーズの高い専門的な講座をエクステンションプログラムとして開設し、受講料等の適正化を進める。また、履修証明プログラム等数の増加に向けた数値目標の実現のため必要な準備を進める。

平成 28 年度から、エクステンションプログラムを開設した。同プログラムは、本学の教育研究成果等を広く社会に開放・発信することを目的としてニーズの高い専門的な講座を開設し、受講者に対し講師等の人件費を含む受講料の負担を求めることにより、その結果としての収入増を目指すものである。平成 28 年 5 月から、各部局に対し、同プログラムの概要と企画要請を兼ねた説明会を実施した。今年度は 5 講座を開設し約 3,000 千円の収入を得た。

- (10) つくば臨床医学研究開発機構の組織整備・拡充を重点的に実施するとともに、大学、研究機関等と連携し、医工連携による臨床研究を推進する。

前記（6）記載のとおり

- (11) つくばグローバル・イノベーション推進機構と連携してイノベーション創出のための一体的・一元的な基盤整備に関する筑波研究学園都市内関係機関等の協議組織（ALL TSUKUBA イノベーション推進機構（仮称））を立ち上げる。

インパクトのあるイノベーションの創出には事業プロデュース機能が不可欠であるが、TSUKUBA エリアでは、これが不足しているとされていた。そのため、各機関でこの機能を個々に構築・維持していくのではなく、事業化戦略を踏まえつくばの幅広い技術の結集を図る観点から、筑波研究学園都市内の研究機関・民間企業等とともに、つくば国際戦略総合特区において、グリーンイノベーション、ライフイノベーションの分野で8つのプロジェクトを推進する、つくばの新たな産官学連携の中核（ハブ）としての機能を展開してきた、筑波研究学園都市内関係機関等の協議組織であるつくばグローバル・イノベーション推進機構（TGI）を発展的に改組した。

平成 28 年 9 月にTGIと茨城県の共同で申請した事業計画「つくばイノベーション・エコシステムの構築－医療・先進技術シーズを用いた超スマート社会の創成事業－」が、文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に採択されたことを受け、つくばの大学・研究機関の技術シーズを事業化させる取組を開始した。この取組には茨城県、つくば市、筑波大学、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、高エネルギー加速器研究機構、産業技術総合研究所、その他の機関が参画・協力している。

「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」の採択決定により、事業を加速するため、事業プロデューサー（本学、山海嘉之教授）の下で、企画運営マネジメントチーム（各事業化リーダー（チーム長））が各事業化チームの活動全体を総括している。2つの事業化チームが各事業化プロジェクトの中心研究者と相談・調整しながら運営を行っている。今後、事業化プロジェクトの候補として基盤構築プロジェクトを実施するため、基盤構築プロジェクトチームが中心研究者と相談・調整しながらプロジェクトを運営する事業実施体制を整えた。

2つの事業化プロジェクトのコア技術は、筑波大学の国際統合睡眠医科学機構の柳沢正史教授及び数理物質系の安野嘉晃講師のものであり、本学も事業化に向けて主体的に関わっている。

TGI の事務局に事務管理、イノベーション・エコシステム推進企画、特区・地域連携の3チームを置くため、TGI 事務局組織規定を改正したほか、事業化リーダー（チーム長）の雇用にかかる職員就業規則の改正、兼業規定の制定、職員の給与に関する規程の改正、事業プロデューサーと企業、大学等の利益相反に関する規則も制定された。

- (12) 世界トップの創業企業やエレクトロニクス産業を対象に海外企業との連携について推進し、共同研究費を増加させる。

前記（8）記載のとおり

〔改善目標の達成状況〕

- (1) 知的財産運営の自立化に向けたプランは、短期的な視点に加え、5年から10年といった中長期的なプランでのシミュレーションが必要である。また、知的財産に関する評価や目利きの能力を涵養し、サイバーダインに続く特許収入の核となるシーズを発掘していただきたい。

平成 26 年度特許経営健全化ならびに平成 27 年度以降の民間共同研究の増大を受けて平成 29 年度に特許経費の自立化（すべてを間接経費で充当する方式）を目指している。

また、国際統合睡眠医科学研究機構の柳沢教授、長瀬教授、数理物質系の安野講師（OCT）、藻類バイオマス・エネルギー開発研究センターの渡邊教授、生命環境系の江面教授（トマト）、プレジジョン・メディシン開発研究センターの佐藤教授（1000 ドルゲノム）など強いテーマを強化していくこととしている。

- (2) つくばイノベーション・エコシステムの構築については、第3期中期計画にも明記しているが、ALL つくばイノベーション推進機構（仮称）の機能やアントレプレナー教育の内容等については、取組の実現性や成果の予測のほか、概算要求等で財源が十分に確保できない場合の自走化の見込みも含め、引き続き検討を進める必要がある。特にファンディングの実施に当たっては、資金の運用などの点でリスクを負うことになるため、他大学等の事例も参考にしながら、今後十分な議論をしていただきたい。

つくばイノベーション・エコシステム構築事業について、茨城県及び（一社）つくばグローバル・イノベーション推進機構が提案（筑波大学は参画機関）した文科省地域イノベーション・エコシステム形成プロ

グラムに平成 28 年 9 月末に採択され、今後 5 年以内に企業への技術移転やベンチャー企業創出、IPO を目指すこととしている。アントレプレナー教育については、当初同プログラムに含まれていたが、募集時に内容が見直されたため、アントレプレナー教育に係る経費は措置されなかった。現在、文科省のアントレプレナー教育プログラム(EDGE)の後継プログラムである次世代アントレプレナー育成プログラム(EDGE-NEXT)の公募が開始されている。本学も、EDGE プログラムの採択機関と連携し、申請準備を進めている。ファンディングについては、ベンチャーのストックオプション(新株予約権)を大学で取得することができるよう規制緩和をお願いしている。今後ストックオプションを現金化した際に基金として活用できる仕組み及びその運用に係る規則等について検討する予定である。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

- (1) グローバル連携のトピックスは、今年度開催した Tsukuba Global Science Week でのメインセッションである「産官学連携とイノベーション」を国際産学連携本部が担ったということである。
- (2) 県内中小企業との連携：県内の共同研究実施件数は、平成 27 年度は 26 件で全国 28 位であるが、平成 28 年度は 34 件である。今年度は、茨城県の商工労働観光部との連携を強化し、国際産学連携本部の教員及び技術移転マネージャーが、茨城県工業技術センターの評価委員及び工業技術研究会顧問等に就任した。また、「グローバルニッチトップ企業育成促進プロジェクト」(評価委員就任)と連携し、本学・茨城大学の研究者にプロジェクトへの参加を呼びかけ、中小企業が大学の技術シーズを活用する開発・試作を奨励した。これにより、本学教員のシーズを活用した企業の機器開発費が 6 件採択された。このように茨城県に対し積極的に提案するなど、より深化した産学連携を行った。
- (3) 経産省事業「シーズ・発掘・活用事業」：茨城県成長 5 分野に合わせた産学連携プラットフォームを作成した。茨城大、千葉大、名工大、農研機構がチームを組んで連携した。千葉大が制作した、特許を中小企業の経営者、技術者にわかりやすく動画で紹介する「インフォグラフィックス」を他機関でも制作し、充実させた。本学では芸術専門学群と連携して、学生アルバイトが制作、教員が指導した。これにより、①特許をわかりやすくユーザーに動画で示す大学における工業デザインの一つのジャンルを構築できた。学生が作成したインフォグラフィックスが、産学連携プラットフォームに掲載されることは、工業デザインの成果が市場に向けて発信されることになる。②芸術専門学群の学生の新たな特許教育の手段ともなった。インフォグラフィックスの取り組みは、今後も継続する予定である。
- (4) 大学発ベンチャーの設立：平成 28 年度は 7 件(平成 27 年度は 9 件)、累計 117 社となっている。大学発ベンチャーの大学内登記について、大学規則を改正し、産学連携推進プロジェクトの中のベンチャー創業プロジェクトの採択期間中についてのみ可能とした。平成 28 年度は 1 件の申請があり、承認した。また、学生の起業支援の一環として、ILC 棟内に 24 時間使用でき、かつ Wi-Fi 環境のある活動拠点を整備した。

2. 自己評価と課題

- (1) 平成 26 年度～平成 27 年度は共同研究の大型化により、民間共同研究費 10 億円（2 倍増）、海外企業との民間共同研究費 1.3 億円（10 倍増）であった。
- (2) 本部運営体制の刷新(開発研究組織を設置した。大学のミッションの中で社会貢献に対応するセンターであり、外部資金のみで運営する組織である。既に藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センターを設置しているが、平成 29 年 1 月にプレジジョン・メディシン開発研究センターを設置した)。
- (3) 大型の共同研究を盛んにするためのプログラム(本学の学際性を最大限に活かす産学連携プロセスは、M2B2A(=Market to Business to Academia)プロセスであり、社会・産業の将来の課題を大学が持つ研究力で解決することである。本学は講座制ではないので、各系の教員を容易にチーム構成できる。従来型の A2B2M(=Academia to Business to Market)、大学で生まれた技術や知的財産を移転先を探す取組に加えてこれを強化した。企業との最初のミーティングではCTO（最高技術責任者）クラスと将来課題を議論し、コンセンサスのもと共同研究の具体化をしていく。この時最適な教員群を作る取り組みを行った。)
- (4) 特別共同研究事業は、企業等資金により、本学内の共同（アンダーワンループ）で研究を行う。また、企業等資金のほかに企業の研究者を受け入れて、本学の教員と対等の立場で共通の課題について共同して研究を行うことによって、優れた研究成果が生まれることを促進する制度である。さらにこの事業の中から発展する形で新しい開発研究センターの設置検討を行った。
- (5) 平成 26 年度までは海外企業との共同研究はわずかだったが、平成 27 年度に 10 倍近い額になり、海外企業との共同研究の受入額は、全国の大学の第 2 位となった。本学は附属病院、医学医療系を有しており、日本の製薬企業とは共同研究を行っていたが、製薬企業のTOPは海外企業であり、この共同研究を強化しようと活動した。1 次面談から 4 次面談のプロセスを経てその結果大きな共同研究がスタートした。今後、電機メーカー等にも拡大していく。
- (6) 平成 28 年度は、上記のような施策により民間との共同研究の配分額が順調に伸びており、1 千万円以上の共同研究の件数が、27 年度に 8 件から 16 件になったが、28 年度は 19 件となった。このうち 5 件は複数年契約であり、この複数年契約が始まったのも特別共同研究事業の成果である。
- (7) ベンチャー創業もここ数年増加している。プレジジョン・メディシン開発研究センターとの特別共同研究事業も大学発ベンチャーが担う。ストリーム・テクノロジー（平成 28 年度常陽銀行ビジネスアワード最優秀賞受賞）など。平成 28 年度は 6 件を認定した。また、起業家教育・支援策も充実してきている。
- (8) 平成 28 年度文部科学省受託事業：「Talent-Connect」&「アクセラレーションプログラム」を実施した。事業化・経営ノウハウ人材とシーズ人材を繋ぐことを目的とした人材マッチングイベント「Talent-Connect」（平成 28 年 10 月）及びマッチングにより成立したチームが事業化に向けて共同で実証活動を行う「アクセラレーションプログラム」（平成 28 年 12 月～平成 29 年 2 月）からなる。経営人材延べ 40 名、シーズ人材 21 チーム（29 名）が参加した。マッチング申請数 12 チームの中からアクセラレーションプログラムに 7 チームを選出した。平成 29 年 3 月に最終成果発表会を実施した。最優秀賞には、本学体育専門学群生が代表のチームが選ばれた。これらのプログラムを実施し、その成果を検証し、シーズ事業化支援のために有効な要素を抽出した。これらの成果を来年度以降の同プログラム及びアントレプレナー教育センターの設置準備を進める際に活かす予定である。
- (9) 筑波研究学園都市及び地域連携
平成 26 年度に開始した産業技術総合研究所との「合わせ技ファンド」を、平成 27 年度から国立研究開発法人との連携によって生まれる成果で新たな民間共同研究創出を目的とした「つくば連携強化事業として、筑波研究学園都市内の研究機関を対象を拡大した。平成 26、27 年度の採択テーマの研究成果について、産総研・筑波大学合わせ技ファンドピッチ会を開催し、上位 7 件の研究成果を平成 28 年 7 月 28 日開催した産総研・筑波大学合同 JST 新技術説明会で発表した。この結果、これまで、同説明会における共同研究成立件数は 1 件程度であったが、今回は発表した 7 件中 5 件の民間共同研究が開始された。国立研究開発法人（産業技術総合研究所）と一緒に実施することのシナジー（場及び技術）が証明された。

(10) TIA

- ①つくばに拠点をおく産総研、NIMS、筑波大、KEK が推進の中核となり、経団連の協力を得て、わが国のオープンイノベーションの推進と次世代の人材育成を推進してきた「TIA-nano」は、28年4月に東京大学が5つ目の中核機関として参加し、「TIA」として新たなスタートを切った。
- ②東京大学の参加により、新たな連携の可能性が拡大し、その研究領域もナノテクノロジーを土台に、バイオ、医療工学、計算科学、IoTへと拡大し、産業との関わりも多様化した。
- ③常駐の事務局をつくばイノベーションプラザ(つくば駅)と東京大学フューチャーセンター推進機構内(柏駅)に設置した。
- ④組織を超えた世界最先端科学技術イノベーション拠点構築により、将来のイノベーションの芽となる研究テーマを探す「TIA 連携プログラム探索推進事業「かけはし」」をスタートさせた。本事業では中核5機関の研究者を対象にテーマを公募し、応募79件中採択39件を採択した。このうち10件は5機関連携のテーマを採択している。
- ⑤平成28年10月11日に第8回シンポジウムをTIAの全体連携・研究領域拡大をテーマに開催した。また、同時にポスターセッションでは、「かけはし」の採択テーマおよびTIAを活用する研究プロジェクトの成果を紹介した。

(11) 今後の拡大プラン

- ①知の拠点の拡大(産官学連携を促進する研究拠点、外部資金のみで運営するオールジャパン研究拠点、産学がアンダーワンルーフで研究する研究拠点)し、産官学連携促進の場づくりを推進する。
- ②知の拠点における資金の流動性を促進する(大学構内で収益を伴う事業、研究型企業の大学内施設の登記、大学発ベンチャーストックオプション、ベンチャー企業上場益の基金化、資材調達の迅速化)。
- ③人材の好循環(産官学共創プロデューサーの配置:大型の共同研究や国の事業を大学に引き寄せる人財)により、民間共同研究費の更なる拡大を目指す。

(12) 産学官連携による共同研究強化のためのガイドラインに係る対応

文部科学省、経済産業省が定めた「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」に係る本学の対応として、国際産学連携本部に対応委員会を設置し、「資金の好循環」検討WGにおいては費用負担の適正化(直接費と間接費のあり方)、「知の好循環」検討WGにおいては知的財産のマネジメント強化、リスクマネジメント(営業秘密管理)、「人材の好循環」検討WGにおいては、企業と大学のクロスアポイントメント制度、産学連携に関わる教員のインセンティブについて検討している。今後大学の方針をまとめ、実行に移してゆき、「組織」対「組織」の「本格的な共同研究」を推進する。

DACセンター

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) キャリア支援室、ダイバーシティ推進室、障害学生支援室の統合により、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターを設置することにより支援機能を拡充するとともに、同センターの責任者として専任の大学執行役員を配置し学内に対する指導体制を高める。

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターの機能強化に向けた体制の見直しを行うためにWGを設置し検討を行い、支援に係る情報の共有化を一層進め、「アセスメント機能」を整備するために、教員の機能集約及び事務処理体制の一元化を行った。また、博士後期課程学生及びポストクのキャリアパス形成支援を実施することを目的として、キャリアサポート部門内に「イノベーション人材開発室」を設置し、産学協働イノベーション人材育成協議会委託契約を締結した。

さらに、同センターの責任者として専任の大学執行役員を配置し、学内に対する指導体制を高め、障害者差別解消法に関する講習会を行い本学の対応要領及び合理的配慮の教職員への周知を行った。

- (2) 「つくばキャリアポートフォリオ」(CARIO)の学生の利活用の促進を図る。

CARIOの利活用促進について、本年度は、キャリアサポート部門担当教員及びキャリアサポート部門長が9学類のフレッシュマンセミナー等へ出向き、CARIOワークシートを使用したアクティブラーニングを実施し、CARIOの活用を図った。また、学生が利用しやすいCARIOを目指してCARIO活用ガイド及びワークシート等の見直しを実施した。

- (3) 教育・研究・就業と家庭生活との両立支援を推進するため、学内の制度や支援情報の周知徹底を図るとともに、出産・育児・介護等に携わる教職員に係る就業制度の見直しを行う。

教育・研究・就業と家庭生活との両立支援に関する手引きの改訂、一部英語版の作成などを行い、周知を図った。

また、制度面に関しては、育児介護休業法の改正を踏まえ、介護休業の分割取得、育児休業等に係る子の対象範囲の拡大等、また、本学独自の制度である不妊治療に関する休暇の取得単位の見直しを行い、より取得しやすい制度となるよう就業規則を改正した。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

LGBTに対する支援を本格的に実施することを目的として、DACセンターダイバーシティ部門内に相談窓口を設置するとともに、「LGBT支援のガイドライン作成に係るタスクフォース」を設置し、検討を行い、「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」を作成した。

2. 自己評価と課題

平成 28 年度においては、各部門の有機的連携を拡げることによりセンターの支援機能の強化を推進するために、支援に係る情報の共有化を図れるよう教員の機能集約と事務処理体制の一元化を行うとともに、発達障害学生を中心にアセスメントを実施する拠点として「アセスメントサポートルーム」の整備を行った。今後は、これらの機能を活用して、発達障害を含め様々な障害のある学生に対する公平・公正な評価に必要な支援モデルの構築を加速させる。

グローバル・commons機構

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) グローバル化を推進するために各系支援室に配置されているエリア・commons要員（一部の支援室では兼任）を専任化するなどして各系支援室における国際交流活動を支援するとともに、海外渡航届システムの運用をはじめとする海外危機管理体制の強化を図る。

各系支援室に配置されているエリア・commons要員の全てを専任化し、部局における国際交流支援体制を強化するとともに、グローバル・commons機構と各教育研究現場との意見交換を実施し、情報と課題の共有を図るとともに、PDCAサイクルを回し、業務改善に取り組んだ。

さらに、海外におけるリスク回避のための危機管理セミナー（学生及び教職員対象）を開催するなど、各種安全情報（海外渡航届システムへの入力、外務省 HP での安全情報の入手、海外旅行保険、海外安全危機管理サービス OSSMA 加入等）の周知を積極的に行い、危機管理意識の醸成を図った。また、海外での災害、事故、テロ等の危機発生時には、海外渡航届システムから速やかに該当者を抽出し、安否確認を実施（34 回）した。

- (2) 短期海外留学プログラムによる単位認定を制度化するなど、学生のニーズを踏まえつつ海外派遣プログラムの拡充を図るとともに、海外派遣事業の学生募集を実施する。

海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）の支援プログラムを 2 プログラム（「キャンパス・イン・キャンパス（CiC）等支援プログラム」及び「語学系研修等参加支援プログラム）を新設し、計 5 プログラムとした。また、学生募集を平成 27 年 12 月期、平成 28 年 4 月期及び追加募集（平成 28 年 8 月）の 3 回実施し、出来るだけ多くの学生派遣を支援した。さらに、はばたけ！筑大生以外の本学独自の奨学金制度である「つくばスカラシップ交換留学支援奨学金」、「筑波大学基金（開学 40+101 周年記念募金）海外留学支援事業」により、交換留学の支援を実施した。

（海外派遣支援採択数 平成 27 年度 316 人 → 平成 28 年度 859 人）

また、短期海外留学プログラムによる単位認定を行うこととし、特に「海外武者修行支援プログラム」では、参加者のうち希望者に対して選考時のプレゼン、武者修行実施、帰国報告会の発表等に基づき、単位を付与した。

- (3) 各種研修を実施し、職員の英語力の向上を図るとともに、真に国際性を身に付けた職員育成のための SD 研修や特別セミナーを企画・実施する。

人材育成基本方針及び国際性の日常化（語学力維持・向上）基本方針に基づき、英語研修「レベル別英会話研修（22 名受講）」、「留学生による英語チューター研修（25 名受講）」及び「e ラーニング英語研修（111 名受講）」ならびに、海外の大学等での短期業務研修（7 件、12 名派遣）等、真の国際性を身に付けた事務職員を育成するプログラムを充実させ実施した。

さらに、GGJ 事業目標値の達成に向け、新規事業として TOEIC 対策講座等の「英語セミナー」（6 回）、「筑波大学 SD セミナー」（2 回）を実施し、職員の英語力向上の動機付けを積極的に行なった。並行して、世界トップレベル大学を目指す本学における、職員の英語力向上の必要性について周知し、個人調書への TOEIC 等（英検、TOEFL、IELTS 等を含む）の成績の記載の働きかけを行ったことにより、数値目標の達成が見込まれる。

- (4) 留学生の学修・生活支援については、チューターによる支援だけではなく、学生交流課事務室前他の 2 か所に Ask us desk を設置して、留学生の質問等に対応するなど留学生支援の充実を図る。また、在籍確認について、エリア支援室の学生支援及びエリア・commonsと連携して情報共有し、留学生の問題等への対応により早期問題解決に努める。

新規留学生にチューターを配置して生活、学修支援を行うとともに、日本人学生による渡日時の Welcome desk、在学中対応の Ask us desk を設置し、留学生への質問等に対応するなど、留学生支援の充実を図った。

在籍確認については、在留資格（留学）に関わる活動を確認した最後の日から 3 ヶ月を経過した時点で、当該留学生が行方不明になっているときは、東京入国管理局へ報告義務があること、在留期間の 3 ヶ月前に学生に対して、在留資格更新のリマインドを行っていること等について、各エリア支援室と情報共有し

て対応した。また、12月には留学生の在籍管理を徹底するために、教育組織へ在籍状況調査を実施した。

- (5) キャンパス内における災害等の危機発生時に、外国人留学生、外国人研究者及び外国人来訪者の安全を確保し、発生するリスクに適切に対応すべく、当該外国人留学生等の受入情報をリアルタイムで把握する仕組みを構築する。

キャンパス内における災害等の危機発生時に、外国人留学生、外国人研究者、外国人来訪者等の安全を確保し、発生するリスクに適切に対応すべく、外国からの受入者情報をリアルタイムで把握することを目的とし、利益相反・輸出管理マネジメント室と連携して、安全保障輸出管理電子申請システム（TEXC0）を構築し、試験運用を開始した。これにより、海外からの受入者情報のリアルタイムでの把握が可能となるほか、全エリア・コモンズが部局輸出管理担当者として業務を担っている、安全保障輸出管理に係る業務の効率化が図られた。

- (6) 海外留学プログラムの一層の検討を行い、海外渡航経験のない学生でも参加しやすい支援プログラムを実施することで、更なる派遣学生数の増を図る。

海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）の支援プログラムに海外渡航経験のない学生でも参加しやすいプログラムとして、これまでの「海外武者修行支援プログラム」に加え、「語学系研修等参加支援プログラム」を新設し、同プログラムでの海外派遣を推進した。

- (7) 本学学生の海外派遣を飛躍的に増加させるための支援策として、海外留学相談のワンストップサービス体制を充実し、海外留学プログラムの情報の集約と、学生への情報提供を行う。

本学の国際化推進を目的に創設した「スチューデント・コモンズ」における、海外留学情報の提供、日本人学生による留学希望者への相談対応・手続き支援を拡充すべく、学内広報活動の活性化および相談窓口の機能向上を図った。特に学生スタッフによる留学相談については、情報ソースの統一化及びサービス時間の拡充を行う等、相談者にとって利用しやすい体制を構築した。

さらに、本学学生の海外派遣を飛躍的に増加させるための支援策のひとつとして、学内各教育組織で行っている海外派遣プログラム及び協定校一覧等をまとめた海外留学ガイドブック（Go Abroad）を作成し、新入生への配布を行った。

- (8) スチューデント・コモンズを日本人学生と留学生等が気軽に利用できる環境にさらに充実させるとともに、国際交流に係るイベント等を企画・実施、支援する。また、グローバル化に資する情報を広く提供し、海外留学相談のワンストップサービス体制の充実を図る。

「スチューデント・コモンズ」における、日本人学生と留学生との交流を活性化させるため、当該施設内のプレゼンテーション機器等の増強、レイアウトの見直し、イベントに頼らない平時での仕掛けづくりを行う一方、雇用学生にかかる相談対応の質向上、運営方法および窓口体制の見直し等を行った。さらに学生交流イベント等に係る学内広報強化のための設備を拡充した。

- (9) 英語化した学内の各種様式及び事務文書のリソースを、全学で共有し有効利用できる仕組みを構築し、文書の英語化に係る業務の効率化を図る。また、各種研修を実施し、職員の英語力の向上を図るとともに、真に国際性を身に付けた職員育成のためのSD研修や特別セミナーを企画・実施する。

各部局における英語化に係る業務軽減のため、英語化された文書の共有や、翻訳業者をリスト化し共有する等の取組を実施するため、ガイドラインの策定、文書の分類、共有するためのツールの構築に向けた調整をエリア・コモンズや各本部事務局等と連携し実施した。

人材育成基本方針及び国際性の日常化（語学力維持・向上）基本方針に基づき、英語研修「レベル別英会話研修（22名受講）」、「留学生による英語チューター研修（25名受講）」及び「eラーニング英語研修（111名受講）」ならびに、海外の大学等での短期業務研修（7件、12名派遣）等、真の国際性を身に付けた事務職員を育成するプログラムを充実させ実施した。

さらに、GGJ事業目標値の達成に向け、新規事業としてTOEIC対策講座等の「英語セミナー」（6回）、「筑波大学SDセミナー」（2回）を実施し、職員の英語力向上の動機付けを積極的に行った。

- (10) 学内公募事業「グローバル・コモンズ連携プログラム（職員の海外研修）等」を実施し、職員が海外研修等で国際感覚を身に付ける機会を広げ、職員のグローバル化を推進する。

学内公募事業「グローバル・コモンズ連携プログラム（職員短期業務研修）」により、4グループ8名の職員が協定校等での海外研修を行った。

また、キャンパス・イン・キャンパス (CiC) 協定校への「海外短期派遣研修」として国立台湾大学 (台湾) へ1名、ボルドー大学 (フランス) へはエラスムス・プラス (Erasmus+) からの助成を受け1名の職員を派遣した。

さらに、優れた国際職業人養成のための海外研修プログラムへ2名の職員を派遣し、国際感覚の涵養と、語学力の向上を図り、職員のグローバル化を推進した。

- (11) 海外でのテロ・事件等が頻発している中、海外における危機管理においては、部局における対応ならびに各組織との情報の共有や連携が、重要な課題となっており、業務内容、役割分担の在り方について、検証し、必要に応じて改善する。

海外におけるリスク回避のための危機管理セミナー (学生及び教職員対象) を開催するなど、各種安全情報 (海外渡航届システムへの入力、外務省 HP での安全情報の入手、海外旅行保険、海外安全危機管理サービスOSSMA加入等) の周知を積極的に行い、危機管理意識の醸成を図った。また、リスク発生地域への学生・教職員の滞在状況については、海外渡航届Web入力システムによる情報、海外危機管理サービス (OSSMA) の登録情報及び出張届 (旅費システムとリンク) による海外渡航情報を一元的にリアルタイムに把握しており、リスク発生時には、当機構にて該当者の抽出を行い、各エリア支援室に安否確認を依頼し、Eメール等により、学生・教職員への安否確認を迅速に行った (34回)。

さらに、海外危機発生時におけるリスク管理体制を充実すべく、当機構を中心に、海外リスク発生時における情報収集・安否確認体制を整備強化し、当機構、リスク・安全管理課、学生部等による海外危機管理窓口を設け、教職員、海外滞在者、海外オフィス、海外危機管理会社等からの情報を集約化させるとともに、全学リスク管理室への報告体制を明確化した。また、被害状況を踏まえ、全学リスクマネジメント委員会とも連携を図るとともに、必要に応じて全学対策本部を速やかに設置することとしている。

なお、現在対応中の個別事案については、「危機管理に関する基本計画 (平成 27 年 3 月版)」及び「海外での危機発生時における情報収集及び危機管理体制について (平成 27 年 12 月 10 日)」に基づき対応しているところ、具体的な事例を踏まえ、海外派遣危機管理対応マニュアルとして作成を進めている。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

(国際化拠点整備事業 (経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業 (GGJ)、世界展開力強化事業 (AIMS、Ge-NIS、中南米) の運営・支援業務)

当該事業は、国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力の強化を目指し、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行う大学との国際教育連携の取組を支援することを目的として、文部科学省において開始された事業であり、国際的な学術及び学生交流活動が実施されている。

グローバル・コモンズ機構では、本学で実施している4つの国際化拠点整備事業 (経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業 (GGJ)、世界展開力強化事業 (AIMS、Ge-NIS、中南米)) の予算執行管理及び文科省への各種提出書類作成に係る業務支援を担うとともに、中南米事業においては事業の運営そのものについても実施しており、各事業実施部局の課題やノウハウを共有し、課題解決までの時間の短縮や、重複業務の削減等による業務の効率化を実施した。

また、文部科学省が定める当該事業の目的に照らしあわせ、学内の各プログラムが、政府や産業界向け実務型人材、グローバル企業や国際機関で活躍できる人材、各地域が直面する課題を解決できる人材を輩出し、将来の国際的な持続的発展に貢献すべく取り組んでいる。(AIMS中間評価S評価、Ge-NIS中間評価S評価)

2. 自己評価と課題

学生及び教職員の国際化に関するワンストップサービスの実現に向け、グローバル化に資する情報を、学内に広く提供し国際交流活動を支援した。スチューデント・コモンズでは、海外留学プログラム情報の集約と提供、学生の海外留学への動機づけを目的とした国際交流イベント等の企画・実施に加え、日本人学生と留学生との交流を活性化させるため、設備の拡充及びレイアウトの見直しを行いイベントに頼らない平時での仕掛けづくりを行った。

また、学生の海外派遣拡大のため、フランス大使館文化部とBGFパートナー奨学金共同給費協定書を締結、国連ユースボランティア派遣プログラムへの参加、夏期海外英語研修（オーストラリア・ニュージーランド・カナダ・アメリカ）及びベネッセコーポレーション共同開発短期研修プログラムの企画・広報支援を行った。

各系支援室に配置されているエリア・コモンズ要員の全てを専任化し、各系支援室の国際交流業務に関する機能向上を図り、さらに、支援室における役割の明確化と体制確立に向け、機構長等による現場確認を行うとともに、定期的にエリア・コモンズ連絡会を開催し、業務内容の共有と改善を行った。さらに、真に国際性を身に付けた職員を育成するため、グローバル・スタッフ育成室では、職員を対象とする英語研修、海外の大学等での短期業務研修、各種SD研修等を実施し、職員の国際性の涵養を図った。

海外危機管理については、今年度、発生した個別の事案への対応において、関係情報の収集機能を果たすとともに、具体的な事例を踏まえ、海外におけるリスク回避のための各種安全情報の周知徹底、海外での危機発生時の迅速な安否確認を引き続き実施した。また、キャンパス内における災害等の危機発生時に、外国人留学生、外国人研究者、外国人来訪者等の安全を確保し、発生するリスクに適切に対応すべく、外国からの受入者情報をリアルタイムで把握することを目的とし、利益相反・輸出管理マネジメント室と連携して、年度内に安全保障輸出管理電子申請システムを構築した。これにより、海外からの受入者情報のリアルタイムでの把握が可能となるほか、全エリア・コモンズが部局輸出管理担当者として業務を担っている、安全保障輸出管理に係る業務の効率化が図られた。

監査

1. 平成 28 年度年度計画及び重点施策並びに改善目標に記載されている事項の達成状況等

〔年度計画の達成状況〕

- (1) 監事による重要文書の調査及び監事への重要事項の報告に関する制度の運用を通じて、監事の日常的な監査機能を強化する。また、会計監査人とも連携し、不正が発生するリスクに対する重点的・効果的な内部監査を実施する。

監事監査については、中期目標達成の支援及び業務の健全性の確保、全学的かつ組織横断的な対話と情報共有化の促進、部局の状況等を踏まえた執行部との対話と課題解決に向けた助言・提言等を基本方針に、監査室と連携して、副学長等の職務分担ごとの本部業務監査（12 担当）、部局実地監査（9 部局）、業務方法書への対応状況や研修施設の利用状況に関するテーマ監査、重要な会議への出席や書類の閲覧、個別課題に対する関係者との意見交換などを通じた日常的な監査のほか、新たに個人情報保護管理に関する対応状況について監査を実施した。

特に、監事監査が有効に機能し法人業務の適正性の確保に資するため、監事による重要文書の調査及び監事への重要事項の報告に関する制度を運用（平成 28 年度実績：重要文書の調査 7 件、重要事項の報告 49 件）し、中期計画や財務諸表等の認可・承認申請などのほか、法人の業務運営に大きな影響を及ぼす恐れのある事項全般について、監事に対する確実かつ十分な情報伝達を行うことにより、監事の日常的な監査機能の強化に繋がった。

また、内部監査については、業務の遂行状況を適法性、合理性、効率性の観点から調査・検証し、改善に向けた助言・提言を行うことを基本方針に、これまでの指摘事項等に加え、公的研究費の管理・監査のガイドラインや内外における不適切事例等を踏まえて監査の重点方針を設定し、関係部局と連携して、会計業務に関する内部監査（全 55 部局）及び公的研究費に関する監査（12 部局）、情報セキュリティ監査（5 部局）のほか、教育研究費不正防止計画の実施及び浸透状況についてモニタリングを実施した。

このうち、公的研究費の監査においては、引き続き公的研究費の管理体制に対する内部監査支援業務を監査法人に委託し、公認会計士による不正を発生させるリスク要因の洗い出しや内部監査に係る技術的な助言・立会い等を実施することにより、内部監査部門と外部有識者との連携を通じて監査機能を強化しており、予算執行の適正性の検証、換金性の高い物品の現物確認や同一業者への集中発注の調査など不正発生要因に対するリスクアプローチ監査を行った。

これらの監査の結果、改善を要する事項については、監査の講評の場や監査報告書、大学執行部との意見交換会等を通じて原因を指摘するとともに再発防止策の助言・提言により適切にフィードバックしており、監査における PDCA サイクルを着実に回すことで大学運営全体のスパイラルアップに繋がった。

2. 自己評価と課題

全体的状況としては、上記 1 に記載のとおり、監事監査及び内部監査ともに監査計画に基づき監査を適切に実施し、その結果を関係組織にフィードバックする PDCA サイクルを運用することにより、業務の適正性・適法性・合理性などの確保に繋がるとともに、大学運営全体のスパイラルアップにも寄与しており、年度計画に掲げた事項を含めて取り組みを十分に実施していると評価できる。

また、28 年度は新たに個人情報保護管理に関する監査の実施や情報セキュリティ監査の対象部局の拡大（3 部局増）など監査の充実・強化を図っているが、一方で、監査を実施する側・受ける側の双方に監査業務に係るコストの増加が生じることから、最小限のコストで最大限の監査効果が得られるよう、これまでの実施状況等を踏まえ監査の内容や監査手法の見直しを進めるとともに、将来的には、監事機能の強化の面から、監査室を含む監事の支援体制の検討が必要であり、今後も本学の監査システムの最適化を図っていく。

Ⅲ 各教育研究組織の評価結果

平成 28 年度活動評価結果報告書 (系、学群、研究科全体及びセンター(被評価組織分))

【系全体】

- ・各教育組織で行われる教育活動に対する教員の派遣については、系の責任業務であることを明確にし、エフォート管理の強化が望まれる。
- ・若手、女性、外国人教員の登用については、一層の努力を期待する。

【学群全体】

- ・志願倍率 3 倍未満の学類については、是正する方策を講じること。
- ・外国人学生（留学生も含む。）の入学定員管理の厳格化に対応する検討が必要。

【研究科全体】

- ・入学定員充足率が 100%に満たない専攻については、是正する方策を講じること。
- ・学位授与率が低い専攻については、是正する方策を講じること。
- ・大学の研究者以外の高度専門職業人として学生が自立できることに向けての教育活動の充実が望まれる。

【センター（被評価組織分）】

- ・評価分析の単位としての管理業務などの充実強化が望まれる。
-

平成 28 年度活動評価結果報告書 (組織名：人文社会系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・独自の評価指標 iMD (index for Measuring Diversity) を開発し、算出している。
- ・科研費獲得セミナーを年 3 回開催しているなど外部資金獲得増加の取組を行い、効果が出始めている。
- ・研究発信月間の設定や学術展示室の常設など研究活動の発信の場を充実させている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・ICR の更なる発展や今後の展開に向けて、一層の努力を期待する。
- ・共同研究や産学連携の取組の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- ・科研費採択率の向上に向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書
(組織名：ビジネスサイエンス系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・研究グループまたは専攻間で負担が不均衡にならないようにエフォートを可視化している。
- ・系のホームページで研究成果の公開を推進している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・外部資金獲得の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- ・学際的な研究の推進に向けて、一層の努力を期待する。
- ・論文数の増加に向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書
(組織名：数理物質系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・若手教員による研究戦略チーム、部局 URA を活用した研究支援、技術職員による機器教育などの取組を行い、研究力強化を推進している。
- ・エビデンスに基づいた人事を行い、若手教員の登用を進めている。
- ・寄附講座など産学連携を通じ、多くの外部資金を獲得している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・国際共著論文や英文論文の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- ・異なる分野における教育、研究などのエフォート管理確立に向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：システム情報系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・未来社会工学開発研究センターや人工知能科学研究センターを設立し、競争的研究資金の獲得に向けた枠組み作りを行っている。
- ・若手融合研究プロジェクト制度で若手教員のグループの萌芽的研究を支援している。
- ・教育研究組織が必要とする「担当規模」と教員個々の「担当量」を定量評価し、教員配置が手薄な組織に対し人事枠を優先的に配分する独自の人事選考システムを導入している。
- ・論文数、著書数や外部資金獲得件数など全体的に研究業績が上がっている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・科研費等の大型化に向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：生命環境系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・センターの改組再編を行い、つくば機能植物イノベーション研究センター及び山岳科学センターを設置するなど、新しい研究領域を開拓している。
- ・国際共著論文の割合が高く、リーズ大学教員を講師とした英語での授業能力向上 FD など国際化に向けて尽力している。
- ・部局 URA を活用した研究支援を行っている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・大学院教育組織単位ではなく、系として人事選考を行うなど系単位での運営に向けて、一層の努力を期待する。
- ・共同研究、受託研究などの外部資金獲得に向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：人間系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・共生人間科学の推進や人間系コロキウムを定期的を開催するなど、協働研究体制を構築するための取組を行っている。
- ・「人間系研究支援プログラム」(若手対象)や「人間系戦略的研究プロジェクト研究費」(全教員対象)など科研費獲得に向けて、教員の支援を行っている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・国際化が必要と考え、支援方策などを検討しているが、一層の努力を期待する。
- ・全学的な業務を含めたエフォート管理の検討に向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：体育系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・科研費セミナーの開催、科研費だよりの発行や科研費獲得のための情報サイトの開設など外部資金獲得のために様々な取組を行い、外部資金を獲得している。
- ・オリンピック及びパラリンピック大会に貢献をしている。
- ・論文数や学会発表数など全体的に研究業績が上がっている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・英文論文作成補助など国際化に向けた取組を行っているが、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：芸術系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・ 科研費獲得に向けた研修会を FD として行うなど、科研費獲得のために様々な取組を行い、科研費 A に 7 件採択されるなど大型科研費を獲得している。
- ・ 文化庁委託事業である Fine Art University Selection (国際展覧会) を運営している。
- ・ 会議時間の短縮や会議資料の電子化など、研究・教育へのエフォートを高めるために様々な取組を行っている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・ 国際共著論文の増加に向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：医学医療系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・ トランスボーダー医学研究センターを設立し、特に 8 名の PI のうち 6 名を 30 代の若手研究者から指名し、若手研究者の育成を推進している。
- ・ 研究発表会、科研費セミナーや科研費アドバイザー制度など様々な取組を行い、科研費獲得金額が大きく増加している。
- ・ 研究業績集と研究活動アーカイブを作成し、医学医療系ホームページで公開している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・ 研究業績の向上に向けて、系全体として底上げするように、一層の努力を期待する。
- ・ 論文数は増加しているが、単著／筆頭／責任著者の査読付英語論文が減少しているため、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書
(組織名：図書館情報メディア系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・本学初のクラウドファンディングを行い、成功した。
- ・科研費獲得のためのFD研修会や外部資金情報の教員メーリングリストへの配信など様々な取組を行い、効果が出始めている。
- ・英語論文数が増加している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・科研費採択率の向上に向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書
(組織名：人文・文化学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・Japan-Expert プログラムの推進、海外大学との連携や学生の海外派遣など、様々な取組を行い、国際化を推進している。
- ・志願倍率や海外渡航率など多くの項目で数値が上がっている。
- (・大括り入試、SF ターム導入に向けて、3学類合同の拡大教育課程委員会を設け、具体的な審議を重ねている。)

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・海外インターンシップ科目を充実させているが、インターンシップ参加率は下がってきており、一層の努力を期待する。
- ・外国人学生率は上がってきているものの外国人学生数、外国人留学生数ともに少ないため、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：社会・国際学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・海外派遣に挑戦しやすい環境づくりや海外研修に係る科目を設置するなど、様々な取組を行い、学生の海外派遣を推進し、海外渡航率が上がっている。
- (・学位プログラム化に向けて、両学類の連携を緊密にし、科目のあり方を再検討するなど議論している。)

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・志願倍率及びインターンシップ参加率が下がってきており、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：人間学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・新しいアクティブラーニングの方法論の開発プロジェクトを立ち上げ、学群全体として教育方法を改革している。
- ・東北師範大学及び釜山大学校を対象にして、学群生が参加するシンポジウムなどを実施し、その成果や効果を記録した「人間学群国際化プロジェクト報告書」を刊行するなど、国際化を推進している。
- ・キャリア教育を学群のコアカリキュラムとして位置付け、1年次から実施するなど、キャリア教育を推進している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・社会福祉士国家試験の合格率は、筑波大学の全国的な位置付けからすると十分でないため、一層の努力を期待する。
- ・英語能力向上に向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：生命環境学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・各種留学制度や海外派遣制度を利用した海外渡航を推奨し、海外渡航率が上がっている。
- ・英語での授業の推進や英語教育に関する FD 研修会を開催するなど、様々な取組を行い、国際化を推進している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・就職・進学決定率及びインターンシップ参加率が下がってきており、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：理工学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・JABEE の評価を受け、継続認定されている。
- ・英語のみで履修可能な理工系学士プログラムである「総合理工学士プログラム（仮称）」を具体化するため、学群長が室長となって開設準備室を立ち上げ、平成 31 年度に開設することを決定している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・志願倍率やインターンシップ参加率などが下がってきており、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：情報学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- enPiT2 が開始され、PBL 形式授業を導入している。
- アメリカ西海岸バークレーで学ぶ Science and IT 海外派遣プログラムの実施や海外研修への参加に対する単位認定など様々な取組を行い、国際化を推進している。
- クリエイティブメディアラボのオープンスペース化、授業アンケートに対応した改善など様々な取組を行い、教育体制を改善している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- 3つのポリシーの将来展望に関する検討について、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：医学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- 医療視察研修、海外臨床実習や国際生命医科学研修など様々な取組を行い、国際化を推進している。
- 医師国家試験合格率、看護師国家試験合格率及び臨床検査技師国家試験合格率が高い。
- 卒業時コンピテンシーの作成及び成績評価の厳格化など様々な取組を行い、教育の質の保証に取り組んでいる。(医学類)

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- 海外教育プログラム特別入試や Japan-Expert プログラム特別入試の導入などの取組が評価できるが、外国人学生の受入れに向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：体育専門学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・推薦入試と AC 入試の定員を変更し、競技力重視型の人材を発掘するなどの入試改革を行っている。
- ・カンボジアに派遣して体育・スポーツ分野での協力を担うスタディ・ツアーなど様々な取組を行い、国際化を推進している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・就職・進学決定率やインターンシップ参加率などが下がってきており、一層の努力を期待する。
- ・英語能力向上に向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：芸術専門学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・新たな特別入試として、Japan-Expert プログラム・日本芸術コースを導入するなど、優秀な人材確保に向けた取組を行っている。
- ・「アートデザインプロデュース」及び「夏休みアート・デイキャンプ&アート探検隊」など様々な取組を行い、学業の社会への還元に努めている。
- ・部局間交流協定校への派遣留学生の募集と選抜試験を毎月行うなど様々な取組を行い、国際化を推進している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・英語能力向上に向けて、一層の努力を期待する。
- ・インターンシップ参加率は上がってきているものの一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：人文社会科学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・日独韓共同修士プログラムなどの教育プログラムや海外での研究発表学生への旅費支援など様々な取組を行い、国際化を推進している。
- ・教育・研究支援体制評価アンケートを実施している。
- ・学位プログラム化に向けて、予定されている学位プログラムの3つのポリシーを検討している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・学生の論文生産性及び学位授与率が下がってきており、一層の努力を期待する。
- ・就職・進学決定率は上がってきているものの一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：ビジネス科学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・社会人の学習ニーズ調査や学生の授業評価アンケートなどの取組を行い、教育内容を改善している。
- ・国際会議等での研究発表支援や短期海外研修プログラムなどの取組を行い、国際化を推進している。
- ・ICT を活用し、国内外の大学との単位互換や授業協力などの取組を行い、大学間での交流を推進している。
- ・学位プログラム化に向けて、予定されている学位プログラムの3つのポリシーを検討している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・学生の論文生産性は上がってきているものの一層の努力を期待する。
- ・志願倍率及び学位授与率などが下がってきており、要因や背景事情を調査した上で一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：数理物質科学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・グルノーブル大学とのダブルディグリープログラムやつくば共鳴プログラムなどの取組を行い、国際化を推進している。
- ・トヨタ自動車・デンソーおよび富士電機によるパワーエレクトロニクス関係の寄附講座や TIA 連携の取組としてサマーオープンフェスティバルの開催などの取組を行い、産学官連携を推進している。
- ・学生の論文生産性の数値は高く、学生の研究を推進している。
- ・学位プログラム化に向けて、予定されている学位プログラムの 3 つのポリシーを検討している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・インターンシップ参加率及び学位授与率が下がってきており、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：システム情報工学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・博士後期課程への経済支援や若手研究者育成プログラムなどの取組を行い、国際化や研究力向上を推進している。
- ・デュアルディグリープログラムの整備や社会工学学位プログラムに地域未来創成教育コースを新設するなど、教育組織の活性化を推進している。
- ・学生の論文生産性は下がってきているものの数値は高く、学生の研究を推進している。
- ・学位プログラム化に向けて、予定されている学位プログラムの 3 つのポリシーを検討している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・インターンシップ参加率及び就職・進学決定率が下がってきており、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：生命環境科学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・中国地質大学や国立台湾大学などとのダブルディグリープログラムやマレーシア工科大学とのジョイントディグリープログラムなどの取組を行い、国際化を推進している。
- ・学位プログラム化に向けて、現在の 9 専攻を 6 学位プログラムに見直し、予定されている学位プログラムの 3 つのポリシーを策定している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・学生の論文生産性及び就職・進学決定率は上がってきているものの一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：人間総合科学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・茨城県や JA 茨城県厚生連など多くの寄附講座の受け入れやエクステンションプログラムの実施などの取組を行い、外部資金獲得や連携を推進している。
- ・東北師範大学とのダブルディグリープログラムや武者修行型学修派遣支援などの取組を行い、国際化を推進している。
- ・学位プログラム化に向けて、予定されている学位プログラムの 3 つのポリシーを検討している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・学生の論文生産性は上がってきているものの一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書
(組織名：図書館情報メディア研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・manaba を用いて学生の教育研究活動を見える化し、把握している。
- ・同窓会と共同で海外研修に対する経費支援や短期留学促進の観点から海外の大学との研究交流協定締結の推進などの取組を行い、国際化を推進している。
- ・学位プログラム化に向けて、予定されている学位プログラムの3つのポリシーを検討している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・学生の論文生産性は上がってきているものの一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書
(組織名：教育研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・教育学（国際教育）修士学位プログラム（IB 教員養成の学位プログラム）を開設し、IB 教育への要望に答えている。
- ・教育学（国際教育）修士学位プログラムの開設や修士課程にふさわしい海外派遣プログラムを検討するなどの取組を行い、国際化を推進している。
- ・修了生が就職している学校長へのアンケート調査を実施し、教育の成果を評価している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・就職・進学決定率は上がってきているものの一層の努力を期待する。
- ・インターンシップ参加率や志願倍率などが下がってきており、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書
(組織名：計算科学研究センター)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・ 東京大学情報基盤センターと共同設置した「最先端共同 HPC 基盤施設」において、新たなメニーコア型大規模スーパーコンピュータシステム Oakforest-PACS を導入し、国内最高性能となる総ピーク演算性能 25 PFLOPS を達成し、Top500 ランキングで世界第 6 位（国内第 1 位）、HPCG ランキングで世界第 3 位を獲得している。
- ・ ポスト「京」の重点課題やサブ課題への参画やセンター共同利用プログラムなどの取組を行い、産学連携や研究力強化を推進している。
- ・ 筑波山神社・筑波大学計算科学研究センター共同気象研究所を設置し、筑波山山頂の観測データを一般公開するなどの取組を行い、社会貢献を推進している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・ 科研費の採択の向上に向けて、一層の努力を期待する。
- ・ 国際共同研究の向上に向けて、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書
(組織名：生命領域学際研究センター)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・ 国際テニユアトラック制度の若手教員が一流誌に筆頭著者として原著論文が掲載（またはアクセプト）されている、センター教員のほぼ全員が科研費を獲得しているなど、研究を推進している。
- ・ EA ファーマや小野薬品、中外製薬との共同研究などの取組を行い、産学連携を推進している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・ 部局化された重点研究センターとして、戦略的な運営体制を構築し、大型国際共同研究の開始など、一層の努力を期待する。

平成 28 年度活動評価結果報告書

(組織名：遺伝子実験センター)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・つくば機能植物イノベーション研究センターを立ち上げ、基礎・基盤研究から応用・開発・社会実装までを一気通貫で行う研究拠点を構築した。
- ・ナショナルバイオリソースプロジェクトの拠点として、バイオリソース・遺伝資源や遺伝子組換え植物に関する国際共同研究・国際連携研究を積極的に推進し、拠点として継続が決定している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・共同利用者数及び共同研究件数は上がってきているものの一層の努力を期待する。
- ・戦略的な運営体制を構築し、大型国際共同研究の開始など、一層の努力を期待する。

IV 各種資料

1 管理運営関係

(1) 沿革

- 昭 37. 9 東京教育大学、5学部の統合移転候補地の調査を決定
38. 9 研究学園都市を筑波地区に建設することを閣議了解
42. 7 東京教育大学、「総合大学として発展することを期し、条件付きで筑波に土地を希望する」ことを決定
42. 9 筑波地区への移転予定機関として、東京教育大学、東京医科歯科大学医学部附属病院霞ヶ浦分院等 36 機関を閣議了解
44. 7 東京教育大学、「筑波における新大学のビジョンの実現を期して筑波に移転する」旨を表明
44. 11 文部省に筑波新大学創設準備調査会を設置
45. 5 筑波研究学園都市建設法成立
46. 6 東京教育大学、「筑波新大学に関する基本計画案」を決定
46. 7 筑波新大学創設準備調査会、「筑波新大学のあり方について」文部大臣に報告
46. 10 文部省に筑波新大学創設準備会を設置
47. 5 筑波研究学園都市に新設移転する研究教育機関として、筑波新大学（仮称）等 42 機関を閣議決定、東京教育大学に筑波新大学創設準備室を設置
47. 8 政府機関の移転を繰り上げ、昭和 50 年度までに完了することを閣議了解
48. 2 国立学校設置法等の一部を改正する法律案を閣議決定
48. 10 筑波大学設置「国立学校設置法等の一部を改正する法律（昭和 48 年法律第 103 号）」
三輪知雄、学長に就任
第一学群「人文学類、社会学類、自然科学類」、医学専門学群、体育専門学群、26 学系、
体育センター、農林技術センター、附属図書館、保健管理センターを設置
49. 4 外国語センター、加速器センター、計算センター（昭 53.4 学術情報処理センターに改組）、企画調査室を設置
50. 4 第二学群「比較文化学類、人間学類、生物学類、農林学類（平 6.4 生物資源学類に改称）」、
芸術専門学群、大学院修士課程「地域研究研究科（平成 20.4 人文社会科学研究科に改組・再編）」、
大学院博士課程「哲学・思想研究科、歴史・人類学研究科、文芸・言語研究科、社会科学研究科、
生物科学研究科、数学研究科、物理学研究科、化学研究科、地球科学研究科」、
教育機器センター、アイソトープセンター、水理実験センター（平 12.4 陸域環境研究センター（～平 22.3）に転換）、
附属病院創設準備室を設置
50. 10 国民体力特別プロジェクト研究組織（～昭 55.3）を設置
51. 4 「（修士課程）経営・政策科学研究科（平 17.4 システム情報工学研究科に改組・再編）、
体育研究科（平 20.4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、「（博士課程）教育学研究科、
心理学研究科、心身障害学研究科、農学研究科、体育科学研究科、芸術学研究科」を設置
51. 5 低温センター、分析センター、動物実験センター（平成 13.4 生命科学動物資源センターに転換）、
下田臨海実験センター、附属病院を設置

51. 8 宮島龍興、学長に就任
52. 4 第三学群「社会工学類、情報学類、基礎工学類（平 10.4 工学基礎学類に改組）」、「(修士課程) 教育研究科（平 20.4 人間総合科学研究科に一部改組・再編）、環境科学研究科（平 19.4 生命環境科学研究科に改組・再編）、芸術研究科（平 19.4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、工作センター、菅平高原実験センターを設置
52. 5 核物性特別プロジェクト研究組織（～昭 57.3）を設置
53. 3 東京教育大学閉学
53. 4 「(修士課程) 理工学研究科（平 16.4 数理物質科学研究科、平 17.4 システム情報工学研究科及び生命環境科学研究科に改組・再編）」、「(博士課程) 社会工学研究科」、理療科教員養成施設、学校教育部、附属 10 学校を設置
53. 5 ラテンアメリカ特別プロジェクト研究組織（～昭 58.3）を設置
53. 10 筑波大学医療技術短期大学部を併設
54. 4 「(修士課程) 医科学研究科（平 18.4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、プラズマ研究センターを設置
55. 4 福田信之、学長に就任
「(博士課程) 医学研究科」、粒子線医科学センター（～平 2.3）、運動処方特別プロジェクト研究組織（～昭 57.3）を設置
56. 4 「(博士課程) 工学研究科」を設置
57. 4 熱帯農林資源特別プロジェクト研究組織（～昭 62.3）、老化特別プロジェクト研究組織（～昭 62.3）を設置
58. 4 「(第三学群) 国際関係学類（平 7.4 国際総合学類に改組）」、本能特別プロジェクト研究組織（～昭 63.3）を設置
59. 4 留学生教育センター（平 3.4 留学生センターに改称）、遺伝子実験センターを設置
60. 4 「(第二学群) 日本語・日本文化学類」を設置
61. 4 阿南功一、学長に就任
大学研究センターを設置
62. 5 物質の進化特別プロジェクト研究組織（～平 4.3）、変換技術開発特別プロジェクト研究組織（～平 4.3）を設置
63. 4 代謝特別プロジェクト研究組織（～平 5.3）を設置
- 平元. 4 大学院修士課程に夜間開講の専攻を設置
大学院修士課程において昼夜開講制を実施
2. 6 陽子線医学利用研究センター（～平 12.3）を設置
3. 4 「(第三学群) 工学システム学類」を設置
4. 4 江崎玲於奈、学長に就任
「(博士課程) 国際政治経済学研究科」、計算物理学研究センター（～平 14.3）、新国際システム特別プロジェクト研究組織（～平 9.3）、循環器系バイオシステム特別プロジェクト研究組織（～平 9.3）を設置
大学院博士課程において連携大学院方式（第一号連携大学院方式）を実施
5. 4 「(修士課程) バイオシステム研究科（平 17.4 生命環境科学研究科に改組・再編）」、地球環境変化特別プロジェクト研究組織（～平 10.3）を設置

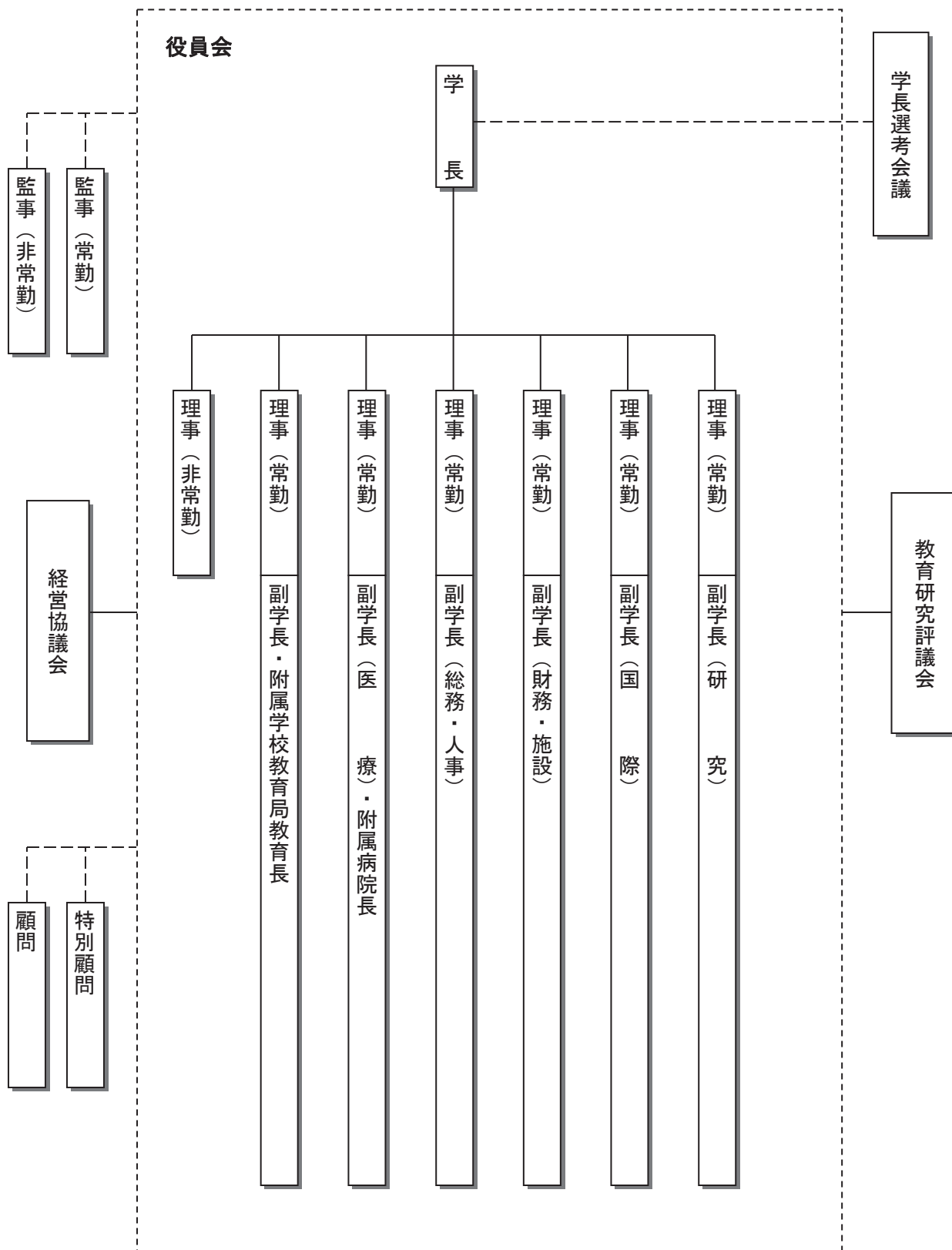
- 6 . 5 先端学際領域研究センター（平 22.10 生命領域学際研究センターに改組）
- 7 . 4 大学院博士課程において昼夜開講制を実施
- 8 . 4 大学院博士課程に夜間開講の専攻（後期 3 年博士課程）を設置
- 9 . 4 東西言語文化の類型論特別プロジェクト研究組織（～平 14.3）、感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究組織（～平 14.3）を設置
10. 4 北原保雄、学長に就任
動的脳機能とこころのアメニティ特別プロジェクト研究組織（～平 15.3）を設置
11. 4 構造工学系を機能工学系に改称、アドミッションセンターを設置
12. 4 「(博士課程) 生命環境科学研究科、数理物質科学研究科、システム情報工学研究科（社会工学研究科、生物科学研究科、農学研究科、数学研究科、物理学研究科、化学研究科、地球科学研究科、工学研究科の改組）」、陽子線医学利用研究センター（～平 22.3）を設置
13. 4 「(博士課程) 人文社会科学研究科、ビジネス科学研究科、人間総合科学研究科（哲学・思想研究科、歴史・人類学研究科、文芸・言語研究科、教育学研究科、心理学研究科、心身障害学研究科、社会科学研究科、国際政治経済学研究科、経営・政策科学研究科（経営システム科学専攻、企業法学専攻及び企業科学専攻）、医学研究科、体育科学研究科及び芸術学研究科の改組）」を設置
14. 4 産学リエゾン共同研究センター、教育開発国際協力研究センター、計算物理学研究センター（～平 24.3；平 16.4 計算科学研究センターに改組）、ナノサイエンス特別プロジェクト研究組織（～平 19.3）、獲得性環境因子の生体応答システム特別プロジェクト研究組織（～平 19.3）の設置
大学院修士課程において連携大学院方式を実施
14. 10 図書館情報大学と統合「国立学校設置法の一部を改正する法律（平成 14 年法律第 23 号）」
医学専門学群「医学類、看護・医療科学類」、図書館情報専門学群、「(博士課程) 図書館情報メディア研究科」、図書館情報学系、知的コミュニティ基盤研究センター（～平 24.3）を設置
15. 4 学際物質科学研究センターを設置（～平 25.3）
比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト研究組織（～平 20.3）を設置
16. 4 国立大学法人筑波大学設置「国立大学法人法（平成 15 年法律第 112 号）」
岩崎洋一、学長に就任
看護科学系、特別支援教育研究センター、北アフリカ研究センター、学術情報メディアセンター（教育機器センター及び学術情報処理センターを統合）、研究基盤総合センター（加速器センター、低温センター、アイソトープセンター、分析センター及び工作センターを統合）、附属久里浜養護学校、大学院修士課程芸術研究科「世界遺産専攻」を設置
大学院博士課程において連携大学院方式（第二号連携大学院方式）を実施（数理物質科学研究科物質・材料工学専攻）
大学院博士課程数理物質科学研究科を 5 年一貫制博士課程から区分制博士課程に転換
17. 4 大学院専門職学位課程「ビジネス科学研究科法曹専攻、国際経営プロフェッショナル専攻」、大学院博士課程生命環境科学研究科「生命産業科学専攻」を設置

- 大学院博士課程において連携大学院方式（第二号連携大学院方式）を実施（生命環境科学研究科先端農業技術科学専攻）
- 大学院博士課程システム情報工学研究科、大学院博士課程生命環境科学研究科（構造生物科学専攻、情報生物科学専攻、国際地縁技術開発科学専攻、生物圏資源科学専攻、生物機能科学専攻）を5年一貫制博士課程から区分制博士課程に転換
18. 4 大学院修士課程教育研究科「スクールリーダーシップ開発専攻」、大学院博士課程人間総合科学研究科「フロンティア医科学専攻（修士課程）、コーチング学専攻（後期のみの博士課程）、世界文化遺産学専攻（後期のみの博士課程）」、アイソトープ総合センターを設置
18. 10 次世代医療研究開発・教育統合センターを設置
19. 4 学群改組を実施（9学群23学類により編制）
- 人文・文化学群「人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類」、社会・国際学群「社会学類、国際総合学類」、人間学群「教育学類、心理学類、障害科学類」、生命環境学群「生物学類、生物資源学類、地球学類」、理工学群「数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類」、情報学群「情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類」、医学群「医学類、看護学類、医療科学類」、体育専門学群、芸術専門学群
- 大学院博士課程生命環境科学研究科（地球環境科学専攻、地球進化科学専攻）、大学院博士課程人間総合科学研究科（芸術学専攻）を5年一貫制から区分制に転換
- 大学院博士課程生命環境科学研究科「地球科学専攻（博士前期課程）、環境科学専攻（博士前期課程）、地球環境科学専攻（博士後期課程）、地球進化科学専攻（博士後期課程）、持続環境学専攻（博士後期課程）」、大学院博士課程人間総合科学研究科「看護科学専攻（修士課程）、世界遺産専攻（博士前期課程）、芸術専攻（博士前・後期課程）」を設置
- 附属盲学校、聾学校、大塚養護学校、桐が丘養護学校、久里浜養護学校を特別支援学校に変更
- 「学校教育法等の一部を改正する法律（平成18年法律第80号）」
20. 4 大学院人文社会科学研究科（現代文化・公共政策専攻、国際政治経済学専攻、社会科学専攻）、大学院博士課程人間総合科学研究科（教育学専攻、学校教育学専攻、心理学専攻、感性認知脳科学専攻、体育科学専攻）を5年一貫制から区分制に、大学院博士課程人間総合科学研究科（ヒューマン・ケア科学専攻、スポーツ医学専攻）を5年一貫制から後期3年博士課程に転換
- 大学院人文社会科学研究科「現代語・現代文化専攻、国際公共政策専攻、経済学専攻、法学専攻（以上、博士前・後期課程）、国際地域研究専攻（博士前期課程）、国際日本研究専攻（博士後期課程）」、大学院博士課程人間総合科学研究科「障害科学専攻（博士前・後期課程）心理専攻、生涯発達専攻、体育学専攻、スポーツ健康システム・マネジメント専攻（以上、博士前期課程）、教育基礎学専攻、生涯発達科学専攻、生命システム医学専攻、疾患制御医学専攻（以上、博士後期課程）」を設置
- 大学院修士課程教育研究科「特別支援教育専攻」を設置
21. 4 山田信博、学長に就任
- 大学院博士課程人間総合科学研究科「看護科学専攻（博士後期課程）」を設置

23. 4 教員組織である系（人文社会系、ビジネスサイエンス系、数理物質系、システム情報系、生命環境系、人間系、体育系、芸術系、医学医療系、図書館情報メディア系）を設置
大学院博士課程生命環境科学研究科「生物科学専攻（博士後期課程）」を設置
23. 10 サイバニクス研究センターを設置
23. 12 グローバル教育院を設置
24. 3 学系を廃止
24. 4 ヒューマンバイオロジー学位プログラム（5年一貫制博士課程）を設置
大学院博士課程数理物質科学研究科「ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻（博士後期課程）」、大学院博士課程生命環境科学研究科「生命共存科学専攻（5年一貫制）」を設置
24. 12 国際統合睡眠医科学研究機構を設置
アイソトープ環境動態研究センター（アイソトープ総合センター及び陸域環境研究センターを統合）を設置
25. 4 永田恭介、学長に就任
グローバル・コモンズ機構を設置
26. 4 エンパワーメント情報学プログラム（5年一貫制博士課程）を設置
27. 4 ライフイノベーション学位プログラム（前期2年博士課程、後期3年博士課程）を設置
グローバルコミュニケーション教育センター（外国語センター及び留学生センターを統合）を設置
高細精医療イノベーション研究コアを設置
27. 7 ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターを設置
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センターを設置
27. 10 ダイバーシティ・アクセビリティ・キャリアセンター（キャリア支援室、ダイバーシティ推進室、障害学生支援室を統合）を設置
つくばスポーツ医学・健康科学センターを設置
28. 4 つくば臨床医学研究開発機構を設置
リサーチアドミニストレーター研究支援室を設置
29. 1 プレシジョン・メディシン開発研究センターを設置

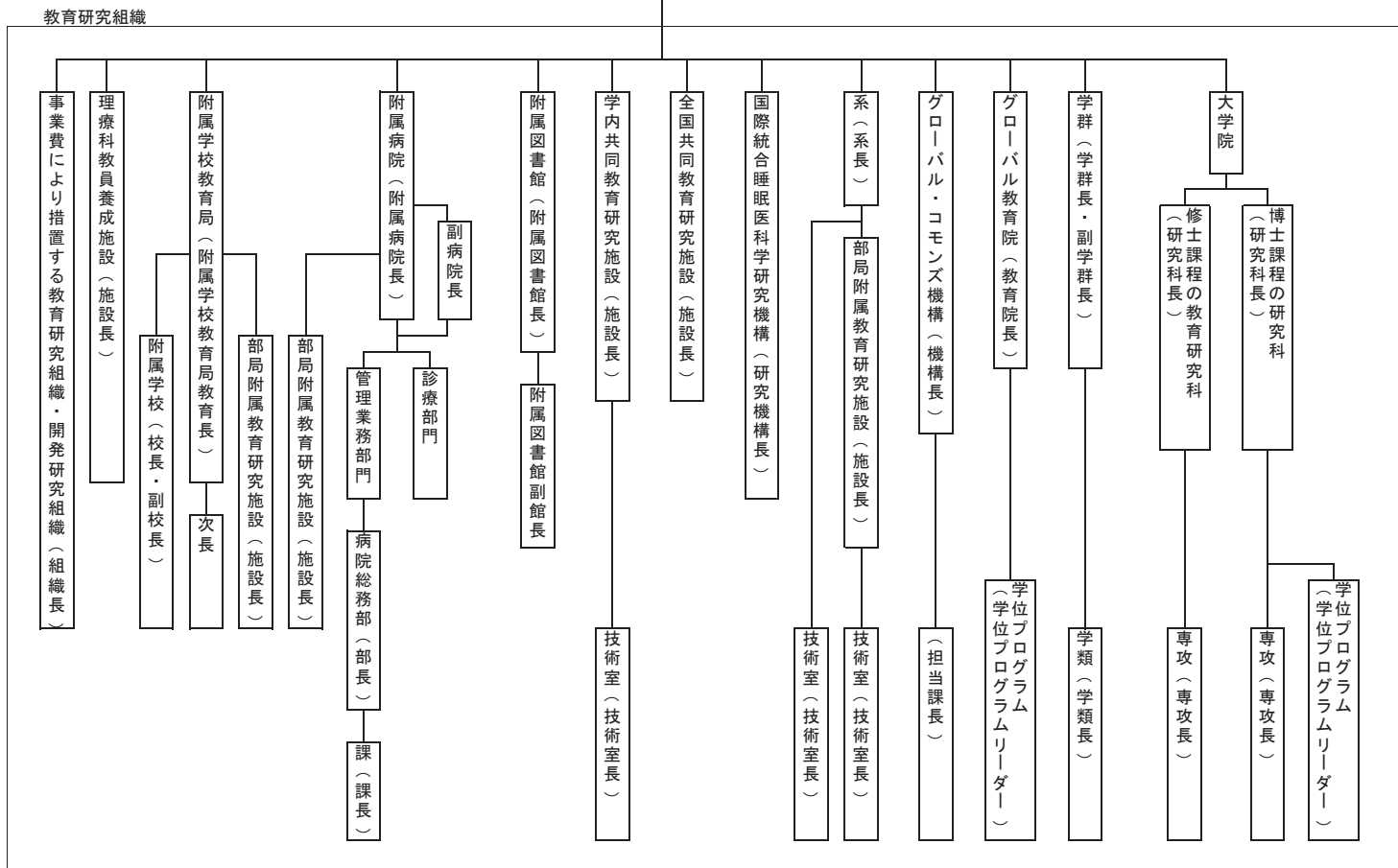
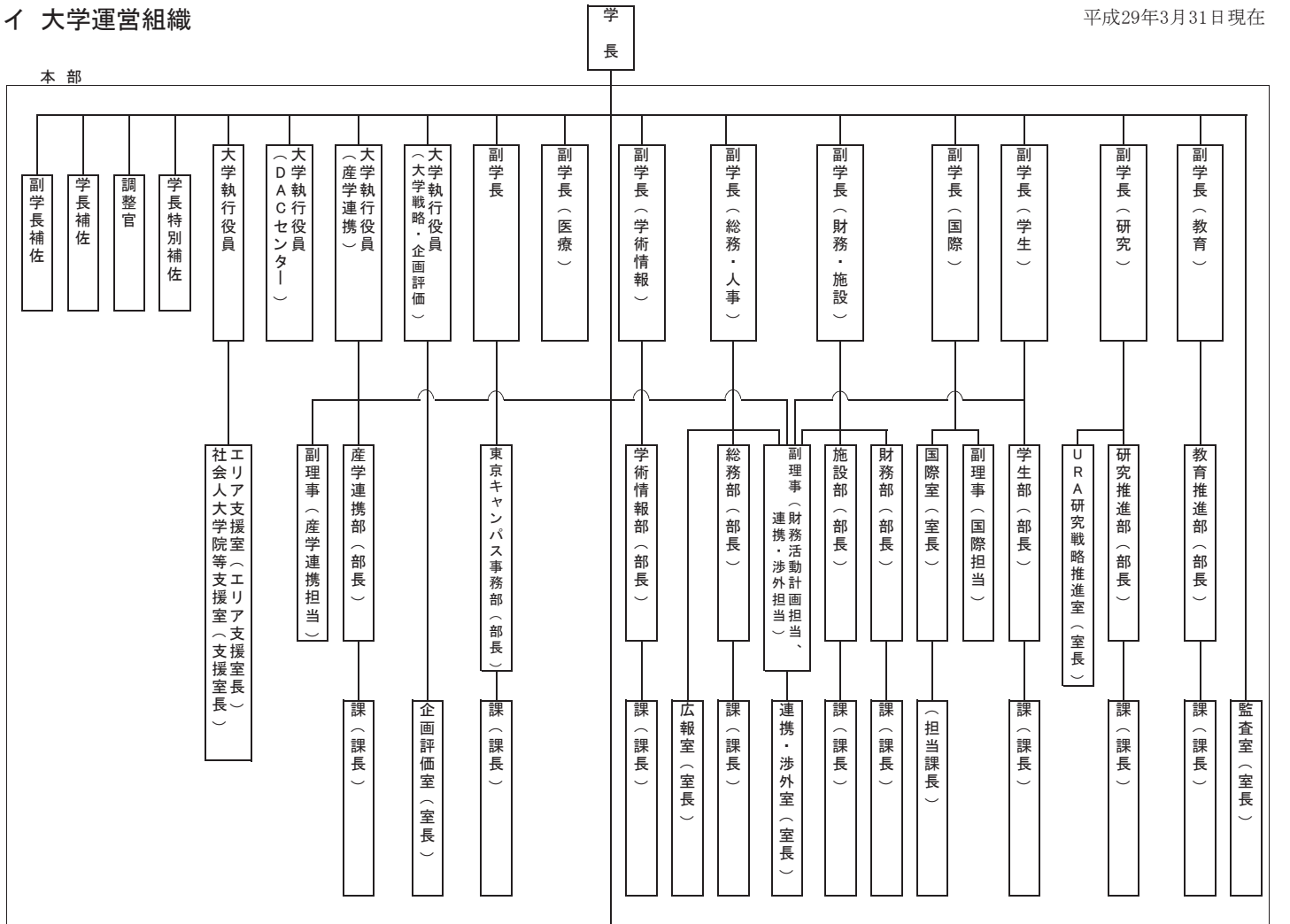
(2) 運営組織等
ア 法人運営組織

平成 29 年 3 月 31 日現在



イ 大学運営組織

平成29年3月31日現在



(3) 制定改廃法人規則等

○法人規則

国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 4 月 28 日法人規則第 39 号）

筑波大学大学院学則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 5 月 26 日法人規則第 40 号）

国立大学法人筑波大学大学教員の育児休業等取得者の雇用期間等に関する特例を定める規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 5 月 26 日法人規則第 41 号）

国立大学法人筑波大学職員の退職金に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 5 月 30 日法人規則第 42 号）

筑波大学研究公正規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 7 月 21 日法人規則第 43 号）

国立大学法人筑波大学職員の退職金に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 9 月 29 日法人規則第 44 号）

国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 9 月 29 日法人規則第 45 号）

共催及び後援に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 9 月 29 日法人規則第 46 号）

国立大学法人筑波大学保育施設規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 9 月 29 日法人規則第 47 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 10 月 25 日法人規則第 48 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 10 月 25 日法人規則第 49 号）

筑波大学大学院学則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 10 月 27 日法人規則第 50 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 51 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 52 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 53 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 54 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の勤務時間及び休暇に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 55 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の勤務時間及び休暇に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 56 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の勤務時間及び休暇に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 57 号）

国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 58 号）

国立大学法人筑波大学附属病院非常勤職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 59 号）

国立大学法人筑波大学附属学校非常勤職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 60 号）

国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 61 号）

国立大学法人筑波大学附属病院非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 62 号）

国立大学法人筑波大学附属学校非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 12 月 22 日法人規則第 63 号）

筑波大学附属病院の医療安全に係る監査委員会規則（平成 29 年 1 月 26 日法人規則第 1 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 1 月 26 日法人規則第 2 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 1 月 26 日法人規則第 3 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 1 月 26 日法人規則第 4 号）

国立大学法人筑波大学名誉教授称号授与規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 2 月 23 日法人規則第 5 号）

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 6 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 7 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 8 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 9 号）

国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 10 号）

国立大学法人筑波大学附属学校非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 11 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の勤務時間及び休暇に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 12 号）

教育研究組織の長等の選考及び任期に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 13 号）

筑波大学学群学則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 14 号）

筑波大学大学院学則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 15 号）

国立大学法人筑波大学エネルギー管理規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 16 号）

筑波大学附属学校校則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 17 号）

国立大学法人筑波大学基金規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 23 日法人規則第 18 号）

国立大学法人筑波大学財務規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 31 日法人規則第 19 号）

国立大学法人筑波大学財産管理規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 3 月 31 日法人規則第 20 号）

○法人規程

国立大学法人筑波大学大学教員のテニユアトラック制に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 5 月 26 日法人規程第 62 号）

教育・学生支援組織に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 4 月 15 日法人規程第 63 号）

筑波大学授業料の免除及び徴収猶予規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 6 月 23 日法人規程第 64 号）

国立大学法人筑波大学財産管理施行規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 8 月 5 日法人規程第 65 号）

筑波大学アーカイブズにおける保存、利用等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 9 月 29 日法人規程第 66 号）

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 67 号）

国立大学法人筑波大学公印取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 68 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 69 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 70 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 71 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 72 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 73 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 74 号）

国立大学法人筑波大学職員の休暇に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 75 号）

国立大学法人筑波大学職員の育児休業及び介護休業等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 76 号）

国立大学法人筑波大学職員の服務監督者に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 77 号）

国立大学法人筑波大学職員懲戒規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 12 月 22 日法人規程第 78 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 1 月 26 日法人規程第 1 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 1 月 26 日法人規程第 2 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 1 月 26 日法人規程第 3 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 1 月 26 日法人規程第 4 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 1 月 26 日

法人規程第 5 号)

国立大学法人筑波大学附属学校職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 1 月 26 日法人規程第 6 号)

国立大学法人筑波大学附属学校教員の再雇用に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 1 月 26 日法人規程第 7 号)

国立大学法人筑波大学組織評価規程 (平成 29 年 2 月 23 日法人規程第 8 号)

筑波大学附属図書館利用規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 6 日法人規程第 9 号)

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 10 号)

情報ガバナンス基盤室規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 11 号)

国立大学法人筑波大学文書処理規程の一部を改正する規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 12 号)

国立大学法人筑波大学公印取扱規程の一部を改正する規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 13 号)

国立大学法人筑波大学の情報の格付け及び取扱制限に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 14 号)

国立大学法人筑波大学防火・防災管理規程の一部を改正する規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 15 号)

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 16 号)

国立大学法人筑波大学本部等職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 17 号)

国立大学法人筑波大学附属病院職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 18 号)

国立大学法人筑波大学附属学校職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 19 号)

国立大学法人筑波大学附属学校教員の再雇用に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 20 号)

国立大学法人筑波大学職員懲戒規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 21 号)

国立大学法人筑波大学職員の育児休業及び介護休業等に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 22 号)

国立大学法人筑波大学本部等職員の採用、昇任、退職等に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 23 号)

国立大学法人筑波大学附属病院職員の採用、昇任、退職等に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 24 号)

国立大学法人筑波大学附属学校職員の採用、昇任、退職等に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 25 号)

国立大学法人筑波大学職員の服務監督者に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 26 号)

国立大学法人筑波大学附属学校職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 27 号)

国立大学法人筑波大学特定基本年俸職員の給与に関する規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 28 号)

筑波大学学生居住施設規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 29 号）
国立大学法人筑波大学国際規制物資計量管理規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 30 号）
筑波大学動物実験取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 31 号）
筑波大学遺伝子組換え実験安全管理規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 32 号）
環境・エネルギー対策委員会規程（平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 33 号）
国立大学法人筑波大学財産管理施行規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 34 号）
筑波大学アーカイブズにおける保存、利用等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 3 月 23 日法人規程第 35 号）
国立大学法人筑波大学財務規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 3 月 31 日法人規程第 36 号）
国立大学法人筑波大学財産管理施行規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 3 月 31 日法人規程第 37 号）
国立大学法人筑波大学文書処理規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 3 月 31 日法人規程第 38 号）

○法人細則

国立大学法人筑波大学の分任会計責任者等並びに会計責任者等の補助者の任命に関する取扱いを定める法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 4 月 26 日法人細則第 19 号）
ライフイノベーション学位プログラムの人材養成目的等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 5 月 25 日法人細則第 20 号）
筑波大学大学院入学者選抜等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 5 月 26 日法人細則第 21 号）
国立大学法人筑波大学大学教員の任用手続等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 6 月 2 日法人細則第 22 号）
国立大学法人筑波大学の分任会計責任者等並びに会計責任者等の補助者の任命に関する取扱いを定める法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 6 月 30 日法人細則第 23 号）
国立大学法人筑波大学の会計責任者等の使用する公印に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 6 月 30 日法人細則第 24 号）
国立大学法人筑波大学修学支援事業基金細則（平成 28 年 7 月 21 日法人細則第 25 号）
国立大学法人筑波大学の分任会計責任者等並びに会計責任者等の補助者の任命に関する取扱いを定める法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 7 月 28 日法人細則第 26 号）
国立大学法人筑波大学財産管理事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 8 月 5 日法人細則第 27 号）
国立大学法人筑波大学保育施設運営細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 9 月 29 日法人細則第 28 号）
ヒューマンバイオロジー学位プログラムの人材養成目的等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 11 月 24 日法人細則第 29 号）
エンパワーメント情報学プログラムの人材養成目的等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成

28年11月24日法人細則第30号)

ライフイノベーション学位プログラムの人材養成目的等に関する法人細則の一部を改正する法人細則(平成28年11月24日法人細則第31号)

学位プログラム教育会議細則の一部を改正する法人細則(平成28年12月15日法人細則第32号)

筑波大学学群入学資格審査細則の一部を改正する法人細則(平成29年3月16日法人細則第1号)

筑波大学学群入学者選抜等に関する法人細則の一部を改正する法人細則(平成29年3月16日法人細則第2号)

筑波大学学生宿舎の管理運営に関する法人細則の一部を改正する法人細則(平成29年3月23日法人細則第3号)

国立大学法人筑波大学紫峰会基金細則の一部を改正する法人細則(平成29年3月23日法人細則第4号)

国立大学法人筑波大学留学生後援会基金細則の一部を改正する法人細則(平成29年3月23日法人細則第5号)

国立大学法人筑波大学修学支援事業基金細則の一部を改正する法人細則(平成29年3月23日法人細則第6号)

国立大学法人筑波大学の財産管理役、財産管理役代理及び財産管理代行者の業務の範囲並びに指定する職位を定める法人細則の一部を改正する法人細則(平成29年3月23日法人細則第7号)

国立大学法人筑波大学の分任会計責任者等並びに会計責任者等の補助者の任命に関する取扱いを定める法人細則の全部を改正する法人細則(平成29年3月31日法人細則第8号)

国立大学法人筑波大学出納事務取扱細則の一部を改正する法人細則(平成29年3月31日法人細則第9号)

国立大学法人筑波大学財産管理事務取扱細則の一部を改正する法人細則(平成29年3月31日法人細則第10号)

○学長告示

国立大学法人筑波大学大学本部等事業場及び東京キャンパス事業場の適用範囲についての一部を改正する学長告示(平成28年4月1日学長告示第1号)

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則第36条の6に規定する特定の事項を所掌する職について(平成28年6月28日学長告示第2号)

○附属病院規程

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程(平成28年9月26日附属病院規程第2号)

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程(平成28年10月31日附属病院規程第3号)

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程(平成29年3月23日附属病院規程第1号)

○附属病院細則

筑波大学附属病院リスクマネジメント委員会細則の一部を改正する附属病院細則(平成28年4月18日附属病院細則第16号)

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則(平成28年5月30日附属病院細則第17号)

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 6 月 13 日附属病院細則第 18 号）

筑波大学附属病院医療連携患者相談センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 8 月 1 日附属病院細則第 19 号）

筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 8 月 1 日附属病院細則第 20 号）

筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター提供細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 8 月 1 日附属病院細則第 21 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 9 月 5 日附属病院細則第 22 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 9 月 26 日附属病院細則第 23 号）

筑波大学附属病院つくば予防医学研究センターの組織及び運営に関する細則（平成 28 年 9 月 26 日附属病院細則第 24 号）

筑波大学附属病院放射線治療品質管理委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 10 月 31 日附属病院細則第 25 号）

筑波大学附属病院におけるインフォームドコンセントの実施に関する細則（平成 28 年 10 月 31 日附属病院細則第 26 号）

筑波大学附属病院臨床医療管理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 10 月 31 日附属病院細則第 27 号）

筑波大学附属病院高難度新規医療技術検討委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 10 月 31 日附属病院細則第 28 号）

筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 10 月 31 日附属病院細則第 29 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 10 月 31 日附属病院細則第 30 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 11 月 28 日附属病院細則第 31 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 12 日附属病院細則第 32 号）

筑波大学附属病院研修登録医受入細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 33 号）

筑波大学附属病院総合臨床教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 34 号）

筑波大学附属病院総合災害・救急マネジメント室の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 35 号）

筑波大学附属病院特別委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 36 号）

筑波大学附属病院看護部長候補者選考及び再任審査に係る細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 37 号）

筑波大学附属病院病院経営協議会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 38 号）

筑波大学附属病院財務経営委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 39 号）

筑波大学附属病院地域医療調整委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 40 号）

筑波大学附属病院先進医療専門委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 41 号）

筑波大学附属病院医療ガス安全管理委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 42 号）

筑波大学附属病院検査部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 43 号）

筑波大学附属病院手術部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 44 号）

筑波大学附属病院放射線部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 45 号）

筑波大学附属病院救急・集中治療部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 46 号）

筑波大学附属病院輸血部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 47 号）

筑波大学附属病院光学医療診療部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 48 号）

筑波大学附属病院医療情報経営戦略部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 49 号）

筑波大学附属病院病理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 50 号）

筑波大学附属病院リハビリテーション部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 51 号）

筑波大学附属病院血液浄化療法部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 52 号）

筑波大学附属病院病態栄養部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 53 号）

筑波大学附属病院感染管理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 54 号）

筑波大学附属病院臨床心理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 55 号）

筑波大学附属病院遺伝診療部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 56 号）

筑波大学附属病院物流センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 57 号）

筑波大学附属病院総合周産期母子医療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 58 号）

筑波大学附属病院緩和ケアセンターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 59 号）

筑波大学附属病院つくばヒト組織診断センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 60 号）

筑波大学附属病院総合がん診療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 61 号）

筑波大学附属病院医療機器管理センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 62 号）

筑波大学附属病院小児総合医療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 63 号）

筑波大学附属病院小児集中治療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 64 号）

筑波大学附属病院認知症疾患医療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 65 号）

筑波大学附属病院病床管理センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 66 号）

筑波大学附属病院つくば市バースセンターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 67 号）

筑波大学附属病院外来化学療法室の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 68 号）

筑波大学附属病院ボランティア室の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 69 号）

筑波大学附属病院国際戦略総合特区推進室の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 70 号）

筑波大学附属病院放射線治療品質管理室細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 71 号）

つくばスポーツ医学・健康科学センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 72 号）

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 73 号）

筑波大学附属病院茨城県地域臨床教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 74 号）

筑波大学附属病院ひたちなか社会連携教育研究センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 75 号）

筑波大学附属病院日立社会連携教育研究センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 76 号）

筑波大学附属病院茨城県小児地域医療教育ステーションの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 77 号）

筑波大学附属病院取手地域臨床教育ステーションの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 78 号）

筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 79 号）

筑波大学附属病院神栖地域医療教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 80 号）

筑波大学附属病院クリティカルパス委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 81 号）

筑波大学附属病院外来診療委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 82 号）

筑波大学附属病院入院診療委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 83 号）

筑波大学附属病院保険診療委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 84 号）

筑波大学附属病院虐待対策委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 85 号）

筑波大学附属病院患者サービス委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 86 号）

筑波大学附属病院輸血療法委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 87 号）

筑波大学附属病院感染対策委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 88 号）

筑波大学附属病院遺伝子治療臨床研究審査委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 89 号）

筑波大学附属病院医療機器等導入審査委員会に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 90 号）

筑波大学附属病院外来診療の運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 91 号）

筑波大学附属病院診療情報提供細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 92 号）

つくば臨床医学研究開発機構の組織及び運営に関する細則を廃止する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 93 号）

つくば臨床医学研究開発機構研究支援業務細則を廃止する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 94 号）

筑波大学附属病院 ISO・医療業務支援部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 12 月 26 日附属病院細則第 95 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 1 月 23 日附属病院細則第 1 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 2 月 6 日附属病院細則第 2 号）

筑波大学附属病院における未収附属病院収入の徴収不能引当金の算定に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 3 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 4 号）

筑波大学附属病院副病院長の職務分担に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 5 号）

筑波大学附属病院財務経営委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 6 号）

筑波大学附属病院地域医療調整委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 3 月 27 日附属病院

細則第 7 号)

筑波大学附属病院臨床医療管理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 8 号)

筑波大学附属病院 ISO・医療業務支援部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 9 号)

筑波大学附属病院感染管理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 10 号)

筑波大学附属病院医療連携患者相談センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 11 号)

筑波大学附属病院医療機器管理センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 12 号)

筑波大学附属病院病床管理センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 13 号)

筑波大学附属病院総合災害・救急マネジメント室の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 14 号)

筑波大学附属病院国際戦略総合特区推進室の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 15 号)

筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 16 号)

筑波大学附属病院神栖地域医療教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 17 号)

筑波大学附属病院リスクマネジメント委員会細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 18 号)

筑波大学附属病院医療倫理委員会細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 19 号)

筑波大学附属病院薬事委員会細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 20 号)

筑波大学附属病院感染対策委員会細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 21 号)

筑波大学附属病院高難度新規医療技術検討委員会細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 22 号)

筑波大学附属病院医療材料選定委員会細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 23 号)

筑波大学附属病院医療機器等導入審査委員会細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 24 号)

筑波大学附属病院病院研修生受入細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 25 号)

筑波大学附属病院受託実習生受入細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 26 号)

筑波大学附属病院救急救命士気管挿管受託実習生受入細則の一部を改正する附属病院細則(平成 29 年 3 月

27 日附属病院細則第 27 号)

筑波大学附属病院薬剤師実務受託実習生受入細則の一部を改正する附属病院細則 (平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 28 号)

筑波大学附属病院薬剤師実務研修生受入細則の一部を改正する附属病院細則 (平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 29 号)

筑波大学附属病院妊婦・授乳婦専門薬剤師養成研修研修生受入細則の一部を改正する附属病院細則 (平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 30 号)

筑波大学附属病院がん薬物療法認定薬剤師研修生受入細則の一部を改正する附属病院細則 (平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 31 号)

筑波大学附属病院におけるインフォームドコンセントの実施に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成 29 年 3 月 27 日附属病院細則第 32 号)

○附属学校教育局細則

国立大学法人筑波大学附属学校教育局の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属学校教育局細則 (平成 28 年 9 月 9 日附属学校教育局細則第 1 号)

国立大学法人筑波大学理療科教員養成施設理療研修生受入れ細則の一部を改正する附属学校教育局細則 (平成 28 年 12 月 27 日附属学校教育局細則第 2 号)

筑波大学理療科教員養成施設細則の一部を改正する附属学校教育局細則 (平成 29 年 3 月 27 日附属学校教育局細則第 1 号)

○部局細則

博士課程研究科

ビジネス科学研究科

ビジネス科学研究科の教育に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 5 月 27 日ビジネス科学研究科部局細則第 1 号)

数理物質科学研究科

数理物質科学研究科学位論文 (課程博士) 審査等に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 11 月 11 日数理物質科学研究科部局細則第 2 号)

数理物質科学研究科学位論文 (論文博士) 審査等に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 11 月 11 日数理物質科学研究科部局細則第 3 号)

数理物質科学研究科学位論文 (修士論文) 審査等に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 11 月 11 日数理物質科学研究科部局細則第 4 号)

システム情報工学研究科

システム情報工学研究科入学者選抜実施細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 7 月 8 日システム情報工学研究科部局細則第 3 号)

筑波大学大学院学則に基づくシステム情報工学研究科細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 7 月 8 日システム情報工学研究科部局細則第 4 号)

システム情報工学研究科における課程修了に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 29 年 3 月 1 日システム情報工学研究科部局細則第 1 号)

システム情報工学研究科における教育課程の編成等に関する細則の一部を改正する部局細則(平成 29 年 3 月 1 日システム情報工学研究科部局細則第 2 号)

図書館情報メディア研究科

図書館情報メディア研究科の入学者選抜に関する細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 6 月 15 日図書館情報メディア研究科部局細則第 3 号)

学群

人間学群

人間学群履修細則の一部を改正する部局細則(平成 29 年 1 月 11 日人間学群部局細則第 1 号)

生命環境学群

生命環境学群履修細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 8 月 22 日生命環境学群部局細則第 1 号)

生命環境学群履修細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 10 月 27 日生命環境学群部局細則第 2 号)

生命環境学群履修細則の一部を改正する部局細則(平成 29 年 1 月 27 日生命環境学群部局細則第 1 号)

情報学群

情報学群履修細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 6 月 8 日情報学群部局細則第 2 号)

情報学群履修細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 12 月 6 日情報学群部局細則第 3 号)

医学群

医学群履修細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 9 月 26 日医学群部局細則第 2 号)

医学群履修細則の一部を改正する部局細則(平成 29 年 2 月 23 日医学群部局細則第 1 号)

芸術専門学群

芸術専門学群履修細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 6 月 15 日芸術専門学群部局細則第 2 号)

系

人文社会系

人文社会系人事委員会細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 10 月 6 日人文社会系部局細則第 4 号)

人文社会系テニユアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 10 月 6 日人文社会系部局細則第 5 号)

ビジネスサイエンス系

ビジネスサイエンス系人事委員会細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 7 月 7 日ビジネスサイエンス系部局細則第 2 号)

ビジネスサイエンス系テニユアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 7 月 7 日ビジネスサイエンス系部局細則第 3 号)

ビジネスサイエンス系長の候補者選考細則の一部を改正する部局細則(平成 29 年 1 月 27 日ビジネスサイエンス系部局細則第 1 号)

数理物質系

数理物質系教員会議細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 4 月 1 日数理物質系部局細則第 1 号)

数理物質系における特別招聘教授の任用に関する細則の一部を改正する部局細則(平成 28 年 4 月 1 日)

数理物質系部局細則第 2 号)

数理物質系の系長の候補者選考細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 4 月 1 日数理物質系部局細則第 3 号)

数理物質系研究倫理委員会細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 4 月 1 日数理物質系部局細則第 4 号)

数理物質系大学教員業績評価委員会細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 4 月 1 日数理物質系部局細則第 5 号)

数理物質系年俸制教員評価実施委員会細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 4 月 1 日数理物質系部局細則第 6 号)

国立大学法人筑波大学数理物質融合科学センター細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 4 月 1 日数理物質系部局細則第 7 号)

国立大学法人筑波大学数理物質融合科学センター細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 6 月 10 日数理物質系部局細則第 8 号)

国立大学法人筑波大学数理物質系におけるナノテクノロジープラットフォーム共用施設の利用に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 6 月 10 日数理物質系部局細則第 9 号)

筑波大学数理物質系におけるオープンラボ・インストラクションプログラムに関する細則 (平成 28 年 6 月 20 日数理物質系部局細則第 10 号)

筑波大学数理物質系人事委員会細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 9 月 1 日数理物質系部局細則第 11 号)

筑波大学数理物質系大学教員のテニュアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 9 月 1 日数理物質系部局細則第 12 号)

国立大学法人筑波大学数理物質融合科学センター細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 12 月 9 日数理物質系部局細則第 13 号)

数理物質系におけるナノテクノロジープラットフォーム共用施設の利用に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 29 年 2 月 10 日数理物質系部局細則第 1 号)

数理物質融合科学センター細則の一部を改正する部局細則 (平成 29 年 2 月 10 日数理物質系部局細則第 2 号)

システム情報系

システム情報系人事委員会細則に関する部局細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 9 月 1 日システム情報系部局細則第 4 号)

システム情報系大学教員のテニュアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 9 月 1 日システム情報系部局細則第 5 号)

システム情報系大学教員のテニュアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 29 年 2 月 2 日システム情報系部局細則 1 号)

システム情報系における研究職員等の任用に関する細則 (平成 29 年 2 月 8 日システム情報系部局細則第 2 号)

生命環境系

生命環境系大学教員のテニュアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 28 年 6 月 2 日生命環境系部局細則第 2 号)

生命環境系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 3 月 2 日生命環境系部局細則第 1 号）

人間系

人間系情報環境委員会運営等細則（平成 28 年 5 月 26 日人間系部局細則第 3 号）

人間系利益相反委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 2 月 23 日人間系部局細則第 1 号）

体育系

体育系情報環境委員会運営等細則（平成 28 年 5 月 11 日体育系部局細則第 1 号）

体育系大学教員のテニユアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 9 月 1 日体育系部局細則第 2 号）

芸術系

芸術系情報環境委員会運営等細則（平成 28 年 5 月 11 日芸術系部局細則第 1 号）

芸術系大学教員のテニユアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 9 月 1 日芸術系部局細則第 2 号）

医学医療系

医学医療系情報環境委員会運営等細則（平成 28 年 4 月 27 日医学医療系部局細則第 4 号）

医学地区リスクマネジメント細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 5 月 25 日医学医療系部局細則第 5 号）

医学医療系教員のテニユアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 6 月 22 日医学医療系部局細則第 6 号）

国立大学法人筑波大学トランスボーダー医学研究センター細則（平成 28 年 12 月 28 日医学医療系部局細則第 7 号）

医学医療系運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 3 月 22 日医学医療系部局細則第 1 号）

医学医療系大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 3 月 22 日医学医療系部局細則第 2 号）

図書館情報メディア系

春日エリアリスクマネジメント細則（平成 28 年 7 月 20 日図書館情報メディア系部局細則第 2 号）

図書館情報メディア系におけるテニユアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 9 月 1 日図書館情報メディア系部局細則第 3 号）

全国共同教育研究施設

下田臨海実験センター

下田臨海実験センター船舶等利用細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 3 月 30 日下田臨海実験センター部局細則第 1 号）

学内共同教育研究施設

生命領域学際研究センター

生命領域学際研究センター人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 5 月 12 日生命領域学際研究センター部局細則第 1 号）

生命領域学際研究センター細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 6 月 27 日生命領域学際研究セン

ター部局細則第2号)

生命領域学際研究センター大学教員のテニュアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則(平成28年7月7日生命領域学際研究センター部局細則第3号)

体育センター

体育センター細則の一部を改正する部局細則(平成28年6月3日体育センター部局細則第1号)

体育センター体育施設等の使用に関する細則の一部を改正する部局細則(平成28年6月3日体育センター部局細則第2号)

体育センター体育施設等の使用に関する細則の一部を改正する部局細則(平成29年3月29日体育センター部局細則第1号)

学術情報メディアセンター

筑波大学情報環境機構学術情報メディアセンター電子計算機等利用料金に関する細則の一部を改正する部局細則(平成29年2月21日学術情報メディアセンター部局細則第1号)

研究基盤総合センター

筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室機器相互利用・機器共同利用・委託利用に関する細則の一部を改正する部局細則(平成28年5月2日研究基盤総合センター部局細則第2号)

筑波大学研究基盤総合センター応用加速器部門における施設利用に関する細則の一部を改正する部局細則(平成28年4月1日研究基盤総合センター部局細則第3号)

筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室機器相互利用・機器共同利用・委託利用に関する細則の一部を改正する部局細則(平成28年7月1日研究基盤総合センター部局細則第4号)

筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室機器相互利用・機器共同利用・委託利用に関する細則の一部を改正する部局細則(平成28年10月1日研究基盤総合センター部局細則第5号)

筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室機器相互利用・機器共同利用・委託利用に関する細則の一部を改正する部局細則(平成28年10月1日研究基盤総合センター部局細則第6号)

筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則の一部を改正する部局細則(平成29年3月27日研究基盤総合センター部局細則第1号)

筑波大学研究基盤総合センターの部門における利用に関する細則等の一部を改正する部局細則(平成29年3月27日研究基盤総合センター部局細則第3号)

部局附属教育研究施設

大学研究センター

国立大学法人筑波大学大学研究センター細則の一部を改正する部局細則(平成28年4月22日ビジネスサイエンス系部局細則第1号)

附属図書館

筑波大学附属図書館利用細則の一部を改正する部局細則(平成29年3月6日附属図書館部局細則第1号)

筑波大学附属図書館運営委員会専門委員会細則の一部を改正する部局細則(平成29年3月6日附属図書館部局細則第2号)

つくば臨床医学研究開発機構

つくば臨床医学研究開発機構の組織及び運営に関する細則（平成 28 年 4 月 1 日つくば臨床医学研究開発機構部局細則第 1 号）

つくば臨床医学研究開発機構シーズ評価委員会の組織及び運営に関する細則（平成 28 年 4 月 1 日つくば臨床医学研究開発機構部局細則第 2 号）

つくば臨床医学研究開発機構プロジェクト検討委員会の組織及び運営に関する細則（平成 28 年 4 月 1 日つくば臨床医学研究開発機構部局細則第 3 号）

つくば臨床医学研究開発機構研究支援業務細則（平成 28 年 4 月 1 日つくば臨床医学研究開発機構部局細則第 4 号）

つくば臨床医学研究開発機構の組織及び運営に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 2 月 22 日つくば臨床医学研究開発機構部局細則第 1 号）

(4) 主要行事

入 学 式	学群(理療科教員養成施設を含む), 大学院	4月7日(木)
	学群(秋学期入学), 大学院(秋学期入学)	9月30日(金)
新入生履修ガイダンス	学群(4月入学)	4月8日(金)
新入生オリエンテーション	学群(4月入学)	4月11日(月), 12日(火)
	大学院	4月7日(木), 8日(金)
	私費外国人研究生(4月入学)	4月6日(水)
	国費外国人留学生(4月入学)	4月6日(水)
	私費外国人研究生(10月入学)	9月29日(木)
	国費外国人留学生(10月入学)	9月29日(木)
	私費外国人研究生(12月入学)	12月5日(月)
スポーツ・デー	春 季	5月14日(土), 15日(日)
	秋 季	11月12日(土), 13日(日)

入学試験等(学群)

・受験生のための筑波大学説明会

人文・文化学群(人文学類), 人間学群(教育学類, 心理学類, 障害科学類), 生命環境学群(生物学類), 理工学群(社会工学類), 情報学群(情報メディア創成学類), 医学群(医学類), 芸術専門学群

人文・文化学群(比較文化学類), 社会・国際学群(社会学類, 国際総合学類), 生命環境学群(生物資源学類), 理工学群(工学システム学類), 情報学群(知識情報・図書館学類), 医学群(医療科学類), 体育専門学群

人文・文化学群(日本語・日本文化学類), 生命環境学群(地球学類), 理工学群(数学類, 物理学類, 化学類, 応用理工学類), 情報学群(情報科学類), 医学群(看護学類)

・平成28年度 Japan-Expert (学士) プログラム特別入試 (10月入学) 5月16日(月)~20日(金)

・平成28年度帰国生徒特別入試 (10月入学) 7月16日(土)

・平成29年度学群編入学試験 7月16日(土), 17日(日)

・平成29年度アドミッションセンター入試

第1次選考合格発表 9月21日(水)

第2次選考 10月3日(月)~17日(月)

・平成29年度国際科学オリンピック特別入試 10月3日(月)~17日(月)

第1次選考合格発表(生物学類のみ) 9月21日(水)

第2次選考 (//) 10月12日(水)

・平成29年度国際バカロレア特別入試 10月3日(月)~17日(月)

第1次選考合格発表 9月21日(水)

第2次選考 10月3日(月)~17日(月)

- ・平成 29 年度推薦入試…………… 11 月 29 日 (火), 30 日 (水)
 - 第 1 段階選抜合格発表
 - [障害科学類 (障害者特別入試) のみ]…………… 11 月 14 日 (月)
 - 第 2 段階選抜 ["]…………… 11 月 29 日 (火)
- ・平成 29 年度帰国生徒特別入試 (体育専門学群・芸術専門学群)
 - …………… 11 月 29 日 (火), 30 日 (水)
- ・平成 29 年度大学入試センター試験…………… 1 月 14 日 (土), 15 日 (日)
- ・平成 29 年度私費外国人留学生特別コース入試 (9 月入学)
 - 第 1 次選考発表…………… 2 月 8 日 (水)
 - 第 2 次選考…………… 2 月 27 日 (月) ~ 3 月 10 日 (金)
 - [編入学]…………… 2 月 20 日 (月) ~ 3 月 10 日 (金)
- ・平成 29 年度学群編入学試験 (社会学類)…………… 2 月 25 日 (土), 26 日 (日)
- ・平成 29 年度私費外国人留学生入試…………… 2 月 25 日 (土), 26 日 (日)
 - 第 1 段階選抜合格発表 (医学類のみ)…………… 2 月 8 日 (水)
 - 第 2 段階選抜 (")…………… 2 月 25 日 (土)
- ・平成 29 年度個別学力検査等
 - 第 1 段階選抜発表
 - 前期日程…………… 2 月 8 日 (水)
 - 後期日程…………… 2 月 27 日 (月)
 - 第 2 段階選抜
 - 前期日程…………… 2 月 25 日 (土), 26 日 (日)
 - 後期日程…………… 3 月 12 日 (日)

入学試験 (大学院)

○平成29年度修士課程入学試験

- ・教育研究科 (スクールリーダーシップ開発専攻, 教科教育専攻)…………… 10月18日 (火), 19日 (水)

○平成29年度博士課程入学試験

- ・数理物質科学研究科 (博士前期課程), システム情報工学研究科 (博士前期課程), 生命環境科学研究科 (地球科学専攻, 生物資源科学専攻, 環境科学専攻), 人間総合科学研究科 (障害科学専攻 (博士前期課程), 体育学専攻), 図書館情報メディア研究科 (博士前期課程) 推薦
 - …………… 7 月 5 日 (火)
- ・システム情報工学研究科 (博士後期課程) 内部進学…………… 7 月 5 日 (火)
- ・人文社会科学研究科 (哲学・思想専攻, 文芸・言語専攻, 国際公共政策専攻 (博士前期課程), 国際日本研究専攻 (博士後期課程)) 推薦…………… 7 月 6 日 (水)
- ・人間総合科学研究科 (ヒューマン・ケア科学専攻) 内部進学…………… 7 月 6 日 (水)
- ・人間総合科学研究科 (スポーツ健康システム・マネジメント専攻) 推薦…………… 7 月 16 日 (土)
- ・人間総合科学研究科 (生涯発達専攻)…………… 8 月 20 日 (土), 21 日 (日)
- ・グローバル教育院 (ライフイノベーション学位プログラム)…………… 8 月 22 日 (月) ~ 26 日 (金)

- ・人間総合科学研究科（看護科学専攻（博士後期課程），生命システム医学専攻，疾患制御医学専攻，ヒューマン・ケア科学専攻，スポーツ医学専攻）…………… 8月23日（火）
- ・数理物質科学研究科（博士前期課程，物質・材料工学専攻），人間総合科学研究科（看護科学専攻（博士前期課程））…………… 8月23日（火），24日（水）
- ・システム情報工学研究科（博士後期課程），生命環境科学研究科（環境科学専攻，地球進化科学専攻，国際地縁技術開発科学専攻，生物圏資源科学専攻，生物機能科学専攻，生命産業科学専攻，持続環境学専攻，先端農業技術科学専攻），人間総合科学研究科（フロンティア医科学専攻）…………… 8月24日（水）
- ・システム情報工学研究科（構造エネルギー工学専攻（博士前期課程）），生命環境科学研究科（地球科学専攻，生物科学専攻（博士前期課程），生物資源科学専攻，環境バイオマス共生学専攻），人間総合科学研究科（心理専攻，感性認知脳科学専攻（博士前期課程））…………… 8月24日（水），25日（木）
- ・システム情報工学研究科（知能機能システム専攻（博士前期課程））…………… 8月24日（水），25日（木），26日（金）
- ・数理物質科学研究科（博士後期課程），システム情報工学研究科（リスク工学専攻（博士前期課程）），生命環境科学研究科（生物科学専攻（博士後期課程）），人間総合科学研究科（感性認知脳科学専攻（博士後期課程））…………… 8月25日（木）
- ・システム情報工学研究科（社会工学専攻（博士前期課程），コンピュータサイエンス専攻（博士前期課程））…………… 8月25日（木），26日（金）
- ・システム情報工学研究科（リスク工学専攻（博士後期課程））東京会場…………… 8月27日（土）
- ・図書館情報メディア研究科（博士前期課程）…………… 8月29日（月），30日（火）
- ・図書館情報メディア研究科（博士後期課程），グローバル教育院（ヒューマンバイオロジー学位プログラム）…………… 8月30日（火），31日（水）
- ・人間総合科学研究科（スポーツ健康システム・マネジメント専攻）…………… 9月 3日（土）
- ・ビジネス科学研究科（企業法学専攻，企業科学専攻）…………… 9月 4日（日）
- ・人間総合科学研究科（スポーツ国際開発学共同専攻）…………… 9月24日（土）
- ・人間総合科学研究科（大学体育スポーツ高度化共同専攻）…………… 9月25日（日）
- ・人間総合科学研究科（体育学専攻）…………… 10月13日（木）
- ・人間総合科学研究科（教育学専攻，障害科学専攻（博士前期課程），芸術専攻（博士前期課程），世界遺産専攻）…………… 10月13日（木），14日（金）
- ・人間総合科学研究科（教育基礎学専攻，学校教育学専攻）…………… 10月17日（月）
- ・人間総合科学研究科（心理学専攻）内部進学…………… 10月19日（水）
- ・人文社会科学研究科（歴史・人類学専攻，国際公共政策専攻（博士前期課程），国際日本研究専攻（博士後期課程））…………… 10月20日（木）
- ・人文社会科学研究科（国際地域研究専攻，現代語・現代文化専攻（博士前期課程），国際日本研究専攻（博士前期課程））…………… 10月20日（木），21日（金）

- ・グローバル教育院（エンパワーメント情報学プログラム）…………… 10月24日（月）～11月13日（日）
- ・ビジネス科学研究科（経営システム科学専攻），人間総合科学研究科（生涯発達科学専攻）
…………… 11月12日（土），13日（日）
- ・人間総合科学研究科（スポーツウエルネス学位プログラム）…………… 11月19日（土）
- ・グローバル教育院（エンパワーメント情報学プログラム）…………… 12月 5日（月）
- ・グローバル教育院（ヒューマンバイオロジー学位プログラム）…………… 12月13日（火），14日（水）
- ・グローバル教育院（ライフイノベーション学位プログラム）…………… 1月24日（火）～26日（木）
- ・システム情報工学研究科（リスク工学専攻（博士後期課程））東京会場…………… 1月28日（土）
- ・人文社会科学研究所（歴史・人類学専攻，国際公共政策専攻（博士後期課程），国際日本研究専攻（博士後期課程）），人間総合科学研究科（障害科学専攻（博士前期課程））…………… 1月31日（火）
- ・人文社会科学研究所（国際公共政策専攻（博士前期課程）），人間総合科学研究科（看護科学専攻（博士前期課程），生命システム医学専攻，疾患制御医学専攻，看護科学専攻（博士後期課程），スポーツ医学専攻）2次募集…………… 1月31日（火）
- ・人文社会科学研究所（歴史・人類学専攻）第3年次編入学…………… 1月31日（火）
- ・人文社会科学研究所（哲学・思想専攻，文芸・言語専攻，現代語・現代文化専攻（博士前期課程），現代語・現代文化専攻（博士後期課程），国際日本研究専攻（博士前期課程）），数理物質科学研究科（電子・物理工学専攻（博士前期課程），物性・分子工学専攻（博士前期課程），物質・材料工学専攻），人間総合科学研究科（教育学専攻）…………… 1月31日（火），2月 1日（水）
- ・数理物質科学研究科（数学専攻（博士前期課程），物理学専攻（博士前期課程），化学専攻（博士前期課程））2次募集…………… 1月31日（火），2月 1日（水）
- ・人文社会科学研究所（哲学・思想専攻，文芸・言語専攻）第3年次編入学
…………… 1月31日（火），2月 1日（水）
- ・数理物質科学研究科（数学専攻（博士後期課程），物理学専攻（博士後期課程），電子・物理工学専攻（博士後期課程），物性・分子工学専攻（博士後期課程）），生命環境科学研究科（環境科学専攻，持続環境学専攻），人間総合科学研究科（障害科学専攻（博士後期課程），世界文化遺産学専攻，コーチング学専攻）…………… 2月 1日（水）
- ・数理物質科学研究科（化学専攻（博士後期課程），ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻（博士後期課程）），生命環境科学研究科（国際地縁技術開発科学専攻，生物圏資源科学専攻，生物機能科学専攻，生命産業科学専攻，先端農業技術科学専攻），人間総合科学研究科（フロンティア医科学専攻，ヒューマン・ケア科学専攻）2次募集…………… 2月 1日（水）
- ・生命環境科学研究科（地球科学専攻，生物資源科学専攻，環境バイオマス共生学専攻），人間総合科学研究科（感性認知脳科学専攻（博士前期課程））2次募集…………… 2月 1日（水），2日（木）
- ・生命環境科学研究科（環境バイオマス共生学専攻）第3年次編入学…………… 2月 1日（水），2日（木）
- ・システム情報工学研究科（リスク工学専攻（博士前期課程），社会工学専攻（博士後期課程），知能機能システム専攻（博士後期課程），構造エネルギー工学専攻（博士後期課程）），生命環境科学研究科（地球環境科学専攻，地球進化科学専攻，生物科学専攻（博士後期課程）），人間総合科学研究

科（教育基礎学専攻，体育科学専攻，芸術専攻（博士後期課程）），図書館情報メディア研究科（博士前期課程），グローバル教育院（エンパワーメント情報学プログラム）

..... 2月 2日（木）

・生命環境科学研究科（生物科学専攻（博士前期課程）），人間総合科学研究科（感性認知脳科学専攻（博士後期課程））2次募集..... 2月 2日（木）

・システム情報工学研究科（社会工学専攻（博士前期課程），コンピュータサイエンス専攻（博士前期課程），知能機能システム専攻（博士前期課程）），人間総合科学研究科（心理学専攻）

..... 2月 2日（木），3日（金）

・人間総合科学研究科（心理専攻，世界遺産専攻）2次募集..... 2月 2日（木），3日（金）

・システム情報工学研究科（構造エネルギー工学専攻（博士前期課程），リスク工学専攻（博士後期課程），コンピュータサイエンス専攻（博士後期課程）），図書館情報メディア研究科（博士後期課程）

..... 2月 3日（金）

・人間総合科学研究科（スポーツ健康システム・マネジメント専攻，スポーツ国際開発学共同専攻，大学体育スポーツ高度化共同専攻）2次募集..... 2月 4日（土）

・ビジネス科学研究科（企業法学専攻，企業科学専攻）2次募集..... 2月 5日（日）

○平成29年度専門職学位課程入学試験

・ビジネス科学研究科（法曹専攻）..... 9月18日（日），22日（木・祝），10月23日（日）

・ビジネス科学研究科（国際経営プロフェッショナル専攻）..... 11月12日（土），13日（日）

永年勤続者（20年）表彰式..... 10月12日（水）

永年勤続者（退職時）表彰式..... 3月31日（金）

名誉教授称号授与式..... 6月16日（金）

学園祭（雙峰祭）..... 11月 4日（金）～ 6日（日）

卒業式・学位記授与式

学群・大学院（7月期）..... 7月25日（月）

学群・大学院（9月期）..... 9月23日（金）

大学院（3月期）..... 3月24日（金）

学群（理療科教員養成施設を含む）..... 3月24日（金）

(5) 役員・役職教員名簿

平成29年3月1日現在

役 職 名	氏 名	任 期
学長	永田 恭介	27. 4. 1～31. 3. 31
副学長	伊藤 眞	28. 4. 1～29. 3. 31
副学長・理事	三明 康郎	28. 4. 1～29. 3. 31
副学長	玉川 信一	28. 4. 1～29. 3. 31
副学長・理事	Benton Caroline F.	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	石野 利和	29. 1. 13～29. 3. 31
〃	稲垣 敏之	28. 4. 1～29. 3. 31
副学長・附属図書館長	西川 博昭	28. 4. 1～29. 3. 31
副学長・理事・附属病院長	松村 明	28. 4. 1～29. 3. 31
副学長・理事・附属学校教育局教育長	宮本 信也	28. 4. 1～29. 3. 31
理事（非常勤）	浅島 誠	28. 4. 1～29. 3. 31
監事	佐藤 総一郎	28. 4. 1～32. 8. 31
〃（非常勤）	井原 宏	28. 4. 1～32. 8. 31
大学執行役員（大学戦略・企画評価担当）	徳永 保	28. 4. 1～29. 3. 31
大学執行役員（産学連携担当）	金保 安則	28. 4. 1～29. 3. 31
大学執行役員（DACセンター担当）	五十嵐 浩也	28. 4. 1～29. 3. 31
大学執行役員	遅野井 茂雄	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	弥永 真生	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	伊藤 雅英	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	阿部 豊	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	松本 宏	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	茂呂 雄二	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	中川 昭	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	山中 敏正	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	原 晃	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	松本 紳	28. 4. 1～29. 3. 31
学長特別補佐	辻中 豊	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	馬場 忠	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	庄司 一子	28. 4. 1～29. 3. 31
学長特別補佐（非常勤）	河野 一郎	28. 4. 1～29. 3. 31
〃	吉岡 高志	28. 4. 1～29. 3. 31
学長補佐室長	池田 潤	28. 4. 1～29. 3. 31

役 職 名	氏 名	任 期
-------	-----	-----

(系長)

人文社会系長	遅野井 茂雄	27. 4. 1～30. 3. 31
ビジネスサイエンス系長	弥永 真生	27. 4. 1～30. 3. 31
数理物質系長	伊藤 雅英	27. 4. 1～30. 3. 31
システム情報系長	阿部 豊	27. 4. 1～30. 3. 31
生命環境系長	松本 宏	27. 4. 1～30. 3. 31
人間系長	茂呂 雄二	27. 4. 1～30. 3. 31
体育系長	中川 昭	27. 4. 1～30. 3. 31
芸術系長	山中 敏正	27. 4. 1～30. 3. 31
医学医療系長	原 晃	27. 4. 1～30. 3. 31
図書館情報メディア系長	松本 紳	27. 4. 1～30. 3. 31

(博士課程研究科長)

人文社会科学研究科長	山田 博志	28. 4. 1～30. 3. 31
ビジネス科学研究科長	西尾 チヅル	28. 4. 1～30. 3. 31
数理物質科学研究科長	鈴木 博章	28. 4. 1～30. 3. 31
システム情報工学研究科長	北川 博之	28. 4. 1～30. 3. 31
生命環境科学研究科長	沼田 治	28. 4. 1～30. 3. 31
人間総合科学研究科長	園山 繁樹	28. 4. 1～30. 3. 31
図書館情報メディア研究科長	溝上 智恵子	28. 4. 1～30. 3. 31

(専攻長)

人文社会科学研究科		
哲学・思想専攻長（一貫制）	桑原 直巳	27. 4. 1～29. 3. 31
歴史・人類学専攻長（一貫制）	伊藤 純郎	28. 4. 1～30. 3. 31
文芸・言語専攻長（一貫制）	宮本 陽一郎	27. 4. 1～29. 3. 31
現代語・現代文化専攻長（区分制）	畔上 泰治	27. 4. 1～29. 3. 31
国際公共政策専攻長（区分制）	竹中 佳彦	28. 4. 1～30. 3. 31
経済学専攻長（区分制）	平山 朝治	28. 4. 1～30. 3. 31
法学専攻長（区分制）	岡上 雅美	28. 4. 1～30. 3. 31
国際地域研究専攻長（修士）	首藤 素子	28. 4. 1～30. 3. 31
国際日本研究専攻長（前期）	佐藤 貢悦	27. 4. 1～29. 3. 31
国際日本研究専攻長（後期）	佐藤 貢悦	27. 4. 1～29. 3. 31
社会科学専攻長（一貫制）	岡上 雅美	28. 4. 1～30. 3. 31
ビジネス科学研究科		
経営システム科学専攻長（前期）	山田 雄二	27. 4. 1～29. 3. 31
企業法学専攻長（前期）	大野 雅人	27. 4. 1～29. 3. 31
企業科学専攻長（後期）	徳本 穰	28. 4. 1～30. 3. 31
法曹専攻長（専門職学位課程）	大石 和彦	27. 4. 1～29. 3. 31
国際経営プロフェッショナル専攻長（専門職学位課程）	徐 驊	28. 4. 1～30. 3. 31
数理物質科学研究科		
数学専攻長（区分制）	加藤 久男	28. 4. 1～30. 3. 31
物理学専攻長（区分制）	守友 浩	28. 4. 1～30. 3. 31
化学専攻長（区分制）	木越 英夫	28. 4. 1～30. 3. 31
ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻長（後期）	大塩 寛紀	27. 4. 1～29. 3. 31
電子・物理工学専攻長（区分制）	佐々木 正洋	27. 4. 1～29. 3. 31
物性・分子工学専攻長（区分制）	日野 健一	27. 4. 1～29. 3. 31

役 職 名	氏 名	任 期
物質・材料工学専攻長（3年制博士課程）	迫田 和彰	27. 4. 1～29. 3. 31
物質創成先端科学専攻長（区分制）	大塩 寛紀	27. 4. 1～29. 3. 31
システム情報工学研究科		
社会工学専攻長（区分制）	谷口 守	27. 4. 1～29. 3. 31
リスク工学専攻長（区分制）	鈴木 勉	27. 4. 1～29. 3. 31
コンピュータサイエンス専攻長（区分制）	加藤 和彦	27. 4. 1～29. 3. 31
知能機能システム専攻長（区分制）	森田 昌彦	28. 4. 1～30. 3. 31
構造エネルギー工学専攻長（区分制）	西岡 牧人	27. 4. 1～29. 3. 31
社会システム工学専攻長（前期）	谷口 守	27. 4. 1～29. 3. 31
経営・政策科学専攻長（前期）	吉瀬 章子	27. 4. 1～29. 3. 31
社会システム・マネジメント専攻長（後期）	谷口 守	27. 4. 1～29. 3. 31
生命環境科学研究科		
地球科学専攻長（前期）	呉羽 正昭	27. 4. 1～29. 3. 31
生物科学専攻長（前期）	橋本 哲男	28. 4. 1～30. 3. 31
生物資源科学専攻長（前期）	山岡 裕一	28. 4. 1～30. 3. 31
環境科学専攻長（前期）	濱 健夫	28. 4. 1～30. 3. 31
地球環境科学専攻長（後期）	呉羽 正昭	27. 4. 1～29. 3. 31
地球進化科学専攻長（後期）	角替 敏昭	28. 4. 1～30. 3. 31
生物科学専攻長（後期）	中田 和人	27. 4. 1～29. 3. 31
構造生物科学専攻長（後期）	石田 健一郎	28. 4. 1～30. 3. 31
環境バイオマス共生学専攻長（一貫制）	鈴木 石根	28. 4. 1～30. 3. 31
国際地縁技術開発科学専攻長（後期）	足立 泰久	27. 4. 1～29. 3. 31
生物圏資源科学専攻長（後期）	大澤 良	28. 4. 1～30. 3. 31
生物機能科学専攻長（後期）	田中 俊之	28. 4. 1～30. 3. 31
生命産業科学専攻長（後期）	中村 幸治	27. 4. 1～29. 3. 31
持続環境学専攻長（後期）	辻村 真貴	27. 4. 1～29. 3. 31
先端農業技術科学専攻長（3年制博士課程）	西島 隆明	27. 4. 1～29. 3. 31
生命共存科学専攻長（一貫制）	鈴木 石根	28. 4. 1～30. 3. 31
人間総合科学研究科		
スポーツ健康システム・マネジメント専攻長（修士）	水上 勝義	28. 4. 1～30. 3. 31
スポーツ国際開発学共同専攻長（修士）	清水 諭	28. 4. 1～30. 3. 31
フロンティア医科学専攻長（修士）	久武 幸司	28. 4. 1～30. 3. 31
教育学専攻長（前期）	濱田 博文	28. 4. 1～30. 3. 31
教育基礎学専攻長（後期）	濱田 博文	28. 4. 1～30. 3. 31
学校教育学専攻長（後期）	甲斐 雄一郎	28. 4. 1～30. 3. 31
心理専攻長（前期）	原田 悦子	27. 4. 1～29. 3. 31
心理学専攻長（後期）	原田 悦子	27. 4. 1～29. 3. 31
障害科学専攻長（区分制）	野呂 文行	28. 4. 1～30. 3. 31
生涯発達専攻長（前期）	小澤 温	28. 4. 1～30. 3. 31
生涯発達科学専攻長（後期）	藤生 英行	28. 4. 1～30. 3. 31
ヒューマン・ケア科学専攻長 （3年制博士課程）	庄司 一子	27. 4. 1～29. 3. 31
感性認知脳科学専攻長（区分制）	小川 園子	28. 4. 1～30. 3. 31
スポーツ医学専攻長（3年制博士課程）	徳山 薫平	28. 4. 1～30. 3. 31
大学体育スポーツ高度化共同専攻長（3年制博士課程）	高木 英樹	28. 4. 1～30. 3. 31
生命システム医学専攻長（一貫制・医学4年）	土屋 尚之	28. 4. 1～30. 3. 31
疾患制御医学専攻長（一貫制・医学4年）	千葉 滋	28. 4. 1～30. 3. 31

役 職 名	氏 名	任 期
看護科学専攻長（前期）	水野 道代	28. 4. 1～30. 3. 31
看護科学専攻長（後期）	水野 道代	28. 4. 1～30. 3. 31
体育学専攻長（前期）	内山 治樹	28. 4. 1～30. 3. 31
体育科学専攻長（後期）	西保 岳	28. 4. 1～30. 3. 31
コーチング学専攻長（3年制博士課程）	會田 宏	28. 4. 1～30. 3. 31
芸術専攻長（前期）	太田 圭	28. 4. 1～30. 3. 31
芸術専攻長（後期）	守屋 正彦	27. 4. 1～29. 3. 31
世界遺産専攻長（前期）	吉田 正人	28. 4. 1～30. 3. 31
世界文化遺産学専攻長（後期）	吉田 正人	28. 4. 1～30. 3. 31
図書館情報メディア研究科		
図書館情報メディア専攻長（区分制）	佐藤 哲司	28. 4. 1～30. 3. 31

（修士課程研究科長）

教育研究科長	清水 美憲	28. 4. 1～30. 3. 31
--------	-------	--------------------

（学位プログラムリーダー）

ヒューマンバイオロジー学位プログラムリーダー	澁谷 彰	28. 4. 1～30. 3. 31
エンパワーメント情報学プログラムリーダー	岩田 洋夫	28. 4. 1～30. 3. 31
ライフイノベーション学位プログラムリーダー	磯田 博子	27. 4. 1～29. 3. 31
サービス工学学位プログラムリーダー	吉瀬 章子	27. 4. 1～29. 3. 31

（学群長）

人文・文化学群長	山中 弘	28. 4. 1～30. 3. 31
社会・国際学群長	根本 信義	28. 4. 1～30. 3. 31
人間学群長	吉田 武男	28. 4. 1～30. 3. 31
生命環境学群長	荒川 洋二	28. 4. 1～30. 3. 31
理工学群長	佐野 伸行	28. 4. 1～30. 3. 31
情報学群長	長谷川 秀彦	28. 4. 1～30. 3. 31
医学群長	榊 正幸	28. 4. 1～30. 3. 31
体育専門学群長	真田 久	28. 4. 1～30. 3. 31
芸術専門学群長	中村 伸夫	28. 4. 1～30. 3. 31

（副学群長）

理工学群副学群長	初貝 安弘	28. 4. 1～30. 3. 31
----------	-------	--------------------

（学類長）

人文・文化学群		
人文学類長	大倉 浩	28. 4. 1～30. 3. 31
比較文化学類長	徳丸 亜木	28. 4. 1～30. 3. 31
日本語・日本文化学類長	竹沢 幸一	28. 4. 1～30. 3. 31
社会・国際学群		
社会学類長	土井 隆義	28. 4. 1～30. 3. 31
国際総合学類長	関根 久雄	28. 4. 1～30. 3. 31

役 職 名	氏 名	任 期
-------	-----	-----

人間学群		
教育学類長	藤井 穂高	28. 4. 1～30. 3. 31
心理学類長	綾部 早穂	28. 4. 1～30. 3. 31
障害科学類長	鄭 仁豪	28. 4. 1～30. 3. 31
生命環境学群		
生物学類長	千葉 智樹	28. 4. 1～30. 3. 31
生物資源学類長	北村 豊	28. 4. 1～30. 3. 31
地球学類長	松井 圭介	28. 4. 1～30. 3. 31
理工学群		
数学類長	秋山 茂樹	28. 4. 1～30. 3. 31
物理学類長	小澤 顕	28. 4. 1～30. 3. 31
化学類長	石橋 孝章	28. 4. 1～30. 3. 31
応用理工学類長	藤田 淳一	28. 4. 1～30. 3. 31
工学システム学類長	河井 昌道	28. 4. 1～30. 3. 31
社会工学類長	秋山 英三	28. 4. 1～30. 3. 31
情報学群		
情報科学類長	大矢 晃久	28. 4. 1～30. 3. 31
情報メディア創成学類長	平賀 譲	28. 4. 1～30. 3. 31
知識情報・図書館学類長	歳森 敦	28. 4. 1～30. 3. 31
医学群		
医学類長	田中 誠	28. 4. 1～30. 3. 31
看護学類長	森 千鶴	28. 4. 1～30. 3. 31
医療科学類長	二宮 治彦	28. 4. 1～30. 3. 31

(グローバル教育院)

グローバル教育院長	伊藤 眞	28. 4. 1～29. 3. 31
-----------	------	--------------------

(グローバル・commons機構)

グローバル・commons機構長	Benton Caroline F.	28. 4. 1～29. 3. 31
------------------	--------------------	--------------------

(アーカイブズ)

アーカイブズ館長	中野目 徹	28. 4. 1～30. 3. 31
----------	-------	--------------------

(国際統合睡眠医科学研究機構)

国際統合睡眠医科学研究機構長	柳沢 正史	24.12. 1～
----------------	-------	-----------

(全国共同教育研究施設の長)

計算科学研究センター長	梅村 雅之	27. 4. 1～29. 3. 31
下田臨海実験センター長	稲葉 一男	28. 4. 1～30. 3. 31
遺伝子実験センター長	江面 浩	28. 4. 1～30. 3. 31
プラズマ研究センター長	中嶋 洋輔	27. 4. 1～29. 3. 31

役 職 名	氏 名	任 期
-------	-----	-----

(学内共同教育研究施設の長)

生命領域学際研究センター長	花岡 文雄	28. 4. 1～29. 3. 31
グローバルコミュニケーション教育センター長	磐崎 弘貞	28. 4. 1～30. 3. 31
体育センター長	山田 幸雄	27. 4. 1～29. 3. 31
アドミッションセンター長	島田 康行	28. 4. 1～30. 3. 31
北アフリカ研究センター長	青木 三郎	27. 10. 1～29. 3. 31
学術情報メディアセンター長	亀山 啓輔	28. 4. 1～30. 3. 31
研究基盤総合センター長	新井 達郎	27. 4. 1～29. 3. 31
サイバニクス研究センター長	山海 嘉之	28. 4. 1～29. 9. 30
アイソトープ環境動態研究センター長	恩田 裕一	27. 4. 1～29. 3. 31
保健管理センター所長	太刀川 弘和	28. 4. 1～30. 3. 31

(部局附属教育研究施設の長)

大学研究センター長	徳永 保	28. 4. 1～29. 3. 31
学際物質科学研究センター長	鍋島 達弥	27. 4. 1～29. 3. 31
農林技術センター長	戒能 洋一	27. 4. 1～29. 3. 31
菅平高原実験センター長	石田 健一郎	28. 4. 1～30. 3. 31
教育開発国際協力研究センター長	磯田 正美	28. 4. 1～30. 3. 31
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター長	征矢 英昭	28. 4. 1～29. 3. 31
生命科学動物資源センター長	杉山 文博	27. 4. 1～29. 3. 31
知的コミュニティ基盤研究センター長	綿抜 豊昭	28. 4. 1～30. 3. 31
陽子線医学利用研究センター長	坪井 康次	28. 4. 1～30. 3. 31
つくばスポーツ医学・健康科学センター長	山崎 正志	27. 10. 1～29. 3. 31
特別支援教育研究センター長	岡 典子	28. 4. 1～29. 3. 31

(理療科教員養成施設長)

理療科教員養成施設長	宮本 俊和	28. 4. 1～30. 3. 31
------------	-------	--------------------

(附属学校長)

附属小学校長	片平 克弘	26. 4. 1～29. 3. 31
附属中学校長	野津 有司	27. 4. 1～29. 3. 31
附属駒場中学校長	林 久喜	26. 4. 1～29. 3. 31
附属高等学校長	大川 一郎	26. 4. 1～29. 3. 31
附属駒場高等学校長	林 久喜	26. 4. 1～29. 3. 31
附属坂戸高等学校長	田村 憲司	28. 4. 1～29. 3. 31
附属視覚特別支援学校長	澤田 晋	26. 4. 1～29. 3. 31
附属聴覚特別支援学校長	原島 恒夫	26. 4. 1～29. 3. 31
附属大塚特別支援学校長	柘植 雅義	26. 4. 1～29. 3. 31
附属桐が丘特別支援学校長	川間 健之介	26. 4. 1～29. 3. 31
附属久里浜特別支援学校長	下山 直人	26. 4. 1～29. 3. 31

(6) 役員・教職員数

ア 役員・教職員数総表

平成29年3月1日現在

職名 部局名	学長	理事・ 監事	副学長・ 系長	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	大学教 員計	研究員等	附属学校 教員	事務・ 技術・ 医療職員	合計
学長	1									0				1
理事・監事		9								0				9
副学長（理事でない）			3							3				3
本部（教員）				14	9		5			28				28
調整官										0				0
監査室										0			3	3
企画評価室										0			8	8
広報室										0			8	8
URA研究戦略推進室										0			15	15
総務部										0			75	75
連携・渉外室										0			6	6
財務部										0			67	67
施設部										0			44	44
国際室										0			21	21
教育推進部										0			69	69
学生部										0			57	57
研究推進部										0			75	75
産学連携部										0			42	42
学術情報部										0			80	80
人文社会系			1	95	93	4	41			234	7			241
人文社会エリア支援室										0			30	30
ビジネスサイエンス系			1	31	20	1	2		1	56				56
社会人大学院等支援室										0			17	17
数理物質系			1	70	68	33	52		1	225	15			240
数理物質エリア支援室										0			35	35
数理物質科学等技術室										0			9	9
システム情報系			1	73	69	6	53			202	14			216
システム情報エリア支援室										0			43	43
システム情報工学等技術室										0			15	15
生命環境系			1	86	77	16	74		8	262	18			280
生命環境エリア支援室										0			44	44
生命環境科学等技術室										0			18	18
人間系			1	53	35	5	14		9	117	5			122
人間エリア支援室										0			17	17
体育系			1	47	45	2	25		16	136	8			144
芸術系			1	27	20		12		1	61	3			64
体育芸術エリア支援室										0			45	45
医学医療系			1	114	103	167	87	1	3	476	16			492
医学医療エリア支援室										0			75	75
医学医療系技術室										0			37	37
図書館情報メディア系			1	25	20	5	12		1	64				64
図書館情報エリア支援室										0			21	21
利益相反・輸出管理マネジメント室										0			2	2
スポーツResearch&Developmentコア										0	20			20
サイバニクス研究センター										0	1			1
グローバル・コモンズ機構										0			14	14
国際統合睡眠医科学研究機構				6	8		9			23	18		22	63
農林技術センター技術室										0			21	21
研究基盤総合センター技術室										0			13	13
計算科学研究センター				14	11	3	10			38	25			63
下田臨海実験センター										0	1			1
生命領域学際研究センター				5		4	9			18	3			21
グローバルコミュニケーション教育センター										0	2			2
北アフリカ研究センター										0	2			2
アイソトープ環境動態研究センター										0	3		6	9
高繊精医療イノベーション研究コア										0	5			5
先端バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター										0	6			6
附属病院										0			1,123	1,123
病院総務部										0			151	151
附属学校教育局										0	1		61	62
附属学校										0		532		532
合計	1	9	13	660	578	246	405	1	40	1,943	173	532	2,389	5,047

イ 役員数

学長	理事	監事
1	7	2

ウ 大学教員異動状況

採用

	大学	研究所	企業	その他	総計
教授	6	1	2	1	10
准教授	17	2		3	22
講師	4			8	12
助教	25	5	4	18	52
特任助教	3	1	2	8	14
総計	55	9	8	38	110

退職

	大学	研究所	企業	定年	その他	総計
教授	11		1	33	5	50
准教授	16			2	7	25
講師	3	1			11	15
助教	18	4	4		5	31
特任助教	7				3	10
総計	55	5	5	35	31	131

(7) 予算決算

ア 貸借対照表

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部

I 固定資産

1 有形固定資産

土地	248,512,830	
土地減損損失累計額	<u>△1,430,000</u>	247,082,830
建物	154,434,949	
建物減価償却累計額	<u>△64,385,661</u>	
建物減損損失累計額	<u>△706,407</u>	89,342,881
構築物	11,468,715	
構築物減価償却累計額	<u>△6,118,254</u>	
構築物減損損失累計額	<u>△16,624</u>	5,333,837
機械装置	112,576	
機械装置減価償却累計額	<u>△88,780</u>	23,796
工具器具備品	58,288,066	
工具器具備品減価償却累計額	<u>△44,541,279</u>	13,746,787
図書		10,162,353
美術品・收藏品		907,590
船舶	258,749	
船舶減価償却累計額	<u>△128,991</u>	129,758
車両運搬具	140,931	
車両運搬具減価償却累計額	<u>△123,403</u>	17,528
建設仮勘定		87,493
その他の有形固定資産		7,291
有形固定資産合計		366,842,145

2 無形固定資産

商標権		1,095
特許権		204,824
借地権		235,000
電気施設利用権		27,559
ソフトウェア		182,346
電話加入権		8,549
特許権仮勘定		188,487
その他の仮勘定		345
その他の無形固定資産		35,539
無形固定資産合計		883,746

3 投資その他の資産

投資有価証券		2,700,940
破産債権、再生債権、更生債権その他これらに準ずる債権	20,198	
貸倒引当金	<u>△20,198</u>	—
長期未収附属病院収入	37,265	
徴収不能引当金	<u>△37,265</u>	—
その他の投資等		2,073
投資その他の資産合計		2,703,013

固定資産合計 370,428,904

II 流動資産

現金及び預金		15,798,009
未収学生納付金収入		107,761
未収附属病院収入	5,119,518	
徴収不能引当金	<u>△14,646</u>	5,104,872
未収金		954,263
たな卸資産		42,938
医薬品及び診療材料		196,988
前渡金		2,414
前払費用		24,517
未収収益		5,189
その他の流動資産		48,482

流動資産合計 22,285,433

資産合計 392,714,337

負債の部

I 固定負債

資産見返負債

資産見返運営費交付金等	11,488,823	
資産見返補助金等	3,415,171	
資産見返寄附金	3,178,334	
資産見返物品受贈額	8,492,638	
建設仮勘定見返運営費交付金	125,441	
建設仮勘定見返施設費	65,659	26,766,066

長期寄附金債務 96,000

大学改革支援・学位授与機構債務負担金 791,460

長期借入金 10,623,788

長期リース債務 2,909,371

長期PFI債務 23,325,872

引当金

退職給付引当金 546,851

環境対策引当金 150,518 697,368

資産除去債務 242,330

その他の固定負債 116,447

固定負債合計 65,568,702

II 流動負債

運営費交付金債務 812,818

預り補助金等 681

寄附金債務 3,969,794

前受受託研究費 524,891

前受共同研究費 618,390

前受受託事業費等 126,058

前受金 100,109

預り科学研究費補助金等 573,682

預り金 962,250

一年以内返済予定大学改革支援・学位授与機構債務負担金 323,535

一年以内返済予定長期借入金 4,033,907

リース債務 1,278,139

PFI債務 1,886,505

未払金 10,211,030

未払費用 254,440

未払消費税等 34,076

賞与引当金 569,959

流動負債合計 26,280,263

負債合計 91,848,966

純資産の部

I 資本金

政府出資金 232,358,303

資本金合計 232,358,303

II 資本剰余金

資本剰余金 125,038,344

損益外減価償却累計額 (△) △57,887,686

損益外減損損失累計額 (△) △2,130,178

損益外利息費用累計額 (△) △21,819

資本剰余金合計 64,998,662

III 利益剰余金

前中期目標期間繰越積立金 2,645,776

当期末処分利益 862,631

(うち当期総利益 862,631)

利益剰余金合計 3,508,406

純資産合計 300,865,371

負債純資産合計 392,714,337

イ 損益計算書

損 益 計 算 書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:千円)

経常費用			
業務費			
教育経費		6,477,380	
研究経費		6,845,955	
診療経費			
材料費	11,001,551		
委託費	3,506,965		
設備関係費	4,457,937		
研修費	3		
経費	851,537	19,817,992	
教育研究支援経費		2,342,570	
受託研究費		4,260,549	
共同研究費		1,084,781	
受託事業費等		1,296,060	
役員人件費		153,714	
教員人件費			
常勤教員給与	27,155,761		
非常勤教員給与	579,218	27,734,980	
職員人件費			
常勤職員給与	17,118,249		
非常勤職員給与	3,400,450	20,518,699	90,532,680
一般管理費			2,471,043
財務費用			
支払利息		676,865	
為替差損		45	676,910
雑損			61,008
経常費用合計			<u>93,741,642</u>
経常収益			
運営費交付金収益		35,927,400	
授業料収益		7,751,820	
入学金収益		1,393,763	
検定料収益		323,992	
附属病院収益		30,544,069	
受託研究収益		4,911,037	
共同研究収益		1,194,237	
受託事業等収益		1,406,422	
施設費収益		391,541	
補助金等収益		2,142,804	
寄附金収益		2,052,895	
資産見返負債戻入			
資産見返運営費交付金等戻入	1,880,383		
資産見返補助金等戻入	1,135,874		
資産見返寄附金戻入	620,696		
資産見返物品受贈額戻入	4,578	3,641,530	
財務収益			
受取利息		8,147	
有価証券利息		25,936	34,082

雑益			
公開講座収入	18,129		
財産貸付料収入	269,216		
学生寄宿舍収入	378,571		
職員宿舍料収入	179,147		
文献複写料収入	5,525		
研究関連収入	969,806		
徴収不能引当金戻入	74,957		
その他の雑益	793,055	2,688,405	
経常収益合計			94,403,999
経常利益			662,357
臨時損失			
固定資産除却損	55,602		
損害賠償金	300		
その他の臨時損失	105		56,007
臨時利益			
資産見返運営費交付金等戻入	19,419		
資産見返寄附金戻入	17,991		
資産見返物品受贈額戻入	0		
資産見返補助金戻入	9,196		
その他の臨時利益	390		46,997
当期純利益			653,347
前中期目標期間繰越積立金取崩額			209,283
当期総利益			862,631

ウ 決算報告書

平成28事業年度 決算報告書

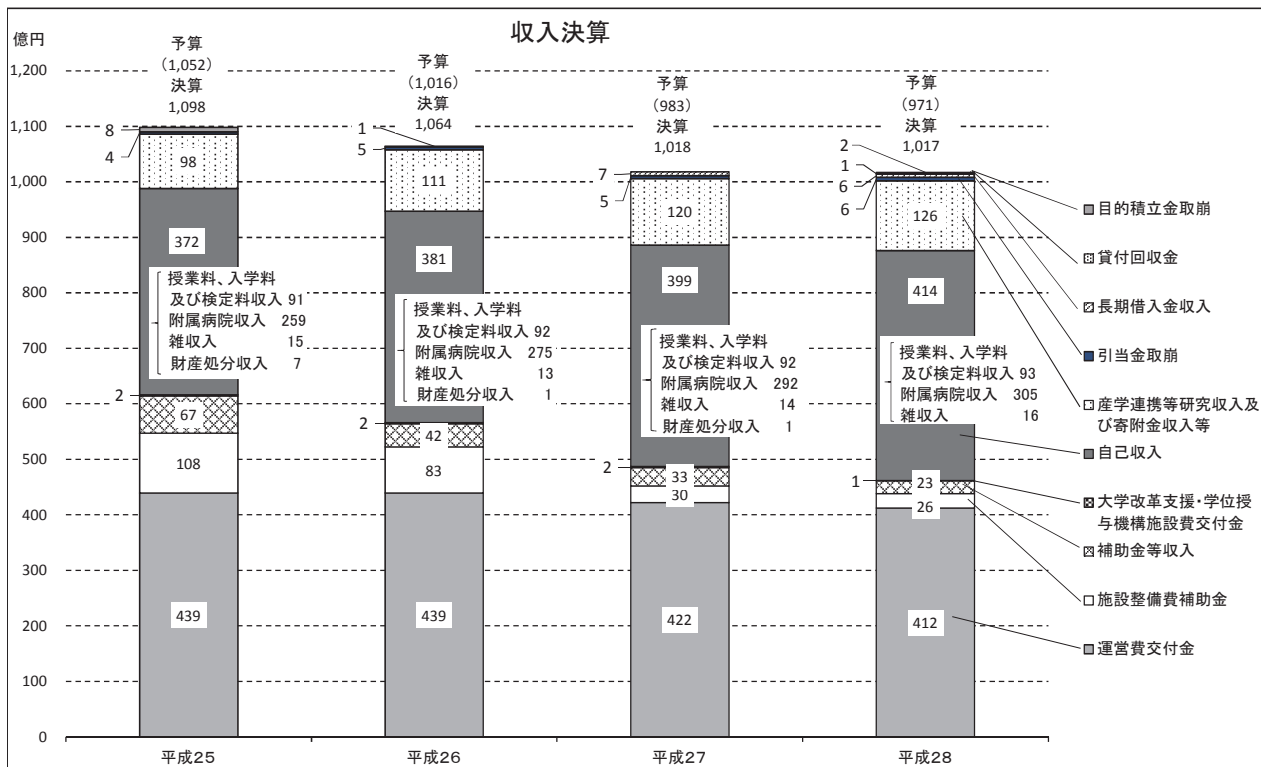
国立大学法人筑波大学

(単位：百万円)

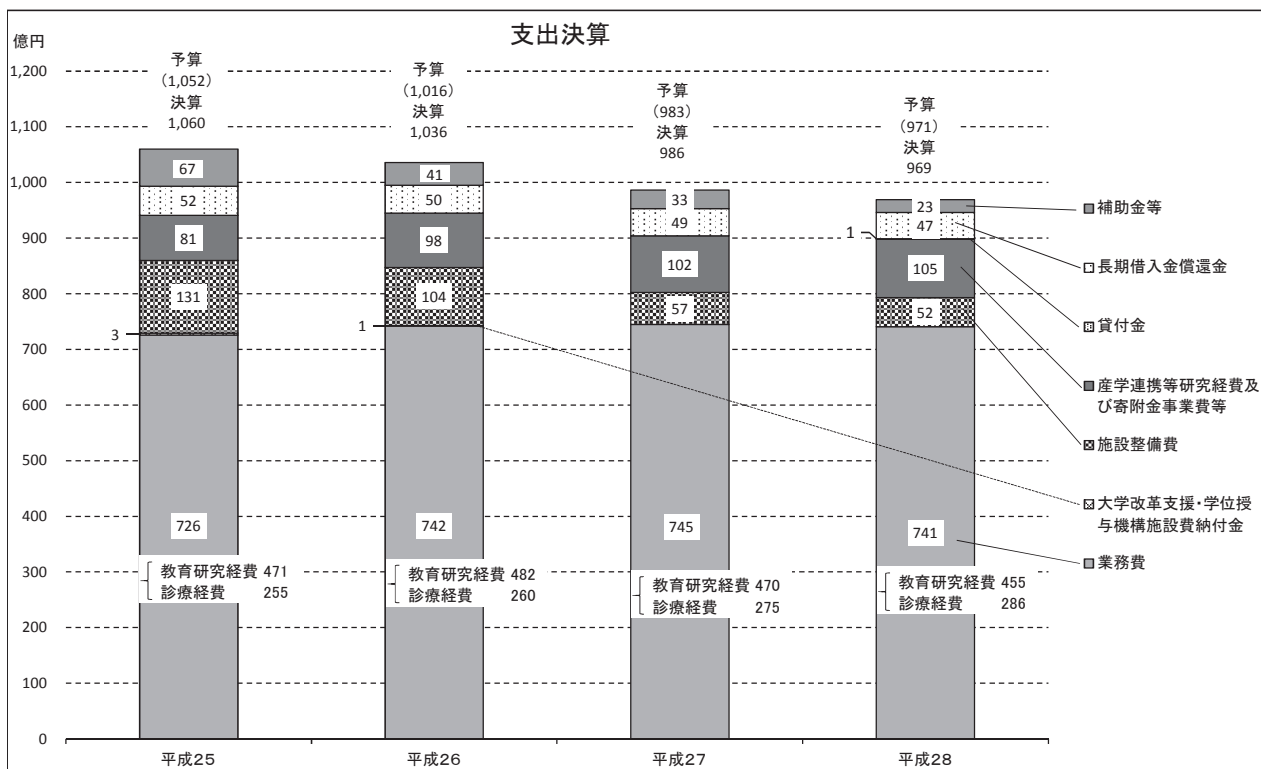
区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	40,726	41,186	461	(注1)
施設整備費補助金	2,419	2,632	213	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	2,168	2,333	165	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	114	141	27	(注4)
自己収入	39,932	41,437	1,505	
授業料、入学科及び検定料収入	9,190	9,284	95	(注5)
附属病院収入	29,280	30,516	1,236	(注6)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	1,463	1,637	174	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	10,636	12,636	2,000	(注8)
引当金取崩	538	581	43	(注9)
長期借入金収入	598	557	△ 41	(注10)
貸付回収金	0	2	2	(注11)
目的積立金取崩	0	209	209	(注12)
出資金	0	0	0	
計	97,130	101,715	4,585	
支 出				
業務費	74,566	74,083	△ 483	(注13)
教育研究経費	46,453	45,521	△ 932	
診療経費	28,113	28,563	450	
施設整備費	4,985	5,184	199	(注14)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	2,168	2,333	165	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	10,636	10,554	△ 82	(注16)
貸付金	0	3	3	(注17)
長期借入金償還金	4,776	4,768	△ 8	(注18)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	0	0	0	
出資金	0	0	0	
計	97,130	96,925	△ 205	
収入－支出	0	4,790	4,790	

- (注1) 運営費交付金については、追加配分による増加などの要因により、予算額に比して決算額が461百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、1000ドルシークエンス拠点のための設備整備事業などの追加交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が213百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が165百万円多額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、基幹・環境整備(空調設備)事業などの追加交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が27百万円多額となっています。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、学生納付金の増加により、予算額に比して決算額が95百万円多額となっています。
- (注6) 附属病院収入については、高度急性期医療の展開により、予算額に比して決算額が1,236百万円多額となっています。
- (注7) 雑収入については、不用物品等売払収入及び消費税還付金収入などの増加により、予算額に比して決算額が174百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的に資金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が2,000百万円多額となっています。
- (注9) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった退職手当引当金などの取崩を行ったため、予算額に比して決算額が43百万円多額となっています。
- (注10) 長期借入金収入については、予算段階では予定していなかった借入不用額が生じたため、予算額に比して決算額が41百万円少額となっています。
- (注11) 貸付回収金については、予算段階では予定していなかった貸付金が生じたため、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注12) 目的積立金取崩については、退職手当及び年俸制導入促進費により、予算額に比して決算額が209百万円多額となっています。
- (注13) 業務費については、診療実績の増加等に伴い診療経費の決算額が増加した一方、翌年度に継続して行う事業を繰越したことに伴い教育研究経費が減少したことにより、予算額に比して決算額が483百万円少額となっています。
- (注14) 施設整備費については、(注2)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が199百万円多額となっています。
- (注15) 補助金等については、(注3)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が165百万円多額となっています。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、翌年度に継続して行う事業を繰越したことにより、予算額に比して決算額が82百万円少額となっています。
- (注17) 貸付金については、(注11)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注18) 長期借入金償還金については、当初計画よりも金利が下がったため、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。

工 収入支出概況

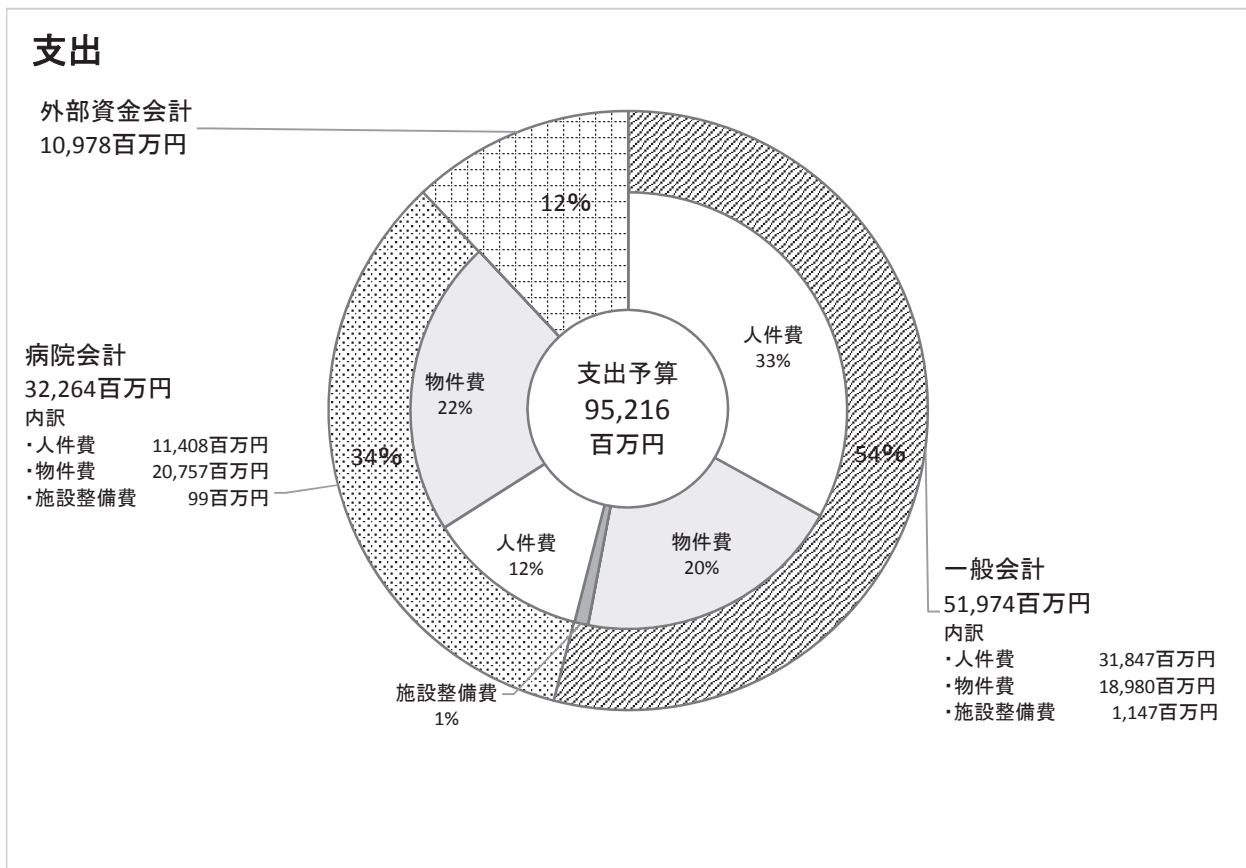
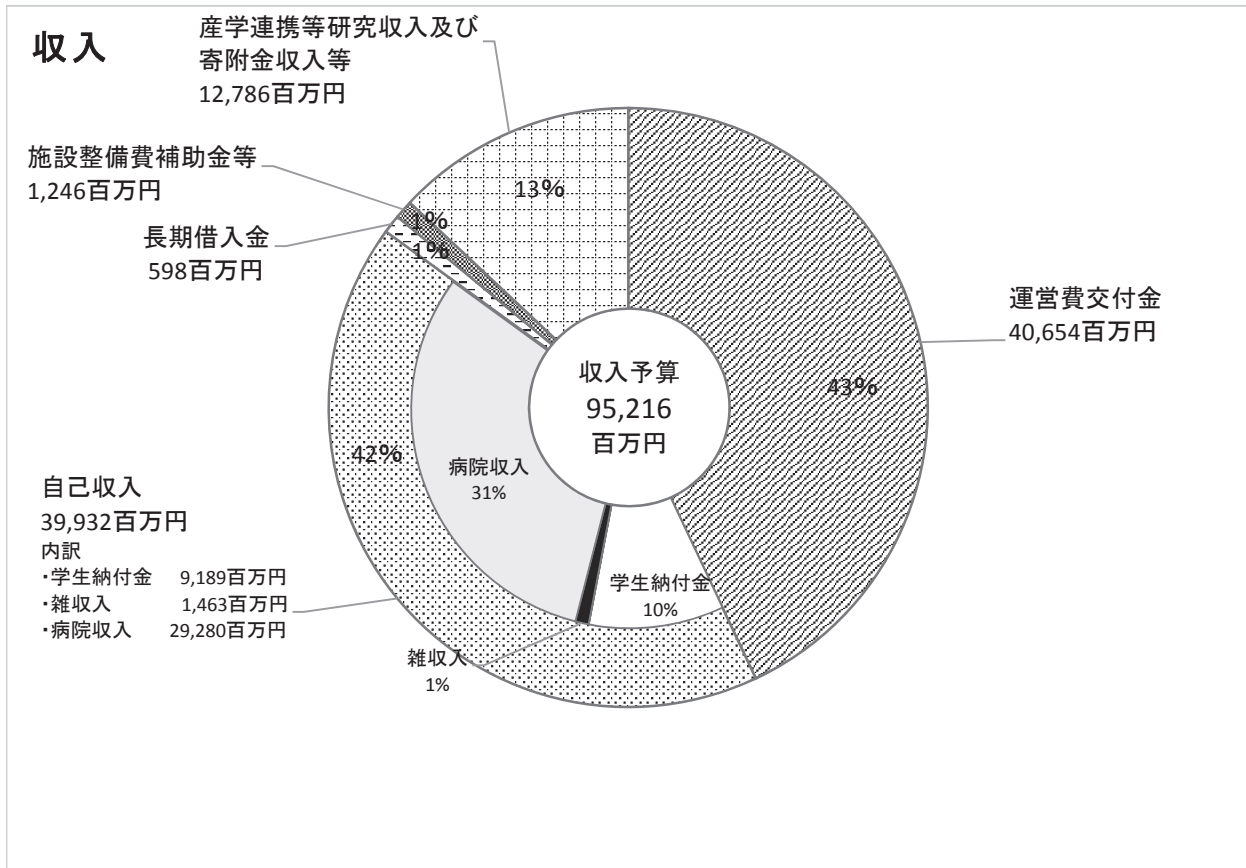


(注) 表中数字は決算額を、()は年度計画予算総額を指す。



(注) 表中数字は決算額を、()は年度計画予算総額を指す。

才 平成28年度予算構成図(当初配分予算)



(注) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等の外部資金会計における収入と支出の差異は、支出予算において間接経費を一般会計に繰り入れているため生じたものである。

2 教育関係

(1) 学年暦

平成28年度 学年暦

事 項	学 群	大 学 院 【 】は 東京キャンパス
春学期（4月1日～9月30日）		
学年開始	4月 1日（金）	4月 1日（金）
春季休業	4月 1日（金）～ 4月 6日（水）	4月 1日（金）～ 4月 6日（水） 【 4月 1日（金）～ 4月11日（月）】
入学式	4月 7日（木）	4月 7日（木） 【 4月 9日（土）】
新入生履修ガイダンス	4月 8日（金）	
大学院新入生全学ガイダンス		4月 7日（木）
新入生オリエンテーション	4月11日（月）～ 4月12日（火）	4月 7日（木）～ 4月 8日（金） 【 4月 9日（土）】
春学期授業開始	4月13日（水）	4月11日（月） 【 4月12日（火）】
春季スポーツ・デー	5月14日（土）～ 5月15日（日）	5月14日（土）～ 5月15日（日）
春ABモジュール期末試験	6月28日（火）～ 7月 4日（月）	6月28日（火）～ 7月 4日（月）
春ABCモジュール期末試験	8月 3日（水）～ 8月 9日（火）	8月 3日（水）～ 8月 9日（火） 【 7月30日（土）～ 8月 5日（金）】
春学期授業終了	8月 9日（火）	8月 9日（火） 【 7月29日（金）】
期末試験予備日	8月10日（水）	8月10日（水） 【 8月 6日（土）～ 8月10日（水）】
夏季休業	8月11日（木）～ 9月30日（金）	8月11日（木）～ 9月30日（金） 【 8月11日（木）～ 9月30日（金）】
卒業式	9月23日（金）	
大学院学位記授与式		9月23日（金）
秋学期（10月1日～3月31日）		
秋学期入学式	9月30日（金）	9月30日（金）
1 開学記念日	10月 1日（土）	10月 1日（土）
秋学期授業開始	10月 3日（月）	10月 3日（月） 【10月 1日（土）】
筑波キャンパス電気設備点検（全学停電）	10月22日（土）～10月23日（日）	10月22日（土）～10月23日（日）
2 学園祭	11月 4日（金）～11月 6日（日）	11月 4日（金）～11月 6日（日）
秋季スポーツ・デー	11月12日（土）～11月13日（日）	11月12日（土）～11月13日（日）
秋ABモジュール期末試験	12月16日（金）、 12月22日（木）～12月28日（水）	12月16日（金）、 12月22日（木）～12月28日（水）
冬季休業	12月29日（木）～ 1月 9日（月）	12月29日（木）～ 1月 9日（月） 【12月25日（日）～ 1月 5日（木）】
秋ABCモジュール期末試験	2月 9日（木）～ 2月15日（水）	2月 9日（木）～ 2月15日（水） 【 1月28日（土）、1月31日（火）、 2月 3日（金）、2月 8日（水）、 2月 9日（木）】
秋学期授業終了	2月15日（水）	2月15日（水） 【 2月 2日（木）】
期末試験予備日	2月16日（木）	2月16日（木） 【 2月 4日（土）、2月 7日（火）、2月10日（金）】
春季休業	2月17日（金）～ 3月31日（金）	2月17日（金）～ 3月31日（金） 【 2月11日（土）～ 3月31日（金）】
卒業式	3月24日（金）	
大学院学位記授与式		3月24日（金） 【 3月25日（土）】
学年終了	3月31日（金）	3月31日（金） 【 3月31日（金）】

（備 考）

- 10月1日（土）の開学記念日は、東京キャンパスのみ授業を実施する。
 - 学園祭の実施に伴い、11月4日（金）及び11月7日（月）の授業は臨時休講とする。（東京キャンパスを除く）
 - 定期健康診断の日程については、別に定め、実施時間に当たる学群・学類の当該年次及び研究科の授業は、臨時休講とする。（東京キャンパスを除く）
 - 授業日数確保のため、下記のとおり曜日を振替えて授業を実施する。（東京キャンパスを除く）
5月2日は振替え授業日とし、火曜日の授業を実施する。7月19日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
11月2日は振替え授業日とし、金曜日の授業を実施する。11月8日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
11月28日は振替え授業日とし、水曜日の授業を実施する。1月11日は振替え授業日とし、金曜日の授業を実施する。
1月17日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
 - 学群の入学者選抜の実施に伴う臨時休業は、準備及び後片付けに要する時間を含め、別に定める。（東京キャンパスを除く）
 - 医学類に係る卒業日は平成29年3月10日とし、卒業式は上記日程に従い実施する。
 - 平成24年度以前に8月又は12月に入学した者で標準修業年限で卒業・修了する者に係る卒業日・修了日は、それぞれ7月25日、11月30日とする。
- ※ 学期(学期の区分)は、春学期と秋学期の2学期とし、5週単位の6つ(春A、春B、春C、秋A、秋B、秋C)のモジュールで構成する。

イ 大学院

(平成29年3月1日現在)

研究科・専攻	1年			2年			3年			4年			5年			合計				
	学生数	一般学生	外国人留学生	学生数	一般学生	外国人留学生	学生数	一般学生	外国人留学生	学生数	一般学生	外国人留学生	学生数	一般学生	外国人留学生	学生数	一般学生	外国人留学生		
人間総合科学研究科 (修士課程)	ネットワークシステム・マネジメント専攻	48	24	11	22	9	0	0	2	2	33	18	0	0	0	0	0	0	0	
	フロントティア医学専攻	100	81	43	60	28	1	0	20	15	76	36	57	24	0	0	19	12		
	スポーツ国際臨床学共同専攻	5	6	2	6	2	0	0	0	0	0	0								
	計	153	111	56	88	39	1	22	17	109	54	90	42	19	12					
		36	16	6	13	4	0	3	2	25	15	20	11	0	0	5	4			
人間総合科学研究科 (博士前期課程)	教育学専攻	32	19	10	18	9	0	0	1	21	9	21	0	0	0	0	0	0	0	
	心理学専攻	90	42	29	26	15	1	0	15	14	44	33	36	27	0	0	8	6		
	障害科学専攻	92	47	25	47	25	0	0	0	51	28	50	27	1	0	0	0	0	0	
	生涯発達専攻	28	19	11	13	7	0	0	6	4	18	7	13	5	1	4	1			
	感性認知心理学専攻	30	15	14	15	14	0	0	0	20	17	19	16	0	0	1				
	看護科学専攻	235	140	50	117	39	0	23	11	173	55	151	48	1	0	21	7			
	体育学専攻	120	61	41	43	31	0	18	10	67	41	56	35	1	0	10	6			
	世界遺産専攻	30	15	7	7	2	0	0	8	5	23	18	15	11	0	0	8	7		
計	693	374	193	299	146	1	74	47	442	223	381	189	4	2	57	32				
人間総合科学研究科 (博士後期課程)	教育基礎学専攻	24	8	4	8	4	0	0	0	9	3	7	1	0	0	2	17	10	13	
	学校教育学専攻	18	7	4	5	3	0	2	2	4	2	2	0	0	2	15	6	13	5	
	心理学専攻	30	12	6	7	3	0	5	3	10	5	9	4	0	1	39	27	35	24	
	障害科学専攻	18	7	2	7	2	0	0	0	11	6	11	6	0	0	14	7	14	7	
	生涯発達科学専攻	30	7	2	5	1	0	2	1	8	5	5	3	0	2	19	13	16	10	
	感性認知心理学専攻	24	6	5	5	4	0	1	1	6	5	6	5	0	0	22	18	21	17	
	看護科学専攻	45	13	5	12	4	0	0	1	14	2	11	2	0	0	39	12	36	10	
	体育科学専攻	30	9	7	7	5	0	2	2	11	2	9	1	0	2	28	20	22	16	
	芸術専攻	21	9	6	6	3	0	3	3	8	4	7	3	0	0	1	16	12	8	
	世界文化遺産学専攻	258	86	44	68	30		18	14	86	36	72	27		14	9	237	131	204	106
人間総合科学研究科 (3年間博士課程)	ヒューマン・ケア科学専攻	54	23	17	19	14	0	4	3	24	11	21	9	0	3	2	56	35	53	
	スポーツ医学専攻	34	16	7	15	6	0	1	1	13	7	11	5	0	2	34	5	29	5	
	ユースティング学専攻	17	9	3	9	3				10	3	10	3			30	6	30	6	
	スポーツウェルネス学位プログラム	3	1	3	1															
	大学院体育スポーツ高度化共同専攻	3	0	3	0															
	計	108	54	28	49	24		5	4	47	21	42	17		5	4	120	46	112	45
	図書館情報メディア研究科 (博士前期課程)	74	64	30	48	17	2	2	14	11	61	25	44	14	1	16	10			
	計	74	64	30	48	17	2	2	14	11	61	25	44	14	1	16	10			
	図書館情報メディア研究科 (博士後期課程)	63	16	7	15	6	0	1	1	11	3	7	1	0	4	2	51	25	48	
計	63	16	7	15	6	0	1	1	11	3	7	1	0	4	2	51	25	48		
グローバル教育院 (一貫制博士課程)	グローバル教育院 (修士後期課程)	8	5	5	3	0	0	3	2	8	5	1	1	0	0	7	4	13	7	
	エンバズメント情報学プログラム	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9	1	6	0	0	
	計	9	5	6	3	0	0	3	2	8	5	8	1	0	0	4	22	8	10	
	ライオンズ・インターナショナル学位プログラム	13	8	0	0	0	0	13	8	3	1									
グローバル教育院 (修士後期課程)	グローバル教育院 (修士前期課程)	13	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ライオンズ・インターナショナル学位プログラム	9	5	1	0	0	0	8	5	2										
	計	9	5	1	0	0	0	8	5	2										
計	5,681	2,572	927	1,900	570	27	14	646	343	2,687	874	2,088	597	25	12	577	285	1,113	419	
合計	21	8,659	2,348	6,065	1,541	79	44	1,512	783	38	20	116	59	81	37	1	34	21		

ウ 科目等履修生・研究生・特別聴講学生・特別研究学生

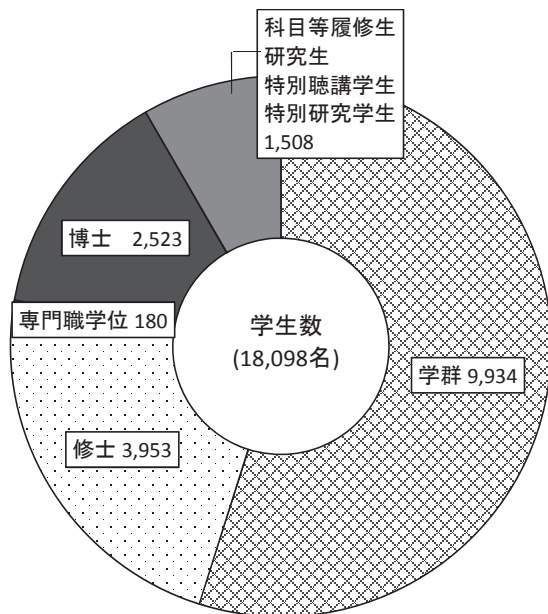
(平成28年度)

所 属		科目等履修生	研究生	特別聴講学生	特別研究学生	計	
学 群	人文・文化	人文学類	17 (4)	1 (1)	67 (42) ※67 ※(42)	85 (47) ※67 ※(42)	
		比較文化学類	8 (4)	1	51 (38) ※51 ※(38)	60 (42) ※51 ※(38)	
		日本語・日本文化学類	23 (19) ※20 ※(17)	18 (2) ※18 ※(2)	39 (29) ※39 ※(29)	80 (50) ※77 ※(48)	
	国際学・社会学	社会学類	6 (3)		9 (4) ※9 ※(4)	15 (7) ※9 ※(4)	
		国際総合学類	1 (1)		56 (30) ※56 ※(30)	57 (31) ※56 ※(30)	
		教育学類	16 (3)	19 (7)	2 (2) ※2 ※(2)	37 (12) ※2 ※(2)	
	学人	心理学類	2 (2)	2 (2)	2 (1) ※2 ※(1)	6 (5) ※2 ※(1)	
		障害科学類	4 (1)	4 (2)	3 (1) ※3 ※(1)	11 (4) ※3 ※(1)	
		生物学類	6 (1)		6 (2) ※6 ※(2)	12 (3) ※6 ※(2)	
	生命環境	生物資源学類	8 (1)		91 (64) ※91 ※(64)	99 (65) ※91 ※(64)	
		地球学類	1 (1)		2 (1) ※2 ※(1)	3 (2) ※2 ※(1)	
		数学類	3 (0)		1 (1) ※1 ※(1)	4 (1) ※1 ※(1)	
	理工学群	物理学類	7 (0)			7 ※0 ※(0)	
		化学類			1 ※1	1 (0) ※1 ※(0)	
		応用理工学類	2 (0)		1 ※1	3 (0) ※1 ※(0)	
		工学システム学類	3 (0)	1	2 (1) ※2 ※(1)	6 (1) ※2 ※(1)	
		社会工学類	2 (0)		6 (2) ※6 ※(2)	8 (2) ※6 ※(2)	
	情報学群	情報科学類	2 (0)	1	23 (5) ※23 ※(5)	26 (5) ※23 ※(5)	
		情報メディア創成学類	1 (0)	2	2 (1) ※2 ※(1)	5 (1) ※2 ※(1)	
		知識情報・図書館学類	4 (3)			4 (3) ※0 ※(0)	
医学群	医学類	1 (1)	1	2 (1) ※2 ※(1)	4 (2) ※2 ※(1)		
	看護学類	2 (2)			※0 ※(0)		
	医療科学類			1 (1) ※1 ※(1)	1 (1) ※1 ※(1)		
体育専門学群	38 (9)	18 (5)	4 (4) ※1 ※(1)	60 (18) ※1 ※(1)			
芸術専門学群	16 (11)	4 (2)	17 (13) ※17 ※(13)	37 (26) ※17 ※(13)			
学 群 計	173 (66) ※20 ※(17)	72 (21) ※18 ※(2)	388 (243) ※385 ※(240)	0 (0) ※0 ※(0)	633 (330) ※423 ※(259)		
大 学 院	修士・博士前期・専門職学位課程	教育研究科	2 (1)	22 (13) ※21 (12)		24 (14) ※21 ※(12)	
		人文社会科学研究科 (修士・博士前期課程)	4 (2) ※1 ※(1)	109 (81) ※109 (81)	32 (17) ※32 ※(17)	37 (29) ※37 ※(29)	182 (129) ※179 ※(128)
		ビジネス科学研究科 (博士前期・専門職学位課程)	36 (6)				36 (6) ※0 ※(0)
		数理物質科学研究科 (博士前期課程)	2 (1)	29 (11) ※28 (11)	2 (1) ※2 ※(1)	1 ※1	34 (13) ※31 ※(12)
		システム情報工学研究科 (博士前期課程)	1 (0)	117 (40) ※117 (40)	8 (3) ※8 ※(3)	4 (2) ※4 ※(2)	130 (45) ※129 ※(45)
		生命環境科学研究科 (博士前期課程)		72 (36) ※71 (35)	12 (4) ※4 ※(2)	22 (14) ※22 ※(14)	106 (54) ※97 ※(51)
		人間総合科学研究科 (修士・博士前期課程)	41 (26) ※1	93 (62) ※82 (57)	11 (7) ※11 ※(7)	15 (11) ※15 ※(11)	160 (106) ※109 ※(75)
		図書館情報メディア研究科 (博士前期課程)		27 (18) ※27 (18)	1 (1) ※1 ※(1)		28 (19) ※28 ※(19)
		小 計	86 (36) ※2 ※(1)	469 (261) ※458 ※(254)	※66 ※(33) ※58 ※(31)	※79 ※(56) ※79 ※(56)	700 (386) ※594 ※(342)
	一貫制・博士後期・3年制博士課程	人文社会科学研究科 (一貫制博士課程)	7 (4) ※2 ※(1)	19 (14) ※19 (14)	12 (10) ※12 ※(10)	20 (11) ※20 ※(11)	58 (39) ※53 ※(36)
		ビジネス科学研究科 (博士後期課程)	1 (0)	2			3 ※0 ※(0)
		数理物質科学研究科 (博士後期・3年制博士課程)		2 ※2		5 (3) ※5 ※(3)	7 (3) ※7 ※(3)
		システム情報工学研究科 (博士後期課程)		7 (3) ※4 (2)		3 ※3	10 (3) ※7 ※(2)
		生命環境科学研究科 (博士後期・3年制博士課程)		9 (3) ※8 (3)		17 (9) ※17 ※(9)	26 (12) ※25 ※(12)
人間総合科学研究科 (医学の課程)	生命環境科学研究科 (一貫制博士課程)	4	※4		2 (1) ※2 ※(1)	6 (1) ※6 ※(1)	
	人間総合科学研究科 (博士後期・3年制博士課程)	1 (1)	15 (12) ※3 (3)			16 (13) ※3 ※(3)	
	人間総合科学研究科 (医学の課程)		15 (8) ※9 (5)		1 (1) ※1 ※(1)	16 (9) ※10 ※(6)	
	図書館情報メディア研究科 (博士後期課程)					0 (0) ※0 ※(0)	
小 計	9 (5) ※2 ※(1)	84 (49) ※58 ※(35)	12 (10) ※12 ※(10)	70 (43) ※70 ※(43)	175 (107) ※142 ※(89)		
大 学 院 計	95 (41) ※4 ※(2)	553 (310) ※513 ※(289)	78 (43) ※70 ※(41)	149 (99) ※149 ※(99)	875 (499) ※736 ※(431)		
合 計	268 (107) ※24 ※(19)	625 (331) ※531 ※(291)	466 (286) ※455 ※(281)	149 (99) ※149 ※(99)	1,508 (823) ※1,159 ※(690)		

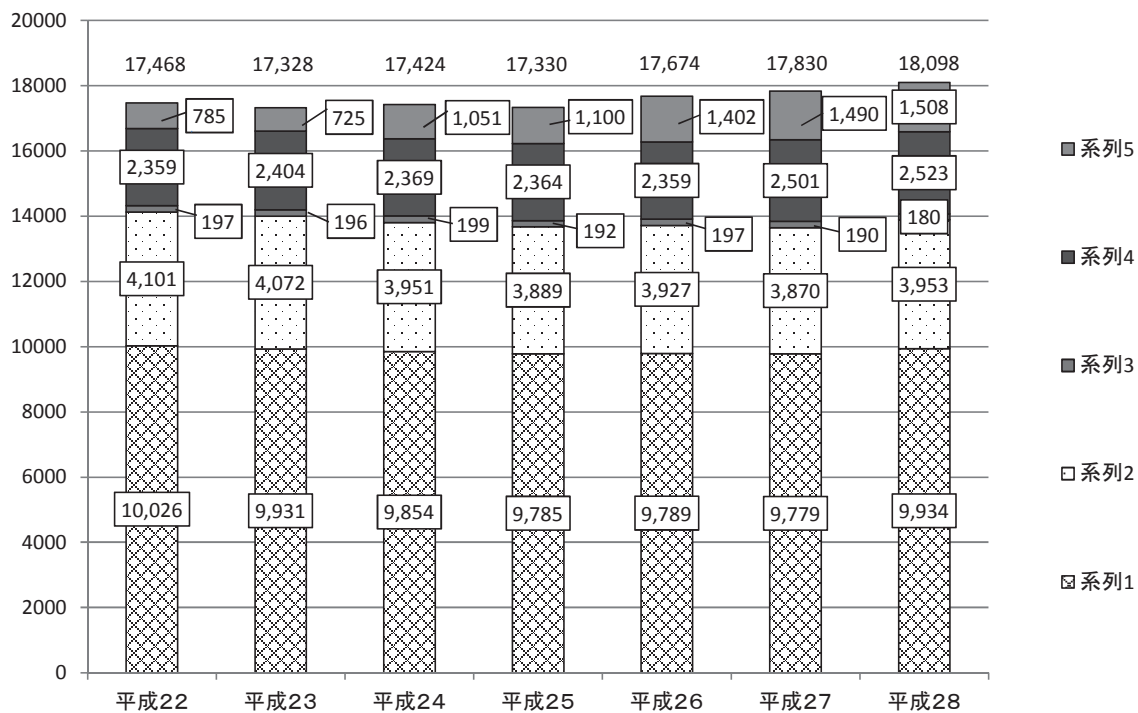
(注) 1. () は女子を、※は外国人留学生 (ただし、科目等履修生については、外国人の履修者) を、それぞれの内数で示す。
2. 日本語・日本文化研修留学生は、学群の科目等履修生として受け入れている。

エ 学生数の内訳及び近年の推移

【平成28年度 学生数の内訳】



【近年の推移】



(3) 授業科目数及び授業担当教員数

ア 学 群

(ア) 基礎科目(共通科目等)

(平成29年3月31日現在)

共通科目等	授業科目数	授 業 担 当 教 員 数		
		常勤	非常勤	計
総合科目	218	1,055	133	1,188
体育	341	43	22	65
外国語	826	78	52	130
情報	70	33	26	59
国語	60	7	4	11
芸術	19	20	1	21
自由科目(特設)	18	26	11	37
教職科目及び博物館に関する科目	193	77	69	146
合 計	1,745	1,339	318	1,657

(注) 1. 授業科目数は、他学群・学類開設科目を指定しているものを除く。
2. 総合科目における授業担当教員数は延人数

(イ) 専門基礎科目・専門科目

(平成29年3月31日現在)

学 群 ・ 学 類	授 業 科 目 数			授 業 担 当 教 員 数				
	専門科目	専門基礎科目	計	教育会議構成員	教育会議構成員以外の教員	非常勤	計	
全学群対象	0	14	14	0	0	8	8	
人文・文化学群	学群コア	0	9	9	11	0	9	20
	人文学類	413	56	469	59	24	28	111
	比較文化学類	207	92	299	62	28	17	107
	日本語・日本文化学類	82	19	101	20	5	11	36
	小計	702	176	878	152	57	65	274
社会・国際学群	学群共通科目	0	5	5	1	0	14	15
	社会学類	175	10	185	31	19	14	64
	国際総合学類	109	28	137	40	4	15	59
	社会国際学教育プログラム	47	27	74	0	0	12	12
	小計	331	65	396	71	23	41	135
人間学群	学群コア	0	14	14	45	0	1	46
	教育学類	90	13	103	29	8	28	65
	心理学類	45	11	56	29	0	9	38
	障害科学類	86	9	95	45	0	14	59
	小計	221	47	268	148	8	52	208
生命環境学群	学群コア	0	8	8	34	0	0	34
	生物学類	152	52	204	77	68	17	162
	生物資源学類	226	36	262	122	30	28	180
	地球学類	101	25	126	42	19	16	77
	生命環境学際プログラム	106	33	139	137	0	10	147
小計	585	154	739	412	117	71	600	
理工学群	学群共通科目	2	0	2	0	0	1	1
	数学類	66	48	114	39	17	10	66
	物理学類	51	23	74	67	21	1	89
	化学類	37	15	52	36	18	7	61
	応用理工学類	139	80	219	73	0	6	79
	工学システム学類	258	25	283	73	7	41	121
	社会工学類	168	64	232	50	6	30	86
小計	721	255	976	338	69	96	503	
情報学群	学群共通科目	2	3	5	3	0	11	14
	情報科学類	97	23	120	55	23	28	106
	情報メディア創成学類	41	47	88	30	16	22	68
	知識情報・図書館学類	82	46	128	47	6	17	70
小計	222	119	341	135	45	78	258	
医学群	医学類	30	12	42	401	17	78	496
	看護学類	60	28	88	34	19	19	72
	医療科学類	46	27	73	54	58	7	119
	小計	136	67	203	489	94	104	687
体育専門学群	305	108	413	121	3	41	165	
芸術専門学群	228	53	281	54	5	7	66	
合 計	2,918	897	3,815	1,745	413	515	2,673	

(注) 授業科目数は、他学群・学類開設科目を指定しているものを除く。

イ 大学院

(ア) 大学院共通科目

(平成29年3月31日現在)

科目群	授業科目数	授業担当教員数		
		常勤	非常勤	計
生命・環境・研究倫理	6	13	2	15
研究マネジメント力養成	4	9	0	9
情報伝達力・コミュニケーション力養成	16	23	3	26
国際性養成	3	3	0	3
キャリアマネジメント	14	35	2	37
知的基盤形成	19	77	21	98
身心基盤形成	18	30	0	30
合計	80	190	28	218

(注) 非常勤には、連携大学院方式による教員を含まない。

(イ) 研究科

(平成29年3月31日現在)

課程・研究科	授業科目数	授業担当教員数					
		教育会議構成員	教育会議構成員以外の教員	非常勤	計		
修士課程							
教育研究科	199	125	101	22	248		
小計	199	125	101	22	248		
博士課程	人文社会科学研究科	一貫	410	91	3	9	103
		前期	620	140	91	42	273
		後期	264	111	13	11	135
	ビジネス科学研究科	前期	142	30	2	28	60
		後期	88	35	2	22	59
		専門職	153	24	7	78	109
	数理物質科学研究科	前期	512	252	27	64	343
		後期	261	240	28	4	272
	システム情報工学研究科	前期	398	208	44	54	306
		後期	78	211	35	6	252
	生命環境科学研究科	一貫	66	28	4	2	34
		前期	880	255	44	96	395
		後期	488	231	40	10	281
	人間総合科学研究科	一貫	159	375	2	28	405
		修士	113	222	20	32	274
		前期	799	309	26	70	405
		後期	85	200	11	9	220
		3年制	84	93	5	33	131
	図書館情報メディア研究科	前期	79	60	5	11	76
		後期	47	41	5	0	46
	グローバル教育院	一貫	108	117	96	29	242
		前期	42	105	0	4	109
		後期	16	105	0	0	105
小計	5,892	3,483	510	642	4,635		
合計	6,091	3,608	611	664	4,883		

(注) 1. 授業科目数は、他研究科開設科目を指定しているもの及び研究指導を除く。

2. 非常勤には、連携大学院方式による教員を含まない。

(4) 卒業・修了者等数

ア 学群卒業生

平成29年3月31日現在

学群・学類		卒業 年次 定員	編入学 定員	本年度卒業生(学位「学士」取得者)数		累計		
				学位記	計			
人文・ 学文化 学群	人文学類	120		人文学	115 (61)	115 (61) ※0	818 (436) ※0	
	比較文化学類	80		文	4 (2)		580 (416) ※7	
	日本語・日本文化学類	40		比較文化	81 (54)	85 (56) ※0	280 (208) ※2	
	小計	240	<0>	文	40 (30)	40 (30) ※0	1,678 (1,060) ※9	
社会・国際学群	社会学類	80	(10)	社会学	40 (15)	115 (41) ※6	644 (256) ※21	
				法	25 (11)			
				政治	27 (11)			
				経	18 (3) ※1			
	国際社会学類	80	(10)	国際社会学	5 (1) ※5	93 (61) ※8		579 (352) ※35
	国際社会学	51 (37) ※3						
国際社会学	36 (20)		国際社会学	6 (4) ※5				
小計	160	(10)		208 (102) ※14	208 (102) ※14	1,223 (608) ※56		
人間学群	教育学類	35		教育学	36 (17)	36 (17) ※0	252 (113) ※1	
	心理学類	50		心理学	49 (21) ※1	49 (21) ※1	348 (202) ※4	
	障害科学類	35		障害科学	21 (16)	34 (26) ※0	253 (191) ※1	
				特別支援教育	5 (4)			
小計	120	<0>		119 (64) ※1	119 (64) ※1	853 (506) ※6		
生命学群	生物学類	80		理学	89 (40) ※2	89 (40) ※2	594 (260) ※16	
	生物資源学類	120	(10)	生物資源学	135 (71) ※11	149 (76) ※11	983 (533) ※41	
	地球学類	50		農	14 (5)		383 (121) ※4	
	小計	250	(10)	理	57 (16) ※3	57 (16) ※3	1,960 (914) ※61	
理工学群	数学類	40		理学	44 (5) ※2	44 (5) ※2	305 (44) ※6	
	物理学類	60		理学	61 (8) ※2	61 (8) ※2	431 (44) ※15	
	化学類	50		理学	49 (14) ※1	49 (14) ※1	383 (104) ※5	
	応用理工学類	120	(10)	工学	146 (15) ※8	146 (15) ※8	943 (102) ※42	
	工学システム学類	130		工学	134 (10) ※3	134 (10) ※3	996 (75) ※39	
	社会工学類	120		社会工学	133 (23) ※5	133 (23) ※5	887 (167) ※26	
小計	520	(10)		567 (75) ※21	567 (75) ※21	3,945 (536) ※133		
情報学群	情報科学類	80	(10)	情報科学	30 (3) ※1	93 (6) ※2	638 (39) ※23	
	情報メディア創成学類	50	(10)	情報工	63 (3) ※1		434 (108) ※7	
	知識情報・図書館学類	100	(10)	情報メディア科学	61 (18) ※1	61 (18) ※1	763 (440) ※3	
	小計	230	(30)	図書館情報学	115 (61) ※0	115 (61) ※0	1,835 (587) ※33	
医学群	医学類	135	(5)	医学	269 (85) ※3	269 (85) ※3	511 (177)	
	看護学類	70	(10)	看護学	107 (48)	107 (48)	544 (517)	
	医療科学類	37	(3)	医療科学	25 (22)	35 (30) ※2	266 (172) ※8	
				国際医療科学	10 (8) ※2			
小計	242	(18)		223 (154) ※2	223 (154) ※2	1,321 (866) ※8		
体育	専門学群	240		体育学	249 (71)	249 (71)	9,532 (2,475) ※7	
芸術	専門学群	100		芸術学	98 (87)	98 (87) ※0	3,883 (2,399) ※21	
第一学群	人文学類			人文学	0 (0)	0 (0)	3,965 (1,916) ※15	
	社会学類			社会学	0	0 (0)	3,669 (1,197) ※37	
				法	0			
				政治	0			
自然学類				経	0	0 (0)	6,828 (1,374) ※17	
小計				理	0 (0)	0 (0)	14,462 (4,487) ※69	
第二学群	比較文化学類			文	0	0 (0)	2,758 (1,693) ※15	
	日本語・日本文化学類			比較文化	0	0 (0)	1,454 (1,110) ※18	
	人間学類			人間科学	0	0 (0)	3,949 (2,242) ※17	
	生物学類			理学	0	0 (0)	2,686 (1,099) ※20	
	生物資源学類			生物資源学	0	0 (0)	2,474 (1,155) ※16	
	農林学類			農	0	0 (0)	2,057 (514) ※4	
小計				0 (0)	0 (0)	15,378 (7,813) ※90		
第三学群	社会工学類			社会工学	0	0 (0)	3,835 (559) ※57	
	国際総合学類			国際関係学	0	0 (0)	1,242 (777) ※70	
	国際関係学類			国際関係学	0	0 (0)	1,001 (466) ※64	
	情報学類			情報科学	0	0 (0)	3,017 (377) ※67	
	工学システム学類			情報工	0	0 (0)	1,988 (165) ※47	
	工学基礎学類			工学	0	0 (0)	1,215 (76) ※11	
	基礎工学類			工学	0	0 (0)	3,765 (500) ※20	
小計				0 (0)	0 (0)	16,063 (2,920) ※336		
医学専門学群	医学専門学群			医学	0	0 (0)	3,259 (906) ※7	
	医学類			医学	0 (0)	0 (0)	315 (297)	
	看護学類			看護学	0	0 (0)	160 (111)	
	医療科学類			医療科学	0	0 (0)	3,734 (1,314) ※7	
小計				0 (0)	0 (0)	696 (436) ※7		
図書館情報専門学群	図書館情報専門学群			図書館情報学	0	0 (0)	3,819 (2,550) ※34	
	図情大からの移籍学生			図書館情報学	0	0 (0)	4,515 (2,986) ※41	
小計				0 (0)	0 (0)	80,382 (29,471) ※877		
合計	2,102	(78)		2,268 (917) ※57	2,268 (917) ※57			

- (注) 1. ()は女子を、※は外国人留学生を、それぞれ内数で示し、< >は編入学定員を外数で示す。
 2. 卒業生数には、第2学期推薦入学者等の年度途中卒業生35名を含む。
 3. 累計には、東京教育大学からの移籍学生を含む。
 4. 第二学群農林学類は、平成6年度から生物資源学類へ名称変更。
 5. 第三学群国際総合学類は、平成7年度に国際関係学類を改組。
 6. 第三学群工学基礎学類は、平成10年度に基礎工学類を改組。
 7. 図情大からの移籍学生の累計は、平成15年度をもって閉学した図書館情報大学の卒業生を含む。

イ 大学院修了者等

(ア) 修士課程修了者

(平成29年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
地域研究	地域研究	国際学修士		563 (287) ※ 207
		修士(国際学)		8 (6)
		修士(地域研究)		1,002 (615) ※ 335
教 育	障害児教育	教育学修士		290 (125) ※ 18
		修士(教育学)		595 (415) ※ 45
	スクールリーダーシップ開発	修士(教育学)	18 (8) ※ 1	158 (62) ※ 14
	教科教育	教育学修士		735 (189) ※ 42
		修士(教育学)	61 (19)	2,004 (784) ※ 64
	カウンセリング	教育学修士		30 (12)
		修士(教育学)		2 (2)
		修士(カウンセリング)		395 (257) ※ 2
		修士(リハビリテーション)		403 (228)
		修士(学術)		1
特別支援教育	修士(特別支援教育学)		101 (71) ※ 9	
経営・政策科学	経営・政策科学	経済学修士		540 (48) ※ 128
		修士(経済学)		333 (65) ※ 60
		修士(ビジネス)		109 (32) ※ 49
		修士(社会工学)		56 (5) ※ 6
		修士(経営科学)		272 (67) ※ 136
		修士(公共政策)		1
	経営システム科学	経営学修士		25 (2)
		修士(経営学)		256 (47)
		修士(経営システム科学)		121 (19)
	企業法学	修士(法学)		320 (47)
理工学	理工学	工学修士		772 (30) ※ 56
		修士(工学)		2,326 (181) ※ 197
		理学修士		411 (44) ※ 6
		修士(理学)		733 (118) ※ 16
環境科学	環境科学	学術修士		922 (127) ※ 36
		修士(学術)		91 (21) ※ 3
		修士(環境科学)		1,686 (590) ※ 185
バイオシステム	バイオシステム	修士(学術)		851 (299) ※ 90
医科学	医科学	医科学修士		242 (63) ※ 7
		修士(医科学)		681 (352) ※ 32
体 育	体育方法学	体育学修士		251 (60) ※ 14
		修士(体育学)		429 (123) ※ 71
	コーチ学	体育学修士		328 (25) ※ 15
		修士(体育学)		679 (120) ※ 54
	健康教育学	体育学修士		218 (42) ※ 12
		修士(体育学)		429 (182) ※ 33
	スポーツ健康科学	修士(体育学)		235 (81) ※ 6
スポーツ科学	修士(体育学)		379 (97) ※ 27	
スポーツ健康システム・マネジメント	修士(体育学)		58 (11)	
	修士(保健学)		54 (46)	
芸 術	美 術	芸術学修士		175 (45) ※ 9
		修士(芸術学)		440 (210) ※ 40
	デザイン	芸術学修士		190 (49) ※ 43
		修士(芸術学)		28 (15) ※ 3
		修士(デザイン学)		481 (171) ※ 159
	世界遺産	修士(世界遺産学)		34 (31) ※ 2
		修士(学術)		20 (14) ※ 2

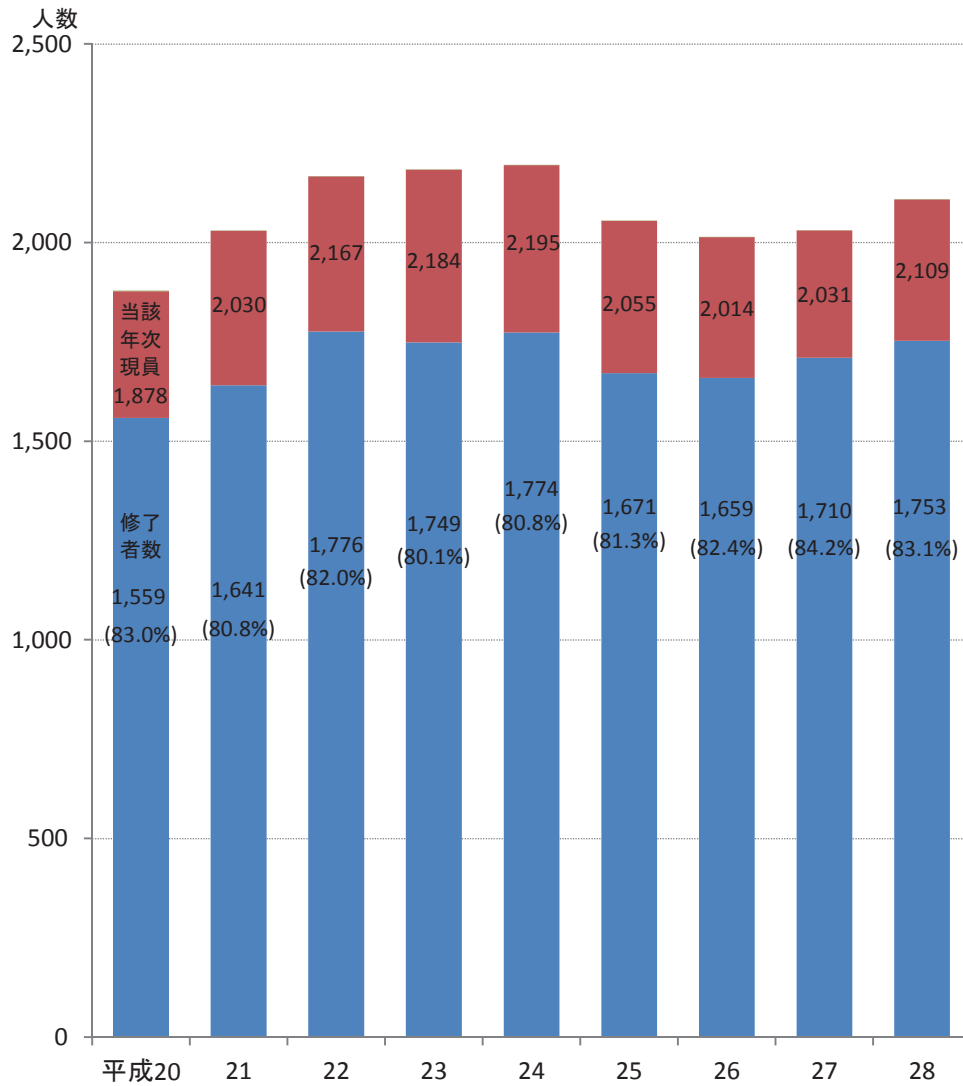
研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
人文社会科学	現代語・現代文化	修士(文学)	3 (2)	25 (17) ※ 2
		修士(言語学)	4 (1) ※ 1	33 (16) ※ 7
		修士(学術)	1 (1)	9 (7)
	国際公共政策	修士(国際政治経済学)	1 ※ 1	33 (18) ※ 19
		修士(政治学)		7 ※ 1
		修士(社会学)	5 (4) ※ 3	39 (19) ※ 13
		修士(国際公共政策)	4 (2) ※ 2	41 (16) ※ 33
	国際地域研究	修士(国際学)	15 (11) ※ 11	457 (301) ※ 341
		修士(経済学)	9 (2) ※ 8	9 (2) ※ 8
		修士(地域研究)	15 (9) ※ 10	15 (9) ※ 10
		修士(公共政策)	6 (2) ※ 6	6 (2) ※ 6
		修士(学術)	1 (1) ※ 1	13 (10) ※ 11
	国際日本研究	修士(国際日本研究)	1 (1)	1 (1)
		修士(社会科学)	15 (9) ※ 12	15 (9) ※ 12
		修士(人文科学)	8 (7) ※ 8	8 (7) ※ 8
修士(日本語教育学)		7 (4) ※ 6	7 (4) ※ 6	
法学	修士(法学)	1 (1)	29 (17) ※ 14	
経済学	修士(経済学)		39 (14) ※ 34	
数理物質科学	数学	修士(理学)	26 (2) ※ 1	185 (18) ※ 6
		修士(数学)		86 (7) ※ 2
	物理学	修士(理学)	64 (6) ※ 6	499 (47) ※ 15
		修士(物理学)		43 (6) ※ 4
	化学	修士(理学)	42 (12) ※ 1	508 (127) ※ 12
	物質創成先端科学	修士(理学)		146 (34) ※ 4
		修士(数学)		1
		修士(物理学)		2
	電子・物理工学	修士(工学)	64 (10) ※ 8	101 (6) ※ 9
	物性・分子工学	修士(工学)	70 (3) ※ 8	684 (53) ※ 59
システム情報工学	社会システム工学	修士(工学)	1 ※ 1	221 (40) ※ 49
		修士(社会工学)	2	224 (48) ※ 25
		修士(社会経済)	1	24 (1) ※ 9
	経営・政策科学	修士(ビジネス)		414 (181) ※ 272
		修士(公共政策)		26 (7) ※ 9
	リスク工学	修士(工学)	29 (5) ※ 6	289 (28) ※ 39
		修士(社会工学)	3 ※ 1	37 (8) ※ 5
	コンピュータサイエンス	修士(工学)	128 (12) ※ 29	1,247 (125) ※ 258
	知能機能システム	修士(工学)	107 (10) ※ 18	1,090 (92) ※ 134
	社会工学	修士(社会工学)	92 (40) ※ 40	163 (68) ※ 81
修士(サービス工学)		12 (1) ※ 2	29 (7) ※ 4	
構造エネルギー工学	修士(工学)	81 (3) ※ 5	29 (7) ※ 4	
生命環境科学	生物科学	修士(生物科学)		39 (18) ※ 7
		修士(理学)	47 (7) ※ 6	436 (179) ※ 23
	生物資源科学	修士(学術)	4 (1) ※ 2	63 (30) ※ 20
		修士(生物工学)	15 (8) ※ 6	223 (95) ※ 48
		修士(生物資源工学)	8 (4) ※ 6	117 (51) ※ 50
		修士(農学)	115 (60) ※ 20	976 (453) ※ 133
		修士(バイオディプロマシー)	1 (1)	5 (3) ※ 2
	環境科学	修士(環境科学)	60 (26) ※ 30	698 (267) ※ 225
	地球科学	修士(理学)	42 (12) ※ 8	348 (102) ※ 38
		修士(地球科学)		3
修士(地球環境科学)			1	
ビジネス科学	企業法学	修士(法学)	28 (6)	409 (81) ※ 1
	経営システム科学	修士(経営システム科学)	1	49 (6)
		修士(経営学)	28 (5)	382 (75) ※ 1

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
人間総合科学	スポーツ健康システム・マネジメント	修士(体育学)	11 (3)	102 (30) ※ 2
		修士(保健学)	13 (11)	92 (68) ※ 1
	フロンティア医科学	修士(医科学)	52 (22) ※ 9	489 (229) ※ 38
		修士(公衆衛生学)	16 (12) ※ 7	72 (50) ※ 29
		修士(ヒューマン・ケア科学)	4 (4) ※ 2	30 (22) ※ 5
	教育学	修士(教育学)	18 (12) ※ 4	106 (63) ※ 44
	心理	修士(心理学)	21 (9)	130 (79) ※ 12
	障害科学	修士(障害科学)	20 (16) ※ 8	186 (126) ※ 33
		修士(特別支援教育学)	15 (10)	44 (29) ※ 3
	生涯発達	修士(カウンセリング)	22 (13)	183 (128)
		修士(リハビリテーション)	23 (12)	183 (99)
	感性認知脳科学	修士(感性科学)	8 (2) ※ 2	42 (18) ※ 14
		修士(行動科学)	6 (2) ※ 2	48 (30) ※ 6
		修士(神経科学)	1 (1)	25 (13) ※ 2
		修士(学術)		1
	体育学	修士(体育学)	130 (40) ※ 7	991 (286) ※ 54
		修士(スポーツ・オリンピック学)	18 (8) ※ 14	18 (8) ※ 14
		修士(スポーツ国際開発学)	1	1
		修士(コーチング学)	1	9 (2)
	看護科学	修士(看護科学)	10 (8)	130 (120) ※ 7
	芸術	修士(芸術学)	24 (17) ※ 2	283 (204) ※ 26
		修士(デザイン学)	26 (16) ※ 6	306 (159) ※ 79
	世界遺産	修士(世界遺産学)	10 (9) ※ 5	77 (57) ※ 20
修士(学術)		6 (4) ※ 1	64 (44) ※ 6	
図書館情報メディア	図書館情報メディア	修士(図書館情報学)	19 (12) ※ 3	240 (149) ※ 24
		修士(情報学)	32 (9) ※ 12	270 (98) ※ 53
		修士(学術)		22 (12) ※ 4
計			1,753 (570) ※ 358	37,765 (11,500) ※ 4,881

(注) 1. ()は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2. 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「修士」とすることとされた。

【修士課程修了状況の推移】



()内は、修了対象年次の現員に対する修了者率(%)を示す。

(イ) 博士課程修了者

(平成29年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
人文社会科学	哲学・思想	博士(文学)	2	28 (7) ※ 3
	歴史・人類学	博士(文学)	3 (3) ※ 1	33 (16) ※ 6
	文芸・言語	博士(文学)	1	57 (33) ※ 29
		博士(言語学)	7 (5) ※ 4	73 (43) ※ 33
	現代文化・公共政策	博士(言語学)		15 (10) ※ 6
		博士(文学)		7 (3) ※ 1
		博士(学術)		4 (2)
	経済学	博士(政治学)		14 (8) ※ 5
		博士(経済学)		1
	社会科学	博士(経済学)		3 ※ 2
		博士(社会学)		16 (8) ※ 5
		博士(法学)		2 (1) ※ 1
	国際政治経済学	博士(国際政治経済学)		31 (11) ※ 21
	現代語・現代文化	博士(文学)	1 (1)	2 (2)
		博士(言語学)	1 (1)	16 (7)
	法学	博士(法学)		2 ※ 1
		博士(国際政治経済学)	1	2 (1) ※ 1
	国際公共政策	博士(政治学)		5 (3) ※ 3
		博士(社会学)		1 (1)
博士(国際公共政策)			3 (1) ※ 2	
博士(学術)			1 (1)	
国際日本研究	博士(学術)	1 (1)	16 (8) ※ 10	
	博士(国際日本研究)	2 (2) ※ 2	11 (8) ※ 8	
	博士(社会科学)	1 (1) ※ 1	1 (1) ※ 1	
ビジネス科学	企業科学	博士(システム・マネジメント)	1 (1)	36 (5)
		博士(経営学)	3	56 (7)
		博士(法学)	1	29 (4)
数理物質科学	数学	博士(理学)	7 (1) ※ 1	58 (5) ※ 6
		博士(数学)		11
	物理学	博士(理学)	9	107 (8) ※ 4
		博士(物理学)		14 (1) ※ 1
	化学	博士(理学)	5	106 (14) ※ 8
	物質創成先端科学	博士(理学)		30 (6) ※ 6
		博士(工学)	1	9 ※ 3
	電子・物理工学	博士(工学)	5	132 (7) ※ 19
	物性・分子工学	博士(工学)	11 (2) ※ 4	116 (11) ※ 37
ナノサイエンス・ナノテクノロジー	博士(工学)	7 ※ 2	26 (1) ※ 4	
	博士(理学)	7 (3)	14 (4) ※ 2	
物質・材料工学	博士(工学)	15 (5) ※ 12	120 (26) ※ 79	
システム情報工学	社会システム工学	博士(工学)		12 (2) ※ 4
		博士(社会工学)		18 (4) ※ 7
		博士(社会経済)		10 (3) ※ 5
	社会システム・マネジメント	博士(マネジメント)		12 (5) ※ 8
		博士(社会経済)		9 (2) ※ 1
		博士(社会工学)		15 (1) ※ 2
	リスク工学	博士(工学)	1	40 (8) ※ 15
		博士(社会工学)	7 ※ 1	59 (7) ※ 12
	コンピュータサイエンス	博士(工学)	19 (3) ※ 8	6 (1) ※ 2
	知能機能システム	博士(工学)	14 ※ 2	197 (15) ※ 67
	構造エネルギー工学	博士(工学)	13 (2) ※ 4	173 (13) ※ 38
	社会工学(社会工学学位プログラム)	博士(社会工学)	9 (4) ※ 4	92 (6) ※ 23
	計量ファイナンス・マネジメント	博士(ファイナンス)		11 (4) ※ 4
博士(マネジメント)			2 (1) ※ 2	
博士(社会工学)			4 (2) ※ 4	
			2	
生命環境科学	地球環境科学	博士(理学)	4 ※ 3	84 (25) ※ 31
	地球進化科学	博士(理学)	2	32 (12) ※ 8
	生物科学	博士(理学)	5	48 (10) ※ 6
		博士(生物科学)	6 (2)	25 (6) ※ 1
		博士(学術)		10
	構造生物科学	博士(理学)		44 (11) ※ 2
		博士(生物科学)		2
情報生物科学	博士(理学)		83 (27) ※ 5	
	博士(生物科学)		5 (2) ※ 1	

研究科	専攻	学位（専攻分野の名称）	本年度修了者数	累 計
生命環境科学	生命共存科学	博士（理学）	3（ 1）	66（ 17）※ 25
		博士（農学）		11（ 3）※ 1
		博士（生命共存科学）		7（ 1）※ 4
	環境バイオマス共生学	博士（学術）	2（ 1）※ 1	2（ 1）※ 1
		博士（学術）	1（ 1）※ 1	34（ 16）※ 17
	国際地緑技術開発科学	博士（生物資源工学）	4（ 1）※ 4	37（ 15）※ 34
		博士（農学）	8（ 3）※ 4	74（ 28）※ 26
	生物圏資源科学	博士（学術）		21（ 11）※ 16
		博士（農学）	13（ 5）※ 5	125（ 40）※ 57
	生物機能科学	博士（生物工学）	6（ 2）※ 2	79（ 24）※ 27
		博士（農学）	9（ 4）※ 1	77（ 22）※ 7
		博士（学術）	1	22（ 5）
	生命産業科学	博士（農学）	5（ 2）※ 3	31（ 10）※ 12
		博士（生物科学）		15（ 12）※ 7
博士（生物工学）		9（ 4）※ 2	68（ 25）※ 45	
	博士（学術）	1	14（ 4）※ 4	
持続環境学	博士（環境学）	22（ 6）※ 10	130（ 45）※ 78	
先端農業技術科学	博士（農学）	5（ 1）※ 2	51（ 14）※ 11	
人間総合科学	教育学	博士（教育学）		2
	学校教育学	博士（教育学）	6（ 2）※ 2	21（ 11）※ 5
	教育基礎学	博士（教育学）	1	6（ 5）※ 3
	心理学	博士（心理学）	4（ 2）	45（ 15）※ 1
		博士（学術）		1 ※ 1
	障害科学	博士（障害科学）	4（ 1）※ 1	29（ 13）※ 3
	心身障害学	博士（心身障害学）		15（ 10）※ 3
	ヒューマン・ケア科学	博士（ヒューマン・ケア科学）	11（ 5）※ 2	101（ 77）※ 7
		博士（心理学）	1	33（ 11）※ 1
		博士（心身障害学）		1（ 1）※ 1
		博士（教育学）	1	8（ 3）※ 1
		博士（体育科学）		4（ 1）
		博士（医学）		3（ 2）
		博士（学術）	3（ 2）	28（ 23）※ 2
	生涯発達科学	博士（カウンセリング科学）		20（ 12）
		博士（生涯発達科学）	5（ 3）	13（ 8）
		博士（リハビリテーション科学）	4（ 1）	16（ 5）
	感性認知脳科学	博士（感性科学）	1	24（ 11）※ 16
		博士（神経科学）	2（ 1）	31（ 10）※ 1
		博士（行動科学）	3（ 2）※ 1	24（ 13）※ 2
		博士（学術）		5（ 4）※ 2
	スポーツ医学	博士（スポーツ医学）	4 ※ 1	99（ 35）※ 20
		博士（医学）		2（ 1）※ 1
		博士（学術）		2
	先端応用医学	博士（医学）		105（ 21）※ 11
	分子情報・生体統御医学	博士（医学）		76（ 36）※ 18
	病態制御医学	博士（医学）		79（ 26）※ 9
	機能制御医学	博士（医学）		53（ 17）※ 4
	社会環境医学	博士（医学）		69（ 31）※ 11
	生命システム医学	博士（医学）	19（ 6）※ 5	101（ 37）※ 15
疾患制御医学	博士（医学）	39（ 11）※ 3	248（ 73）※ 15	
看護科学	博士（看護科学）	7（ 6）	20（ 16）※ 1	
体育科学	博士（体育科学）	10（ 3）※ 1	88（ 17）※ 14	
	博士（学術）	1（ 1）	17（ 5）※ 4	
芸術	博士（芸術学）	10（ 8）※ 2	62（ 34）※ 11	
	博士（デザイン学）	3（ 3）	26（ 14）※ 11	
世界文化遺産学	博士（世界遺産学）	2 ※ 1	14（ 10）※ 5	
	博士（学術）	1（ 1）※ 1	12（ 10）※ 6	
コーチング学	博士（コーチング学）	6	29（ 5）※ 2	
芸術学	博士（芸術学）		19（ 9）※ 3	
	博士（デザイン学）		17（ 7）※ 9	
図書館情報メディア	博士（図書館情報学）	3（ 2）	30（ 15）※ 6	
	博士（情報学）	2	37（ 13）※ 11	
	博士（学術）		17（ 10）※ 4	
グローバル教育院	ヒューマンバイオロジー学位プログラム	博士（人間生物学）	7（ 2）※ 4	7（ 2）※ 4
	エンパワーメント情報学プログラム	博士（人間情報学）	3 ※ 1	3 ※ 1

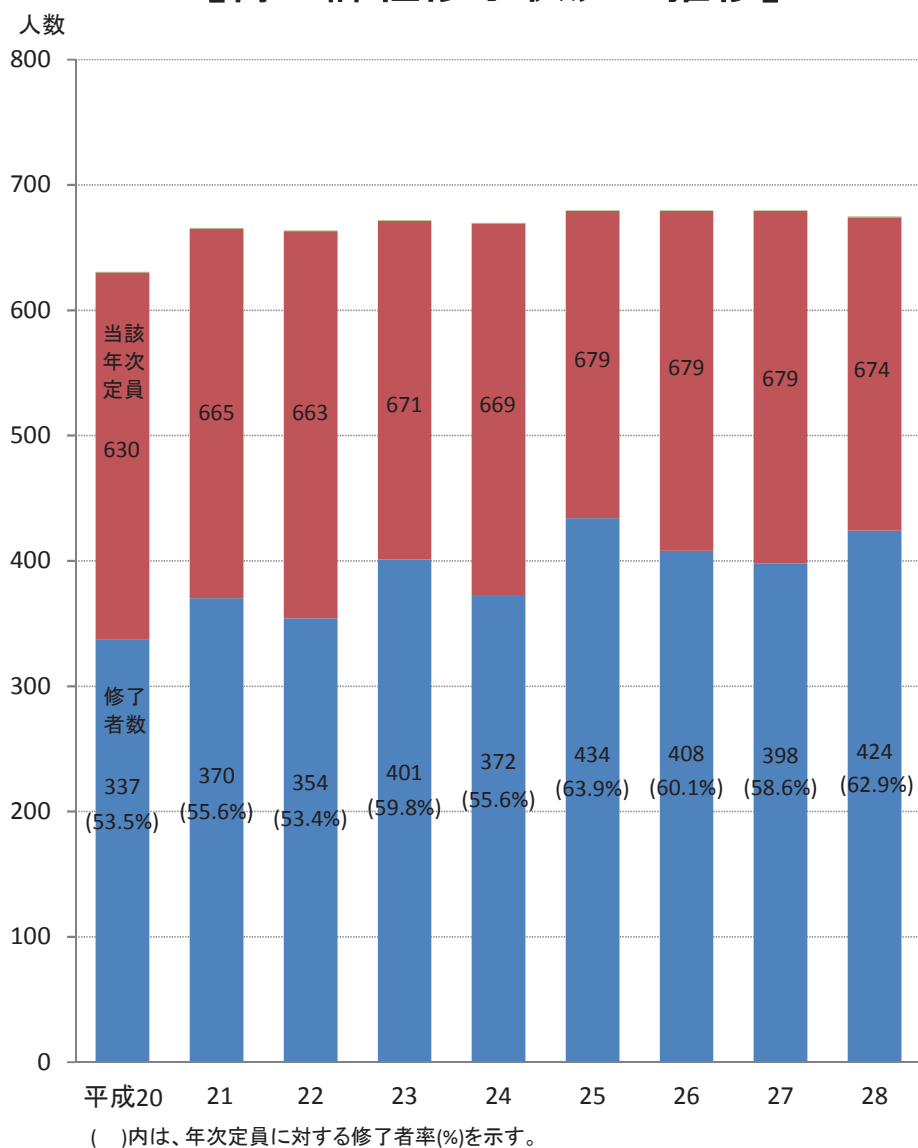
研究科	専攻	学位（専攻分野の名称）	本年度修了者数	累 計
哲学・思想	哲学	文学博士		3
		博士（文学）		5（ 1）※ 1
	倫理学	文学博士		8（ 1）※ 2
		博士（文学） 博士（学術）		2
	宗教学・比較思想学	文学博士		3 ※ 2
		博士（文学）		2
博士（学術）			3	
歴史・人類学	史学	文学博士		11（ 2）※ 8
		博士（文学）		9（ 4）※ 3
		博士（学術）		3（ 1）※ 1
	文化人類学	文学博士		6 2 ※ 6
		博士（文学）		9（ 2）※ 3
		博士（学術）		2（ 1）※ 1
文芸・言語	文学	文学博士		2（ 1）※ 2
		博士（文学）		22（ 13）※ 14
		博士（学術）		2（ 2）※ 1
	各国文学	文学博士		2（ 2）※ 1
		博士（文学）		11（ 4）※ 2
		博士（学術）		6（ 2）※ 5
言語学	文学博士		8（ 3）※ 7	
	博士（言語学）		47（ 22）※ 35	
教育学	教育学	教育学博士		3 ※ 2
	教育基礎学	教育学博士		6（ 4）※ 5
		博士（教育学）		12（ 8）※ 10
	学校教育学	教育学博士		2 ※ 2
		博士（教育学）		17（ 7）※ 14
心理学	心理学	教育学博士		6（ 1）
		博士（心理学）		44（ 13）※ 5
		学術博士		4（ 1）※ 2
心身障害学	心身障害学	教育学博士		22（ 10）※ 2
		博士（教育学）		23（ 11）※ 6
		博士（心身障害学）		26（ 15）※ 6
		学術博士		1（ 1）
		博士（学術）		1
社会科学	法学	法学博士		11 ※ 2
		博士（法学）		23（ 3）※ 11
	経済学	経済学博士		1 ※ 1
		博士（経済学）		7（ 1）※ 4
	社会学	社会学博士		8（ 2）※ 5
	博士（社会学）		24（ 3）※ 17	
計量計画学	経済学博士		1	
社会工学	計量計画学	学術博士		1 ※ 1
		博士（社会経済）		13（ 3）※ 8
		博士（経営工学）		1
	経営工学	学術博士		10（ 1）※ 8
		博士（経営工学） 博士（社会経済）		27（ 6）※ 18
	都市・地域計画学	学術博士		1 ※ 1
		博士（社会工学）		11（ 1）※ 8
		博士（都市・地域計画）		3 ※ 1
	計量ファイナンス・マネジメント	博士（経営学）		30（ 3）※ 20
		博士（計量ファイナンス）		4（ 1）※ 4
社会経済システム	博士（社会経済）		3	
都市・環境システム	博士（社会経済）		3（ 1）※ 3	
	博士（社会工学）		9（ 2）	
システム情報数理	博士（都市・環境システム）		2 ※ 2	
	博士（数理工学）		1 ※ 1	
国際政治経済学	国際政治経済学	博士（学術）		2（ 1）※ 1
		博士（国際政治経済学）		21（ 4）※ 15
経営・政策科学	企業科学	博士（法学）		5（ 1）
		博士（経営学）		8（ 3）
		博士（システムズ・マネジメント）		10（ 1）

研究科	専攻	学位（専攻分野の名称）	本年度修了者数	累 計
生物科学	生物学	理学博士		36（ 2 ）※ 6
		博士（理学）		56（ 16 ）※ 5
		博士（生物科学）		3
	生物物理化学	理学博士		34（ 4 ）※ 2
		博士（理学）		85（ 23 ）※ 9
		博士（学術）		8（ 1 ）
		博士（生物科学）		1
農 学	農林学	農学博士		41（ 4 ）※ 13
		博士（農学）		87（ 9 ）※ 35
	農林工学	農学博士		21 ※ 10
		博士（農学）		99（ 13 ）※ 53
	応用生物化学	農学博士		59（ 6 ）※ 18
		博士（農学）		175（ 41 ）※ 50
		学術博士		7
		博士（学術）		42（ 8 ）※ 5
数 学	数 学	理学博士		19 ※ 1
		博士（理学）		53（ 6 ）※ 6
		博士（数学）		17（ 1 ）※ 3
物理学	物理学	理学博士		119（ 2 ）※ 3
		博士（理学）		122（ 7 ）※ 9
		博士（物理学）		21（ 1 ）※ 1
		学術博士		1
化 学	化 学	理学博士		98（ 6 ）※ 6
		博士（理学）		94（ 9 ）※ 7
地球科学	地理学・水文学	理学博士		46（ 3 ）※ 19
		博士（理学）		50（ 8 ）※ 15
	地質学	理学博士		28（ 3 ）※ 6
		博士（理学）		75（ 15 ）※ 28
工 学	物理工学	工学博士		32 ※ 8
		博士（工学）		102（ 3 ）※ 21
	物質工学	工学博士		21 ※ 3
		博士（工学）		132（ 6 ）※ 31
	構造工学	工学博士		18 ※ 3
		博士（工学）		86（ 6 ）※ 26
知能機能工学	博士（工学）		54（ 4 ）※ 9	
電子・情報工学	工学博士		21 ※ 8	
	博士（工学）		134（ 9 ）※ 42	
医 学	形態系	医学博士		19（ 1 ）
		博士（医学）		103（ 24 ）※ 17
	生化系	医学博士		30（ 4 ）※ 1
		博士（医学）		114（ 42 ）※ 13
	生理系	医学博士		53（ 3 ）※ 2
		博士（医学）		173（ 50 ）※ 24
生物系	医学博士		19（ 4 ）※ 1	
	博士（医学）		67（ 19 ）※ 7	
環境生態系	医学博士		34（ 6 ）※ 2	
	博士（医学）		81（ 36 ）※ 7	
体育科学	体育科学	教育学博士		30（ 3 ）※ 12
		博士（体育科学）		88（ 11 ）※ 22
		学術博士		5
		博士（学術）		20（ 6 ）※ 6
芸術学	芸術学	学術博士		4（ 1 ）※ 1
		博士（芸術学）		34（ 25 ）※ 9
		博士（デザイン学）		39（ 11 ）※ 23
計			424（ 130 ）※ 109	8,313（ 2,046 ）※ 2,059

（注） 1.（ ）は女子を、※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2.平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され、単に「博士」とすることとされた。

【博士課程修了状況の推移】



(ウ) 博士課程修士学位授与者

(平成29年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
人文社会科学	哲学・思想	修士(文学)	3 (1) ※ 1	89 (36) ※ 9
		修士(文学)	8 (4) ※ 3	137 (63) ※ 13
	歴史・人類学	修士(言語学)	8 (4) ※ 3	156 (88) ※ 53
		修士(文学)	4	117 (65) ※ 33
	文芸・言語	修士(文学)	1 (1)	5 (5) ※ 2
		修士(学術)		16 (8) ※ 3
	現代文化公共政策	修士(学術)		26 (16) ※ 7
		修士(言語学)		28 (13) ※ 10
		修士(政治学)		17 (11) ※ 1
		修士(文学)		10 (2) ※ 2
	社会科学	修士(経済学)		21 (14) ※ 5
		修士(社会学)		24 (16) ※ 4
		修士(法学)		94 (36) ※ 76
	国際政治経済学	修士(国際政治経済学)		2 (2)
修士(学術)				
数理物質科学	数学	修士(理学)		43 (1)
		修士(数学)		4
	物理学	修士(理学)		58 (5)
		修士(物理学)		13 (1)
	化学	修士(理学)		66 (14) ※ 2
		修士(工学)		36 (6)
	物質創成先端科学	修士(工学)		22 (2)
		修士(物理学)		3
	電子・物理工学	修士(工学)		66 (3)
		修士(工学)		76 (7) ※ 2
システム情報工学	社会システム工学	修士(社会経済)		7 ※ 1
		修士(社会学)		53 (8) ※ 6
		修士(工学)		27 (2) ※ 6
	リスク工学	修士(工学)		48 (5) ※ 4
		修士(社会工学)		5 (1)
	コンピュータサイエンス	修士(工学)		159 (11) ※ 15
	知能機能システム	修士(工学)		134 (9) ※ 6
	構造エネルギー工学	修士(工学)		101 (5) ※ 1
	計量ファイナンス・マネジメント	修士(ファイナンス)		15 ※ 1
		修士(マネジメント)		3 (1) ※ 3
修士(社会工学)			10	
生命環境科学	地球環境科学	修士(理学)		79 (25) ※ 4
		修士(地球環境科学)		3 (2)
	地球進化科学	修士(理学)		63 (20) ※ 4
		修士(地球科学)		1
	構造生物科学	修士(理学)		36 (13)
		修士(生物科学)		3 (2) ※ 1
	情報生物科学	修士(理学)		98 (37)
		修士(生物科学)		8 (1)
	生命共存科学	修士(理学)		120 (44) ※ 10
		修士(農学)		29 (5) ※ 1
		修士(生命共存科学)		19 (6) ※ 6
		修士(学術)		1
	環境バイオマス共生学	修士(農学)	1 (1)	10 (6) ※ 1
		修士(理学)	10 (6) ※ 2	30 (13) ※ 4
		修士(学術)		1
	国際地縁技術開発科学	修士(農学)		54 (24) ※ 6
		修士(生物資源工学)		16 (4) ※ 7
修士(学術)			14 (7) ※ 3	
生物圏資源科学	修士(農学)		89 (31) ※ 15	
	修士(学術)		4 (3) ※ 1	
生物機能科学	修士(農学)		38 (12) ※ 1	
	修士(生物工学)		25 (5) ※ 2	
	修士(学術)		3	
人間総合科学	教育学	修士(教育学)		37 (20) ※ 8
	学校教育学	修士(教育学)		37 (13) ※ 4
	心理学	修士(心理学)		46 (20)
	心身障害学	修士(学術)		1
		修士(心身障害学)		46 (24) ※ 4

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
人間総合科学	ヒューマン・ケア科学	修士(ヒューマン・ケア科学)		43 (40) ※ 10
		修士(教育学)		5 (4)
		修士(心理学)		51 (28) ※ 1
		修士(体育科学)		2 (1)
		修士(心身障害学)		1
	感性認知脳科学	修士(学術)		2 (1)
		修士(感性科学)		18 (7) ※ 8
		修士(行動科学)		28 (18) ※ 2
		修士(神経科学)		26 (11) ※ 1
	スポーツ医学	修士(スポーツ医学)		54 (15) ※ 16
	体育科学	修士(学術)		6 (3)
		修士(体育科学)		62 (11) ※ 9
	芸術学	修士(デザイン学)		17 (8) ※ 5
		修士(学術)		1
修士(芸術学)			36 (26) ※ 5	
哲学・思想	哲 学	文学修士		19 (1)
		修士(文学)		18 (3) ※ 1
	哲学・思想	修士(文学)		1
		文学修士		20 (3) ※ 6
	倫理学	修士(文学)		18 (4) ※ 2
		修士(学術)		5 ※ 4
		文学修士		30 (9) ※ 7
	宗教学・比較思想学	修士(文学)		20 (3) ※ 1
修士(学術)			3 (1)	
文学修士			88 (14) ※ 12	
歴史・人類学	史 学	修士(文学)		71 (23) ※ 2
		修士(学術)		10 (3) ※ 2
		文学修士		65 (16) ※ 10
	文化人類学	修士(文学)		48 (10) ※ 3
		修士(学術)		5 (3) ※ 2
		文学修士		20 (7) ※ 2
文芸・言語	文 学	修士(文学)		23 (11) ※ 7
		修士(学術)		1 (1) ※ 1
		文学修士		107 (39) ※ 12
	各国文学	修士(文学)		65 (22) ※ 4
		修士(学術)		10 (4) ※ 9
		文学修士		118 (24) ※ 16
	言語学	修士(言語学)		117 (56) ※ 36
		修士(学術)		5 (4) ※ 1
		教育学	教育学修士	
教育学	教育基礎学	教育学修士		29 (10) ※ 4
		修士(教育学)		64 (21) ※ 5
	学校教育学	教育学修士		37 (6) ※ 5
		修士(教育学)		62 (18) ※ 11
心理学	心理学	教育学修士		94 (19) ※ 6
		修士(心理学)		111 (48) ※ 9
心身障害学	心身障害学	教育学修士		71 (16) ※ 4
		修士(教育学)		23 (12) ※ 4
		修士(心身障害学)		48 (22) ※ 4
社会科学	法 学	法学修士		17 (5) ※ 2
		修士(法学)		35 (9) ※ 14
	経済学	経済学修士		12 ※ 2
		修士(経済学)		21 (7) ※ 7
	社会学	社会学修士		23 (6) ※ 8
計量計画学	修士(社会学)		37 (12) ※ 15	
社会工学	計量計画学	経済学修士		2 (1)
		学術修士		11 ※ 1
	経営工学	修士(社会経済)		19 (2) ※ 7
		学術修士		19 ※ 5
	都市・地域計画学	修士(経営工学)		38 (8) ※ 15
		学術修士		8 (1) ※ 1
社会経済システム	修士(都市・地域計画)		32 (5) ※ 12	
	修士(社会経済)		7 ※ 1	

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
社会工学	システム情報数理	修士(社会工学)		1
		修士(数理工学)		12 (1) ※ 3
	都市・環境システム	修士(社会工学)		12 (6)
		修士(都市・環境システム)		7 (1) ※ 1
	計量ファイナンス・マネジメント	修士(社会工学)		3
		修士(計量ファイナンス)		10 (2) ※ 2
		修士(経営学)		5 (2) ※ 3
国際政治経済学	国際政治経済学	修士(国際政治経済学)		52 (18) ※ 34
		修士(学術)		57 (24) ※ 33
生物科学	生物学	理学修士		52 (7) ※ 4
		修士(理学)		78 (27) ※ 1
		修士(生物科学)		6 (1)
	生物物理化学	理学修士		74 (16) ※ 2
		修士(理学)		113 (44) ※ 2
		修士(生物科学)		1 (1)
農 学	農林学	農学修士		64 (2) ※ 14
		修士(農学)		122 (29) ※ 18
	農林工学	農学修士		47 (1) ※ 8
		修士(農学)		80 (15) ※ 13
	応用生物化学	農学修士		112 (13) ※ 10
		修士(農学)		177 (51) ※ 12
数 学	数 学	理学修士		90 (2) ※ 2
		修士(理学)		76 (11) ※ 2
		修士(数学)		46 (5)
物理学	物理学	理学修士		178 (6) ※ 1
		修士(理学)		156 (9)
		修士(物理学)		54 (5)
化 学	化 学	理学修士		111 (13) ※ 4
		修士(理学)		117 (19) ※ 1
		修士(化学)		3 (1)
地球科学	地理学・水文学	理学修士		83 (5) ※ 15
		修士(理学)		79 (11) ※ 2
		修士(地球科学)		1
	地質学	理学修士		42 (6) ※ 6
		修士(理学)		74 (14) ※ 19
		修士(地球科学)		1
工 学	物理工学	工学修士		53
		修士(工学)		155 (4) ※ 1
	物質工学	工学修士		58 (4)
		修士(工学)		172 (10) ※ 2
	構造工学	工学修士		63 (1)
		修士(工学)		171 (7) ※ 3
知能機能工学	修士(工学)		101 (4) ※ 1	
電子・情報工学	工学修士		60 (1) ※ 2	
	修士(工学)		203 (11) ※ 9	
体育科学	体育科学	教育学修士		96 (11) ※ 23
		修士(体育科学)		118 (24) ※ 27
芸術学	芸術学	学術修士		34 (15) ※ 2
		修士(芸術学)		35 (22) ※ 5
		修士(デザイン学)		23 (9) ※ 9
計			35 (17) ※ 9	8,264 (1,950) ※ 986

(注) 1. () は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2. 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「修士」とすることとされた。

(エ) 論文博士学位授与者

(平成29年3月31日現在)

	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
平成3年6月までの 学位授与数	文学博士		72 (4) ※ 11
	教育学博士		86 (13) ※ 12
	法学博士		1
	経済学博士		2
	社会学博士		2 (1) ※ 1
	理学博士		290 (19) ※ 11
	農学博士		67 (1) ※ 6
	工学博士		33 (1)
	学術博士		22 (1) ※ 3
	医学博士		122 (13) ※ 1
	平成3年7月以降 の学位授与数	博士(文学)	5 ※ 1
博士(言語学)		2 ※ 1	68 (15) ※ 9
博士(国際日本研究)			1 ※ 1
博士(教育学)		3 (1)	106 (17) ※ 8
博士(心理学)		1	78 (27) ※ 3
博士(心身障害学)			27 (9) ※ 1
博士(法学)			23 (3) ※ 4
博士(政治学)			2 (1) ※ 1
博士(経済学)			11 (1)
博士(社会学)			23 (9) ※ 2
博士(経営学)		1	8 (2)
博士(社会工学)			3 ※ 1
博士(社会経済)			10 ※ 1
博士(経営工学)			6 (1) ※ 1
博士(数理工学)			1 ※ 1
博士(都市・地域計画)			4 (1) ※ 2
博士(ファイナンス)			1
博士(マネジメント)		1	1
博士(システムズ・マネジメント)			5 (1)
博士(国際政治経済学)			15 (10) ※ 7
博士(理学)		1 (1)	274 (44) ※ 20
博士(生物科学)			5 (2)
博士(数学)			8 (2)
博士(物理学)			1
博士(化学)			2 (1)
博士(地球科学)			1 ※ 1
博士(農学)		8 (3) ※ 3	220 (31) ※ 25
博士(生物資源工学)			4 ※ 1
博士(生物工学)		1	19 (6) ※ 4
博士(工学)		1 (1)	302 (24) ※ 35
博士(生命共存科学)			1
博士(感性科学)		1	10 (3) ※ 1
博士(障害科学)			5 (1)
博士(行動科学)			8 (3)
博士(神経科学)			5 (1)
博士(リハビリテーション科学)			2 (1)
博士(スポーツ医学)			10 (3)
博士(医学)		9 (2) ※ 1	385 (66) ※ 7
博士(看護科学)			1
博士(体育科学)			101 (8) ※ 7
博士(ヒューマン・ケア科学)			5 (5)
博士(芸術学)		32 (6) ※ 1	
博士(世界遺産学)		1	
博士(コーチング学)		6	
博士(デザイン学)	1 (1)	19 (7) ※ 2	
博士(学術)	3 ※ 2	75 (22) ※ 12	
博士(図書館情報学)	2 (1)	6 (2) ※ 2	
博士(情報学)		7 ※ 1	
計	40 (10) ※ 8	2,829 (429) ※ 226	

(注) 1. () は女子を, ※は外国人をそれぞれ内数で示す。

2. 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「博士」とすることとされた。

(オ) 専門職課程修了者

(平成29年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
ビジネス科学	国際経営プロフェッショナル	国際経営修士(専門職)	31 (9) ※ 1	330 (116) ※ 48
	法曹(法科大学院)	法務博士(専門職)	27 (6)	290 (64)
合 計			58 (15) ※ 1	620 (180) ※ 48

(注) 1. ()は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

(5) 特別支援学校教員資格認定試験

科目	受験者数	第1次試験 合格者数	第2次試験 合格者数	合格率
聴覚障害教育	62 [12]	30 [12]	11	17.7%
肢体不自由教育	178 [36]	79 [36]	10	5.6%
合 計	240 [48]	109 [48]	21	8.8%

(注) 1. []は、第1次試験免除者を内数で示す。

2. 試験日程等は、次のとおりである。

第1次試験	8月7日(日)	場所	東京キャンパス文京校舎 東京キャンパス文京校舎
第2次試験	10月2日(日)	場所	附属聴覚特別支援学校
最終合格発表	11月18日(金)	官報で公告	

(6) 学生の身分異動

ア 学群

学群・学類		休学	退学	除籍	計
人文 学群	人文学類	18 (7)	6 (2)	1	25 (9)
	比較文化学類	14 (9)	4 (4)		18 (13)
	日本語・日本文化学類	11 (5)	1	1	13 (5)
社会・ 国際 学群	社会学類	14 (9)	3 (1)		17 (10)
	国際総合学類	13 (7)	6 (2)	1 (1)	20 (10)
人間 学群	教育学類	2 (1)	1		3 (1)
	心理学類	12 (6)	1 (1)		13 (7)
	障害科学類	1 (1)			1 (1)
生命 環境 学群	生物学類	9 (3)	6 (4)	1	16 (7)
	生物資源学類	19 (7)	8 (1)		27 (8)
	地球学類	8 (3)			8 (3)
理工 学群	数学類	8	5		13 (0)
	物理学類	10	4		14 (0)
	化学類	2			2 (0)
	応用理工学類	15 (1)	5	1	21 (1)
	工学システム学類	27 (2)	8 (1)	2	37 (3)
	社会工学類	22 (4)	9	1	32 (4)
情報 学群	情報科学類	16 (2)	5	2	23 (2)
	情報メディア創成学類	8	10 (1)		18 (1)
	知識情報・図書館学類	14 (6)	5 (2)		19 (8)
医学 学群	医学類	4			4 (0)
	看護学類	14 (13)	1 (1)		15 (14)
	医療科学類	10 (6)	2 (1)		12 (7)
体育専門学群	21 (4)	4 (1)	1	26 (5)	
芸術専門学群	25 (18)	5 (2)	1 (1)	31 (21)	
第一 学群	人文学類				0 (0)
	社会学類				0 (0)
	自然科学類				0 (0)
第二 学群	比較文化学類				0 (0)
	日本語・日本文化学類				0 (0)
	人間学類				0 (0)
	生物学類				0 (0)
	生物資源学類				0 (0)
第三 学群	社会工学類				0 (0)
	国際総合学類				0 (0)
	情報学類				0 (0)
	工学システム学類				0 (0)
	工学基礎学類				0 (0)
医学専門学群				0 (0)	
医学専門 学群	医学類				0 (0)
	看護・医療科学類				0 (0)
図書館情報専門学群				0 (0)	
学群計		317 (114)	99 (24)	12 (2)	428 (140)

(注) () は女子を内数で示す。

イ 大学院

所 属		休学	退学	除籍	計
教育研究科	修士課程	16 (4)	11 (3)		27 (7)
人文社会科学研究科	一貫制博士課程	55 (28)	38 (13)	1 (1)	94 (42)
	修士課程	4 (3)			4 (3)
	博士前期課程	19 (17)	7 (4)	1	27 (21)
	博士後期課程	35 (22)	12 (7)		47 (29)
ビジネス科学研究科	博士前期課程	44 (7)	12 (1)	1	57 (8)
	博士後期課程	69 (17)	16 (4)		85 (21)
	専門職学位課程	42 (10)	12 (2)	4	58 (12)
数理物質科学研究科	一貫制博士課程				0 (0)
	博士前期課程	25 (3)	18 (1)		43 (4)
	博士後期課程	15 (3)	9 (1)	2	26 (4)
	3年制博士課程	1 (1)	2 (1)		3 (2)
システム情報工学研究科	一貫制博士課程				0 (0)
	博士前期課程	22 (4)	17 (3)	3 (1)	42 (8)
	博士後期課程	33 (6)	14 (4)	1 (1)	48 (11)
生命環境科学研究科	一貫制博士課程	7 (3)	14 (8)	1	22 (11)
	博士前期課程	28 (15)	13 (6)		41 (21)
	博士後期課程	49 (18)	26 (13)		75 (31)
	3年制博士課程	4 (2)	1		5 (2)
人間総合科学研究科	一貫制博士課程	34 (20)	13 (7)	2	49 (27)
	修士課程	13 (4)	7 (2)	1	21 (6)
	博士前期課程	63 (28)	23 (12)	1 (1)	87 (41)
	博士後期課程	123 (68)	33 (13)	2	158 (81)
	3年制博士課程	73 (37)	15 (10)		88 (47)
図書館情報メディア研究科	博士前期課程	4 (2)	6 (3)		10 (5)
	博士後期課程	28 (8)	9 (3)		37 (11)
グローバル教育院	一貫制博士課程	1 (1)	1		2 (1)
	博士前期課程	1	1		2
大学院計		808 (331)	330 (121)	20 (4)	1,158 (456)

(注) () は女子を内数で示す。

(7) 入学者選抜

ア 学群

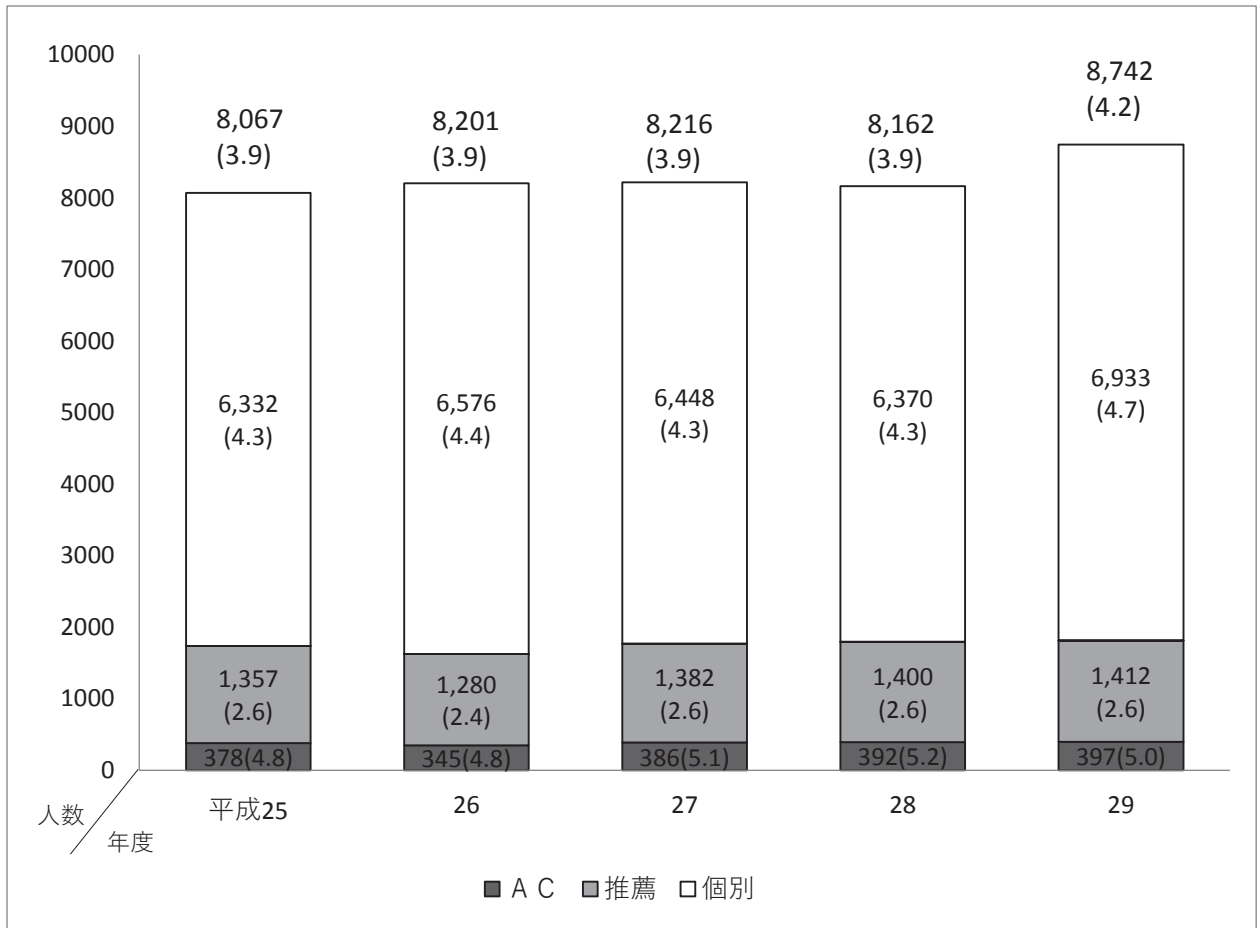
(ア) 平成29年度入学者選抜 (4月入学)

平成29年4月1日現在

学群・学類	入学定員	アドミッションセンター入試 (国際科学オリンピック特別入試、 国際・カワレア特別入試を含む)				推薦入試 (帰国生徒特別入試(体育、芸術)を含む)				個別学力検査等 (前期日程・後期日程)				私費外国人留学生入試			合格者 数計	入学者数計
		募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	志願 者数	合格 者数	入学 者数		
人文・文化学群	人文学類	120	(4)	(1)	(1)	(35)	(21)	(21)	(209)	(40)	(38)	(0)	(0)	(0)	(62)	(60)		
	比較文化学類	80	(15)	(2)	(2)	(38)	(18)	(18)	(165)	(37)	(32)	(1)	(1)	(1)	(58)	(53)		
	日本語・ 日本文化学類	40	(9)	(1)	(1)	(18)	(9)	(9)	(116)	(24)	(23)	(3)	(1)	(1)	(35)	(34)		
	計	240	(28)	(4)	(4)	(91)	(48)	(48)	(490)	(101)	(93)	(4)	(2)	(2)	(155)	(147)		
社会・国際学群	社会学類	80	(0)	(0)	(0)	(21)	(10)	(9)	(113)	(21)	(19)	(5)	(0)	(0)	(31)	(28)		
	国際総合学類	80	(1)	(0)	(0)	(39)	(14)	(14)	(115)	(31)	(29)	(5)	(1)	(1)	(46)	(44)		
	計	160	(1)	(0)	(0)	(60)	(24)	(23)	(228)	(52)	(48)	(10)	(1)	(1)	(77)	(72)		
人間学群	教育学類	35	(2)	(0)	(0)	(13)	(3)	(3)	(40)	(8)	(7)	(2)	(0)	(0)	(11)	(10)		
	心理学類	50	(1)	(0)	(0)	(40)	(12)	(12)	(107)	(22)	(22)	(5)	(0)	(0)	(34)	(34)		
	障害科学類	35	(0)	(0)	(0)	(26)	(14)	(14)	(55)	(15)	(15)	(0)	(0)	(0)	(29)	(29)		
	計	120	(3)	(0)	(0)	(79)	(29)	(29)	(202)	(45)	(44)	(7)	(0)	(0)	(74)	(73)		
生命環境学群	生物学類	80	(9)	(3)	(3)	(17)	(10)	(10)	(96)	(27)	(18)	(10)	(1)	(1)	(34)	(32)		
	生物資源学類	120	(8)	(0)	(0)	(49)	(26)	(26)	(156)	(37)	(34)	(7)	(1)	(1)	(64)	(61)		
	地球学類	50	(2)	(1)	(1)	(11)	(2)	(2)	(44)	(12)	(12)	(1)	(0)	(0)	(15)	(15)		
	計	250	(19)	(4)	(4)	(77)	(38)	(38)	(296)	(69)	(64)	(18)	(2)	(2)	(113)	(108)		
理工学群	数学類	40	(1)	(0)	(0)	(8)	(1)	(1)	(9)	(3)	(3)	(2)	(1)	(1)	(5)	(5)		
	物理学類	60	(1)	(0)	(0)	(10)	(4)	(4)	(24)	(3)	(3)	(0)	(0)	(0)	(7)	(7)		
	化学類	50	(0)	(0)	(0)	(7)	(3)	(3)	(25)	(9)	(9)	(3)	(0)	(0)	(12)	(12)		
	応用理工学類	120	(0)	(0)	(0)	(9)	(4)	(4)	(45)	(9)	(8)	(2)	(0)	(0)	(13)	(12)		
	工学システム 学類	130	(4)	(1)	(1)	(11)	(2)	(2)	(59)	(8)	(8)	(2)	(2)	(1)	(13)	(12)		
	社会工学類	120	(1)	(0)	(0)	(15)	(8)	(8)	(93)	(15)	(13)	(2)	(1)	(1)	(24)	(22)		
	計	520	(7)	(1)	(1)	(60)	(22)	(22)	(255)	(47)	(44)	(11)	(4)	(3)	(74)	(70)		
情報学群	情報科学類	80	(5)	(2)	(2)	(4)	(4)	(4)	(31)	(12)	(8)	(9)	(0)	(0)	(18)	(14)		
	情報メディア 創成学類	50	(4)	(0)	(0)	(10)	(2)	(2)	(56)	(10)	(10)	(1)	(0)	(0)	(12)	(12)		
	知識情報・ 図書館学類	100	(8)	(5)	(5)	(16)	(13)	(13)	(151)	(35)	(31)	(4)	(1)	(1)	(54)	(50)		
	計	230	(17)	(7)	(7)	(30)	(19)	(19)	(238)	(57)	(49)	(14)	(1)	(1)	(84)	(76)		
医学群	医学類	135	(4)	(1)	(1)	(137)	(20)	(20)	(129)	(32)	(31)	(1)	(1)	(1)	(54)	(53)		
	看護学類	70	(0)	(0)	(0)	(63)	(24)	(24)	(130)	(45)	(43)	(0)	(0)	(0)	(69)	(67)		
	医療科学類	37	(2)	(0)	(0)	(30)	(11)	(11)	(75)	(14)	(12)	(1)	(0)	(0)	(25)	(23)		
	計	242	(6)	(1)	(1)	(230)	(55)	(55)	(334)	(91)	(86)	(2)	(1)	(1)	(148)	(143)		
体育専門学群	240	(45)	(3)	(3)	(56)	(34)	(34)	(115)	(27)	(27)	(0)	(0)	(0)	(64)	(64)			
芸術専門学群	100	(45)	(3)	(2)	(129)	(32)	(32)	(260)	(60)	(56)	(2)	(0)	(0)	(95)	(90)			
合計	2,102	(171)	(23)	(22)	(812)	(301)	(300)	(2,418)	(549)	(511)	(68)	(11)	(10)	(884)	(843)			
前年度合計	2,102	(173)	(28)	(26)	(820)	(328)	(327)	(2,289)	(614)	(582)	(40)	(12)	(9)	(981)	(944)			

(注) 1. () 内は、女子を内数で、入学者数計欄中#は国費、外国政府派遣または日韓共同理工系留学生を外数で示す。
 2. アドミッションセンター入試とは、書類選考と面接・口述試験によって、多面的・総合的に評価する自己推薦型の入試である。

〔志願者数の推移〕



(注) () は、志願倍率を示す。

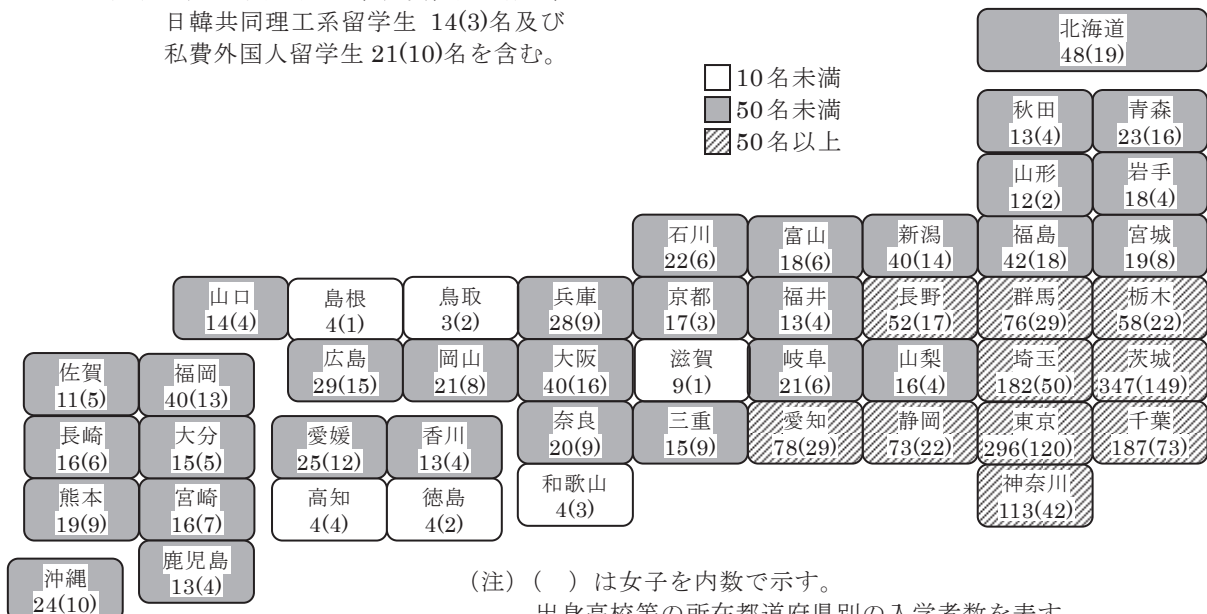
私費外国人留学生入試を除く。

〔平成 29 年度都道府県等別入学者数〕

平成 29 年 4 月 1 日現在

高卒認定試験	2(1)
外国の学校等	79(33)

(注) 外国の学校等には、国費、政府派遣、日韓共同理工系留学生 14(3)名及び私費外国人留学生 21(10)名を含む。



(注) () は女子を内数で示す。

出身高校等の所在都道府県別の入学者数を表す。

(イ) 平成28年度入学者選抜(秋学期入学)

平成28年10月1日現在

学群・学類	帰国生徒特別入試(10月入学)			学群英語コース入試			Japan-Expert(学士)プログラム特別入試		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
人文・文化学群	人文学類								
	比較文化学類								
	日本語・日本文化学類						(5)	(3)	(3)
	計						7	3	3
社会・国際学群	社会学類	(2)	(1)	(1)	(19)	(8)	(6)		
		5	2	2	35	9	7		
	国際総合学類	(5)	(3)	(3)	(22)	(12)	(9)		
	計	15	5	5	42	16	13		
人間学群	教育学類	(7)	(4)	(4)	(41)	(20)	(15)		
		20	7	7	77	25	20		
	心理学類	(3)	(1)	(1)					
	障害科学類	(0)	(0)	(0)					
生命環境学群	生物学類	(5)	(1)	(1)					
		9	1	1					
	生物資源学類	(0)	(0)	(0)	(8)	(6)	(5)	(2)	(1)
	地球学類	(0)	(0)	(0)	(3)	(2)	(2)		
理工学群	数学類	(1)	(1)	(1)	(23)	(15)	(12)		
		2	1	1	47	24	18		
	化学類	(0)	(0)	(0)	(21)	(13)	(11)	(5)	(1)
	計	4	1	1	78	42	33	5	1
情報学群	情報科学類	(0)	(0)	(0)					
	情報メディア創成学類	(0)	(0)	(0)					
	知識情報・図書館学類	(0)	(0)	(0)					
	計	1	0	0					
医学群	医学類								
	看護学類						(4)	(2)	(1)
	医療科学類				(1)	(0)	(0)	4	2
	計				3	1	1	4	2
体育専門学群									
芸術専門学群							(1)	(1)	(1)
合計	(13)	(6)	(6)	(76)	(43)	(34)	(12)	(7)	(6)
	34	9	9	158	68	54	17	7	6
前年度合計	(17)	(7)	(6)	(80)	(38)	(23)			
	35	11	10	169	64	38			

(注) 1. ()内は、女子を内数で示す。

2. 帰国生徒特別入試とは、海外帰国生徒(海外で2年以上継続在学)の学校推薦入試選抜を行うものである。(旧第2学期推薦入試)

3. 学群英語コース入試とは、英語で授業を受け学位が取得できるコースの入試である。

(入学時期は平成28年9月入学、生命環境学群生物学類には、志願者数に3(1)名、合格者数、入学者数に2(1)名の編入学が含まれる、医学群医療科学類のみ第3年次編入学)

(ウ)編入学

平成29年4月1日現在

学群・学類		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
人文・文化学群	人文学類				
	比較文化学類				
	日本語・ 日本文化学類				
	計				
社会・国際学群	社会学類	10	(22) 79	(3) 11	(2) 10
	国際総合学類				
	計		(22) 79	(3) 11	(2) 10
人間学群	教育学類				
	心理学類				
	障害科学類				
	計				
生命環境学群	生物学類	若干名	(3) 16	(2) 5	(2) 3
	生物資源学類	10	(10) 30	(4) 11	(4) 11
	地球学類	若干名	(0) 5	(0) 2	(0) 2
	計		(13) 51	(6) 18	(6) 16
理工学群	数学類	若干名	(2) 8	(0) 2	(0) 0
	物理学類	若干名	(3) 19	(0) 3	(0) 2
	化学類	若干名	(2) 11	(0) 2	(0) 1
	応用理工学類	10	(2) 62	(0) 28	(0) 10
	工学システム学類	若干名	(7) 87	(0) 13	(0) 6
	社会工学類	若干名	(2) 32	(0) 4	(0) 3
	計		(18) 219	(0) 52	(0) 22
情報学群	情報科学類 (単願)		(1) 36	(0) 6	(0) 4
	情報科学類 (併願 第1志望)		(3) 63	(1) 20	(1) 17
	情報科学類 (併願 第2志望)	10			
	情報メディア創成学類 (単願)		(2) 25	(0) 6	(0) 6
	情報メディア創成学類 (併願 第1志望)		(1) 16	(0) 6	(0) 4
	情報メディア創成学類 (併願 第2志望)	10		(0) 8	(0) 6
	知識情報・図書館学類	10	(17) 43	(9) 15	(9) 15
	計		(24) 183	(10) 61	(10) 52
医学群	医学類	5	(39) 125	(3) 9	(1) 5
	看護学類	10	(30) 30	(12) 12	(10) 10
	医療科学類	3	(9) 11	(3) 3	(3) 3
	計		(78) 166	(18) 24	(14) 18
体育専門学群					
芸術専門学群					
合 計		(155) 698	(37) 166	(32) 118	
前年度合計		(161) 693	(31) 143	(29) 111	

(注) 1. ()内は、女子を内数で示す。

2. 編入学とは、大学等に2年以上在学した者で、2年次又は3年次に入学するものである。

イ 大学院

(ア) 平成29年度大学院入学者選抜

平成29年4月1日現在

平成29年度大学院入学者数 (課程別)

課程	定員	志願者数	女子内数	外国人留学生内数	受験者数	女子内数	外国人留学生内数	合格者数	女子内数	外国人留学生内数	辞退者数	入学者数	女子内数	外国人留学生内数
修士課程	215	366	176	49	340	166	48	233	114	26	16	217	103	25
博士前期課程	1,436 [40]	2,733 [60]	938	573	2,615 [58]	904	546	1,743 [42]	552	306	128 [6]	1,615 [36]	526	290
専門職学位課程	66	232	61	42	213	60	41	79	23	8	14	65	19	6
一貫制博士課程	59 [1]	109 [0]	50	29	104 [0]	48	29	74 [0]	35	17	10 [0]	64 [0]	28	15
一貫制博士課程(3年次編入)		15 [0]	3	10	14 [0]	3	9	11 [0]	2	7	0 [0]	11 [0]	2	7
博士後期課程	507 [40]	456 [11]	147	90	449 [11]	143	90	373 [10]	116	81	14 [0]	359 [10]	114	77
3年制博士課程	51 [15]	87 [30]	34	22	87 [30]	34	22	67 [19]	31	10	0 [0]	67 [19]	31	10
医学を履修する博士課程	62 [0]	80 [0]	23	12	80 [0]	23	12	80 [0]	23	12	3 [0]	77 [0]	22	11
合計	2,396 [96]	4,078 [101]	1,432	827	3,902 [99]	1,381	797	2,660 [71]	896	467	185 [6]	2,475 [65]	845	441

注) 1. []内は、連携大学院方式を内数で示す。
 2. デュアルディグリー、ダブルメジャー等の該当者は、主専攻のみカウントする。ただし、海外協定校との場合は本学を副専攻としていてもカウントする。
 3. 特別プログラム等の対象者は除く。

平成29年度大学院入学者数 (研究科別)

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子内数	外国人留学生内数	受験者数	女子内数	外国人留学生内数	合格者数	女子内数	外国人留学生内数	辞退者数	入学者数	女子内数	外国人留学生内数
教育	修士	スクールリーダーシップ開発	20	23	5	4	23	5	4	16	2	1	2	14	1	0
		社会人特別選抜		5	3	0	5	3	0	5	3	0	0	5	3	0
		教科教育	80	103	34	4	88	29	4	76	27	3	7	69	22	3
		社会人特別選抜		7	2	0	7	2	0	5	2	0	0	5	2	0
		教育学(国際教育)修士プログラム	若干名	26	17	13	26	17	13	12	9	2	0	12	9	2
		社会人特別選抜		7	4	0	7	4	0	3	2	0	3	2	0	
計			100	171	65	21	156	60	21	117	45	6	9	108	39	5

人文社会科学	一貫制	哲学・思想	6	12	4	2	11	4	2	10	4	2	3	7	1	2	
		歴史・人類学	12	33	11	5	31	10	5	17	6	3	2	15	4	2	
		文芸・言語	20	30	23	14	30	23	14	20	15	6	2	18	13	6	
	小計			38	75	38	21	72	37	21	47	25	11	7	40	18	10
	一貫制(3年次編入)	哲学・思想	若干名	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		歴史・人類学	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		文芸・言語	若干名	4	3	2	4	3	2	3	2	1	0	3	2	1	
	小計			5	3	2	5	3	2	3	2	1	0	3	2	1	
	修士	国際地域研究	36	27	17	16	26	16	15	19	12	12	2	17	11	12	
		小計	36	27	17	16	26	16	15	19	12	12	2	17	11	12	
		博士前期	現代語・現代文化	10	14	7	2	14	7	2	10	5	1	0	10	5	1
	国際公共政策		15	34	15	13	32	13	12	15	9	3	2	13	8	3	
	国際日本研究		25	117	86	105	113	84	101	51	38	42	3	48	36	39	
	社会人特別選抜		若干名	10	7	6	10	7	6	3	3	2	1	2	2	1	
	小計			50	175	115	126	169	111	121	79	55	48	6	73	51	44
博士後期	現代語・現代文化	8	6	4	1	6	4	1	5	3	0	0	5	3	0		
	国際公共政策	10	3	1	1	3	1	1	3	1	1	0	3	1	1		
	国際日本研究	19	17	8	12	17	8	12	13	5	9	1	12	5	9		
	社会人特別選抜	若干名	7	6	3	7	6	3	7	6	3	0	7	6	3		
小計			37	33	19	17	33	19	17	28	15	13	1	27	15	13	
計			161	315	192	182	305	186	176	176	109	85	16	160	97	80	

注) 1. 教育研究科の定員には、現職教員1年制プログラムを含む。
 2. 修士課程国際地域研究専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
 3. 一貫制博士課程文芸・言語専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
 4. 修士課程教科教育専攻の再入学者2名は除く。

ビジネス科学	博士前期	※経営システム科学	30	132	30	0	126	26	0	36	6	0	5	31	6	0	
		※企業法学	30	73	16	0	71	16	0	35	13	0	3	32	13	0	
	小計			60	205	46	0	197	42	0	71	19	0	8	63	19	0
	博士後期	※企業科学	23	57	12	1	56	12	1	26	4	0	0	26	4	0	
		小計	23	57	12	1	56	12	1	26	4	0	0	26	4	0	
	専門職学位	※法曹	36	123	24	0	106	23	0	45	13	0	10	35	10	0	
※国際経営プロフェッショナル		30	109	37	42	107	37	41	34	10	8	4	30	9	6		
小計			66	232	61	42	213	60	41	79	23	8	14	65	19	6	
計			149	494	119	43	466	114	42	176	46	8	22	154	42	6	

注) 1. ※は、専ら夜間において教育を行う課程。
 2. 専門職学位課程法曹専攻の再入学者1名は除く。

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子	外国人	受験者数	女子	外国人	合格者数	女子	外国人	辞退者数	入学者数	女子	外国人	
					内数	留学生内数		内数	留学生内数		内数	留学生内数					
数理物質科学	博士前期	数学	26	43	1	2	43	1	2	33	1	2	3	30	1	1	
		社会人特別選抜	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		物理学	48	104	11	3	96	9	3	72	4	2	7	65	4	2	
		社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		化学	46	71 [3]	15	8	66 [2]	15	5	46 [1]	8	2	2	44 [1]	7	2	
		社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電子・物理工学	51	94	9	14	85	9	14	67	7	7	3	64	7	7	
		社会人特別選抜	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		物性・分子工学	59	112	24	19	104	22	17	80	13	12	5	75	13	11	
		社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	240 [9]	424 [3]	60	46	394 [2]	56	41	298 [1]	33	25	20 [0]	278 [1]	32	23		
	博士後期	数学	12	4	0	0	4	0	0	4	0	0	0	4	0	0	
		社会人特別選抜	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		物理学	20	10	1	4	10	1	4	10	1	4	1	9	1	4	
		社会人特別選抜	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		化学	16	4 [1]	0	1	4 [1]	0	1	4 [1]	0	1	0	4 [1]	0	1	
		社会人特別選抜	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ナノサイエンス・ナノテクノロジー	25	6	1	1	6	1	1	6	1	1	0	6	1	1	
		社会人特別選抜	若干名	4 [2]	0	0	4 [2]	0	0	4 [2]	0	0	0	4 [2]	0	0	
		電子・物理工学	16	4	0	3	4	0	3	4	0	3	0	4	0	3	
		社会人特別選抜	若干名	4	1	0	4	1	0	4	1	0	1	3	1	0	
	物性・分子工学	13	5	3	3	5	3	3	5	3	3	0	5	3	3		
	社会人特別選抜	若干名	4	0	0	4	0	0	4	0	0	0	4	0	0		
	小計	102 [9]	45 [3]	6	12	45 [3]	6	12	45 [3]	6	12	2 [0]	43 [3]	6	12		
	3年制博士	物質・材料工学	9	22 [22]	1	19	22 [22]	1	19	11 [11]	0	9	0	11 [11]	0	9	
		社会人特別選抜	若干名	3 [3]	1	0	3 [3]	1	0	3 [3]	1	0	0	3 [3]	1	0	
	小計	9 [9]	25 [25]	2	19	25 [25]	2	19	14 [14]	1	9	0 [0]	14 [14]	1	9		
	計		351 [27]	494 [31]	68	77	464 [30]	64	72	357 [18]	40	46	22 [0]	335 [18]	39	44	

注) 1. ()内は、連携大学院方式を内数で示す。

システム工学	博士前期	社会工学	98	157 [2]	50	69	149 [2]	48	68	132 [2]	42	53	6	126 [2]	42	53
		社会人特別選抜	10	5	3	2	5	3	2	3	3	1	0	3	3	1
		リスク工学	28	43	7	10	41	6	9	38	6	9	3	35	6	8
		社会人特別選抜	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
		コンピュータサイエンス	111	181 [10]	24	54	173 [10]	19	47	142 [7]	12	27	18 [2]	124 [5]	10	25
		社会人特別選抜	2	5 [1]	1	4	5 [1]	1	4	5 [1]	1	4	0	5 [1]	1	4
		知能機能システム	106	214 [17]	22	39	194 [17]	20	37	143 [10]	13	19	15 [2]	128 [8]	13	18
		社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		構造エネルギー工学	66	132 [9]	13	14	122 [9]	13	14	102 [7]	10	5	17 [1]	85 [6]	7	4
		社会人特別選抜	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	0	2	0	2
	小計	427 [11]	740 [39]	120	194	692 [39]	110	183	568 [27]	87	120	59 [5]	509 [22]	82	115	
	博士後期	社会工学	21	12	4	6	12	4	6	11	4	6	0	11	4	6
		社会人特別選抜	5	8	3	1	8	3	1	8	3	1	0	8	3	1
		リスク工学	10	3	1	2	3	1	2	3	1	2	1	2	1	2
		社会人特別選抜	2	7	1	0	7	1	0	7	1	0	1	6	1	0
		コンピュータサイエンス	24	10	1	4	10	1	4	10	1	4	0	10	1	4
		社会人特別選抜	4	3	2	0	3	2	0	3	2	0	0	3	2	0
		知能機能システム	22	22 [2]	1	4	22 [2]	1	4	17 [1]	1	4	4	13 [1]	1	2
		社会人特別選抜	2	6	1	0	6	1	0	6	1	0	1	5	1	0
		構造エネルギー工学	14	7	1	0	6	1	0	3	1	0	0	3	1	0
社会人特別選抜		2	5	0	1	5	0	1	5	0	1	0	5	0	1	
小計	106 [11]	83 [2]	15	18	82 [2]	15	18	73 [1]	15	18	7 [0]	66 [1]	15	16		
計		533 [22]	823 [41]	135	212	774 [41]	125	201	641 [28]	102	138	66 [5]	575 [23]	97	131	

注) 1. ()内は、連携大学院方式を内数で示す。

- 博士後期課程コンピュータサイエンス専攻の再入学志願者1名は除く。
- 博士後期課程知能機能システム専攻の再入学者1名は除く。
- 博士後期課程コンピュータサイエンス専攻には、海外居住者特別選抜の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
- 博士前期課程社会工学専攻には、デュアルディグリープログラム(副専攻)の2名を除く。

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	受験者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	合格者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	辞退者数	入学者数	女子 内数	外国人 留学生 内数
生命環境科学	一貫制	環境バイオオマズ共生学	21 [1]	22	6	1	20	5	1	17	5	1	1	16	5	1
		小計	21 [1]	22 [0]	6	1	20 [0]	5	1	17 [0]	5	1	1 [0]	16 [0]	5	1
	一貫制 (3年次 編入)	環境バイオオマズ共生学	若干名	4	0	3	4	0	3	4	0	3	0	4	0	3
		社会人特別選抜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計		4 [0]	0	3	4 [0]	0	3	4 [0]	0	3	0 [0]	4 [0]	0	3
	博士前期	地球科学	39 [3]	74 [4]	31	17	70 [4]	30	16	61 [4]	22	11	3	58 [4]	21	10
		生物学	47 [6]	47 [4]	20	4	45 [4]	20	2	41 [3]	19	2	6 [1]	35 [2]	16	2
		社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		生物資源科学	92 [8]	132 [3]	64	16	130 [2]	62	16	128 [2]	62	16	9	119 [2]	60	15
		社会人特別選抜	14	3	1	0	2	1	0	2	1	0	0	2	1	0
		環境科学	74 [2]	69 [1]	27	32	68 [1]	27	32	58 [1]	24	27	2	56 [1]	23	25
		社会人特別選抜	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山岳科学学位プログラム	若干名	6 [1]	1	0	6 [1]	1	0	6 [1]	1	0	0	6 [1]	1	0	
		小計	278 [19]	331 [13]	144	69	321 [12]	141	66	296 [11]	129	56	20 [1]	276 [10]	122	52
	博士後期	地球環境科学	11 [2]	9 [1]	2	3	9 [1]	2	3	9 [1]	2	3	0	9 [1]	2	3
		地球進化科学	8 [1]	7 [2]	1	1	7 [2]	1	1	7 [2]	1	1	0	7 [2]	1	1
		社会人特別選抜	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		生物学	26 [6]	14	1	4	14	1	4	14	1	4	1	13	1	4
		社会人特別選抜	若干名	18	4	0	18	4	0	18	4	0	0	18	4	0
		国際地縁技術開発科学	18 [3]	5	0	2	5	0	2	5	0	2	1	4	0	1
		社会人特別選抜	4	3	1	0	3	1	0	3	1	0	0	3	1	0
		生物圏資源科学	16 [2]	12	5	5	12	5	5	12	5	5	0	12	5	5
		社会人特別選抜	4	6	1	0	6	1	0	6	1	0	0	6	1	0
		生物機能科学	17 [3]	5 [1]	0	1	5 [1]	0	1	5 [1]	0	1	0	5 [1]	0	1
		社会人特別選抜	4	4	1	0	4	1	0	4	1	0	0	4	1	0
		生命産業科学	10	2	2	1	2	2	1	2	2	1	0	2	2	1
		社会人特別選抜	2	5	3	0	5	3	0	5	3	0	0	5	3	0
持続環境学		10 [2]	10	6	3	9	5	3	9	5	3	0	9	5	3	
社会人特別選抜	2	7	3	0	7	3	0	7	3	0	0	7	3	0		
	小計	132 [19]	107 [4]	30	20	106 [4]	29	20	106 [4]	29	20	2 [0]	104 [4]	29	19	
3年制博士	先端農業技術科学	6 [6]	5 [5]	2	0	5 [5]	2	0	5 [5]	2	0	0	5 [5]	2	0	
	小計	6 [6]	5 [5]	2	0	5 [5]	2	0	5 [5]	2	0	0 [0]	5 [5]	2	0	
	計	437 [45]	469 [22]	182	93	456 [21]	177	90	428 [20]	165	80	23 [1]	405 [19]	158	75	

- 注) 1. []内は、連携大学院方式を内数で示す。
2. 博士前期課程生物資源科学専攻には、特別プログラム及び海外協定校とのデュアルディグリープログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
3. 博士後期課程国際地縁技術開発科学専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
4. 博士後期課程持続環境学専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
5. 博士前期課程生物資源科学専攻には、デュアルディグリープログラム(副専攻)の1名を除く。

人間総合科学	修士	フロンティア医科学	50	92	52	11	84	48	11	59	35	7	5	54	31	7
		社会人特別選抜	若干名	15	8	1	15	8	1	8	5	1	0	8	5	1
		スポーツ健康システム・マネジメント ※	24	56	33	0	54	33	0	25	16	0	0	25	16	0
		スポーツ国際開発学共同	5	5	1	0	5	1	0	5	1	0	0	5	1	0
		小計	79	168	94	12	158	90	12	97	57	8	5	92	53	8
	博士前期	教育学	18	14	8	4	14	8	4	8	4	1	0	8	4	1
		心理	16	95	63	8	93	61	8	18	16	1	2	16	14	1
		障害科学	45	58	43	23	56	43	22	44	39	14	0	44	39	14
		社会人特別選抜	若干名	8	3	0	8	3	0	6	2	0	0	6	2	0
		感性認知脳科学	14 [1]	20 [5]	7	5	20 [5]	7	5	16 [3]	6	4	1	15 [3]	5	4
		看護科学	15	18	13	1	17	12	1	11	8	1	0	11	8	1
		社会人特別選抜	若干名	4	2	0	4	2	0	2	1	0	0	2	1	0
		体育学	100	202	59	9	199	58	9	106	29	3	2	104	29	3
		社会人特別選抜	15	23	6	1	23	6	1	15	3	0	0	15	3	0
		芸術	45	87	66	26	84	64	24	54	42	4	4	50	38	4
	社会人特別選抜	15	22	10	9	22	10	9	13	5	4	0	13	5	4	
	世界遺産	15	30	21	16	30	21	16	18	13	9	1	17	13	9	
	生涯発達 ※	46	161	101	0	158	99	0	48	30	0	2	46	30	0	
		小計	344 [1]	742 [5]	402	102	728 [5]	394	99	359 [3]	198	41	12 [0]	347 [3]	191	41
	博士後期	教育基礎学	8	10	4	0	10	4	0	6	3	0	0	6	3	0
		学校教育学	6	13	8	3	13	8	3	10	6	1	0	10	6	1
		心理学	6	7	1	0	7	1	0	5	1	0	0	5	1	0
		障害科学	10	10	8	2	9	7	2	8	6	1	0	8	6	1
		感性認知脳科学	10 [1]	13 [2]	7	7	13 [2]	7	7	13 [2]	7	7	0	13 [2]	7	7
		看護科学	8	7	7	1	6	6	1	5	5	1	0	5	5	1
		体育科学	15	20	3	1	19	3	1	15	2	1	0	15	2	1
		芸術	10	7	3	1	7	3	1	6	3	1	0	6	3	1
社会人特別選抜		若干名	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
世界文化遺産学		7	3	2	1	3	2	1	3	2	1	1	2	1	1	
生涯発達科学 ※	6	20	10	0	20	10	0	6	2	0	0	6	2	0		
	小計	86 [1]	111 [2]	53	16	108 [2]	51	16	78 [2]	37	13	1 [0]	77 [2]	36	13	

研究科	課程	専攻	定員	志願者数		受験者数		合格者数		辞退者数		入学者数				
				女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数					
人間総合科学	医学の課程	生命システム医学	28	13	3	3	13	3	3	13	3	3	1	12	2	3
		社会人特別選抜	若干名	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
		疾患制御医学	34	46	18	9	46	18	9	46	18	9	1	45	18	8
		社会人特別選抜	若干名	20	1	0	20	1	0	20	1	0	1	19	1	0
	小計		62 [0]	80 [0]	23	12	80 [0]	23	12	80 [0]	23	12	3 [0]	77 [0]	22	11
	3年制博士	ヒューマン・ケア科学	18	27	21	2	27	21	2	24	19	0	0	24	19	0
		スポーツ医学	10	10	4	1	10	4	1	10	4	1	0	10	4	1
		コーチング学	5	10	3	0	10	3	0	8	3	0	0	8	3	0
		大学体育スポーツ高度化共同	3	3	1	0	3	1	0	3	1	0	0	3	1	0
		スポーツウェルネス学位プログラム ※	若干名	7	1	0	7	1	0	3	1	0	0	3	1	0
	小計		36	57	30	3	57	30	3	48	28	1	0	48	28	1
計		607 [2]	1,158 [7]	602	145	1,131 [7]	588	142	662 [5]	343	75	21 [0]	641 [5]	330	74	

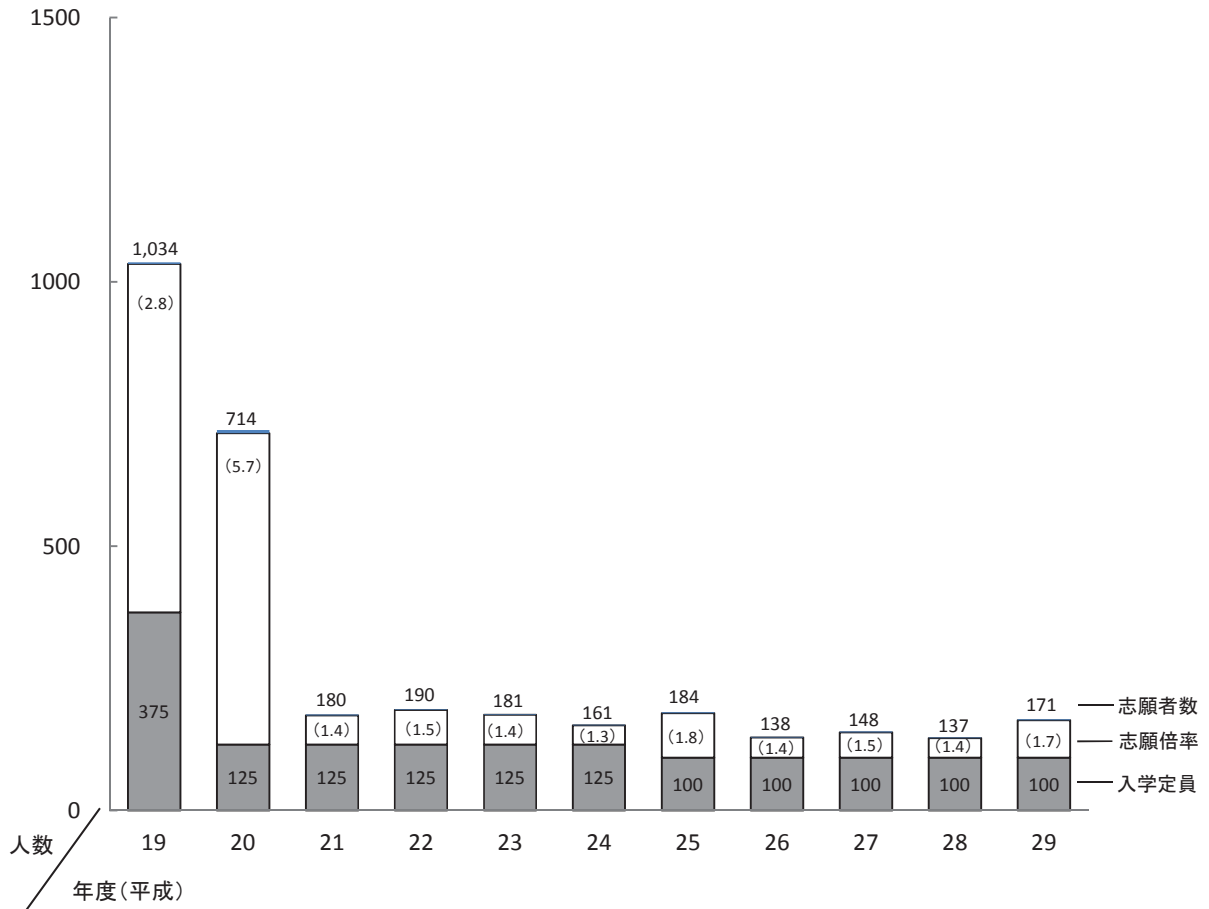
- 注) 1. []内は、連携大学院方式を内数で示す。なお、フロンティア医科学、生命システム医学及び疾患制御医学専攻については、内数を明示していないが、連携大学院方式の募集あり。
2. ※は、専ら夜間において教育を行う課程。
3. 博士後期課程看護科学専攻の再入学者1名を除く。
4. 3年制博士課程ヒューマン・ケア科学専攻の再入学者1名を除く。
5. 修士課程フロンティア医科学専攻、医学の課程生命システム医学専攻、疾患制御医学専攻には、海外居住者特別選抜の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
6. 医学の課程疾患制御医学専攻には、ダブルメジャー(副専攻)の1名を除く。
7. 修士課程スポーツ国際開発学共同専攻及び3年制博士課程大学体育スポーツ高度化共同専攻には、鹿屋体育大学を主として在籍する者を除く。
8. 博士前期課程教育学専攻には海外協定校とのデュアルディグリープログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。

図書館情報メディア	博士前期	図書館情報メディア	37	104	44	33	102	43	33	63	26	13	2	61	25	13
		社会人特別選抜	若干名	5	3	0	5	3	0	2	1	0	0	2	1	0
	小計		37 [0]	109 [0]	47	33	107 [0]	46	33	65 [0]	27	13	2 [0]	63 [0]	26	13
	博士後期	図書館情報メディア	21	10	6	1	9	5	1	9	5	1	0	9	5	1
		社会人特別選抜	若干名	4	0	0	4	0	0	3	0	0	0	3	0	0
	小計		21 [0]	14 [0]	6	1	13 [0]	5	1	12 [0]	5	1	0 [0]	12 [0]	5	1
計		58 [0]	123 [0]	53	34	120 [0]	51	34	77 [0]	32	14	2 [0]	75 [0]	31	14	

注) 1. []内は、連携大学院方式を内数で示す。

グローバル教育院	一貫制	ヒューマンバイオロジー学位プログラム	9	5	6	9	5	6	7	4	4	1	6	4	4
		エンパワーメント情報学プログラム	3	1	1	3	1	1	3	1	1	1	2	1	0
	小計		12	6	7	12	6	7	10	5	5	2	8	5	4
	一貫制(3年次編入)	エンパワーメント情報学プログラム	6	0	5	5	0	4	4	0	3	0	4	0	3
		小計		6	0	5	5	0	4	4	0	3	0	4	0
	博士前期	ライフイノベーション学位プログラム	7	4	3	7	4	3	7	4	3	1	6	3	2
		小計		7	4	3	7	4	3	7	4	3	1	6	3
	博士後期	ライフイノベーション学位プログラム	6	6	5	6	6	5	5	5	4	1	4	4	3
小計		6	6	5	6	6	5	5	5	4	1	4	4	3	
計		31	16	20	30	16	19	26	14	15	4	22	12	12	

[修士課程研究科志願者数の推移]



※博士前期課程を除く。

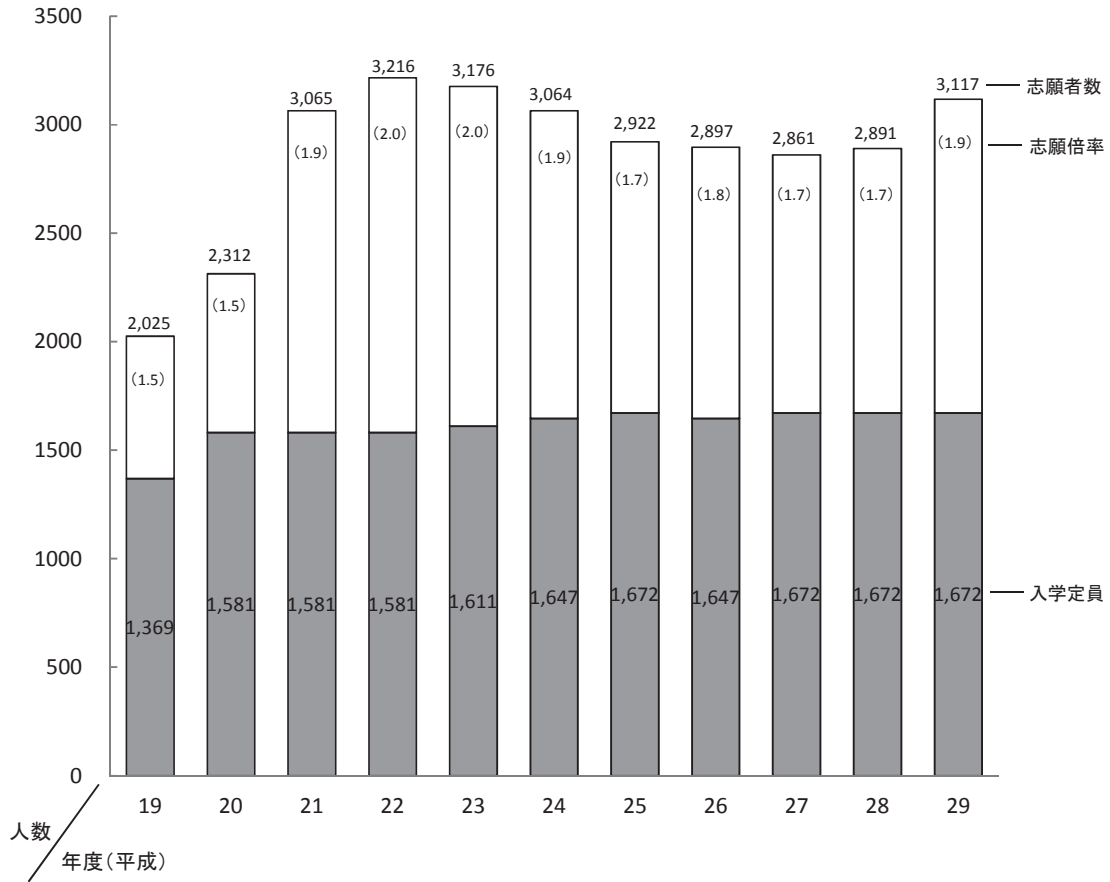
人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻を除く。

平成20年度より、人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻を除くものとした。

平成27年度より、人文社会科学研究科国際地域研究専攻を除くものとした。

平成28年度より、人間総合科学研究科スポーツ国際開発学共同専攻を除くものとした。

[博士課程研究科志願者数の推移]



※ 後期3年制博士課程及び博士後期課程を除く。
 大学院学則に基づく博士前期課程を含む。
 人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻を含む。
 平成20年度より、人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻を含むものとした。
 平成27年度より、人文社会科学研究科国際地域研究専攻を含むものとした。
 平成28年度より、人間総合科学研究科スポーツ国際開発学共同専攻を含むものとした。

(イ) 再入学・特別プログラム等

平成29年4月1日現在

研究科	課程	専攻	志願者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	受験者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	合格者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	辞退者数	入学者数	女子 内数	外国人 留学生 内数
-----	----	----	------	----------	------------------	------	----------	------------------	------	----------	------------------	------	------	----------	------------------

【再入学】

教 育	修士	教科教育	2	1	0	2	1	0	2	1	0	0	2	1	0
ビ ジ ネ ス 科 学	専門職学位	法曹	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
シ ス テ ム 情 報 工 学	博士後期	コンピュータサイエンス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シ ス テ ム 情 報 工 学	博士後期	知能機能システム	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
人 間 総 合 科 学	博士後期	看護科学	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
人 間 総 合 科 学	3年制博士	ヒューマン・ケア科学	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
計			7	3	0	6	3	0	6	3	0	0	6	3	0

【人文社会科学研究科 TEACHプログラム】

人 文 社 会 科 学	一貫制博士	文芸・言語	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計			1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0

【人文社会科学研究科 ASIIP】

人 文 社 会 科 学	修士	国際地域研究	6	1	0	6	1	0	6	1	0	1	5	1	0
計			6	1	0	6	1	0	6	1	0	1	5	1	0

【生命環境科学研究科（博士前期課程）国際共同農業研究エキスパート養成プログラム】

生 命 環 境 科 学	博士前期	生物資源科学	3	0	3	3	0	3	3	0	3	0	3	0	3
計			3	0	3	3	0	3	3	0	3	0	3	0	3

【生命環境科学研究科 国立台湾大学とのダブルディグリープログラム】

生 命 環 境 科 学	博士前期	生物資源科学	3	2	3	3	2	3	3	2	3	0	3	2	3
計			3	2	3	3	2	3	3	2	3	0	3	2	3

【生命環境科学研究科（博士後期課程）乾燥地資源科学コース】

生 命 環 境 科 学	博士後期	国際地縁技術開発科学	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
計			1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1

【生命環境科学研究科（博士後期課程）公的資金による留学生受け入れ】

生 命 環 境 科 学	博士後期	持続環境学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
計			1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1

【システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻における社会工学専攻とのデュアルディグリープログラム】

シ ス テ ム 情 報 工 学	博士前期	社会工学	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
計			1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0

【システム情報工学研究科知能機能システム専攻における社会工学専攻とのデュアルディグリープログラム】

シ ス テ ム 情 報 工 学	博士前期	社会工学	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
計			1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0

【システム情報工学研究科知能機能システム専攻における生物資源科学専攻とのデュアルディグリープログラム】

生 命 環 境 科 学	博士前期	生物資源科学	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
計			1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0

【システム情報工学研究科（博士後期課程）海外居住者特別選抜】

シ ス テ ム 情 報 工 学	博士後期	コンピュータサイエンス	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
計			1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0

【人間総合科学研究科 鹿屋体育大学との共同専攻（主として鹿屋体育大学に在籍）】

人 間 総 合 科 学	修士	スポーツ国際開発学共同	3	1	0	3	1	0	3	1	0	0	3	1	0
	3年制博士	大学体育スポーツ高度化共同	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0
	計		5	1	0	5	1	0	5	1	0	0	5	1	0

【人間総合科学研究科 東北師範大学とのダブルディグリープログラム】

人 間 総 合 科 学	博士前期	教育学	2	1	2	2	1	2	2	1	2	0	2	1	2
計			2	1	2	2	1	2	2	1	2	0	2	1	2

【人間総合科学研究科 海外居住者特別選抜】

人 間 総 合 科 学	修士	フロンティア医科学	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1	1	0	1
	医学の課程	生命システム医学	2	0	2	2	0	2	1	0	1	0	1	0	1
	医学の課程	疾患制御医学	3	2	3	3	2	3	3	2	3	0	3	2	3
	計		7	2	7	7	2	7	6	2	6	1	5	2	5

【人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻における疾患制御医学専攻とのダブルメジャープログラム】

人 間 総 合 科 学	医学の課程	疾患制御医学	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
計			1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0

3 研究関係

(1) 紀要等発行状況

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
研究紀要 72集	平成28年度学習公開・研究発表会参加者	附属小学校
研究資料〈教育課程研究〉52号 総合学習研究 (42)	研究協議会来校者他	附属中学校
第44回研究協議会発表要項	研究協議会来校者他	
研究紀要 第69号	国立大学附属中学校・筑波大学関係	
研究紀要 第58巻	文部科学省及び関係機関、国立大学附属高等学校、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール研究開発実施報告集	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 University of Prince Edward Island研修2016」	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 HWA CHONGへの短期留学 課題研究」	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 日中高校生交流 交流活動と課題研究」	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 ASIA PACIFIC YOUNG LEADERS SUMMIT-2016」	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 UBC研修」	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	
筑波大学附属駒場論集 第56集	国立大学附属中学校、附属高等学校学内関係部局、教育関係機関等	
第43回教育研究大会報告書	教育研究会参加者、講師・助言者等	
スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施報告書 第五年次	文部科学省、(独)科学技術振興機構、SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
スーパーサイエンスハイスクール 創造的な教材・指導法及びカリキュラムの開発教材集 (2004年度～2015年度)	SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
スーパーサイエンスハイスクール「数学科教員研修会資料」		
SSH英語文集 Dead Poets Society in Tsukukoma		
SSH台湾生徒研究交流会用論文集		
SSH台湾研究交流会資料「Academic and Cultural Exchange Program in Taichung 2016」	研究交流参加生徒・教員(本校、国立台中第一高級中学)等	
スーパーサイエンスハイスクール「Café Bollweck 2016」	SSH関係学校、学内関係部局、研究関係者	
2016年度 筑波大学附属駒場高校2年生(66期)ゼミナール「水俣から日本を考える」実習報告書		
研究紀要 第53集	文部科学省、学内関係者、国立大学附属学校、全国総合学科高等学校、埼玉県公私立高等学校等	附属坂戸高等学校
第20回総合学科研究大会資料集		
筑波大学社会貢献プロジェクト「つくさか地域食育支援プロジェクト」報告書	学内外関係部局、関係教職員、来訪者等	
「先進的な総合学科を活かした持続可能なアセアン社会を創るグローバル人材の育成」(文部科学省スーパーグローバル事業 第3年次報告書)	文部科学省、学内関係者、国立大学附属学校、全国総合学科高等学校、埼玉県公私立高等学校等、SGH認定校・アソシエイト校	
研究紀要 48巻	全国視覚特別支援学校、各関係機関等	附属視覚特別支援学校
視覚障害教育研究協議会資料集13	第13回視覚障害教育研究協議会参加者	
筑波大学聾学校紀要 第39巻	全国の公私立聾学校、各種関係機関等	附属聴覚特別支援学校
第50回全日本聾教育研究大会 研究集録	全国の公私立聾学校、各種関係機関等	
第50回全日本聾教育研究大会 研究のまとめ・指導案集	全国の公私立聾学校、各種関係機関等	

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行	
全日本聾教育研究会 50周年記念誌	全国の公私立聾学校、各種関係機関等	附属聴覚特別支援学校	
聴覚障害教育担当教員講習会 授業公開指導案集	聴覚障害教育担当教員講習会参加者		
研究紀要 第61集	特別支援学校（養護学校）、障害児教育研究機関、学内関係部局	大塚特別支援学校	
文部科学省委託事業 インクルーシブ教育システム構築事業モデル地域事業 学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解 （心のバリアフリー）の推進平成28年度交流実践告書	文部科学省、学内関係者、国立大学 附属学校、学内・学外関係機関		
研究紀要 第52巻	学内関係者・各関係機関・附属学校・公立肢体不自由学校	附属桐が丘特別支援学校	
自閉症教育実践研究協議会プレゼンテーション資料集	自閉症教育実践研究協議会参加者	附属久里浜特別支援学校	
自閉症教育実践研究協議会授業公開学習指導案集			
自閉症教育実践研究協議会実践研究集録			
附属学校教育局広報誌ポローニア(第36号～38号)	HP、学内関係部局、文部科学省、来訪者等	附属学校教育局	
筑波大学学校教育論集	国立教育政策研究所 教育図書館、国立特殊教育総合研究所、国立国語研究所、国文学研究資料館、国立国会図書館、メディア教育開発センター、私学教育研究所、教科書研究センター、中央教育研究所、北海道立図書館、日本教育研究連合会		
附属学校研究発表会	HP、文部科学省、国立大学附属学校等		
附属学校国際教育推進委員会報告書(第8集)	HP、文部科学省、国立大学附属学校等		
附属学校NEWS(Vo1. 10～12)	HP、学内関係部局、文部科学省、来訪者等		
附属学校群グローバル教育の世界地図(平成25～27年度)	HP		
筑波大学特別支援校教育研究 第11巻	特別支援教育関係の国公立および私立大学・都道府県および政令指定都市の教育センター		特別支援教育研究センター

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
筑波大学理療科教員養成施設紀要 第1巻第1号	全国視覚特別支援学校、各関係機関等	筑波大学理療科教員養成施設
ブラインドアスリートのスポーツ科学サポート ーリオデジャネイロに向けてー	全国視覚特別支援学校、障害者ス ポーツ競技団体等	
2016年版 視覚障がい者のパラリンピックスポーツ	全国視覚特別支援学校、障害者ス ポーツ競技団体等	筑波大学理療科教員養成施設 ブラインドパラスポーツMTG
哲学・思想論集	国内外の主要大学、研究機関、国 立国会図書館、つくばリポジトリ	『哲学・思想論集』編集委 員会・哲学・思想専攻
歴史人類 第45号	国内外の主要大学、研究機関、学 内組織等	歴史・人類学専攻
先史学・考古学研究 第28号	国内外の主要大学、研究機関、学 内組織等	歴史・人類学専攻
文藝言語研究 70巻、71巻	国立国会図書館	文芸・言語専攻
論叢 現代語・現代文化 VOL. 17, 18	国内外の関係大学、関連研究機関	現代語・現代文化専攻
国際公共政策論集 38号、39号	国際関係学・文化人類学・政治学 などの学部等を有する国内外の教 育研究機関、図書館 他	国際公共政策専攻
社会学ジャーナル 42号	社会学の学部等を有する国内外の 各教育研究機関、図書館、研究協 力者 他	国際公共政策専攻
経済学論集 69号	各大学図書館	経済学専攻
筑波法政 第67号、第68号、第69号、第70号	「つくばリポジトリ」サイト上にて公開	法学専攻
「国際日本研究」第9号（印刷版）	国内：国立国会図書館他42か所 国外：「国際日本研究」第9号 （印刷版）に関する通知を送付	国際日本研究専攻
「国際日本研究」第9号（オンライン版）	オープンアクセス（国際日本研究 専攻ホームページ、つくばリポジ トリ（筑波大学図書館））	国際日本研究専攻
筑波大学地域研究 第38号	国内外の大学附属図書館及び学内 外の研究者	国際地域研究専攻
筑波ロー・ジャーナル 20号	主要大学法学部・法科大学院・図 書館等	筑波ロー・ジャーナル編集 委員会

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
学生紀要『企業法研究の序曲V』	在学生、オープンキャンパスの参加者等	企業法学専攻
大学研究 42号	学内関係者・国内大学・文部科学省・図書館等	大学研究センター
2015〔平成27〕年度筑波大学数理物質系数学域年次報告	学内組織・学内関係者	数学域
Tsukuba Journal of Mathematics, Vol.40 No. 1, No. 2	国内外の大学、研究機関、学内関係者	数学域
2016(平成28)年度物理学域年次研究報告	Web公開	物理学域
平成27年度年報筑波大学学際物質科学研究センター	国立私立大学、関係研究機関、学内組織の長	学際物質科学研究センター
筑波大学数理物質系 数理物質融合科学センター 平成28年度年次報告書	国立私立大学、関連研究機関、学内組織の長、学内関係部局等	数理物質融合科学センター
リスク工学研究	Web公開	リスク工学専攻
リスク工学グループ演習研究成果報告書	Web公開	リスク工学専攻
Tsukuba Geoenvironmental Sciences Vol.12	Web公開	地球環境科学専攻
Earth Evolution Sciences University of Tsukuba Vol.11	Web経由で国内外の大学や研究機関	生命環境系 地球進化科学専攻
筑波大学農林技術研究 (第5号)	全国国公立私立大学附属演習林、全国国公立大学附属図書館、国立国会図書館、学内関係部局等 インターネット公開	農林技術センター
農林技術センター活動報告書 第16号	全国国公立大学附属農場・附属演習林、学内関係部局等	農林技術センター
Ag-ESD Symposium 2016/TGSW2016 Program & Summaries	国内外の大学、シンポジウム参加者	農林技術センター
Journal of Developments in Sustainable Agriculture (Volume 12 Number 1 2017)	JST(独)科学技術振興機構、国立国会図書館、インターネット公開	農林技術センター

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
教育学系論集 第41巻第1号	国公立大学、関連研究機関	人間系（教育学域）
教育学系論集 第41巻第2号		
筑波大学心理学研究 第52号	国立図書館、心理学関係学部を持つ全国の国立大学、主要私立大学、主要な研究所	人間系（心理学域）
筑波大学心理学研究 第53号		
筑波大学臨床心理学論文集 第31号	心理相談室を設置している全国の主要な大学、公的相談機関	筑波大学心理相談室
筑波大学発達臨床心理学研究 第28号	心理相談室を設置している全国の主要な大学、公的相談機関	筑波大学発達臨床心理相談室
障害科学研究 第41巻	国公立大学、研究機関、特別支援学校等	障害科学学会
筑波大学特別支援教育研究 第11巻	国立、私立大学の関係組織、都道府県教育センター	特別支援教育研究センター
筑波大学理療科教員養成施設紀要 第2巻1号	全国の視覚特別支援学校、視覚障がい者センター、全国の鍼灸専修学校	理療科教員養成施設
教育相談研究	他大学の相談室等	生涯発達専攻カウンセリングコース・附属学校局相談部門
筑波大学体育系紀要（第40巻）	体育関係大学、研究機関	編集：体育系紀要・業績集 編集委員会 発行：筑波大学・体育系
筑波大学芸術年報2016	国公立大学、美術館・博物館、関連研究機関、学内関係部局等	編集：芸術系図書・研究報委員会 発行：芸術系
芸術研究報37	国公立大学、美術館・博物館、関連研究機関、学内関係部局等	編集：芸術系図書・研究報委員会 発行：芸術系
芸術研究報・作品集28	国公立大学、美術館・博物館、関連研究機関、学内関係部局等	編集：芸術系図書・研究報委員会 発行：芸術系
芸術学研究NO. 21	芸術系の部門を有する主要教育機関および美術館	編集：芸術学研究編集委員会 発行：人間総合科学研究科博士後期課程芸術専攻
藝叢 第32号	国内主要美術館、教育機関等217件	人間総合科学研究科芸術学研究室

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
Art Writing 第11号	全国高等学校、美術館、大学図書館、報道機関等	芸術支援研究室
書芸術研究 10号	国立大学附属図書館、書コースを有する大学の書研究室	人間総合科学研究科書研究室
共生教育学研究 6巻	国立大学関係機関	人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻共生教育学分野
図書館情報メディア研究 14巻1号 2016年	Web公開	図書館情報メディア研究編集委員会
図書館情報メディア研究 14巻2号 2016年	Web公開	図書館情報メディア研究編集委員会
計算科学研究センター 平成27年度 年次報告書	文部科学省、学内組織の長、学内関係部局、センター関係者	計算科学研究センター長
計算科学研究センター 平成27年度 研究評価	学内組織の長、センター関係者	計算科学研究センター研究評価委員会
プラズマ研究センター 平成27年度 年次報告	国内外の関係者、関係大学、関連研究機関等	プラズマ研究センター
外国語教育論集 第39号	国公立大学、関係機関、学内関係部局	グローバルコミュニケーション教育センター 外国語教育部門
筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター日本語教育論集 第32号	「つくばリポジトリ」への登録	グローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門
大学体育研究 第39号	国公立体育系大学、学内関係部局	体育センター
体育センター年次報告書（平成28年度版）	学内関係部局	
BOOK OF ABSTRACT TJASSST2016	TJASSST2016 Symposium参加者	北アフリカ研究センター
UTTC Annual Report 2015 (UTTAC-85, 2016)	Web公開	研究基盤総合センター 応用加速器部門
第29回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告書	国内の大学、研究機関等	研究基盤総合センター 応用加速器部門「第29回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会」事務局
筑波大学研究基盤総合センター分析部門報告2015	Web公開	研究基盤総合センター 分析部門

(2) 各種受賞

ア 学会賞等

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
人文社会系	教授	篠塚 友一	独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業審査委員表彰	H28. 09
人文社会系	特任研究員	樋口 達郎	筑波大学哲学・思想学会奨励賞	H28. 10
人文社会系	教授	矢澤 真人	韓国日本言語文化学会功労牌	H28. 11
数理物質系	特命教授	嶋田 隆一	電気学会業績賞	H28. 05
数理物質系	助教	奥野 将成	2016年度日本分光学会奨励賞	H28. 05
数理物質系	准教授	鈴木 義和	日本セラミックス協会 2015 JCS-JAPAN 優秀論文賞	H28. 06
数理物質系	准教授	所 裕子	ドイツ・イノベーション・アワード ゴットフリート・ワグネル賞2016	H28. 07
数理物質系	教授	大塩 寛紀	平成28年度錯体化学会賞	H28. 07
数理物質系	教授	齋藤 一弥	日本液晶学会業績賞	H28. 09
数理物質系	教授	初貝 安弘	独立行政法人日本学術振興会 平成27年度特別研究員等審査会専門委員（書面担当）及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H28. 09
数理物質系	教授 准教授	齋藤 一弥 山村 泰久	日本液晶学会論文賞B部門	H28. 09
数理物質系	教授	関口 章	第7回（平成28年）ケイ素化学協会協会賞	H28. 10
数理物質系	教授	関口 章	The Kim Yong Hae Lectureship Award	H28. 11
数理物質系	助教	辻本 学	低温工学・超電導学会 平成28年度国際交流若手賞	H28. 11
数理物質系	准教授	辻村 清也	第13回日米先端工学シンポジウム Best Speakers Award	H29. 01

数理物質系	教授(海外教育研究ユニット招致)	Kim Soo-Bong	2016年度 Bruno Pontecorvo prize	H29.02
数理物質系	助教	都甲 薫	第9回(2017年春季)応用物理学会 Poster Award	H29.03
システム情報系	准教授	松原 康介	日本都市計画学会論文賞	H28.05
システム情報系	准教授	海老原 格	海洋音響学会論文賞	H28.05
システム情報系	助教	鈴木 研悟	エネルギー・資源学会 第4回茅賞	H28.06
システム情報系	准教授	山際 伸一	常陽ビジネスアワード最優秀賞「成長事業部門」	H28.06
システム情報系	助教	高安 亮紀	日本応用数理学会2015年度若手優秀講演賞	H28.06
システム情報系	教授	西川 博昭	Leadership & Visionary Award	H28.07
システム情報系	准教授	松原 康介	East Asia Planning History Prize of the International Planning History Society	H28.07
システム情報系	教授	伊藤 誠	自動車技術会第8回(2015年度)技術部門貢献賞	H28.08
システム情報系	教授	森田 昌彦	独立行政法人日本学術振興会平成27年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H28.09
システム情報系	教授	藪野 浩司	Thomas Hawksley Gold Medal	H28.09
システム情報系	教授	中内 靖	計測自動制御学会フェロー	H28.09
システム情報系	准教授	藤井 さやか	ISAIA 2016 Academic Session Award	H28.09
システム情報系	教授	鈴木 勉	地理情報システム学会学会賞(学術論文部門)	H28.10
システム情報系	教授	藪野 浩司	John F Alcock Memorial Prize 2015	H28.10

システム情報系	教授	イリチュ(佐藤) 美佳	JANOS FODOR Award	H28. 11
システム情報系	教授	山海 嘉之	DIA Japan Outstanding Contribution to Health Award	H28. 11
システム情報系	准教授	山際 伸一	ET/IoT Technology AWARD 2016 特別賞	H28. 11
システム情報系	教授	谷口 守	米谷・佐佐木賞(創研部門)	H28. 11
システム情報系	教授	谷口 守	2015年度日本不動産学会論文賞	H28. 11
システム情報系	教授	伊藤 誠	2016年度日経品質管理文献賞	H28. 11
システム情報系	教授	山海 嘉之	山陽新聞賞 学術功労	H29. 01
システム情報系	助教	高安 亮紀	JSST 2016 Outstanding Presentation Award	H29. 01
システム情報系	講師	有馬 澄佳	新しい経済産業指標開発コンテスト 優秀賞	H29. 02
システム情報系	教授	山海 嘉之	内閣総理大臣賞「日本ベンチャー大賞」 (第3回)	H29. 02
生命環境系	准教授	氏家 恒太郎	日本地球惑星科学連合 Progress in Earth and Planetary Science The Most Accessed Paper Award	H28. 05
生命環境系	助教	松崎 仁美	平成28年度日本エビジェネティクス研究会奨励賞	H28. 05
生命環境系	助教	柴 小菊	第18回守田科学研究奨励賞	H28. 06
生命環境系	准教授	上野 健一	日本雪氷学会・論文賞	H28. 09
生命環境系	教授	中田 和人	独立行政法人日本学術振興会科学研究費 助成事業審査委員表彰	H28. 09
生命環境系	助教	柴 小菊	お茶の水女子大学賞第1回保井コノ賞	H29. 02

生命環境系	教授	呉羽 正昭	第4回日本スキー学会論文賞	H29. 03
生命環境系 (遺伝子実験センター)	准教授	橋本 義輝 (山陰中央新報社/しまね・つくば研究者ネットワーク)	第10回キッズデザイン賞 (キッズデザイン協議会)	H28. 08
生命環境系 (遺伝子実験センター)	准教授	有泉 亨	2016年度日本植物細胞分子生物学会奨励賞	H28. 09
生命環境系 (遺伝子実験センター)	研究員	新野 孝男	2016年度日本植物細胞分子生物学会奨励賞	H28. 09
生命環境系 (遺伝子実験センター)	教授 准教授 助教	江面 浩 有泉 亨 岡部 佳弘	日本ナス科ゲノム合同国際シンポジウム JSOL2016 優秀ポスター賞	H28. 11
生命環境系 (北アフリカ研究センター)	教授	中嶋 光敏	2015年度日本食品工学会論文賞	H28. 08
人間系	准教授	大塚 泰正	日本産業衛生学会 産業衛生学雑誌優秀論文賞	H28. 05
人間系	准教授	唐木 清志	日本公民教育学会研究賞	H28. 06
人間系	准教授	藤 桂	日本心理学会第79回大会(2015年) 特別優秀発表賞(ポスター発表「ネガティブツイートの背景にある思いとは-ネガティブ感情体験後の制御欲求尺度の開発を通して-(藤 桂・遠藤寛子)」に対して)	H28. 06
人間系	准教授	藤 桂	日本心理学会第79回大会(2015年) 特別優秀発表賞(ポスター発表「サクセスフル・サイコパスへの第一の条件-日本語版Self-Report Psychopathy Scale短縮版の開発を通して-(柳田宗孝・荒井 崇史・藤 桂)」に対して)	H28. 06
人間系	准教授	藤 桂	日本心理学会第79回大会(2015年) 特別優秀発表賞(ポスター発表「生は死への旅路, 死は健康への道筋-死に対する意識が健康行動習慣に及ぼす影響-(富塚澄江・藤 桂)」に対して)	H28. 06
人間系	准教授	藤 桂	日本心理学会第79回大会(2015年) 特別優秀発表賞(ポスター発表「涙があるからこそ, 私は前に進める-社会人における“泣くこと”の心理的効果-(塩田直樹・藤 桂)」に対して)	H28. 06
人間系	講師	望月 聡	日本感情心理学会2015年度学術貢献賞	H28. 06
人間系	教授	相川 充	独立行政法人日本学術振興会 平成27年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H28. 09
人間系	准教授	外山 美樹	日本パーソナリティ心理学会第25回 (2016年) 優秀大会発表賞	H28. 09

人間系	特任助教	星野 真澄	アメリカ教育学会賞	H28. 10
人間系	教授	原田 悦子	The 2017 Annual Conference of the Korean Society for Cognitive and Biological Psychology, the Best Presenter Award	H29. 01
人間系	教授	吉野 眞理子	第2回日本リハビリテーション連携科学学会・論文奨励賞	H29. 03
人間系	特任助教	猪俣 朋恵	平成28年度障害科学学会研究奨励賞	H29. 03
体育系	教授	内山 治樹	日本体育・スポーツ哲学会学会賞	H28. 09
体育系	助教	國部 雅大	Young Investigators Award (Oral Presentation), 7th Asia Conference on Kinesiology	H28. 11
体育系	准教授	仲澤 眞	日本スポーツマネジメント学会賞	H28. 12
体育系	助教	山口 拓	モニサラポン大十字勲章	H28. 12
体育系	助教	洪 性賛	Award for Encouragement of Research in the 26th Annual Meeting of MRS-J	H29. 02
体育系	特任助教	金堀 哲也	日本コーチング学会優秀発表賞	H29. 03
芸術系	准教授	山本 浩之	日本美術院春季展賞	H28. 04
芸術系	准教授	田中 佐代子	独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業審査委員表彰	H28. 09
芸術系	准教授	山本 浩之	日本美術院賞（大観賞）	H28. 09
芸術系	准教授	原 忠信	いばらきデザインセレクション知事選定	H28. 11
芸術系	准教授	原 忠信	茨城おみやげ大賞2016最高金賞	H28. 12

医学医療系	准教授	三木 明子	日本産業衛生学会優秀査読者賞	H28. 05
医学医療系	講師	松田 学	独立行政法人日本学術振興会 平成27年度特別研究員等審査会専門委員（書面担当）及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H28. 09
医学医療系	教授	山崎 正志	独立行政法人日本学術振興会科学研究費 助成事業審査委員表彰	H28. 09
医学医療系	講師	石川 栄一	平成28年度茨城県医師会勤務医部会 学術奨励賞褒賞	H28. 10
医学医療系	助教	松本 孔貴	日本放射線影響学会第59回大会 寺島論文賞	H28. 10
医学医療系	准教授	三木 明子	日本産業看護学会第5回学術集会 ポスター優秀賞	H28. 11
医学医療系	准教授	山岸 良匡	平成28年度日本医師会医学研究奨励賞	H28. 11
医学医療系	客員教授	阿部 智一	Best of the Best Oral Abstract Presentations and Presentation of the Best Abstract Awards for Cardiac and Trauma Resuscitation Science	H28. 11
医学医療系	講師	大城 幸雄	日本コンピュータ外科学会 2015年度ゴールド賞(日立賞)	H28. 11
医学医療系	准教授 助教	太刀川 弘和 石井 映美	第38回全国大学メンタルヘルス学会 岡庭賞	H28. 12
医学医療系	教授	松本 正幸	第13回（平成28年度）日本学術振興会賞	H28. 12
医学医療系	研究員	善光 純子	ISRN2017 Excellent Presentation Award	H29. 02
医学医療系技術室	技術専門官	渡邊 祐子	医学教育等関係業務功労者表彰	H28. 11
図書館情報メディア系	教授	松本 浩一	独立行政法人日本学術振興会科学研究費 助成事業審査委員表彰	H28. 09
図書館情報メディア系 (知的コミュニティ 基盤研究センター)	教授 教授 准教授 准教授 講師	森嶋 厚行 逸村 裕 池内 淳 宇陀 則彦 永森 光晴	図書館総合展ポスターセッション運営 委員会特別賞：L-Crowd	H28. 12

ビジネスサイエンス系	准教授	中村 亮介	日本簿記学会奨励賞	H28. 08
ビジネスサイエンス系	教授	弥永 真生	青木賞	H28. 09
ビジネスサイエンス系	教授	弥永 真生	監査研究奨励賞	H28. 09
ビジネスサイエンス系	教授	弥永 真生	日本ディスクロージャー研究学会学会賞 (著書の部)	H28. 12
計算科学研究センター	助教	塩川 浩昭	平成27年度電子情報通信学会論文賞	H28. 06
計算科学研究センター	助教	塩川 浩昭	2015年度日本データベース学会論文賞	H28. 06
計算科学研究センター	教授	朴 泰祐	2015年度情報処理学会フェロー	H28. 06
計算科学研究センター	教授	朴 泰祐	情報処理学会HPCS2016最優秀論文賞	H28. 06
計算科学研究センター	教授	高橋 大介	ICCSA2016 NVIDIA Best Paper Award	H28. 07
計算科学研究センター	准教授	川島 英之	情報処理学会山下記念研究賞	H28. 07
計算科学研究センター	助教	松枝 未遠	日本気象学会正野賞	H28. 10
計算科学研究センター	教授 准教授	建部 修見 川島 英之	Best paper award on big data processing	H29. 02
国際統合睡眠医科学研究機構	教授	柳沢 正史	紫綬褒章	H28. 04
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	林 悠	第26回つくば奨励賞(若手研究者部門)	H28. 11
ダイバーシティ・ アクセシビリティ・ キャリアセンター ダイバーシティ部門	助教	河野 禎之	日本認知症ケア学会平成28年度石崎賞	H28. 06

附属病院	病院講師	榎本 有希	日本救急医学会丸茂基金授与	H28. 04
附属病院	レジデント	栗山 和子	第19回日本臨床救急医学会学術集会 「優秀演題賞」	H28. 05
附属病院	レジデント	酒井 愛子	米国小児科学会 (PAS: Pediatric Academic Society) 「JPS/APS fellow exchange award」	H28. 05
附属病院	病院講師	ZABORONOK ALEXANDER	Diploma and I. S. Babchin's named medal (for interesting oral paper in the frames of the 5th Russian-Japanese Neurosurgical Symposium) (第5回ロシア日本脳神経外科シンポジウムで発表した際の) ディプロマとBabchinメダル	H28. 06
附属病院	病院講師	石黒 聡尚 檜山 貴志 他3名共著	打田賞 第30回日本腹部放射線学会 術前診断し得た回腸臓器軸性捻転の一例	H28. 06
附属病院	病院講師	日高 大介	第112回茨城小児科学会 「最優秀演題賞」	H28. 06
附属病院	レジデント	安達 享	日本不整脈心電図学会学術奨励賞 最優秀賞	H28. 07
附属病院	病院講師	廣田 智哉	第44回日本臨床免疫学会総会 優秀ポスター賞	H28. 09
附属病院	病院講師	横澤 将宏	日本免疫学会 平成28年度Tadamitsu Kishimoto International Travel Award 研究助成	H28. 10
附属病院	病院講師	渡部 浩明	日本心臓血管内視鏡学会第30回学術集会 内田賞	H28. 10
附属病院	レジデント	今川 和生	小児栄養消化器肝臓学会 world congress 「Young investigator travel grant」	H28. 10
附属病院	レジデント	酒井 愛子	小児栄養消化器肝臓学会 world congress 「Young investigator travel grant」	H28. 10
附属病院	レジデント	稲葉 正子	第113回茨城小児科学会 「優秀演題賞」	H28. 11
附属病院	主任診療 放射線技師	佐藤 勝	文部科学省 医学教育等関係業務功労者表彰	H28. 11
附属病院	レジデント	山浦 正道	日本消化器病学会専修医優秀演題賞受賞	H28. 12

附属病院	レジデント	関野 雄太	東京消防庁消防総監より感謝状（救命活動）	H28. 12
附属病院	レジデント	渡辺 詩絵奈	第114回茨城小児科学会 「優秀演題賞」	H29. 02
附属病院	レジデント	土屋 春樹	第107回日本泌尿器科学会茨城地方会 ベストプレゼンテーション賞	H29. 02
附属病院	レジデント	丸山 沙彩	NPO法人筑波大学脳神経外科研究会 優秀演題賞（症例発表部門）	H29. 02
附属病院	レジデント	木野 弘善	NPO法人筑波大学脳神経外科研究会 優秀演題賞（臨床研究部門）	H29. 02
附属病院	レジデント	松原 鉄平	NPO法人筑波大学脳神経外科研究会 優秀演題賞（基礎研究部門）	H29. 02
附属病院	レジデント	松村 英明	NPO法人筑波大学脳神経外科研究会 第12回牧賞	H29. 02
附属病院	レジデント	渡邊 真哉	NPO法人筑波大学脳神経外科研究会 第12回能勢賞	H29. 02
附属病院	レジデント	廣嶋 悠一	第13回茨城放射線腫瘍研究会優秀演題賞 「治療困難例に対する、スペーサーを併用した陽子線治療」	H29. 03
附属病院	診療放射線技師	吉村 洋祐	第13回茨城放射線腫瘍研究会優秀演題賞 「陽子線治療時のIGRTにおける被ばく線量の測定」	H29. 03
附属病院 （検査部）	診療放射線技師	南木 融	第51回小島三郎記念技術賞	H28. 06
附属病院 （陽子線治療センター）	主任診療放射線技師	佐藤 勝	医学教育等関係業務功労者表彰	H28. 11
生命領域学際研究センター	助教	山城 義人	第48回日本結合組織学会学術大会 Young Investigator Award	H28. 06
生命領域学際研究センター	助教	山城 義人	Vascular Biology Innovation に関する 研究助成 第11回研究発表会 優秀プレゼンテーション賞	H28. 08
生命領域学際研究センター	助教	山城 義人	Molecular Cardiovascular Conference II ベストポスターセッション賞	H28. 09
生命領域学際研究センター	教授	柳沢 裕美	Election to International Fellow of the American Heart Association (アメリカ心臓協会の国際フェローに選出)	H29. 03

附属駒場中・高等学校	教諭	横尾 智治 (研究代表者)	日本体育学会第67回大会測定評価専門領域において「優秀発表」受賞	H28.08
附属聴覚特別支援学校	教諭	横山 知弘	第11回エネルギー教育賞優秀賞、 電気新聞創刊110周年特別賞	H29.03

イ 研究助成等

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
人文社会系	准教授	海後 宗男	公益財団法人 たばこ総合研究センター	エナジードリンクの摂取がもたらす社会心理学的効果と嗜好品文化への影響	H28. 04
人文社会系	准教授	志田 泰盛	公益財団法人 稲盛財団	中世インドにおける刹那滅論争史と無常観の東漸に関する研究	H28. 04
人文社会系	特任研究員	岩田 啓介	公益財団法人 サントリー文化財団	清代青海モンゴルの「チベット化」の実像	H28. 05
人文社会系	准教授	谷口 陽子	公益財団法人 鹿島学術振興財団	世界遺産カッパドキア・ウズムル岩窟教会遺跡における文化遺産の保全に関する包括的研究	H28. 05
人文社会系	准教授	星野 豊	公益財団法人 LIXIL住生活財団	住宅の安心・安全を確保するための法的対応に関する総合的研究	H28. 12
人文社会系	准教授	辻 雄一郎	公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団	ゲームを遊ぶ憲法上の権利と規制	H29. 03
数理工学系	助教	森 龍也	公益財団法人 日本板硝子材料工学研究会	ガラスのボゾンピークのテラヘルツ時間領域分光による検出	H28. 04
数理工学系	准教授	小野田 雅重	公益財団法人 日本板硝子材料工学研究会	バナジウムセラミックスおよびポリアニオン系正極の開発	H28. 04
数理工学系	准教授	鈴木 義和	公益財団法人 日本板硝子材料工学研究会	途上国における飲料水問題の解決に向けた再生可能・低コスト多孔質浄水フィルター用セラミックスの開発	H28. 04
数理工学系	助教	都甲 薫	公益財団法人 旭硝子財団	低発電コストを実現する擬単結晶シリコンゲルマニウム薄膜太陽電池の開発	H28. 04
数理工学系	助教	都甲 薫	公益財団法人 立石科学技術振興財団	ウェアラブルデバイスに搭載可能なナノ構造太陽電池のプロセス技術開発	H28. 04
数理工学系	教授	市川 淳士	独立行政法人 日本学術振興会	遷移金属種からのフッ素脱離過程を活用する炭素・フッ素結合の活性化	H28. 05
数理工学系	講師	大石 基	一般財団法人 田中貴金属記念財団	金ナノ粒子界面における化学反応を利用した高感度・簡易バイオセンサの開発	H28. 05
数理工学系	助教	奥野 将成	財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成	ヘテロダイン検出振動和周波発生分光法による界面超分子系のin situ キラリティー測定	H28. 05
数理工学系	助教	都甲 薫	公益財団法人 池谷科学技術振興財団	プラスチック上における高キャリア移動度ゲルマニウム結晶の開発	H28. 05
数理工学系	助教	都甲 薫	公益財団法人 加藤科学振興会	高効率フレキシブル太陽電池の基層となる狭バンドギャップ材料薄膜の開発	H28. 06
数理工学系	講師	山村 正樹	高砂香料工業株式会社	曲面キラリティーを有するキラルホスフィンを用いた分子認識型触媒の開発	H28. 06
数理工学系	助教	志賀 拓也	徳山科学技術振興財団	金属錯体の動的物性をあわせもつ強誘電材料の開発	H28. 06

数理工質系	講師	桑原 純平	公益財団法人 フジクラ財団	有機顔料の特性を活かした有機半導体材料の創製	H28. 07
数理工質系	助教	中村 貴志	公益財団法人 戸部眞紀財団	複数の金属で分子を捕まえる環状ホストの合成と機能開拓	H28. 07
数理工質系	助教	小谷 弘明	公益財団法人 日揮・実吉奨学会	基質配位空間の精密制御による高効率・高選択的酸化触媒の開発	H28. 08
数理工質系	教授	守友 浩	公益財団法人 谷川熱技術振興基金	電池型熱発電素子の開発と排熱利用	H28. 09
数理工質系	助教	中村 貴志	公益財団法人 泉科学技術振興財団	インターロック三重鎖構造により強度と自己修復性を実現する可逆結合ポリマー材料	H28. 10
数理工質系	助教	中村 貴志	公益財団法人 日立金属・材料科学財団	主鎖が三重にインターロックした構造をもつ高機能自己修復性ポリマー材料の開発	H28. 10
数理工質系	准教授	池沢 道男	公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金	半導体ナノ構造の共鳴光励起による区別のつかない光子の発生	H28. 11
数理工質系	准教授	伊藤 良一	公益財団法人 カシオ科学振興財団	3次元周期極小曲面を有するナノ多孔質グラフェンを用いた新しい物理の開拓の研究について	H28. 11
数理工質系	准教授	丸本 一弘	公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金	有機太陽電池の素子特性劣化機構の解明と高効率化・長寿命化	H28. 11
数理工質系	教授	西堀 英治	公益財団法人 カシオ科学振興財団	粒子内原子配列の実空間モデリングによる階層構造科学の創成	H28. 11
数理工質系	教授	西堀 英治	公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金	金属材料の電子密度分布からの機能構造相関抽出法の開発	H28. 11
数理工質系	助教	中村 貴志	公益財団法人 アステラス病態代謝研究会	エイコサノイドの一段階変換を実現する超分子金属触媒	H28. 11
数理工質系	准教授	伊藤 良一	公益財団法人 前川報恩会	環境保全を目的とした水の蒸発装置の開発及び緑地化への持続可能な水源確保	H29. 01
数理工質系	教授	神原 貴樹	公益財団法人 江野科学振興財団	藻類産生オイルを基盤とする新しい熱可塑性エラストマー製造技術の開発	H29. 02
数理工質系	助教	川島 英久	公益財団法人 八洲環境技術振興財団	新規循環型材料を指向した藻類バイオマスの化学変換技術開発	H29. 02
システム情報系	教授	有田 智一	一般財団法人 第一生命財団	容積率ボーナス型都市開発制度の新たな展開可能性-東京都とニューヨーク市の比較	H28. 04
システム情報系	准教授	藤井 さやか	公益財団法人 鹿島学術振興財団	高経年団地の資源を活用した「居場所」づくりの実践研究	H28. 04
システム情報系	教授	武若 聡	公益財団法人 河川財団	天竜川の河口砂州フラッシュ発生の確率的評価	H28. 04
システム情報系	教授	武若 聡	公益財団法人 鹿島学術振興財団	流域と海域を繋ぐ総合的土砂管理の実現に向けた実践的フィールド研究	H28. 05

システム情報系	准教授	村上 暁信	一般財団法人 住総研	昭和三陸津波後に高台移転した地域における東日本大震災後の復興	H28. 06
システム情報系	助教	嶋村 耕平	公益財団法人 JKA	レーザーを利用した次世代宇宙ロケットの基礎技術研究補助事業	H28. 06
システム情報系	助教	橋本 悠希	京都市・山本文二郎漆科学 研究助成事業委員会	漆回路の実用化に向けた漆の電気的特性の解明	H28. 08
システム情報系	教授	水谷 孝一	公益財団法人 東電記念財団	2016年度国際技術交流援助（会議渡航）上期（日米音響学会ジョイントミーティング）	H28. 09
システム情報系	准教授	面 和成	国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学	遠隔操作ウィルスの早期検知手法に関する研究	H28. 09
システム情報系	准教授	奥島 真一郎	公益財団法人 日本生命財団	地球温暖化政策とエネルギー貧困	H28. 10
システム情報系	助教	嶋村 耕平	公益財団法人 谷川熱技術振興基金	レーザー衝撃波による流体エネルギー変換器	H28. 10
システム情報系	准教授	掛谷 英紀	公益財団法人 カシオ科学振興財団	手術シミュレータ用フルハイビジョン裸眼立体ディスプレイの画質向上	H28. 12
システム情報系	准教授	藤野 貴康	パワーアカデミー	CO2を消弧ガスとした完全自力型ガス遮断機の設計に資するアーク消弧・絶縁回復過程の統合数値解析技術の構築	H29. 01
システム情報系	助教	鈴木 研悟	公益財団法人 科学技術融合振興財団	エネルギー市場政策検討のための化石燃料代替ゲームの開発	H29. 01
システム情報系	教授	武若 聡	一般財団法人 国土技術研究センター	流域と海域を繋ぐ総合的土砂管理の実現に向けた実践的フィールド研究	H29. 02
システム情報系	助教	嶋村 耕平	一般財団法人 電子回路基板技術振興財団	廉価なミリ波回路技術による無線給電レクテナ回路の開発	H29. 03
生命環境系	助教	源川 拓磨	一般財団法人 旗影会	分光技術によるスタキオース検出に基づく緑豆類野菜の鮮度判定	H28. 04
生命環境系	助教	川田 清和	公益財団法人 旭硝子財団	バイオロギングリアルタイムグレイジング解析を用いたヤギによる砂漠化プロセスの解明	H28. 04
生命環境系	助教	大森 裕子	公益財団法人 アサヒグループ学術振興財団	モニタリング培養システムを用いた海洋表層における揮発性有機化合物の生成プロセスの解明	H28. 04
生命環境系	助教	松崎 仁美	公益財団法人 日立財団	マウス刷り込み遺伝子座におけるアリル特異的DNAメチル化形成機構の解析	H28. 04
生命環境系	教授	青柳 秀紀	公益財団法人 新技術開発財団	革新的培養基材の開発と植物生態関連微生物ライブラリーの構築	H28. 05
生命環境系	特任助教	平岡 真合乃	公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団	過密竹林斜面の地下茎分布と雨水浸透過程の解明	H28. 05
生命環境系	助教	今 孝悦	公益財団法人 日本科学協会	海洋酸性化が沿岸域の生物群集構造と生物間相互作用に与える影響の総合評価	H28. 05

生命環境系	助教	熊野 匠人	公益財団法人 タカノ農芸化学研究助成財団	豆類や穀類の利用加工技術、並びにそれらに関連する納豆菌等微生物の特性、酵素	H28. 05
生命環境系	助教	蓑田 歩	公益財団法人 高橋産業経済研究財団	硫酸性温泉紅藻を利用した白金族元素回収のための基盤研究	H28. 05
生命環境系	准教授	堀田 紀文	一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構	土砂災害防止法に基づく「土砂災害警戒区域等」に関する調査・研究	H28. 06
生命環境系	助教	原 尚資	一般財団法人 東和食品研究振興会	ソバ主要アレルゲン遺伝子Fag e 2の遺伝的変異とアレルゲン性との関連	H28. 06
生命環境系	准教授	堀田 紀文	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	材料特性を考慮した土石流扇状地の形成過程に関する水路実験と評価手法の開発	H28. 07
生命環境系	助教	石川 香	公益財団法人 武田科学振興財団	ミトコンドリアDNAのランダムな突然変異が呼吸欠損を誘導する理由	H28. 07
生命環境系	助教	粉川 美踏	農業施設学会	スペクトロミクス手法による農産物の発酵工程のモニタリング	H28. 07
生命環境系	助教	守野 孔明	公益財団法人 日本科学協会	第9回Evo-Devo青年の会 現代の形態学は大進化を解きうるか?	H28. 08
生命環境系	准教授	山路 恵子	公益財団法人 日本科学協会	内生糸状菌がススキのアルミニウム耐性を増強させるメカニズムの解明-内生糸状菌の産生するアルミニウム解毒物質とアルミニウムの局在を通して-	H28. 08
生命環境系	特任助教	本庄 賢	公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団	ショウジョウバエ神経遺伝学を駆使した痛覚シグナル調節神経ペプチドの網羅的同定	H28. 10
生命環境系	教授	上條 隆志	公益財団法人 自然保護助成基金	伊豆諸島の自然保護シンポジウムの開催	H28. 10
生命環境系	教授	丹羽 隆介	公益財団法人 内藤記念科学振興財団	生殖幹細胞の増殖を調節する神経・内分泌メカニズムの解明：ショウジョウバエをモデルとして	H28. 10
生命環境系	准教授	澤村 京一	公益財団法人 住友財団	ショウジョウバエの種間雑種を用いた核膜孔複合体の解析	H28. 11
生命環境系	教授	青柳 秀紀	公益財団法人 広沢技術振興財団	内毒素の実用的な超高感度・迅速測定システムの開発と高度利用	H28. 12
生命環境系	准教授	小幡谷 英一	公益財団法人 LIXIL住生活財団	圧縮木材の衝撃緩衝性	H28. 12
生命環境系 (アイソトープ環境動態研究センター)	教授	恩田 裕一	IAEA(International Atomic Energy Agency)	食糧及び農業に影響を及ぼす原子力災害の緊急事態への対応	H29. 02
人間系	教授	宇野 彰	文部科学省 委託研究事業	発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上事業	H28. 04
人間系	教授	茂呂 雄二	公益財団法人 トヨタ財団	格差社会において様々な交換をアクティベートする実践的な分配の正義 -共生人間科学に基づく社会の新たな価値創出-	H28. 05
人間系	特任助教	茂木 成友	公益財団法人 博報児童教育振興会	義務教育段階の聴覚障害児に対する漢字の指導に関する調査 -ベテラン教員による日記指導・国語科指導における工夫を通して-	H28. 08

人間系	教授	廣田 栄子	公益財団法人 国際耳鼻咽喉科学振興会	研究課題「小児の補聴器および人工内耳」の実施	H28. 10
人間系	教授	吉田 武男	文部科学省 平成28年度道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業（委託研究）	「考え、感じ、行動する」主体的で実践的な学びへの挑戦 —道德教育の質的転換をめざして—	H28. 10
人間系	教授	原田 悦子	公益財団法人 LIXIL住生活財団	高齢者における住宅機器の利用学習と感情・情動・動機付け要因に関する認知工学的研究	H28. 12
人間系	特任助教	水野 雅之	日本キャリアデザイン学会	就職活動に対する認知的評価とコーピングが就職活動に及ぼす影響 —セルフ・コンパッションに着目して—	H28. 12
体育系	助教	李 燦雨	公益財団法人 稲盛財団	江戸時代における渡来武術に関する研究 —瀬戸内海に伝わる近世朝鮮武術に着目して—	H28. 04
体育系	教授	浅井 武	公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団	実験と数値流体解析を統合したスポーツエアロダイナミクス解析システムの開発と展開研究	H28. 06
体育系	准教授	大藏 倫博	公益財団法人 三井住友海上福祉財団	独居生活が高齢者の身体機能、認知機能、抑うつに及ぼす影響に関する縦断疫学研究	H28. 11
体育系	研究員	花岡 裕吉	公益財団法人 東洋療法研修試験財団	高齢者の口腔内環境の改善に役立つ鍼刺激の効果—唾液量および唾液中抗菌タンパクに着目して—	H28. 12
体育系	助教	李 燦雨	公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団	享楽的競技弓術「便射」から読み解く軍事と遊戯文化の狭間	H29. 03
体育系	教授	征矢 英昭	公益財団法人 上原記念生命科学財団	アルツハイマー病の次世代運動—栄養療法の開発	H29. 03
医学医療系	助教	安孫子 ユミ	一般財団法人 フォーデイズ自立支援協会	食品中活性イオウ分子の同定とその環境ストレス軽減作用の検討	H28. 06
医学医療系	講師	濱野 淳	公益財団法人 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団	「非がん疾患の終末期医療の実態に関する調査」（2016年度日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団 ホスピス・緩和ケアに関する事業助成）	H28. 06
医学医療系	教授	榎 正幸	公益財団法人 武田科学振興財団	ヘパラン硫酸糖鎖の特異的な硫酸化修飾による高次脳機能制御機構の解明	H28. 07
医学医療系	助教	宮寺 浩子	認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク	1型糖尿病を発症しない動物モデルの確立と発症抑制機序の解明	H28. 07
医学医療系	教授	徳田 克己	一般財団法人 住総研	発達障がい児が安全で快適にすごすことができる住環境の提案	H28. 07
医学医療系	教授	千葉 滋	ノバルティス ファーマ株式会社	遺伝性血小板増多症家系に生じた、多血症を含む多様な血球増多を示す患者のゲノム解析	H28. 08
医学医療系	教授	藤本 学	ノバルティス ファーマ株式会社	制御性B細胞を標的としたメラノーマの新規治療法の開発	H28. 08
医学医療系	講師	濱野 淳	ファイザー株式会社	がん緩和ケアに関する研究活動	H28. 08
医学医療系	教授	檜澤 伸之	ノバルティス ファーマ株式会社	難治性喘息のエンドタイプの解明に向けた遺伝学的研究	H28. 08

医学医療系	助教	林 洋平	公益財団法人 武田科学振興財団	「染色体編集」法の開発	H28. 08
医学医療系	講師	小林 麻己人	公益財団法人 山崎香辛料振興財団	酸化ストレス毒性を軽減させる香辛料 成分の動物モデルを駆使した探索	H28. 08
医学医療系	講師	際本 拓未	ノバルティス ファーマ 株式会社	機能未知の喘息関連遺伝子の病態解明 と臨床応用	H28. 08
医学医療系	講師	高野 恵輔	ノバルティス ファーマ 株式会社	糖鎖バイオマーカーを用いた腎移植後 拒絶反応の新規診断法の開発	H28. 08
医学医療系	研究員	小菅 寿徳	ノバルティス ファーマ 株式会社	ナノ粒子を用いたアテローム性動脈硬化病 変の非侵襲的診断および治療法の開発	H28. 08
医学医療系	准教授	松本 功	ノバルティス ファーマ 株式会社	関節リウマチにおける自己抗体と炎症 細胞の病因的リンクとその制御	H28. 08
医学医療系	准教授	森島 祐子	ノバルティス ファーマ 株式会社	脂肪酸伸長酵素Elovl6による脂肪酸組成制 御を介した難治性喘息へのアプローチ	H28. 08
医学医療系	教授	榭 正幸	ファイザー株式会社	分子神経生物学研究	H28. 08
医学医療系	准教授	宮崎 淳	ノバルティス ファーマ 株式会社	土壤菌菌体成分であるミコール酸による 膀胱癌免疫製剤の開発	H28. 08
医学医療系	助教	水野 智亮	公益財団法人 武田科学振興財団	小胞体ストレス応答における選択的 オートファジー受容体の発現制御機構	H28. 08
医学医療系	准教授	水野 智美	公益信託仲谷鈴代記念栄 養改善活動振興基金	自閉児にみられる極度の偏食傾向の改 善のための幼稚園・保育所への継続的 訪問指導の実践	H28. 08
医学医療系	講師	益子 良太	一般社団法人 日本脳ドック学会	MRIにおける脳萎縮・大脳白室病変を総 体として定量し、高次機能との相関を 検討する	H28. 08
医学医療系	教授	西山 博之	ノバルティス ファーマ 株式会社	進行膀胱癌に高発現するタンパク質 GNMBを標的とした環状ペプチドの開発	H28. 08
医学医療系	教授	大鹿 哲郎	ノバルティス ファーマ 株式会社	次世代前眼部光干渉断層計による前眼部立 体解析及び数理光学的解析手法の開発	H28. 08
医学医療系	講師	岡本 史樹	ノバルティス ファーマ 株式会社	眼内注射用抗VEGF薬の徐放性製剤の開発	H28. 08
医学医療系	講師	沖山 奈緒子	ノバルティス ファーマ 株式会社	移植片対組織病 (GVHD) 様皮膚粘膜疾患 モデルを用いた苔癬反応における表皮 ネクロプトーシス機構の解明	H28. 08
医学医療系	教授	小田 竜也	ノバルティス ファーマ 株式会社	ポスト抗体医薬としてのがん糖鎖標的 レクチンートキシン：膵がんの播種性 転移治療を実用化する非臨床試験	H28. 08
医学医療系	准教授	坂田 麻実子	ノバルティス ファーマ 株式会社	RHOA変異陰性血管免疫芽球性T細胞リン パ腫における遺伝子診断技術の開発	H28. 08
医学医療系	准教授	鈴木 浩明	ノバルティス ファーマ 株式会社	糖尿病慢性合併症発症におけるmicro RNAのバイオマーカーとしての可能性に ついての検討	H28. 08

医学医療系	教授	島野 仁	ノバルティス ファーマ株式会社	Elov16/脂肪酸組成による脂肪毒性インスリン作用障害保護メカニズム：キイ脂肪酸、キイファクターの同定（2016年計画）	H28. 08
医学医療系	講師	関谷 元博	公益財団法人 武田科学振興財団	代謝産物センサー分子を軸とした新しい代謝制御システムの解明と医療応用	H28. 08
医学医療系	助教	田尻 和子	ノバルティス ファーマ株式会社	遺伝子組み換えBCGを用いた新規慢性心筋炎/心不全モデルの確立	H28. 08
医学医療系	教授	玉岡 晃	ノバルティス ファーマ株式会社	アルツハイマー病脳における病因関連分子の分子種依存的なミトコンドリア障害の解析	H28. 08
医学医療系	准教授	鄭 允文	ノバルティス ファーマ株式会社	生体内ダイレクトリプログラミングを用いた硬変肝からのHCC発生子防法の開発研究	H28. 08
医学医療系	講師	田川 学	公益財団法人 森永奉仕会	新生児・乳児・小児の慢性炎症性消化管疾患における消化管粘膜の形態学的変化と栄養・代謝との関連に関する臨床研究	H28. 08
医学医療系	教授	新井 哲明	ファイザー株式会社	精神疾患に関する研究	H28. 09
医学医療系	教授	青沼 和隆	ファイザー株式会社	致死性不整脈疾患の診断・リスク層別化に関する研究	H28. 09
医学医療系	教授	千葉 滋	ファイザー株式会社	血液疾患に関する研究	H28. 09
医学医療系	教授	藤本 学	ファイザー株式会社	膠原病・類縁疾患に関する研究	H28. 09
医学医療系	教授	本間 真人	ファイザー株式会社	分子標的薬の薬物血中濃度測定法の開発と臨床応用・その他1件	H28. 09
医学医療系	教授	檜澤 伸之	ファイザー株式会社	内分泌・代謝疾患に関する研究	H28. 09
医学医療系	准教授	早田 匡芳	ファイザー株式会社	筋骨格系疾患に関する研究	H28. 09
医学医療系	教授	森川 一也	ファイザー株式会社	感染症に関する研究	H28. 09
医学医療系	准教授	万本 健生	ファイザー株式会社	筋骨格系疾患に関する研究	H28. 09
医学医療系	教授	松村 明	ファイザー株式会社	神経疾患に関する研究	H28. 09
医学医療系	教授	西山 博之	ファイザー株式会社	①膀胱癌における免疫環境と遺伝子変異の包括的解析によるBCG抵抗性機序の解明 ②進行性膀胱癌に高発現するGPNMBを標的とした環状ペプチドの開発	H28. 09
医学医療系	教授	大鹿 哲郎	ファイザー株式会社	眼疾患に関する研究	H28. 09
医学医療系	教授	大河内 信弘	ファイザー株式会社	血小板における糖鎖発現と癌転移	H28. 09

医学医療系	教授	住田 孝之	ファイザー株式会社	iPS細胞を用いたSS及びASDの治療戦略	H28. 09
医学医療系	教授	島野 仁	ファイザー株式会社	内分泌・代謝疾患に関する研究	H28. 09
医学医療系	教授	玉岡 晃	ファイザー株式会社	アルツハイマー病脳におけるアミロイドβ蛋白の病態	H28. 09
医学医療系	講師	渡辺 玲	公益財団法人 日本応用酵素協会	全身性強皮症の病態における皮膚T細胞の役割の検討	H28. 09
医学医療系	教授	山縣 邦弘	ファイザー株式会社	循環器疾患に関する研究	H28. 09
医学医療系	教授	山崎 正志	ファイザー株式会社	筋骨格系疾患に関する研究	H28. 09
医学医療系	講師	福島 紘子	公益財団法人 がんの子供を守る会	陽子線照射後のQOL調査	H28. 10
医学医療系	講師	小林 麻己人	公益財団法人 小柳財団	健康食品の機能性を発揮させるNrf2システムの新規動物モデル開発とその活用	H28. 10
医学医療系	准教授	松坂 賢	公益財団法人 日本応用酵素協会	脂肪酸伸長酵素Elov16のインスリン感受性および2型糖尿病の発症・進展における役割	H28. 10
医学医療系	教授	櫻井 英幸	公益財団法人 がんの子供を守る会	小児・AYA世代のがんのための陽子線治療ガイドライン作成	H28. 10
医学医療系	教授	兵頭 一之介	田辺三菱製薬株式会社	RNAiを用いた p 53活性化による腫瘍抑制	H28. 11
医学医療系	助教	林 洋平	公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団	染色体欠失が引き起こす疾患に対する多能性幹細胞を用いた再生医療	H28. 11
医学医療系	助教	林 洋平	公益財団法人 興和生命科学振興財団	光応答性材料への光照射によるiPS細胞の分化制御	H28. 11
医学医療系	研究員	Jeon Boyoung	公益財団法人 医療科学研究所	「介護施設入所高齢者の急性期病院への入院の現状と原因：「予防可能な入院」を中心に」	H28. 11
医学医療系	講師	加藤 貴康	公益財団法人 かなえ医薬振興財団	急性骨髄性白血病と骨髄微小環境の相互作用における分子メカニズムの解明	H28. 11
医学医療系	准教授	鈴木 英雄	田辺三菱製薬株式会社	潰瘍性大腸炎に関する生薬青黛を用いた新規治療法の確立	H28. 11
医学医療系	教授	住田 孝之	田辺三菱製薬株式会社	自己免疫性関節炎の抗原特異的制御	H28. 11
医学医療系	准教授	鈴木 浩明	田辺三菱製薬株式会社	糖尿病慢性合併症におけるmicroRNAのバイオマーカーとしての可能性についての検討	H28. 11
医学医療系	教授	島野 仁	田辺三菱製薬株式会社	エネルギー代謝制御転写遺伝子及び脂質関連酵素解析による包括的代謝性疾患予防と新規治療法の開発	H28. 11

医学医療系	講師	関谷 元博	公益財団法人 鈴木謙三記念医科学応用 研究財団	エネルギー代謝産物センサー分子を軸 にした新しい代謝制御システムの解明 と医療応用	H28. 11
医学医療系	講師	関谷 元博	田辺三菱製薬株式会社	新しい代謝産物センサー分子を軸と した代謝制御システムの解明と医療応用	H28. 11
医学医療系	教授	竹越 一博	田辺三菱製薬株式会社	Renalase遺伝子(RNLS)多型を指標に した心血管代謝疾患の分子診断法の開発	H28. 11
医学医療系	助教	田尻 和子	田辺三菱製薬株式会社	MAIR-II遺伝子改変マウスを用いた高 血圧性心筋障害における単球集簇のメ カニズムの解明	H28. 11
医学医療系	助教	田尻 和子	公益財団法人 大和証券ヘルス財団	アンスラサイクリン系薬剤による心毒 性の早期診断を目的とした前向きコ ホート研究	H28. 11
医学医療系	教授	玉岡 晃	田辺三菱製薬株式会社	アルツハイマー病における病因関連 分子の分子種異存的なミトコンドリア 障害の解析	H28. 11
医学医療系	教授	山縣 邦弘	田辺三菱製薬株式会社	難治性腎臓病患者における高血圧症の 診療の実態に関する調査研究	H28. 11
医学医療系	助教	林 洋平	公益財団法人 母子健康協会	先天性染色体異常患者におけるiPS細胞 を用いた再生医療法の開発	H28. 12
医学医療系	講師	岩崎 仁	田辺三菱製薬株式会社	HMGCoA還元酵素の生体内における多 面的影響に関する検討	H28. 12
医学医療系	講師	金子 剛	田辺三菱製薬株式会社	糞便中バイオマーカー検出感度向上に よるIBDにおける非侵襲粘膜治療評価方 法の開発	H28. 12
医学医療系	教授	森 千鶴	公益財団法人 ファイザーヘルスリサーチ 振興財団	統合失調症者における自己概念測定尺 度の開発	H28. 12
医学医療系	研究員	沖田 結花里	公益財団法人 内藤記念科学振興財団	Roles of GPNMB in breast cancer initiation and malignant progression	H28. 12
医学医療系	教授	徳田 克己	公益財団法人 LIXIL住生活財団	重度視覚障がい者が安全かつ快適に生 活するための住環境整備の提案	H28. 12
医学医療系	講師	渡辺 玲	グラクソ・スミスクライン 株式会社	尋常性乾癬における皮膚 resident memory T細胞マーカーCD69、CD103の役 割の検討	H28. 12
医学医療系	教授	藤本 学	アクテリオンファーマ シューティカルズジャパン 株式会社	悪性黒色腫における免疫療法のピット ホールと新規開発に向けた研究	H29. 01
医学医療系	助教	林 洋平	公益財団法人 上原記念生命科学財団	リプログラミング因子の構造基盤の解 析と改良	H29. 01
医学医療系	准教授	加治 優一	ノバルティス ファーマ 株式会社	コヒレントラマン顕微鏡を用いたアル ツハイマー病早期発見を目的とする新 規細隙灯・眼底撮影装置の開発	H29. 01
医学医療系	教授	大鹿 哲郎	ノバルティス ファーマ 株式会社	非侵襲・簡便ながら高機能な眼底スク リーニング法の開発	H29. 01
医学医療系	助教	笹原 朋代	特定非営利活動法人 日本緩和医療学会	エンド・オブ・ライフ・ケアの看護実 践を測定するための尺度の開発	H29. 02

医学医療系	准教授	矢作 直也	公益財団法人 上原記念生命科学財団	エネルギー代謝制御を担う核内情報処理機構の解明	H29. 02
医学医療系	准教授	矢作 直也	公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団	ニュートリゲノミクスの新手法によるエネルギー代謝制御シグナルの核内計測	H29. 02
図書館情報メディア系	特任助教	松原 正樹	一般社団法人 カワイサウンド技術・音楽振興財団	筋活動の視覚フィードバックによるトランペット練習支援に関する研究	H28. 06
図書館情報メディア系	教授	逸村 裕	日本図書館研究会	日本図書館研究会例会申請	H28. 07
ビジネスサイエンス系	助教	上山 一	公益財団法人 上廣倫理財団	イスラム銀行利用者の意思決定要因に関する調査研究—イスラムにおける経済倫理との関係から—	H29. 02
国際産学連携本部	准教授	大津 巖生	公益財団法人 すかいらくフードサイエンス研究所	抗酸化能を有するアミノ酸高含有物の創製	H28. 09
附属病院	病院講師	永井 恵	公益財団法人 石橋由紀子記念基金	腎臓の自然炎症と線維化における好中球顆粒MPOの機能解明	H28. 04
附属病院	病院講師	塚田 恵鯉子	第一三共株式会社	認知症領域におけるアルツハイマー病の研究	H28. 04
附属病院	病院講師	榎本 有希	株式会社りそな銀行	重症敗血症による筋力低下の成因とその予防に関する研究	H28. 09
附属病院	病院講師	市岡 恵美香	エーザイ株式会社	副甲状腺機能亢進症に対する iPTH検査の有用性	H28. 09
附属病院	病院講師	石塚 洋典	田辺三菱製薬株式会社	尋常性乾癬病変における抗TNF- α 療法に伴う免疫学的な変容とNRF2/KEAP1経路の発現解析	H28. 11
附属病院	アカデミック レジデント	酒井 愛子	公益財団法人 小児医学研究振興財団	B型肝炎およびB型肝炎ワクチン反応性の個人差に関する研究	H29. 03
附属病院	看護師	入江 佳子	公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団	がん化学療法を受ける在宅療養者のニーズに即したアピアランスケアガイドの開発と評価	H29. 03
附属聴覚特別支援学校	教諭	山本 晃	公益財団法人 俱進会	障害児並びに健常児を対象としたロールプレーを活用した副詞習得法の開発	H28. 04
附属聴覚特別支援学校	教諭	横山 知弘	公益財団法人 日本科学技術振興財団	平成28年度エネルギー教育モデル校認定(27~29年度継続認定)	H28. 04
附属聴覚特別支援学校	教諭	廣瀬 由美	公益財団法人 日本英語検定協会	聴覚障がいをもつ生徒の英単語の読みと綴りの関係性理解向上のための自作デジタル教材の作成と活用	H28. 07
附属大塚特別支援学校	教諭	若井 広太郎	公益財団法人 パナソニック教育財団	幼児・児童・生徒の系統的・発展的な学習を促す授業づくりに関する研究	H28. 04
附属大塚特別支援学校	校長	柘植 雅義	一般社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会	知的障害を有する方々への選挙投票におけるICT機器を活用した支援方法の検討	H28. 05
附属学校教育局	准教授	飯田 順子	公益財団法人 明治安田こころの健康財団	研究テーマ『高等学校における「学校全体メンタルヘルススクリーニング」の実践』の実施	H29. 02

附属図書館	教授	西川 博昭	人間文化研究機構 国文学研究資料館	日本語の歴史的典籍の国際共同研究 ネットワーク構築事業におけるデータ ベース構築	H28. 06
附属図書館	教授	西川 博昭	公益財団法人 出光文化福祉財団	狩野探幽筆「野外奏楽・猿曳図」保存 修復事業	H29. 03
生命領域学際研究センター	研究員	島田 裕子	公益財団法人 井上科学振興財団	栄養に応じた発生プログラムの柔軟性 を支える神経とステロイドホルモン生 合成調節機構の解明	H28. 04
生命領域学際研究センター	教授	柳沢 裕美	公益財団法人 喫煙科学研究財団	喫煙が大動脈瘤の自然発症に及ぼす影響	H28. 04
生命領域学際研究センター	助教	山城 義人	公益財団法人 稲盛財団	メカニカルストレス応答因子に着目し た大動脈瘤破裂を未然に防ぐ分子マ ーカーの解析	H28. 04
生命領域学際研究センター	研究員	島田 裕子	特定非営利活動法人 日本分子生物学会	栄養と発育をつなぐ神経内分泌機構の研究	H28. 06
生命領域学際研究センター	助教	西村 亜衣子	株式会社リバネス	皮膚幹細胞をターゲットとしたがん 化・老化の予防、若返りに向けての基 盤研究	H28. 09
生命領域学際研究センター	助教	山城 義人	公益財団法人 日本応用酵素協会	血管壁の機械刺激応答と病態形成を誘 導するシグナル分子の解析	H28. 09
生命領域学際研究センター	助教	西村 亜衣子	公益財団法人 先進医薬研究振興財団	血管平滑筋の再生メカニズムの解明： 損傷に伴い出現する増殖細胞は幹細胞 由来であるか	H28. 12
生命領域学際研究センター	教授	深水 昭吉	公益財団法人 上原記念生命科学財団	アルギニンメチル化が担うミトコンド リア制御と心機能	H29. 01
生命領域学際研究センター	助教	西村 亜衣子	公益財団法人 内藤記念科学振興財団 「2016年度 内藤記念女 性研究者研究助成金」	成体血管の再生メカニズムの解明：損 傷に伴い出現する増殖型平滑筋細胞 は、幹細胞由来であるか	H29. 01
生命領域学際研究センター	助教	西村 亜衣子	公益財団法人 上原記念生命科学財団	マウス表皮をモデルとした幹細胞老化 メカニズムの解明	H29. 01
生命領域学際研究センター	教授	牧野 昭二	公益財団法人 セコム科学技術振興財団	高次統計量制御スパース信号表現に基 づく協創型音響センシング及びその社 会システム応用	H29. 03
生命領域学際研究センター	教授	柳沢 裕美	公益財団法人 水谷糖質科学振興財団	ヘパリン結合性マトリクスFibulin-7に 着目した腎石灰化予防の基礎研究	H29. 03
グローバル教育院	教授	岩田 洋夫	公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団	小型モーターデバイスを用いた新スポ ーツの開発と運動特性の解明	H29. 03
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	林 悠	公益財団法人 日本応用酵素協会	レム睡眠の中枢ニューロンの同定と神 経疾患の治療への応用	H28. 04
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	中川 嘉	公益財団法人 アサヒグループ学術振興財団	新奇植物性ポリフェノールの生活習慣 病改善におけるSIRTとFGF21の活性化メ カニズム	H28. 04
国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	大石 陽	公益財団法人 日本応用酵素協会	徐波睡眠の量的調節機能を有する脳部 位の解析	H28. 04
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 日本応用酵素協会	成体脳の海馬で新生するニューロンの 睡眠中の記憶固定化における役割	H28. 04

国際統合睡眠医科学研究機構	助教	斉藤 毅	公益財団法人 日本応用酵素協会	オレキシン受容体アゴニストの創製と 薬理作用の解明	H28. 04
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	中川 嘉	公益財団法人 日本応用酵素協会	CREB3L3-SREBPの相互作用による新たな 脂質代謝調節機構と動脈硬化形成メカ ニズム	H28. 05
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	林 悠	公益財団法人 武田科学振興財団	レム睡眠に着目した新規な神経疾患治 療法の開発	H28. 07
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	長谷川 恵美	公益財団法人 精神・神経科学振興財団 (国立大学法人金沢大学 から移管)	睡眠健康推進機構学術研究助成	H28. 09
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	林 悠	公益財団法人 三菱財団	レム睡眠の人為的操作による脳機能の 向上や回復の試み	H28. 10
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 金原一郎医学医療振興財団	成体脳のニューロン新生から明らかに する睡眠依存的な記憶固定化の分子メ カニズム	H28. 10
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 先進医薬研究振興財団	PTSDの汎化における睡眠期依存的な新 生ニューロンの機能	H28. 11
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	LAZARUS MICHAEL	公益財団法人 内藤記念科学振興財団	自由行動マウスのアデノシンA2A受容体 を利用した光薬理学	H28. 12
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	中川 嘉	公益財団法人 小野医学研究財団	CREB3L3における転写因子間/組織間相 互作用による動脈硬化発症メカニズム の解明	H28. 12
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 島津科学技術振興財団	質量分析計と光遺伝学による眠気の分 子実体の同定	H28. 12
国際統合睡眠医科学研究機構	教授	Qinghua Liu	公益財団法人 上原記念生命科学財団	来日研究生への経済的支援	H29. 01

(3) 科学研究費助成事業採択状況(新規十継続分)

ア 総括表

平成29年3月31日現在
(単位：千円)

種目 系等	特別推進研究		新学術領域研究		基礎研究(S)		基礎研究(A)		基礎研究(B)		基礎研究(C)		若手研究(A)		若手研究(B)		研究活動スタート支援		挑戦的萌芽研究		研究成果公開促進費		特別研究員奨励費		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
人文社会学系	0	0	7	25,220	0	0	4	37,050	16	62,530	53	59,410	0	0	20	20,670	3	3,250	12	13,910	1	800	32	26,390	148	249,230
ビジネス サイエンス系	0	0	0	0	0	0	2	14,040	5	17,550	22	29,120	0	0	4	5,980	0	0	2	2,600	0	0	0	0	35	69,290
数理物質系	0	0	24	127,660	2	70,330	14	130,520	18	92,300	48	72,896	7	49,790	24	36,400	1	1,430	32	47,567	0	0	40	34,212	210	662,905
システム 情報系	0	0	3	13,260	1	56,550	7	92,820	31	139,048	49	68,578	5	17,030	29	39,083	3	3,640	30	40,560	0	0	21	19,580	179	490,149
生命環境系	0	0	15	144,820	1	34,186	9	100,230	38	184,990	50	76,436	4	24,440	34	46,610	3	3,900	33	47,180	1	1,000	39	35,332	227	699,124
人間系	0	0	0	0	1	42,770	4	31,590	13	59,280	33	44,200	1	8,840	12	13,811	3	3,900	14	18,980	1	1,500	38	30,500	120	255,371
体育系	0	0	1	13,910	0	0	3	23,920	13	58,500	23	31,460	2	7,410	20	21,928	3	3,770	14	17,030	0	0	6	7,300	85	185,228
芸術系	0	0	0	0	0	0	7	67,080	5	20,540	11	14,430	1	4,810	3	4,550	1	1,430	6	7,800	0	0	2	2,080	36	122,720
医学医療系	0	0	14	303,564	3	111,930	4	66,040	41	213,070	136	209,840	4	23,400	48	80,294	3	3,770	46	72,227	0	0	5	5,316	304	1,089,451
図書館情報 学系	0	0	0	0	0	0	3	33,930	4	23,660	17	18,720	0	0	5	6,110	0	0	2	4,030	0	0	3	3,170	34	89,620
計算科学研究 センター	0	0	2	17,550	0	0	0	0	7	33,280	7	11,570	1	17,420	5	4,550	1	1,560	2	2,990	0	0	3	4,160	28	93,080
生命領域学際 研究センター	0	0	5	80,015	1	56,160	2	17,420	1	8,450	2	2,860	1	5,200	3	5,460	1	1,560	5	11,050	0	0	0	0	21	188,175
附属病院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5,460	2	3,250	0	0	14	23,790	1	1,430	2	1,950	0	0	0	0	20	35,880
国際統合睡眠医科学 研究機構	0	0	3	23,920	1	39,000	1	15,990	5	30,550	2	2,990	1	9,360	15	24,122	1	1,560	3	5,590	0	0	3	2,500	35	155,582
北アフリカ 研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,300	0	0	1	910	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2,210
グローバル教育院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,560	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	6,600	8	8,160
本部任用教員等	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5,200	1	2,333	0	0	2	3,380	0	0	0	0	0	0	0	0	4	10,913
合計	0	0	74	749,919	10	410,926	60	630,630	199	954,408	458	650,753	27	167,700	239	337,648	24	31,200	203	293,464	3	3,300	199	177,140	1,496	4,407,088

※ 転入・転出状況を反映した。
 ※ 奨励研究は除く。名譽教授等は元の所属部局に加算した。
 ※ 学長、副学長、名譽教授等はもとめて計上。(内訳：国際室(1)、国際産学連携本部(1)、高細精医療イノベーション研究コア(1)、グローバル・A・センター(1))
 ※ 本部任用教員等はもとめて計上。(内訳：国際室(1)、国際産学連携本部(1)、高細精医療イノベーション研究コア(1)、グローバル・A・センター(1))
 ※ 間接経費を含む。
 ※ 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)：4件、50,440千円(全研究期間分)の採択あり。(うち平成28年度の交付決定は0件)

イ 種目別採択状況

(金額の単位：千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
新学術領域研究(研究領域提案型)	24101001	人文社会系	教授	常木 晃	西アジア文明学の構築	8,320
	24101002	人文社会系	教授	常木 晃	西アジアにおける現生人類の拡散ルート—新仮説の検証—	5,460
	24101004	人文社会系	教授	三宅 裕	西アジア先史時代における工芸技術の研究	2,860
	24101005	生命環境系	教授	久田 健一郎	西アジア先史時代の石材供給に関する地質学	2,860
	24101007	人文社会系	教授	山田 重郎	古代西アジアの文字文化と社会—前2千年紀におけるユーフラテス中流域とハブル流域	1,690
	24101008	人文社会系	教授	池田 潤	周辺アッカド語文書に見る古代西アジアの言語・歴史・宗教に関する総合的研究	2,730
	24101009	人文社会系	准教授	柴田 大輔	バビロニア・アッシリアの「政治」と「宗教」—領土統治における神学構築と祭儀政策—	3,120
	24101010	生命環境系	准教授	丸岡 照幸	多元素同位体比分析による古代西アジアにおける古環境復元	4,030
	24101011	生命環境系	講師	安間 了	堆積物に記録される西アジアにおける第四紀環境変動の解読	5,720
	24101013	生命環境系	准教授	黒澤 正紀	西アジア古代遺跡の石器・土器の組成・微細組織データベース	650
	24101014	人文社会系	准教授	谷口 陽子	西アジア文化遺産の材質と保存状態に関する自然科学的研究	1,040
	24109006	数理物質系	教授	関口 章	高周期典型元素を基軸とする感応性開殻分子の創製と機能	10,270
	24110001	生命環境系	教授	恩田 裕一	福島原発事故により放出された放射性核種の環境動態に関する学際的研究：総括班	16,900
	24110006	生命環境系	教授	恩田 裕一	水・土砂移動に伴う放射性物質の移行過程の理解	24,180
	24114006	生命環境系	教授	佐藤 忍	植物の細胞機能や発生・分化における細胞壁多糖・糖タンパク質の機能の解明	16,770
	24115001		学長	永田 恭介	ウイルス感染現象における宿主細胞コンピテンシーの分子基盤	15,600
	24115002		学長	永田 恭介	マイナス鎖RNAウイルスの複製におけるウイルスと宿主の攻防	26,260
	25105007	数理物質系	教授	金 信弘	宇宙背景ニュートリノの崩壊探索に用いる超伝導赤外線検出器の開発	13,910
	25114001	生命領域学際研究センター	教授	小林 悟	動物における配偶子産生システムの制御	13,650
	25114002	生命領域学際研究センター	教授	小林 悟	ショウジョウバエPGCの形成を制御する遺伝子ネットワークの解明	43,810
26105011	数理物質系	准教授	小林 伸彦	有機半導体の活性サイトの理論	8,970	
26107004	数理物質系	教授	重田 育照	理論と実験の協奏的アプローチによる複合スピン励起子変換制御	15,210	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
新学術領域研究（研究領域提案型）	15H00723	数理工質系	教授	鍋島 達弥	発光性錯体を元素ブロックとする多機能性高分子の創製	3,380
	15H00830	数理工質系	教授	小沢 顕	新型飛行時間検出器によるNi同位体の質量測定	3,120
	15H00860	数理工質系	准教授	山本 洋平	共役炭素ナノ材料およびペプチド複合体による超広域光捕集系の構築	1,950
	15H00861	数理工質系	教授	小島 隆彦	遷移金属錯体及びポルフィリン超分子を用いたCO2光還元系の開発	1,950
	15H00914	数理工質系	教授	鍋島 達弥	構造ストレスの付与と解放を利用した多感応性機能分子の創製	2,600
	15H00915	数理工質系	教授	小島 隆彦	高原子価ルテニウム錯体の反応性の制御要因の解明	2,600
	15H00969	生命環境系	准教授	加藤 弘亮	森林に降下した放射性セシウムの初期遮断率の広域評価	3,900
	15H00970	生命環境系	助教	高橋 純子	間伐施業が森林生態系の放射性セシウムの循環に及ぼす影響の定量的評価	3,900
	15H00985	数理工質系	講師	山村 正樹	リン含有曲面分子の曲率制御を用いた多彩な π 共役集積体の造形	3,380
	15H00986	数理工質系	准教授	山本 洋平	π 電子球体の自己形成と新しい光エレクトロニクスの創出	3,640
	15H01079	数理工質系	講師	山村 正樹	マルチメタル正四面体型ホスト分子のゲストの対称性を反映した多段階光応答性	2,470
	15H01103	医学医療系	講師	大城 幸雄	CTとMRIを融合させる多元型変形可能な臓器手術シミュレーションソフトの開発研究	2,210
	15H01201	生命環境系	教授	稲葉 一男	繊毛外腕ダイニンによるカルシウム依存的屈曲制御と生体調節	4,420
	15H01308	生命環境系	教授	稲葉 一男	多機能運動装置ハプトネマが示す新規微小管系屈曲運動のメカニズム	4,940
	15H01343	医学医療系	准教授	村谷 匡史	癌特異的クリプティック遺伝子プロモーターの転写サイクルプロファイリング	5,720
	15H01365	医学医療系	教授	渋谷 彰	粘膜上皮ダイニングコードによる炎症応答制御機構の解明	4,680
	15H01392	医学医療系	教授	熊谷 嘉人	レドックスシグナル伝達の可逆性担保における活性イオウ分子の役割	2,860
	15H01425	医学医療系	教授	桜井 武	行動適応にかかわる覚醒システムの機能解明	422
	15H01504	医学医療系	教授	千葉 滋	エイジングに伴うエピゲノム変化に注目した造血幹細胞の前がん化機構	5,590
	15H01576	システム情報系	助教	川崎 真弘	コミュニケーション時の運動リズム同期から推定する発達障害と定型発達の関係性	5,850
15H05941	医学医療系	教授	松崎 一葉	想定外のストレス下での精神・自律神経系の恒常性維持機構の解明	15,080	
15H05942	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	長瀬 博	超ストレス環境・宇宙を見据えた新規睡眠覚醒制御手法の開発	16,640	
16H00738	システム情報系	助教	鬼頭 朋見	社会ネットワークの多様性と非均質性の創発原理に関するモデル化と実証	3,120	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
新学術領域研究（研究領域提案型）	16H00794	数理工物質系	教授	齋藤 一弥	球形分子会合体からなる液体の構造とガラス転移	2,990
	16H00821	数理工物質系	教授	石橋 孝章	全内部反射ラマン・振動SFG分光システム の構築と固液界面への応用	3,380
	16H00895	数理工物質系	准教授	近藤 剛弘	単層ボロンシートの合成	2,340
	16H00896	数理工物質系	教授	大塚 洋一	折りたたみグラフェンを利用した階段型磁場中の二次元電子系の電気伝導の研究	1,820
	16H00897	数理工物質系	准教授	神田 晶申	原子膜積層化により形成した超伝導システムの物性探索	3,640
	16H00898	数理工物質系	教授	岡田 晋	計算科学による原子層物質の新物性デザインとデバイス設計指針の提示	3,640
	16H00931	計算科学研究センター	教授	相川 祐理	星・惑星系形成過程における気相と固相の化学：天体構造の観測指標と物質進化	2,340
	16H00978	数理工物質系	准教授	野村 晋太郎	先端ナノプローブ分光測定によるトポロジカル物質の解明	2,600
	16H01002	数理工物質系	教授	市川 淳士	フッ素脱離過程を活用する炭素-フッ素結合の活性化	2,990
	16H01048	数理工物質系	教授	黒田 眞司	格子歪を介した単一スピンの機械的振動との結合	5,980
	16H01264	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	林 悠	レム睡眠の操作が可能なマウスを用いた睡眠の質が記憶に及ぼす影響の解明	4,160
	16H01457	生命環境系	准教授	寿崎 拓哉	窒素栄養環境に応じた全身的・根局所的な情報処理による共生器官形成機構	5,330
	16H01458	生命環境系	准教授	三浦 謙治	ヒストンSUMO化による転写調節機構の解明	5,330
	16H01459	生命環境系	准教授	ブザス ダイアナ・ミハエラ	The DNA elements of vernalization insensitive 3 gene for quantitative and priming epigenetic memory of cold	5,330
	16H01485	医学医療系	教授	桜井 武	新規神経ペプチド受容体NPBWR1の機能が共感性において果たす役割	2,493
	16H01603	医学医療系	教授	松本 正幸	嫌悪事象の検出と回避に関わる神経活動の発振現象	1,516
	16H01629	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	ラザルス ミハエル	低体温誘導の記憶へのリスクと可塑性	3,120
	16H01630	医学医療系	講師	三輪 佳宏	極限環境の生体影響非侵襲解析マウスモデル系の樹立	5,200
	16H01662	システム情報系	准教授	嵯峨 智	錯触覚を利用したタッチパネル型多自由度標準触覚デバイス	4,290
	16H01688	生命環境系	教授	深水 昭吉	生命素子による転写環境とエネルギー代謝のクロストーク	3,835
16H06400	医学医療系	教授	桜井 武	意志動力学（ウィルダイナミクス）の創成と推進	178,360	
16H06401	医学医療系	教授	桜井 武	動機付けおよび強化学習に関与する分子・神経基盤の解明	24,830	
16H06405	体育系	教授	征矢 英昭	意欲と身心パフォーマンスを共に育む次世代運動プログラム	13,910	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
新学術領域研究 (研究領域提案型)	16H06424	数理物質系	教授	上殿 明良	陽電子消滅による結晶特異構造のキャリア捕獲・散乱ダイナミクスの評価	10,660
	16H06476	生命環境系	准教授	氏家 恒太郎	スロー地震の地質学的描像と摩擦・水理特性の解明	40,560
	16H06521	数理物質系	准教授	所 裕子	アシンメトリック配位磁性化合物の創出	7,540
	16H06523	数理物質系	准教授	二瓶 雅之	非対称電子移動ユニットの集積による異方性電子機能の創出	21,840
	16H06567	医学医療系	教授	松本 正幸	報酬と注意の情報処理に関与するドーパミン神経回路機構	16,770
	15K21736	生命領域学際研究センター	教授	小林 悟	世界最先端の解析システムの構築による配偶子産生研究の国際展開	14,040
基盤研究(S)	24221003	医学医療系	客員教授	遠山 千春	微細形態解析による発達神経毒性メカニズムの解明	43,030
	25220103	医学医療系	教授	熊谷 嘉人	環境中親電子物質によるシグナル伝達変動とその制御に関する包括的研究	47,450
	25220203	数理物質系	教授	長崎 幸夫	活性酸素を制御するバイオマテリアルの構築	61,360
	26220207	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	柳沢 正史	フォワードジェネティクスで同定した新規睡眠制御遺伝子による睡眠覚醒制御機構の解明	39,000
	26221004	医学医療系	教授	高橋 智	生体の光学的な窓を利用した新規in vivoイメージング技術の開発	21,450
	15H05716	システム情報系	教授	稲垣 敏之	人の認知・判断の特性と限界を考慮した自動走行システムと法制度の設計	56,550
	15H05724	人間系	教授	小川 園子	社会性の形成・維持を司る神経内分泌機構の解明	42,770
	15H05734	数理物質系	教授	重川 秀実	フェムト秒時間分解STMによる光誘起ダイナミクスのナノスケール分光	47,320
	16H06382	生命環境系	教授	足立 泰久	フロクキュレーション解析に基づく環境界面工学の展開	49,660
	16H06387	医学医療系	教授	渋谷 彰	抑制性免疫受容体による自然免疫応答の制御機構の解明	56,160

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(A) 【一般】	25240012	図書館情報メディア系 教授	森嶋 厚行	データ中心型クラウドソーシングプラットフォームの高度化とその応用に関する研究	10,140	
	25240030	システム情報系 教授	岩田 洋夫	歩行移動インタフェースを用いた避難行動研究基盤の構築	7,670	
	25241020	生命環境系 教授	野村 暢彦	微生物シグナルを利用した微生物集団制御技術の科学的基盤確立に関する研究	9,100	
	25242029	システム情報系 教授	大澤 義明	老朽化する都市インフラの選択集中整備に関する理論・実証研究	7,280	
	25242061	体育系 教授	西保 岳	暑熱下運動時における熱中症発症の新メカニズム検証と新予防法の提案	8,190	
	25245082	人間系 教授	安藤 隆男	グローバル・スタンダードとしての特別支援教育の創成と貢献に関する総合的研究	4,940	
	25246010	数理物質系 教授	岡田 晋	ナノ炭素物質と無機半導体からなる複合構造におけるナノ界面物性の解明	9,750	
	25248014	数理物質系 教授	大塩 寛紀	光・電場に応答する多重機能的金属錯体の構築	6,370	
	25252008	生命環境系 教授	江面 浩	大規模変異体集団を利用したトマト重要形質の解析	10,400	
	25252062	生命環境系 教授	深水 昭吉	アルギニンメチル化酵素と栄養補給路の機能的ネットワークの解明	11,700	
	26242021	芸術系 准教授	松井 敏也	被災博物館等の汚染ガスからみた資料と環境の安定化およびその評価手法の研究	7,020	
	26242029	システム情報系 教授	伊藤 誠	スキルの維持向上に基づき能力限界と機能喪失に備える相補的ヒューマンマシンシステム	12,090	
	26242073	数理物質系 教授	木越 英夫	海洋天然物の誘導するタンパク質-タンパク質相互作用の解明	5,200	
	26244008	芸術系 教授	守屋 正彦	東アジア文化の基層としての儒教の視覚イメージに関する研究	6,500	
	26244026	人文社会系 教授	今井 新悟	コンピュータ自動採点日本語スピーキングテストの実用化と妥当性の検証	10,920	
	26245082	人間系 教授	磯田 正美	グローバル社会における未来構築型数学教育実現への国際先導研究	10,920	
	26245086	人間系 教授	竹田 一則	障害のある学生の修学支援における合理的配慮のあり方に関する学際的研究	4,550	
	26246001		名誉教授	磯谷 順一	ダイヤモンド中のNVセンターのナノ配列作製による数量子ビット量子レジスタの実現	7,150
	26247019	数理物質系 教授	中井 直正	大規模電波カメラによる「あかり」北極域の掃天観測	1,170	
	26247064	数理物質系 教授	初貝 安弘	トポロジカル相におけるバルク・エッジ対応の普遍性：固体物理から冷却原子まで	13,130	
26249073	システム情報系 准教授	谷口 綾子	健康に配慮した交通行動誘発のための学際的研究	13,780		
26249104	数理物質系 特命教授	宮崎 修一	チタン合金のマルチスケール組織の解明と実用材料開発	4,420		
26249141	数理物質系 教授	今井 剛	原型炉ECHに向けたマルチMWジャイロトロンの発振の研究	9,490		

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(A) 【一般】	15H01678	数理工質系	教授	青嶋 誠	大規模複雑データの理論と方法論の総合的研究	7,540
	15H01708	システム情報系	准教授	田中 文英	子どもと高齢者の教育的コミュニケーションを支援するロボットインタフェース	4,550
	15H01758	芸術系	特命教授	逢坂 卓郎	地域資源を基盤とする創造的復興とレジリエンス力強化に関する実践研究	8,710
	15H01825	体育系	教授	高木 英樹	体工連携によるスポーツ科学イノベーション革新的な用具・コーチング法の開発	5,460
	15H01828	体育系	教授	征矢 英昭	身心の活力を増進する最適運動条件の橋渡し研究：意欲と認知をとともに高める脳機構	10,270
	15H01859	生命環境系	教授	松井 圭介	世界遺産の創造と場所の商品化に関わる理論的・実証的研究	5,980
	15H01874	芸術系	教授	五十殿 利治	大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究	15,080
	15H01986	大学研究センター	特命教授	金子 元久	大学組織の構造・機能とその変容可能性	6,240
	15H01996	数理工質系	教授	門脇 和男	固有ジョセフソン接合によるテラヘルツ発振デバイスの高機能化と応用開拓	14,820
	15H02023	数理工質系	准教授	武内 修	有機光電変換デバイスの微視的評価法の確立	14,430
	15H02195	数理工質系	教授	藤田 淳一	超高感度局在場可視化技術創出による触媒機能発現機構解明と高機能触媒の開発	12,220
	15H02237	数理工質系	教授	末益 崇	結晶Siタンデム型太陽電池に向けたSi系ワイドギャップ新材料の探索	8,450
	15H02281	芸術系	教授	花里 俊廣	課題解決能力・支払能力・公的支援策を考慮したマンション建替え可能性の評価方法	12,350
	15H02340	数理工質系	准教授	笹 公和	多種の長寿命放射性核種を超高感度で検出可能な加速器質量分析法の開発	12,090
	15H02487	生命環境系	教授	高谷 直樹	しつこく生えるカビの環境耐性と適応の分子機構	5,720
	15H02503	医学医療系	教授	金保 安則	新規抗癌剤開発に向けた腫瘍血管新生・癌転移阻害ペプチドの創成	14,820
	15H02541	医学医療系	教授	島野 仁	Elov16による脂肪酸の質的変容が起こす多臓器代謝病態と脳行動異常のメカニズム	12,480
	16H01754	図書館情報メディア系	教授	杉本 重雄	デジタルアーカイブ間の複合的・横断的連携によるコンテンツの利活用性高度化の研究	16,640
	16H01833	ビジネスサイエンス系	教授	山田 雄二	電力市場活性化のための需給予測型取引戦略とリアルタイム取引実験環境の構築	7,800
	16H01842	システム情報系	准教授	庄司 学	強震動と液化化の複合作用を受けるライフラインネットワークの被害推定システムの開発	7,540
16H01881	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	裏出 良博	プロスタグランジンD2による脳機能と炎症反応の相互作用機構の解明	15,990	
16H01948	人文社会系	教授	山田 重郎	文献学・考古学の協働による紀元前18～8世紀の上メソポタミアの歴史研究	12,740	
16H01996	人文社会系	教授	辻中 豊	日本とアジアにおけるローカルガバナンス(国家・市民社会関係)の比較実証研究	6,890	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(A) 【一般】	16H02053	人間系	教授	原田 悦子	高齢者の学習：認知的制御、感情、動機づけを考慮した学習機種の解明と支援の検討	11,180
	16H02081	数理物質系	准教授	山本 洋平	光機能性ポリマー球体の高次連結による光学メタマテリアルの開発	11,440
	16H02318	システム情報系	教授	藪野 浩司	非線形モード局在型マイクロレゾネータアレイによる超微小質量計測とバイオセンシング	39,910
	16H02463		名誉教授	林 純一	マウスmtDNAと未知細胞質因子起因のミトコンドリア・老化関連疾患発症機構解明	14,560
	16H02530	生命環境系	教授	大澤 良	アレルギー欠失・低減化ソバ育成を目指した食品化学・臨床医学・育種学融合研究	14,170
	16H02572	生命環境系	教授	納口 るり子	実践的農業経営学の構築—技術導入と人的組織形成の視点から—	17,420
	16H02574	生命環境系	教授	足立 泰久	土壌および水環境におけるコロイド界面現象に関する工学展開	125
	16H02624	医学医療系	教授	渋谷 彰	抑制性免疫受容体による自然免疫応答の制御機構の解明	0
	16H02660	医学医療系	教授	千葉 滋	血管免疫芽球性T細胞リンパ腫の病態解明と診断・治療法開発をめざす統合的アプローチ	20,280
	16H02693	医学医療系	教授	川口 孝泰	在宅医療を支える遠隔看護技術の実用化に向けたプロトタイプ提案	18,460
基盤研究(A) 【海外】	24251013	人文社会系	教授	三宅 裕	西アジアにおける初期定住集落の研究	6,500
	25257303	芸術系	准教授	松井 敏也	アンコール遺跡群における砂岩浮き彫りの包括的な保存修復に関する研究	9,490
	25257416	生命環境系	教授	渡邊 和男	辺境少数民族地帯での植物利用及び伝統知の遺存と地域発展活動や国際経済の影響評価	4,680
	15H02636	芸術系	教授	上北 恭史	伝統的生産システムによる保存手法の研究—熱帯地域木造建造物保存の国際共同研究	7,930
基盤研究(B) 【一般】	25280056	システム情報系	特命教授	大田 友一	大規模空間を対象とする人物ビルボードを用いた任意視点映像生成提示方式の高画質化	3,120
	25280114	ビジネスサイエンス系	教授	吉田 健一	通販のための学習不要型不正取引検知技術の研究	3,770
	25282185	体育系	准教授	長谷川 悦示	e-Learningによる体育授業評価システムと授業実践研究ネットワークの構築	2,340
	25282189	体育系	教授	中込 四郎	臨床スポーツ心理学の展開	3,120
	25282203	医学医療系	准教授	中田 由夫	減量後の体重維持に対するweb支援の効果検証	2,080
	25284010	人文社会系	教授	佐久間 秀範	スティラマティ(安慧・堅慧)の思想の総合的研究	4,030
	25284092	人文社会系	教授	酒井 たか子	多言語背景の児童を対象とした多層分岐適応型日本語力診断オンラインテストの開発	2,860
	25285026	ビジネスサイエンス系	教授	弥永 真生	中小企業の会計とその適正性の確保	3,900
	25285242	人間系	教授	井田 仁康	地理、歴史、公民を関連させた社会科としてのESD実践の構築と発信に関する研究	4,810

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(B) 【一般】	25287048		副学長	三明 康郎	粒子・ジェット方位角相関測定によるグルーオン衝撃波の探索	2,860
	25289002	システム情報系	教授	河井 昌道	一般化非相似形等寿命線図法と多軸疲労寿命予測法の開発・検証に関する基礎研究	2,080
	25292019	生命環境系	教授	菅谷 純子	温帯落葉果樹休眠芽の代謝制御—低温シグナルの機能に関する研究	2,860
	25292080	生命環境系	准教授	山路 恵子	放射性核種が樹木実生の重金属ストレス耐性に与える影響評価	3,250
	25293353	医学医療系	教授	大鹿 哲郎	ドップラー補償光学型および偏光感受型光干渉断層計による三次元光バイオプシーの開発	2,470
	26280018	システム情報系	准教授	追川 修一	不揮発性メインメモリのオペレーティングシステムサポート	2,730
	26280027	システム情報系	教授	李 頌	クラウド環境における異種ネットワークの管理・評価・情報サービスイノベーション	3,380
	26280037	システム情報系	教授	北川 博之	複合型並列計算環境を活用した大規模不均質データの実時間分析基盤	4,940
	26280047	システム情報系	教授	酒井 宏	図地の知覚と皮質におけるその群表現 --- 自然光景の理解に向けて	4,420
	26280068	システム情報系	准教授	志築 文太郎	能動的な音響計測に基づくタッチインタフェース技術	5,460
	26280111	システム情報系	教授	宇津呂 武仁	ウェブ検索における情報要求観点の言語間比較・対照分析システムの研究	4,940
	26280117	図書館情報メディア系	教授	水嶋 英治	21世紀図書館情報専門職養成研究基盤アーカイブ構築：図書館情報専門職の再検討	4,940
	26280118		副学長	中山 伸一	検索メディアと思考パターンに関する検索語生成過程の脳活動データ解析	5,070
	26281039	生命環境系	教授	福島 武彦	ポリミクティックな湖沼での底質中物質動態の高解像度観測、モデル化と浄化対策	3,770
	26282076	生命環境系	教授	松岡 憲知	山岳地形変動システムの統一的理解—欧州アルプスと日本アルプスの比較研究—	3,380
	26282117	数理物質系	准教授	加納 英明	アルツハイマー病早期診断に向けたコヒーレント・ラマン水晶体イメージング法の開発	2,860
	26282170	体育系	教授	岡出 美則	21世紀型能力を踏まえた体育の学力概念の検討	3,900
	26282172	体育系	教授	阿江 通良	標準動作による動作の改善および学習者の類型化に関するバイオメカニクス的研究	3,770
	26282181	体育系	教授	前田 清司	睡眠障害が競技パフォーマンスを低下させる機序の解明とその改善法の開発	3,640
	26282191	医学医療系	教授	正田 純一	遺伝子レスキューマウスの解析によるNASHを制御する組織・細胞Nrf2の役割解明	3,770
26282192	体育系	教授	田中 喜代次	介護予防教室終了後の運動継続に対する郵送支援の有効性	2,860	
26284029	人文社会系	准教授	江藤 光紀	公共圏における劇場の役割—ドイツの選択、日本の針路	2,990	
26284051	人文社会系	准教授	平石 典子	日本現代文学・文化の世界展開の比較文学的研究—〈ポップ〉なテキストを中心に	3,380	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(B) 【一般】	26284129	生命環境系	教授	村山 祐司	アジア・アフリカの首都圏における土地利用変化の空間可視化と将来予測	3,380
	26285037		名誉教授	波多野 澄雄	サンフランシスコ講和体制の再検討	4,680
	26285095	ビジネスサイエンス系	教授	佐藤 忠彦	市場反応形成メカニズム解明のための体系的な研究	3,900
	26285130	医学医療系	教授	安梅 勅江	全国コホートによる虐待等不適切な養育環境への根拠に基づく早期支援プログラム開発	2,600
	26285161	人間系	教授	Pavlidis C	Mechanisms of memory consolidation in sleep	3,770
	26285171	ビジネスサイエンス系	准教授	田中 正弘	学生参画による質保証の国際比較—学生との対話を反映した大学教育の質の向上—	3,250
	26285195	人間系	准教授	唐木 清志	現代社会の課題を考察する見方や考え方を身に付けさせる公民教育カリキュラムの再構築	4,420
	26285196	人文社会系	教授	矢澤 真人	作文を支援する語彙・文法的事項に関する研究	1,820
	26285208	人間系	教授	原島 恒夫	インクルーシブ時代および高度医療時代における聴覚障害教育の在り方に関する研究	2,080
	26286011	数理工学系	教授	佐々木 正洋	有機半導体のドーピングにおける分子レベル構造変化と電子物性改質の相関	2,470
	26287001	数理工学系	教授	宮本 雅彦	頂点作用素代数の研究と軌道理論の応用	4,420
	26287124	生命環境系	准教授	氏家 恒太郎	炭質物ラマンスペクトルを用いた断層における摩擦発熱温度指標の構築	1,170
	26288021	数理工学系	准教授	二瓶 雅之	指向性情報・エネルギー伝達システムの構築	4,160
	26288031	数理工学系	教授	齋藤 一弥	擬二成分描像に基づくサーモトロピック液晶の構造とダイナミクスの研究	2,860
	26288085	生命環境系	教授	中島 敏明	プラスチック分解酵素のポリマー分解機構の解明と機能強化	4,030
	26289058	システム情報系	准教授	鈴木 健嗣	随意的な姿勢変換を支援するソフトロボットアシスト技術の基盤化	4,290
	26289114	システム情報系	教授	安永 守利	共鳴増幅配線による低損失伝送線の開発	3,770
	26289150	システム情報系	教授	松島 亘志	高圧下における地盤材料の圧縮、せん断と固化のマイクロメカニクス	2,210
	26289159	生命環境系	教授	浅沼 順	広域観測データを用いた陸面データ同化実験	2,730
	26289170	システム情報系	教授	谷口 守	成人病化する都市の救命学：その診断・予防・リハビリシステムの体系的構築	3,900
26289171	システム情報系	教授	石田 東生	交通関連調査体系の再構築と政策評価への展開	4,160	
26289188	システム情報系	准教授	金久保 利之	配向性を考慮したHPFRCCの繊維架橋則の構築と構造性能の評価	3,380	
26289220	芸術系	教授	稲葉 信子	文化と景観およびその保護手法の研究—人の居住と生産に関する文化的景観の評価と保存	4,030	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(B) 【一般】	26289352	数理物質系	教授	坂本 瑞樹	照射損傷タングステンの水素吸蔵とその低減法の開発	2,470
	26290028	医学医療系	教授	八神 健一	胚着床に関連するExoc1遺伝子の機能解析	4,030
	26292077	生命環境系	准教授	堀田 紀文	流域土砂貯留量の変化に着目した深層崩壊の評価手法の開発	2,340
	26292189	生命環境系	教授	谷本 啓司	エピゲノム情報修復システムとしての受精後刷り込みメチル化機構の役割	4,290
	26293051	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	有竹 浩介	プロスタグランジンD2情報伝達制御による筋ジストロフィーの進行抑制法の確立	2,210
	26293123	医学医療系	准教授	古川 宏	抗リウマチ薬による有害事象に関わる遺伝要因と発症機序の解明	4,290
	26293272	医学医療系	准教授	福光 延吉	病院併設型中性子捕捉療法を用いた難治性癌克服の研究	9,230
	26293284	医学医療系	教授	鬼澤 浩司郎	Nrf2は歯周病菌による自然免疫活性を制御し、肥満性肝疾患の発症と進展を予防する	3,770
	26293296	医学医療系	教授	大河内 信弘	経口血小板増多剤による肝硬変に対する新規肝再生、線維化改善及び発癌予防法の確立	3,900
	26293297	医学医療系	講師	石毛 和紀	遺伝子レスキューマウス解析による肥満肝発癌を制御する組織・細胞Nrf2の役割解明	3,770
	26293320		副学長	松村 明	病院内加速器中性子捕捉療法確立のための基礎的・臨床的研究	4,550
	26293349	医学医療系	教授	西山 博之	多系統動物モデルを用いた尿路上皮癌の発癌進展における腫瘍微小環境の解明	3,900
	26293383	医学医療系	研究員	本多 伸一郎	IgM受容体を標的とした新規敗血症治療法の開発	4,680
	15H02674	システム情報系	准教授	山際 伸一	データストリーム伝送路におけるロスレス圧縮技術の開発	3,640
	15H02733	システム情報系	准教授	矢野 博明	バーチャルモデルとの協調歩行に関する研究	2,210
	15H02744	システム情報系	教授	山本 幹雄	統計的機械翻訳における翻訳・言語モデルの高速かつコンパクトな実装方法に関する研究	5,070
	15H02765	医学医療系	講師	首藤 文洋	感性を通して直感的に「惹かれる」物に対する行動選択思考メカニズムの脳機能的解明	3,510
	15H02840	生命環境系	准教授	清水 和哉	藍藻産生毒素分解菌の分子育種株を用いた新規水環境修復技術の開発	1,495
	15H02859	生命環境系	准教授	楊 英男	海洋微細藻類からのエネルギー回収を目指した太陽光利用型光触媒システムに関する研究	4,810
	15H02957	生命環境系	准教授	山中 勤	同位体トレーサーと数値モデルの複合利用による山岳流域水収支評価の高精度化	7,800
15H02966	システム情報系	教授	吉瀬 章子	錐最適化技術の実社会における利活用を加速させる基礎理論の整備と深化	2,730	
15H03069	体育系	教授	本田 靖	簡易暑熱順化トレーニング法開発とその実用化にむけたコベネフィット評価	4,420	
15H03070	体育系	准教授	小池 関也	駆動源の出力様式を考慮した走・打・投動作の動力学的な生成メカニズムの解明	4,160	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費
		所属部局・職	氏名		
基盤研究(B) 【一般】	15H03091		名誉教授 目崎 登	運動や食事による性ステロイドホルモンの増加が動脈硬化改善効果に貢献する機序の解明	4,810
	15H03092	医学医療系	准教授 矢作 直也	エネルギー代謝制御を担う核内情報処理機構の解明と生活習慣病治療への応用	4,680
	15H03093	医学医療系	准教授 松坂 賢	生活習慣病予防における脂肪酸組成制御の有用性の解明と健康科学への応用	4,680
	15H03122	医学医療系	教授 桜井 武	ストレスや不安が過覚醒をうむ神経科学的機構の解明	5,590
	15H03146	システム情報系	教授 岡本 直久	複数の観光交通データの融合的活用方法の開発と政策評価への展開	4,420
	15H03150		名誉教授 谷川 多佳子	中世後期から近世初期までの〈メディタチオ〉に関する国際協働による哲学史的総合研究	2,990
	15H03173	芸術系	教授 中村 義孝	日伊の交流を通じた蠟型ブロンズ彫刻の新しい表現の研究	2,990
	15H03214	人文社会系	教授 加納 千恵子	日本語の漢字力評価の方法に関する研究	3,640
	15H03274	生命環境系	教授 呉羽 正昭	日本におけるインバウンド・ツーリズムの発展に関する地理学的研究	5,980
	15H03280	人文社会系	教授 前川 啓治	下からの地域開発の実践—フットパスと農村民泊による展開	2,990
	15H03327	システム情報系	助教 栗野 盛光	肝臓・肺生体交換移植ネットワークの構築	5,590
	15H03333	システム情報系	教授 金澤 雄一郎	合理的に行動する生産者と非合理的な消費者パラダイムの実証産業組織論における検証	2,600
	15H03373	ビジネスサイエンス系	教授 大野 忠士	流動性指標の時系列分析：企業倒産に影響を及ぼす金融経済指標間の因果関係解明	2,730
	15H03426	人間系	教授 小澤 温	ケアマネジメントにおける意思決定支援プログラム開発と評価に関する研究	2,990
	15H03454	体育系	教授 坂入 洋右	心のダイアグラムを活用した自己調整による“身心”の機能の最適化	5,720
	15H03470	人文社会系	教授 桑原 直巳	カトリック系人文主義教育と日本—イエズス会を中心に—	4,160
	15H03493		名誉教授 長洲 南海男	教科と内容構成新ビジョンの解明—米国・欧州STEM・リテラシー教育との比較より	5,720
	15H03509	人間系	准教授 佐島 毅	盲幼児・児童の発達段階に応じた教材・教具の開発と指導モデルの構築	4,420
	15H03638	数理物質系	教授 梅村 雅之	一般相対論的輻射流体によるブラックホール超臨界降着流と超大質量星の研究	1,560
	15H03650	数理物質系	准教授 石塚 成人	格子QCDによる K中間子崩壊の直接的CP非保存パラメータの決定	4,550
15H03651	数理物質系	教授 藏増 嘉伸	テンソルネットワーク形式による格子ゲージ理論の研究	6,240	
15H03673	数理物質系	准教授 野村 晋太郎	ヘリカルTHz波による二次元電子系局所励起効果の解明	2,990	
15H03674	数理物質系	教授 矢花 一浩	第一原理計算に基づく極限パルス光と物質の相互作用の解明	4,290	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(B) 【一般】	15H03925	システム情報系	教授	阿部 豊	静電場・超音波ハイブリット浮遊法を用いた非接触無容器プロセス制御技術の開発	5,460
	15H03966	数理物質系	准教授	柳原 英人	人工磁壁における非線形電気磁気効果の観測	5,460
	15H03983	数理物質系	教授	佐野 伸行	単原子層FETデバイスにおける電子間クーロン相互作用と室温動作特性の予測	6,240
	15H04054	システム情報系	教授	堤 盛人	空間的自己相関を考慮した地域間フローの計量分析と空間詳細化	5,850
	15H04249	システム情報系	教授	石田 政義	固体酸化物形燃料電池の大容量化に資する電気絶縁信頼性向上	6,890
	15H04281	医学医療系	講師	三輪 佳宏	マウス高度非侵襲イメージングシステムの開発と応用	4,030
	15H04406	生命環境系	教授	橋本 哲男	新型分割イントロンのスプライシング機構と進化多様性の解明	7,150
	15H04411	生命環境系	教授	石田 健一郎	クロララクニオン藻成立に至る宿主ケルコゾアの進化	7,280
	15H04506	生命環境系	教授	山岡 裕一	Ash dieback病原菌の起源地周辺での生態、多様性と移入病原菌リスク評価	6,630
	15H04507	生命環境系	教授	上條 隆志	火山島の荒廃地における自生種を用いた緑化に関する生態学的基礎研究	2,600
	15H04560	生命環境系	教授	加藤 衛弘	東北型社会の特質に関する史的研究：地域資源の開発・管理・利用との関係を重視して	2,340
	15H04563	生命環境系	准教授	小林 幹佳	土壌・水環境技術の高度化に資する農業工学とコロイド化学の融合域における課題の解明	3,640
	15H04569	生命環境系	教授	青柳 秀紀	ナノバブルによるプロトプラスト機能の活性化と有用物質の高速生産システムの開発	5,070
	15H04795	医学医療系	教授	井上 貴昭	救命センターにおける多剤耐性アシネトバクターバウマニ感染経路の解明	2,340
	15H04827	医学医療系	教授	檜澤 伸之	ゲノム情報に基づく難治性気道疾患のエンドタイプの解明に向けた基盤研究	5,070
	15H04862	医学医療系	講師	田原 聡子	アレルギー抑制性受容体アラジン-1のリガンド同定とその機能解明	8,450
	15H04885	医学医療系	教授	藤本 学	皮膚筋炎におけるB細胞と自己抗体の病態関与メカニズムの解明	5,980
	15H04901	医学医療系	教授	櫻井 英幸	次世代型マルチ粒子線治療の臨床応用のための基盤研究	5,460
	15H04917	医学医療系	准教授	柳川 徹	Nrf2-p62ダブルノックアウトを用いたオートファジー異常による肝発癌の解析	5,590
	15H04924	医学医療系	教授	小田 竜也	iCAF：iPS由来の癌線維芽細胞による膵癌幹細胞、間質幹細胞の糖鎖標的探索	6,370
15H04947	附属病院	病院講師	高野 晋吾	神経血管ワイアリング分子を標的とした脳腫瘍の血管新生抑制療法	5,460	
15H05038	医学医療系	教授	武川 寛樹	口腔がん関連microRNAの総合的機能解析と新規治療法の探索	4,940	
15H05077	医学医療系	教授	水野 道代	ウェブサイトを用いた自己管理支援ががん体験者のQOL及び心理的安寧に与える効果	3,380	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(B) 【一般】	16H02805	システム情報系	准教授	新城 靖	インターネットにおける利用者協調による利用者追跡防止	3,250
	16H02842	システム情報系	教授	福井 和広	一般化差分部分空間に基づく特徴抽出の完全解明と機能強化	7,150
	16H02864	システム情報系	准教授	佐久間 淳	機械学習における統計的安全性の理論	5,070
	16H02904	図書館情報メディア系	教授	佐藤 哲司	ソーシャルキャピタルの成長とユーザの情報行動との相互作用に関する研究	8,840
	16H02913	図書館情報メディア系	助教	関 洋平	ソーシャルメディアにおける市民意見を活用したシティプロモーション	4,810
	16H02967	生命環境系	教授	濱 健夫	海洋バクテリアの長期炭素隔離機能に対する海洋酸性化の影響評価	11,050
	16H02991	システム情報系	教授	吉野 邦彦	超多重分光画像を用いた釧路湿原の生物多様性ホットスポット植物群落分類	7,150
	16H03013	芸術系	准教授	橋本 剛	地域の気候と災害の特性に適応した伝統民家・集落の熱環境デザイン手法	4,030
	16H03111	生命環境系	教授	辻村 真貴	マルチ・トレーサーと数値モデルによる山地源流域の地下水滞留時間時空間動態の解明	6,890
	16H03118	システム情報系	教授	繁野 麻衣子	ネットワーク上の時間軸をもった最適化問題とその応用	2,340
	16H03200	システム情報系	准教授	井澤 淳	3次元機能回復モデル規範型リハビリシステムの開発による麻痺手使用機会の向上	8,580
	16H03223	体育系	教授	酒井 利信	日欧連携による教育としての武道に関する国際研究	4,810
	16H03229	体育系	教授	齋藤 健司	Lex Olympicaの体系と影響に関する研究	5,200
	16H03245	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	佐藤 誠	勤労世代のメンタルヘルスの危険因子としての睡眠様態とその遺伝的要因の探索	6,760
	16H03253	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	中川 嘉	腸肝循環から始まる栄養代謝と炎症による複合炎症を対象とした生活習慣病の解析	3,770
	16H03254	体育系	教授	徳山 薫平	運動が生体リズムと時計遺伝子発現に及ぼす影響	9,750
	16H03255	医学医療系	教授	久賀 圭祐	運動はNrf2を活性化し組織障害因子TWEAKに誘発される肥満肝疾患を改善する	7,930
	16H03269	医学医療系	教授	野口 恵美子	出生コホート研究によるアレルギー疾患の遺伝環境要因の解明	7,410
	16H03301	医学医療系	教授	設楽 宗孝	行動決定における報酬価値の脳内分散表現メカニズム	8,190
	16H03329	人文社会系	教授	山中 弘	ツーリズムにおける「スピリチュアル・マーケット」の展開の比較研究	3,640
16H03385	人文社会系	准教授	近本 謙介	唱導文献に基づく法会の総合的研究—寺院聖教調査の統合と復元的研究への展開—	5,590	
16H03392	人文社会系	准教授	吉原 ゆかり	1945年を跨境して—アジアにおける英米文学教育のジオポリティックス	4,550	
16H03428	人文社会系	准教授	島田 雅晴	Mirativityにおける「焦点」と「評価」の役割：日英語からのアプローチ	2,210	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(B) 【一般】	16H03439	人文社会系	教授	卯城 祐司	英文理解における5つの状況的次元の更新プロセス：視線計測を用いたアプローチ	10,790
	16H03791	人間系	教授	藤田 晃之	キャリア教育のアウトカム評価指標の開発に関する調査研究	2,990
	16H03792	人間系	教授	清水 美憲	学校数学における次世代型プロセススタンダードの開発	6,890
	16H03808	人間系	教授	園山 繁樹	選択性緘黙児童生徒の多様な状態像の解明と個に応じた支援方法の検討	7,280
	16H03823	数理工学系	准教授	近藤 剛弘	ホウ素を基盤とした新規2次元化合物の創成	7,930
	16H03839	数理工学系	教授	木塚 徳志	原子直視法による自由空間1nm級配線法の開発	2,730
	16H03865	計算科学研究センター	准教授	小野 倫也	大規模第一原理スピン輸送シミュレーターの開発と革新的デバイス用界面構造の設計	4,290
	16H04105	数理工学系	教授	市川 淳士	ピンポイントフッ素化した多環式芳香族化合物の系統的合成と機能開発	9,100
	16H04212	数理工学系	准教授	鈴木 義和	自発的マイクロ球体化現象を用いた新奇多孔質球状粒子の合成と徐放性キャリアへの応用	6,630
	16H04326	数理工学系	准教授	矢野 裕司	低損失p型SiC超接合パワーMOSFETの基盤技術開発	4,030
	16H04469	芸術系	教授	野中 勝利	近代の城下町都市における文化的景観形成の思想と計画技術	1,690
	16H04483	芸術系	教授	上北 恭史	ウクライナ木造教会堂群保存手法の構築－日欧校倉造修理工法の比較議論を通して	7,800
	16H04514	数理工学系	教授	金 ヘヨン	Zr合金のマルテンサイト変態の材料学的基礎の確立と新規生体用形状記憶合金の開発	11,700
	16H04678	生命環境系	教授	中田 和人	ミトコンドリアゲノム変異のマウス逆遺伝学	5,980
	16H04740	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	L i u Q i n g h u a	RNA干渉におけるRISC形成への核内転写因子の関与	7,150
	16H04792	生命環境系	准教授	丹羽 隆介	栄養状態に応じて個体発生と行動を制御する神経基盤の研究	5,330
	16H04801	生命環境系	教授	佐藤 忍	多年生植物の有する維管束を介した新規冬季環境適応機構の解明	4,550
	16H04815	生命環境系	教授	笹倉 靖徳	動物の変態において、形態と行動の変化を調和させるメカニズムの解明	6,500
	16H04825	生命環境系	教授	町田 龍一郎	昆虫類頭部内骨格の比較発生学的検討－昆虫類基部分岐の系統的再構築－	8,450
	16H04826	生命環境系	准教授	稲垣 祐司	渦鞭毛藻細胞内に発見された新たな共生体痕跡核ゲノムの解読	7,410
16H04895	生命環境系	教授	中村 顕	"A Sweet and Calorie-free Bacillus!": Production of L-glucose in B. subtilis	9,360	
16H04985	生命環境系	准教授	氏家 清和	食品の公共財的属性に対する消費者選好の適正な評価手法についての研究	1,430	
16H05008	システム情報系	教授	水谷 孝一	ネットワーク化された個別見守りによる豚の呼吸器感染症拡散防止システム	7,540	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(B) 【一般】	16H05045	医学医療系	教授	青沼 和隆	自然発症心室性不整脈突然死モデルマウスの分子生理学的機序の解明とその臨床応用	8,580
	16H05060	システム情報系	准教授	村上 暁信	量から質へのシフトを実現するための緑地の計画制度・設計手法・運用方法の研究	6,110
	16H05098	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	長瀬 博	新規オレキシンリガンドの創出と薬理作用の解明	10,660
	16H05169	医学医療系	准教授	渋谷 和子	炎症性腸疾患に対する分子標的療法の基盤開発	6,890
	16H05180	医学医療系	助教	H o K i o n g	Mechanism of mRNA Recapping pathway in Trypanosome	4,420
	16H05192	医学医療系	助教	川口 敦史	気道上皮細胞特異的なインフルエンザ感染に対する炎症応答	5,850
	16H05220	医学医療系	講師	酒井 俊	肺高血圧進展におけるプロリン異性化酵素Pin1の役割解明と新規治療法の開発	8,060
	16H05236	医学医療系	准教授	熊田 博明	BNCT照射中の患者の動きに追従してリアルタイム線量評価を行うシステムの開発	4,940
	16H05350	医学医療系	助教	小田 ちぐさ	常在菌一制御性T細胞による小児アレルギー疾患の制御メカニズムの解明	7,410
	16H05387	医学医療系	教授	坪井 康次	DNA損傷と細胞死応答に基づく「がん陽子線・複合免疫療法」の開発	6,630

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費
		所属部局・職	氏名		
【海外学術調査】	26300032		名誉教授 田林 明	カナダにおける農村空間の商品化による都市-農村共生システム構築の実証的研究	3,770
	26301030	人文社会系	教授 田中 洋子	ドイツにおける仕事とケアの調整政策の研究	2,210
	26302009	生命環境系	教授 角替 敏昭	原生代ゴンドワナ衝突帯にみられる太古代地殻断片の岩石学的解析	2,470
	26304001	生命環境系	教授 田村 憲司	アジア半乾燥地における土壌中の環境汚染物質の動態と将来予測	3,640
	26304002	国際室	特命教授 杉浦 則夫	マレーシア汚濁淡水源におけるエコゲノミクスを用いた浄水処理障害微生物の実態調査	5,200
	15H05111	生命環境系	准教授 廣田 充	チベット高原における温暖化にともなう有機物分解促進メカニズムの解明	3,250
	15H05198	人間系	教授 嶺井 明子	ロシア及びCIS諸国における教育改革と教師教育の現代化に関する総合的調査研究	6,240
	15H05231	生命環境系	教授 橋本 哲男	嫌気環境に生育する真核微生物の多様性の解明	6,760
	15H05294	医学医療系	講師 河野 了	Exploration of the role of environmental chemical (arsenic) in the development of diabetes and the related metabolic disorders for South Asian Countries	5,590
	15H05296	医学医療系	教授 我妻 ゆき子	バングラデシュの妊婦へのプロバイオティクス経口投与による出生体重と乳児成長の効果	5,460
	16H05655	数理物質系	准教授 北 将樹	カリブ海地域の固有・希少野生生物の生態化学的調査	5,850
	16H05701	人間系	准教授 LAMI CHHANE KAMAL	ネパール大地震の社会的インパクトとレジリエンス強化のための革新的支援法	4,420
	16H05726	人間系	教授 窪田 眞二	国際バカロレアに対応する教員養成の国際比較研究	4,290
	16H05778	生命環境系	教授 河瀬 眞琴	東南アジア山地の植物遺伝資源探索と農民の権利	5,590
16H05787	生命環境系	助教 安立 美奈子	熱帯乾燥季節林の水分ストレスと火災が炭素循環に与える影響評価と森林再生への対策	1,062	
【特設分野研究】	26310101	医学医療系	教授 田宮 菜奈子	満足できる人生の幕引きのために-根拠に基づく医療介護整備への学際的実証研究	5,460
	26310303	生命環境系	教授 高谷 直樹	土壌腐植の恒常性を支える微生物の代謝と生態	4,940
	15KT0074	生命環境系	教授 和田 洋	転写制御ネットワークの頑健性と柔軟性、相転移の実験的検証	4,940
	16KT0048	数理物質系	教授 山本 泰彦	水分子によるヘム核酸複合体の酸化触媒作用調節機構の解明と機能設計への応用	7,540
	16KT0117	医学医療系	助教 宮寺 浩子	HLA提示抗原ペプチドのカタログ化	5,980

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	24520270	人文社会系	教授	鷺津 浩子	〈知識の枠組み〉と南北戦争前アメリカ散文—〈ライフ〉をめぐる知識史	1,300
	24540248	数理物質系	助教	佐藤 勇二	重力/ゲージ理論双対性の可積分構造に基づいたグルーオン散乱振幅の研究	910
	24592541	医学医療系	講師	田淵 経司	蝸牛発生、機能維持、蝸牛障害におけるセラミド、スフィンゴ脂質の影響の検討	910
	24593285	医学医療系	准教授	柴山 大賀	Common sense modelに基づく糖尿病自己管理教育プログラムの開発	780
	25330141	図書館情報メディア系	教授	長谷川 秀彦	高精度演算の併用によるクリロフ部分空間法アルゴリズムの収束改善と高速化	780
	25330380	図書館情報メディア系	教授	平久江 祐司	デジタル社会における司書教諭・学校司書の研修制度に関する総合的研究	1,170
	25330394	人文社会系	准教授	海後 宗男	自治体の防災と市民社会活性化のためのSNSの効果的運用方法の開発	910
	25370157	芸術系	准教授	大原 央聡	欧州の木彫表現についての研究、および日本の木彫表現との比較	780
	25370266	人文社会系	准教授	馬籠 清子	20世紀半ばのカルテットの世界観の分析	650
	25370422	人文社会系	准教授	渡邊 淳也	フランス語および日本語におけるモダリティの発展的研究	520
	25381165	人間系	准教授	蒔苗 直道	戦後教育改革期における数学教育の単元学習に対する再構成運動の影響に関する研究	1,430
	25381293	人間系	准教授	米田 宏樹	知的・発達障害者のソーシャルインクルージョンを実現するカリキュラムモデルの構築	1,170
	25381294	人間系	講師	徳竹 忠司	特別支援学校理療科あん摩実技における臨床能力向上を目的とした教育プログラムの開発	780
	25400063	数理物質系	助教	守屋 克洋	正則写像から受け継がれる超共形写像の性質とその応用	260
	25400189	数理物質系	准教授	小池 健一	非正則な確率分布に関する逐次推定方式の構築	1,170
	25400191	システム情報系	准教授	八森 正泰	部分構造への等質性を基軸とする単体的複体の構造解析	1,040
	25400222	計算科学研究センター	准教授	森 正夫	輻射流体シミュレーションによる銀河系統樹の構築	1,040
	25400242	数理物質系	教授	石橋 延幸	弦の場の理論を用いた超弦理論・D-ブレーンの研究	1,040
	25440202	生命環境系	准教授	中山 剛	普遍的湖沼にはどんな原生生物がいるのか	1,300
	25460739	医学医療系	講師	山岸 良匡	心・腎・眼疾患の包括的予防のための新しいバイオマーカーに関するコホート研究	1,040
25461206	医学医療系	准教授	臼井 丈一	腎臓発生研究成果を臨床医療に応用するための基盤研究—腎疾患モデルと臓器再生モデル	1,040	
25462171	医学医療系	研究員	酒井 光昭	肺エアリーク定量モニタリングの臨床応用と気嚢に対する新しい治療ストラテジーの構築	1,040	
25501001	生命環境系	准教授	堤 純	WebGISを用いた先住民族の土地資源管理と観光開発の調整に関する研究	390	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C) 【一般】	26330003	システム情報系	教授	古賀 弘樹	不正者全員を特定できる電子指紋符号の容量公式の導出および特定アルゴリズムの開発	1,300
	26330033	システム情報系	教授	イリチュ 美佳 (佐藤美佳)	多次元クラスター尺度構成法によるビックデータ解析とその社会的応用	1,170
	26330076	システム情報系	助教	長谷部 浩二	知識の形成過程の分析による暗号プロトコルの安全性検証法に関する研究	1,560
	26330080	システム情報系	准教授	大山 恵弘	安全と安心を提供するための先進的ハイパバイザ技術	1,560
	26330126	図書館情報メディア系	准教授	鈴木 伸崇	スキーマ更新に応じたXSLTスタイルシート修正アルゴリズムの開発	1,170
	26330151	システム情報系	准教授	西出 隆志	機密データの漏洩防止と安全利用を同時に実現する暗号技術の確立	1,170
	26330218	図書館情報メディア系	教授	井上 智雄	話す食するという日常行動の共同機会を増やすシステムの開発と評価	1,170
	26330270	システム情報系	教授	宮本 定明	SNSクラスタリングのための伝統的理論vs. 発見的技法	650
	26330271	システム情報系	教授	遠藤 靖典	言語ベースクラスタリング技法の確立ーモデルベースからの転換	1,300
	26330294	システム情報系	助教	山口 友之	コンクリート構造物のひび割れ自動検査のための壁面画像計測ロボットの開発	1,560
	26330354		名誉教授	高木 英明	病院および地域における医療サービスシステムの工学的モデル化と検証	1,430
	26330355	システム情報系	准教授	古川 宏	高齢者利用と緊急時誘導における迷い不安を軽減する経路案内法の実証的研究	1,430
	26330356	ビジネスサイエンス系	准教授	倉橋 節也	逆シミュレーション法による競争的電力市場のインセンティブ・メカニズム研究	1,430
	26330361	図書館情報メディア系	教授	芳鐘 冬樹	引用ネットワーク分析に基づく技術融合型特許の特性に関する研究	780
	26330362	図書館情報メディア系	准教授	高久 雅生	書誌記述の新しいデータモデルFRBR及びRDAに基づく書誌情報システムの研究	1,300
	26330378	図書館情報メディア系	教授	白井 哲哉	近代地方公文書アーカイブズと民間アーカイブズの構造・情報・関連性に関する総合研究	1,820
	26330393	システム情報系	准教授	延原 肇	形式概念分析とグラフマイニングによる効果的なオンライン学習百科事典の構築	910
	26340044	北アフリカ研究センター	副主任研究員	高橋 真哉	環境放射線の生物影響モニタリング可能な植物培養細胞を用いた新規影響評価手法の開発	1,300
	26350184	人間系	教授	片平 克弘	理科学習における核となる知識の理解深化を目指したLPs活用型教授法の構想と実践	650
	26350413	システム情報系	准教授	倉田 久	製品個別化とアフターサービスの統合：顧客関係視点からの供給連鎖のモデル化分析	1,040
26350414	ビジネスサイエンス系	教授	山田 秀	市場不具合の未然防止をねらいとする不具合情報解析と設計段階での品質保証	1,560	
26350415	システム情報系	教授	秋山 英三	人間の認知・行動と「金融資産市場の定式化された事実」：シミュレーションと行動実験	1,560	
26350449	システム情報系	准教授	梅本 通孝	沿岸地の防災と観光の両立に向けた住民・一時来訪者の津波避難のリスク評価と改善方策	1,040	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	26350705	体育系	教授	木塚 朝博	身体性コンピテンシーに関する評価法の確立と向上プログラムの開発	780
	26350706	体育系	准教授	宮崎 明世	体育理論を中心とした中学・高等学校におけるオリンピック教育の体系化	2,470
	26350707	体育系	助教	木越 清信	観察的動作評価法を用いた短距離走における「見える化」に関する研究	1,300
	26350773	体育系	助教	仙石 泰雄	水泳競技における近代4泳法中の筋活動量の比較-MRI画像を用いて-	1,430
	26350774	体育系	教授	本間 三和子	シンクロナイズドスイミングのスラスト動作の技術特性	390
	26350812	体育系	教授	西平 賀昭	運動に伴う筋感覚情報が高齢者認知機能低下に及ぼす影響	910
	26350813	体育系	助教	福田 崇	アメリカンフットボールにおける衝突時の頭部へ及ぼす作用の解明	1,300
	26350881	医学医療系	教授	竹越 一博	カテスタチンの多型を指標としたメタボリック症候群の分子診断法と新規治療法開発	910
	26350882	医学医療系	准教授	磯辺 智範	機能画像情報を利用した非アルコール性脂肪性肝疾患の非侵襲的病態評価法の確立	1,040
	26350923	医学医療系	教授	市川 政雄	メコン川流域国における急速なモータリゼーションから子どもの命と健康を守る	1,300
	26350957	生命環境系	講師	加香 孝一郎	周産期における薬剤応答性アミノプロダクトの探索と薬剤作用機序の解析	1,950
	26370006	人文社会系	准教授	五十嵐 沙千子	「哲学カフェ」に関する基礎理論および「哲学カフェ」形式の授業構築に関する研究	650
	26370091	芸術系	准教授	宮原 克人	農閑工芸の研究 - 軟質文化の造形から -	1,170
	26370124	人文社会系	教授	山口 恵里子	19世紀英国の芸術家集団による協働的実践 - 「古代人たち」から「エトラスカンズ」へ	1,690
	26370269	人文社会系	教授	佐野 隆弥	エリザベス朝宮廷政治文化と演劇興行のインターフェイス-少年劇団の触媒機能を中心に	780
	26370310	人文社会系	教授	浜名 恵美	世界シェイクスピア超言語上演の意義と可能性	910
	26370423	人文社会系	教授	青柳 悦子	21世紀的視座から見る北アフリカ(チュニジア・アルジェリア)の現代文学状況	780
	26370437	人文社会系	准教授	那須 昭夫	促音節近傍におけるプロソディと象徴性の構成に関する研究	650
	26370438	人文社会系	准教授	橋本 修	日本語従属節の、意味論・語用論的研究	1,170
	26370586	人文社会系	准教授	許 明子	パーソナル・テリトリーの認識と発話スタイルに関する日米韓中の対照研究	910
26370656	人文社会系	助教	小野 雄一	統合型タブレットCALLシステムの構築とその評価に関する研究	520	
26370817	人文社会系	准教授	柴田 大輔	前二千年紀後半アッシリアにおける地方王国マリ国の歴史学的研究	1,170	
26370917		名誉教授	田林 明	日本農業の存続・成長戦略に関する地域動態的研究	1,170	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	26380026	ビジネスサイエンス系	准教授	日野 辰哉	取引関係に起因する危険の制御と私法秩序	1,170
	26380067	人文社会系	准教授	石川 知子	投資協定の解釈における締約国の役割 - WTO紛争解決制度が与える示唆	1,040
	26380087	人文社会系	教授	岡上 雅美	法人処罰における刑法、手続法および制裁法上の問題点 - ドイツ判例実務の研究	390
	26380104	ビジネスサイエンス系	教授	田村 陽子	客観的な事実認定をめぐる当事者および裁判所の機能と役割	1,040
	26380106	ビジネスサイエンス系	准教授	木村 真生子	行動経済学と証券規制	1,560
	26380111	ビジネスサイエンス系	教授	岡本 裕樹	三当事者以上の契約に関わる基礎理論の考察	1,040
	26380121	ビジネスサイエンス系	准教授	直井 義典	倒産手続における目的物の変動した債権の効力貫徹に関する研究	1,560
	26380145	ビジネスサイエンス系	教授	潮海 久雄	競争法の視点からみた商標機能論の再構築	1,170
	26380161	人文社会系	准教授	近藤 康史	政党システム変動期におけるイギリス二大政党の政党組織改革についての研究	910
	26380203	人文社会系	准教授	明石 純一	国際労働移動の政策的管理と外交過程 - ベトナムと日本を事例とする実証研究	910
	26380286	システム情報系	准教授	原田 信行	中小企業の雇用・技術と日本経済の再生	1,170
	26380287	システム情報系	准教授	S. J T u r n b u l l	Industrial Policy Implications of Encouraging Open Source Software in Commerce and Open Projects	910
	26380288	システム情報系	准教授	太田 充	新たな集積効果関数を用いた都市一般均衡モデルの構築	780
	26380418	人文社会系	教授	佐藤 千登勢	低所得者への食料支援におけるアメリカ農務省の役割に関する社会経済史研究	650
	26380419	人文社会系	教授	平沢 照雄	電球工業におけるグローバル競争の展開と日本企業の対応に関する歴史実証研究	650
	26380452	人文社会系	准教授	P o h l M a r t i n	Management Strategies of Humanitarian Support by Global Enterprise after the Great Tohoku Kanto Earthquake - Lessons Learnt for Future Disasters	130
	26380497	ビジネスサイエンス系	准教授	マニエー渡邊 レミー	Knowledge Management for Foreign Direct Investments: Comparative Analysis of Japanese and Foreign Inbound and Outbound Investments	1,300
	26380498	システム情報系	准教授	生稲 史彦	ITベース・イノベーションを実現する企業経営に関する実証研究	1,170
	26380668	人文社会系	教授	仲田 誠	情報化時代における東アジアの相互理解のための価値意識・情報倫理の比較社会論的研究	1,560
	26380839	人間系	教授	相川 充	感謝が自己と対人関係に及ぼすポジティブ効果に関する拡張・形成2過程モデルの検証	1,040
26380866	人間系	教授	櫻井 茂男	キャリア発達における将来目標の役割と心理的適応への影響過程の解明	1,560	
26380917	医学医療系	助教	大谷 保和	依存物質再使用リスク測度の潜在的指標を用いた改良および治療応用	1,300	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	26380918	人間系	教授	沢宮 容子	対人的楽観性に焦点を当てた抑うつの予防的アプローチ法の開発	780
	26381062	人間系	教授	藤井 穂高	スイスにおける幼児教育義務化の論理と制度に関する基礎的研究	1,170
	26381063	人間系	教授	岡 典子	日本型インクルーシブ教育システムの融合的創成とその国際的意義に関する総合的研究	910
	26381119	人間系	准教授	飯田 浩之	「共生」を実現する教育の実証的検討ー「社会的カテゴリーの問い直し」に着目してー	1,430
	26381120	人文社会系	准教授	森 直人	教育実践開発の継承・普及プロセスに関する社会学的研究	1,170
	26381121	人間系	准教授	上田 孝典	中国生涯学習政策の法制化に関する比較研究	1,040
	26381306	人間系	教授	熊谷 恵子	算数の教科学習の系統性と関連させた算数障害スクリーニング検査の作成	390
	26390060	数理物質系	准教授	河合 孝純	リチウムのグラファイトインターカレーションにおける固液界面反応の物理	1,170
	26400005	数理物質系	教授	森田 純	無限次元の代数群とリー代数の構造と表現、および準周期構造への応用の研究	1,430
	26400035	数理物質系	准教授	増岡 彰	ホップ代数を用いたスーパー代数群の研究	1,560
	26400036	数理物質系	講師	星野 光男	導来圏におけるゴレンシュタイン次元	1,430
	26400080	数理物質系	教授	川村 一宏	無限次元線形作用素の力学系理論の幾何学的トポロジー的研究	1,560
	26400106	数理物質系	准教授	竹山 美宏	可積分系に現れる差分方程式の代数解析	1,170
	26400116	数理物質系	教授	笥 知之	対称空間上のシュレディンガー方程式の幾何解析的構造の解明とその応用	1,300
	26400186		名誉教授	藤原 良叔	デジタル指紋符号の組合せ理論的新構成法に関する研究	910
	26400309		名誉教授	舩本 泰章	時間分解スピン回転をプローブとした高速電子移動の研究	1,430
	26400382	数理物質系	准教授	谷口 伸彦	物質のゲージ理論とナノ系非平衡量子輸送現象	650
	26400511	生命環境系	講師	興野 純	地球表層環境の水酸化鉄ナノ粒子の挙動	910
	26410002	計算科学研究センター	助教	庄司 光男	トレオニン合成酵素の全反応機構の理論的解明	780
	26410065	数理物質系	助教	志賀 拓也	グリッド型分子の物性変換機能を利用した分子素子の開発	780
26410144	数理物質系	教授	中谷 清治	単一微小水滴/油系のマイクロ化学分析によるキレート抽出機構の解明	910	
26410172	数理物質系	教授	山本 泰彦	ヘムタンパク質機能の電子論的解明と人工酸素運搬体創製への応用	910	
26410212	数理物質系	教授	木島 正志	有機ナノ構造体の炭素変換に関する研究	1,170	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	26420881	生命環境系	准教授	桑原 朋彦	好熱性発酵細菌-メタン菌栄養共生系による高速メタン生産の基本原理解	520
	26420882	システム情報系	教授	奥野 光	地域独立システムと大規模電力システムの連系システム安定化制御の研究	1,170
	26430086	生命領域学際研究センター	講師	石田 純治	受容体間相互作用を介した血管平滑筋APJ受容体による血管狭窄メカニズムの解明	1,430
	26430140	生命環境系	助教	南雲 陽子	がんの不均一性・変動性制御にむけた抗がん剤オーダーメイド投薬アプローチ	1,430
	26440021	グローバル教育院	准教授	奥脇 暢	天然変性タンパク質NPM1による新規の細胞増殖制御機構	1,560
	26440044	医学医療系	助教	船越 祐司	脱ユビキチン化酵素TRE17によるクラスリン非依存性カーゴ蛋白質の細胞内輸送制御	1,690
	26440231	生命環境系	講師	大橋 一晴	多様な送粉動物の利用における開花時刻の適応的意義	1,170
	26440232	生命環境系	准教授	藤岡 正博	北海道に新規侵入したカササギ個体群の由来と定着条件の解明	1,170
	26440233	生命環境系	准教授	徳永 幸彦	集合知がもたらすサギ類群集の時空間分布についての研究	1,430
	26450091	国際産学連携本部	准教授	大津 厳生	亜硫酸シグナルによる環境中の硫黄センシングと同化制御機構の解明	2,080
	26450118	生命環境系	教授	王 碧昭	ストレス誘発型腎臓培養装置の開発および腎障害メカニズムの解明	1,170
	26450119	生命環境系	助教	廣田 恵子	メチル供与体・SAMを介した短期絶食による寿命延長メカニズムの解明	1,690
	26450304	生命環境系	准教授	首藤 久人	インドにおける食料消費構造の変化に関する分析	390
	26450351	生命環境系	准教授	野口 良造	超小型排水処理を目指した油水分離・浮遊物質回収システムの開発と分離特性の検証	650
	26450499	生命環境系	助教	兼森 芳紀	精子先体形成におけるアクチン細胞骨格のダイナミクス	1,560
	26450500	生命領域学際研究センター	講師	大徳 浩照	転写因子DAF-16/FOXOによる寿命延長機構のin vivoにおける解明	1,430
	26460356	医学医療系	准教授	大石 久史	膵内分泌細胞における大Maf群転写因子の機能解析	1,560
	26460485	医学医療系	講師	巖 栄治	新しいNASHモデルマウスの病態発症機序の解析	1,560
	26460588	医学医療系	准教授	齋藤 知栄	慢性腎臓病進行抑制のための医薬連携システムの確立と検証	390
	26460589	医学医療系	講師	前野 貴美	大教室で1日のできるチーム医療教育プログラムパッケージの開発と教育効果の検証	1,300
26460624	医学医療系	教授	兵頭 一之介	p53変異型癌細胞におけるp73活性化を応用した新規癌治療の基礎研究	1,950	
26460718	医学医療系	講師	中井 啓	病院併設BNCTにむけた血液・組織内ホウ素分析手法の最適化	1,690	
26460719	医学医療系	研究員	神澤 聡	スキャニング照射のインタープレイ効果軽減に向けたシステムの最適化	780	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	26460763	医学医療系	准教授	山海 知子	出血性脳血管疾患の発症と予後への可溶性FasとIGF-Iの影響に関する疫学的研究	520
	26460824	医学医療系	教授	大久保 一郎	定期接種下の高齢者肺炎球菌ワクチンの費用効用分析-PPV23とPCV13の比較	650
	26460901	医学医療系	講師	中馬越 清隆	認知症患者のバランス障害に対する前庭刺激効果の解明および臨床応用	1,430
	26461055	医学医療系	講師	村越 伸行	持続性心房細動における心房内異常電位の成因と機序の解明	1,170
	26461178	医学医療系	准教授	森島 祐子	慢性炎症性呼吸器疾患におけるヘルパーT細胞と炎症性マクロファージのクロストーク	1,430
	26461183	医学医療系	教授	関根 郁夫	悪性中皮腫における薬剤耐性の克服と分子標的治療の開発	1,560
	26461210	医学医療系	教授	長田 道夫	ポドサイト障害連鎖機構の解明と阻止	1,560
	26461211	医学医療系	准教授	上杉 憲子	腎内微小循環系の3次元構築から腎硬化症の進展を考える	910
	26461483	医学医療系	准教授	後藤 大輔	間質性肺炎発症におけるヒトCD161陽性γδ陽性T細胞の関与	1,560
	26461733	医学医療系	准教授	新井 哲明	蓄積蛋白質の構造異常による認知症の分子病理診断法およびモデル動物の開発	1,040
	26461818	医学医療系	講師	岡本 嘉一	多角的なMRI評価を用いたスポーツアスリートの筋コンディショニングの試み	1,430
	26462004	医学医療系	講師	榎本 剛史	大腸癌におけるCD44variant9発現の意義と新規診断法の開発	1,560
	26462035	医学医療系	講師	大城 幸雄	Patient dependent力覚体感型手術エミュレータ開発	1,430
	26462081	医学医療系	講師	徳永 千穂	肺高血圧症における放射光微小血管撮影法を用いた微小血管血流変化と血管内皮細胞障害	520
	26462121	医学医療系	助教	竹内 朋代	初期浸潤肺腺がん凍結組織培養を利用した肺腺がんの悪性化分子機構の解明	1,430
	26462198	医学医療系	准教授	山本 哲哉	中性アミノ酸プレローディングによる中性子捕捉療法(BNCT)の確立	1,170
	26462350	医学医療系	講師	山下 創一郎	Neurogenesisに焦点をあてた術後の認知機能障害の発症機序と予防法の解明	1,300
	26462397	医学医療系	准教授	宮崎 淳	BCG細胞莢膜成分を用いた、全身投与可能な新規癌治療剤の開発	1,430
	26462398	医学医療系	講師	河合 弘二	精巣腫瘍の組織分化におけるエピジェネティクス制御の解明	1,430
	26462399	医学医療系	講師	小島 崇宏	腎細胞癌の発生と肉腫様変化におけるRAC2-VAV1シグナルの役割	1,430
26462513	医学医療系	教授	佐藤 豊実	婦人科がんの系統的、総合的術後VTE予防法の確立およびVTE発症機序の解明	910	
26462631	医学医療系	講師	岡本 史樹	組織シーラントによる新しい網膜剥離手術手技の開発とヒトへの臨床応用	1,300	
26462743	医学医療系	講師	中山 慎	蘇生後症候群へのスタチンの多面効果：水溶性と脂溶性の比較	1,820	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	26462744	医学医療系	講師	下條 信威	敗血症超急性期モデル動物に対するTEMPO-RNPを用いた抗酸化ストレス療法	1,170
	26462745	体育系	教授	RAKWAL RANDEEP	虚血脳におけるPACAP神経保護作用効果に関わる分子的因子の同定	1,170
	26463376	医学医療系	教授	岡山 久代	妊娠期の両親教室で行うプレママ・パパのメンタルヘルスプログラムの開発と妥当性検証	567
	26463405	附属病院	看護部長	小泉 仁子	高度周産期医療施設勤務助産師のワークエンゲージメント向上プログラムの開発	1,040
	26463482	医学医療系	准教授	橋爪 祐美	中高年女性ケア従事者と夫の老親介護生活適応を促す夫婦間の心のケア	650
	26500001	医学医療系	研究員	小林 和人	脂質代謝と小胞体ストレスをつなぐCREBHの非アルコール性脂肪肝発症における役割	1,560
	26504002	システム情報系	准教授	藤井 さやか	北米における公的住宅団地の再々開発の実態分析と日本への示唆	2,080
	26506003	生命環境系	准教授	イン ベイウエン	極限貧栄養環境下で増殖する細胞の創出	1,040
	26507003	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	三好 千香	新規過眠・肥満マウスの解析による睡眠覚醒と摂食代謝制御の統合分子機構の解明	1,430
	15K00005		名誉教授	佐々木 建昭	疎な多変数多項式・系に対する近似代数算法の開発と安定・効率化	1,430
	15K00296	システム情報系	教授	狩野 均	複雑制約ネットワークを対象とした汎用群知能による問題解決方式	910
	15K00358	図書館情報メディア系	准教授	三河 正彦	積雪地帯における半自律移動ロボットと地域情報データベースによる情報提供システム	1,040
	15K00395	ビジネスサイエンス系	教授	津田 和彦	死因究明プロセスのノウハウ顕在化に関する研究	2,080
	15K00420	システム情報系	准教授	岡 瑞起	ソーシャルメディアにおけるバースト現象の理解と予測に関する研究	1,430
	15K00434	システム情報系	准教授	佐藤 聡	異なり数計測アルゴリズムを多分野に適用するための最適パラメータの設定手法の開発	1,170
	15K00444	図書館情報メディア系	講師	永森 光晴	LinkedDataを基礎とした用例に基づくメタデータ語彙発見とスキーマ設計支援	1,300
	15K00458	図書館情報メディア系	准教授	真栄城 哲也	糖尿病の包括的な知識表現	1,170
	15K00479	図書館情報メディア系	教授	綿抜 豊昭	共同体験型自然観察会用学習支援システム	1,040
	15K00599	生命環境系	准教授	雷 中方	Formation of Granules with High Phosphorus Content to Realize Efficient Phosphorus Recovery from Waste Activated Sludge by Using Anaerobic Digestion Followed by Aerobic Granulation Technology	910
	15K00677	芸術系	准教授	山本 早里	地域再生に資する環境色彩デザイン手法ー日本特有の環境色彩と歴史的変遷を考慮してー	1,430
15K00776	生命環境系	教授	佐竹 隆顕	食肉の新鮮度を評価する電気化学的マイクロ分析システムの開発	1,430	
15K01055	医学医療系	研究員	KIM Jaejeong	新外科教育コンバージェンス構築のための次世代型ダイナミック手術教材開発	1,690	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	15K01159	生命環境系	教授	杉田 倫明	霞ヶ浦水収支に係わる水文量の空間分布構造とその40年間の変化	910
	15K01179	ビジネスサイエンス系	教授	猿渡 康文	医療サービスとそのネットワーク化のメカニズム分析	2,210
	15K01451	医学医療系	教授	徳田 克己	高齢者、障害者、幼児の移動上のバリアを解消するための啓発・教育プログラムの開発	1,690
	15K01514	体育系	講師	本谷 聡	小学校低・中学年における児童の笑顔あふれる運動プログラムの開発に関する研究	1,300
	15K01550	体育系	教授	鍋倉 賢治	長距離ランナーのエネルギー節約に関わる能力の評価	910
	15K01551	体育系	准教授	榎本 靖士	ランニングエコノミーを用いた中・長距離走における評価・診断法の開発	1,430
	15K01586	体育系	教授	真田 久	オリンピック・パラリンピック競技大会開催国におけるマナー教育の在り方に関する研究	1,430
	15K01587	体育系	教授	清水 諭	東京湾岸エリアとオリンピックに関する研究	1,170
	15K01646	医学医療系	准教授	太刀川 弘和	大学生の自殺予防を目的とするメンタルヘルスリテラシー教育手法の開発	1,690
	15K01647	体育系	准教授	柴田 愛	地域在住高齢者における座り過ぎの健康影響および決定要因を解明するための縦断研究	910
	15K01701	医学医療系	准教授	鈴木 浩明	生活習慣病におけるmicroRNAのバイオマーカーとしての意義に関する研究	2,080
	15K01862	人文社会系	准教授	ティムール ダダバエフ	対中央アジア政策の日中比較	1,560
	15K01984	人文社会系	教授	檜垣 良成	カント目的論のコンテクストとしてのバウムガルテン「自然神学」の検討	650
	15K02053	人文社会系	助教	岩崎 真紀	コプト・ディアスポラのネットワーク形成と異文化適応に関する比較宗教学的調査研究	1,170
	15K02333	人文社会系	教授	竹谷 悦子	African American Global Imaginary	650
	15K02401	人文社会系	教授	武井 隆道	18・19世紀転換期の身体表象 — ヘルダー・ゲーテとパフォーマンス芸術	1,300
	15K02502	人文社会系	教授	柳田 優子	言語類型論の視点からみた日本語史の項表示の変遷：通時コーパスを利用した実証研究	1,040
	15K02503	人文社会系	助教	永井 正勝	古代エジプト語聖刻文字とアッカド語楔形文字の画像を利用した対訳データベースの構築	1,300
	15K02630	人文社会系	教授	小野 正樹	「言い換え」に関する語彙・表現の基礎的研究	1,430
	15K02746	人文社会系	教授	相澤 啓一	通訳者が持つ知見とノウハウのドイツ語教育への還元	780
	15K03003	生命環境系	准教授	松井 健一	先住民族の環境紛争解決のためのインフィニティ型ディプロマシー理論の実証	1,170
	15K03237	図書館情報メディア系	准教授	石井 夏生利	個人情報不正取得・漏えいに関する法制度及び運用状況の各国比較	1,300
	15K03309	人文社会系	教授	潘 亮	冷戦期日本の国連外交における西側とアジア・アフリカ調整と対立の過程に関する研究	650

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	15K03310	人文社会系	准教授	東野 篤子	トルコのEU加盟問題の今日的課題とヨーロッパ国際関係をめぐる研究	910
	15K03391	システム情報系	准教授	大久保 正勝	モデル不確実性回避度の計測と異質性の国際比較	780
	15K03412	人文社会系	助教	SAPKOTA JEET B.	Impacts of Access to Infrastructure on Human and Community Development in Hilly-Mountainous Area: Evidence from Rural Nepal	2,080
	15K03413		名誉教授	丸山 義皓	自己雇用生産者家計の景気変動安定化作用に関する経時的国際研究	1,300
	15K03414	ビジネスサイエンス系	准教授	MASWANA J. C.	Accounting for Technology Imitation in Trade-Led Growth in African Economies	1,820
	15K03501	人文社会系	准教授	内藤 久裕	人口減少社会での、大規模移民受け入れと企業のオフショアリングの総合的分析	1,300
	15K03721	ビジネスサイエンス系	教授	西尾 チヅル	消費者の社会志向と消費行動	1,430
	15K03833	人文社会系	准教授	五十嵐 泰正	生産者と消費者の認識論的切断の克服のための多角的研究—主に労働と地域の視点から	910
	15K04051	医学医療系	准教授	水野 智美	発達障害幼児を持つ保護者の障害受容を促す支援プログラムの開発	1,690
	15K04110	人間系	准教授	青木 佐奈枝	自殺念慮・自傷行為への遭遇体験に関する調査研究—自殺予防教育の一環として—	1,430
	15K04180	人間系	准教授	山田 一夫	ニオイ刺激が生み出すトラウマ記憶：恐怖条件づけと母子分離を用いた検討	1,170
	15K04210	人間系	准教授	國分 麻里	学校より見る植民地期朝鮮の教育に関する基礎的研究	1,040
	15K04276	システム情報系	准教授	新谷 由紀子	大学の利益相反マネジメント運用基準策定及び教職員研修の資料作成に関する調査研究	650
	15K04277	人間系	教授	樋口 直宏	小中一貫教育における発達特性および汎用的能力をふまえたキャリア教育プログラム開発	1,170
	15K04278	図書館情報メディア系	教授	溝上 智恵子	多文化国家カナダにおける道徳教育政策の形成と推進	1,170
	15K04404	芸術系	准教授	齋藤 敏寿	コミュニケーションツールとなる作陶を活用した教育プログラムの構築	1,560
	15K04480	人間系	教授	甲斐 雄一郎	東アジアを視野においた古典化への参加プログラムの開発	780
	15K04537	人間系	教授	野呂 文行	通常学級での発達障害児童の行動問題に対する集団随伴性と個別支援の組合せ条件の検討	1,560
	15K04538	人間系	講師	浜田 淳	鍼灸実習における視覚障害学生の治療教育プログラムの開発に関する教材論的研究	2,080
	15K04539	人間系	教授	廣田 栄子	軽中等度難聴児の言語処理機能のアセスメントプロセスと支援ガイドラインの構築	910
15K04632	数理物質系	講師	大石 基	DNAクリック連鎖反応に最適なナノ界面の構築によるアルツハイマーの客観的早期診断	650	
15K04688	数理物質系	講師	南 英俊	高温超伝導体によるテラヘルツ波発振の高周波数化、高強度化と高温化	1,300	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	15K04719	数理物質系	准教授	寺田 康彦	イネ腋芽の成長評価用4次元MRIマイクロスコピーの開発	1,430
	15K04803	数理物質系	准教授	佐垣 大輔	Kirillov-Reshetikhin 加群の結晶基底とその組合せ論的实现	1,170
	15K04804		名誉教授	木村 達雄	良い性質をもつ概均質ベクトル空間の研究	1,170
	15K04834	数理物質系	教授	井ノ口 順一	ループ群による非コンパクト対称空間への調和写像の構成と曲面論への応用	1,170
	15K04835	数理物質系	准教授	田崎 博之	対称空間の対蹠集合の拡張と応用	1,560
	15K04866	数理物質系	講師	石井 敦	ハンドル体結び目の向きと不変量	1,560
	15K04891	数理物質系	教授	田島 慎一	特異点の計算複素解析と代数解析アルゴリズム	1,300
	15K04946	数理物質系	講師	久保 隆徹	流体力学の非定常問題への実解析的・数値解析的アプローチ	1,170
	15K04974	システム情報系	教授	繆 いん	デジタル指紋及びグループ検査に共通する組合せ構造とアルゴリズムに関する研究	1,560
	15K05041	数理物質系	教授	金谷 和至	有限温度・有限密度クォーク物質の物性と相構造	1,170
	15K05068	計算科学研究センター	研究員	滑川 裕介	格子量子色力学による新たなハドロン存在形態の解明	910
	15K05121	数理物質系	教授	日野 健一	コヒーレントフォノン生成機構における過渡的準粒子描像の定量的検証	1,170
	15K05307	生命環境系	准教授	鎌田 祥仁	ジュラ紀付加体における地震性断層	2,080
	15K05412	数理物質系	講師	中本 真晃	歪共役系分子の化学：高歪み炭素σ骨格および4π反芳香族分子の構築と物性の解明	1,430
	15K05413	数理物質系	講師	Lee Vladimir	Pyramidal Structures: New Type of Cluster Compounds	1,300
	15K05414	数理物質系	准教授	淵辺 耕平	フッ素置換錯体を基盤とする有機フッ素化合物の触媒的合成法	1,170
	15K05671	システム情報系	准教授	松田 昭博	マイクロセルラー発泡材料のマイクロ構造均質化による力学特性の設計法構築	1,170
	15K05754	システム情報系	教授	三谷 純	折り紙の技術を産業へ活用するための形状設計手法に関する研究	1,300
	15K05781	システム情報系	准教授	金子 暁子	化学反応器としてのマイクロバブルの可能性とその応用に関する研究	1,690
	15K05922	システム情報系	准教授	伊達 央	流体のみにより動作・制御される自己推進柔軟マニピュレータの3次元化	2,210
15K06103	システム情報系	教授	工藤 博幸	超圧縮センシングの基礎構築と多様なトモグラフィーへの応用	2,080	
15K06823	医学医療系	助教	山下 年晴	グリオブラストーマ由来血管の発生機序とその性質がもたらす悪性度への影響	2,080	
15K06943	医学医療系	研究員	田原 浩昭	減数分裂期染色体の対合機構と非対合サイレンシング機構の関係解明	1,690	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	15K06944	医学医療系	教授	入江 賢児	RNA制御系によるmRNA安定性と翻訳の時空間ファインチューニング	2,080
	15K07039	医学医療系	准教授	大林 典彦	Rabによるエフェクター分子分解機構の解明	1,560
	15K07142	生命環境系	教授	中谷 敬	イモリ嗅細胞におけるアミノ酸受容体の同定およびシグナル伝達機構の解明	1,165
	15K07213	生命環境系	助教	鈴木 亮	温暖化に対する生物多様性の安定性効果	1,300
	15K07253	生命環境系	助教	野中 聡子	人工制限酵素CRISPR/Cas9を利用したγアミノ酪酸高蓄積トマトの育種	1,300
	15K07284	生命環境系	准教授	福田 直也	レタス植物体中におけるクロロゲン酸含有量を増大させる明期延長型照明処理法の開発	2,470
	15K07333	生命環境系	准教授	古川 純	多核種同時イメージング手法を用いた植物のミネラル輸送機構の解析	1,560
	15K07406	生命環境系	教授	繁森 英幸	植物の屈性現象機構解明に関する生物有機化学的研究	1,430
	15K07452	生命環境系	助教	Neves Marcos	Development of antimicrobial packaging system foreseeing enhanced storage stability of lotus root (Nelumbo nucifera)	1,430
	15K07523	生命環境系	准教授	田辺 雄彦	汽水湖で特異的に大量発生する新奇強毒アオコのエコトキシコ・ゲノミクス	1,560
	15K07761	生命環境系	助教	浅野 敦之	鳥類精子の受精機構分子基盤における膜ラフトマイクロドメインの機能的役割	1,820
	15K07790	生命環境系	教授	戒能 洋一	ハマキガの産卵が引き起こす誘導とその発現機構の解明	1,430
	15K07823	芸術系	教授	黒田 乃生	世界文化遺産における複合的な森林整備のためのガイドラインの作成	1,560
	15K08042	医学医療系	助教	新開 泰弘	カドミウムの毒性防御を担う小胞体ストレス応答系と活性イオウ分子産生系の協調的役割	1,560
	15K08148	医学医療系	准教授	増田 知之	従来型解析にバイオインフォマティクスデータを取り入れた新規長鎖遺伝子の機能解析	1,560
	15K08171	医学医療系	助教	小金澤 禎史	呼吸循環連関に関与する脳内ネットワークの解明：本態性高血圧の原因とは？	1,560
	15K08457	医学医療系	教授	森川 一也	限定的発現遺伝子群espの機能解析による新たな細菌特性の解明	1,430
	15K08540	医学医療系	講師	高屋敷 明由美	地域枠医学生の医師不足地域での従事意思についての全国調査	1,040
	15K08640	医学医療系	准教授	大越 靖	原発不明がんの治療成績向上を目的とした、がん組織由来マイクロRNAの網羅的解析	1,430
	15K08665	医学医療系	講師	山本 純偉	疼痛による扁桃体抑制性神経回路可塑性機構の解明	1,950
15K08800	医学医療系	助教	馬 恩博	Disparities, dynamic changes, and controls of burden of cardiovascular diseases and cancer in Japan, China, and Taiwan	1,560	
15K08963	医学医療系	教授	小島 寛	大腸癌血管新生阻害薬の効果予測を可能にするバイオマーカーの網羅的探索	1,560	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	15K09209	医学医療系	講師	川口 未央	難治性喘息の病態解明: IL-17Fの意義	1,300
	15K09241	医学医療系	講師	森戸 直記	転写因子異常による巣状糸球体硬化症発症機序の解明	1,690
	15K09493	医学医療系	助教	錦井 秀和	同種骨髄移植後の新規免疫モニタリングシステムと免疫寛容メカニズムの解明	1,690
	15K09518	医学医療系	准教授	松本 功	関節炎における炎症性サイトカインと自己免疫応答相互の制御	1,560
	15K09519	医学医療系	講師	坪井 洋人	IgG4関連疾患におけるCCL18-CCR8と疾患特異的治療標的分子の探索	1,690
	15K09680	医学医療系	教授	堀米 仁志	早期に発症する遺伝性不整脈の遺伝子型と臨床的表現型の関連の検討及び治療法の確立	650
	15K09757	医学医療系	講師	沖山 奈緒子	皮膚苔癬反応におけるランゲルハンス細胞によるCD8T細胞抑制機構の解明	1,690
	15K09758	医学医療系	特任助教	高崎 真美	表皮初期発生制御におけるADAMTS-2の機能解析	1,430
	15K09822	医学医療系	講師	東 晋二	タンパク質-RNA相互作用が及ぼす神経変性疾患の病態機序の解明	1,950
	15K09986	医学医療系	助教	松本 孔貴	次世代型ホウ素中性子捕捉療法の実現に向けた多角的アプローチ	1,300
	15K10234	医学医療系	講師	佐藤 藤夫	「冷え性」とは?～微小血管造影による血管反応の検討～	540
	15K10277	医学医療系	准教授	鬼塚 正孝	胸腔内に存在する癌細胞の進展に関する実験研究	1,040
	15K10291	医学医療系	准教授	鶴嶋 英夫	徐放性DDSと未分化細胞を用いた脳虚血に対する再生医療の基礎的研究	1,040
	15K10327	医学医療系	講師	石川 栄一	グリオーマ幹細胞に対する免疫チェックポイント阻害薬とワクチン療法の併用	1,690
	15K10531	医学医療系	教授	福田 妙子	術後認知障害におけるオランザピンの効果	780
	15K10701	医学医療系	講師	小貫 麻美子	次世代シークエンサーによるHPV準種解析: 子宮頸部発癌との関連について	1,430
	15K10797	医学医療系	准教授	栗飯原 輝人	難治性頭頸部癌硼素中性子捕捉療法と併用療法上乘せ効果の研究	1,820
	15K10859	医学医療系	准教授	加治 優一	加齢黄斑変性症における異常凝集蛋白質の同定および新規治療薬・光線力学療法の開発	1,170
	15K11655	医学医療系	助教	川野 亜津子	バイオマーカーを用いた妊娠期からの産後鬱スクリーニングプログラム開発に関する検討	2,730
	15K11787	医学医療系	教授	森 千鶴	統合失調症者のメタ認知機能を高めるリアルタイムモニタリングプログラムの開発	1,560
16K00008		名誉教授	井田 哲雄	Geometric Algebraを核とする折紙計算論の展開	1,430	
16K00028	システム情報系	教授	久野 誉人	非凸大域的最適化のための実践的分枝限定法の構築	1,300	
16K00029	ビジネスサイエンス系	教授	徐 驊	両面性電力市場におけるプラットフォーム戦略に関する研究	1,170	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費
		所属部局・職	氏名		
基盤研究(C)【一般】	16K00148	図書館情報メディア系 助教	藤澤 誠	複雑な境界形状に対応できる流体シミュレーション技術の確立	1,560
	16K00149	システム情報系 助教	渡辺 知恵美	クラウド環境におけるセキュアなデータ販売市場支援システム	1,430
	16K00150	システム情報系 講師	川島 英之	先進的デバイスの利活用による高性能データ基盤システムに関する研究	2,730
	16K00168	システム情報系 教授	高橋 大介	メニーコア超並列クラスタにおける有理数演算ライブラリに関する研究	1,430
	16K00183	システム情報系 准教授	面 和成	多彩な機能を有する準同型認証子およびデータ軽量認証手法に関する研究	1,109
	16K00228	図書館情報メディア系 准教授	手塚 太郎	カーネル法による辞書学習の拡張と画像特徴量抽出への応用	1,560
	16K00265	システム情報系 准教授	嵯峨 智	錯覚を利用した人間の創造性を促す双方向型多自由度触覚デバイス	2,340
	16K00322	システム情報系 教授	亀山 啓輔	高次スペクトル特徴量の学習的な選択による信号認識機構の開発	1,430
	16K00349	システム情報系 教授	大矢 晃久	三次元測域センサを用いた視覚障害者のための誘導方式に関する研究	1,300
	16K00418	システム情報系 助教	橋本 康弘	オンライン写真共有サービスにおけるソーシャルタギングダイナミクスの解明	1,820
	16K00438	図書館情報メディア系 准教授	辻 慶太	Wikipedia閲覧者に対する図書推薦	260
	16K00456	人文社会系 准教授	和氣 愛仁	アノテーション付与型画像データベースプラットフォームの応用に関する方法論構築	2,080
	16K00457	図書館情報メディア系 教授	岩澤 まり子	症状表現とアウトカム表現を使用した、医療消費者による学術文献の利用支援の研究	910
	16K00567	生命環境系 助教	川田 清和	バイオロギングーリアルタイムグレイジング解析を用いた砂漠化プロセスの解明	1,560
	16K00670	芸術系 教授	吉田 正人	世界遺産地域における自然と文化の統合とコミュニティの役割に関する研究	1,820
	16K01214	生命環境系 講師	八反地 剛	高解像度DEMを用いた流路地形判読に基づく表層崩壊予測モデルの改良	1,820
	16K01215	生命環境系 准教授	池田 敦	現地観測値と数値標高モデルを用いた日本アルプスの氷河・周氷河地形の発達史研究	3,380
	16K01234	ビジネスサイエンス系 教授	牧本 直樹	スタイルローテーションを考慮したファクター投資に関する研究	1,560
	16K01312	システム情報系 教授	境 有紀	甚大な建物被害を引き起こす震源と地盤構造パラメータの解明	1,430
	16K01348	医学医療系 講師	三好 浩稔	長期保管可能フィーダー細胞層を用いた造血機能の生体外再構築	1,820
16K01405	附属病院 病院講師	武居 秀行	治療用高エネルギーX線を利用した体内線量リアルタイムモニタリングシステムの開発	2,210	
16K01434	医学医療系 教授	山崎 正志	コンビネーション医療機器の革新的評価法の構築	1,560	
16K01536	システム情報系 准教授	滝沢 穂高	周辺環境の雰囲気伝える視覚障がい者用ナビゲーションシステムの開発	1,560	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	16K01592	体育系	准教授	小野 誠司	パーシュートを用いた視覚情報処理能力の測定法の開発	3,770
	16K01609	体育系	教授	尾縣 貢	アスリートのバネを評価する新指標の開発ーコンディショニングへの活用を目指してー	1,690
	16K01610	体育系	准教授	中村 剛	体育・スポーツ指導者の交信分析能力の解明および養成方法論の確立	1,560
	16K01611	体育系	教授	坂本 昭裕	自然体験療法における発達障害児の社会性支援プログラムの構築	1,300
	16K01612	体育系	准教授	寺山 由美	「いつの間にか」動いているダンス授業の検討ー動きが表現になる瞬間をつかまえるー	1,820
	16K01649	体育系	教授	柳沢 和雄	地域スポーツ推進体制をめぐる構造的矛盾とソーシャルガバナンス	1,040
	16K01650	体育系	教授	内山 治樹	スポーツにおける感性論の展開	780
	16K01694	体育系	准教授	金谷 麻理子	スポーツコーチングにおける運動を「見抜く力」の養成に関する研究	1,430
	16K01695	体育系	教授	會田 宏	球技スポーツにおける卓越したコーチの戦術指導に関する実践知の構造とその獲得過程	1,170
	16K01751	医学医療系	講師	鎌田 浩史	小中学生の運動器障害に対する運動器検診の構築と予防の取り組み	1,950
	16K01810	医学医療系	講師	坂本 裕昭	放射光微小冠動脈造影を用いた微小冠動脈の機能評価法確立および虚血性心疾患への応用	1,300
	16K01811	医学医療系	研究員	韓 松伊	SREBP-1活性化を制御する新奇プロテアーゼによる新たな脂質代謝機構の解明	1,560
	16K02199	人文社会系	准教授	巖 錫仁	熊本実学派と李退溪学に関する比較思想史的研究	1,300
	16K02230	芸術系	教授	仏山 輝美	油彩画技法「ミッシュテクニック」の東アジアにおける継承と実践に関する調査研究	780
	16K02298	芸術系	教授	太田 圭	伝統的工芸作品のテクスチャーを活用した日本画のマチエールの研究	1,430
	16K02299	人文社会系	准教授	清水 知子	動物と現代芸術-社会的エコロジーと表象の政治学	1,560
	16K02357	人文社会系	准教授	本井 牧子	16世紀の社寺縁起絵巻に関する基礎的研究	1,560
	16K02358	人文社会系	准教授	吉森 佳奈子	年代記類の世界と『河海抄』の空間	1,820
	16K02397	人文社会系	准教授	馬場 美佳	近代日本の人文知形成と新聞小説ー森田思軒の翻訳と大英帝国の情報ネットワーク	1,560
	16K02795	人文社会系	准教授	木戸 光子	文章構造における誤用分析に基づく文章表現辞典の開発	1,690
16K02835	人文社会系	准教授	S c h m i d t M・G	CEFRに依拠した言語教育改善の支援システムの構築	1,170	
16K02876	人文社会系	教授	久保田 章	英語の発表語彙習得における教材によるインプットの影響の検証と教材開発	1,170	
16K02953	人文社会系	教授	平井 明代	授業を活かす技能統合的スピーキング活動と評価尺度の開発研究	910	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	16K03072	人文社会系	准教授	山本 真	台湾海峡金門島・馬祖島から読み解く近現代東アジアの社会変動	1,820
	16K03151	人文社会系	准教授	滝沢 誠	伊豆半島の前期古墳と東日本太平洋岸域の拠点形成に関する基礎的研究	1,430
	16K03214	人文社会系	教授	徳丸 亜木	死者霊の祭祀・儀礼における伝承の内面化についての民俗学的研究	1,560
	16K03383	ビジネスサイエンス系	教授	大塚 章男	取締役会の企業価値実現のプロセスから見た実効的なコーポレートガバナンスの再構築	780
	16K03384	ビジネスサイエンス系	准教授	白石 友行	現代法における人と家族を起点とした民事責任法理の構想	1,300
	16K03432	ビジネスサイエンス系	教授	平嶋 竜太	医療政策及び医療イノベーションとの調和的発展を指向した知的財産法制的統合的研究	1,040
	16K03547	人文社会系	准教授	黒川 義教	終身雇用・ジョブローテーション・年功賃金のマッチング理論による分析	1,040
	16K03767	人文社会系	助教	高橋 秀直	戦間期における国際的金本位制の改廃に対する金融市場側の対応とその帰結の検討	910
	16K03849	ビジネスサイエンス系	准教授	佐野 享子	熟達したマーケターによる価値創造をもたらす実践知	390
	16K03850	ビジネスサイエンス系	准教授	立本 博文	プラットフォーム企業の技術ポートフォリオと市場成果分析	910
	16K04256	人間系	准教授	外山 美樹	楽観性と目標達成の関連－目標の追求の仕方に焦点を当てて－	1,690
	16K04292	人間系	教授	安藤 智子	両親の抑うつと小学校低学年児の適応に関する検討	2,210
	16K04340	人間系	教授	杉江 征	高齢者の不眠に対する自律訓練法の有効性とメタ認知的気づきの検討	1,950
	16K04341	人間系	教授	藤生 英行	日本に適合したカウンセリング訓練ツールの開発に関する基礎研究	1,430
	16K04418	人間系	教授	綾部 早穂	嗅覚における注意の機能に関する心理学的研究	1,690
	16K04419	人間系	教授	一谷 幸男	自発的物体再認にもとづく海馬の記憶機能の解明	1,690
	16K04531	人間系	教授	大谷 奨	新構想大学の誘致をめぐる地方における政治・行政過程とその効果	1,300
	16K04532	人間系	教授	吉田 武男	ベルリンの就学前施設における道徳教育改革の今日的動向に関する総合的研究	1,690
	16K04596	人文社会系	准教授	柴田 政子	ドイツ周辺国におけるホロコースト教育の変化：イギリス・フランス・スウェーデンの例	2,080
	16K04597	人間系	准教授	岡本 智周	現代日本人の歴史認識の構成にみる国民意識と共生意識の接続および歴史学習経験の寄与	2,210
16K04598	ビジネスサイエンス系	准教授	加藤 毅	ホワイトカラー総合職としての大学職員の再評価と新たな役割	1,040	
16K04599	ビジネスサイエンス系	講師	稲永 由紀	地域・社会連携を通じた高等教育の多様なイノベーションとその成立要因に関する研究	1,560	
16K04660	芸術系	教授	直江 俊雄	イングリッシュ・バカロレア体制下における美術カリキュラム編成の集团的動向	1,170	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C) 【一般】	16K04661	芸術系	教授	石崎 和宏	美術鑑賞プロセスでの思考の柔軟性と深化を促す学習方略の研究	1,430
	16K04812	人間系	准教授	宮本 昌子	発達障害を重複する吃音の子どもの実態 - 発達的变化の追跡調査 -	1,560
	16K04813	人間系	准教授	小島 道生	青年期発達障害者の自尊感情の安定性とwell-beingに関する心理学的研究	650
	16K04814	人間系	教授	川間 健之介	二分脊椎症児の認知特性に応じた教科の指導法の開発	1,300
	16K04815	人間系	教授	柿澤 敏文	弱視児童生徒のICTアクセシビリティに関する理論的・実証的研究	2,340
	16K04874	数理物質系	助教	金澤 研	スピン偏極STMによる磁性半導体の磁性発現機構の解明と磁性ナノ構造作製への応用	3,640
	16K04943	数理物質系	准教授	櫻井 岳暁	光・磁気局所解析法による有機半導体粒界物性評価ならびに粒界エンジニアリング	3,250
	16K05035	数理物質系	准教授	照井 章	近似Syzygyによる代数曲面の融合計算の研究	2,470
	16K05141	数理物質系	教授	加藤 久男	位相空間論と連続体論を用いたカオス力学系の幾何構造の研究	1,820
	16K05222		名誉教授	若林 誠一郎	主部の係数が時間のみの関数でコーシー問題が適切である双曲型作用素の特徴付け	1,170
	16K05223	数理物質系	准教授	木下 保	ウェーブレット解析による変数係数を持つ波動方程式への超局所解析的応用	1,170
	16K05340	数理物質系	准教授	根村 英克	格子QCD計算による現実的一般化核力の研究と軽いハイパー核の精密物理への展開	1,820
	16K05432	数理物質系	助教	森下 將史	2次元量子固体の構造操作による量子現象の発現と解明	1,690
	16K05495	数理物質系	准教授	トン ショウミン	2色円偏光強レーザー場における原子・分子電離過程の解明と制御	2,860
	16K05529	生命環境系	准教授	八木 勇治	新しいハイブリッドバックプロジェクション法の開発と巨大地震の高周波励起現象の解明	1,300
	16K05642	数理物質系	教授	服部 利明	高精度テラヘルツ分光測定によるさまざまな水分子のダイナミクスの解明	2,600
	16K05682	数理物質系	教授	関口 章	ケイ素-ケイ素三重結合化合物を基盤とする新規なケイ素不飽和結合化合物の創製	1,820
	16K05683	数理物質系	准教授	一戸 雅聡	高周期14族元素ポリラジカル種の合成、構造、および物性に関する研究	1,820
	16K05684	数理物質系	講師	山村 正樹	複数のリン原子からなる屈曲型化合物を基盤とした発光性ホスト分子の開発	2,730
	16K05739	数理物質系	講師	石塚 智也	超分子組織化を指向した新規拡張 π 共役系の機能発現	2,990
16K05807	数理物質系	助教	横川 雅俊	超高感度レドックスセンサアレイによる発電微生物の探索	2,210	
16K05966	システム情報系	准教授	松田 哲也	CFRP積層板における負のポアソン比の発現とその検証ならびに応用に関する研究	3,250	
16K06144	システム情報系	教授	堀 憲之	モデルベース制御のためのデスクリプタ系離散時間化手法の研究	1,430	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	16K06207	数理工学系	教授	只野 博	可変容量直列補償回路を用いた高効率非接触給電システム	2,340
	16K06409	システム情報系	教授	河辺 徹	計算知能援用制御法の開発ーIoT時代の大規模複雑システムへの適用を目指してー	1,430
	16K06502	システム情報系	教授	武若 聡	沿岸漂砂フラックスのリモートセンシング観測手法の確立	3,120
	16K06529	生命環境系	研究員	堀川 洋子	近代発電用ダム成立条件としての「地域・都市」の利益調整に関する研究	2,080
	16K06631	システム情報系	助教	山本 幸子	地域特性に対応した包括的移住支援システムのパターン展開	1,040
	16K06866	生命環境系	教授	佐藤 誠吾	高分子電解質架橋菌糸の高濃度培養系の開発	910
	16K06987	医学医療系	講師	榎 和子	総腓骨神経を欠損する突然変異マウスの原因遺伝子の解明	1,820
	16K07081	医学医療系	講師	石井 亜紀子	経口免疫寛容の誘導による外来遺伝子発現法の検討	1,820
	16K07244	医学医療系	助教	西村 健	X染色体再活性化の空間的・経時的解析を通じたエピジェネティクス制御開始機構の解析	1,950
	16K07336	医学医療系	助教	水野 智亮	小胞体ストレス応答におけるSnf1 AMPKによるHog1 MAPKの制御機構	1,820
	16K07337	生命環境系	助教	柴 小菊	プロテオミクスと分子イメージングの融合による精子鞭毛運動制御因子の解析	1,560
	16K07338	生命環境系	准教授	中野 賢太郎	アルベオラータ生物のアクトミオシンによらない細胞質分裂の分子機構の解明	1,300
	16K07339	生命環境系	助教	鶴田 文憲	USP15による新規RNAプロセッシング制御と神経疾患との関連	1,950
	16K07390	生命環境系	准教授	三浦 謙治	カルモジュリン様タンパク質による低温時におけるカルシウム認識機構の解明	1,820
	16K07433	生命環境系	助教	堀江 健生	光遺伝学とイメージングによる単一ニューロンレベルでの遊泳運動神経回路の機能解明	1,950
	16K07568	生命環境系	講師	春原 由香里	作物の成長促進と耐病性増強をもたらす二次代謝産物の探索と作用メカニズムの解析	2,210
	16K07586	生命環境系	教授	松倉 千昭	果実細胞壁・果皮ククラ生合成経路の解明ー果実内デンプン分解産物のダイナミズム	1,560
	16K07710	生命環境系	准教授	白井 健郎	γ-tubulin特異的阻害剤 gatastatinを用いた化学生物学的研究	2,080
	16K07803	生命環境系	准教授	小幡谷 英一	伝統的な雅楽器に用いられる葦材の物性解明と人工栽培による代替材の開発	2,730
	16K07888	生命環境系	准教授	興梠 克久	職業能力の「見える化」に対応した林業雇用管理のあり方に関する研究	1,690
16K07936	生命環境系	教授	石井 敦	国際競争力を持った低コスト大規模稲作実現のための水利システムの国際比較研究	1,560	
16K08094	生命環境系	教授	Taylor DeMar	Molecular studies on nutrient regulation of reproduction and immune responses in a tick	3,120	
16K08125	芸術系	准教授	伊藤 弘	世界遺産を活用した観光地整備のあり方に関する研究	1,300	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	16K08293	医学医療系	教授	本間 真人	漢方エキス製剤の使用実態に基づく偽アルドステロン症のリスク因子の解明	1,820
	16K08541	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	入鹿山 容子	敗血症性ショックにおけるオレキシンの新規中枢神経系制御機序の解明	1,560
	16K08609	医学医療系	教授	大根田 修	2型糖尿病由来間葉系幹細胞の単離およびその機能解析	1,690
	16K08610	医学医療系	准教授	福田 綾	モデルマウスによるUCP1発現細胞の非侵襲的イメージング解析	1,690
	16K08706	医学医療系	准教授	鈴木 裕之	扁平上皮がんの発生、進展におけるTHG-1の役割	1,950
	16K08804	医学医療系	准教授	竹内 薫	パラインフルエンザウイルスの粒子形成機構の解析と新規ワクチンの開発	1,950
	16K08859	医学医療系	特任助教	速水 恵子	研修医を対象とした医師不足地域の就労に関するコホート調査	910
	16K08860	医学医療系	准教授	近藤 正英	慢性腎臓病(CKD)のマススクリーニングに関する経済評価	1,950
	16K08961	医学医療系	教授	川上 康	NGSを用いた褐色細胞腫の遺伝的背景の解明-精密医療・先制医療を目指して	3,120
	16K09010	医学医療系	講師	安岡 聖	BNCTに関連した患者体内ホウ素濃度分布の非侵襲的計測機器の開発	3,770
	16K09048	医学医療系	講師	横谷 省治	小中学校がん教育プログラムを通じたがん検診受診の促進とその検証	1,170
	16K09125	医学医療系	教授	濱田 洋実	総合周産期母子医療センター内助産システムを中核とする新規地域産科医療モデルの構築	1,040
	16K09416	医学医療系	講師	石津 智子	3次元エコー図による右室機能と同期不全評価法の研究	3,380
	16K09417	医学医療系	准教授	瀬尾 由広	後期高齢者における包括的な心エコー図指標に関する基準値の策定	2,080
	16K09511	医学医療系	研究員	小菅 寿徳	ナノ粒子を用いた血管炎症病変の非侵襲的診断および治療法の探求	1,300
	16K09570	医学医療系	講師	菊池 慎二	細胞接着分子CADM1を分子標的とする小細胞肺癌の治療法の開発	1,300
	16K09571	医学医療系	講師	松野 洋輔	肺線維症における活性酸素シグナリングの役割とその制御機構	2,210
	16K09664	医学医療系	教授	玉岡 晃	アルツハイマー病における病因関連分子の分子種依存的なミトコンドリア障害の解析	1,820
	16K09738	医学医療系	講師	岩崎 仁	転写因子CREB3L3による複合的な生活習慣病改善に関わる新規因子の同定	1,430
	16K09886	医学医療系	助教	川崎 綾	網羅的発現解析を応用した膠原病の疾患関連パスウェイおよびlncRNAの探索	1,820
16K09917	医学医療系	講師	近藤 裕也	自己免疫性関節炎に特異的なFoxp3+制御性T細胞サブセットとその制御機構の同定	1,560	
16K10306	医学医療系	教授	柴田 靖	大脳白質線維の画像解析による慢性頭痛の病態解明、診断治療への応用	650	
16K10383	医学医療系	准教授	奥村 敏之	残肝機能に着目した陽子線照射の最適化に関する研究	780	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C)【一般】	16K10384	医学医療系	研究員	善光 純子	放射線照射により脳内へ波及するアブスコパル効果発現に関する基礎的研究	1,690
	16K10420	医学医療系	講師	高野 恵輔	糖鎖発現解析による腎移植後慢性拒絶反応の新規診断法の開発	1,690
	16K10489	医学医療系	講師	久倉 勝治	徐放性ハイドロゲル製剤を用いた新規消化管縫合不全予防製剤の開発	1,690
	16K10562	医学医療系	教授	近藤 匡	肝転移抑制を目指した癌細胞接着・浸潤メカニズムの解明と予防法の開発研究	1,560
	16K10563	医学医療系	講師	橋本 真治	消化器癌に特異的な糖鎖暗号 (sugar code) の解読	2,470
	16K10651	医学医療系	准教授	佐藤 明	腹部大動脈瘤の病態形成における好中球細胞外トラップの役割解明と治療への応用	2,210
	16K10671	医学医療系	教授	佐藤 幸夫	外科手術用の高強度魚ゼラチン接着剤開発	1,690
	16K10709	医学医療系	講師	滝川 知司	TEMPO-RNPによる動脈硬化における酸化ストレス発生の予防	1,820
	16K10781	医学医療系	講師	阿久津 博義	低侵襲レーザー内視鏡治療器を用いた定量的光線力学療法の確立	2,340
	16K10808	医学医療系	講師	原 友紀	末梢神経損傷に対する多血小板血漿療法の効果に関する研究	1,300
	16K10845	医学医療系	准教授	吉岡 友和	骨髄間葉系幹細胞と多血小板血漿を用いた新しい低侵襲半月板修復促進法の開発	2,080
	16K10952	医学医療系	准教授	田口 典子	加齢が術後認知機能に与える経時的変化の解明とその予防についての研究	1,950
	16K10994	医学医療系	講師	常楽 晃	膀胱癌における免疫環境と遺伝子変異の包括的解析によるBCG抵抗性機序の解明	1,820
	16K11129	医学医療系	准教授	水口 剛雄	子宮体癌における統合的ゲノム・エピゲノム解析に基づく新規分子標的治療の探索	1,560
	16K11258	医学医療系	講師	岡本 芳史	食品添加物由来の組織シーラントを用いた結膜癒着防止効果の検討	2,600
	16K11316	医学医療系	講師	平岡 孝浩	高次収差解析による近視進行コアメカニズムの解明と新理論に基づく近視抑制CLの開発	1,560
	16K11394	医学医療系	助教	J e s m i n S u b r i n a	Exploration of mechanisms underlying organ protective role of blockade of protease activated receptor 2 in sepsis through the modulation of VEGF angiogenic system and associated microcirculation	1,820
	16K11981	医学医療系	准教授	三木 明子	在宅ケアを受ける患者・家族からの暴力・ハラスメント防止方策の構築	1,820
	16K12135	医学医療系	助教	福澤 利江子 (岸利江子)	周産期の非医療的支援提供方法の開発と評価：参加型介入研究	1,430
	16K12234	医学医療系	准教授	岡田 佳詠	看護師の認知行動療法実践者のためのスーパーバイザー養成プログラムの作成と評価	1,560
16K12329	医学医療系	准教授	村井 文江	大学生ピアおよびITを活用した高校生のデートDV予防支援プログラムの開発・評価	1,560	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
【特設分野研究】 【基盤研究(C)】	26520101	医学医療系	講師	小林 麻己人	老年学モデルとしてのゼブラフィッシュ活用の試み	1,040
	15KT0102	数理物質系	教授	田島 慎一	機械学習モデルの特異統計構造と計算代数解析アルゴリズム	2,210
	15KT0127	生命環境系	教授	増田 美砂	参加型アプローチの可能性と制約：ジャワの森林コンフリクトを通じた検証	1,950
挑戦的萌芽研究	26540010	数理物質系	教授	青嶋 誠	ビッグデータの統計学：理論の開拓と3Vへの挑戦	1,430
	26540094	システム情報系	教授	伊藤 誠	緑内障患者のための盲導犬メタファーに基づく自動車運転支援	1,690
	26540096	システム情報系	准教授	矢野 博明	間接フィードバック型力覚提示に関する研究	780
	26540168	図書館情報メディア系	准教授	鈴木 佳苗	子どもの読書への関心を高めるプログラムの実践と評価	1,170
	26550106	生命環境系	教授	志賀 和人	現代的森林管理論と制度・政策の枠組み構築	910
	26550107	システム情報系	助教	甲斐田 直子	環境配慮行動と充足感のポジティブな連鎖に関する縦断的研究	1,300
	26560162	システム情報系	教授	鈴木 勉	不確実・低成長時代の次世代都市時空間構成に関する数理的研究	1,040
	26560341	体育系	教授	浅井 武	スポーツ用次世代数値流体解析システムの構築と展開研究	910
	26560342	体育系	教授	藤井 範久	不整地における走動作のバイオメカニクス的研究	1,040
	26570003	システム情報系	准教授	松原 康介	アレッポの戦災状況調査と戦災復興都市計画原案の策定	910
	26580022	芸術系	教授	五十殿 利治	占領期の美術と冷戦—日本、ドイツ、アメリカ	1,170
	26580023	芸術系	教授	菅野 智明	日本流入の中国書画に関する新旧收藏家ネットワークの復元的研究	1,040
	26580025	人文社会系	教授	酒井 たか子	日本の話芸における「おかしみ」の理解の研究法—笑いの文化差の視点から—	1,170
	26580140	生命環境系	教授	山下 清海	エスニック集団のホスト社会への適応における借り傘戦略の実証的・理論的研究	1,040
	26590035	人文社会系	准教授	柏木 健一	平和と繁栄の回廊創設を目指したヨルダン川西岸・東岸におけるオリーブ産業育成研究	1,170
	26590173	システム情報系	教授	森田 昌彦	対属性仮説に基づく結合問題の解決と多次元情報統合過程のモデル化	1,040
	26600083	数理物質系	助教	都甲 薫	シリコンLSI融合型ゲルマニウム・ナノワイヤの創製と超高速トランジスタの実証	1,300
	26600138	数理物質系	准教授	笹 公和	炭素14マッピング直接測定を目指したレーザーアブレーション加速器質量分析法の開発	910
	26610002	数理物質系	教授	宮本 雅彦	単純自己同型群に対する軌道予想の解決	1,040
26610012	数理物質系	講師	永野 幸一	曲率が上に有界なホモロジー多様体に対する幾何学的トポロジーの展開	650	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑戦的萌芽研究	26630032	数理物質系	教授	木塚 徳志	原子直視法による摩擦実験法の開発	650
	26650155	生命環境系	准教授	田中 健太	エビジェネティクスによる累代適応を、適応幅が広いシロイヌナズナ属野生種で検証する	2,600
	26670264	医学医療系	准教授	福島 敬	新規高性能ベクターを生体イメージングで評価し血友病遺伝子治療に応用するための研究	1,040
	26670901	生命環境系	准教授	楊 英男	光触媒デバイスをを用いた口腔内バイオフィルム予防の機構解明と実用検証	1,040
	26670970	医学医療系	准教授	古谷 佳由理	小児慢性疾患患者における成人移行期支援のためのヘルスリテラシー尺度の開発	910
	26670971	附属病院	看護師長	杉本 敬子	出産による心的外傷後ストレス症状測定尺度日本語版の開発研究	650
	26671001	医学医療系	助教	岡本 紀子	高齢者の肺炎予防のための生活リズム調整と社会的機能の強化による保健指導方法の開発	780
	26671002	医学医療系	教授	松田 ひとみ	高齢者の起立時血圧低下の実態と「起立前看護オノマトベ法」の開発	910
	15K11992		名誉教授	赤平 昌文	統計的欠損性の階層構造の解明とその応用	1,170
	15K11993	システム情報系	教授	金野 秀敏	応用確率過程解析における「ホインの微分方程式の方法」の開拓	650
	15K12001	システム情報系	教授	丸山 勉	大規模問題に対するFPGAアクセラレータ構築手法の研究	1,170
	15K12006	システム情報系	教授	加藤 和彦	メニーコアと大容量主記憶を持つ計算機向けのビッグデータの並列処理方式	1,690
	15K12007	システム情報系	教授	亀山 幸義	マルチステージ証明記述言語の設計と開発	1,300
	15K12024	システム情報系	教授	北川 高嗣	一般化逆作用素を用いたビッグデータ向け知識創造サイクルモデル	1,040
	15K12137	システム情報系	助教	安東 弘泰	2型糖尿病における人工的膵臓刺激装置設計のための数理モデル研究	1,170
	15K12149	システム情報系	教授	山本 幹雄	テキストデータに対する高次元小標本帰問題へのトピックモデルに基づくアプローチ	1,820
	15K12178	システム情報系	准教授	星野 准一	海洋環境コンテンツの制作を支援する仮想アクアリウム基盤の構築	1,820
	15K12234	システム情報系	教授	京藤 敏達	流体力学的分級およびサクシオン圧密による土壌洗浄	1,430
	15K12235	生命環境系	教授	張 振亜	ナノチューブを足場とした高活性複合材料を用いた水中有害イオンの吸着浄化	1,170
	15K12236	生命環境系	助教	山下 祐司	なぜ腐植物質は水処理プロセスの効率を低下させるのか？	1,430
15K12256	生命環境系	助教	平尾 章	植物の花蜜が介在する生物間ネットワークの形成プロセス	1,300	
15K12272	生命環境系	准教授	水野谷 剛	道州制導入後の流域管理政策の提言－南・北関東州を例としたシミュレーション分析－	650	
15K12554	医学医療系	教授	大河内 信弘	ヒト胎盤羊膜由来間葉系幹細胞のバイオバンクの創設	1,170	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑戦的萌芽研究	15K12626	体育系	教授	長谷川 聖修	帰還困難地域の避難者へ地域交流を促す身体運動の効果と方法	1,170
	15K12627	体育系	准教授	長谷川 悦示	体育科授業研究のための授業分析用アプリの開発と効果の検証	780
	15K12628	体育系	准教授	三木 ひろみ	体育で育成する思考力・判断力・表現力ー21世紀型能力と学習指導要領の視点から	1,170
	15K12629	体育系	教授	西嶋 尚彦	ICT活用のための子どもの運動習熟特性の発見的解明	1,820
	15K12639	システム情報系	准教授	山際 伸一	動きビッグデータからスキルの予測は可能か？	1,300
	15K12640	体育系	教授	征矢 英昭	毛髪コルチゾールはコンディショニングの新指標となりうるか？	2,470
	15K12641	体育系	教授	高木 英樹	水泳研究のパラダイムシフトとなる新たな泳パワーの測定方法の開発	1,300
	15K12642	体育系	准教授	小池 関也	高速スポーツ動作生成メカニズムの即時提示システムの開発	1,170
	15K12692	体育系	教授	前田 清司	定期的な有酸素性運動は中高齢男性における勃起不全を改善するか？	1,170
	15K12753	数理物質系	准教授	北 将樹	光親和性プローブとLA-LDI-MSを用いた標的生体分子の結合部位解析法の開発	1,820
	15K12766	医学医療系	教授	松本 正幸	注意の神経機構：霊長類動物モデルを用いた光遺伝学からのアプローチ	2,340
	15K12768	医学医療系	教授	桜井 武	カタプレキシーを発動する神経経路の解明	2,080
	15K12773	人間系	助教	高橋 阿貴	苛立ちの神経回路	1,300
	15K12797	生命環境系	教授	呉羽 正昭	景観変化とイメージ創造に基づいたリゾート発展モデルの構築	910
	15K12855	人文社会系	准教授	対馬 美千子	現代ヨーロッパ文学におけるトラウマと創造性についての総合的研究	1,170
	15K12955	人文社会系	教授	関根 久雄	ダイバーシティ・マネジメントの民族誌的研究ー企業活力の追求と人類学の可能性ー	650
	15K12975	ビジネスサイエンス系	教授	弥永 真生	北アフリカにおける会社法ーシャリーアとの関連において	1,820
	15K13002	システム情報系	助教	栗野 盛光	分権的マッチング制度の理論研究	1,170
	15K13011	システム情報系	教授	大澤 義明	パレート効率な自治体連携の可能性と限界ーマッチング理論による地方創生ー	1,560
	15K13157	人間系	教授	P a v l i d e s C	Neural network organization of the spatial map	1,560
15K13170	ビジネスサイエンス系	准教授	田中 正弘	東北地域の大学進学問題ー教育社会学と比較教育学の研究手法の融合ー	780	
15K13172	人間系	教授	濱田 博文	新たな学校ガバナンスにおける「教育の専門性」の再定位	1,040	
15K13203	人間系	助教	川口 純	途上国における非正規課程の教育に関する国際比較研究	1,560	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑戦的萌芽研究	15K13220	体育系	准教授	三田部 勇	保健体育科教員を養成及び育成する一貫した教育プログラムの検討	780
	15K13269	数理物質系	助教	谷中 淳	ナノ接点のその場観察とノイズ解析によるコンダクタンスおよび透過率の動的計測	376
	15K13329	数理物質系	准教授	丸本 一弘	ペロブスカイト太陽電池のスピ形成・電荷蓄積の直接観測と特性向上	1,300
	15K13355	数理物質系	准教授	柳原 英人	スピネルフェライトヘテロ接合における界面2次元伝導	1,040
	15K13356	数理物質系	教授	佐々木 正洋	炭化したシャープペンシル芯からの優れた電界電子放出の起源の解明	910
	15K13371	数理物質系	講師	安野 嘉晃	光レオロジー：偏光で見るバイオメカニクス	1,430
	15K13397	数理物質系	教授	伊藤 雅英	準結晶パターンによるX線集光素子に関する基礎研究	1,690
	15K13447	数理物質系	教授	磯崎 洋	確率論的方法による離散シュレーディンガー作用素の逆散乱理論	780
	15K13475	数理物質系	講師	中條 達也	高エネルギー実験のための10ピコ秒飛行時間測定器の開発	1,950
	15K13513	数理物質系	助教	小林 航	イオンモデルに基づいた新奇なナトリウムイオン電池材料の開発	1,170
	15K13546	数理物質系	助教	菱田 真史	擬似非平衡場としての生体膜：膜上での分子拡散と選択的分子集積	1,170
	15K13599	生命環境系	教授	濱 健夫	海洋蛍光性溶存態有機物の光化学反応と残存性—バクテリアによる炭素長期隔離の鍵—	910
	15K13717	数理物質系	教授	藤田 淳一	マイクロ電解セルの創出による電解反応機構解明とデバイス応用	780
	15K13735	数理物質系	講師	百武 篤也	無発光イメージング法確立に向けた分子開発	1,950
	15K13812	数理物質系	准教授	山本 洋平	細胞への光閉じ込めと共鳴発光・レーザー発振	1,950
	15K13879	システム情報系	教授	阿部 豊	二酸化炭素貯留に向けたCO ₂ ハイドレート生成・成長のその場計測	1,170
	15K14094	システム情報系	教授	藤川 昌樹	在来産業の近代化と都市形成の対応に関する日中比較研究	1,430
	15K14245	システム情報系	准教授	横田 茂	形状記憶推進剤を用いたレーザーアブレーション推進	1,430
	15K14359	医学医療系	准教授	杉山 文博	ゲノム編集によるバイシストロニックCreドライバーマウスの開発	1,950
	15K14520	生命環境系	教授	笹倉 靖徳	ホヤにおける新規母性因子特異的ノックダウン法によるmRNAの局在機構の解明	1,430
15K14565	生命領域学際研究センター	研究員	藤澤 千笑 (西宮千笑)	ヒドラ生殖幹細胞の特質の解明—多能性幹細胞との発現遺伝子の比較から	1,820	
15K14566	生命環境系	教授	稲葉 一男	新規光感受性タンパク質を介した鞭毛繊毛運動の光制御	1,560	
15K14579	生命環境系	准教授	宮村 新一	真核生物のオスとメス、2つの性の起源と進化に関する細胞構造学的研究	780	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑戦的萌芽研究	15K14587	生命環境系	助教	蓑田 歩	嫌気条件下での酸素発生型光合成のパラドックスを解く	1,950
	15K14683	生命環境系	教授	星野 貴行	脱窒処理の効率化をもたらす微生物代謝の電極電位による制御	780
	15K14684	数理物質系	准教授	辻村 清也	酸化還元酵素のハイスループット電極触媒機能評価	1,170
	15K14707	生命領域学際研究センター	助教	金 俊達	「ナノピペット」による蛍光標識したストレス顆粒の単離	2,210
	15K14719	生命環境系	准教授	丹羽 隆介	エクジステロイド生合成に関わる新規酵素に着目した昆虫発育制御剤スクリーニング戦略	1,560
	15K14747	生命環境系	准教授	堀田 紀文	岩盤風化に伴う渓流水質の変化に着目した深層崩壊の発生時期予測手法の開発	1,170
	15K14825	生命環境系	教授	北村 豊	真空低温場における噴霧液体の凍結・昇華特性の実験的解析	1,690
	15K14874	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	L i u Q i n g h u a	フォワード・ジェネティクスを用いた先天的恐怖の分子メカニズム解明	910
	15K14913	生命環境系	准教授	小野 道之	新型インフルエンザに対する食べるワクチンを色素体で生産する試み	1,560
	15K15037	医学医療系	講師	山縣 憲司	閉経女性のエストロゲン欠乏によるサルコペニア肥満のリスク増大とNrf2の抑止効果	1,560
	15K15187	医学医療系	教授	野口 恵美子	セルフリーDNAを用いた乳癌の予後予測法の開発	1,820
	15K15188	医学医療系	講師	松井 裕史	ポルフィリン蛍光を利用した血中循環腫瘍細胞捕捉技術に関する研究	1,560
	15K15318	医学医療系	講師	酒井 俊	肺高血圧症におけるポリアミン系活性化の意義解明と新規治療法の開発	1,430
	15K15319	生命領域学際研究センター	講師	田原 聡子	抑制性受容体アラジン-1のリガンドを用いた重症喘息の治療法の開発	1,430
	15K15344	医学医療系	教授	島野 仁	横紋筋融解症発症モデルマウスにおけるオートファジー異常の分子メカニズム	1,820
	15K15359	医学医療系	教授	千葉 滋	骨髄赤芽球造血ニッチの解明	1,430
	15K15445	医学医療系	准教授	福光 延吉	本邦初の99Mo/99mTc国産化を目指した99Mo/99mTcジェネレータ開発	1,950
	15K15446	医学医療系	准教授	籾野 健太郎	BNCT製剤早期実用化を実現する新規分子イメージング技術	1,950
	15K15488	医学医療系	講師	石毛 和紀	遺伝子レスキューマウス解析によるNASH発癌を制御する組織・細胞Nrf2の役割解明	1,430
	15K15523	附属病院	病院講師	高野 晋吾	血管新生因子アンチセンスホモロジーボックス由来ペプチドによる脳梗塞の血管新生療法	1,300
15K15642	医学医療系	講師	新開 統子	臍帯間葉系幹細胞シートによる先天性横隔膜ヘルニア低形成肺の再生	1,560	
15K15649	医学医療系	教授	関堂 充	末梢神経再生技術の形成外科領域への導入	1,430	
15K15730	医学医療系	准教授	柳川 徹	海馬の疼痛記憶形成異常仮説による舌痛症モデル動物の構築と解析	1,820	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑戦的萌芽研究	15K15782	医学医療系	教授	川口 孝泰	ベッド上からの転落予知センサの開発と実用化に向けた検証	910
	15K15825	医学医療系	教授	水野 道代	がん患者の就労に係る自己評価ツールの活用とQOLに与える効果の検討	1,560
	15K15846	医学医療系	准教授	涌水 理恵	在宅重症心身障害児の家族エンパワメントに焦点を当てたケアモデルの検証	650
	15K15847	医学医療系	助教	山海 千保子	「育児ストレス」軽減に向けた認知行動療法プログラムの開発	390
	15K15848	医学医療系	教授	江守 陽子	妊娠女性の正常体重肥満（いわゆる隠れ肥満）と周産期outcomeの関係	1,040
	16K12396	システム情報系	助教	合原 一究	カエルの合唱法則に基づく群知能アルゴリズムの創出	1,690
	16K12410	システム情報系	准教授	新城 靖	多重世界モデルに基づきプライバシーを保護するオペレーティングシステム	1,560
	16K12453	システム情報系	教授	福井 和広	顔面微小特徴点セットの3次元配置構造に基づく個人識別	1,560
	16K12467	システム情報系	准教授	志築 文太郎	導電性インクで印刷可能なROMとこれに基づく紙状のコントローラ	1,040
	16K12468	図書館情報メディア系	助教	落合 陽一	計算機ホログラムとテラヘルツイメージングを用いたファブリケーションの研究	2,860
	16K12484	システム情報系	助教	大澤 博隆	視線投影デバイスを用いたユーザの視線表出補助	2,080
	16K12547	システム情報系	教授	宇津呂 武仁	絵本に対する子どもの認知発達の反応事例を提示する絵本推薦システムの研究	650
	16K12576	生命環境系	准教授	内海 真生	暗黒海である海洋中・深層水中の微生物群集の増殖および代謝活性現場測定法の開発	1,560
	16K12647	生命環境系	特任助教	新家 弘也	貯蔵脂質と貯蔵多糖合成の代謝スイッチングの仕組み	1,170
	16K12736	医学医療系	教授	平松 祐司	MK-7低産生菌、短時間発酵と紫外線加工によるビタミンK低減化納豆開発と性能試験	1,300
	16K12816	生命環境系	教授	村山 祐司	東南アジアのメガシティにおけるアーバン・ボリュームと生態系サービスの変容	1,430
	16K12866	数理物質系	准教授	加納 英明	脂肪を燃やす褐色脂肪細胞における熱産生過程の非染色分子イメージング	2,730
	16K12977	体育系	教授	酒井 利信	絵画と映像でひもとく武道文化	1,170
	16K13038	人間系	准教授	山田 実	身体活動とソマトポーズ・アドレノポーズに関する包括的研究	1,560
	16K13039	体育系	教授	徳山 薫平	手続き記憶の固定（技の習得）と睡眠の相互作用	1,040
16K13040	医学医療系	准教授	矢作 直也	多価不飽和脂肪酸の作用ドメイン解明から新規高トリグリセリド血症治療薬へ	1,690	
16K13041	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	佐藤 誠	運動がヒトの褐色脂肪組織に及ぼす影響：MRIによる定量	2,860	
16K13066	体育系	教授	清水 紀宏	子どもの体力・スポーツ格差に関する基礎的実証研究	1,040	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑戦的萌芽研究	16K13156	人文社会系	助教	土井 裕人	人文情報学を活用した宗教学の新たな教育方法論の構築と研究への循環	1,040
	16K13169	芸術系	教授	長田 年弘	聖地オリュンピア―戦闘行為の抑止への宗教および視覚芸術の関与	1,170
	16K13173	芸術系	助教	FONDEV I L L A H L	Alternative Pop: How Asian popular culture changed the landscape of contemporary art in the US West Coast	650
	16K13174	人文社会系	教授	今泉 容子	映画が辿る認知症介護の45年間 1973～2017	1,560
	16K13234	人文社会系	准教授	島田 雅晴	料理レシピサイトCookpadを用いた言語研究：英語のPを使った名付けを中心に	1,430
	16K13256	人文社会系	教授	卯城 祐司	技能統合型言語テストの妥当化：タスク遂行に必要な構成概念の測定に向けて	1,300
	16K13290	人文社会系	助教	前田 修	社会変化の「速度」から解く先史時代人類史	1,690
	16K13297	生命環境系	教授	松井 圭介	聖地共創時代におけるオタクの癒し空間に関する応用地理学的研究	1,430
	16K13300	人文社会系	助教	木村 周平	エスノグラフィを援用した課題解決手法構築に向けた人類学的実践の再帰的研究	1,040
	16K13356	人間系	准教授	LAMI CHH ANE KAM AL	インクルーシブ教育が障害児の学力を向上させるのか：ネパールを事例とした実証分析	1,040
	16K13394	システム情報系	准教授	上市 秀雄	リアルタイム場面におけるサービス・インタラクション理論の構築と実証	2,600
	16K13409	人文社会系	准教授	野上 元	軍事組織への社会学的接近	1,040
	16K13430	医学医療系	教授	安梅 勅江	持続可能社会に向けた多世代共創コミュニティ・エンパワメント開発評価	1,690
	16K13481	人間系	准教授	山中 克夫	我が国の文化や介護現場に即した認知症の人や介護者のQOL評価法の開発	1,170
	16K13482	人間系	研究員	宇野 かおり (宇野カオリ)	キャラクター・ストレングスの活性化による危機耐性（レジリエンス）強化モデルの構築	780
	16K13515	人間系	准教授	佐藤 博志	「成功した校長」の国際比較研究―オーストラリア・ニュージーランド・日本を対象に―	1,040
	16K13516	人間系	教授	藤田 晃之	現職教員を対象とした教育専門職学位（Ed. D.）プログラムの創設	1,300
	16K13543	人文社会系	教授	畔上 泰治	異文化理解教育の新たな課題―ドイツの極右グループの音楽活動を中心に―	650
	16K13565	芸術系	助教	市川 寛也	妖怪文化を活用した教科横断型の地域学習支援ツールの開発	1,820
	16K13566	人間系	助教	山本 容子	生物教育における環境倫理意識を高めるバイオフィリアの概念を導入した環境教育の研究	1,170
16K13567	人間系	教授	大高 泉	明治期の理科教育における近代科学の基本的自然観の再生産の研究	1,300	
16K13568	人間系	教授	磯田 正美	ASEAN共同体とのJapanイニシアティブ理数教育課程開発研究ネットワーク構築	3,250	
16K13594	人間系	教授	園山 繁樹	知的障害特別支援学校における不登校の実態と支援方法の検討	910	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑戦的萌芽研究	16K13612	数理工質系	教授	黒田 眞司	半導体ドット中の単一スピンの制御と応用	1,950
	16K13660	数理工質系	教授	西堀 英治	弾性・非弾性散乱データ同時解析による計測物質科学の創成	2,600
	16K13678	数理工質系	講師	山田 洋一	Ge(110)表面における単一配向極薄Geナノワイヤーの創製と応用開拓	1,690
	16K13679	数理工質系	准教授	近藤 剛弘	超高感度ヘテロダイナミクス走査トンネル分光の実現	1,820
	16K13782	計算科学研究センター	教授	相川 祐理	計算科学によるアストロバイオロジーへの理論的挑戦	1,690
	16K13797	数理工質系	准教授	武内 勇司	半導体SOI回路と超伝導検出器STJの融合による革新的高感度検出器の開発	910
	16K13798	計算科学研究センター	研究員	浮田 尚哉	格子数値計算による超対称性の自発的破れの解明	1,300
	16K13845	数理工質系	教授	初貝 安弘	四元数のトポロジカル相での意義の解明への挑戦：多体問題と時間反転の破れ	1,430
	16K13943	数理工質系	教授	市川 淳士	フッ素置換遷移金属カルベン錯体を經由する含フッ素化合物の触媒的合成法	1,820
	16K14315	システム情報系	教授	谷口 守	インビジブルシティ（見えない都市）の「見える化」によるハイブリッドなまちづくり	650
	16K14364	芸術系	教授	上北 恭史	歴史的建造物を建築基準法適用除外するために必要な包括的な同意基準の研究	1,950
	16K14484	生命環境系	准教授	橋本 義輝	土壌微生物による新規ターメリック代謝	1,820
	16K14588	医学医療系	教授	高橋 智	生体内でのインシュリン産生細胞誘導法の開発	2,210
	16K14589	医学医療系	講師	三輪 佳宏	近赤外イメージングを応用した神経機能マッピング新技術の開発	1,820
	16K14628	数理工質系	研究員	池田 豊	新規低酸素環境応答性プロドラッグの構造最適化	2,990
	16K14629	医学医療系	准教授	渋谷 和子	がん免疫逃避関連分子を標的とした新規がん治療法の開発	3,770
	16K14719	生命環境系	教授	中田 和人	ミトコンドリアゲノム変異の病原性発揮における細胞種特異的な感受・抑制機構の解明	1,820
	16K14750	生命環境系	准教授	別役 重之	マイクロ流体デバイスを用いた植物1細胞サリチル酸応答解析	2,210
	16K14764	医学医療系	講師	松田 学	マイノリティ細胞の動態理解に向けた組織細胞分散分離手法の開発	1,300
	16K14795	生命環境系	助教	豊福 雅典	細菌から探る、コミュニケーションの地理的な系統と推移	1,170
16K14847	生命環境系	教授	菅谷 純子	モモ果実の香気生成の生化学的・分子生物学的メカニズムに関する研究	1,820	
16K14878	生命環境系	教授	小林 達彦	放線菌におけるユニークな遺伝情報発現の制御機構研究	1,820	
16K14898	生命環境系	教授	田中 俊之	炭素間三重結合導入酵素の探索と反応機構解明	1,300	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑戦的萌芽研究	16K14991	生命環境系	教授	茂野 隆一	農作業事故リスクの実態に関する研究	650
	16K15079	システム情報系	准教授	村上 暁信	津波で失われた景観のデジタル再現と記憶の分析によるコミュニティが共有する場の解析	1,820
	16K15086	生命環境系	教授	高谷 直樹	多細胞微生物の細胞機能のヘテロ性の解明	2,210
	16K15087	生命環境系	教授	深水 昭吉	細胞内リン脂質代謝のイメージング	2,210
	16K15130	生命環境系	准教授	桑山 秀一	微生物に由来する新規ガン抑制因子の作用機構の解析	1,820
	16K15154	医学医療系	准教授	古川 宏	薬剤投与で発症する皮膚薬剤過敏症モデル動物の作成	1,950
	16K15187	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	船戸 弘正	マウス睡眠覚醒制御遺伝子のサブレッサースクリーニング	1,820
	16K15188	医学医療系	准教授	溝上 裕士	肝脂肪酸エネルギー代謝異常による新しいNASH発症機序の解明	1,950
	16K15299	医学医療系	助教	藤江 敬子	患者の受療行動と過剰受診・過剰投薬の実態およびその是正に関する探索的研究	1,170
	16K15343	医学医療系	准教授	熊田 博明	あらゆる放射線外部照射の治療計画が可能なオールモダリティ治療計画システムの開発	1,560
	16K15388	医学医療系	客員教授	阿部 智一	外傷診療の質の向上ーヘルスサービスリサーチによる革新的アプローチ	1,300
	16K15454	医学医療系	教授	石井 幸雄	新規モデルを用いた非自己免疫性肺胞蛋白症の病態解明と治療法の開発	1,560
	16K15455	医学医療系	教授	渋谷 彰	リン脂質リボソームを用いた気道過敏症の治療法の開発	3,380
	16K15476	医学医療系	講師	富所 康志	アルツハイマー病の予防的治療法にむけた毒性Aβコンホマーによる新規診断マーカー	1,170
	16K15497	医学医療系	准教授	坂田 麻実子 (柳元麻実子)	T細胞リンパ腫の支持環境細胞クローン進化の解析	1,690
	16K15573	医学医療系	教授	坪井 康次	放射線照射とiPS細胞による新たながん治療	1,690
	16K15604	医学医療系	准教授	鄭 允文	ヒト免疫システムを持つヒト肝臓化ラットの創出とヒト肝疾患・治療モデルの開発研究	1,430
	16K15605	医学医療系	教授	小田 竜也	糖鎖標的癌治療；癌幹細胞の特異的糖鎖に対するレクチン-トキシンによる新規癌治療	1,820
	16K15628	数理物質系	教授	長崎 幸夫	一酸化窒素リリース型インジェクタブルゲルの設計と虚血疾患への展開	3,380
	16K15685	医学医療系	教授	西山 博之	土壌菌菌体成分であるミコール酸による抗腫瘍免疫製剤の開発	1,690
16K15757	医学医療系	講師	後藤 行延	霊長類モデルを用いた革新的な術後SIRS/ARDS発症メカニズムの探究	1,170	
16K15817	医学医療系	教授	武川 寛樹	ヌードラット末梢神経損傷に対するヒト歯髄幹細胞の神経再生効果	2,080	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究(A)	25700024	システム情報系	助教	大澤 博隆	ユーザの機能習得を手助けする自己紹介型インタフェース	1,950
	25702037	体育系	助教	山口 拓	カンボジア王国の小学校体育科教育の普及施策に関する研究	2,080
	25711020	生命領域学際研究センター	助教	林 良樹	ショウジョウバエ始原生殖細胞におけるミトコンドリア品質管理機構の解析	5,200
	25712004	生命環境系	准教授	有泉 亨	トマト花卉内におけるエステル化カロテノイド蓄積の分子基盤の解明	5,720
	26706018	数理物質系	講師	久保 敦	通信帯フェムト秒表面プラズモン波束の顕微映像化と非線形増幅	2,860
	26708008	数理物質系	准教授	所 裕子	双安定性を利用した新規機能性相転移物質の開発	5,200
	26709019	数理物質系	助教	都甲 薫	プラスチックを基材とした高効率・多接合型薄膜太陽電池のボトムセル技術	3,250
	26710001	医学医療系	教授	松本 正幸	前頭前野機能への神経路特異的なドーパミン信号の役割	5,330
	26711022	生命環境系	准教授	中野 裕昭	非モデル動物を用いた海産無脊椎動物幼生の進化に関する比較発生学的研究	5,590
	26712004	生命環境系	助教	吉岡 洋輔	キュウリ属作物の果実品質改良に寄与するゲノムデザイン育種基盤の構築	4,680
	26713057	医学医療系	准教授	涌水 理恵	発達障害児の家族を対象とした包括的エンパワメントプログラムの開発と評価	1,300
	15H05374	医学医療系	助教	山田 洋	生理的欲求に応じて価値判断を調節する神経ネットワークの解明	7,800
	15H05418	数理物質系	助教	石井 宏幸	低分子系および高分子系有機半導体のための大規模電子伝導計算理論	8,840
	15H05473	数理物質系	准教授	伊藤 良一	3次元グラフェンが生み出す特異物性の解明と開拓	5,330
	15H05558	システム情報系	准教授	横田 茂	即時安定作動可能な大電流電子源	5,850
	15H05560	システム情報系	助教	海老原 格	環境に応じて自律的にパラメータを調整する水中音響モデムによる小型移動体通信の実現	2,210
	15H05576	医学医療系	准教授	村谷 匡史	肺癌に関わる非コードゲノム制御領域のゲノム・エピゲノム統合解析	8,970
	16H05856	システム情報系	助教	海野 広志	高レベル言語で記述されたソフトウェアの時相的・関係的仕様の検証	4,030
	16H05896	システム情報系	助教	甲斐田 直子	価値観に根ざした環境配慮行動促進策の提案：東洋・西洋社会における横断・縦断研究	2,990
	16H05920	体育系	助教	松井 崇	運動持久性における視床下部グリコーゲンの役割：新規持久性向上策の提案	5,330
16H05921	人間系	准教授	山田 実	高齢期の身体機能レベル別の骨格筋機能特性の解明と対応する介入プログラムの開発	8,840	
16H05935	芸術系	助教	市川 寛也	コミュニティ・スペシフィックを志向するアーティストによる地域創造力の開発	4,810	
16H05982	数理物質系	助教	吉田 昭二	テラヘルツ時間分解STMの開発	22,360	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究(A)	16H06002	数理解物質系	准教授	山崎 剛	量子色力学を基にした原子核構造の解明へ向けた基礎研究	4,680
	16H06141	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	林 悠	睡眠構築を生み出す神経基盤の解明とその応用	9,360
	16H06164	計算科学研究センター	研究員	原田 隆平	Gタンパク質共役受容体におけるシグナル伝達機構の解明	17,420
	16H06189	生命環境系	助教	豊福 雅典	メンプランベシクルによって放出される細胞外RNAを紐解く	8,450
若手研究(B)	24730568	人間系	助教	田附 あえか	児童養護施設における心理職による家族援助モデルの構築に関する研究	0
	25750120	システム情報系	助教	川村 大伸	半導体製造工程における統計的工程管理	910
	25770183	人文社会系	助教	金谷 優	コトのモノ化と構文文法理論における強制	520
	25770293	生命環境系	准教授	湯澤 規子	近代日本における地域の経済発展の論理と構造に関する歴史地理学的研究	650
	25780082	図書館情報メディア系	准教授	村井 麻衣子	著作物の自由利用の確保と権利者への対価還流の両立への方策	650
	25780539	人間系	助教	森 まゆ	点字使用者の学習において識別容易性の高い点図作成基準構築のための基礎的研究	0
	25800003	数理解物質系	助教	有家 雄介	頂点作用素代数のモジュラー不変性とその表現論への応用に関する研究	910
	25800056	数理解物質系	准教授	梁 松	結晶確率モデルのハミルトン力学系による導出及びそれにおける相対効果の影響	1,040
	25870100	グローバルコモンズ機構	助教	島田 直子	非言語性知能検査UNITを利用した多文化心理教育アセスメントモデルの開発	0
	26730011	システム情報系	助教	フン・ドックトゥアン	顧客の再試行と途中放棄を考慮したコールセンターのモデル化と性能解析	520
	26730026	システム情報系	助教	金澤 健治	マルチFPGAシステムにおける任意のデータアクセス幅のキャッシュ機構の実現	1,560
	26730102	システム情報系	助教	橋本 悠希	振動刺激による定量的な3次元形状認識を可能とする振動強度の設計手法	1,170
	26750261	体育系	特任助教	松畑 尚子	スポーツ政策における新たな政策指標の開発ー生涯スポーツ政策を中心としてー	390
	26750262	体育系	助教	成瀬 和弥	文部省生涯スポーツ課・競技スポーツ課はどのようにして設置されたのか	520
	26750263	体育系	助教	國部 雅大	両眼を用いた水平および奥行き方向への注視トレーニングの効果に関する検討	1,040
	26770022	人文社会系	准教授	志田 泰盛	継続型混交を許容する写本系統の推定：『プラカラナ・パンチカー』校訂研究	910
	26770038	芸術系	助教	杉山 卓史	「われ感触す、ゆえにわれ在り」の系譜ーヘルダーからメルロ＝ポンティまでー	780
	26770133	人文社会系	助教	山村 崇斗	英語疑似空所化の史的発達についての生成統語論的研究	910
	26780247	システム情報系	准教授	岡田 幸彦	わが国サービス企業における原価計算・原価管理の成功モデルに関する実証的研究	1,300

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究(B)	26780426	人間系	助教	田中 マリア	ルソーの女性教育論再考—宗教的世界観との連続性に着目して—	910
	26780512	図書館情報メディア系	特任助教	松原 正樹	聴覚障害学生のための音楽トレーニングにおける学習効果についての研究	910
	26780521	人間系	助教	宮内 久絵	視覚障害教育の専門性に立脚した支援システムとその実現条件	650
	26800031	数理物質系	助教	丹下 基生	ハンドル図式を用いた低次元多様体の研究	780
	26800077	数理物質系	助教	竹内 耕太	有限組み合わせ論を用いた安定性理論の新展開	1,040
	26800078	数理物質系	助教	矢田 和善	高次元漸近理論の統一的研究	910
	26800163	計算科学研究センター	講師	前島 展也	多自由度強相関電子系における光誘起超高速ダイナミクスの生成と制御	650
	26800278	数理物質系	准教授	坂口 綾	天然試料中HFS元素の分別挙動に関する研究	1,820
	26810012	数理物質系	准教授	松井 亨	ヘムの面外振動変位と酸化還元電位の相関の算出	780
	26820257	システム情報系	准教授	雨宮 護	小地域時系列犯罪統計に基づく「防犯まちづくり」の効果検証と評価目録の作成	1,300
	26830002	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	大山 薫	大脳皮質アデノシン系による局所睡眠の制御	1,560
	26840113	生命環境系	助教	松崎 仁美	マウスゲノム刷り込み遺伝子座におけるエピジェネティック修飾制御の分子メカニズム	780
	26840123	生命環境系	特任助教	谷藤 吾朗	非光合成葉緑体の進化と機能多様性探索～比較ゲノムとプロテオームから	650
	26840124	計算科学研究センター	研究員	中山 卓郎	ケルコゾア生物における“ミトコンドリア型解糖系”の理解に向けた基礎的研究	650
	26840156	体育系	特任助教	久保 大輔	ジャワ原人を中心としたホモ・エレクトスの頭蓋腔形態に関する古神経学的研究	260
	26850094	生命環境系	特任助教	高木 悦郎	果肉食性昆虫と種子食性昆虫が創り出す間接効果による種子散布阻害の解明	650
	26860076	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	山本 直司	オピオイドκ受容体リガンドにおける側鎖の最適配向の明確化とその応用	1,170
	26860275	生命環境系	助教	千葉 洋子	ピロリン酸を軸とした赤痢アメーバの嫌氣的代謝系とオルガネラ進化の原動力の解明	780
	26860394	医学医療系	助教	高田 健太	BNCTに最適化した決定論的手法による超高速線量計算アルゴリズムの開発	910
	26860596	医学医療系	講師	際本 拓未	気道リモデリング形成に伴うSiglecを介した好酸球炎症制御経路障害の解明	1,170
26860718	医学医療系	助教	上妻 行則	新たな血栓症の予防・治療法確立を目指した巨核球造血・血小板機能における系統的解析	1,170	
26861039	医学医療系	講師	明石 義正	可変3D画像・タッチレスインタフェースを用いた鏡視下手術ナビゲーションの開発	910	
26861139	医学医療系	講師	丸島 愛樹	TEMPO-RNPによる脳梗塞再開通療法後における再灌流障害と出血性脳梗塞の予防	1,040	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究(B)	26861310	医学医療系	講師	櫻井 学	婦人科悪性腫瘍におけるTFの発現と過凝固状態についての研究	780
	26870075	人文社会系	助教	根本 達	反差別と脱差別：現代インドの仏教組織と仏教僧侶々々井による関係的差別克服の取り組み	1,040
	26870077	医学医療系	助教	水野 聖哉	CRISPITT法によるオーダーメイド型免疫系ヒト化NOGマウスの開発	780
	26870083	人文社会系	助教	塩谷 哲史	近代ロシア帝国の開発と中央アジア南部定住地域の社会変容—灌漑史の視点から—	910
	26870087	生命環境系	助教	I r v i n g L o u i s	Carbon / nitrogen interactions between legumes and parasitic plants	650
	26870088	システム情報系	助教	前田 祐佳	脈波伝搬速度を用いた動脈硬化の家庭内モニタリング	650
	26870151	システム情報系	助教	鬼頭 朋見	レジリエンスと企業の生存戦略を考慮したサブライネットワークの構造解析と設計提案	1,170
	15K15996	計算科学研究センター	助教	多田野 寛人	複数右辺ベクトルをもつ連立一次方程式に対する高精度・高効率アルゴリズムの開発	910
	15K16029	システム情報系	助教	白川 真一	画像処理フィルタの組合せ最適化に基づく特徴抽出処理の自動構築	1,430
	15K16060	システム情報系	助教	新里 高行	不完全な情報下での個体の振る舞いが作る群れが担う多岐的な機能の研究	650
	15K16112	生命環境系	助教	高橋 純子	放射性セシウムの初期沈着直後の土壌深度分布の決定因子と浸透・拡散プロセスの解明	2,470
	15K16154	システム情報系	助教	鈴木 研悟	再生可能エネルギーの出力変動対策と熱源低炭素化のための電力・熱統合システムの提案	2,080
	15K16424	体育系	特任助教	朴 京眞	ダンス指導力向上を目指す教員養成課程におけるダンス授業のプログラム改善	1,040
	15K16425	体育系	特任助教	村上 祐介	発達性協調運動障害児への課題指向型アプローチが自己認知に与える影響	520
	15K16442	スポーツR&Dコア	研究員	洪 性賛	スポーツボールの飛翔軌道を予測する可視化システムの構築	1,300
	15K16443	体育系	助教	李 燦雨	豊臣秀吉の朝鮮出兵と徳川幕府の朝鮮通信使招聘が齎した日韓武文化交流に関する研究	1,300
	15K16445	体育系	特任助教	荒牧 亜衣	オリンピック競技大会のレガシーに関する批判的検討	650
	15K16458	体育系	研究員	杉本 和那美	力学的エネルギーからみた跳躍動作の分類と発達過程	390
	15K16487	体育系	特任助教	角川 隆明	障がい者競泳選手支援に向けた抵抗力測定法の開発	1,430
	15K16553	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	杓村 憲樹	原虫感染症治療薬を目指した鍵化合物BNTXの作用機序解明、及び、構造活性相関研究	1,430
15K16557	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	斉藤 毅	光により睡眠・摂食を制御する分子ツールの開発	1,300	
15K16623	北アフリカ研究センター	研究員	喜田川 たまき (渡邊たまき)	北アフリカ地域の多層文化構造における食用・薬用植物の宗教的意味についての研究	910	
15K16732	人文社会系	助教	窪田 悠介	論理文法と構成的動的意味論の統合	780	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究(B)	15K16758	人文社会系	助教	田川 拓海	分散形態論を用いた日本語の時・法と語性の形式的研究	910
	15K16855	人文社会系	助教	村上 宏昭	近代ドイツ社会における細菌学説の拡散と変容—衛生博覧会運動を中心に—	910
	15K16894	人文社会系	助教	山田 亨	世界遺産と国際法の法人類学的研究	1,820
	15K17023	システム情報系	准教授	澤 亮治	マルチタスク環境および協力ゲームにおける進化ゲーム理論の研究	1,417
	15K17087	システム情報系	助教	竹原 浩太	非正規分布を中心とする漸近展開法による近似に関する研究	910
	15K17156	ビジネスサイエンス系	准教授	中村 亮介	財務制限条項の役割に関する包括的実証研究	1,430
	15K17212	医学医療系	研究員	磯 笑子 (田中笑子)	大規模コホートを活用した、思春期におよぶ学校不適応への早期支援方法の解明	1,430
	15K17337	人間系	特任助教	星野 真澄	学級規模縮小政策の法制的・財政的研究—日米比較を中心に—	1,430
	15K17420	人間系	助教	三益 亜美	発達性読み書き障害児者が示す漢字単語音読障害の特徴と認知障害に関する基礎的研究	910
	15K17432	数理物質系	助教	植田 暁子	パラフェルミオンの電氣的制御を目指した理論研究	1,040
	15K17505	数理物質系	助教	金子 元	種々の数列のランダム性、およびその超越数論への応用	650
	15K17550	数理物質系	准教授	平山 至大	体積保存可微分力学系のエルゴード性とその応用	650
	15K17596	システム情報系	助教	高安 亮紀	非線形放物型方程式に対する解の精度保証付き数値計算理論の研究	1,040
	15K17598	数理物質系	研究員	永井 誠	焦点面における位相差を用いた電波望遠鏡の鏡面形状測定法の開発	1,170
	15K17797	数理物質系	助教	池添 竜也	ミラー磁場配位における自発励起アルベン波動の境界条件および非等方性緩和の研究	1,820
	15K17802	数理物質系	助教	奥野 将成	ヘテロダイナミクス検出キラル和周波発生による界面におけるたんぱく質の二次構造の解明	1,040
	15K17922	数理物質系	講師	桑原 純平	高純度化と高分子量化が共役高分子材料にもたらす特性向上の原理解明	1,820
	15K18315	数理物質系	助教	山崎 信哉	リポソームをテンプレートとしたモリブデンナノ粒子合成法の実用化に向けた研究開発	1,170
	15K18359	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	大石 陽	睡眠を誘発する神経システムの解明	1,300
	15K18462	生命環境系	研究員	二宮 直登	皮膚細胞から肺前駆細胞への直接転換技術の開発	1,820
15K18550	生命環境系	助教	木下 奈都子	長鎖非コードRNAは如何に転写因子を制御するか：実生時ストレス応答機構をモデルに	910	
15K18558	生命環境系	准教授	ブザス ダイアナ・ミハエラ	Role of a novel DNA demethylation enzyme in cellular memory	1,430	
15K18567	生命領域学際研究センター	助教	林 誠	魚類の多様な繁殖様式を支える配偶子幹細胞の動態解析	1,170	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究(B)	15K18582	生命環境系	助教	平川 泰久	核による二次葉緑体の分裂制御機構の解明	1,300
	15K18631	生命環境系	助教	伊澤 かな (佐藤かな)	イネ科植物細胞壁におけるフェルラ酸-アラビノキシランエステルの役割の解明	1,040
	15K18659	生命環境系	助教	長尾 眞希 (浅野眞希)	微生物マイクロハビタットとしての土壌団粒微小環境の解明	1,040
	15K18663	生命環境系	助教	竹下 典男	糸状菌をモデルとした極性生長におけるアクチンケーブルの役割	1,300
	15K18665	生命環境系	研究員	矢野 大和	エピゲノム駆動進化に倣う微生物育種	2,080
	15K18744	生命環境系	特任助教	湯山 育子	造礁性サンゴにおける遺伝子ノックダウン技術の確立と応用	429
	15K18747	生命環境系	助教	LUR PUA NGKAEW	タイにおける福島原発事故後の日本産農水産物・食品の主体別輸入対応行動の総合評価	1,300
	15K18906	医学医療系	助教	安孫子 ユミ	キノン体による化学修飾を介した芳香族炭化水素受容体の活性化：新機構の提案	1,560
	15K18916	附属病院	病院講師	百 賢二	がん患者の栄養摂取状況の改善を目指した口腔粘膜炎疼痛治療アルゴリズムの構築	1,690
	15K18966	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	藤山 知之	新規睡眠関連遺伝子に基づくレム睡眠制御機構の解明	1,820
	15K19001	医学医療系	助教	本宮 綱記	転移性乳癌の克服に向けた血管性ニッチの分子機構解析	1,690
	15K19045	医学医療系	准教授	坂下 信悟	患者由来XGマウスを用いたIGBP1関連miRNAの肺癌治療における機序の検討	2,470
	15K19070	医学医療系	研究員	沖田 結花里	がん進展におけるMafK-Gpnmb経路の機能と分子標的治療	1,950
	15K19160	附属病院	病院講師	山本 祥之	MDM4を標的とした新規癌治療の開発研究	1,560
	15K19195	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	南雲 康行	末梢神経損傷による視床シナプス外部GABA電流の変化と視床神経回路改編への影響	1,430
	15K19219	医学医療系	准教授	五所 正彦	医薬品副作用データベースを用いた生活習慣病治療薬の併用に伴う副作用リスク分析	1,170
	15K19312	附属病院	病院講師	長谷川 直之	肝細胞癌に対する腫瘍融解ワクシニアウイルスJX-594と一過性免疫抑制の併用効果	1,300
	15K19364	医学医療系	助教	田尻 和子	好中球細胞外トラップに焦点をあてた新視点からの心筋梗塞に伴う炎症の制御	1,950
	15K19365	附属病院	病院講師	木村 泰三	心筋梗塞後炎症の制御機構の解明	1,950
	15K19366	医学医療系	助教	許 東洙	心房細動の発症におけるNamp1役割の解明	1,300
15K19367	医学医療系	助教	町野 毅	心房細動および致死性不整脈に対する革新的な腎交感神経アブレーション治療法の確立	1,170	
15K19542	医学医療系	講師	栗田 尚樹	新たな巨核球分化経路の探索と、造血幹細胞移植マウスモデルにおける応用	1,950	
15K19543	医学医療系	講師	加藤 貴康	難治性白血病の病態解明 (Notchシグナルによる白血病抑制機構の破綻)	1,560	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究（B）	15K19565	附属病院	病院講師	廣田 智哉	関節リウマチにおける抗原特異的治療法の構築	1,950
	15K19600	医学医療系	助教	今川 和生	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症2型患者のiPS細胞由来肝細胞を用いた治療薬の探索	1,170
	15K19768	附属病院	医員	斎藤 高	温熱療法陽子線治療に対する増感効果の基礎的検討	1,820
	15K19830	医学医療系	研究員	徳田 安則	ビスホスホネートのPET標識薬剤合成に関する基礎的検討	1,560
	15K19870	医学医療系	講師	田村 孝史	肝類洞内皮細胞を標的としたsiRNAを用いた新規肝疾患治療薬の開発	1,820
	15K19948	医学医療系	講師	松田 真秀	不活化ウイルス粒子による脳腫瘍幹細胞を標的とした新規核酸医薬療法の開発	1,300
	15K20170	生命環境系	特任助教	佐藤 伴	加齢に伴うコンドロイチン硫酸の減少による多核割球形成機構の解析	1,950
	15K20501	附属病院	医員	内田 文彦	microRNAを切り口とした口腔癌発癌メカニズムの解明	1,820
	15K20882	医学医療系	助教	小賀 麻菜 (飯塚麻菜)	シェーグレン症候群における新規病因CD4+T細胞の解析とその制御	2,080
	15K20883	附属病院	病院講師	小山 泰明	近赤外線分光法を用いた心肺脳蘇生の新しい評価方法ー簡易で非侵襲でリアルタイムにー	1,040
	15K20884	システム情報系	准教授	乾 孝司	言語表現の使用実態を踏まえたソーシャルメディア上の誹謗中傷行為の検出に関する研究	650
	15K20885	システム情報系	准教授	佐野 良夫	スペクトラルグラフ理論を用いた離散構造とアルゴリズムの研究	1,300
	15K20886	システム情報系	助教	善甫 啓一	透過型ヘッドマウントディスプレイを用いる実世界字幕を実現する音響信号処理	1,430
	15K20887	医学医療系	助教	洪 映周	High-speed optical imaging engine for multifunctional investigation of the eye	1,690
	15K20888	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	伊関 大敬	がんエピゲノム変異誘導マウス作製技術の開発	2,470
	15K20891	医学医療系	講師	吉本 尚	大学生におけるアルコール使用障害のスクリーニングに関する研究	2,340
	15K20893	人文社会系	助教	鈴木 華子	健康増進型留学生支援モデルの構築	1,560
	15K20894	附属病院	病院講師	黒木 健志	J波症候群における次世代シーケンサーを用いた包括的遺伝子解析	1,950
	15K20895	生命環境系	助教	河内 敦	乾燥地沿岸農業地域における地下水塩水化の評価と予測：地下水質への灌漑の作用と効果	233
	15K20896	ビジネスサイエンス系	准教授	タン キャロラインスーリン	Consumer Behavior for Sustainable Marketing: Understanding How To Market and Make Sustainability Work in Japan and Overseas	1,170
15K20897	数理物質系	講師	柏木 隆成	高温超伝導体テラヘルツ波発振器の高出力化	2,080	
15K20898	生命領域学際研究センター	助教	山城 義人	TGFβの新しい役割に着目した、大動脈瘤破裂を誘導するシグナルの解析	1,820	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究（B）	15K21090	生命環境系	特任助教	山科 千里	シロアリ塚が生み出すナミビア北部、モパネウッドランドの生物多様性の解明	260
	16K16010	システム情報系	准教授	小林 佑輔	頑健なネットワークの設計に向けた組合せ最適化理論の研究	1,040
	16K16013	ビジネスサイエンス系	准教授	尾崎 幸謙	調査データの質向上のための不適切回答者抽出方法の開発	1,950
	16K16097	システム情報系	助教	大槻 麻衣	広い空間での遠隔作業指示に有効な予期を可能にする非言語表現の伝達手法	1,170
	16K16108	システム情報系	助教	日野 英逸	疎表現とノンパラメトリックモデルの融合によるデータ駆動型推論に関する研究	1,170
	16K16154	図書館情報メディア系	特別研究員(PD)	伏見 卓恭	要点と評価を軸とした評価文書可視化に関する研究	1,690
	16K16161	図書館情報メディア系	助教	小泉 公乃	公共図書館経営におけるハイブリディゼーションの基礎的研究	1,430
	16K16162	図書館情報メディア系	助教	照山 絢子	「人」を貸し出す「図書館」の理念と実践に関する研究	1,430
	16K16201	生命環境系	准教授	加藤 弘亮	森林環境中の放射性セシウム動態解析に基づく林内空間線量率予測モデルの開発	1,430
	16K16260	生命環境系	研究員	神津 博幸	粒子間相互作用に着目したゲル状食品のテクスチャーが胃消化に与える影響の解析	2,470
	16K16339	芸術系	研究員	河崎 衣美	着生地衣類の二次代謝産物による石造文化遺産への化学的劣化に及ぼす影響評価の試み	1,040
	16K16347	研究基盤総合センター	研究員	松中 哲也	石英中炭素14の超高感度測定法の開発と氷河地形編年への応用	1,560
	16K16372	生命環境系	助教	池端 慶	銅・鉄同位体を用いた本質噴出物と変質噴出物の識別：噴火推移予測の高度化を目指して	3,120
	16K16378	計算科学研究センター	助教	松枝 未遠	天候レジームに関連する大気顕著現象の予測可能性	1,170
	16K16397	数理物質系	研究員	V o n g B i n h L o n g	Development of controllable nitric oxide-releasing injectable hydrogel with ROS scavenging effect for biomedical therapies	2,470
	16K16405	附属病院	病院講師	大西 信三	関節リウマチモデルマウスにおける光線力学療法による関節炎抑制	3,250
	16K16459	医学医療系	研究員	田中 直樹	歩行感覚提示装置を用いた歩行リハビリテーションが脳卒中患者に与える効果の検証	3,250
	16K16489	体育系	助教	渡邊 仁	構造的類縁プログラムを基軸とした野外教育プログラムの教育・治療構造の検討	1,560
	16K16509	体育系	研究員	宮田 香織 (江田香織)	集団のダイナミクスを活性化するメンタルトレーニングプログラムの確立	780
	16K16510	システム情報系	助教	廣川 暢一	人の水泳技能向上を支援する着用型トレーニング機器の開発	1,950
16K16512	体育系	助教	金子 史弥	オリンピック開催がスポーツ政策の実践の場に及ぼす影響に関する研究	1,040	
16K16558	体育系	特任助教	金堀 哲也	三次元投球動作解析と野球肘検診結果からみた少年期野球肘の発症要因となる投球動作	1,690	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究 (B)	16K16559	体育系	助教	岡本 正洋	うつ病の予防・改善をもたらす運動効果:RNA-Seqによる海馬分子基盤の解明	2,210
	16K16573	体育系	助教	片岡 千恵	高校保健教育における危険行動防止のための規範意識の育成を重視した授業モデルの開発	390
	16K16593	体育系	特任助教	辻本 健彦	活動量計とICTを活用した遠隔型運動支援プログラムの効果検証	910
	16K16594	体育系	助教	赤澤 暢彦	運動が認知機能を改善させる生理学的機序の解明 -中心動脈機能と脳血流の役割-	1,950
	16K16639	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	W a n g Z h i q i a n g	リン酸化プロテオミクスで拓く新規Sleepy遺伝子の睡眠恒常性維持機構への関与	1,950
	16K16817	人文社会系	助教	池田 晋	中国語における重畳形式の基盤としての重複表現	650
	16K16869	人文社会系	助教	藤田 亮子	日本人英語学習者のリスニング理解にノイズが与える影響の研究	650
	16K16920	人文社会系	助教	上田 裕之	清朝の漢地支配と雲南銅政の財政構造—生み落とされる「盛世」と「衰世」—	1,170
	16K16952	生命環境系	特任助教	市川 康夫	多面的機能レジーム下の先進国山村の再編と領域化に関する研究	1,560
	16K16962	人文社会系	助教	O t s u k i G r a n t	The Human is a Cybernetic Communication System: A Historical and Ethnographic Study of Human-Technology Interactions in Japanese Wearable and Robotic Technologies	1,690
	16K17108	システム情報系	助教	牛島 光一	公共政策が子供への健康投資行動に与える影響に関する実証研究	1,300
	16K17158	ビジネスサイエンス系	准教授	稲水 伸行	組織のオープン化が問題解決・意思決定に与える影響の理論的・実証的研究	1,430
	16K17226	人文社会系	助教	白戸 健一郎	戦前満洲における多文化的公共性の比較メディア史的研究	1,040
	16K17255	学生部	助教	河野 禎之	認知症にやさしいまちづくりに関する評価指標 (モデル地域版) の開発と有用性の検証	1,690
	16K17289	人間系	准教授	藤 桂	メディア上へ拡張される感情と身体—調査的・実験的アプローチによる影響の検討—	1,560
	16K17305	人間系	准教授	宇佐美 慧	縦断データ分析におけるモデルの誤設定に頑健な手法の開発と教育・発達心理学への応用	1,430
	16K17375	システム情報系	助教	山田 亜紀	大学院生に対する学際型STEMプログラムの教育効果の基礎研究	910
	16K17525	数理物質系	助教	游 博文	Development of three-dimensional terahertz photonic chip for molecular sensing	2,080
	16K17639	システム情報系	助教	保國 恵一	大規模疎な制約付固有値問題に対する頑健かつ効率的な解法	1,040
	16K17678	数理物質系	助教	森口 哲朗	スキン構造理解のための不安定原子核の陽子及び中性子密度分布の研究	2,470
16K17679	数理物質系	助教	伊敷 吾郎	超弦理論の非摂動的定式化についての研究	1,430	
16K17680	計算科学研究センター	助教	日野原 伸生	中性子—陽子対相関・対凝縮の解明	1,170	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究(B)	16K17818	生命環境系	助教	藤野 滋弘	長時間スケールでみた南海トラフにおける地震・津波の再来間隔と地殻変動の多様性	1,430
	16K17929	数理物質系	助教	柴田 友和	機能性ヘム核酸の創成とその機能発現メカニズムの解明	2,080
	16K18008	システム情報系	助教	金川 哲也	不均質音速理論とベンチュリ管実験の融合による「高濃度・気泡流音響学」の開拓	2,600
	16K18100	システム情報系	助教	鈴木 大三	高次可変リフティング構造を用いた高機能映像統合符号化	1,560
	16K18255	システム情報系	助教	花田 信子	触媒を付与した窒素吸蔵材料電極適用による液体アンモニア電気分解反応の過電圧低減	1,430
	16K18306	システム情報系	助教	嶋村 耕平	磁界共鳴による人工衛星間無線エネルギー送電の実現	4,030
	16K18358	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	上田 壮志	生理学的アプローチによる新規睡眠制御ニューロンの機能発現の解明	1,430
	16K18359	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	新生ニューロンが作る記憶痕跡	1,040
	16K18398	医学医療系	助教	濱田 理人	転写因子MafBによる腫瘍随伴マクロファージ増殖の制御	1,300
	16K18535	生命環境系	助教	石川 香	核-ミトコンドリア間クロストークからのミトコンドリア病発症機構へのアプローチ	2,340
	16K18559	生命環境系	准教授	寿崎 拓哉	根粒形成の正の制御に関わる宿主因子の解析	2,340
	16K18583	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	佐藤 牧人	睡眠覚醒制御メカニズム解明に向けた革新的睡眠センシング	2,340
	16K18592	生命環境系	特別研究員(RPD)	谷口 順子	前端部神経外胚葉のセロトニン神経が腸管形成を制御する新規メカニズムの解明	1,690
	16K18633	生命環境系	助教	岡部 佳弘	受粉刺激を介した単為結果性果実発達の分子機構に関する研究	2,470
	16K18642	生命環境系	助教	原 尚資	ソバの収量性向上および安定化に寄与する日長反応性と生態型に関する研究	1,690
	16K18648	生命環境系	助教	王 寧	トマトの腋芽抑制遺伝子の発現と機能解明	1,560
	16K18675	高細精医療イノベーション研究コア	研究員	河野 祐介	大腸菌を用いた新規硫黄貯蔵分子および関連代謝経路の同定と生理意義の解明	1,690
	16K18698	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	シェラス ヨアン	Elucidation of the molecular mechanisms of zinc-induced sleep	1,430
	16K18735	生命環境系	助教	今 孝悦	砂浜域の生物生産に対する漂着物の機能評価	2,080
	16K18919	医学医療系	助教	秋山 雅博	メチル水銀感受性を制御する生体内活性イオウ分子の実態解明	2,470
16K18920	医学医療系	特任助教	鶴木 隆光	活性イオウ分子による環境中親電子物質の新奇解毒機構	1,820	
16K18930	医学医療系	講師	土岐 浩介	新規経口抗凝固薬の血中薬物濃度を指標とした個別投与設計法の構築	1,430	
16K18987	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	本堂 茉莉	グリシン受容体欠損によるレム睡眠行動異常症にかかわる神経回路の解明	2,470	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究(B)	16K19002	人間系	研究員	西野 明日香	慢性低灌流モデルを用いた光イメージング法による神経活動及び酸素代謝測定	1,820
	16K19005	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	長谷川 恵美	中枢概日時計のニューロンタイプ特異的な神経生理学的解析	983
	16K19014	医学医療系	助教	片桐 尚宏	新奇抗癌剤開発を目指した低分子量Gタンパク質Arf6シグナル伝達機構の解明	1,690
	16K19100	医学医療系	助教	渡邊 幸秀	腫瘍形成におけるTMEPAIの分子機構の解明	2,080
	16K19170	附属病院	病院講師	春田 淳志	客観的専門職連携能力実施試験の開発と試験が及ぼすインパクトの検証	1,820
	16K19441	医学医療系	講師	増子 裕典	IgE感作後の臓器感受性の違いに着目した花粉症病態の検討	2,340
	16K19475	附属病院	病院講師	永井 恵	高齢者のMPO-ANCA産生機序解明とその治療応用	910
	16K19627	医学医療系	講師	加藤 愛章	新しい心電図指標と心磁図マッピング法を用いた川崎病症例の心筋虚血検出法の確立	1,950
	16K19628	医学医療系	講師	岩淵 敦	微量血液による多種血糖制御ペプチド測定系を応用した、小児の新規糖尿病治療法開発	1,430
	16K19629	医学医療系	助教	酒井 愛子	B型肝炎ワクチン反応性を規定するClass II HLAアレルの探究	1,820
	16K19705	医学医療系	講師	細川 玲 (渡辺玲)	ヒト皮膚resident memory T細胞と皮膚疾患の関わりに関する解析	2,340
	16K19804	医学医療系	講師	大西 かよ子	頭頸部癌に対する硼素中性子補足療法の線量評価と治療効果に関する研究	650
	16K20034	附属病院	病院講師	榎本 有希	敗血症によるエンドトキシン血症が筋力に及ぼす影響に関する研究	1,430
	16K20124	医学医療系	助教	木村 友和	進行膀胱癌に高発現するGPNMBを標的とした環状ペプチドの開発	1,820
	16K20303	医学医療系	講師	星 崇仁	非膨潤性ハイドロゲルを眼内タンポナーデとして用いた網膜剥離手術の検討	1,560
	16K20746	附属病院	副看護師長	櫻本 秀明	重症呼吸不全患者に対する安全で効果的な気道クリアランス方法に関する検討	1,300
	16K20785	医学医療系	助教	トゴバタラ ガチメゲ	Women's experiences of maternity health care in Mongolia: Listening to Mothers survey	1,170
	16K20928	医学医療系	講師	浅島 弘充	抗原特異的T細胞の抑制によるシェーグレン症候群での新規治療薬の開発	2,080
	16K20929	医学医療系	研究員	水野 沙織 (飯島沙織)	特定の細胞周期で機能するCas9による多重遺伝子ノックインマウス作製	2,080
	16K20930	体育系	研究員	邊 ギョンホ	低強度運動は加齢による海馬の特異的萎縮や機能低下を防ぐか	1,430
16K20931	システム情報系	助教	津川 翔	ロバストなネットワーク構築のための影響最大化に基づくアプローチ	1,430	
16K20932	医学医療系	助教	瀬川 誠司	間質性肺炎の進行予防に関わる新たな治療標的因子の解析	1,820	
16K20933	人間系	助教	中岡 千幸	教職員向け休・復学者支援マニュアル作成のための研究	1,170	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究(B)	16K20934	医学医療系	助教	高橋 広行	シェーグレン症候群における新規治療標的分子NR4A2とDPP4	2,080
	16K20935	医学医療系	助教	金丸 由美	制御性T細胞におけるDNAM-1の機能解析と炎症性腸疾患の治療応用の検討	2,470
	16K20936	人文社会系	研究員	高橋 洋成	ギルガメシュ叙事詩の編集史的研究および物語言語研究のためのデジタルアーカイブ構築	780
	16K20937	芸術系	助教	上浦 佑太	立体表現の発想を促すツール「かたちの見本帳」の開発-2	2,730
	16K20938	人文社会系	助教	津田 博司	現代オーストラリアにおける脱植民地化と共和制論争の通時的分析	1,040
	16K20939	数理物質系	助教	藤田 健志	触媒的フッ素脱離による含フッ素化合物の系統的合成	2,860
	16K20940	数理物質系	助教	丹羽 秀治	非白金燃料電池触媒の活性点分布の解明	2,730
	16K20941	人間系	特任助教	関口 雄一	児童・生徒における攻撃行動の捉え方の発達と心理社会的適応の関連	910
	16K20942	人間系	特任助教	野口 代	介護施設巡回型スタッフ・サポート・システム (SSS) の開発	1,040
	16K20943	人文社会系	准教授	中野 優子	タンザニアにおける農業技術研修と農家間技術普及の有効性	1,170
	16K20944	人間系	助教	洪 イレ	The Power of Parent Supports: The Effectiveness of Caregiver Training in Improving Social and Communication Skills of Children with Autism Spectrum Disorders	2,080
	16K20945	生命領域学際研究センター	研究員	島田 裕子	内部寄生蜂感染による宿主ショウジョウバエのアンバランスな発生と恒常性攪乱システム	2,470
	16K20946	人文社会系	助教	朱 藝	国民文化と異文化経営の関連性：日本における中国企業を事例に	1,040
	16K21314	医学医療系	助教	石川 智子 (伊藤智子)	労働力の維持と安心できる介護の両立を目指して一家族介護者における就労の背景要因	605

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
研究活動スタート支援	15H06066	人文社会系	助教	河田 英介	アーネスト・ヘミングウェイの1920年代初期短編諸作品における生成原理の研究	1,300
	15H06067	生命環境系	研究員	ESTOQUE RONALDC	A comparative sustainability study of rapidly growing megacities in Southeast Asia (Bangkok, Jakarta and Manila) using geospatial and social-ecological approaches	1,300
	15H06068	システム情報系	助教	五十嵐 岳	境界問題のないノンパラメトリックな多次元密度推定とその応用について	520
	15H06069	人間系	研究員	榎本 哲士	学校数学における方程式の学習指導を改善する方法の開発	1,430
	15H06070	数理物質系	助教	奥村 宏典	InAlN層におけるデバイスプロセス中に発生した欠陥評価とその電気的特性への影響	1,430
	15H06071	生命環境系	助教	矢野 亮一	トマト誘発変異集団の高度利用に向けたエキソーム解析手法の確立	1,300
	15H06072	生命環境系	助教	岩上 哲史	多除草剤抵抗性雑草における急速な除草剤解毒代謝メカニズムの解明	1,300
	15H06073	医学医療系	助教	HIPOLITO CHRIS	Restoring tissue homeostasis by regulating TGF-beta signaling by using macrocyclic peptides	780
	16H06650	計算科学研究センター	助教	塩川 浩昭	大規模グラフの頻出部分構造を利用した高速な分析アルゴリズムの開発	1,560
	16H06651	スポーツR&Dコア	研究員	阿江 数通	野球における初期姿勢の違いを考慮したスウィング動作のシミュレーション解析	1,560
	16H06652	スポーツR&Dコア	研究員	花岡 裕吉	唾液を指標とした簡易的脱水評価の検討	650
	16H06653	人文社会系	特任研究員	田中 佑	近現代日本語における助数詞の新生に関する語彙論的研究	1,040
	16H06654	人文社会系	特任研究員	岩田 啓介	18世紀のアムドからみる清朝の内陸アジア支配の形成と拡大	910
	16H06655	システム情報系	助教	TRAN LAM ANHDUONG	貿易のネットワーク構造が技術の波及を通じて経済成長に与える影響の分析	1,560
	16H06656	人間系	特任助教	千島 雄太	日本人青年における未来結果の熟慮を持つ役割の検討とキャリア教育的介入	1,560
	16H06657	人間系	特任研究員	村井 大介	希望に着目した社会科授業研究—授業実践の記録と教師の語りから—	910
	16H06658	芸術系	特任助教	箕輪 佳奈恵	イスラム文化に即した美術教育構築に向けた基盤形成	1,430
	16H06659	システム情報系	助教	浅井 健彦	自己発電型制振システムの実時間ハイブリッド実験	1,560
	16H06660	生命領域学際研究センター	助教	西村 亜衣子 (佐田亜衣子)	マウス表皮をモデルとした幹細胞老化メカニズムの解明	1,560
	16H06661	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	マリシェフサカヤオリガ	Identification of brain regions involved in the arousal from coma and sleep.	1,560

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
研究活動スタート支援	16H06662	医学医療系	助教	林 洋平	KLF4DNA結合部位アミノ酸残基の機能解析から改良リプログラミング因子の開発	1,560
	16H06663	附属病院	病院講師	石塚 洋典	ロリクリン欠損が末梢免疫に与える影響	1,430
	16H06664	医学医療系	講師	鶴淵 隆夫	神経管閉鎖不全症の早期胎内分子診断法の確立	1,430
特別研究員奨励費【特別研究員】	25・40009	体育系	特別研究員(RPD)	緒形 ひとみ	ヒトの睡眠時エネルギー代謝に関する時系列解析を用いた検討	1,430
	25・40090	人文社会系	特別研究員(RPD)	小池 智子(遠藤智子)	子どもと養育者の相互行為における反応の追求	520
	26・107	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	山田 昌樹	津波堆積物高精度解析による南海トラフ巨大津波波源の時空間分布評価	1,000
	26・1188	人文社会科学研究科	特別研究員(DC1)	鈴木 彩香	属性叙述の形式と意味―事象叙述との対応を中心に―	500
	26・1189	人文社会科学研究科	特別研究員(DC1)	井戸 美里	日本語評価系とりたてて詞の統語的位置と意味に関する共時的・通時的理論研究	400
	26・1294	人文社会科学研究科	特別研究員(DC1)	高野 友理香	豊臣政権における対キリスト教修道会交渉	1,000
	26・1345	人文社会科学研究科	特別研究員(DC1)	越川 瑛理	越境文学における言語遊戯―多和田葉子をめぐる修辞学と翻訳の問題	1,000
	26・1511	数理物質系	特別研究員(PD)	佐藤 駿丞	アト秒電子ダイナミクスの第一原理計算	1,170
	26・1818	システム情報工学研究科	特別研究員(DC1)	中川 岳	不揮発性メモリを利用可能な言語処理系の実現	900
	26・1960	システム情報工学研究科	特別研究員(DC1)	岩澤 譲	原子炉の過酷事故時における炉心溶融物の冷却挙動	1,000
	26・2405	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	吉積 義隆	化学的エネルギーの直接変換により運動する機能性マイクロ/ナノロボットの構築	1,100
	26・3001	芸術系	特別研究員(PD)	安永 麻里絵	美術館展示と鑑賞体験―大正期の「美術」鑑賞制度の変容に関する東西比較交渉研究	910
	26・3097	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	渡邊 千春	高温超伝導体の固有ジョセフソン接合から得られるTHz波の発振機構の解明と出力向上	800
	26・318	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	上條 菜美子	ストレスフルな体験に対する意味づけ過程の精緻化に関する基礎的研究	900
	26・348	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	桐原 崇亘	大規模数値シミュレーションを用いた局所銀河群形成過程の解明	900
	26・3551	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	吉田 圭太郎	複合微生物系における膜の目詰まりの新奇生物学的制御	900
	26・384	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	清川 達則	次世代的排水処理法の実現に向けた微生物間コミュニケーション制御技術の構築	900
	26・3848	人文社会科学研究科	特別研究員(DC1)	清沢 紫織	ベラルーシ共和国における言語状況及び言語政策に関する総合的研究	900
	26・40015	生命環境系	特別研究員(RPD)	谷口 順子	神経系の中枢化―棘皮動物研究の観点から―	1,300
26・40135	生命環境系	特任助教	湯山 育子	サンゴ―褐虫藻の細胞内共生関係成立・崩壊に関わる遺伝子の解析	228	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費【特別研究員】	26・441	医学医療系	特別研究員(PD)	笹井 浩行	座位行動を標的とした即時フィードバックによる介入プログラムの効果検証	1,430
	26・445	生命環境系	特別研究員(PD)	瓜生 央大	ショウジョウバエ成虫型時計細胞ネットワークの発生メカニズムと生物学的意義の解明	1,430
	26・450	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	新保 未来	マウス生体内における肝臓細胞からインスリン産生細胞への転換法の確立	900
	26・543	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	松本 昇	抑うつ脆弱性としての自伝的記憶の概括化メカニズムの解明と介入法の開発	1,000
	26・5612	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	佐藤 健	人工椎間板構築を目指した可逆的硬化-軟化生体模倣ゲルの研究	900
	26・680	芸術系	特別研究員(PD)	太田 岳人	初期ブルーノ・ムナーリ研究	1,170
	26・701	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	山内 庸平	癌細胞浸潤における浸潤仮足退縮の意義と制御メカニズムの解明	900
	26・713	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	佐藤 和貴	新規貪食細胞：濾胞樹状細胞によるアポトーシスB細胞排除とその生理的意義の解明	900
	26・72	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	櫻井 陽平	リッチ曲率が下に有界な境界付きリーマン多様体の幾何構造の研究	800
	26・7722	グローバル教育院	特別研究員(DC1)	竹村 彩	発現限定遺伝子が司る細菌の新しい種存続システムの解明	900
	26・787	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	棚橋 高一郎	有酸素性運動トレーニングが動脈伸展性を増大させる機序の解明：ADMAに関する検討	800
	26・7944	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	林 みちこ	明治政府の外交政策と美術-1910年日英博覧会を中心に	900
	26・830	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	熊谷 仁	テストステロンが運動による動脈機能改善に及ぼす影響：抗肥満因子イリシンに着目して	1,040
	26・867	医学医療系	特別研究員(PD)	根本 みゆき	若年性認知症に対する運動療法の有効性に関する検討	1,300
	26・89	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	楊 佳約	細菌バイオフィーム中の薬剤耐性変異株の出現機構解析と制御	1,000
	26・94	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	佐藤 葵	肝臓CREB3L3による栄養飢餓時のエネルギー代謝の解明と生活習慣病治療への応用	1,000
	15J00013	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	金井 雅仁	感情の認識と制御における文化的自己観と身体の役割に関する基礎的研究	900
	15J00085	人文社会科学研究所	特別研究員(DC2)	石田 隆太	魂の実体性と個体化の解明-トマス・アクィナスにおける個としての人間のエッセ-	900
	15J00221	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	ドウ イエ	ホイスラー合金層を用いた多結晶面直電流型巨大磁気抵抗素子の高出力化	800
	15J00281	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	神藤 隆志	地域在住高齢者の運動教室参加による体力への効果を最適化する方法の提案	800
15J00302	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	市川 玲子	パーソナリティ障害における対人関係機能による対人相互作用過程の解明	400	
15J00384	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	榎原 厚一	六フッ化硫黄を用いた若い地下水の滞留時間推定に関する研究	900	
15J00393	国際統合睡眠医科学研究機構	特別研究員(PD)	藤山 知之	新規Dreamless遺伝子に基づくレム睡眠制御機構の解明	1,300	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費【特別研究員】	15J00394	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	横井 美緒	典型発達児および発達性読み書き障害児における漢字書取の正確性と流暢性に関する研究	0
	15J00396	生命環境系	特別研究員(PD)	張 晏如	プリミックスMC乳化システムの確立	1,040
	15J00406	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	OSSAI EMMANUEL	食品機能性成分の効率的利用のためのナノ／マイクロキャリアの作製	800
	15J00533	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	及川 哲志	習慣的な運動が血管内皮機能を改善する分子機構の解明：マイクロRNAに着目して	800
	15J00599	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	林 優樹	rRNA転写量および核小体動態変化を介した小胞体ストレス応答の解析	900
	15J00604	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	雨宮 怜	スポーツ競技者の健康と競技力向上のためのマインドフルネス・プログラムの開発	800
	15J00611	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	SUBASIN GHE SHY AMANTHA	コロボ市の機能的・形態的ダイナミクス：都市リモートセンシング・アプローチ	800
	15J00647	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	福田 奏子	盲児の空間概念に関する指導法の開発—はめこみ構成課題の教材配列と規定要因の検討—	900
	15J00649	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	河南 佐和呼	自閉症スペクトラム障害児の叙述的コミュニケーション支援：応用行動分析学からの検討	800
	15J00652	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	天久 朝恒	交尾刺激による生殖幹細胞の増加を司るステロイドホルモンを介した神経機構の追究	900
	15J00683	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	小泉 達也	先カンブリア時代の下部地殻における高温条件下での流体—岩石相互作用	900
	15J00695	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	遠藤 雄大	高度変成岩における部分熔融過程の解明	900
	15J00709	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	秋澤 文香	報酬獲得過程におけるセロトニンの行動決定制御機構の解明	800
	15J00718	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	李 沁潼	海洋窒素循環に寄与するアンモニア酸化古細菌の生態特性評価	923
	15J00732	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	門間 貴史	我が国の高齢者における活動制限のリスク要因の検討—健康寿命の格差縮小に向けて	1,040
	15J00735	生命環境系	特別研究員(PD)	伏見 卓恭	大規模ネットワークからのトピック指向コミュニティとキーパーソンの抽出	1,430
	15J00763	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	藏満 司夢	植物由来の防御物質が高次栄養段階の昆虫に及ぼす影響の解明	900
	15J00776	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	藤田 麻里	ゴキブリ目の比較発生的研究—網翅類、多新翅類の系統進化の再構築を目指して—	1,170
	15J00782	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	越智 元太	低酸素環境下での過換気による認知疲労に血中酸素濃度が関わるか	800
	15J00805	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	杉本 卓也	水環境中の物質輸送予測の高度化に向けた非一様・非定常流中の凝集ダイナミクスの解析	900
15J00821	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	松尾 恵梨子	葉緑体置換に伴うクロロフィルa合成系進化：「1足す1は1」型ゲノム進化解明へ	900	
15J00839	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	山元 康平	陸上競技400m走におけるレース分析を基にしたテラーメイド型トレーニングの開発	800	
15J00840	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	吉川 徹	生活習慣改善が肥満者の脈圧増幅および抗炎症性アディポカインSFRP5に与える影響	800	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費 【特別研究員】	15J00841	体育系	特別研究員 (PD)	渡邊 和仁	運動時の循環反応に関する研究—個人差に着目した新たな研究方法によるアプローチ	1,430
	15J00899	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	大林 太朗	関東大震災 (1923年) を契機とした東京市のスポーツ政策の変容と展開	1,100
	15J00900	医学医療系	特別研究員 (PD)	松原 朋子	抗老化因子Klothoが肥満改善による動脈伸展性増大に果たす役割	1,430
	15J01014	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC2)	松林 道雄	既存建築ストックの更新に向けたBIMによる設計図書電子データ化とその利用可能性	800
	15J01056	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	PAREPA LAURA ANCA	中国の戦略的行動と民軍関係の進展：アジア安全保障への影響	400
	15J01084	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC1)	多久 孝一郎	ジュン=ガル滅亡前夜の清朝外交の変容過程—講和期外交とその終焉	900
	15J01147	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	松野 友美	華僑と中国の関係性—シンガポール福建人・僑郷・南京国民政府の三極構造に着目して—	900
	15J01200	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	佐本 英規	現代メラネシアにおける「世界音楽」の生成過程に関する人類学的研究	800
	15J01238	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC1)	BLAJ HRIBAR PETRA	比較考古学からみた初期国家形成—葬送儀礼を中心に—	900
	15J01241	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC1)	細田 雅也	英語学習者による「テキストからの学習」：推論生成を通じた因果理解の観点から	900
	15J01262	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	田中 菜採	英語学習者の自動的なチャンク解析：プロセス・ストラテジーと解析を支える知識の関係	1,100
	15J01302	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	柴田 香奈子	日独厳律シトー会における修道院手話「手まね」の研究—社会言語学からのアプローチ—	900
	15J01304	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC1)	森 好紳	英語学習者によるマイクロ志向・マクロ志向のメインアイデア理解プロセスの解明	800
	15J01317	人文社会系	特別研究員 (PD)	木村 豊	戦争災害の集会的記憶に関する比較社会学的研究	1,430
	15J01326	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	高橋 康史	現代日本における犯罪加害者家族の日常生活に影響を与える社会的要因	1,100
	15J01365	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	永田 大輔	「メディア経験」の文化社会学—80年代のビデオをめぐる言説の多層性をめぐって	900
	15J01374	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	河野 正治	ポスト植民地期ミクロネシアにおける伝統的権威の存続と動態に関する人類学的研究	800
	15J01781	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	王 新竜	幹細胞の機能性を制御するためのマイクロ・ナノ複合パターン材料の創出	800
	15J01843	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC1)	上里 友弥	再帰プログラムの拡張における到達可能性問題を広く可解とする構造の究明と応用	800
	15J01897	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC2)	木下 尚彦	モデルフリーに基づいたクラスタリング手法の開発とソーシャルデータ解析への応用	1,040
15J01900	システム情報系	特別研究員 (PD)	松田 壮一郎	自閉症スペクトラム障害幼児における早期対人相互作用の定量解析に基づく発達支援法	1,300	
15J01910	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC1)	黒田 翔	不動産市場の時空間計量経済分析	400	
15J01942	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	許 銀超	ウェットエンドにおけるポリマー吸着を活用した紙基板環境センサーの開発	800	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費【特別研究員】	15J01981	システム情報工学研究科	特別研究員(DC2)	藤倉 崇晃	仲介者取引と直接取引の共存状態を生むトレーダーの特性 —経済実験による検証—	900
	15J02048	システム情報工学研究科	特別研究員(DC1)	森 英高	都市構造リスク低減を考慮した都市の集約化に向けた一考察	1,100
	15J02121	システム情報工学研究科	特別研究員(DC2)	小澤 佑介	GPUクラスタを用いた半構造データの並列分散処理基盤の構築	800
	15J02139	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	高部 涼太	ゲルマニウム基板上へのバリウムシリサイド薄膜太陽電池作製とガラス基板上への展開	900
	15J02395	システム情報工学研究科	特別研究員(DC2)	堀口 直樹	放射性物質除去の為にベンチュリスクラバの流動機構と作動特性に係る実験・数値的研究	1,100
	15J03221	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	佐藤 悠貴	多彩な電子状態を制御可能な異種金属グリッド型錯体の創成	900
	15J03517	数理物質系	特別研究員(PD)	中嶋 龍	新規オピオイドκ選択的作動薬の創出を目的とするプロペラン型五環性誘導体の合成	1,040
	15J03797	数理物質系	特別研究員(PD)	原田 隆平	分子動力学シミュレーションで探る細胞環境におけるタンパク質フォールディング機構	1,430
	15J04054	医学医療系	特別研究員(PD)	征矢 晋吾	オレキシン1受容体による恐怖記憶の調節	247
	15J04118	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	狩野 絵美	白金担持グラフェンの原子構造・電子状態解析による高活性な低白金触媒材料の開発	800
	15J04495	数理物質系	特別研究員(PD)	河村 篤	新規海洋産天然物 アプリシアセコステロール A, B, Cに関する研究	1,040
	15J04635	数理物質系	特別研究員(PD)	洪 達超	ヘテロ二核金属錯体を触媒とする二酸化炭素の還元反応と応用	1,430
	15J04660	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	本多 俊介	トピックオーク対と随伴生成されるヒッグス粒子の探索とトピックオーク湯川結合の測定	900
	15J04751	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	中澤 暦	脂質膜内添加物の役割の解明：構造熱力学モデルによる統一化	900
	15J05066	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	丸山 実那	ネットワークボロジエデザインによる炭素ナノ物質の物性制御	900
	15J05071	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	山中 綾香	複合構造を形成したナノカーボン物質の基礎物性解明	900
	15J05599	図書館情報メディア研究科	特別研究員(DC2)	山本 修平	情報整理を支援する成長型フィルタの能動学習手法	1,040
	15J05607	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	長谷川 友里	有機複合材料の自己組織化構造の分子レベル観察に基づく機能創成	800
	15J05745	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	徐 錦嘉	スピロ炭素戦略を用いた立体規則性共役系高分子の創製	800
	15J06369	グローバル教育院	特別研究員(DC1)	本多 隆利	新規睡眠制御遺伝子Sleepyの機能解析による睡眠覚醒制御の分子・神経基盤の解明	1,100
15J08253	グローバル教育院	特別研究員(DC1)	新妻 耕太	自然免疫応答を制御する新規ヒト免疫受容体CD300Hの機能解明	800	
16J00030	人文社会科学研究科	特別研究員(DC2)	小野塚 若菜	ビジネス日本語能力テストにおけるDIFの検出と改善に関する実証的研究	1,200	
16J00173	人文社会科学研究科	特別研究員(DC2)	根本 みなみ	「家」の戦略から見る萩藩毛利家の藩内秩序	700	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費【特別研究員】	16J00187	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	大野 博	脂肪酸組成制御が高次脳機能と精神疾患におよぼす影響の解明と健康科学への応用	1,000
	16J00283	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	平林 真伊	学校数学における数学的モデル化能力の育成に関する研究	400
	16J00298	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	奥脇 亮	高周波励起源と断層すべりに基づく巨大地震の不規則な発展プロセスの解明	900
	16J00338	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	上野 将玄	ラットのストレスレジリエンスの個体差における神経ペプチドYの関与	1,000
	16J00419	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	岩本 佳世	通常学級における階層的予防モデルによる相互依存型集団随伴性の適用に関する研究	700
	16J00443	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	戸祭 森彦	地域特異的繁殖戦略から読み解く形態形質の進化機構	700
	16J00464	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	朝岡 寛史	ASD児の直示動詞獲得に関する研究 - 視点取得の分析に基づく指導方法の検討 -	600
	16J00487	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	森永 花菜	環境浄化細菌の効率的控制を目指した細胞間コミュニケーションの実態解明	1,000
	16J00525	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	伊藤 紘	ALA-ポルフィリン蛍光を利用した高感度血中循環腫瘍細胞検出技術の開発	900
	16J00582	生命環境系	特別研究員(PD)	篠崎 良仁	エチレンによる着果抑制機構の解明	1,170
	16J00623	生命環境系	特別研究員(PD)	吉田 美佳	木質バイオマス資源のサプライチェーンマネジメントとビジネスモデル構築に関する研究	1,170
	16J00633	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	倉持 昌弘	蛍光生体イメージングと計算機シミュレーションによる線虫神経の時空間活動解析	900
	16J00635	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	下條 賢悟	巨大地震後の流体に起因する長野県北部およびその他地域における地震活動	700
	16J00682	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	菅原 大地	ポジティブ感情が精神的健康に与える影響—拡張—形成理論の実証と精緻化—	1,000
	16J00747	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	新村 麻実	気候変動による影響を予測可能かつ水田域の水動態を考慮した流域水温モデルの構築	1,000
	16J00758	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	森田 俊平	ショウジョウバエにおけるSxl lethal下流候補遺伝子：NHP2の機能解析	1,000
	16J00760	人文社会科学部	特別研究員(DC2)	隋 藝	中国共産党による都市支配の確立と国民意識の形成—1945年～1953年の東北社会	700
	16J00768	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	森 英樹	森林性ツル植物の林床での待機から林冠への登攀メカニズムに着目した生活史戦略の解明	700
	16J00782	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	山口 慶子	先天代謝異常症児家族の医療社会面に関する研究	200
	16J00783	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	水落 裕樹	衛星ビッグデータと水文モデルを用いたナミビア季節湿地における稲作導入適地の推定	1,200
16J00786	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	西村 春輝	反すうの制御過程における実行機能	700	
16J00793	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	秋山 健太郎	脂肪性肝炎の発症機序の解明に向けた肝臓、腸管、脂肪の臓器連関からのアプローチ	700	
16J00797	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	江面 健太郎	トマト着果におけるGAシグナル調節因子DELLAを介したSAM代謝制御機構	700	

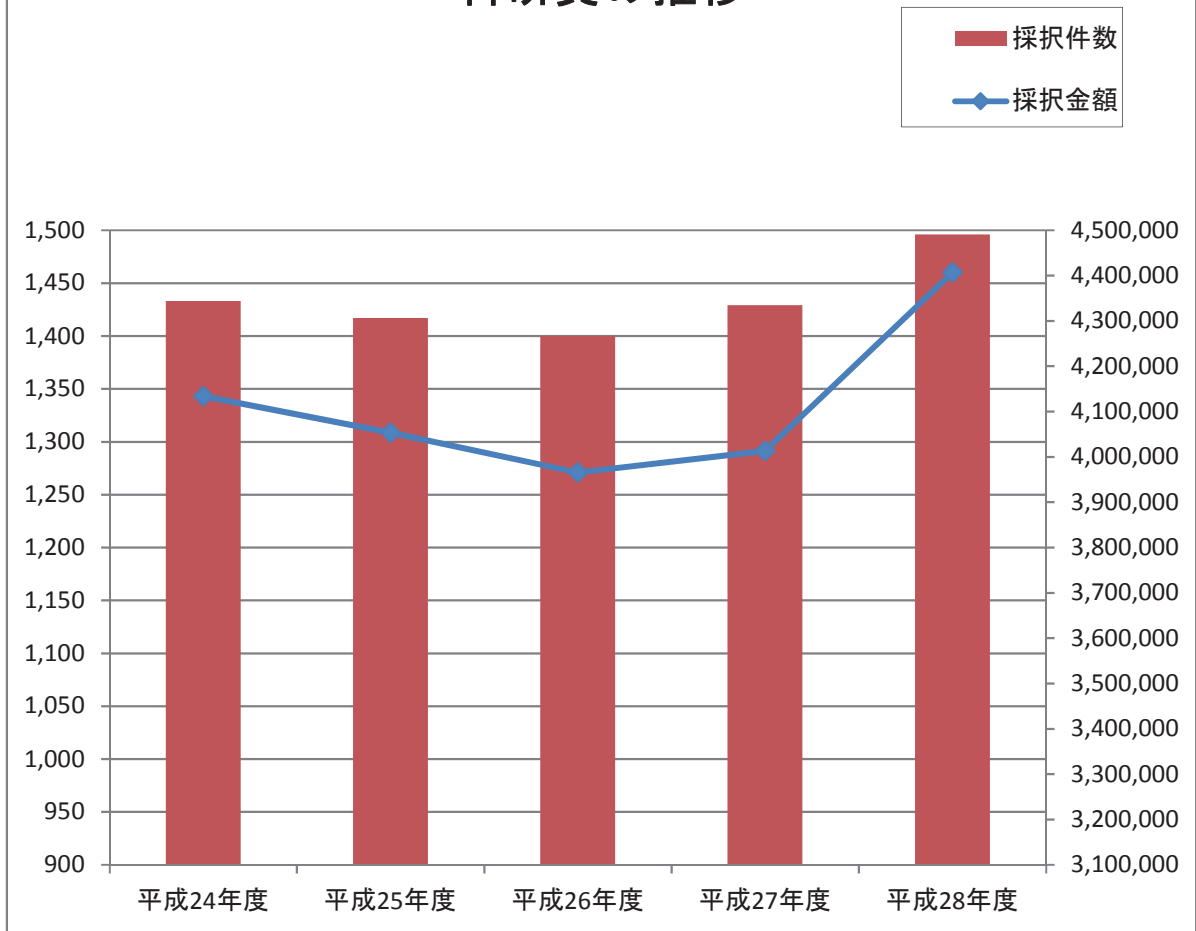
研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費【特別研究員】	16J00800	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	高橋 将人	振盪フラスコの気相環境に着目した新たな微生物培養法の提案とその利用	700
	16J00828	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	桜井 淳平	学校安全のポリティクスに関する研究—通学路の防犯カメラ設置事業を事例に—	600
	16J00884	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	仲嶺 真	社会的ネットワーク外の異性関係開始に関わる判断プロセス	1,000
	16J00911	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	岩瀬 滋	次世代電子デバイスの理論設計に向けた第一原理電伝導計算手法の開発	1,200
	16J00930	人文社会科学研究所	特別研究員(DC2)	金 ヒョン我	国民精神総動員期における民衆動員の日韓比較研究	1,000
	16J00934	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	岡田 大地	自己組織化強誘電ポリマー球体内への二次高調波の閉じ込めと増幅	700
	16J00960	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	楡田 創	自己組織化共役高分子マイクロ球体による革新的光電子機能発現	641
	16J00969	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	三和 秀平	教師の教科指導学習動機に関する検討	500
	16J00973	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	吉野 優香	感謝が対人関係の形成・維持・発展に及ぼす効果に関するプロセスモデルの検証	700
	16J01020	グローバル教育院	特別研究員(DC1)	石川 祐	卵管での配偶子と初期胚輸送機構の解明	900
	16J01113	システム情報工学研究科	特別研究員(DC2)	角間 孝一	時間反転波を用いる高減衰角鋼片の内部に含まれる欠陥の可視化	700
	16J01196	人文社会科学研究所	特別研究員(DC2)	岡村 逸郎	犯罪被害者支援に関する歴史社会学的研究—刑事法学・精神医学の領域交差に注目して	800
	16J01376	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	福本 隼平	トキソプラズマにおける宿主オルガネラリクルート機構の解析	700
	16J01394	人文社会科学研究所	特別研究員(DC2)	齋藤 竜太	ウズベキスタン農村部における水利組織の実態と海外援助機関の関与	1,000
	16J01419	人文社会科学研究所	特別研究員(DC2)	大石 茜	都市下層における近代家族的誕生と慈善事業の社会的意義	500
	16J01526	人文社会系	特別研究員(PD)	渡井 葉子	新バビロニア時代における女性のプロソポグラフィ研究	1,040
	16J01545	人文社会科学研究所	特別研究員(DC2)	宮内 優子	未成人骨から見た古代西アジア社会の再考	1,000
	16J01676	人文社会科学研究所	特別研究員(DC2)	納谷 亮平	語彙範疇と機能範疇の中間的な振る舞いを見せる要素に関する研究	600
	16J01690	システム情報工学研究科	特別研究員(DC2)	曾我部 陽光	高速なヒトDNA解読実現のための小規模計算機システムの構築	900
	16J01716	人文社会科学研究所	特別研究員(DC2)	VAN LOM MEL P I E T E R	明治後半における日本文学と教育—「田舎教師」の時代	600
16J01957	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	阿部 巧	身体パフォーマンステストを応用した認知機能評価法の開発	700	
16J02020	システム情報工学研究科	特別研究員(DC2)	矢野 貴大	演算加速器を有する計算機クラスタ向け固有値解法の並列実装に関する研究	700	
16J02064	システム情報工学研究科	特別研究員(DC1)	長谷川 大輔	デマンド型交通の運行形式に着目した都市内交通の最適化に関する研究	700	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費【特別研究員】	16J02077	システム情報工学研究科	特別研究員(DC1)	齋藤 慎平	原子炉過酷事故時における炉心溶融物分散・微粒化機構の解明	1,200
	16J02119	システム情報工学研究科	特別研究員(DC1)	湯淺 朋久	小型高効率回転機の最適設計手法の構築を目指した伝熱流動特性の解明	1,000
	16J02156	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	福井 智也	リビング超分子重合によるナノ構造体の精密合成	700
	16J02186	システム情報系	特別研究員(PD)	阿武 秀和	マッチング市場の理論的研究	1,040
	16J02197	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	経隆 悠	土石流の数値シミュレーションと現地観測に基づいた土砂流出量の長期推定モデルの開発	700
	16J02215	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	汪 子涵	フェムト秒時間分解STMによる半導体低次元系の核スピンダイナミクス計測	700
	16J02219	システム情報工学研究科	特別研究員(DC2)	吉田 崇紘	空間統計学と組成データ解析に基づく離散選択モデルの高度化	1,200
	16J02555	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	倉持 達司	多電子酸化還元触媒能を有するハイブリッドPOMの合成	700
	16J02879	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	具志 俊希	逆ペロブスカイト型強磁性窒化物細線における磁壁物性の横断的研究	700
	16J03378	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	木下 まどか	対人競技におけるバイオメカニクスの評価法の確立	1,000
	16J03531	グローバル教育院	特別研究員(DC1)	小木曾 里樹	音響ビーコンで自己位置を推定する屋内移動ロボットシステム	700
	16J03567	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	大久保 喬平	単一細胞解析に向けた方向性結合器型バイオフォトニックセンサの開発	1,000
	16J03636	体育系	特別研究員(PD)	森嶋 琢真	24時間連続の代謝測定からみた糖代謝の改善に効果的なコンカレント運動の確立	1,430
	16J03777	グローバル教育院	特別研究員(DC1)	西田 惇	人の身体認知特性の理解に基づくサイボーグ型インタフェースの研究	1,200
	16J04305	生命環境科学研究科	特別研究員(DC2)	牛木 亜季	レニン遺伝子はいかにして血圧の変化を感知するのか? : 新規エンハンサー機能の解明	700
	16J05009	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	柴崎 浩輔	選択置換によるポリカルバゾールの高機能化と高性能化	900
	16J05042	人間総合科学研究科	特別研究員(DC2)	征矢 茉莉子	認知機能を高める海馬グリコゲンローディング法の開発	900
	16J05238	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	茂木 裕幸	遷移金属ダイカルコゲナイド原子層のナノスケール伝導解析と新奇機能探索	700
	16J05248	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	本多 真紀	原子燃料サイクル施設の稼動に係る環境保全調査のためのヨウ素129の高感度分析	1,200
	16J05288	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	三枝 優太	新規お椀型縮環ポルフィリン誘導体による光電子機能性の創出	1,200
16J05432	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	山下 愛智	電気化学的手法による鉄系超伝導体の超伝導化	1,000	
16J05520	数理物質科学研究科	特別研究員(DC2)	内山田 健	多孔質MIPの分子認識能の付加による単一細胞解析のための光干渉型センサの開発	1,000	
16J05727	数理物質科学研究科	特別研究員(DC1)	新山 瑛理	温熱療法と免疫療法を同時に達成するナノファイバーメッシュの開発	700	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費【特別研究員】	16J06442	グローバル教育院	特別研究員(DC1)	徐 昊クン	睡眠覚醒機構とミクログリアの連関をin vivoで解明する	1,000
	16J06932	システム情報工学研究科	特別研究員(DC2)	川口 一画	テレプレゼンスロボットを用いた双方向作業空間共有型遠隔会議支援システムの開発	1,200
	16J07651	数理物質系	特別研究員(PD)	野村 昂亮	原子核の集団運動とエキゾチック核構造に関する理論的研究	1,560
	16J40008	生命環境系	特別研究員(RPD)	山寄 敦子	棘皮動物の幼生骨片形成に関わる初期発生メカニズムの進化	1,560
	16J40018	医学医療系	特別研究員(RPD)	田中 笑子	長期追跡コホートを活用した子育てエンパワメント指標の開発と支援の応用	1,040
特別研究員奨励費【外国人特別研究員】	26・04005	人文社会系	教授	内山田 康	ネットワーク化したボランティア活動：復興のテクノ社会的な諸次元	200
	26・04307	医学医療系	教授	正田 純一	非アルコール性脂肪性肝疾患の運動療法による肝臓リハビリテーションプログラムの構築	700
	26・04337	数理物質系	教授	大塩 寛紀	電場誘起電子状態スイッチングを示す異種金属配位高分子	500
	26・04762	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	ラザルス ミハエル	睡眠が認知機能の柔軟性および情動の調節に与える影響の解明	300
	26・04807		学長	永田 恭介	Co1E7を用いたアロステリック制御機構を持った人工ヌクレアーゼの開発	800
	15F15034	数理物質系	教授	大塩 寛紀	カスタマイズ可能なポリオキソバナデートをもちいた拡張骨格構造の構築	900
	15F15408	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	睡眠中の、新生ニューロンの記録回路への組み込み	900
	16F16020	数理物質系	教授	宮本 雅彦	ホップ代数理論を利用した頂点作用素代数のミラー拡大の応用	500
	16F16103	生命環境系	教授	恩田 裕一	日本の針葉樹人工林における樹冠遮断の研究	95
	16F16395	生命環境系	教授	江面 浩	Myb305転写因子のトマト発達における機能解明	600
研究成果公開促進費【学術図書】	16HP5139	人文社会系	教授	辻中 豊	政治変動期の圧力団体	800
	16HP5237	人間系	助教	山本 容子	環境倫理を育む環境教育と授業ーディープ・エコロジーからのアプローチー	1,500
	16HP5259	生命環境系	教授	志賀 和人	森林管理制度論	1,000

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）	15KK0035	人文社会系	助教	前田 修	分析考古学による西アジア先史時代石器利用の研究（国際共同研究強化）	0
	15KK0036	人文社会系	准教授	津崎 良典	デカルトによる批判的受容を背景にしたピエール・シャロン人間学に関する哲学史的解明（国際共同研究強化）	8,580
	15KK0074	人文社会系	准教授	東野 篤子	トルコのEU加盟問題の今日的課題とヨーロッパ国際関係をめぐる研究（国際共同研究強化）	9,100
	15KK0108	人文社会系	准教授	ティムールダダバエフ	対中央アジア政策の日中比較（国際共同研究強化）	9,880
	15KK0182	数理物質系	准教授	山本 洋平	発光性および強誘電ポリマーナノ粒子による新しいフォトニック結晶の構築（国際共同研究強化）	14,430
	15KK0249	生命環境系	講師	大橋 一晴	多様な送粉動物の利用における開花時刻の適応的意義（国際共同研究強化）	6,370
	15KK0273	生命環境系	准教授	有泉 亨	トマト花弁内におけるエステル化カロテノイド蓄積の分子基盤の解明（国際共同研究強化）	14,040
	15KK0330	医学医療系	助教	許 東洙	心房細動の発症におけるNamt1役割の解明（国際共同研究強化）	14,300

科研費の推移



年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
採択件数	1,433	1,417	1,400	1,429	1,496
採択金額	4,134,265	4,053,266	3,965,618	4,013,175	4,407,088

(4) 研究プロジェクト支援経費

ア 戦略イニシアティブ (S), (A) 採択・配分状況 <平成 28 年度>

(ア) 総括表

(単位：千円)

系	平成 24 年 度採択 S	平成 25 年 度採択 S	平成 25 年 度採択 A	配分金額
人文社会系	0	0	1	4,000
ビジネスサイエンス系	0	0	0	0
数理物質系	0	0	1	4,000
システム情報系	0	0	0	0
生命環境系	1	0	1	6,500
人間系	0	0	0	0
体育系	0	0	0	0
芸術系	0	0	0	0
医学医療系	0	0	0	0
図書館情報メディア系	0	0	0	0
計算科学研究センター	0	1	0	4,000
生命領域学際研究センター	0	1	0	4,000
合 計	1	2	3	22,500

(イ) 研究代表者等

1) 継続<戦略イニシアティブ S>

(単位：千円)

代表者		拠 点 名	配分額
所属部局・職	氏名		
生命環境系・教授	鈴木 石根	藻類バイオマス・エネルギーシステム研究拠点	2,500
計算科学研究センター・センター長	梅村 雅之	計算科学研究センター (重点研究センター)	4,000
生命領域学際研究センター・センター長	花岡 文雄	生命領域学際研究センター (重点研究センター)	4,000

2) 継続<戦略イニシアティブ A>

(単位：千円)

代表者		拠 点 名	配分額
所属部局・職	氏名		
人文社会系・教授	辻中 豊	人文社会国際比較研究機構 (学術センター)	4,000
数理物質系・教授	金谷 和至	数理物質融合科学センター (学術センター)	4,000
生命環境系・系長	松本 宏	地球・人類共生科学研究機構 (学術センター)	4,000

イ プレ戦略イニシアティブ（研究拠点提案型）、（研究プロジェクト提案型）

申請・採択・配分状況 <平成 28 年度>

(ア) 総括表

(単位：千円)

系	新規申請件数		新規採択件数		継続件数		配分金額
	拠点	プロジェクト	拠点	プロジェクト	拠点	プロジェクト	
人文社会系	2	-	1	-	0	-	1,000
ビジネスサイエンス系	0	-	0	-	0	-	0
数理工学系	3	-	1	-	0	-	500
システム情報系	0	-	0	-	1	-	2,200
生命環境系	2	-	0	-	0	-	0
人間系	1	-	0	-	0	-	0
体育系	1	-	0	-	0	-	0
芸術系	0	-	0	-	0	-	0
医学医療系	1	-	0	-	0	-	0
図書館情報メディア系	0	-	0	-	0	-	0
合計	10	-	2	-	1	-	3,700

(イ) 研究代表者等

1) 新規採択

(単位：千円)

	代表者		拠 点 名	配分額
	所属部局・職	氏名		
案 型 研 究 拠 点 提 案	人文社会系・教授	山田 重郎	国際研究拠点としての「西アジア文明研究センター」の確立	1,000
	数理工学系・准教授	山本 洋平	光と物質・生命科学のアンサンブルによる新現象の発掘と解明	500

2) 継続（平成 27 年度採択）

(単位：千円)

	代表者		拠 点 名	配分額
	所属部局・職	氏名		
提 案 型 研 究 拠 点	システム情報系 准教授	横田 茂	宇宙輸送技術研究拠点の形成	2,200

ウ 研究基盤支援プログラムSタイプ（スタートアップ支援）申請・採択・配分状況
 〈平成28年度〉

(ア) 総括表

(単位:円)

組織名	Sタイプ				
	申請 件数	採択 件数	平成28年度 配分金額	平成29年度 配分予定金額	平成30年度 配分予定金額
数理物質系	1	0	0	0	0
システム情報系	4	1	998,800	991,460	996,800
人間系	1	0	0	0	0
体育系	1	0	0	0	0
医学医療系	9	3	2,800,000	2,800,000	2,800,000
計算科学研究センター	1	0	0	0	0
生命領域学際研究センター	1	0	0	0	0
合 計	18	4	3,798,800	3,791,460	3,796,800

(イ) 採択状況

(単位:円)

	所属部局・職		氏 名	研 究 課 題 名	平成28年度 配分金額
S タ イ プ (採 用 1 年 度 目)	システム情報系	助教	新宅 勇一	金属材料の組織設計のための微視的メカニズムに基づくき裂進展解析手法の開発	998,800
	医学医療系	助教	林 洋平	iPS細胞において染色体異常を修復する技術の開発	1,000,000
	医学医療系	助教	秋山 梓	局所進行子宮頸癌におけるPIK3CA遺伝子変異解析に基づいた新規分子標的治療の探索	900,000
	医学医療系	助教	宮寺 浩子	ゲノム編集によるMHC改変マウスの樹立と自己免疫疾患発症機序の解明	900,000

エ 研究基盤支援プログラムAタイプ（若手研究者研究奨励費）申請・採択・配分状況
 （平成28年度）

（ア）総括表

（単位：千円）

所 属	申請件数					採択件数					配分額
	准教授	講師	助教	研究員	計	准教授	講師	助教	研究員	計	
人文社会系	0	0	3	4	7	0	0	0	0	0	0
ビジネスサイエンス系	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
数理物質系	0	0	5	1	6	0	0	1	0	1	710
システム情報系	0	0	2	0	2	0	0	1	0	1	710
生命環境系	1	0	7	0	8	0	0	1	0	1	640
人間系	0	0	3	0	3	0	0	1	0	1	621
芸術系	0	0	3	0	3	0	0	1	0	1	703
医学医療系	0	2	5	4	11	0	0	1	1	2	1,620
図書館情報メディア系	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
国際統合睡眠医科学研究機構	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
計算科学研究センター	0	0	1	4	5	0	0	1	0	1	914
生命領域学際研究センター	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	914
下田臨海実験センター	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
学生部	1	0	1	0	2	1	0	0	0	1	528
合計	3	2	33	18	56	1	0	8	1	10	7,360

（イ）採択状況

（単位：千円）

	所属部局・職	氏名	研究課題名	配分額	
A タイプ	数理物質系	助教	大川 英希	LHC-ATLAS実験におけるヒッグス・電弱セクターにおける新粒子と暗黒物質探索	710
	システム情報系	助教	今倉 暁	複素モーメント型超並列固有値解法に対する数理的耐障害戦略の開発	710
	生命環境系	助教	守野 孔明	軟体動物を用いた発生システム浮動機構の検証	640
	人間系	助教	坂本 憲治	心理臨床における「協働(collaboration)」の発展プロセス: 予防的・開発的サービスの提案・維持・発展に寄与する発展方略モデルの開発	621
	芸術系	助教	武 正憲	アクセス困難地における絶滅危惧種の生息情報収集システム開発のためのGIS整備	703

A タ イ プ	医学医療系	助教	林 洋平	iPS細胞において染色体異常を修復する技術の開発	810
	計算科学研究センター	助教	塩川 浩昭	構造特性に基づく大規模グラフ分析の超並列化に関する研究	914
	生命領域学際研究センター	助教	佐田 亜衣子	マウス皮膚幹細胞の老化メカニズムの解明	914
		博士特別研究員	金丸 和正	NC/Ngaマウスにおけるアトピー性皮膚炎様病態の原因分子探索とその機能解明	810
	学生部(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター)	准教授	青木 真純	軽度知的障害児の実行機能の向上を目指した認知教育プログラムの開発	528

オ 研究基盤支援プログラムBタイプ（ステップ・アップ支援）申請・採択・配分状況
 〈平成28年度〉

(ア) 総括表

(単位:千円)

組織名	Bタイプ		
	申請件数	採択件数	配分金額
人文社会系	1	1	557
数理物質系	7	5	4,180
システム情報系	3	3	3,328
生命環境系	4	4	4,646
体育系	3	1	1,500
芸術系	1	1	544
医学医療系	3	2	2,510
生命領域学際研究センター	1	1	520
合 計	23	18	17,785

(イ) 採択状況

(単位:千円)

	所属部局・職		氏 名	研 究 課 題 名	配 分 額
	B タ イ プ	人文社会系	准教授	宮本 エジソン正	The processing of features and agreement relations in Japanese and other languages
数理物質系		教授	中村 潤児	高性能窒素ドーパカーボン電極触媒の設計	2,100
数理物質系		教授	竹内 潔	幾何学的モドロミーと不確定特異点を持つD-加群の研究	520
数理物質系		准教授	原 和彦	ヒッグス研究のための高精度ピクセル検出器	520
数理物質系		准教授	池沢 道男	窒素等電子不純物の単一分光と量子光源への応用に関する研究	520
数理物質系		助教	辻本 学	高温超伝導体コヒーレント連続テラヘルツ光源の小型パッケージ化とポータブル応用	520
システム情報系		教授	磯部 大吾郎	津波・漂流物による外力を考慮した津波避難ビルの統合型安全性照査システムの構築研究	632
システム情報系		准教授	河本 浩明	脳卒中からの早期回復に向けた急性期ロボット治療制御手法の開発と機能回復効果の検証	560
システム情報系		准教授	掛谷 英紀	高解像度裸眼立体ディスプレイシステムの医療現場応用	2,136

B タイプ	生命環境系	教授	中村 幸治	複合汚染環境の改善による水環境-食料生産-都市環境の国際的管理方法の構築	1,500
	生命環境系	助教	和田 茂樹	沈降粒子の分解過程に対する酸性化の影響評価	520
	生命環境系	助教	源川 拓磨	農産物・食品のテーラーメイドな非破壊計測を実現するスペクトル解析技術とその活用	532
	生命環境系	助教	出川 洋介	見過ごされてきた生態系「洞穴」に生息する真菌類の多様性保全	2,094
	体育系	教授	久野 譜也	運動実施無関心層に対するインセンティブ策の開発とクロスセクターベネフィットの評価	1,500
	芸術系	准教授	田中 佐代子	研究者のための実践的ビジュアルデザイン教育・研修プログラムの構築	544
	医学医療系	教授	野口 雅之	ChIP材料の網羅的解析による前臨床肺腺癌悪性化の分子機構の解明	1,950
	医学医療系	教授	久武 幸司	iPS細胞誘導過程での代謝リプログラミングの制御機構の解明	560
	生命領域学際研究センター	教授	牧野 昭二	音響情報と映像情報を統計数理的学習理論により融合するイベント検出とシーン解析	520

カ 筑波大学産学連携推進プロジェクト申請・採択・配分状況〈平成28年度〉

(ア) 総括表

(単位:千円)

系等	共同研究プロジェクト			ベンチャー創業プロジェクト			つくば地区研究開発法人とのマッチングファンド			合 計		
	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額
人文社会系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
ビジネスサイエンス系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
数理物質系	4 (2)	3 (2)	1,000 (1,000)	4 (1)	4 (1)	500 (500)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (3)	7 (3)	1,500 (1,500)
システム情報系	7 (1)	6 (1)	500 (500)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	990 (990)	9 (2)	7 (2)	1,490 (1,490)
生命環境系	3 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	4 (0)	0 (0)
人間系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
体育系	2 (1)	1 (1)	498 (498)	3 (1)	2 (1)	500 (500)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (2)	3 (2)	998 (998)
芸術系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
医学医療系	5 (5)	5 (5)	2,000 (2,000)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (3)	3 (3)	3,000 (3,000)	9 (8)	9 (8)	5,000 (5,000)
図書館情報メディア系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大学発ベンチャー企業等	/	/	/	2 (1)	2 (1)	0 (0)	/	/	/	2 (1)	2 (1)	0 (0)
合 計	21 (9)	17 (9)	3,998 (3,998)	12 (3)	11 (3)	1,000 (1,000)	4 (4)	4 (4)	3,990 (3,990)	37 (16)	32 (16)	8,988 (8,988)

注) ()内の数字は、継続研究課題の申請件数、採択件数及び採択金額で内数。

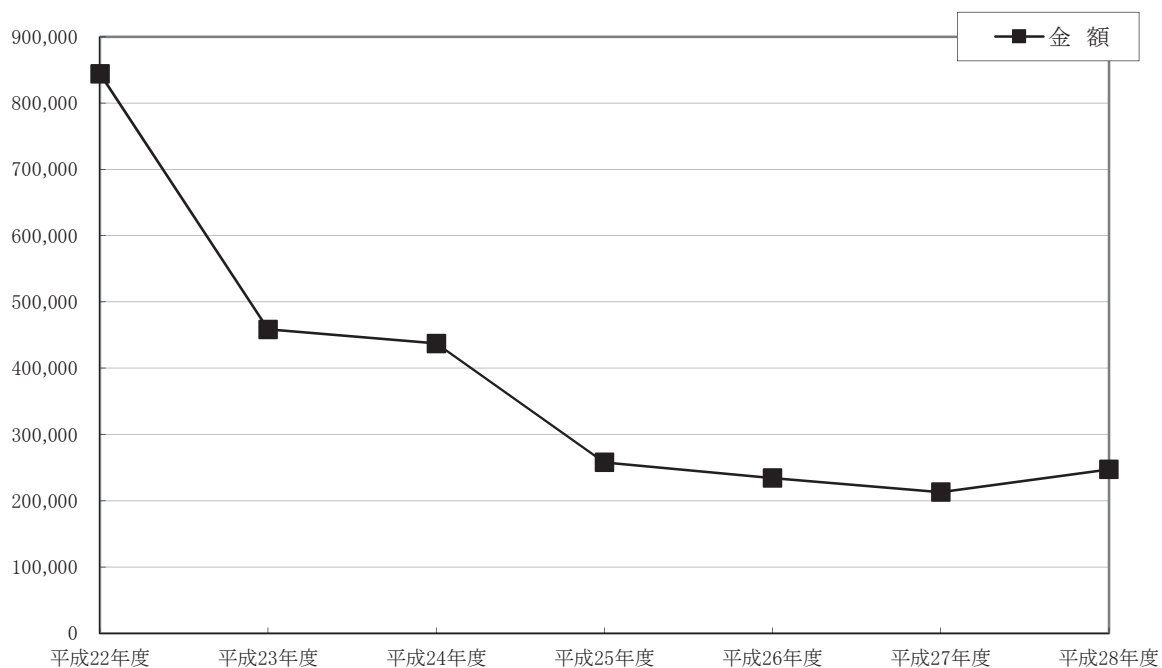
(イ) 種目別採択状況

(単位:千円)

種類	研究代表者		プロジェクト名	配分額	
	配分先(所属)・職	氏名			
共同研究プロジェクト	28年度新規採択分	システム情報系 教授	伊藤 誠	視野障害者向け簡易運転能力評価システムの開発 (ILC等施設利用)	0
		システム情報系 准教授	岡島敬一	3軸電子コンパス診断技術を用いた燃料電池スタック最適運転に関する制御手法の開発 (ILC等施設利用)	0
		システム情報系 准教授	山際伸一	非侵襲的な血中物質計測手法によるヘルスケアサービスクラウド技術の開発 (ILC等施設利用)	0
		システム情報系 教授	星野 聖	超軽量で廉価な眼球計測メガネの開発 (ILC等施設利用)	0
		システム情報系 教授	相山康道	視覚を用いた産業用ロボットの新たなダイレクト教示手法開発 (ILC等施設利用)	0
		生命環境系 教授	北村 豊	県内産ブルーベリー100%使用の美味健康ブルーベリーワインの開発 (ILC等施設利用)	0
		数理物質系 准教授	後藤博正	バイオカーボンヘリカルコイルの応用 (ILC等施設利用)	0
		生命環境系 助教	養田 歩	藻類を利用したリンの回収とリサイクルについての検討 (ILC等施設利用)	0
	27年度継続採択分	医学医療系 教授	千葉 滋	抹消性T細胞リンパ腫における特異的RHOA遺伝子変異を利用した診断および標的治療の開発	500
		医学医療系 准教授	福光延吉	ホウ素中性子捕捉療法の治療効率を目指した多機能ナノ粒子の開発	500
		システム情報系 准教授	横田 茂	宇宙用電気推進機のための大型電子源の開発	500
		体育系 准教授	大藏倫博	世界初の卓越した健康度評価・改善システムを内蔵する体重計開発 (ILC等施設利用)	498
		数理物質系 教授	長崎幸夫	レドックス高分子の開発とバイオマテリアルとしての開発 (ILC等施設利用)	500
		数理物質系 准教授	丸本一弘	有機薄膜素子評価用の電子スピン測定ホルダーの開発	500
		医学医療系 准教授	福島 敬	遺伝子導入脂肪細胞技術の医療実用化のための共同研究 (ILC等施設利用)	500
医学医療系 講師		大城幸雄	all in oneコンピュータ外科手術支援パッケージの開発研究 (ILC等施設利用)	500	
医学医療系 准教授	新井哲明 (朝田 隆)	メタボローム解析を用いた認知症およびうつ病マーカーの探索研究とアッセイ開発 (ILC等施設利用)	0		
ベンチャー創業プロジェクト	28年度新規採択分	生命環境系 教授	宮崎 均	原生林あしたばを用いたヒト及び家畜の生殖能力の改善 (ILC等施設利用)	0
		株式会社空間知能化研究所 代表取締役	伊藤昌平	遠隔無人探査機 (ROV)、自立型無人潜水機 (AUV)、自律航行無人艇 (ASV) の開発 (ILC等施設利用)	0
		医学医療系 准教授	熊田博明	BNCT用治療計画装置を中核としたベンチャー起業に向けた研究 (ILC等施設利用)	0
		数理物質系 教授	門脇和男	固有ジョセフソンテラヘルツレーザー光を用いたイメージングシステムの開発 (ILC等施設利用)	0
		人間総合科学研究科 大学院生	遠山寛人	超高精細イメージでの文化財の保存と活用 (ILC等施設利用)	0
		数理物質系 准教授	蓮沼 隆	電子デバイスの雑音計測技術を基にした信号計測とデータ解析サービスへの展開 (ILC等施設利用)	0
		数理物質系 准教授	小林伸彦	バイオマテリアル理論設計システムの開発 (ILC等施設利用)	0
		生命環境系 准教授	坂本和一	アンチエイジングに向けた生理活性物質の生理作用解析と機能性ヘルスケア製品の開発 (ILC等施設利用)	0

種類	研究代表者		プロジェクト名	配分額	
	配分先(所属)・職	氏名			
ベンチャー創業 プロジェクト	27年度継続採択分	株式会社MCBI 代表取締役	内田和彦	先制医療のための認知症の早期血流検査システムの開発 (ILC等施設利用)	0
		数理物質系 教授	伊藤雅英	3次元LSI実装のためのマイクロバンプ測定装置の開発 (ILC等施設利用)	500
		体育系 研究員	松田裕雄	地域創成に寄与するストック活用型リノベーション手法の研究開発-猪苗代湖志田浜周辺区域のスポーツ資源を通じた再開発実践 (ILC等施設利用)	500
つくば地区研究開発法人 とのマッチングファンド	27年度継続採択分	医学医療系 教授	坪井康次	陽子線照射とがん免疫賦活によるロコ・システムック融合がん治療法の開発	1,000
		医学医療系 教授	山崎正志	革新的医療機器開発：骨粗鬆症高齢者でも弛まない骨固定材料・成長因子含有アパタイトコーティングネジ	1,000
		医学医療系 助教	松本孔貴	高精度放射線の向上を目指した金ナノ粒子増感剤の開発	1,000
		システム情報系 教授	藪野浩司	非線形マイクロレゾネータアレイを用いた高精度・高機能超微小質量センサーの実用化	990

研究プロジェクト支援経費の推移



(単位: 千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
金 額	844,309	458,438	437,253	257,903	234,184	212,913	247,252

注) ・戦略イニシアティブ推進機構経費を含む。

- ・平成21年度以前は予算額、平成22年度以降は、配分金額の推移とする。
- ・平成22年度～24年度は筑波大学革新的研究等支援プログラムを含む。
- ・平成22年度以降は、社会貢献・産学イノベーション推進経費に区分されている産学連携プロジェクトについても含む。
- ・平成25年度以降は系・研究科経営経費を除く。

(5) その他の研究費

ア 寄附金(学術研究関係)および研究助成金<平成28年度>

(金額:円)

部 局 名	1. 寄附金 (学術研究関係)		2. 研究助成金		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
人文社会系	8	4,450,000	6	5,800,000	14	10,250,000
ビジネスサイエンス系	7	6,820,000	1	600,000	8	7,420,000
数理物質系	21	13,229,000	26	38,450,000	47	51,679,000
システム情報系	30	25,586,464	17	18,023,390	47	43,609,854
生命環境系	25	17,223,900	22	27,559,500	47	44,783,400
人間系	2	1,800,000	4	7,700,000	6	9,500,000
体育系	23	18,621,568	6	9,100,000	29	27,721,568
芸術系	15	12,739,160	-	-	15	12,739,160
医学医療系	436	329,157,080	89	122,470,000	525	451,627,080
図書館情報メディア系	4	11,840,000	2	530,000	6	12,370,000
国際統合睡眠医科学研究機構	3	19,000,000	17	21,459,435	20	40,459,435
計算科学研究センター	2	11,267,168	-	-	2	11,267,168
下田臨海実験センター	1	30,000	-	-	1	30,000
遺伝子実験センター	-	-	-	-	-	-
プラズマ研究センター	-	-	-	-	-	-
生命領域学際研究センター	2	1,750,000	13	37,650,000	15	39,400,000
グローバルコミュニケーション教育センター	-	-	-	-	-	-
体育センター	-	-	-	-	-	-
北アフリカ研究センター	3	4,324,062	-	-	3	4,324,062
学術情報メディアセンター	-	-	-	-	-	-
研究基盤総合センター	-	-	-	-	-	-
サイバニクス研究センター	1	6,262,304	-	-	1	6,262,304
アイソトープ環境動態研究センター	1	1,805,550	-	-	1	1,805,550
保健管理センター	-	-	-	-	-	-
附属病院	35	564,935,403	8	5,200,000	43	570,135,403
附属学校	-	-	6	2,150,000	6	2,150,000
高細精医療イノベーション研究コア	-	-	1	1,750,000	1	1,750,000
つくば臨床医学研究開発機構	-	-	-	-	-	-
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	2	1,450,000	-	-	2	1,450,000
計	621	1,052,291,659	218	298,442,325	839	1,350,733,984

※ 1. 寄附金(学術研究関係)……寄附金等取扱規程第2条第1項

2. 研究助成金……寄附金等取扱規程第2条第2項

イ 受託研究費

(金額：千円)

部 局 名	受託研究費		医薬品等受託研究費		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
人文社会系	2	8,784	0	0	2	8,784
ビジネスサイエンス系	4	4,023	0	0	4	4,023
数理物質系	36	438,126	0	0	36	438,126
システム情報系	38	397,699	0	0	38	397,699
生命環境系	50	1,171,014	0	0	50	1,171,014
人間系	5	27,037	0	0	5	27,037
体育系	16	1,062,490	0	0	16	1,062,490
芸術系	1	6,480	0	0	1	6,480
医学医療系	69	425,493	0	0	69	425,493
図書館情報メディア系	4	9,257	0	0	4	9,257
計算科学研究センター	22	629,200	0	0	22	629,200
生命領域学際研究センター	2	4,300	0	0	2	4,300
国際産学連携本部	1	37,500	0	0	1	37,500
アイソトープ環境動態研究センター	2	32,498	0	0	2	32,498
サイバニクス研究センター	1	219,113	0	0	1	219,113
国際統合睡眠医科学研究機構	11	146,027	0	0	11	146,027
遺伝子実験センター	1	26,550	0	0	1	26,550
北アフリカ研究センター	1	23,690	0	0	1	23,690
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	4	61,215	0	0	4	61,215
附属病院	87	210,374	314	182,124	401	392,498
合 計	357	4,940,870	314	182,124	671	5,122,994

※医薬品等受託研究費は、産学連携等実施状況調査における治験等受入実績の件数、金額である。

〔過去5年間の推移〕

(金額：千円)

		24	25	26	27	28
受託研究費	件数	240	260	305	322	357
	金額	3,660,507	3,513,898	3,818,136	4,928,020	4,940,870
医薬品等受託研究費	件数	1,999	2,063	1,832	288	314
	金額	202,319	177,583	179,309	129,271	182,124
合 計	件数	2,239	2,323	2,137	610	671
	金額	3,862,826	3,691,481	3,997,445	5,057,291	5,122,994

※医薬品等受託研究費は、産学連携等実施状況調査における治験等受入実績の件数、金額である。

ウ 民間等との共同研究費

(金額：千円)

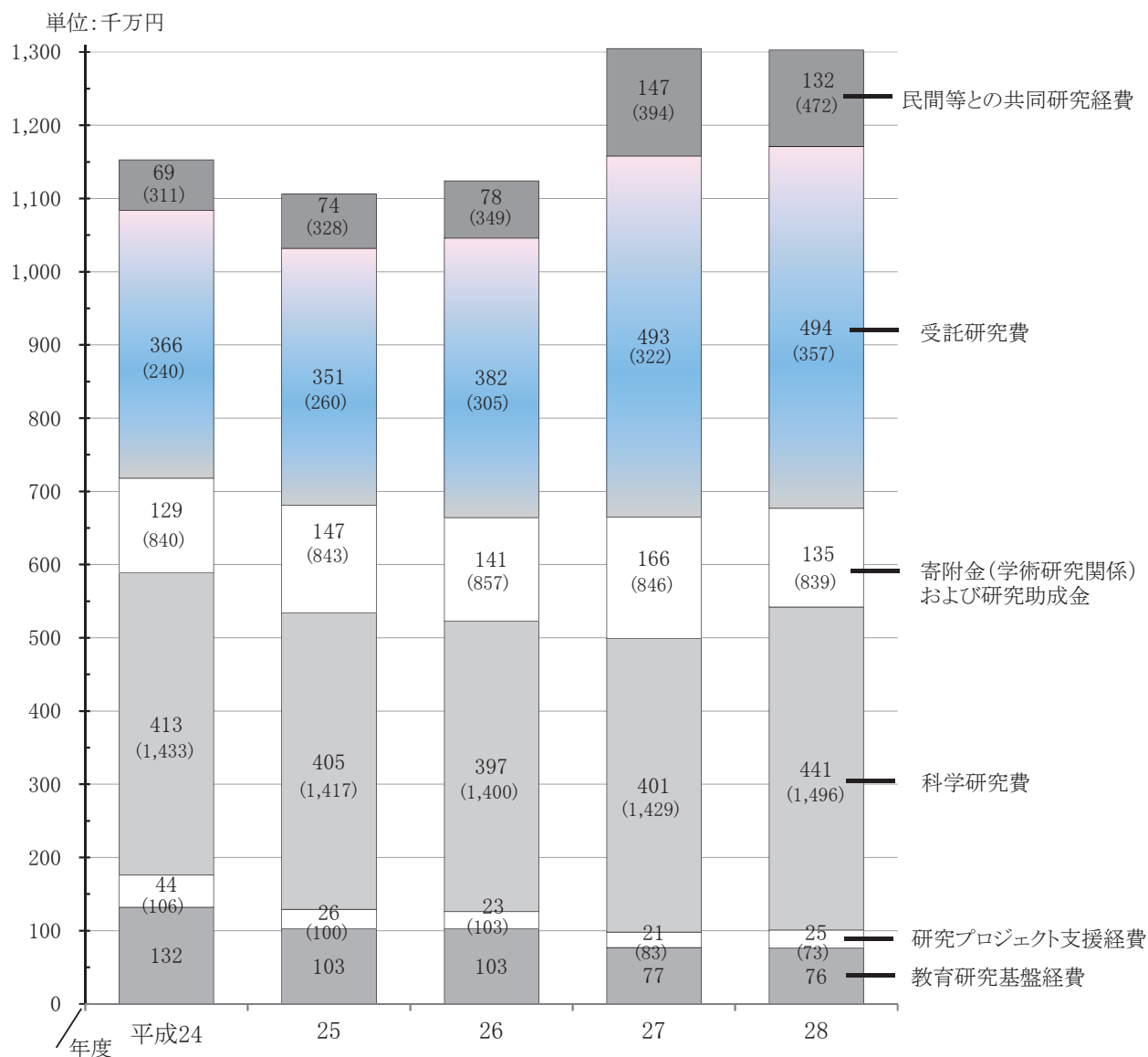
部 局 名	件 数	研究員 受入数	民間等負担経費
人文社会系	0	0	0
ビジネスサイエンス系	4	0	356
数理物質系	66	4	139,332
システム情報系	84	7	181,983
生命環境系	68	5	148,807
人間系	11	0	6,716
体育系	41	1	54,394
芸術系	11	4	13,373
医学医療系	71	5	140,052
図書館情報メディア系	7	0	16,733
計算科学研究センター	4	0	10,300
プラズマ研究センター	29	0	153,730
生命領域学際研究センター	6	1	18,120
国際産学連携本部	12	1	118,920
学術情報メディアセンター	3	1	575
サイバニクス研究センター	1	0	4,400
国際統合睡眠医科学研究機構	11	1	33,845
附属病院	39	0	256,096
陽子線研究センター	1	0	495
藻類バイオマス・エネルギー システム開発研究センター	3	1	20,449
計	472	31	1,318,676

〔過去5年間の推移〕

(金額：千円)

年度	24	25	26	27	28
項 目					
件 数	311	328	349	394	472
民間等負担費	690,679	747,418	778,249	1,466,370	1,318,676

(6) 各種研究費年度別取得状況



* ()内数字は件数を示す。

各種経費とその割合

(単位: 千万円)

区分	教育研究基盤経費	研究プロジェクト支援経費	科学研究費	学外からの研究費(外部資金)				合計
				計	寄附金(学術研究関係)および研究助成金	受託研究	民間等との共同研究	
平成24年度	132 (11.4)	44 (3.8)	413 (35.8)	564 (48.9)	129	366	69	1,153
平成25年度	103 (9.3)	26 (2.4)	405 (36.6)	572 (51.7)	147	351	74	1,106
平成26年度	103 (9.2)	23 (2.0)	397 (35.3)	601 (53.5)	141	382	78	1,124
平成27年度	77 (5.9)	21 (1.6)	401 (30.7)	806 (61.8)	166	493	147	1,305
平成28年度	76 (5.8)	25 (1.9)	441 (33.8)	761 (58.4)	135	494	132	1,303

()内は研究費の合計に占める割合を示す。

(7) 日本学術振興会特別研究員採用状況

区 分 \ 年 度	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用
S P D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P D	45	8	55	9	62	8	51	6	61	6
D C	307	74	317	70	337	62	328	68	320	55
計	352	82	372	79	399	70	379	74	381	61

区 分 \ 年 度	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用
R P D	8	4	5	1	7	0	6	2	7	3

※平成29年10月1日採用1名を含む

(8) 工業所有権等（平成29年3月31日現在）

ア 発明等の届け出状況

年度	発明等の届け出数	発明者に権利帰属	法人(国)に権利帰属数
14	73	65	8
15	114	110	4
16	112	48	64
17	122	26	96
18	132	63	69
19	179	77	102
20	163	43	120
21	129	34	95
22	100	21	79
23	127	18	109
24	136	15	121
25	121	13	108
26	142	28	114
27	102	20	82
28	132	6	115

イ 現有特許件数

	国内特許件数	外国特許件数	合計
登録済	355	213	568
申請中	287	161	448

4 学内共同教育研究施設等関係

(1) 学内共同教育研究施設等勤務教職員数

[全国共同教育研究施設]

(平成29年3月1日現在)

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	合計
計算科学研究センター	14	11	3	10			38	25	5	9	77
下田臨海実験センター	2	2		6			10	1	4	1	16
遺伝子実験センター	11	6	1	5			23	3	2	3	31
プラズマ研究センター	2	4	3	1			10		4	1	15
合計	29	23	7	22	0	0	81	29	15	14	139

[学内共同教育研究施設]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	合計
生命領域学際研究センター	5		4	9			18	3		4	25
グローバルコミュニケーション教育センター	13	21		14			48	2	1	5	56
体育センター	10	9	1	6		5	31			3	34
アドミッションセンター	3	1					4			2	6
北アフリカ研究センター	1	2		5			8	2		2	12
学術情報メディアセンター	2	7	1	3			13		11	4	28
サイバニクス研究センター	2	2					4	1		6	11
研究基盤総合センター	1	4	2	1			8		14		
アイソトープ環境動態研究センター	3	3	1	2		1	10	3	6	7	48
保健管理センター	2	1	3	4			10		7	2	19
合計	42	50	12	44	0	6	154	11	39	35	239

[部局附属教育研究施設]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	合計
大学研究センター	1	3	1				5			1	6
学際物質科学研究センター	8		2				10			1	11
農林技術センター	4	4		7			15		21	2	38
菅平高原実験センター	1	2		3		1	7	1	4	1	13
教育開発国際協力研究センター	2	1					3		2		5
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター							0				0
生命科学動物資源センター	2	1		2			5		16	2	23
知的コミュニティ基盤研究センター	4	4					8			1	9
陽子線医学利用研究センター	3	4	2	1	1		11		8	2	21
つくばスポーツ医学・健康科学センター							0				0
特別支援教育研究センター	2	1					3				3
合計	27	20	5	13	1	1	67	1	51	10	129

[事業費により措置する教育研究組織]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	合計
高細精医療イノベーション研究コア							0	5			5
繊維バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター							0	6	2	3	11
合計	0	0	0	0	0	0	0	11	2	3	16

[理療科教員養成施設]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	合計
理療科教員養成施設	1	1	2				4		2	2	8

(2) 学内共同教育研究施設等利用概況

施設名	利用状況	業績等
計算科学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用・共同研究者の受入れ状況：523人 (内訳：大学433・研究機関65・外国機関13・民間機関10・その他2) ・ 55研究施設 (内訳：大学30・研究機関9・外国機関9・民間機関6・その他1) ・ 見学者数：1,766人 	<p>論文数：269件 (内、国際学術誌掲載255件) 受賞総数：8件 研究会・シンポジウム等開催26件 (参加者総数1,486人)</p>
下田臨海実験センター	<p>教育・研究等でセンターを利用する学内・学外の利用者は、延べ7,291人となっており、共同利用・共同研究の利用については延べ5,057人(うち国際共同研究など海外から274人)となっている。特に、海洋酸性化の研究を進めるため式根島ステーションを開設して、年間延べ286人の利用者を受け入れた。</p> <p>授業臨海実習として、21件の臨海実習を行い、延べ1,768人の実習生を受け入れている。また、全国の高校生を対象として、公開講座を行い、26人の高校生を受け入れた。</p> <p>宿泊施設の利用状況について年間の宿泊者は、延べ5,972人の利用があった。</p>	<p>論文数：14件</p>
遺伝子実験センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用者：331名(占有196、機器135) ・ 一般見学者：351名 	<p>発表論文数：58報</p>
プラズマ研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員：12名 ・ PD：3名 ・ 大学院生：20名 ・ 学類生：18名 ・ 見学者：45件、1,447名 ・ 双方向型共同研究(筑波大学受入分)の実施：28件 ・ 自然科学研究機構核融合科学研究所との共同研究：1件 	<p>論文：36編 国際会議(プロシーディングス、アブストラクト、講演)：46件 解説・紀要等：36件 国内学会・国内会議・研究会等：85件 著書：1件 受賞：4件</p>
生命領域学際研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ TARAプロジェクトの実施：5件 ・ 見学：延べ2,189名 	<p>TARAセミナー：21回</p>
グローバルコミュニケーション教育センター	<p>(外国語教育部門) 共通科目外国語授業：816科目 メディアライブラリー利用者：1,600名</p> <p>(日本語教育部門) ○集中日本語コース (1,200コマ/年、登録者数19名/年) 春学期登録者(11名) 秋学期登録者(8名) ・ 4コマ/日×5日/週×2クラス×30週=1,200コマ</p> <p>○日韓共同理工学部留学生日本語コース (※秋学期のみ開講) (120コマ/年、登録者数7名/年) ・ 8コマ/週×15週=120コマ</p> <p>○補講日本語コース (2,020コマ/年、登録者数923名/年) 春学期登録者(436名) 秋学期登録者(487名) ・ 初級・中級入門・中上級クラス (80コマ/週×10週)+(90コマ/週×10週)=1,700コマ ・ 漢字クラス (14コマ/週×20週)=280コマ ・ 目的別日本語クラス (2コマ/週×20週)=40コマ</p>	<p>公開講演会・シンポジウム：2回 FD研修会：3回</p>

施設名	利用状況	業績等
グローバルコミュニケーション教育センター	<p>(日本語教育部門)</p> <p>○総合日本語コース (1,425コマ/年、登録者数303名/年) 春学期登録者 (156名) 秋学期登録者 (147名)</p> <p>・総合日本語クラス (35コマ/週×15週) + (43コマ/週×15週) =1,170コマ</p> <p>・漢字クラス (8コマ/週×15週) + (9コマ/週×15週) =255コマ</p> <p>○日本語(外国語科目) (136コマ/年、登録者数53名/年) 春学期登録者 (21名) 秋学期登録者 (32名) (4コマ/週×30週) + (2コマ/週×8週) =136コマ</p> <p>○学群英語コース (310コマ/年、登録者数324名/年) 春学期登録者 (174名) 秋学期登録者 (150名)</p> <p>・外国語(日本語) (3コマ/週×4クラス×20週) =240コマ</p> <p>・総合科目II (2コマ/週×30週) +10コマ=70コマ</p> <p>○Japan-Expert日本語(※秋学期のみ開講) (480コマ/年、登録者数6名/年) (28コマ/週×15週) +15コマ×4科目=480コマ</p>	
体育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外体育施設(陸上競技場他) : 約535,445人 ・屋内体育施設(中央体育館他) : 約862,875人 	
農林技術センター	<p>学生の実験・実習、大学院生、教職員の研究、公開講座等、視察・見学等、外国人訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農場地区(苗畑地区共通実習等含む) : 32,294名 ・苗畑地区 : 729名 ・井川演習林 : 657名 ・八ヶ岳演習林 : 1,207名 	
生命科学動物資源センター	<ul style="list-style-type: none"> ・動物実験計画 : 347件、利用者登録数 : 675名 ・利用者数 : 延べ73,470名 (201名/日平均) ・動物導入数 : 6種、21,522匹 ・飼育動物数 : 54,655匹/日平均 ・講習会の受講者数 : 152名、見学者 : 32名 	<p>改変マウス作成事業 TG:82件、VC:15件</p>
菅平高原実験センター	<ul style="list-style-type: none"> ・野外実験、実習、講義、セミナー及び研究会その他教育研究利用 : 延べ5,303名 ・施設見学者 : 1,528名 	<p>研究論文数 : 53編</p>
大学研究センター	<p>○公開研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回開催 学内参加者12名、学外参加者144名 <p>○履修証明プログラム「大学マネジメント人材養成」(受講生延べ17名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学マネジメントセミナー : 全5回・10時間 " (TV配信) : 筑波大学つくばキャンパス (他一般参加者延べ419名) ・大学マネジメント講義 : 全25科目・156.25時間 ・大学マネジメント研究Ⅰ : 12.5時間 ・大学マネジメント研究Ⅱ : 12.5時間 <p>○来訪者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28.4.26 タイ政府関係者及びコンケン大学関係者 (タイ国) 11名 	<p>論文 : 8編 著書 : 2件 報告書 : 1件 学会発表・講演 : 10件</p>
陽子線医学利用研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・陽子線治療患者数 : 298名 (先進医療223名、臨床研究6名、保険診療60名、自由診療4名、外国人5名) (昨年度379名) ・治療予定日実施率 : 229日/229日 (100%) 	<p>論文 : 38編 著書 : 16件 学会発表 : 57件 講演 : 29件</p>

施設名	利用状況	業績等
アドミッションセンター	<ol style="list-style-type: none"> 1. アドミッションセンター入試の実施 2. 国際科学オリンピック特別入試の実施 3. 国際バカロレア特別入試の実施 4. 「筑波大学入学案内2017」の発行及び配布 (70,000部) 5. 「A C入試・特別入試GUIDE BOOK 2018リーフレット」の発行及び配布 (10,000部) 6. 進学相談の実施 (85件) 7. 大学見学 (広報室所掌) 団体対応 (28回) 8. 東京キャンパス「進学相談」の実施 (14回、67件) 9. 東京キャンパス「春の進学説明会」の実施 (3日間のべ2,637人) 10. 受験生等対象大学説明会・進学説明会への参加 (126回) 11. 「受験生のための筑波大学説明会」における進学相談 (279件) 及び概要説明 (1,020人) の実施 12. 全学入試関係参考資料 (「帰国生徒特別入試選考のための参考資料」「推薦入試選考のための参考資料」) の作成及び提供 13. 全学入試関係情報の提供 (Webサイト「アドミッションセンター」及び携帯サイト等) 14. 各教育組織パンフレットの高校宛て一括発送 (1回、1,472校) 15. 大学入学者選抜改革推進委託事業「高大での教育改革を目指した理数分野における入学者選抜改革」の実施 	
教育開発国際協力研究センター	<p>海外からの招聘事業として筑波大学アジア太平洋経済協力 UNESCO-MGIEP国際会議 (200名参加、内160名が外国人)、筑波大学東南アジア教育大臣機構 (50名参加、内40名が外国人)、国際協力日本教育フォーラム (100名、内60名が外国人)、タイ教員研修70名、パプアニューギニア研修20名、コンケン大学執行部10名、タイ国会議員団9名、SEAMEOセンター訪問者3名などを実施した。海外では、筑波大学名の国際会議を、タイ・コンケン大学で1回、ペルーカトリカ大学で2回実施した。以上、主催国際会議の延べ参加者数は総計で2,000人を超える。ASEAN教育課程アドバイザーとしてASEAN教育課程開発を支援し、日本の研究者8名が貢献する機会を提供した。その他、東南アジア教育大臣機構関連セミナーに3回招聘され、海外の授業研究会に附属学校教員、北海道教育大学教員を派遣した。学術上の国際会議において、センター教員は基調講演をはじめ主要な役割を果たした。</p>	<p>国際学術誌：2件 著書：UNESCO 1冊 訳書：共立出版 1冊 国際会議招待講演等：25件 国内学会：4件</p>
知的コミュニティ基盤研究センター	<p>○公開シンポジウム (4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL 2016) and the Asia-Pacific Forum of Information Schools (APIS) 参加者:165名 ・第8回DAN (Digital Archive Network) ワークショップ 参加者：約30名 ・シンポジウム「図書館情報専門職養成史の再検討：組織記憶を構築する試み」参加者:82名 ・ワークショップ「認知症にやさしい図書館づくり」参加者：約90名 <p>○研究談話会開催 (8回) 講演者：学内1名/学外7名、参加者：延べ135名</p>	<p>学術雑誌論文：21件 国際会議発表：22件 国内学会発表：63件 著書：15件 受賞等：5件 その他：7件</p>
学際物質科学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・放射光物質科学コース キックオフシンポジウム ・TSUKUBA GLOBAL SCIENCE WEEK 2016 (TGSW2016) : Session36: 連携大学院学生発表会 ・TSUKUBA GLOBAL SCIENCE WEEK 2016 (TGSW2016) : Session 5: Interdisciplinary Workshop on Science and Patents TGSW2016-IWP ・TSUKUBA GLOBAL SCIENCE WEEK 2016 (TGSW2016) : Session 7: グリーン・イノベーション ・筑波大学ブレ戦略イニシアティブ キックオフシンポジウム「光と物質・生命科学のアンサンブルによる新現象の発掘と解明」 ・2017 TIMS-CENIDE-NTHU Joint Symposium on Nanoscience and Nanotechnology (Workshops of CiRfSE and Pre-Strategic Initiatives) ・平成28年度TIMS研究交流会 ・Interdisciplinary Workshop on Science and Patents 2016 (IWP2016) ・IWP2016 Polymer Conference ・Interdisciplinary Workshop on Science and Patents 2016 (IWP2016) - High School Section ・白金フリーカーボン触媒ワークショップ ・Workshop on Advanced Structural Study using SPring-8 ・かけはし「未利用熱エネルギーを変換する熱発電素子」第一回研究会 ・第3回CiRfSEワークショップ 	<p>シンポジウム開催：6回 研究会開催：8回 講演会・セミナー開催：6回 論文：155件 学会発表 (国際会議：195件、国内会議：304件)</p>

施設名	利用状況	業績等
特別支援教育研究センター	<p>1. 免許法認定公開講座「特別支援教育の基礎理論」「視覚障害の理解」「聴覚障害の理解」「知的障害の理解」「肢体不自由の理解」「視覚障害の指導法」「聴覚障害の指導法」「知的障害の指導法」「肢体不自由の指導法」「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」の全10講座、受講者のべ数491名、のべ単位取得者数487名</p> <p>2. 平成28年度筑波大学特別支援教育研究センター主催セミナー「シリーズ特別支援教育の伸展(6)教材・指導法データベース 国際貢献の可能性」：参加者35名</p> <p>3. 平成28年度筑波大学特別支援教育研究センター主催セミナー「シリーズ特別支援教育の伸展(7)指導法の豊かさを願って：先輩からのエール」：参加者100名</p> <p>4. JICA筑波委託事業 課題別研修「障がいのある子どものための授業づくり」研修コースの企画・運営および研修員の受入(フィジー、ケニア、レソト、モロッコ、ニウエ、パラオ、ソロモン、スワジランド：計11名の研修員)／受託期間：平成28年10月3日～平成29年3月10日</p>	<p>・現職教員研修事業(研修期間1年)：北海道1名、埼玉市1名、千葉2名、静岡県1名、長野県1名 計6名</p> <p>・免許法認定公開講座開講</p> <p>・主催セミナー開講(2回)</p> <p>・「筑波大学特別支援教育研究 第11巻」発刊</p> <p>・「教材・指導法データベース(日本語版/英語版)」の公開</p> <p>・「講座 特別支援教育(第2版)」教育出版：1 特別支援教育の基礎理論／2 特別支援教育における障害の理解／3 特別支援教育の指導法</p> <p>・文部科学省科学研究費基盤研究(A)「グローバル・スタンダードとしての特別支援教育の創成と貢献に関する総合的研究(研究代表：安藤隆男、課題番号：25245082)」</p>
北アフリカ研究センター	<p>○視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エジプト アスワン大学 学長・学部長・学科長：3名 ・チュニジア ボルジュ・セドリヤ・テクノパーク一行：3名 ・フランス ボルドー大学一行：3名 ・エジプト エジプト日本科学技術大学(E-JUST)一行：14名 ・モロッコ モハメドV世大学学長一行：3名 <p>○研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SATREPSプログラムJICA短期研修員：5名 ・平成28年度JICA集団研修：11名 	<p>論文：42編</p> <p>学会発表：国内学会：59件 国際学会：11件</p> <p>著書：1冊</p> <p>定期セミナー：2回</p> <p>TGSW2016参加</p> <p>JST-JICA地球規模課題対応国際科学技術協力事業</p> <p>EUへのモンペリエ大学とErasmus Mundusプログラムを共同実施</p> <p>TJASST2016シンポジウム開催</p> <p>公開講座開催</p> <p>その他駐日大使館訪問：4回</p>
学術情報メディアセンター	<p>○計算機システムの利用者登録数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全学計算機システム：21,061件 2. 社会工学類専門教育用計算機システム：1,009件 3. 学習管理システム(manaba)：61,935件 <p>○ネットワーク関係</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. DNSに登録されているドメイン数：212件 2. DNSに登録されているメールサーバ数：612件 3. レンタルサーバ設置件数：88件 4. ウェブホスティング件数：27件 5. サーバハウジング件数：3件 6. 無線LAN7ヶ所ポイントへの利用者登録数(学内)：107件 無線LAN7ヶ所ポイントへの利用者登録数(学外)：46件 7. 統一認証システム登録者数：34,363件 8. グループウェアオフィスシステム登録者数：3,376件 <p>○メディア機器関係</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. AV利用件数：82件 2. ビデオ配信件数：1件 3. ビデオ制作：14件 4. ライブ中継件数：2件 5. ポスター看板製作件数：228件 	<p>論文・国際会議論文：1編</p> <p>口頭発表：1件</p> <p>訳書：0編</p>
研究基盤総合センター	<p>(応用加速器部門)</p> <p>応用加速器部門 2016年度利用登録者数：計113名 (教職員35名、学生63名、学外15名)</p> <p>2016年度 加速器施設利用統計 施設総利用時間：4,176 時間(174日) 共用事業 産学連携・学外研究利用：18 課題</p> <p>1MVタンデム加速器利用実績 加速器運転時間：594.3時間 ビーム利用時間：262.1時間 実験実施課題数：66件 実験利用者総数：538名</p> <p>6MVタンデム加速器利用実績 加速器運転時間：1867.0時間 ビーム利用時間：1496.4時間 実験実施課題数：95件 実験利用者総数：614名</p> <p>施設見学者数：525名(内 中学・高校生：300名) 高校生 体験実習：3件</p>	<p>○研究業績</p> <p>発表論文：34編</p> <p>国際学会招待講演：1件 国際学会発表：20件 国内学会招待講演：2件 国内学会発表：37件</p> <p>○研究教育利用</p> <p>博士論文：2編 修士論文：5編 卒業論文：11編</p> <p>国内シンポジウム主催：1件 (参加者数 104名)</p> <p>技術講習会共催：1件 産業フェア等出展：1件</p>

施設名	利用状況	業績等
研究基盤総合センター	(低温部門) 液体ヘリウム供給：569件、39,471リットル 液体窒素供給：3,891件、187,627リットル 低温容器貸出：51件 大型装置共同利用：15件 低温寒剤利用説明会受講者数：539名 (教職員56名、学生483名) 液体ヘリウム利用説明会受講者：19名 (教職員2名、学生17名) 見学者：65名	発表論文：22編 口頭発表：32件
	(分析部門) 委託分析：5機種、計1,408件 共同利用：22機種、延べ5,235名、14,520時間 利用部局：10学系	論文：106編
	(工作部門) 機械工作関係：174件、延べ2531.5時間 ガラス工作関係：280件、延べ920時間 共同利用：142件、314時間 部門主催講習会受講者：機械 29名、ガラス 3名 授業支援：大学院共通科目(全学対象)48名 学類授業支援(化学対象)50名 見学者：90名	
サイバニクス研究センター	教員6名、大学院生43名、学群生6名、短期留学生1名、研究員等15名 ○視察等 文科省新採用職員35名、文科科学省研究振興局学術機関課 課長補佐6名、EPFL(スイス連邦工科大学)・トヨタ自動車15名、カナダ オンタリオ州にある政府系・民間系の研究機関 医学系・生命科学系の一団25名、岡山県朝日高校12名、ペンシルベニア大学2名、沖縄科学技術大学院大学担当審議官3名 ○取材 筑波大学新聞、日本学術振興会 科研費広報用WEB連載コンテンツ「私と科研費」、英フィナンシャル・タイムズ ○その他 JBM ロボティクスアプリケーション講習会、サイバニクス研究室見学会、サイバニクスインタフェース、デバイスの研究開発・実験	
アイソトープ環境動態研究センター	放射線安全管理部 (アイソトープ基盤研究部門) 放射線業務従事者登録数：261名(内研究利用者数：56名、管理区域入退システム入室者数：延べ4228名) A型エックス線装置使用者個人管理：9名 学類・大学院授業：539名 放射線管理教育 ・新規講習会参加者：233名 ・更新講習会参加者：225名 ・X線講習会参加者：70名 ・新規利用者ガイダンス：11名 教員免許更新講習：30名 その他の講義室利用(セミナー、ゼミ、会議他)：126名 授業・講習会を除く管理区域一時立入者：260名	セミナー主催回数：11回(348名) 論文：(国内4編、国外38編)合計42編 学会発表：(国際会議71件、国内学会70件、研究会等55件)合計196件
	(放射性物質環境移行部門) 若手育成策(新学術領域研究(研究領域提案型)研究課題番号：24110006)における森林の放射性核種移行調査及び空間線量率の測定法参加者：3名 機器・データ利用：4名	セミナー主催回数：10回(174名) 論文：(国内3編、国外18編)合計21編 学会発表：(国内14件、国外27件)合計41件
	(環境動態予測部門) 教育関係：延べ914名 研究関係：延べ312名 機器・データ利用：1名 見学：19名	セミナー主催回数：4回(84名) 論文：(国内2編、国外10編)合計12編 学会発表：(国内4件、国外3件)合計7件
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター	平成27年7月に新設。100名規模の国際フォーラムを含む研究会・シンポジウム・フォーラム等を7件開催、総参加者421人。平成28年度共同利用・共同研究課題の公募を行い、学内外合わせて18件を採択・実施した。	論文数：99件(内国際学術誌掲載74件) 受賞総数：13件
つくばスポーツ医学・健康科学センター	・アスレティックリハビリ患者数：(延べ)1,811人 ・スポーツ外傷の入院手術治療患者数：(実)17人 ・アスレティックリハビリテーション(個別)：77回 ・アスレティックリハビリテーション(集団)：320回 ・マークシート式運動器健診実施数(つくば市)：19,583人 ・茨城県甲子園出場投手メディカルチェック：4人	・高原 亮 2017臨床スポーツ医学会発表 「つくばスポーツ医学・健康科学センターにおける取り組み：第一報」 ・森 利雄 2017筑波スポーツ医学セミナー講演 「ドクターと連携したアスレティックトレーナーとしての活動」

施設名	利用状況	業績等
つくば臨床医学研究開発機構	<p>○講演会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財セミナー：49名 ・「Research Studio」パイロットセミナー「起業家に聴く」：139名（延べ：3回） ・研究指針の改正に関する説明会：240名 <p>○教育・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理等教育レベル1：新規251名（延べ3コマ） 更新575名（他e-learning受講者有） ・倫理等教育レベル2：312名（延べ7コマ） ・患者申出療養制度セミナー：50名 ・医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス講座：1,114名（延べ10回） ・グローバル医薬品・医療機器開発マネジメント講座：26名 <p>○臨床試験・治験支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究倫理審査新規件数：273件 ・臨床研究のプロジェクト支援：27プロジェクト ・医師主導の治験プロジェクト支援：4プロジェクト ・治験審査件数：110件 ・治験実施支援（CRC支援等）：110件 <p>○プロトコール相談：33件</p> <p>○シーズ・知財相談：47件</p> <p>○監査業務（医師主導治験監査業務）：2件</p> <p>○センター利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来医工融合研究センター支援プロジェクト：7件 ・C P F利用プロジェクト：1件 <p>○来訪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来医工融合研究センター：8件 ・文部科学省、岩手医科大、オランダEindhoven工科大学 他 	
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	<p>筑波大学が創始した、アジア・オセアニア藻類イノベーションサミット（Asia-Oceania Algae Innovation Summit）を平成28年9月に中国武漢で開催し、30ヶ国から550名の研究者が参加し、アジア・オセアニア地区の藻類研究者ネットワーク体制を強化している。</p> <p>10月に、2015年度の国際シンポジウムの成果を受け、米国のフェニックスで開催された、藻類バイオマスサミットで、米国以外では初の独自のセッションを設け、日本における藻類バイオマスの研究の成果と展望について発信した。</p> <p>また、地域貢献の一環として、栗原地区の藻類バイオマス・エネルギー大規模実証施設の一般公開を、7月と11月（雙峰祭に合わせて実施）に実施し、一般からの多くの参加者があった。昨年度に引き続き、茨城県立土浦第一高等学校のスーパーグローバルハイスクール事業、米軍子弟校高大連携プロジェクト事業、複数のSSH・SGH校への協力等も行った。</p>	<p>見学受入件数：18件 論文発表数：24件（国内3件、海外21件） 学会発表：90件（国内74件、海外16件） 特許申請数：3件（国内3件）</p>
国際統合睡眠医科学研究機構	<ul style="list-style-type: none"> ・WPI-IIISセミナー開催：32回 ・高校生向けラボツアー実施：5回 	<p>研究論文数：128編</p>

施設名	利用状況	業績等
理療科教員養成施設	<ul style="list-style-type: none"> ○理療臨床部 利用状況 <ul style="list-style-type: none"> ・診療日数：165日 ・患者数：4,216名（初見患者：179名、再来患者：4,037名） ○講習会、講座等 <ul style="list-style-type: none"> ・免許法認定公開講座 <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校（視覚）理療科教員免許法認定講習 臨床医学総論および臨床医学各論 受講者：21名 ・公開講座 <ul style="list-style-type: none"> 「東洋医学でリフレッシュ！」 受講者：40名 ・特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 （自立教科等担当教員講習会） 参加者：80名 （うち免許状更新講習参加者42名） ・ブラインドパラリンピックスポーツミーティング（毎月1回） 「ブラインドパラリンピックスポーツに関する情報交換」 参加者：毎回30名 ○共催等による研究会開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第42回日本東洋医学系物理療法学会 「鍼通電療法の基礎と臨床 最新の知見を学ぶ」 参加者：100名 ・「スポーツ鍼灸リサーチミーティング」開催 参加者：50名 ・ブラインドバラスポーツシンポジウム2016 「ブラインドアスリートのスポーツ科学サポーリオデジャネイロに向けて」開催 参加者：100名 ・2015年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム 「視覚障がいスポーツの現状と課題ーコミュニティ参加に向けてー」開催 参加者：100名 ・ブラインドバラスポーツシンポジウム2016 「リオから東京へ」開催 参加者：100名 ・オリンピック・パラリンピックに向けた鍼灸マッサージ実技講習 参加者：30名 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究助成 <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金（基盤研究（C））（研究代表者：徳竹忠司）：「特別支援学校理療科あん摩実技における臨床能力向上を目的とした教育プログラムの開発」 ・科学研究費補助金（基盤研究（C））（研究代表者：濱田 淳）：「鍼実技実習における視覚障害学生の治療教育プログラムの開発に関する教材論的研究」 ・（株）ナイガイとの産学連携研究「機能性を重視したレッグウェアの開発」 ・2015年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム（代表者：宮本俊和）：「視覚障害パラリンピアン競技力向上とコミュニティスポーツ参加を目的とした調査研究」 ・平成28年度ハイパフォーマンスサポート事業（パラリンピック競技）：「障害特性に応じたメディカルチェックおよびコンディショニングの指標の研究開発」 ・平成28年度ハイパフォーマンスサポート事業（パラリンピック競技）：ブラインド選手に対する各種競技情報のフィードバックシステムの研究開発 ・筑波大学教育戦略推進プロジェクト支援事業（研究代表者：宮本俊和）：「視覚障害パラリンピアンへの支援を基にした筑波型インクルーシブ教育システムの構築」 ○広報刊行物等 <ul style="list-style-type: none"> ・「視覚障がい障スポーツの現状と課題ーコミュニティ参加に向けてー」；害住友生命健康財団「スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」報告書 ・「ブラインドバラスポーツシンポジウム2016ーリオから東京へ」；ハイパフォーマンスサポート事業 抄録 ・「リオパラリンピック報告会ー視覚障害者柔道を中心にー」；教育戦略推進プロジェクト支援事業 抄録 ※全国の盲学校、及び各障害者スポーツ団体等へ寄贈配布 ・筑波大学理療科教員養成施設紀要 第2巻1号；理療科教員養成施設 ※全国の視覚特別支援学校、視覚障がい者センター、鍼灸専修学校へ配布

(3) 理療科教員養成施設

ア 学生数 (平成29年3月1日現在)

総定員	1年	2年	計
40	18(6)	21(4)	39(10)

(注) ()は、女子を内数で示す。

イ 卒業生数 (平成29年3月31日現在)

定員	卒業生数	累計
20	21(4)	833(171)

(注) ()は、女子を内数で示す。

ウ 入学者選抜 (平成29年4月1日現在)

入学定員	試験別	志願者数	合格者数	入学者数
20	一般入試	29(3)	16(1)	20(2)
	推薦入試	9(1)	4(1)	

(注) ()は、女子を内数で示す。

エ 奨学金 (平成29年3月1日現在)

学生数	日本学生支援機構	その他	比率(%)
39(10)	3(1)	1	10.25

(注) ()は、女子を内数で示す。

オ 就職 (平成29年3月31日現在)

卒業生数	就職者数	就職者の内訳				進学者	その他
		盲学校等教員	視力障害センター等教員	専修学校等教員	治療院等		
21(4)	16(3)	16(3)	0	0	0	0	5(1)

(注) ()は、女子を内数で示す。

カ 患者数 (平成29年3月31日現在)

診療日数	患者数				1日平均患者数
	初見者数	再来者数	学用者数	計	
165	179	4,037	0	4,216	26

5 学生生活関係

(1) 学生の表彰

平成 28 年 9 月

No.	所属（年次） 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	生命環境科学研究科 博士後期課程 生物機能科学専攻 （3年次） イン シャオジャン YIN Xiaojian	第 4 条 第 1 項 第 1 号	本学大学院に在籍している3年間に、合計8報（平成28年7月26日時点）の査読付き原著論文（欧文）を発表し、そのうち6本は筆頭著者として中心的な解析を行っている。これら7報の論文は全てインパクトファクターが3以上ある著名な国際的専門誌である。また筆頭著者として国際誌に総説も採択され、広く本研究を評価された。さらに国際学会に3回（うち2回は筆頭発表者）、国内学会に8回（うち6回は筆頭発表者）と多く発表をするなど活発に国内外の学会で活動している。
2	生命環境科学研究科 博士後期課程 持続環境学専攻 （3年次） ファン ウィウイン 黄 薇薇	第 4 条 第 1 項 第 1 号	在学中に優れた学術論文を、環境分野において著名な国際誌 Water Research (IF:5.991)、Bioresource Technology (IF:4.917)、ACS Sustainable Chemistry & Engineering (IF:5.267) 等に6報が掲載されており（筆頭著者としての論文は3報）、研究能力及び実験能力が高く評価されている。

平成 28 年 12 月

No.	所属（年次） 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	体育専門学群 （1年次） せりゅう 瀬 立 モニカ	第 4 条 第 1 項 第 2 号	リオ 2016 パラリンピック競技大会において、カヌー女子スプリント・カヤックシングル 200m（運動機能障害 KL1）日本代表選手として出場し、決勝進出（8位）を果たした。
2	体育専門学群 （4年次） やました こうへい 山下 航平	第 4 条 第 1 項 第 2 号	第 31 回オリンピック競技大会（2016/リオデジャネイロ）陸上男子三段跳び日本代表選手として出場した。
3	人間総合科学研究科 博士前期課程 体育学専攻 （2年次） すずき とおる 鈴木 徹	第 4 条 第 1 項 第 2 号	リオ 2016 パラリンピック競技大会において、陸上男子走り高跳び（T44）日本代表選手として出場し、決勝進出（第4位）を果たした。
4	人間総合科学研究科 博士前期課程 体育学専攻 （2年次） かねこ まさき 金子 雅紀	第 4 条 第 1 項 第 2 号	第 31 回オリンピック競技大会（2016/リオデジャネイロ）競泳男子 200m背泳ぎ日本代表選手として出場した。

平成 29 年 3 月
(大学院)

No.	所属 (年次) 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	教育研究科 教科教育専攻 (2年次) まえだ まさひろ 前田 昌寛	第4条 第1項 第1号	1年次に国内最高峰の教育賞と言われる読売教育賞を受賞し、広く国内の教育者に研究と実践の成果を広めた。在学中に学会発表を2件行い、査読付き学会誌に論文が2報掲載され、修士論文では、推論を生成する能力を引き出す教師の適切な発問について調査・実験を行った。その結果、推論発問や自己関連発問は難しいテキストで効果を発揮することが明らかになるなど、教育的示唆に富み、学問的に極めて高い評価を得た。
2	数理物質科学研究科 3年制博士課程 物質・材料工学専攻 (3年次) ふくい ともや 福井 智也	第4条 第1項 第1号	筆頭著者として、国際的評価の高い学術誌、 <i>Nature Chemistry</i> に「Control over differentiation of a metastable supramolecular assembly in one and two dimensions」(doi:10.1038/nchem.2684)との題目で論文を発表(掲載)した。その他にも学術論文3報、解説1報を発表済みである。これらの研究に関連した学会発表では、 <u>日本化学会</u> 学生講演賞(第95回春季年会、第96回春季年会の2年連続)、 <u>高分子学会</u> IPC 2014 Young Scientist Poster Award (The 10th SPSJ International Polymer Conference)、その他、国内・国際会議において優秀ポスター賞4件を含む、計7件の賞を博士後期課程在学時に受賞した。
3	数理物質科学研究科 博士前期課程 物性・分子工学専攻 (2年次) なかごし ゆうた 中越 悠太	第4条 第1項 第1号	修士論文「擬ブルッカイト系 MgTi ₂ O ₅ 多孔質セラミックスの精密反応焼結」に関する研究 擬ブルッカイト系 MgTi ₂ O ₅ 多孔質セラミックスは、優れた耐熱衝撃性、化学的安定性を示すことからディーゼル粒子除去フィルターや水質浄化フィルターなどの環境浄化材料として期待されている。同セラミックスの焼結前後の寸法変化を限りなくゼロに近づけることが可能な、新しい「精密反応焼結法」を開発し、工学的な応用性を飛躍的に高めただけでなく、精密反応焼結メカニズムを解明することに成功している。筆頭学術論文3報がアクセプトされるなど、博士後期課程に匹敵する特段に優れた業績をあげている。

4	<p>システム情報工学 研究科 博士前期課程 リスク工学専攻 (2年次)</p> <p>しながわ かずまき 品川 和雅</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>以下の優れた研究成果(ジャーナルとトップレベル国際会議を含む)とそれに伴う受賞歴:</p> <p>(1) K. Shinagawa et al., "Secure Computation Protocols Using a Minimum Number of Polarizing Cards," IEICE Trans. Fundamentals, Vol. E99-A, No. 6, pp.1122-1131, 2016 [ジャーナル, 査読有].</p> <p>(2) K. Shinagawa et al., "Size-Hiding Computation for Multiple Parties," Asiacrypt, LNCS 10032, pp.937-966, Springer, 2016 [top 国際会議, 査読有, 採択率 28% (67/240)].</p> <p>(3) K. Shinagawa et al., "Multi-Party Computation with Small Shuffle Complexity Using Regular Polygon Cards," International Conference on Provable Security, LNCS 9451, pp.127-146, Springer, 2015 [国際会議, 査読有].</p> <p>(4) 暗号と情報セキュリティシンポジウム論文賞 2015.7</p> <p>(5) コンピュータセキュリティシンポジウム学生論文賞 2015.10</p>
5	<p>システム情報工学 研究科 博士後期課程 社会工学専攻 社会工学学位 プログラム (3年次)</p> <p>ちん かく 陳 鶴</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>(1) 陳鶴・谷口守: 環境バランスエリアの達成にライフスタイルの見直しが及ぼす可能性, 環境システム研究論文集, Vol. 44, pp. 80-91, 2016 (審査付論文)</p> <p>(2) 陳鶴・小田佳代子・谷口守: 「メテオグラム」の活用を通じた地域での長期的環境バランス変化の可視化-その改善可能性に関する試論-, 土木学会論文集 D3, Vol. 72, pp. 41-51, 2016 (審査付論文)</p> <p>(3) H. Chen, M. Taniguchi : Measuring sustainability for rural settlement development: Environmental balance assessment based on the ecological footprint, Journal of Urban planning and Development, Vol. 142, Issue 4, 10.1061(ASCE)UP1943.5444.00000337, 2016 (審査付論文)</p> <p>(4) 陳鶴・小田佳代子・谷口守: 地域スケールでの環境バランス評価ツールの開発とその感度分析, 環境システム研究論文集, Vol. 42, pp. 87-95, 2014 (審査付論文)</p> <p>(5) 谷口守・伊勢晋太郎・陳鶴・村上暁信: 環境バランスエリアの創世に関する試論-茨城県を対象としたケーススタディー-, 土木学会論文集 D3, Vol. 70, No. 5, pp. 93-102, 2014 (審査付論文)</p> <p>(6) H. Chen, S. Ise & M. Taniguchi : Concept of ecologically balanced area based on Ecological Footprint, Sustainable Development and Planning 6, pp. 79-86, WIT PRESS, 2013 (著書)</p> <p>(上記以外に、公表済みの審査付き論文1報、投稿中の審査付き論文2報と研究発表6本がある。)</p>

6	<p>生命環境科学研究科 博士後期課程 生命産業科学専攻 (3年次)</p> <p>フー ショウホン 呼 小紅</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>これまで一貫して新規光触媒材料の開発及び健康・環境分野の応用に関する研究を行い、材料分野で最も権威ある Journal of Materials Chemistry A 誌 (IF = 8.262) を含め3報の原著論文を筆頭著者として発表しており、総 IF は、16.794 と群を抜いて高い業績をあげている。また、共著の原著論文も多く、7報を既に発表しており、そのうち、3報は第2著者である。また、これらも高い IF のジャーナルに掲載されており (Advanced Functional Materials, IF: 11.38 など)、IF の総数は、31.868 である。</p> <p>国内外の学会等で2件の賞を受賞している。その中でも特に特記すべきは、生物医学工学における国際会議 1st Asia University Symposium on Biomedical Engineering では、台湾大学やシンガポール国立大学などアジアトップ研究型大学の研究者との激しい競争を勝ち抜き、Excellent presentation award を受賞していることである。また、持続発展に関する国際会議 International agricultural ESD symposium では、Best poster design award を受賞している。</p> <p>以上の業績を基に、新規材料に関しては特許を出願している。</p>
7	<p>生命環境科学研究科 博士前期課程 地球科学専攻 (2年次)</p> <p>たかむら ゆうすけ 高村 悠介</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>スリランカおよび南極に産出する高度変成岩類の形成年代およびテクトニクスに関する研究を行い、修士課程の2年間で査読付き国際誌に筆頭論文2編を含む5編の論文を掲載した。また、平成28年11月19-20日にインドで開催された「第13回国際ゴンドワナ-アジアシンポジウム」にて最優秀ポスター発表賞を受賞した。</p>
8	<p>生命環境科学研究科 博士後期課程 地球進化科学専攻 (3年次)</p> <p>やまだ まさき 山田 昌樹</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>津波や洪水のような突発的な事象による土砂の移動・堆積や、地質記録に基づく地震・津波発生履歴の解明などの研究を行っており、研究成果の一部は既に3編の国内外の査読付雑誌に掲載された。大分県別府湾における研究では約8,500年前以降に少なくとも4回の津波が発生していたことを明らかにした。さらに詳細な年代測定を行うことで誤差を100年程度に抑え、既存研究よりも圧倒的に精度よく地震・津波発生年代を明らかにした。この研究は、新たな指標と手法を用いてプレート内断層における地震再来間隔の議論を可能にした点で重要といえる。この研究は当該候補者が博士後期課程在学中に行ったものであり、今後査読付国際誌に投稿される予定である。博士後期課程在学中の学会発表も筆頭講演者のものだけで11件を数えるなど、非常に精力的に行った。</p>

9	<p>生命環境科学研究科 博士後期課程 生物学専攻 (3年次)</p> <p>たなか ひびき 田中 響</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>イモリが幼生期(水生期)と変態した後(陸生期)では、肢再生の基本設計図は保持しつつも、細胞メカニズム(材料)を切り替えていることを発見した。特に筋に着目し、水生期には幹細胞から新たな筋をつくるが、陸生期に入ると筋線維を脱分化して利用することを、遺伝子改変技術を駆使して見事に証明した。このことは、イモリが陸生期の再生を保証する新たなメカニズムを進化させたことを示唆する。これは、250年近く明らかにされて来なかったイモリの卓越した再生能力の謎に迫る成果であるとともに、再生できない出生後のヒトの体を自己再生させる未来型の医療に対して理論的根拠を与えるものであり、当該分野に与えたインパクトおよび貢献度は極めて大きい。本研究成果は Nature Communications 7:11069 (2016)に掲載されるとともに、新聞など多数のメディアで報道された。</p>
10	<p>人間総合科学研究科 博士後期課程 教育基礎学専攻 (2年次)</p> <p>せきうち いいちろう 関内 偉一郎</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>・全国学会誌における研究論文の掲載 ①「才能教育における高大接続に関する一考察—アメリカ合衆国の早修制度に焦点を当てて—」(日本教育学会『教育学研究』83-4, 2016年12月, pp. 54-65.) 及び②「ギフテッド対応型 RTI モデルにおける才能教育の多層的展開—「早修」と「拡充」の新たな実践的枠組みに着目して—」(『アメリカ教育学会紀要』27, 2016年10月, pp. 44-57.) 両学会誌に査読論文として掲載された。日本教育学会は数多くの教育学関連学会の中でも文字通り代表的な学会であり、『教育学研究』は教育学の中でも最も権威ある学会誌である。アメリカ教育学会は教育学の分野では中規模な学会であるが、アメリカの教育研究を専門とする研究者の学会であり、その紀要に査読付き論文が掲載されたことはアメリカ教育研究としても高い評価を得られたことを意味する。</p>
11	<p>人間総合科学研究科 博士後期課程 学校教育学専攻 (3年次)</p> <p>すずき たかし 鈴木 貴史</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>全国大学国語教育学会の学会誌に掲載された下記の論文が高く評価され、「全国大学国語教育学会優秀論文賞」を受賞した。 「明治初期における書字教育の技能教育化」 (国語科教育・第78巻, pp. 37-44, 2015年) この賞は、年度内刊行学会誌掲載論文の中で特に優れた論文に対して授与されるものである。本研究は、厳しい審査を経て学会誌に掲載され、この中で高い評価を得た。</p>

12	<p>人間総合科学研究科 3年制博士課程 ヒューマン・ケア科学 専攻 (3年次)</p> <p>わたなべ ひろき 渡邊 大貴</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>2016.10.30～11.4 に開催された American Congress of Rehabilitation Medicine (ACRM) 93rd Annual Conference: Progress in Rehabilitation Research において、発表演題「Effects of Gait Training with a Hybrid Assistive Limb® in Stroke Patients: A Randomized Controlled Study with a 2-month Follow-up」が「Stroke ISIG Poster 3rd Place Award」を受賞した。Stroke ISIG Poster Award は、世界で最も大きい学際的な脳卒中専門グループがこれからの脳卒中治療・評価・リハビリテーションの確立を目的に、最も質が高い臨床研究を実施し、発表したものに贈られる賞である。本学会には世界 60 カ国から 2500 人以上の医師、セラピスト、研究者等が参加した。本学会における 600 以上の発表演題から脳卒中に関する優秀な臨床研究として認められた 3 件のうちの 1 件であり、研究活動において国際的に高い評価を得た。</p>
13	<p>人間総合科学研究科 博士後期課程 体育科学専攻 (3年次)</p> <p>しま たける 島 孟留</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>博士学位論文を構成する関連論文のうち、”Moderate exercise ameliorates dysregulated hippocampal glycometabolism and memory function in a rat model of type 2 diabetes” (中強度運動はⅡ型糖尿病ラットで低下する海馬グリコゲン代謝と認知機能を改善) と題する論文を、<u>糖尿病研究分野のトップジャーナルである <i>Diabetologia</i> (IF=6.206) に刊行させた。</u>これは、海馬における乳酸輸送の低下がⅡ型糖尿病に合併する認知機能低下の一因である点、さらにこの症状を4週間の中強度運動が改善することなどを世界で初めて示した点で高く評価できる。本成果は本学プレスリリースを経て大学HPをはじめ <i>Yahoo News</i> など複数のメディアを通じて国内外に配信され、社会的認知度を高めている。このほか、<i>Journal of Physiological Sciences</i> (IF=2.165) への関連論文の掲載、総説の執筆、国内外の学会での発表 (2014 American College of Sports Medicine、日本体力医学会) など活発な研究活動を行っている。</p>
14	<p>人間総合科学研究科 博士前期課程 芸術専攻 (2年次)</p> <p>かしわぎ けんゆう 柏木 健佑</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個展「柏木健佑絵画展」(2015年3月12日～3月17日、コートギャラリー国立) が第8回絹谷幸二賞 (毎日新聞社主催、三井物産協賛) を受賞 (2016年3月2日) ・絵画作品「あれが見当たらない」(1304×3240mm、油彩、カンヴァス) が VOCA 展 2016 (2016年3月12日～3月30日、上野の森美術館) にて入選
15	<p>グローバル教育院 一貫制博士課程 エンパワーメント 情報学プログラム (5年次)</p> <p>むらた こういち 村田 耕一</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) IEEE ROBO2015, Best Paper in Robotics Award 受賞 (2) Microsoft Imagine Cup 日本大会 イノベーション部門優勝 (世界大会出場) (3) 攻殻機動隊 REALIZE PROJECT 東京大会優秀賞 (4) テクノアイデアコンテスト「テクノ愛」奨励賞受賞

(学群)

No.	所属 (年次) 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	生命環境学群 生物学類 (4年次) いどがわ なおと 井戸川 直人	第4条 第1項 第1号	2015年 先導的研究者体験プログラム研究成果発表会 優秀賞受賞 2015年 Behaviour 2015 ポスター発表 2015年 ヒヌマイトトンボ観察会スタッフ参加 2015-2016年 つくばアクションプロジェクト (t-act) の企画「つくバグ」 の代表就任 筑波大学社会貢献プロジェクトおよび子どもゆめ基金の 助成金獲得 つくばアクションプロジェクト 平成28年度上半期優秀賞 筑波大学学園祭「雙峰祭グランプリ」アカデミー賞 (展示企画最優秀賞) 2016年 先導的研究者体験プログラム研究成果発表会 優秀賞受賞 2016年 第60回応用動物昆虫学会 ポスター発表 2016年 第25回 International Congress of Entomology ポスター発表 2016年 Physiological Entomology に論文受理 2016年 Entomological News に論文受理
2	生命環境学群 生物資源学類 (4年次) えんじゅ 槐 ちがや	第4条 第1項 第1号	(1) 2015年～現在：水草保全ネットワークにおける水草保全活動 (2) 2015年12月：改訂新版日本の野生植物(平凡社)における水草 の撮影写真(ヒルムシロなど2枚)の掲載 (3) 2016年3月：ポスター発表(英語)、フィリピン Central Bicol State 農業大学、ASEAN 横断型グローバル課題挑戦的教育プロ グラム (4) 2016年8月：ポスター発表、水草研究会第38回全国集会 (5) 2016年12月：口頭発表(英語)、ミャンマーPatheingyi 大学、 ASEAN 横断型グローバル課題挑戦的教育プログラム (6) 2016年12月：論文掲載、槐ちがや他、 水草研究会誌(104)：1-8
3	理工学群 応用理工学類 (4年次) しもやま ゆうと 下山 雄人	第4条 第1項 第1号	文部科学省主催第5回サイエンス・インカレ口頭部門にて、「分子 のスキマで未来を創る -新規手法による高機能多孔性材料の開発 -」というタイトルで研究発表をし、サイエンス・インカレ・コンソ ーシアム奨励賞(DERUKUI 賞)を受賞(DERUKUI 賞は、「研究の着 眼点が個性的である」、「従来の枠にとらわれない研究である」など の「研究の独創性」を審査基準とした賞で、挑戦的な研究に対して与 えられる。サイエンス・インカレ発表者179人の内、第4位に相当 します。)

4	<p>情報学群 情報メディア創成 学類 (4年次)</p> <p>はしづめ さとし 橋爪 智</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>【受賞等 (いずれも Cross-field haptics の研究に対するもの)】</p> <p>[1] SIGGRAPH 2016 ACM Student Research Competition 学部生部門 2位受賞</p> <p>[2] 経済産業省 Innovative Technologies 2016 選出</p> <p>[3] Wired Creative Hack Award 2016 ファイナリスト</p> <p>【国際会議発表 (査読あり、ポスターとデモ)】</p> <p>[4] Satoshi Hashizume, Kazuki Takazawa, Amy Koike, and Yoichi Ochiai. Cross-field haptics: tactile device combined with magnetic and electrostatic fields for push-pull haptics. In SIGGRAPH ASIA 2016 Emerging Technologies. Article13, 2 p, 2016.</p> <p>[5] Satoshi Hashizume, Kazuki Takazawa, Amy Koike, and Yoichi Ochiai. Cross-field haptics: push-pull haptics combined with magnetic and electrostatic fields. In ACM SIGGRAPH 2016 Posters (SIGGRAPH ' 16), Article 30, 2 p, 2016.</p> <p>[6] Ayaka Ebisu, Satoshi Hashizume, Kenta Suzuki, Akira Ishii, Mose Sakashita, and Yoichi Ochiai. Stimulated percussions: techniques for controlling human as percussive musical instrument by using electrical muscle stimulation. In SIGGRAPH ASIA 2016 Posters (SA ' 16), Article 37, 2 p, 2016.</p> <p>[7] Amy Koike, Satoshi Hashizume, Mose Sakashita, Yuki Kimura, Daitetsu Sato, Keita Kanai, and Yoichi Ochiai. Syringe-worked mermaid: computational fabrication and stabilization method for cartesian diver. In SIGGRAPH ASIA 2016 Posters (SA ' 16), Article 35, 2 p, 2016.</p> <p>【展示等】</p> <p>[4]～[7] に関するデモ展示のほか、共同制作による展示4件</p>
5	<p>情報学群 情報メディア創成 学類 (4年次)</p> <p>たかざわ かずき 高澤 和希</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>【受賞等 ([1]～[3] は Leaked light field の研究に対するもの)】</p> <p>[1] LAVAL Virtual Award - Interfaces & Multipurpose Equipment 部門受賞</p> <p>[2] Wired Creative Hack Award 2016 ファイナリスト</p> <p>[3] YouFab Global Creative Awards ファイナリスト</p> <p>[4] 経済産業省 Innovative Technologies 2016 (共同研究者)</p> <p>【国際会議発表 (査読あり、ポスターとデモ)】</p> <p>[5] Kazuki Takazawa, Kenta Suzuki, Shinji Sakamoto, Ryuichiro Sasaki, Yoshikuni Hashimoto and Yoichi Ochiai. Leaked light field from everyday material: designing material property remained light-field display. In SIGGRAPH ASIA 2016 Posters (SA ' 16), Article 7, 2 p, 2016.</p> <p>[6] Satoshi Hashizume, Kazuki Takazawa, Amy Koike, and Yoichi Ochiai. Cross-field haptics: tactile device combined with magnetic and electrostatic fields for push-pull haptics. In SIGGRAPH ASIA 2016 Emerging Technologies. Article 13,</p>

	<p>2p, 2016.</p> <p>[7] Satoshi Hashizume, Kazuki Takazawa, Amy Koike, and Yoichi Ochiai. Cross-field haptics: push-pull haptics combined with magnetic and electrostatic fields. In ACM SIGGRAPH 2016 Posters (SIGGRAPH '16), Article 30, 2 p, 2016.</p> <p>[8] Akira Ishii, Ippei Suzuki, Shinji Sakamoto, Keita Kanai, Kazuki Takazawa, Hiraku Doi, and Yoichi Ochiai. Optical Marionette: Graphical Manipulation of Human's Walking Direction. In Proceedings of the 29th Annual Symposium on User Interface Software and Technology (UIST '16), pp.705-716, 2016.</p> <p>[9] Akira Ishii, Ippei Suzuki, Shinji Sakamoto, Keita Kanai, Kazuki Takazawa, Hiraku Doi, and Yoichi Ochiai. Graphical manipulation of human's walking direction with visualillusion. In ACM SIGGRAPH 2016 Emerging Technologies (SIGGRAPH '16), Article 8, 2 p, 2016.</p> <p>【展示等】 [4]～[9] に関するデモ展示のほか、共同制作による展示等 6 件</p>
<p>6</p> <p>情報学群 情報メディア創成 学類 (4年次) あんどろ としゆき 安藤 宗孝</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p> <p>【国内会議発表論文（査読あり）】 [1] 安藤、久保、志築、高橋 MimiSense: 外耳道内の気圧変化を利用した下顎運動認識システム 第24回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ論文集(WISS 2016)、2016年12月、pp. 1-6</p> <p>[2] 高田、林、安藤、志築、高橋 BaroTouch: 防水タッチパネル端末に内蔵された気圧センサを用いた押下圧力取得手法、第24回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ論文集(WISS 2016)、2016年12月、pp. 17-22</p> <p>【口頭発表（査読なし）】 [3] 高田、林、安藤、志築、高橋 防水タッチパネル端末に内蔵された気圧センサを用いたタッチ圧力取得手法、情報処理学会研究報告、Vol. 2016-HCI-169、No. 10、情報処理学会、2016年8月、7pp</p> <p>【特許出願】 [4] 安藤、久保、志築 信号処理装置、特願 2016-241032、2016年12月13日</p> <p>【受賞】 [5] JPHACKS 2015 WorldChallenge 部門賞、ソニー賞 2015年12月（4人チームのリーダー） [6] Future Game Hackathon 2015 優勝、スポンサー賞 2015年9月（4人チームのリーダー）</p>

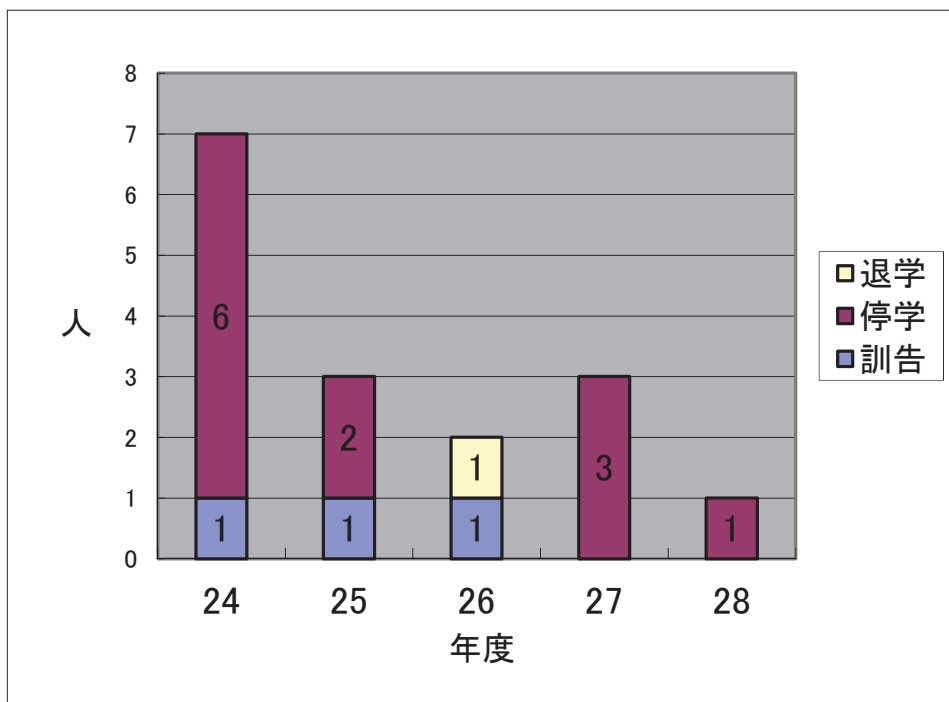
7	医学群医学類 (6年次) むろい けい 室井 慧	第4条 第1項 第1号	査読付きの国際誌 Annals of Hematology (インパクトファクター 3.022) に筆頭著者として下記の論文を発表した。 Late occurrence of Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disorder in a patient with follicular lymphoma treated with bendamustine and rituximab (和訳: 濾胞性リンパ腫にベンダムスチン-リツキシマブ療法を施行後、遅れて生じたEBウイルス関連リンパ増殖性疾患) Annals of Hematology 94:2061-2, 2015 (2015年12月発行) PMID: 26240012 DOI: 10.1007/s00277-015-2463-3
8	体育専門学群 (4年次) たけうち のぶやす 竹内 信康	第4条 第1項 第2号	2016 グランプリ・青島 柔道競技 73kg 級第3位 2016 全日本学生体重別選手権大会柔道競技 73kg 級優勝
9	体育専門学群 (3年次) うちお まこ 内尾 真子	第4条 第1項 第2号	2016年グランプリ・ウランバートル大会 柔道競技 52kg 級優勝 2017年ヨーロッパオープン・ソフィア大会 柔道競技 52kg 級優勝
10	体育専門学群 (3年次) のうち あいみ 能智 亜衣美	第4条 第1項 第2号	2016年全日本選抜柔道体重別選手権大会 63kg 級優勝 2016年グランドスラム・チュメニ大会 柔道競技 63kg 級優勝 2016年講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 63kg 級優勝
11	体育専門学群 (3年次) かしはら 柏原 みき	第4条 第1項 第2号	SCG タイオープングランプリゴールド大会 2016 バドミントン競技 女子ダブルス第3位 (加藤美幸/柏原みき)
12	体育専門学群 (3年次) かとう みゆき 加藤 美幸	第4条 第1項 第2号	SCG タイオープングランプリゴールド大会 2016 バドミントン競技 女子ダブルス第3位 (加藤美幸/柏原みき)
13	体育専門学群 (3年次) とくだ しんのすけ 徳田 新之介	第4条 第1項 第2号	2017年1月11日~29日にフランスで行われたハンドボール世界選手権大会に日本代表選手として出場した。
14	体育専門学群 (2年次) たがわ けんぞう 田川 兼三	第4条 第1項 第2号	2016 グランプリ・青島 柔道競技 66kg 級第3位 2016 全日本学生体重別選手権大会柔道競技 66kg 級優勝
15	体育専門学群 (2年次) みずたに ゆうき 水谷 有希	第4条 第1項 第2号	①FIFA U-20 女子ワールドカップ 2016 パプアニューギニア大会出場、3位、銅メダル
16	体育専門学群 (1年次) まつもと まみこ 松本 真未子	第4条 第1項 第2号	①FIFA U-20 女子ワールドカップ 2016 パプアニューギニア大会出場、3位、銅メダル

17	体育専門学群 (1年次) なかえ みゆ 中江 美裕	第4条 第1項 第2号	2017年ヨーロッパオープン・ソフィア大会 柔道競技 70kg級 3位
18	体育専門学群 (1年次) やました じゅん 山下 潤	第4条 第1項 第2号	2016U20 世界陸上競技選手権大会 4×100mR(2走) 第2位(銀メダル)

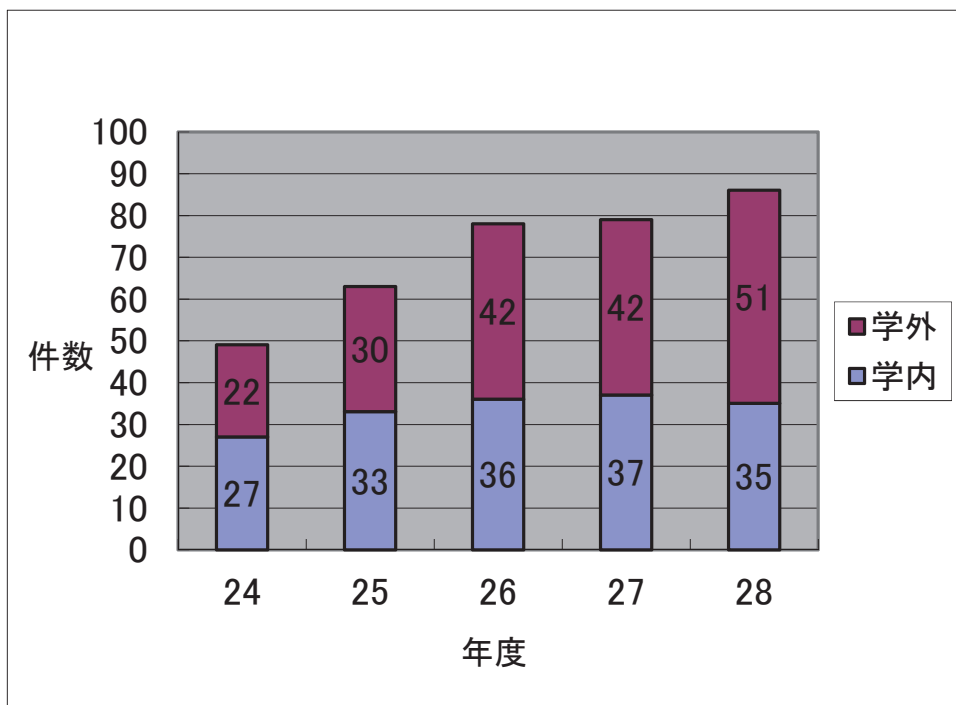
(団体)

No.	団体名称	適用 条項	表彰に値する行為
1	CoDA Tsukuba 【代表者】 社会工学類(3年次) やまぐち まりさ 山口 真理沙	第4条 第1項 第1号	■受賞 (株)NTT データ数理システム 2016年度 S-PLUS&Visual R Platform 学生研究奨励賞「優秀賞」受賞
2	男子バスケットボール部 【代表者】 体育専門学群(4年次) いくはら しゅうすけ 生原 秀将	第4条 第1項 第2号	第68回全日本大学バスケットボール選手権大会 優勝
3	蹴球部 【代表者】 体育専門学群(4年次) たかやなぎ こうへい 高柳 昂平	第4条 第1項 第2号	平成28年度 第65回全日本大学サッカー選手権大会 優勝
4	ダンス部 【代表者】 体育専門学群(3年次) ひうら あきら 樋浦 瞳	第4条 第1項 第2号	第29回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)にお いて文部科学大臣賞を受賞 作品名: Trance Tribe
5	バドミントン部 【代表者】 体育専門学群(2年次) うしき あゆこ 牛木 鮎子	第4条 第1項 第2号	第67回全日本学生バドミントン選手権大会 女子団体優勝(3連覇)

(2) 学生の懲戒



(3) 学生の交通事故



(4) 福利厚生施設

場 所	業 種	席数
第一エリア	食堂	232
	喫茶	82
	書籍・文具	
	パン販売	
	自動販売機	
第二エリア	食堂	336
	小食堂	64
	喫茶	72
	書籍・文具	
	パン販売	
	自動販売機	
第三エリア	食堂	138
	フードコート	285
	そば・うどん	
	カレー	
	中華	
	和食	
	喫茶	
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	パン販売	
	自動販売機	
銀行キャッシュコーナー		
(総合研究棟B)	パン販売	
医学エリア	食堂	200
	特別食堂	40
	喫茶	36
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	パン販売	
	自動販売機	
(4B棟)	パン販売	
	自動販売機	
体育・芸術エリア	食堂(1階)	144
	食堂(2階)	105
	画材・文具	
	喫茶	40
	写真・スポーツ用品	
	パン販売	
	自動販売機	
(総合研究棟D)	パン販売	

場 所	業 種	席数
春日エリア	食堂	188
	書籍・文具	
	自動販売機	
大学会館(本館)	レストラン	150
	大学オリジナルグッズ	
	自動販売機	
大学会館(別館)	郵便局	
	郵便局キャッシュコーナー	
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	画材等	
	トラベルサービス	
	銀行キャッシュコーナー	
自動販売機		
本部棟	レストラン	52
	パン販売	
	自動販売機	
中央図書館	コーヒーショップ	36
	銀行キャッシュコーナー	
平砂学生宿舎	食堂	180
	電化製品	
	理容	
	浴場	
	自動販売機	
追越学生宿舎	電化製品	
	美容	
	自動販売機	
一の矢学生宿舎	食品・日用品雑貨	
	電化製品	
	理容	
	シャワー室	
	自動販売機	

(5) 奨学生数

ア 日本学生支援機構奨学生

(ア) 学群

(平成29年3月1日現在)

学群 ・ 学類		学生数	第一種	第二種	併用	計	比率 (%)
人文・文 化学群	人文学類	527	74	57	15	146	27.7
	比較文化学類	362	59	41	12	112	30.9
	日本語・日本語文化学類	182	25	25	5	55	30.2
	小計	1,071	158	123	32	313	29.2
社会・国 際学群	社会学類	389	33	40	8	81	20.8
	国際総合学類	385	54	48	11	113	29.4
	小計	774	87	88	19	194	25.1
人間学群	教育学類	156	24	15	5	44	28.2
	心理学類	216	30	21	5	56	25.9
	障害科学類	144	24	16	4	44	30.6
	小計	516	78	52	14	144	27.9
生命環境 学群	生物学類	346	30	37	11	78	22.5
	生物資源学類	537	66	41	10	117	21.8
	地球学類	222	18	34	5	57	25.7
	小計	1,105	114	112	26	252	22.8
理工学群	数学類	175	27	20	6	53	30.3
	物理学類	262	34	26	13	73	27.9
	化学類	208	29	22	5	56	26.9
	応用理工学類	538	75	49	14	138	25.7
	工学システム学類	565	67	57	15	139	24.6
	社会工学類	526	64	74	16	154	29.3
小計	2,274	296	248	69	613	27.0	
情報学群	情報科学類	389	58	32	14	104	26.7
	情報メディア創成学類	255	31	19	6	56	22.0
	知識情報・図書館学類	461	61	54	12	127	27.5
	小計	1,105	150	105	32	287	26.0
医学群	医学類	759	51	72	20	143	18.8
	看護学類	310	47	34	12	93	30.0
	医療科学類	160	29	16	1	46	28.8
	小計	1,229	127	122	33	282	22.9
体育専門学群	1,038	160	191	63	414	39.9	
芸術専門学群	462	81	67	12	160	34.6	
合 計	9,574	1,251	1,108	300	2,659	27.8	

(注) 1. 学生数は、外国人留学生を除いた数である。

2. 平成28年度の貸与月額は、次のとおりである。

第一種（自宅外通学） 51,000円, 30,000円からの選択制

第一種（自宅通学） 45,000円, 30,000円からの選択制

第二種 30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円, 120,000円からの選択制

(イ) 大学院

(平成29年3月1日現在)

課程・研究科	学生数	奨学生数				比率 (%)	
		第一種	第二種	併用	計		
(修士・博士前期・一貫制修士相当)	教育研究科	183	45	7	2	54	29.5
	人文社会科学研究科	139	46	6	0	52	37.4
	ビジネス科学研究科	352	2	8	4	14	4.0
	数理物質科学研究科	499	211	19	8	238	47.7
	システム情報工学研究科	742	313	20	25	358	48.2
	生命環境科学研究科	456	155	8	4	167	36.6
	人間総合科学研究科	864	250	17	27	294	34.0
	図書館情報メディア研究科	95	24	5	5	34	35.8
	グローバル教育院	14	0	0	0	0	0.0
	小計	3,344	1,046	90	75	1,211	36.2
(一貫制博士相当・博士課程・博士後期・医学)	人文社会科学研究科	186	31	5	2	38	20.4
	ビジネス科学研究科	128	0	0	0	0	0.0
	数理物質科学研究科	163	51	0	0	51	31.3
	システム情報工学研究科	156	22	0	4	26	16.7
	生命環境科学研究科	223	42	0	3	45	20.2
	人間総合科学研究科	845	115	2	8	125	14.8
	図書館情報メディア研究科	70	8	1	3	12	17.1
	グローバル教育院	29	0	0	0	0	0.0
	小計	1,800	269	8	20	297	16.5
合計	5,144	1,315	98	95	1,508	29.3	

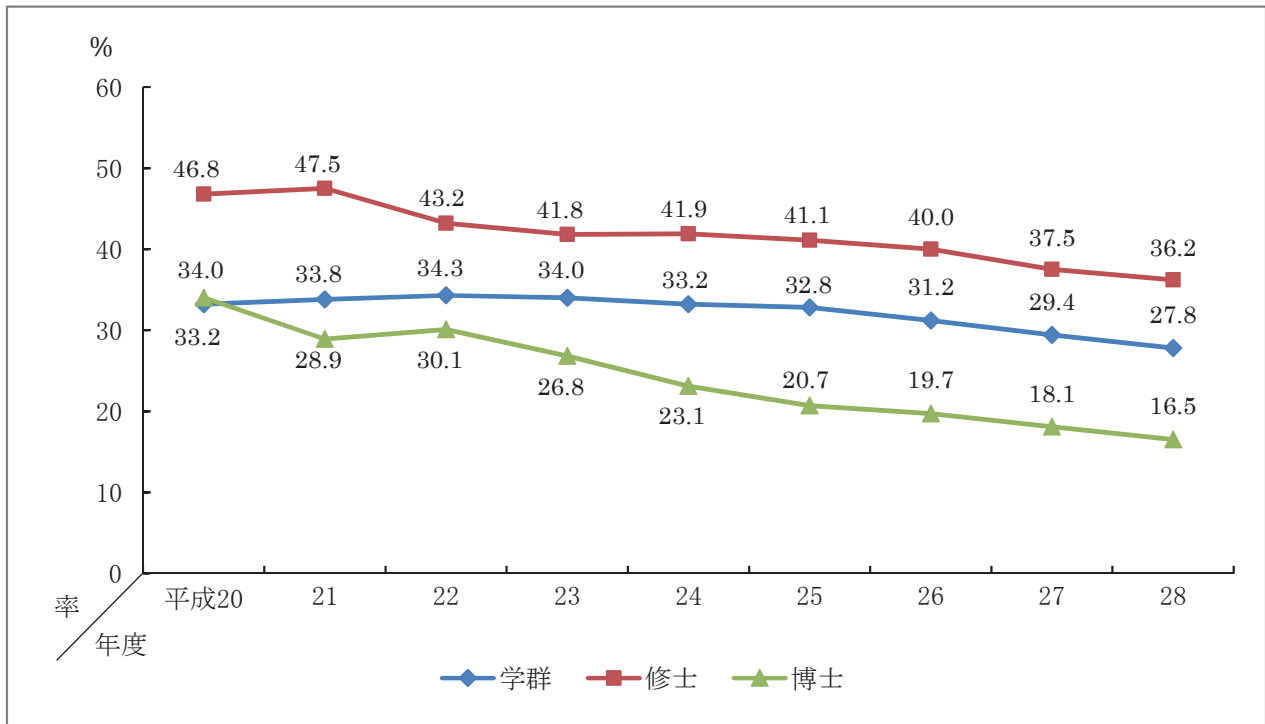
(注) 1. 学生数は、外国人留学生を除いた数である。

2. 専門職学位課程は、修士課程に含む。

3. 平成28年度の貸与月額は、次のとおりである。

第一種 (修士課程・博士前期課程)	1・2年	50,000円・88,000円からの選択制
第一種 (一貫制博士課程)	1・2年	50,000円・88,000円からの選択制
第一種 (一貫制博士課程)	3～5年	80,000円・122,000円からの選択制
第一種 (博士後期課程・博士医学課程)	1～4年	80,000円・122,000円からの選択制
第二種		50,000円, 80,000円, 100,000円, 130,000円, 150,000円からの選択制

(ウ) 奨学生比率の推移



イ 地方公共団体・民間育英団体奨学生

(平成29年3月1日現在)

奨学団体	学 群						大 学 院						合 計	
	給 与		貸 与		小 計		給 与		貸 与		小 計			
	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数
地方公共団体	1	1	14	23	15	24	0	0	0	0	0	0	15	24
民間育英団体	32	76	6	15	38	91	25	70	6	9	31	79	69	170
合 計	33	77	20	38	53	115	25	70	6	9	31	79	84	194

(6) アルバイト

職 種	求人件数
家庭教師	41
塾講師	99
語学教師	4
一 般	872
合 計	1,016

平成28年6月1日現在

(7) 学生団体数及び加入者数

* ()内は前年同月の数

系別	課外活動団体		一般学生団体		計	
	団体数	加入者数	団体数	加入者数	団体数	加入者数
文化系	37 (41)	1,462 (1,497)	50 (50)	1,254 (1,215)	87 (91)	2,716 (2,712)
体育系	75 (77)	3,323 (3,221)	34 (33)	1,951 (1,882)	109 (110)	5,274 (5,103)
芸術系	33 (33)	1,523 (1,704)	10 (9)	270 (208)	43 (42)	1,793 (1,912)
合 計	145 (151)	6,308 (6,422)	94 (92)	3,475 (3,305)	239 (243)	9,783 (9,727)

- (注) 1. 課外活動団体：学長が認定した学生団体のうち、援助・育成に値するもの
2. 一般学生団体：学長が認定した学生団体のうち、課外活動団体以外のもの

(8) 課外活動団体の主な成績

【文化系】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
アマチュア無線クラブ	第58回ALLJAコンテスト	JRIZTT	5位	XMA部門
	第28回電信電話記念日コンテスト	JRIZTT	2位	GCMA部門
E. S. S.	Japan National Debate Tournament	山川・福田	優勝	ディベート
		山川遼	個人1位	
	NAFA褒章	団体	2位	ディベート
	NAFA九州	山川・片山	優勝	ディベート
		飯田祐大	個人1位	
	ホールマン杯	黒江京香	1位	スピーチ
	Starter Cup	北栄麻弥	1位	スピーチ
All Hallow's Cup	杉山周	1位	スピーチ	
囲碁部	平成28年度春季関東学生囲碁団体戦	団体	3部昇格	
歌留多部	第102回全国職域学生かるた大会	団体	3位	B級
	第4回全日本団体選手権プレミアムトーナメント戦	団体	3位	
	第1回全国競技かるた福島大会	手塚亮太	準優勝	A級
斬桐舞	かみす舞っちゃげ祭り	団体	準大賞	
	東京よさこい	団体	敢闘賞	
将棋部	関東大学将棋連盟 春季団体戦	団体	6位	B1級
	関東大学将棋連盟 秋季団体戦	団体	7位	B1級
つくば鳥人間の会	第39回鳥人間コンテスト	団体	3位	タイムトライアル部門

【芸術系】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
吹奏楽団	第51回茨城県アンサンブルコンテスト	クラリネット 五重奏	金賞・朝日賞	
		金管六重奏	金賞	
津軽三味線倶楽部 無絃塾	日本民謡協会全国大会 内閣総理大臣賞争奪戦	旧節	優秀賞	
THK 筑波放送協会	第33回NHK全国大学放送コンテスト	団体	文部科学大臣賞	
		団体	1位、2位	音声CM部門
ViCC-映画をつくる会-	米子映画事変第6回3分映画宴	森元諒	入選	
	試される映画祭SAPPORO International Students Short Film Festival	森元諒	入選	
舞踏研究会	第61回東部日本学生競技ダンス選手権大会 II部戦	我妻・鈴木	11位	ワルツ スローフォックストロット

【体育系・部会】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
合気道部	第54回全日本合気道演武大会	団体	参加	※順位は出ない
	第56回全国大学学生合気道演武大会	団体	参加	※順位は出ない
アイススケート部	第3回茨城県ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会	篤田直人	500m 1位 1000m 2位	
男子アイスホッケー部	関東国公立大学アイスホッケーリーグ戦	団体	優勝	
	平成28年度関東大学アイスホッケーリーグ戦	団体	3位	
オリエンテーリング部	2016年ジュニア世界オリエンテーリング選手権大会	山岸夏希	10位	ミドルディスタンス競技C
	第5回アジアオリエンテーリング選手権大会	山岸夏希	10位 スプリント競技W20E 8位 ミドルディスタンス競技W20E 3位 リレー競技 4位 スプリントリレー競技	
	2016年度日本学生オリエンテーリング選手権大会	山岸夏季	2位	ロングディスタンス競技WE
		田中基成	2位	ロングディスタンス競技MUL
		前畑健人	2位	ロングディスタンス競技MUS
		増澤すず	5位	ロングディスタンス競技WF
	第9回全日本スプリントオリエンテーリング大会	楠健志	1位	M20A
山岸夏季		3位	WE	
弓道部	第40回全日本学生弓道女子王座決定戦	女子団体	ベスト8	
	第24回関東学生弓道選手権大会春季トーナメント決勝大会	男子団体	ベスト8	
	第48回関東学生弓道選手権大会北関東ブロック決勝大会	女子団体	優勝	
剣道部	第55回全日本女子剣道選手権大会	大西ななみ	準優勝	
	第50回全日本女子学生剣道選手権大会	木宮凜々子	準優勝	
	第64回全日本学生剣道優勝大会	男子団体	3位	
	第62回関東学生剣道選手権大会	加納彰大	準優勝	
	第17回関東女子学生剣道新人戦大会	団体	3位	
硬式庭球部	全日本学生室内テニス選手権大会	米原・森崎	優勝	女子ダブルス
		牛里里咲	ベスト4	女子シングルス
	全日本学生テニス選手権大会	米原・森崎	準優勝	女子ダブルス
	全日本大学対抗テニス王座決定試合	女子団体	準優勝	
	関東学生テニス選手権大会	米原・森崎	準優勝	女子ダブルス
硬式野球部	平成28年首都大学野球連盟春季リーグ戦	団体	2位	
	第65回関東甲信越大学体育大会	団体	準優勝	
サイクリング部	2017年トラックアジア自転車競技選手権大会	梶原悠未	1位	オムニアム、ポイントレース
	ワールドカップ	梶原悠未	4位	オムニアム
	全日本学生選手権個人ロードレース大会	梶原悠未	女子優勝	
	第52回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	梶原悠未	優勝	IP予選(日本記録)、500mTT、PR・IP

サイクリング部	ツールドつくば	関根将吾	優勝	Aクラス
		梶原悠未	女子優勝	
	RCS第5戦 WANGANサイクルフェスティバル湾岸クリテリウム	梶原悠未	女子優勝	
蹴球部	第65回全日本大学サッカー選手権大会	団体	優勝	
	JR東日本カップ2016 第90回関東大学サッカーリーグ戦	団体	1部2位	
	第19回茨城県サッカー選手権大会兼第96回天皇杯全日本サッカー選手権大会茨城県代表決定戦	団体	優勝	
女子サッカー部	第30回関東大学女子サッカーリーグ戦	団体	2部2位	1部昇格
	第24回全国大学女子サッカーつくばフェスティバル	団体	優勝	一般リーグ*
柔道部	ロシアジュニア国際柔道大会	田川兼三	優勝	66kg級
	アジア柔道選手権大会	田川兼三	優勝	66kg級
	グランドスラム・チュメニ大会	能智亜衣美	優勝	63kg級
	グランプリ・ウランバートル大会	内尾真子	優勝	52kg級
	ヨーロッパオープン・ソフィア大会	内尾真子	優勝	52kg級
	全日本学生柔道優勝大会	男子団体	3位	
		女子団体	ベスト8	
	全日本選抜柔道体重別選手権大会	能智亜衣美	優勝	63kg級
	全日本学生柔道体重別選手権大会	田川兼三	優勝	66kg級
		竹内信康	優勝	73kg級
		津金恵	優勝	63kg級
	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	佐々木健志	優勝	81kg級
講道館杯全日本柔道体重別選手権大会	能智亜衣美	優勝	63kg級	
全国国立大学柔道優勝大会	男子団体	優勝		
準硬式野球部	東都大学準硬式野球秋季リーグ戦	団体	2部2位	
水泳部	第10回アジア水泳選手権大会	大久保柊	2位	男子高飛込シクロ
	第92回日本学生選手権水泳競技大会	榎本遼香	優勝	女子高飛込
		男子	総合2位	水球競技
	第92回日本選手権水泳競技大会飛込競技	榎本遼香	優勝	女子1m飛板飛込
	第71回国民体育大会水泳競技大会飛込競技	榎本遼香	優勝	成年女子高飛込
	第63回全国国公立大学選手権大会水泳競技大会	男子	優勝	
		女子	優勝	
第89回関東学生選手権水泳競技大会	男子	2部総合優勝		
	女子	1部総合優勝		
2016年度関東学生水球リーグ	男子	総合2位		
スキー部	日本国公立大学スキー選手権大会	伊藤あずさ	4位	大回転 スーパー大回転
漕艇部	第38回全日本軽量級選手権大会	小原・木村	3位	女子ダブルスカル
	第69回朝日レガッタ	小原・木村	2位	女子ダブルスカル
	第39回東日本新人選手権大会	柴田・棚橋	優勝	女子ダブルスカル
男子ソフトボール部	関東学生男子ソフトボール春季リーグ戦	団体	2部3位	

女子ソフトボール部	関東学生女子ソフトボール春季リーグ戦	団体	3部優勝	
体操部	第12回世界ラート競技選手権大会	田村元延	2位 1位	男子個人総合 跳躍
	第12回全日本学生ラート競技選手権大会	森本修多	5位 1位	男子個人総合 直転
		瓜兼汐里	2位 1位	女子個人総合 跳躍
		渡辺理沙	3位 2位	女子個人総合 直転
		団体	2位	
	第22回全日本ラート競技選手権大会	松浦佑希	2位 1位	女子個人総合 斜転、跳躍
田村元延		2位	跳躍	
体操競技部	第70回全日本学生体操競技選手権大会	男子	3位	団体総合
		女子	2位	団体総合
		井上和佳奈	4位	女子個人総合
		宮地秀享	5位	男子個人総合
	第49回東日本学生体操競技選手権大会	男子団体 女子団体 吉田和輝	総合5位 総合2位 1位	鉄棒
	第65回関東甲信越大学体育大会	男子	1位	団体総合
		樋口和真	1位	男子個人
女子		2位	団体総合	
卓球部	第86回全日本大学総合卓球選手権大会	男子	3位	団体の部
	秋季関東学生卓球リーグ戦	男子	1部4位	
		女子	2部3位	
	関東学生卓球新人選手権大会	田口瑛美子	準優勝	女子シングルス
ダンス部	第29回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)	団体	文部科学大臣賞	2年連続
	アーティスティックムーブメント・イン・トヤマ2016	worningers	松本千代栄賞	
		アウイナイト	審査員賞	
トライアスロン部	2016関東学生トライアスロン選手権那須塩原大会	女子	3位	団体
	日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会	宮崎集	4位	女子
軟式庭球部	関東学生ソフトテニス秋季リーグ	男子	3部3位	
	第65回関東甲信越大学体育大会	女子団体 男子団体 稲葉・三森	優勝 3位 優勝	男子個人戦
馬術部	関東学生馬術争覇戦	団体	8位	三種総合
	北関東学生馬術大会	団体	総合優勝	8連覇
男子バスケットボール部	第68回全日本大学バスケットボール選手権大会	団体 杉浦佑成 馬場雄大 生原秀将	優勝 最優秀選手賞 優秀選手賞 優秀選手賞	3連覇
	第65回関東大学バスケットボール選手権大会	団体	優勝	
	第92回関東大学バスケットボールリーグ戦	団体	優勝	

女子バスケットボール部	第68回全日本大学バスケットボール選手権大会	団体	7位	
	第66回関東大学女子バスケットボールリーグ戦	団体	1部5位	
バドミントン部	Vietnam International Challenge2016	柏原・加藤	ベスト8	女子ダブルス
	Thailand Open 2016	柏原・加藤	3位	女子ダブルス
	第67回全日本学生バドミントン選手権大会	女子団体 大久保敦美	優勝 3位	3連覇 女子シングルス
	2016年日本ランキングサーキット大会	柏原・加藤	3位	女子ダブルス
	第6回全日本教育系学生バドミントン大会	馬場湧生 牧野・馬場 柏原・加藤	優勝 優勝 優勝	男子シングルス 男子ダブルス 女子ダブルス
	第1回日本障がい者バドミントン選手権大会	藤原大輔	優勝	男子シングルス
	第59回東日本学生選手権大会	女子団体	優勝	
	関東大学バドミントン春季リーグ戦	女子団体	1部優勝	
	関東大学バドミントン秋季リーグ戦	女子団体	1部優勝	
		男子団体	2部優勝	
男子バレーボール部	第35回東日本大学バレーボール選手権大会	団体	ベスト8	
	平成28年度関東大学バレーボール春季リーグ戦	団体	1部優勝	
女子バレーボール部	秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会	団体	準優勝	
	第35回東日本大学バレーボール選手権大会	団体	準優勝	
	平成28年度関東大学バレーボール春季リーグ戦	団体	1部優勝	
	平成28年度秋季関東大学バレーボール秋季リーグ戦	団体	1部優勝	
男子ハンドボール部	平成28年全日本学生ハンドボール選手権大会	団体	ベスト8	
	関東学生ハンドボール秋季リーグ戦	団体 徳田新之助	優勝 最優秀選手賞	
女子ハンドボール部	平成28年全日本学生ハンドボール選手権大会	団体	3位	
	関東学生ハンドボール春季リーグ戦	団体	2位	
	関東学生ハンドボール秋季リーグ戦	団体	2位	
フィールドホッケー部	関東学生ホッケー春季リーグ戦	団体	3部4位	
	関東学生ホッケー秋季リーグ戦	団体	3部4位	
ヨット部	平成28年秋季関東学生ヨット選手権大会	団体	14位	
ライフセービング部	第29回全日本ライフセービングプール競技選手権大会	有賀・笹森・姫野 有水理菜	6位 4位	SERC 女子ライセンス
ラグビー部	平成28年度関東大学春季大会	団体	5位	グループA
	2016年度関東大学対抗戦	団体	5位	Aリーグ
	第38回関東大学ジュニア選手権大会	団体	2位	カテコリー2
女子ラクロス部	第29回関東学生ラクロスリーグ戦	団体	3部3位	Bブロック
	国立大学対抗戦	団体	3位	

陸上競技部	U20世界陸上競技選手権大会	平松祐司 山下潤	6位 8位	男子走高跳 200m
	第17回アジアジュニア陸上競技選手権大会	関口清乃	4位	女子ハンマー投
	Virrt star games(ヨーロッパ転戦)	森下大地	2位	男子砲丸投
	Flanders cup meeting-Memorial Rasschaert	森下大地	2位	男子砲丸投
	天皇賜杯第85回日本学生陸上競技対抗選手権大会	男子 女子	総合8位 総合2位	
	第100回日本陸上競技選手権大会	久家俊希	男子ジュニア 1位	混成競技
	第32回日本ジュニア陸上競技選手権大会	山下潤 平松祐司 関口清乃 剣持クリア 佐々木天 半田水晶	1位 1位 1位 2位 3位 3位	男子200m 三段跳 女子ハンマー投 女子三段跳 女子100m 女子円盤投

【体育系・同好会】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
剣道同好会	第65回関東甲信越大学体育大会	井上壮大 志津友幸	3位 ベスト8	男子個人 男子個人
サッカー同好会	スポーツマネジメント グラムチャンピオンシップ	Aチーム	優勝	
	スポーツマネジメント フレッシュマンズカップ	Aチーム	準優勝	
トランポリン同好会	第24回イーストジャパントランポリンフェスタ	石井・上原	1位	シクホイストCクラス
バスケットボール同好会	茨城県社会人大会	団体	4部3位	男子
バドミントン同好会	第2回UBFオープン戦	小関・谷口 島袋・藤田	1位 1位	女子1部① 女子1部③
	第36回UBFシングルス大会	島袋智尋	2位	女子Aランク
	第37回UBFダブルス大会	横山・猪股	1位	女子Bランク
バレーボール同好会	秋季理工系リーグ	団体	3部優勝	2部昇格
バドミントン同好会	関東バドミントン同好会秋季リーグ	団体	2部4位	
医学アイスホッケー部	第59回東日本医科学生総合体育大会	団体	優勝	
	関東医科歯科リーグ有山杯	団体	優勝	
医学弓道部	第35回関東医学部予科学生弓道大会	団体	準優勝	
	第12回花弓大会	団体 寶木彩百合 沼田幸樹	準優勝 準優勝 射技優秀賞	
医学剣道部	春季関東医科系大学剣道大会	江平桃子	ベスト8	女子個人
	秋季関東医科系大学剣道大会	Aチーム Bチーム	ベスト8	
	看護学生交流剣道大会	櫻井玲奈	準優勝	
医学硬式庭球部	関東医科歯科リーグ春季団体戦	男子 女子	1部2位 2部2位	
医学ゴルフ部	全日本医科大学ゴルフ連盟秋季連盟戦	男子	Aリーグ6位	
医学サッカー部	関東医歯薬獣大学サッカー春季リーグ	団体	1部優勝	
	東日本国公立医科学生サッカー大会	団体	準優勝	
医学準硬式野球部	第59回東日本医科学生総合体育大会	団体	ベスト8	
	北関東大学準硬式野球連盟秋季リーグ	団体	準優勝	

医学水泳部	第59回東日本医科学生総合体育大会	阿部祥子	1位	女子50m背泳ぎ 女子100m背泳ぎ
	東日本医歯薬看護学生水泳協議会	阿部祥子	1位	女子200m自由形
	東日本理工科系大学選手権	山下雄大	1位	男子100m平泳ぎ 男子200m平泳ぎ (大会新)
	第65回関東甲信越大学体育大会	男子 女子	総合1位 総合3位	
医学スキー部	第59回東日本医科学生総合体育大会	寺門咲歩	1位	大回転 スーパー大回転
	関東中部国公立十大学医学部対抗スキー大会	寺門咲歩	個人総合1位	女子
医学卓球部	第59回東日本医科学生総合体育大会	男子団体	準優勝	
	秋季関東医科学生卓球大会	男子団体	優勝	
		女子団体	4位	
医学バスケットボール部	関東医歯薬科大学女子バスケットボール大会	団体	4位	
医学バドミントン部	関東医科リーグ	男子団体	準優勝	1部
	北関東医科リーグ	男子団体	優勝	
医学バレーボール部	関東医科リーグ 春季	団体	ベスト8	
	関東医科リーグ 秋季	団体	ベスト8	
	関東医歯薬リーグ	団体	2部3位	
医学ハンドボール部	関東医歯薬獣系大学春季大会	男子部	3位	
	関東医歯薬獣系大学秋季大会	女子部	4位	
医学ヨット部	第59回東日本医科学生総合体育大会	団体	4位	
	北日本医科学生総合体育大会	団体	1位	
医学ラグビー部	第63回関東医歯薬大学ラグビーリーグ	団体	優勝	1部リーグ
医学陸上競技部	第59回東日本医科学生総合体育大会	男子	総合2位	
		女子	総合優勝	
	第70回全関東医歯薬獣医科大学対抗陸上競技大会	男子	総合優勝	
		女子	総合優勝	
	第33回関東医科大学対抗陸上競技大会	男子	総合優勝	
		女子	総合優勝	

(9) 就職等

ア 国家試験等

(ア) 医師国家試験

第111回医師国家試験

試験日	平成29年2月11日(土)～13日(月)
受験者数	114名
合格者数	112名
合格率(%)	98.2%

[過去5年の合格率の推移]

第107回	第108回	第109回	第110回	第111回
96.3%	99.0%	96.2%	94.1%	98.2%

(イ) 司法試験

年度	受験者	短答式筆記試験合格者	最終合格者	合格率(%)
28	70	35	5	7.1%

(ウ) 国家公務員採用総合職試験

平成28年度試験結果				
試験区分		志願者数	一次合格者数	最終合格者数
行政	院卒	10 (4)	4 (1)	1 (1)
政治・国際	大卒	16 (12)	3 (2)	0
法律	大卒	46 (22)	5 (2)	3 (2)
経済	大卒	18 (9)	5 (3)	4 (3)
人間科学	院卒	12 (5)	9 (4)	4 (2)
	大卒	5 (4)	1 (1)	1 (1)
工学	院卒	16 (3)	12 (3)	5 (1)
	大卒	19 (3)	4 (2)	2 (2)
数理学・物理・地球科学	院卒	10 (1)	4 (0)	1 (0)
	大卒	8 (3)	2 (1)	1 (1)
化学・生物・薬学	院卒	8 (4)	2 (1)	1 (0)
	大卒	7 (2)	1 (0)	0
農業科学・水産	院卒	7 (3)	3 (2)	2 (1)
	大卒	11 (5)	3 (1)	2 (1)
農業農村工学	院卒	3 (2)	1 (0)	1 (0)
	大卒	0	0	0
森林・自然環境	院卒	4 (3)	2 (1)	2 (1)
	大卒	9 (4)	1 (0)	1 (0)
合計		209 (89)	62 (24)	31 (16)
合格率			29.7%	14.8%

前年度試験結果				
試験区分		志願者数	一次合格者数	最終合格者数
行政	院卒	12 (5)	1	0
政治・国際	大卒	15 (8)	4 (1)	0
法律	大卒	43 (17)	3 (1)	0
経済	大卒	13 (1)	6 (1)	3 (1)
人間科学	院卒	9 (5)	5 (4)	5 (4)
	大卒	12 (8)	1	1
工学	院卒	21	10	6
	大卒	17 (1)	3	2
数理学・物理・地球科学	院卒	9 (2)	2	0
	大卒	4 (1)	2 (1)	2 (1)
化学・生物・薬学	院卒	14 (10)	0	0
	大卒	7 (5)	1 (1)	0
農業科学・水産	院卒	5 (1)	2	0
	大卒	5 (4)	2 (1)	0
農業農村工学	院卒	1	1	0
	大卒	1 (1)	0	0
森林・自然環境	院卒	5 (2)	2 (1)	2 (1)
	大卒	7 (6)	1	1
合計		200 (77)	46 (11)	22 (7)
合格率			23.0%	11.0%

注) 人事院からの資料に基づき集計したもので、既卒者を含み、()内は女子を内数で示す。

[過去5年の合格状況の推移]

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
志願者数	245	193	196	200	209
合格者数	7	17	18	22	31

(エ) 地方公務員上級採用試験

都道府県	受験者	合格者	都道府県	受験者	合格者
北海道	不開示	不開示	山口県	4	1
青森県	2	0	徳島県	不開示	不開示
岩手県	6	1	香川県	不開示	不開示
宮城県	5	0	愛媛県	不開示	不開示
秋田県	3	1	高知県	0	0
山形県	0	0	福岡県	8	3
福島県	7	2	佐賀県	1	1
茨城県	93	22	長崎県	0	0
栃木県	16	4	熊本県	2	0
群馬県	13	4	大分県	4	2
埼玉県	不開示	不開示	宮崎県	2	1
千葉県	不開示	不開示	鹿児島県	4	1
東京都	不開示	不開示	沖縄県	不明	3
神奈川県	15	4	札幌市	3	1
新潟県	不開示	不開示	仙台市	4	0
富山県	2	0	さいたま市	不開示	1
石川県	1	1	千葉市	6	1
福井県	2	0	特別区	不開示	不開示
山梨県	不開示	不開示	横浜市	16	6
長野県	不開示	不開示	川崎市	7	4
静岡県	12	6	相模原市	4	1
愛知県	1	0	新潟市	不開示	不開示
岐阜県	不開示	不開示	静岡市	5	2
三重県	1	0	浜松市	1	0
滋賀県	不明	0	名古屋市	不開示	不開示
京都府	1	0	京都市	2	0
大阪府	3	2	大阪市	不明	不明
兵庫県	3	0	堺市	不開示	不開示
奈良県	1	0	神戸市	3	2
和歌山県	2	0	岡山市	0	0
鳥取県	3	2	広島市	不開示	不開示
島根県	不開示	不開示	北九州市	2	0
岡山県	不開示	不開示	福岡市	2	0
広島県	不開示	不開示	熊本市	不開示	不開示
			合計	272	79
			昨年度	259	116

- 注) 1. 重複受験者及び重複合格者を含む。
2. 各都道府県市人事委員会への照会を集計したものである。
3. 既卒者を含む。

〔過去5年の合格者数の推移〕

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
189	107	120	116	79

(オ) 公立学校教員採用試験

都道府県	受験者	合格者	都道府県	受験者	合格者
北海道	5	0	山口県	7	1
青森県	8	0	徳島県	5	1
岩手県	6	1	香川県	15	0
宮城県	9	2	愛媛県	3	1
秋田県	14	1	高知県	1	0
山形県	不開示	不開示	福岡県	14	3
福島県	不開示	不開示	佐賀県	0	0
茨城県	111	37	長崎県	9	3
栃木県	32	12	熊本県	10	2
群馬県	36	9	大分県	8	2
埼玉県	41	15	宮崎県	12	2
千葉県	68	18	鹿児島県	9	2
東京都	142	25	沖縄県	19	3
神奈川県	48	11	札幌市	0	0
新潟県	不開示	不開示	仙台市	宮城県と共通	宮城県と共通
富山県	12	5	さいたま市	1	1
石川県	不開示	不開示	千葉市	千葉県と共通	千葉県と共通
福井県	12	5	横浜市	10	1
山梨県	9	2	川崎市	1	0
長野県	15	5	相模原市	1	0
静岡県	20	7	新潟市	0	0
愛知県	不開示	不開示	静岡市	1	0
岐阜県	13	5	浜松市	1	1
三重県	7	1	名古屋市	1	1
滋賀県	8	2	京都市	3	1
京都府	11	1	大阪市	1	0
大阪府	不明	不明	堺市	1	1
兵庫県	11	3	神戸市	5	0
奈良県	6	1	岡山市	2	0
和歌山県	5	0	広島市	広島県と共通	広島県と共通
鳥取県	5	1	北九州市	1	0
島根県	不開示	不開示	福岡市	不開示	不開示
岡山県	11	1	大阪府豊能地区	1	1
広島県	9	2	熊本市	3	0
合計				819	199
昨年度				824	215

- 注) 1. 重複受験者及び重複合格者を含む。
 2. 各都道府県市教育委員会への照会を集計したものである。
 3. 既卒者を含む。

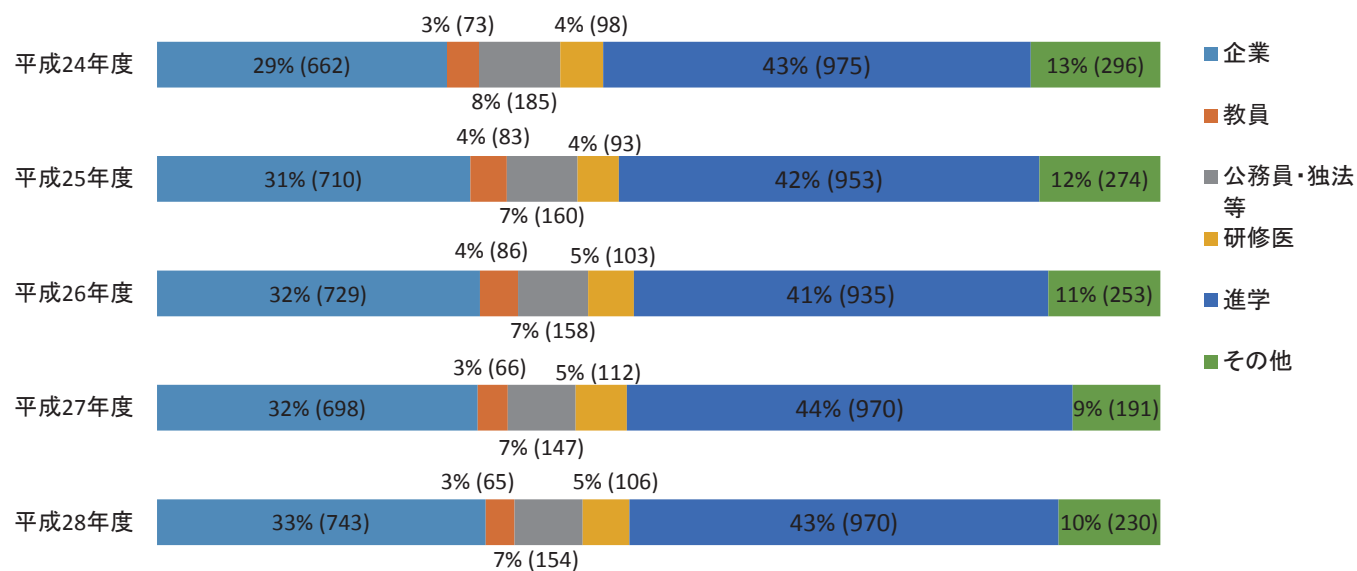
〔過去5年の合格者数の推移〕

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
261	273	227	215	199

イ 就職

(ア)学 群

① 進路(就職)の推移



② 平成28年度学群・学類卒業生進路状況

(平成29年5月1日現在)

学群・学類	卒業生	進学者	就職者	就職者の内訳					その他		
				企業	教員	公務員	独法等	研修医	研究生等・留学	資格・試験等準備 他	
人文・文化学群	人文学類	115 (61)	34 (19)	60 (33)	43 (25)	2 (2)	9 (4)	6 (2)		1 (1)	20 (8)
	比較文化学類	85 (56)	12 (3)	57 (40)	47 (32)	1 (1)	8 (6)	1 (1)			16 (13)
	日本語・日本文学類	40 (30)	7 (4)	30 (24)	20 (18)	6 (2)	1 (1)	3 (3)			3 (2)
社会学群・国際	社会学類	115 (41) [6] (1)	16 (4) [4]	84 (30)	53 (18)	1	26 (9)	4 (3)			15 (7) [2] (1)
	国際総合学類	93 (61) [8] (7)	14 (9) [1]	65 (41) [2] (2)	55 (33) [2] (2)	2 (2)	8 (6)				14 (11) [5] (5)
人間学群	教育学類	36 (17)	8 (3)	18 (9)	5 (2)	4 (2)	6 (4)	3 (1)		1 (1)	9 (4)
	心理学類	49 (21) [1]	15 (7) [1]	26 (11)	22 (10)	1 (1)	3				8 (3)
	障害科学類	34 (26)	10 (7)	21 (17)	11 (10)	3 (1)	5 (4)	2 (2)			3 (2)
生命環境学群	生物学類	89 (40) [3] (3)	60 (26)	23 (10) [1] (1)	20 (9) [1] (1)	1	2 (1)				6 (4) [2] (2)
	生物資源学類	149 (76) [11] (8)	103 (49) [9] (7)	36 (22)	27 (17)	2 (2)	7 (3)				10 (5) [2] (1)
	地球学類	57 (16) [3] (2)	39 (9)	11 (5) [2] (2)	10 (5) [2] (2)		1			1	6 (2) [1]
理工学群	数学類	44 (5) [2]	31 (1) [2]	11 (3)	6 (1)	5 (2)					2 (1)
	物理学類	61 (8) [2]	44 (4) [1]	13 (2) [1]	12 (2) [1]	1				1 (1)	3 (1)
	化学類	49 (14) [1]	40 (9)	5 (4)	2 (1)	3 (3)					4 (1) [1]
	応用理工学類	146 (15) [8] (1)	119 (11) [6]	14 (3)	12 (2)		2 (1)			1	12 (1) [2] (1)
	工学システム学類	134 (10) [3]	118 (8) [3]	15 (1)	12 (1)		2	1			1 (1)
	社会工学類	133 (23) [5] (1)	55 (6) [2] (1)	67 (16) [2]	58 (15) [2]		8 (1)	1			11 (1) [1]
情報学群	情報科学類	93 (6) [2]	70 (4) [1]	19 (1) [1]	18 (1) [1]		1				4 (1)
	情報メディア創成学類	61 (18) [1]	39 (8) [1]	20 (10)	20 (10)						2
	知識情報・図書館学類	115 (61)	24 (10)	80 (48)	56 (30)		20 (15)	4 (3)		1	10 (3)
医学群	医学類	107 (48)		106 (48)					106 (48)		1
	看護学類	81 (76)	6 (6)	74 (69)	65 (60)	2 (2)	7 (7)				1 (1)
	医療科学類	35 (30) [2] (1)	21 (17) [2] (1)	13 (12)	12 (11)		1 (1)				1 (1)
体育専門学群	249 (71)	53 (13)	154 (48)	115 (35)	29 (11)	10 (2)				1	41 (10)
芸術専門学群	98 (87)	32 (27)	46 (43)	42 (39)	2 (2)	1 (1)	1 (1)				20 (17)
学群合計	2,268 (917) [58] (24)	970 (264) [33] (9)	1,068 (550) [9] (5)	743 (387) [9] (5)	65 (33)	128 (66)	26 (16)	106 (48)	7 (3)	223 (100) [16] (10)	

(注) ()内は、女子を内数で示す
[]は、留学生を内数で示す
< >は留学生のうち女子を内数で示す

平成27年度卒業生

学群合計	2,184 (869) [56] (22)	970 (289) [36] (14)	1,023 (487) [5] (2)	698 (331) [5] (2)	66 (39)	136 (74)	11 (8)	112 (35)	11 (5)	180 (88) [15] (6)
------	--------------------------	------------------------	------------------------	----------------------	---------	----------	--------	----------	--------	----------------------

③ 産業分類別進路状況 (学群)

(平成29年5月1日現在)

学群・学類	企業 (自営業を含む)													小計	教員	公務員					合計	平成27年度最終 (同期)
	農業	林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・飲食店	金融・保険業	物品貸借業	不動産業			サービス業	分類不能産業	(国家公務員 国大法除)	独立行政法人等	地方公務員		
人文・文化学群	人文学類					2 (1)	12 (5)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	8 (5)	2 (1)	14 (8)	43 (25)	2 (2)	1	6 (2)	8 (4)	15 (6)	60 (33)	81 (39)	
	比較文化学類						14 (7)			4 (1)	2 (2)	4 (3)	2 (2)	21 (17)	47 (32)	1 (1)		1 (1)	8 (6)	9 (7)	57 (40)	51 (38)
	日本語・日本文化学類					2 (2)	2 (2)			2 (2)	6 (5)	1 (1)	7 (6)	20 (18)	6 (2)		3 (3)	1 (1)	4 (4)	30 (24)	28 (24)	
社会学群	社会学類					3 (1)	11 (4)		3 (1)	1 (1)	12 (5)		23 (7)	53 (18)	1 (1)	8 (2)	4 (3)	18 (7)	30 (12)	84 (30)	63 (17)	
	国際総合学類					1 (1)	10 (8)	1 (1)	7 (4)	7 (7)	3 (1)	3 (3)	23 (11)	55 (33)	2 (2)	4 (3)		4 (3)	8 (6)	65 (41)	48 (27)	
人間学群	教育学類						1						4 (2)	5 (2)	4 (2)	2 (2)	3 (1)	4 (2)	9 (5)	18 (9)	13 (4)	
	心理学類						7 (2)			4 (2)	2 (2)		9 (4)	22 (10)	1 (1)	2		1	3 (1)	26 (11)	23 (16)	
	障害科学類									1 (1)	5 (5)		5 (4)	11 (10)	3 (1)		2 (2)	5 (4)	7 (6)	21 (17)	25 (17)	
生命環境学群	生物学類	1				1 (1)	5 (4)		2 (1)	4 (2)	3		4 (1)	20 (9)	1 (1)	2			2 (1)	23 (10)	13 (10)	
	生物資源学類	2 (1)					6 (4)			4 (4)	8 (5)	1 (1)	6 (2)	27 (17)	2 (2)	2 (1)		5 (2)	7 (3)	36 (22)	23 (14)	
	地球学類					1	2 (1)		2 (1)			1	4 (3)	10 (5)				1	1	11 (5)	15 (4)	
理工学群	数学類										1 (1)		5	6 (1)	5 (2)					11 (3)	13 (1)	
	物理学類						4 (2)					1	7	12 (2)	1					13 (2)	8 (1)	
	化学類					1					1 (1)			2 (1)	3 (3)					5 (4)	7 (2)	
	応用理工学類						2			2	1	2	5 (2)	12 (2)				2 (1)	2 (1)	14 (3)	13 (3)	
	工学システム学類						4			1	1	1	5 (1)	12 (1)			1	2	3 (1)	15 (1)	10 (1)	
	社会工学類					2 (1)	4 (1)	1	4 (1)	1 (1)	10 (2)	5 (1)	31 (8)	58 (15)			1 (1)	8 (1)	9 (1)	67 (16)	53 (12)	
情報学群	情報科学類						2				2		14 (1)	18 (1)				1	1	19 (1)	30 (2)	
	情報メディア創成学類						3 (2)				2 (1)		15 (7)	20 (10)						20 (10)	16 (6)	
	知識情報・図書館学類					1 (1)	9 (2)		4 (1)	2 (1)	2 (2)		38 (23)	56 (30)		1 (3)	4 (15)	19 (18)	24 (48)	80 (45)	75 (45)	
医学群	医学類																				1 (1)	
	看護学類												65 (60)	65 (60)	2 (2)			7 (7)	7 (7)	74 (69)	60 (57)	
	医療科学類						1 (1)						11 (10)	12 (11)			1 (1)	1 (1)	13 (12)	13 (10)	13 (10)	
体育専門学群					6 (1)	29 (8)	3 (1)	6 (1)	10 (4)	14 (4)	7	40 (16)	115 (35)	29 (11)			10 (2)	10 (2)	154 (48)	172 (48)		
芸術専門学群					2 (2)	7 (7)		6 (6)	7 (6)	3 (3)		17 (15)	42 (39)	2 (2)		1 (1)	1 (1)	2 (2)	46 (43)	57 (53)		
学群合計	3 (1)				22 (11)	135 (60)	6 (3)	42 (19)	50 (32)	86 (44)	26 (9)	373 (208)	743 (387)	65 (33)	22 (9)	26 (16)	106 (57)	154 (82)	962 (502)	911 (452)		
平成27年度最終 (同期)	2	1			13 (3)	140 (66)	5 (2)	39 (17)	51 (24)	92 (40)	21 (12)	334 (167)	698 (331)	66 (39)	22 (10)	11 (8)	114 (64)	147 (82)	911 (452)			

(注) () 内は女子を内数で示す

(イ) 大学院

① 平成28年度修了者の進路状況

(平成29年5月1日現在)

研究科	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳			研究員	その他		
				企業	教員	公務員		独法等	職務復帰	帰国
教 育	79 (27) [1] (1)	1	58 (20)	7 (2)	46 (15)	5 (3)		11 (3)	1 (1)	8 (3)
人 文 社 会 科 学 (修士課程)	39 (19) [33] (16)	7 (4) [6] (4)	9 (6) [5] (3)	8 (5) [5] (3)				8 (2) [8] (2)	13 (7) [13] (7)	2 [1]
人 文 社 会 科 学 (博士前期課程)	57 (38) [36] (27)	13 (6) [5] (2)	23 (15) [14] (11)	16 (12) [13] (10)	4 (2) [1] (1)	3 (1)		1 (1) [1] (1)	15 (12) [15] (12)	5 (4) [1] (1)
ビ ジ ネ ス 科 学 (博士前期課程)	57 (11)	4 (1)						51 (9)		2 (1)
ビ ジ ネ ス 科 学 (専門職学位課程)	31 (9) [1]							30 (9)	1 [1]	
数 理 物 質 科 学 (博士前期課程)	266 (33) [24] (3)	30 (1) [11]	224 (31) [8] (2)	198 (26) [8] (2)	11 (2)	10 (2)			5 (1) [5] (1)	7
シ ス テ ム 情 報 工 学 (博士前期課程)	455 (71) [102] (33)	35 (5) [11] (2)	379 (57) [67] (24)	371 (53) [66] (23)	2 (2) [1] (1)	4 (2)		3	23 (6) [23] (6)	1 [1]
生 命 環 境 科 学 (博士前期課程)	292 (119) [78] (35)	49 (9) [18] (5)	193 (93) [20] (14)	162 (84) [19] (13)	5 (1)	25 (8) [1] (1)		4 (1) [3] (1)	35 (13) [35] (13)	2 [1] (1)
人 間 総 合 科 学 (修士課程)	93 (51) [18] (13)	21 (9) [8] (5)	27 (13)	26 (12)		1 (1)		24 (15) [10] (8)	10 (8) [10] (8)	1 [1]
人 間 総 合 科 学 (博士前期課程)	359 (179) [51] (29)	66 (28) [8] (2)	160 (79) [12] (7)	117 (57) [11] (6)	28 (11) [1] (1)	11 (9)		51 (27) [29] (19)	29 (19) [29] (19)	51 (25) [2] (1)
図 書 情 報 学 (博士前期課程)	51 (21) [15] (11)	5 (2) [2] (2)	39 (16) [10] (8)	36 (14) [9] (7)	1 (1) [1] (1)	1 (1)		1 (1) [3] (1)	3 (1) [3] (1)	3 (1)
修 士 合 計	1,779 (578) [359] (168)	231 (65) [69] (22)	1,112 (330) [136] (69)	941 (265) [131] (64)	97 (34) [4] (4)	60 (26) [1] (1)		184 (68) [12] (4)	135 (68) [135] (68)	4 [6] (4)

(注) 1 ()内は女子を内数で示す

2 []は、留学生を内数で示す ()は留学生のうち女子を内数で示す

平成27年度修了者

修 士 合 計	1,735 (562) [302] (162)	199 (69) [67] (38)	1,088 (287) [98] (43)	919 (220) [97] (43)	99 (37)	62 (28)		197 (84) [9] (4)	116 (69) [116] (69)	7 (2)	123 (49) [10] (7)
---------	----------------------------	-----------------------	--------------------------	------------------------	---------	---------	--	---------------------	------------------------	-------	----------------------

研究科	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳				研究員	博士特別研究員	その他		
				企業	教員	公務員	独法等			職務復帰	帰国	研究生等・留学
人文社会科学 (一貫制博士課程)	13 (8) [5]		2 (2) [1]	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (3) [2]	2 (2) [1]	1 (1)	5 (3)		
人文社会科学 (博士後期課程)	7 (6) [3]		2 (2)	1 (1)	1 (1)	1	1		3 (3) [3]	1 (1)		
ビジネス科学 (博士後期課程)	5 (1)								5 (1)			
ビジネス科学 (専門職学位課程)	27 (6)								24 (5)	3 (1)		
数理解物質科学 (博士後期課程)	52 (6) [7]		15 (3)	10 (2)	3 (1)	1	14 (3) [2]	8	11 (1) [4]			
数理解物質科学 (3年制博士課程)	15 (6) [12]		1	1			12 (3) [10]		2 (2) [2]			
システム情報工学 (博士後期課程)	63 (9) [19]		19 (2) [5]	12 (2) [4]	1 (2)	6 (1) [1]	7 (1) [6]	5 (1) [1]	26 (3) [2]	2 (1) [1]		
生命環境科学 (一貫制博士課程)	5 (2) [1]		3	1	1	1		1 (1)	1 (1) [1]			
生命環境科学 (博士後期課程)	96 (30) [34]		21 (6) [2]	13 (2)	3 (2)	5 (2)	12 (5) [4]	6 (2) [6]	28 (7) [22]	6 (1)		
生命環境科学 (3年制博士課程)	5 (1) [2]								3			
人間総合科学 (一貫制博士課程)	57 (16) [8]		27 (6)	23 (4)	1 (1)	3	2	1 (1) [1]	15 (4) [7]	4 (2)		
人間総合科学 (博士後期課程)	64 (34) [9]		28 (12) [2]	8 (3)	17 (8) [1]	1 (1)	6 (2) [1]	9 (5) [5]	15 (9) [2]	4 (4)		
人間総合科学 (3年制博士課程)	26 (7) [3]		13 (4) [1]	3 (1)	8 (3)	2 (1)	2	3 (1) [1]	5 (1) [1]	2 (1)		
図書館情報メディア (博士後期課程)	5 (2)		2 (1)		2 (1)			1 (1)	2			
グローバル教育院 (一貫制博士課程)	10 (2) [5]		5 (1) [1]	4 (1)	1 (1)		5 (1) [4]					
博士合計	450 (135) [108]		138 (38) [12]	75 (15) [7]	39 (19) [1]	3 (1) [1]	61 (15) [26]	37 (14) [15]	136 (30) [5]	27 (14) [1]		

(注)1 ()内は女子を内数で示す

2 []は、留学生を内数で示す ()は留学生のうち女子を内数で示す

平成27年度修了者

博士合計	425 (128) [95]		148 (44) [18]	72 (16) [10]	42 (15) [2]	6 (3) [2]	28 (10) [4]	43 (14) [17]	34 (16) [10]	123 (25) [5]	43 (15) [43]	34 (14) [2]
------	----------------------	--	---------------------	--------------------	-------------------	-----------------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------

② 産業分類別進路状況 (大学院)

(平成29年5月1日現在)

研究科	企業(自営業を含む)													公務員					合計	平成27年度最終(同期)		
	農業	林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業・物品賃貸業	サービス業	分類不能産業	小計	教員	(国家公務員(国大法除)	国家公務員			独立行政法人等	地方公務員
教育研究科						1				1			5	7	46	3			2	5	58	51
人間総合科学研究科(修士課程)						13				1			11	26					1	1	27	35
人文社会科学研究科(修士課程)			1			1					1		5	8				1		1	9	
人文社会科学研究科(博士前期課程)					1	2			1	1			11	16	4	1			2	3	23	24
ビジネス科学研究科(博士前期課程)																						
数理物質科学研究科(博士前期課程)					1	149	4	8	2	3		31	198	11	5	5	5	5	15	224	206	
システム情報工学研究科(博士前期課程)					16	154	7	38	5	5	3	143	371	2	2		2	4	6	379	407	
生命環境科学研究科(博士前期課程)	1				9	87	1	2	9	3		50	162	5	9	1	16	26	193	164		
人間総合科学研究科(博士前期課程)	1				5	27	1	6	9	3	1	64	117	28	1	4	10	15	160	168		
図書館情報メディア研究科(博士前期課程)					5			6			1	24	36	1		1	1	2	39	33		
ビジネス科学研究科(国際経営)																						
修士合計	2		1		32	439	13	61	28	16	5	344	941	97	19	14	41	74	1112	1088		
平成27年度最終(同期)	1		2	2	15	431	19	46	33	22	8	340	919	99	17	8	45	70	1088			

研究科	企業(自営業を含む)													公務員					合計	平成27年度最終(同期)	
	農業	林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業・物品賃貸業	サービス業	分類不能産業	小計	教員	(国家公務員(国大法除)	国家公務員			独立行政法人等
人文社会科学研究科(一貫制博士課程)															1		1		1	2	4
人文社会科学研究科(博士後期課程)												1	1	1						2	5
ビジネス科学研究科(博士後期課程)																					
数理物質科学研究科(一貫制博士課程)																					
数理物質科学研究科(博士後期課程)						4						6	10	3	1	1		2	15	22	
数理物質科学研究科(3年制博士課程)						1							1						1	5	
システム情報工学研究科(一貫制博士課程)																					
システム情報工学研究科(博士後期課程)						3		2				7	12	1		6		6	19	18	
生命環境科学研究科(一貫制博士課程)															1		1	2	3		
生命環境科学研究科(博士後期課程)	1					6			1			4	13	3	5		5	21	29		
生命環境科学研究科(3年制博士課程)																					
人間総合科学研究科(一貫制博士課程)						2						20	22	1		3		3	26	32	
人間総合科学研究科(博士後期課程)						2						6	8	17	2	1	3	28	18		
人間総合科学研究科(3年制博士課程)										1		2	3	8	2		2	13	14		
図書館情報メディア研究科(博士後期課程)															2			2	1		
グローバル教育院(一貫制博士課程)					3							1	4	1					5		
グローバル教育院(博士前期課程)																					
グローバル教育院(博士後期課程)																					
ビジネス科学研究科(法曹)																					
博士合計	1				1	21		2	1	1		47	74	39	1	21	2	24	137	148	
平成27年度最終(同期)						27		1	1	1		42	72	42	3	28	3	34	148		

(注) ()内は女子を内数で示す

6 国際交流関係

(1) 教職員等の交流

(平成28年度)

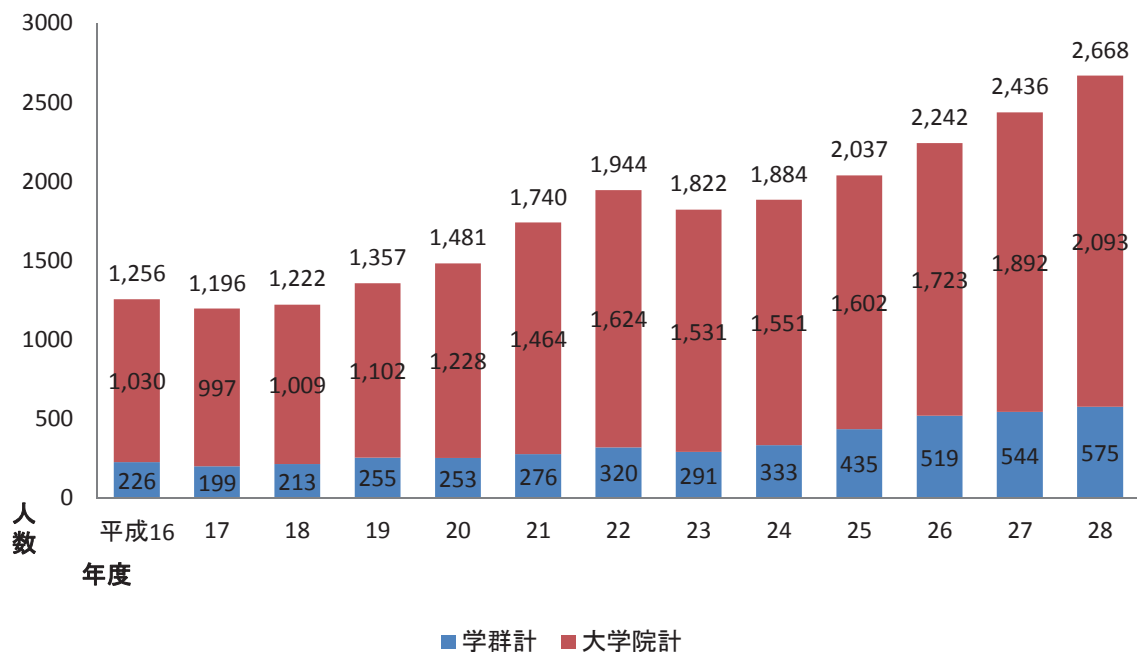
交流組織	外国人研究者の受入数								教職員等の海外派遣数						合計			
	外国人 研究員	外国人 の非常勤 講師	外国 人教 員	本 学 の 資 金	科 学 研 究 費 補 助 金	日 本 学 術 振 興 会	国 際 協 力 機 構	そ の 他	小 計	科 学 研 究 費 補 助 金	教 育 研 究 経 費	日 本 学 術 振 興 会	国 際 協 力 機 構	科 学 技 術 振 興 機 構		そ の 他	小 計	
人文・文化学群	人文学類		4						4							0	4	
	比較文化学類		1		2				3							0	3	
	日本語・日本文化学類								0							0	0	
社会・国際学群	社会学類								0							0	0	
	国際総合学類								8							0	8	
人間学群	教育学類		8						1							0	1	
	心理学類		1						0							0	0	
	障害科学類								0							0	0	
生命環境学群	生物学類		2						2							0	2	
	生物資源学類		2						2							0	2	
理工学群	地球学類								0							0	0	
	数学類								0							0	0	
	物理学類			2					2							0	2	
	化学類								0							0	0	
	応用理工学類		1						1							0	1	
	工学システム学類								0							0	0	
情報学群	社会学類								0							0	0	
	情報科学類		2						2							0	2	
	情報メディア創成学類								0							0	0	
医学群	知識情報・図書館学類						3	3								0	3	
	医学類							0								0	0	
	看護学類							0								0	0	
医療科学類		1						1							0	1		
体育専門学群								0							0	0		
芸術専門学群			1						1							0	1	
修士専門課程	教育研究科		1						1							0	1	
博士課程	人文社会科学研究科		12		3			10	25	2	5					7	32	
	ビジネス科学研究科		8						8							0	8	
	数理物質科学研究科		2						2							0	2	
	システム情報工学研究科		5						5							0	5	
	生命環境科学研究科		9					2	11		3					3	14	
	人間総合科学研究科		2		30			6	38		2					2	40	
図書館情報メディア研究科								0							0	0		
グローバル教育院		68		13		16		1	98		2				2	100		
系	人文社会系	5	3	38	9		10		65	130	144	73		2	75	294	424	
	ビジネスサイエンス系	1		5		1			7	45	33			1	10	89	96	
	数理物質系	17	10	12	70	9	1	1	4	124	131	56	18	24	87	316	440	
	システム情報系	9	1	10	20	19	1	17	36	113	128	52	2	5	39	93	319	
	生命環境系	19	3	23	17	13	17	20	64	176	87	138	13	5	8	158	409	
	人間系	3		6	3	6	4		13	35	64	53			35	152	187	
	体育系	9	1	11	11		11	5	11	59	36	46	5	1	176	264	323	
	芸術系	3		3	2	5	1	1	30	45	45	16			51	112	157	
	医学医療系	10	2	13	32	3			44	104	83	44			187	314	418	
	図書館情報メディア系	2		5	10	4			86	107	33	40	2		27	102	209	
センター等	計算科学研究センター	6		3	31	4		1	45	32	17			47	52	148	193	
	下田臨海実験センター				8				10	18	9			2	20	38		
	遺伝子実験センター								0		11		9	3	1	24	24	
	プラズマ研究センター								1	1	8					8	9	
	生命領域学際研究センター		1	2	2				5	7	9				11	27	32	
	グローバルコミュニケーション教育センター		16						16							0	16	
	体育センター								0							0	0	
	アドミッションセンター								0							0	0	
	北アフリカ研究センター				44		19	12		75	1			15	1	2	19	94
	学術情報メディアセンター								0		5					5	5	
	研究基盤総合センター								0							0	0	
	サイバニクス研究センター			1						1				1		1	2	
	アイソトープ環境動態研究センター	2			2	1			6	11						0	11	
	保健管理センター								0							0	0	
	大学研究センター								0							0	0	
	学際物質科学研究センター								0							0	0	
	農林技術センター				7				1	8						0	8	
	菅平高原実験センター								0							0	0	
	教育開発国際協力研究センター		4		28				83	115						0	115	
	生命科学動物資源センター								0							0	0	
	次世代医療研究開発・教育統合センター								0							0	0	
	知的コミュニティ基盤研究センター				1				2	3						0	3	
	陽子線医学利用研究センター								0							0	0	
特別支援教育研究センター								0							0	0		
理療科教員養成施設			1						1						0	1		
薬類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	1								1		11			2	3	16	17	
国際統合睡眠医学研究機構	16	1	5			13		6	41	1	3				7	11	52	
附属図書館									0							0		
附属病院									0						8	8	8	
附属学校教育局								10	10							0	10	
附属学校	学長		10	1	2		1	2	42	58					48	111	169	
	副学長他								0		6		1		2	9	9	
役員	学長								0		6		1		4	18	18	
	副学長他								0	2	11			1	19	98	474	
本部・事務・技術職他	14			44		5		313	376		78			1	19	98	474	
合計	121	181	138	391	65	99	69	839	1,903	850	794	40	38	128	1,058	2,908	4,811	

(2) 学生の交流

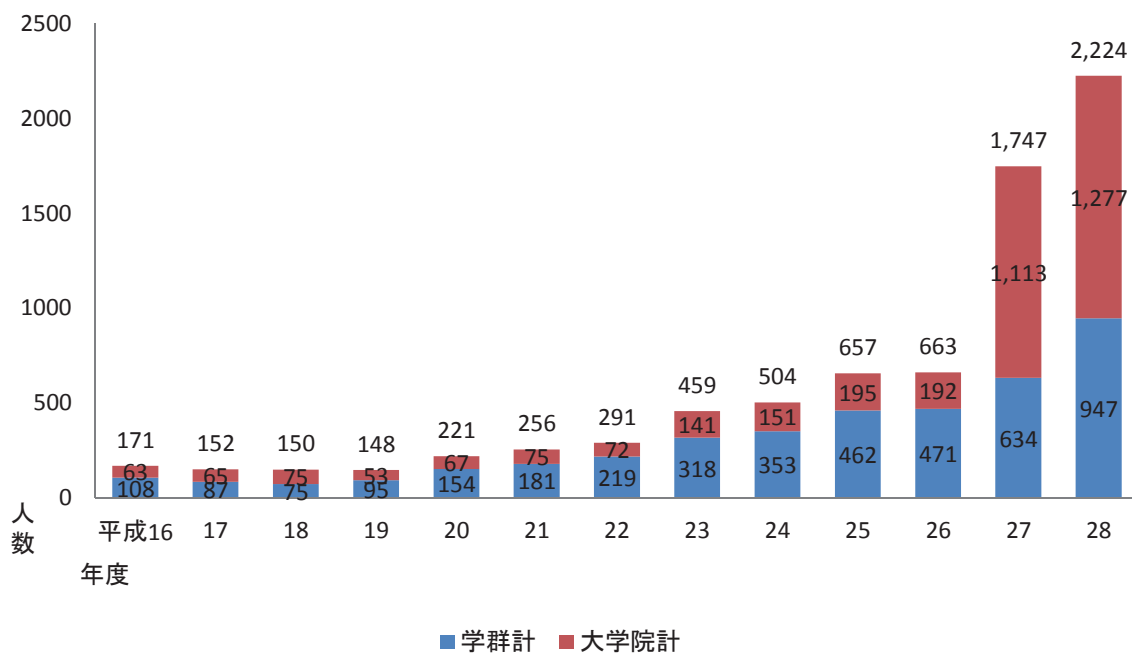
区 分		外国人留学生の受入れ数			学生の海外派遣数			合 計
		学生院生	研究生等	小 計	国 費	私 費 そ の 他	小 計	
第一学群	人文学類	0	0	0		0	0	0
	社会学類	0	0	0		0	0	0
	自然科学類	0	0	0		0	0	0
第二学群	比較文化学類	0	0	0		0	0	0
	日本語・日本文化学類	0	0	0		0	0	0
	人間学類	0	0	0		0	0	0
	生物学類	0	0	0		0	0	0
	生物資源学類	0	0	0		0	0	0
第三学群	社会工学類	0	0	0		0	0	0
	国際総合学類	0	0	0		0	0	0
	情報学類	0	0	0		0	0	0
	工学システム学類	0	0	0		0	0	0
	工学基礎学類	0	0	0		0	0	0
医学専門学群		0	0	0		0	0	0
図書館情報専門学群		0	0	0		0	0	0
人文・文化学群	人文学類	3	45	48		57	57	105
	比較文化学類	7	24	31		52	52	83
	日本語・日本文化学類	7	34	41		44	44	85
社会・国際学群	社会学類	39	9	48		32	32	80
	国際総合学類	48	37	85		187	187	272
人間学群	教育学類	1	0	1		18	18	19
	心理学類	6	2	8		17	17	25
	障害科学類	4	1	5		11	11	16
生命環境学群	生物学類	62	1	63		26	26	89
	生物資源学類	73	33	106		97	97	203
	地球学類	18	1	19		36	36	55
理工学群	数学類	3	0	3		2	0	3
	物理学類	6	0	6		15	15	21
	化学類	4	0	4		3	3	7
	応用理工学類	24	1	25		24	24	49
	工学システム学類	14	1	15		35	35	50
	社会工学類	13	2	15		18	18	33
情報学群	情報科学類	12	9	21		27	27	48
	情報メディア創成学類	3	1	4		25	25	29
	知識情報・図書館学類	3	0	3		26	26	29
医学群	医学類	0	2	2		48	48	50
	看護学類	2	0	2		15	15	17
	医療科学学類	4	1	5		29	29	34
体育専門学群		1	1	2		65	65	67
芸術専門学群		3	10	13		38	38	51
学 群 計		360	215	575		947	947	1,522
修士課程	地域研究科			0		0	0	0
	教育研究科	2	21	23		11	11	34
	環境科学研究科			0		0	0	0
	体育研究科			0		0	0	0
	芸術研究科			0		0	0	0
	修士課程小計	2	21	23		11	11	34
博士課程	人文社会科学研究科	279	183	462		150	150	612
	ビジネス科学研究科		0	0		9	9	9
	数理解物質科学研究科	122	36	158		146	146	304
	システム情報工学研究科	312	122	434		229	229	663
	生命環境科学研究科	370	87	457		220	220	677
	人間総合科学研究科	315	103	418		366	366	784
	図書館情報メディア研究科	39	27	66		30	30	96
	グローバル教育院	73	0	73		77	77	150
博士課程小計	1,510	558	2,068		1,227	1,227	3,295	
専門職学位課程	ビジネス科学研究科	2	0	2		39	39	41
	専門職学位課程小計	2	0	2		39	39	41
大 学 院 計		1,514	579	2,093		1,277	1,277	3,370
合 計		1,874	794	2,668		2,224	2,224	4,892

(注)外国人留学生については、平成29年3月1日現在の現員を示す。

【留学生受入数の推移】(各年度3月1日現在)



【留学生派遣数の推移】(各年度3月1日現在)



注：平成27年度より、学内の支援による短期海外出張等も含めた。

(3) 国際交流協定

ア 協定締結期間、交流分野等

(平成28年度)

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
中国	中国科学院大学	全学	2010/7/7 ~ 2015/7/6	研究生	両大学に共通する全ての領域
	浙江大学	全学	2012/11/9 ~ 2017/11/8	研究生	両大学に共通する全ての領域
	西安交通大学	全学	2013/2/21 ~ 2018/2/20	研究生	両大学に共通する全ての領域
	北京航空航天大学	全学	2013/2/25 ~ 2018/2/24	研究生	両大学に共通する全ての領域
	華東師範大学	全学	2012/7/25 ~ 2017/7/24	研究生	両大学に共通する全ての領域
	清華大学	部局間	2010/5/18 ~ 2015/5/17	研究生	新エネルギー及び関連分野
	中国原子能科学研究所	部局間	2012/8/1 ~ 2017/7/31	研究生	加速器科学及び関連分野
	瀋陽農業大学	部局間	2009/2/9 ~ 2014/2/8	研究生	農業（全分野）
	中国地質大学	部局間	2010/11/23 ~ 2015/11/22	研究生	環境科学、環境工学、生命環境科学、エネルギー資源及び関連分野
	鄭州大学	部局間	2010/11/28 ~ 2015/11/27	研究生	環境科学、環境工学、衛生環境医学、生命環境科学及び関連分野
	大連大学	部局間	2012/2/18 ~ 2017/2/17	研究生	日本語・日本文化を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野
	南京大学	部局間	2013/4/7 ~ 2018/4/6	研究生	生命科学、環境科学、環境工学、生物資源、エネルギー資源及び関連分野
	中国科学院 地理科学・資源研究所	部局間	2012/4/1 ~ 2017/3/31	研究生	生命環境科学及び関連分野
	大連民族学院	全学	2013/3/1 ~ 2018/2/28	研究生	両大学に共通する全ての領域
	南開大学	全学	2012/12/26 ~ 2017/12/25	研究生	両大学に共通する全ての領域
	中国人民大学	部局間	2013/6/1 ~ 2018/5/31	研究生	日本語・日本文化を中心とする人文社会科学系分野
	浙江科技学院	部局間	2013/7/1 ~ 2018/6/30	研究生	生命環境科学分野
	中国美术学院	部局間	2013/5/19 ~ 2018/5/18	研究生	芸術諸分野
	厦門大学	全学	2013/5/21 ~ 2018/5/20	研究生	両大学に共通する全ての領域
	吉林大学	全学	2013/2/7 ~ 2018/2/6	研究生	両大学に共通する全ての領域
	中国科学技術大学	全学	2014/4/6 ~ 2019/4/5	研究生	両大学に共通する全ての領域
	南京農業大学	部局間	2014/2/1 ~ 2019/3/31	研究生	農業、生命環境科学及びその関連分野
	復旦大学	部局間	2014/3/23 ~ 2019/3/22	研究生	環境科学・環境工学及び関連分野
	吉林農業大学	部局間	2014/2/25 ~ 2019/2/24	研究生	農業生物学、農業経済社会学、応用生化学、生物資源環境工学、その他関連分野
	雲南大学	部局間	2013/3/8 ~ 2018/3/7	研究生	環境科学、環境工学、生命科学、エネルギー資源及び関連分野
	清華大学	部局間	2013/5/10 ~ 2018/5/9	研究生	生命環境科学及び関連分野
	香港理工大学	部局間	2014/11/11 ~ 2019/11/10	学生	社会工学全領域
	香港中文大学	全学	2015/2/17 ~ 2020/2/16	研究生	協議により決定
	上海図書館	部局間	2015/1/5 ~ 2020/1/4	研究生	図書館情報学及び関連分野
	東北師範大学	全学	2014/4/10 ~ 2019/4/9	研究生	両大学に共通する全ての領域
	同濟大学	部局間	2015/8/1 ~ 2020/7/31	研究生	環境科学、環境工学、水環境及び関連分野
	内蒙古農業科学院	部局間	2016/4/12 ~ 2021/4/11	研究生	畜産学・草地理学及び関連分野
	蘭州大学	部局間	2016/8/17 ~ 2021/8/16	研究生	原子核物理学及び関連分野
	江南大学	部局間	2015/9/28 ~ 2020/9/27	研究生	生物技術、生命科学分野及びその関連分野
	西安外国語大学	部局間	2016/11/1 ~ 2021/10/31	研究生	日本語・日本文化を中心とする人文社会科学系分野
	福建師範大学	部局間	2016/11/1 ~ 2021/10/31	研究生	日本語・日本文化を中心とする人文社会科学系分野
	澳門大学	部局間	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研究生	社会科学、人文科学及び関連分野
	北京師範大学	全学	2016/4/28 ~ 2021/4/27	研究生	全領域
	北京大学	全学	2016/10/12 ~ 2021/10/11	研究生	両大学におけるすべての分野
	湖南大学	部局間	2016/8/22 ~ 2021/8/21	研究生	人文科学及び社会科学(文学、語学、社会学、文化学、国際関係学)
清華大学	部局間	2017/2/27 ~ 2022/2/26	研究生	都市計画・建築計画	

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
台湾	国立清華大学	全学	2012/11/29 ~ 2017/11/28	研究生	全領域
	国立台湾師範大学	全学	2012/12/18 ~ 2017/12/17	研究生	全領域
	輔仁大学	全学	2014/4/16 ~ 2019/4/15	研究生	全分野
	国立台湾大学	全学	2012/11/16 ~ 2017/11/15	研究生	全領域
	国立彰化師範大学	部局間	2013/3/7 ~ 2018/3/7	研究生	障害科学、教育学、心理学
	国立台湾科技大学	部局間	2013/9/30 ~ 2018/9/29	研究生	芸術、デザイン及び感性科学分野
	国立成功大学	全学	2014/3/21 ~ 2019/3/20	研究生	全領域
	国立防災科学技術センター	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者	気候変動予測および防災に関する影響評価
	高雄医学大学	部局間	2014/9/22 ~ 2019/9/21	研究生	医学及び関連分野
	国立台湾大学	部局間	2015/4/20 ~ 2020/4/19	学生	学生交流
	国立台湾芸術大学	部局間	2015/7/12 ~ 2020/7/11	研究者	芸術諸分野
	東呉大学	全学	2016/4/23 ~ 2021/4/22	研究生	両機関に共通するすべての領域（特に人文社会科学、図書館情報メディア科学）
	国立交通大学	部局間	2015/8/25 ~ 2020/8/24	研究生	ナノエレクトロニクス関連分野での教育及び研究
	国立台湾体育運動大学	全学	2016/11/19 ~ 2021/11/18	研究生	体育、医学
	国立政治大学	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研究生	人文社会科学及び関連分野（とくに、東アジア地域研究、日本語学、日本文学、国際日本研究）
	国立屏東科技大学	部局間	2016/11/1 ~ 2021/10/31	研究生	生命環境科学
国立台湾大学	全学	2015/9/30 ~ 2020/9/29	研究生	GiC協定における全領域	
韓国	高麗大学校	全学	2013/2/1 ~ 2018/1/31	研究生	協議により決定（両大学に共通するすべての領域）
	忠南大学校	部局間	2012/3/21 ~ 2017/3/20	研究生	農学、生物学、地球環境科学及び関連分野
	仁荷大学校	部局間	2012/5/20 ~ 2017/5/19	研究生	日本語学、日本文学、韓国語学、韓国文学、応用言語学、比較文学、文化交流論及び関連分野
	仁川大学	部局間	2012/11/28 ~ 2017/11/27	研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	ソウル市立大学校	部局間	2013/2/15 ~ 2018/2/14	研究生	都市計画、空間情報科学、建築・環境デザイン、生命環境科学及び関連分野
	梨花女子大学校	全学	2013/5/31 ~ 2018/5/30	研究生	全領域（両大学に共通する全ての分野）
	釜山大学校	部局間	2013/9/1 ~ 2018/8/31	研究生	障害科学、教育学、心理学及びその他の関連分野
	西江大学校	部局間	2013/2/27 ~ 2018/2/26	研究生	国際学およびその他の関連分野
	大邱大学校	部局間	2013/8/24 ~ 2018/8/23	研究生	心身障害学、リハビリテーション科学及び関連分野
	韓国外国語大学校	部局間	2012/10/22 ~ 2017/10/21	研究生	人文科学、社会科学、地域研究、日本語・日本文化及び関連分野
	啓明大学校	部局間	2012/11/1 ~ 2017/10/31	研究生	人文科学及び社会科学
	漢陽大学校	全学	2014/1/26 ~ 2019/1/25	研究生	両機関に共通する全ての領域
	弘益大学校	全学	2014/4/13 ~ 2019/4/12	研究生	全領域（両大学に共通する全ての分野）
	慶熙大学校	部局間	2014/6/17 ~ 2019/6/16	研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	釜山大学校	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	図書館情報学及び関連分野
	延世大学校	全学	2014/10/1 ~ 2019/9/30	研究生	両大学に共通するすべての領域
	ソウル大学校	部局間	2015/6/18 ~ 2020/6/17	研究生	体育・健康・スポーツ科学及び関連分野
	国家核融合研究所	部局間	2015/8/1 ~ 2020/7/31	研究者	プラズマ核融合科学
	韓国科学技術院	全学	2015/6/1 ~ 2020/5/31	研究生	両機関に共通するすべての領域（主に工業デザイン、感性インターフェース、感性インタラクション、ロボット工学、情報工学、音楽情報処理）
	韓国国土研究院	部局間	2016/6/12 ~ 2021/6/11	研究者	都市及び地域計画及び関連分野
	忠南大学校	部局間	2016/12/6 ~ 2021/12/5	研究生	医学教育、医学研究、医学分野における産学連携方法についての交流
	釜山大学校	部局間	2012/2/16 ~ 2017/2/15	研究生	材料科学、物理学及び関連分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
インド	マナブラチャナ国際大学	部局間	2012/11/1 ~ 2017/10/31	研究生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
	マドラス大学	部局間	2016/2/4 ~ 2019/2/3	研究生	陽電子消滅を用いた物性研究
	ジャワハルラー・ネル大学	部局間	2016/4/1 ~ 2021/3/31	研究生	日本研究、インド研究、日本語教育、英語教育を含む人文社会科学分野及び関連分野
	ハイデラバード大学	部局間	2016/12/14 ~ 2021/12/13	研究生	生物学、生命科学及び関連分野
インドネシア	バンドン工科大学	部局間	2013/1/27 ~ 2018/1/26	研究生	生命環境科学
	ウダヤナ大学	部局間	2013/6/1 ~ 2018/5/31	研究生	医学分野
	バジャジャラン大学	全学	2013/8/1 ~ 2018/7/31	研究生	協議により決定
	ガジャマダ大学	全学	2013/9/1 ~ 2018/8/31	研究生	両機関が興味関心を共有するすべての領域
	インドネシア大学	全学	2014/5/22 ~ 2019/5/21	研究生	協議により決定
	インドネシア教育大学	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	心身障害学、教育学、心理学及び関連分野
	ボゴール農科大学	部局間	2016/8/6 ~ 2021/8/5	研究生	環境科学、農学、生物工学、生命科学及び関連分野
カンボジア	カンボジア王立農業大学	部局間	2010/7/21 ~ 2015/7/20	研究生	食物、エネルギー、天然資源及び関連分野
	王立プノンペン大学	部局間	2015/6/22 ~ 2020/6/21	研究生	生物学及び環境科学
タイ	カセサート大学	全学	2009/2/25 ~ 2014/2/24	研究生	協議により決定
	タマサート大学	部局間	2011/9/1 ~ 2016/8/31	研究生	社会科学、人文科学、比較文化、農学、生命産業科学及び関連分野
	チュラロンコン大学	部局間	2012/4/2 ~ 2017/4/1	研究生	健康・スポーツ科学
	スラナリー工科大学	部局間	2011/4/1 ~ 2016/3/31	研究生	食料、エネルギー、天然資源及び関連分野
	メジョ大学	部局間	2011/4/1 ~ 2016/3/31	研究生	生命環境科学
	アジア工科大学院	全学	2013/9/1 ~ 2018/8/31	研究生	両機関に共通するすべての領域
	シーナカリンウィロート大学	部局間	2014/11/9 ~ 2019/11/8	研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	キング・モンクット工科大学トンブリ校	部局間	2016/8/1 ~ 2021/7/31	研究生	生物資源科学、環境バイオマス共生学及び関連分野
	チュラロンコン大学	部局間	2016/8/9 ~ 2021/8/8	研究生	地球進化科学及び関連分野
	コンケン大学	全学	2016/10/19 ~ 2021/10/18	研究生	両機関に共通する全ての領域
	コンケン大学	部局間	2017/2/8 ~ 2022/2/7	研究生	医学
パキスタン	ペルシャワール農業大学	全学	2010/11/29 ~ 2015/11/28	研究生	全領域（特に、農学や生物学関連領域を中心とした生命環境科学分野、地域研究や公共政策等の社会科学分野、システム情報工学分野）
バングラデシュ	国際下痢症研究センター	部局間	2012/6/8 ~ 2017/6/7	研究生	医学（社会医学、臨床医学、基礎医学）及び関連分野
	バングラデシュ農業大学	部局間	2012/10/1 ~ 2017/9/30	研究生	農学、環境科学及び関連分野
	バングラデシュ工科大学	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究生	土木工学、機械工学及び関連分野
ベトナム	ホーチミン市科学技術局	部局間	2011/9/22 ~ 2016/9/21	研究生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	熱帯生物学研究所	部局間	2011/9/22 ~ 2016/9/21	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	部局間	2011/9/22 ~ 2016/9/21	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ハノイ工科大学	部局間	2009/10/16 ~ 2014/10/15	研究生	物質科学及び関連分野
	フエ医科薬科大学	部局間	2011/4/28 ~ 2016/4/27	研究生	両大学・研究に共通する全ての領域
	サイゴンハイテクパーク	部局間	2012/1/5 ~ 2017/1/4	研究生	医学、生命科学、バイオテクノロジー
	ハノイ科学大学	部局間	2012/7/13 ~ 2017/7/12	研究生	生命環境系、生命環境科学研究科、医学医療系、人間総合科学研究科に共通するすべての分野
	ハノイ医科大学	部局間	2012/10/1 ~ 2017/9/30	研究生	両大学に共通するすべての分野
	ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学	部局間	2013/6/3 ~ 2018/6/2	研究生	環境科学分野とその他の関連分野
	チョライ病院	部局間	2013/7/18 ~ 2018/7/17	研究者	医学及び関連分野
	ホーチミン市美術大学	部局間	2014/1/21 ~ 2019/2/20	研究生	芸術、デザインの諸分野
	ハノイ農業大学	部局間	2013/12/16 ~ 2018/12/15	研究生	生命環境及び関連分野
	ホーチミン市師範大学	全学	2014/8/12 ~ 2019/8/11	研究生	両大学に共通する全ての領域

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
ベトナム	ベトナム教育訓練省国際教育開発局	部局間	2014/4/21 ~ 2019/4/20	研究生	生命環境科学及び関連する分野全般
	ベトナム国立図書館	部局間	2014/2/2 ~ 2019/2/1	研究生	図書館システム、図書館経営、図書館員養成等、図書館関連分野
	ベトナム国家大学ハノイ校経済大学、 ベトナム国家大学ハノイ校教育大学、 ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学、 ベトナム国家大学ハノイ校工業技術大学、 日越大学、 ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学、 ベトナム国家大学ハノイ校、 ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学	全学	2015/12/12 ~ 2020/12/11	研究生	全領域
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	全学	2016/1/9 ~ 2021/1/8	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ヴァン大学	部局間	2015/5/25 ~ 2020/5/24	研究生	藻類バイオマスおよび藻類バイオマスに関連する基礎から応用までの分野
	ベトナム国家大学ホーチミン校人文社会科学大学、 ベトナム国家大学ホーチミン校国際大学、 ベトナム国家大学ホーチミン校、 ベトナム国家大学ホーチミン校自然科学大学、 ベトナム国家大学ホーチミン校ホーチミン市経済法科大学、 ベトナム国家大学ホーチミン校情報工科大学	全学	2015/9/17 ~ 2020/9/16	研究生	両大学に共通する全ての領域
	ベトナム科学技術アカデミー・バイオテクノロジー研究所	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研究生	両機関に共通する全ての領域
	交通通信大学	全学	2016/9/9 ~ 2021/9/8	研究生	両機関に共通する全ての領域
	ホーチミン市医科薬科大学	全学	2016/9/22 ~ 2021/9/21	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	マレーシア	ケバンサアン・マレーシア大学	全学	2011/1/21 ~ 2016/1/20	研究生
マラヤ大学		全学	2014/5/15 ~ 2019/5/14	研究生	協議により決定
マレーシア工科大学		部局間	2012/11/26 ~ 2017/11/25	研究生	協議により決定
プトラマレーシア大学		部局間	2012/10/24 ~ 2017/10/23	研究生	生命環境科学分野
マレーシア工科大学		全学	2016/9/19 ~ 2021/9/18	研究生	CiC協定における全領域
ミャンマー	バテイン大学	部局間	2014/12/1 ~ 2019/11/30	研究生	協議により決定
モンゴル	モンゴル生命科学大学	部局間	2014/7/1 ~ 2019/6/30	研究生	農業及び関連分野
	フスタイ国立公園研究センター	部局間	2015/5/7 ~ 2020/5/6	研究生	環境科学及び関連分野
ラオス	ラオス国立大学	部局間	2010/7/27 ~ 2015/7/26	研究生	食物、エネルギー、天然資源及び関連分野
オーストラリア	オーストラリア国立大学	全学	2012/7/24 ~ 2017/7/23	研究生	人文科学、社会科学、自然科学分野（学生交流に関しては医学分野を除く）及び関連分野
	マードック大学	全学	2013/5/30 ~ 2016/5/29	研究生	全領域（主に生命環境系、数理物質系、システム情報系の各分野）
	アデレード大学	全学	2013/11/25 ~ 2018/11/24	研究生	両大学に共通する全ての領域（ただし、一部交流できない分野もある）
	クイーンズランド大学	全学	2014/8/20 ~ 2019/8/19	研究生	両大学に共通する全ての領域
	タスマニア大学	全学	2015/1/1 ~ 2017/12/31	研究生	
	ジェームズクック大学	部局間	2015/5/20 ~ 2020/5/19	研究生	全領域（ただし、大学、キャンパスあるいは学部都合により、交流できない分野もある）
	モナシュ大学	全学	2015/9/1 ~ 2020/8/31	研究生	協議により決定
	ウーロンゴン大学	部局間	2015/11/18 ~ 2020/11/17	研究生	医学物理学
	西オーストラリア大学	全学	2016/2/10 ~ 2021/2/9	研究生	全領域
	ディーキン大学	全学	2015/9/24 ~ 2020/9/24	研究生	両機関に共通するすべての領域（とくに海洋学、生物学、自然保護寄付講座、世界遺産学に関わる領域）
ニュージーランド	オタゴ大学	部局間	2013/6/30 ~ 2018/6/29	研究生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学分野及び関連分野
	オークランド大学	部局間	2015/5/1 ~ 2020/4/30	研究生	健康、スポーツ科学及びその他関連分野
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	全学	2012/8/22 ~ 2017/8/21	学生	協議により決定
	プリンス・エドワード島大学	部局間	2013/3/28 ~ 2018/3/27	研究生	日本研究、カナダ研究を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野
	モントリオール大学	全学	2014/9/3 ~ 2019/9/2	研究生	協議により決定
	ブロック大学	部局間	2014/10/30 ~ 2019/10/29	研究生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学、スポーツ国際開発学
	サスカチュワン大学	部局間	2016/10/27 ~ 2021/10/26	研究生	協議により決定

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
米国	カリフォルニア大学	全学	2011/4/1 ~ 2016/3/31	学 生	協議により決定
	ニューヨーク州立大学・ストーニブルック校	部局間	1985/9/1 ~ 有効期限なし	研 究 者	X線領域の放射線実験の応用
	コーネル大学	部局間	2010/9/8 ~ 2015/9/7	研 究 者 研 究 生	農学全般、生物科学、生命科学、環境科学
	プリンストン大学	部局間	2013/2/14 ~ 2018/2/13	研 究 者 研 究 生	核融合分野
	ケント州立大学	部局間	2013/2/25 ~ 2018/2/24	研 究 者 研 究 生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、 スポーツ医学
	カリフォルニア大学アーバイン校	部局間	2013/5/2 ~ 2016/5/1	研 究 者 研 究 生	医学分野
	イリノイ大学・シカゴ校	部局間	2013/5/31 ~ 2018/5/30	研 究 者 研 究 生	看護学の研究と教育に共通する全ての 領域
	ワシントン大学・セントルイス	部局間	2013/9/1 ~ 2018/8/31	研 究 者 研 究 生	人文・社会科学及び関連分野
	ユタ大学	全学	2014/2/7 ~ 2017/2/6	研 究 者 研 究 生	両機関に共通する全ての領域
	ピッツバーグ大学	部局間	2014/3/16 ~ 2019/3/15	研 究 者 研 究 生	図書館情報学、情報学
	カリフォルニア大学アーバイン校	部局間	2014/10/1 ~ 2019/9/30	研 究 者 研 究 生	協議により決定
	ハワイ大学マノア校	全学	2014/10/9 ~ 2019/10/8	研 究 者 研 究 生	協議により決定
	ミシガン大学	部局間	2014/12/1 ~ 2019/11/30	研 究 者 研 究 生	図書館情報学及び関連分野
	聖アンソニー看護大学	部局間	2014/7/1 ~ 2019/6/30	研 究 者 研 究 生	看護学の研究と教育に共通する全ての領域
	アリゾナ州立大学	部局間	2015/3/3 ~ 2020/3/2	研 究 者 研 究 生	藻類バイオマスおよび藻類バイオマス に関連する基礎から応用までの分野
	南インディアナ大学	部局間	2014/9/14 ~ 2019/9/13	研 究 者 研 究 生	人間学、看護学、リハビリテーション 科学、ソーシャル・ワーク、医科学及 び関連分野
	カリフォルニア州立大学	全学	2014/8/1 ~ 2019/7/31	研 究 者 研 究 生	協議により決定
	カリフォルニア大学アーバイン校	部局間	2015/6/30 ~ 2018/5/31	研 究 者 研 究 生	医学、生命科学、およびその関連分野
	ニューメキシコ大学	部局間	2015/7/13 ~ 2020/7/12	研 究 者	体育・スポーツ科学
	ユタ州立大学	部局間	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研 究 者 研 究 生	生命科学・農学及び関連分野
	ユタ州立大学	全学	2016/2/17 ~ 2021/2/16	研 究 者 研 究 生	両大学に共通するすべての領域（特に 農学、芸術学、デザイン学、物理学、 宇宙開発分野）
	アラスカ大学フェアバンクス校	部局間	2015/1/11 ~ 2020/1/10	研 究 者 研 究 生	地球環境科学
	カリフォルニア大学アーバイン校	全学	2016/4/19 ~ 2021/4/18	研 究 者 研 究 生	医学、生命科学、スポーツ科学、シス テム情報およびその関連分野
	オハイオ州立大学	部局間	2016/8/30 ~ 2021/8/29	研 究 者 研 究 生	人文科学・社会科及び関連分野
	パデュー大学	全学	2016/4/26 ~ 2021/4/25	研 究 者 研 究 生	全領域
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	全学	2016/3/4 ~ 2021/3/3	学 生	両機関に共通するすべての領域（主に藻 類バイオマスを基軸とした生命環境科 学分野、医科学分野とその他双方の関 心の一致する分野）
ニューヨーク州立大学・オスウェゴ校	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研 究 者 研 究 生	教育学、社会科学及び関連分野	
カリフォルニア大学アーバイン校	全学	2017/1/9 ~ 2022/1/8	研 究 者	CI協定における全領域（Research Partner）	
コロンビア	ロスアンデス大学	全学	2015/8/19 ~ 2020/8/18	研 究 者 研 究 生	協議により決定
	サンタンデル工科大学	全学	2017/1/13 ~ 2022/1/13	研 究 者 研 究 生	全学（主に藻類バイオマス・エネル ギーシステムに関する分野）
チリ	チリ大学	全学	2014/8/5 ~ 2019/8/4	研 究 者 研 究 生	協議により決定
ブラジル	バラ連邦大学	全学	2012/8/20 ~ 2017/8/19	研 究 者 研 究 生	全領域（特に、基礎及び応用自然科 学、人文科学、社会科学）
	ベルナンブーコ連邦大学	部局間	1981/7/12 ~ 自動更新	研 究 者	ラテンアメリカ研究
	サンパウロ大学	部局間	2012/1/2 ~ 2017/1/1	研 究 者 研 究 生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、 スポーツ医学
	サンパウロ大学	部局間	2012/3/28 ~ 2017/3/28	研 究 者 研 究 生	地球科学、環境科学、水資源
	ブラジリア大学	全学	2013/3/15 ~ 2016/3/14	研 究 者 研 究 生	両大学に共通する全ての領域
	サンパウロ大学	部局間	2013/9/27 ~ 2018/9/26	研 究 者 研 究 生	両大学における医学の領域
	サンパウロ大学	全学	2014/1/16 ~ 2019/1/15	研 究 者 研 究 生	両機関に共通する全ての領域（た だし、具体的な交流の実施については、 個別の協定書により規定することとす る）
	サンパウロ大学	部局間	2014/6/18 ~ 2019/6/17	研 究 者 研 究 生	両大学における医学の領域
	サンパウロ大学	部局間	2015/4/16 ~ 2020/4/15	研 究 者 研 究 生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	サンタ・クルス病院	部局間	2016/9/19 ~ 2021/9/18	研 究 者	医学および関連分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
ブラジル	サンパウロ大学リベロンプレイト校	部局間	2016/12/7 ~ 2021/12/6	研究者 学生	主に両大学における健康科学および薬学の領域
	カンピナス州立大学	全学	2017/2/28 ~ 2022/2/27	研究者 学生	農学、生命科学、環境科学、システム情報工学
	サンパウロ大学	全学	2016/9/16 ~ 2021/9/15	研究者 学生	CiC協定における全領域
ペルー	カトリカ大学	全学	2013/3/1 ~ 2018/2/28	研究者 学生	全領域（特に、人文社会科学（地域研究、日本研究等）、自然科学）
メキシコ	メキシコ大学院大学	部局間	2007/10/4 ~ 2017/10/3	研究者 学生	人文科学、社会科学及び関連分野
サウジアラビア	キング・アブドゥールアジーズ大学	全学	2010/7/8 ~ 2015/7/7	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
トルコ	ボアジチ大学	部局間	2013/3/5 ~ 2018/3/4	研究者 学生	日本語・日本文化、日本語教育、トルコ語・トルコ文化
	パムツカレ大学	全学	2014/4/10 ~ 2019/4/9	研究者 学生	協議により決定
ヨルダン	ヨルダン科学技術大学	全学	2012/2/28 ~ 2017/2/27	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
イタリア	カ・フォスカリ大学	部局間	2011/9/8 ~ 2016/9/7	研究者 学生	日本語・日本文化研究、イタリア語・イタリア文化を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野
	マルシェ科学技術大学	部局間	2012/4/24 ~ 2017/4/23	研究者 学生	生命科学、環境科学、海洋生物学、海洋生態学、環境科学、バイオリソース学
	ミラノ工科大学	全学	2013/9/13 ~ 2018/9/12	研究者 学生	デザイン領域（建築デザイン、環境デザイン、情報デザイン、プロダクトデザイン）、感性認知脳科学、建築工学、他
	ボローニャ大学	部局間	2015/7/16 ~ 2020/7/15	研究者 学生	医学に関する領域
	フィレンツェ国立美術学院	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研究者 学生	芸術諸分野
エストニア	タリン大学	全学	2016/1/21 ~ 2021/1/20	研究者 学生	人文社会科学（地域研究・歴史研究・国際関係学など）、人間総合科学を中心とした学問分野
オーストリア	ウィーン経済・経営大学	部局間	2012/4/29 ~ 2017/4/28	研究者 学生	経営・社会経済システム・科学・工学及び関連分野
オランダ	デルフト工科大学	部局間	2012/4/1 ~ 2017/3/31	研究者 学生	感性認知脳科学、芸術学、デザイン学及び関連分野
	アイントホーフエン工科大学	部局間	2013/6/12 ~ 2018/6/11	研究者 学生	感性情報メディア、感性インタラクション、情報デザイン、プロダクトデザイン、建築デザイン及び関連分野
	トウェンテ大学	全学	2013/11/24 ~ 2018/11/23	研究者 学生	サイバニクス分野（工学、医学、人文科学、ビジネス科学）及び関連分野
	デルフト工科大学	部局間	2014/3/20 ~ 2019/3/19	研究者	工学及び関連分野
	デルフト工科大学	部局間	2015/4/1 ~ 2021/3/31	研究者 学生	土木工学、環境工学、水管理、環境史、地球科学
	ユトレヒト大学	部局間	2016/10/21 ~ 2021/10/20	研究者 学生	健康、スポーツ科学
	ユトレヒト大学	部局間	2016/9/1 ~ 2019/8/31	研究者 学生	法学分野
英国	シェフィールド大学	全学	2012/9/1 ~ 2017/8/31	研究者 学生	両大学に共通する全域
	プリマス大学	部局間	2012/7/24 ~ 2017/7/23	研究者	放射性同位体トレーサー、放射能による土壌汚染・水域汚染、土壌侵食
	ベドフォードシャー大学	部局間	2012/11/26 ~ 2017/11/25	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
	イースト・アングリア大学	全学	2014/3/10 ~ 2024/3/9	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域（特に環境学、生命科学、農学、芸術学）
	ラフバラ大学	部局間	2014/6/11 ~ 2019/6/10	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	マンチェスター大学	部局間	2014/8/24 ~ 2019/8/23	研究者 学生	生物学及び関連分野
	オックスフォード・ブルックス大学	全学	2015/2/18 ~ 2020/2/17	学 生	協議により決定
	リバプール大学	部局間	2014/8/6 ~ 2019/8/5	研究者 学生	河川流域内の土砂生産及び土砂移動プロセス、放射性同位体トレーサー、放射能による土壌汚染・水域汚染、土壌侵食
	エディンバラ大学	全学	2015/5/11 ~ 2020/5/10	研究者 学生	計算科学、ロボット、地球科学、医学分野
スウェーデン	ウプサラ大学	部局間	2009/1/16 ~ 2014/1/15	研究者 学生	生命環境科学及び関連分野
	ルンド大学	部局間	2016/1/8 ~ 2021/1/7	研究者 学生	健康科学に関する全ての領域
	スウェーデン王立美術大学	部局間	2017/4/1 ~ 2022/3/31	研究者 学生	芸術及び関連分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
スペイン	サラマンカ大学	全学	2013/2/5 ~ 2018/2/4	研究者 学生	全領域
	マドリード・コンプルテンセ大学	全学	2014/1/1 ~ 2018/12/31	研究者 学生	両大学に共通するすべての分野
	バルセロナ大学	部局間	2016/2/1 ~ 2021/1/31	研究者 学生	芸術及び関連分野
スロベニア	リュブリャナ大学	全学	2012/11/4 ~ 2017/11/3	研究者 学生	全領域
チェコ	カレル大学	全学	2012/9/9 ~ 2017/9/8	研究者 学生	協議により決定
デンマーク	コペンハーゲン大学	部局間	2014/10/15 ~ 2019/10/14	研究者 学生	図書館情報学
ドイツ	ボーフム大学	部局間	2012/3/25 ~ 2017/3/24	研究者 学生	都市計画、地域計画及び関連分野
	ブランデンブルク工科大学コトブス・ゼンフテンベルク校	部局間	2012/6/26 ~ 2017/6/25	研究者 学生	世界遺産学、世界文化遺産学、建築保存と建築歴史及び関連分野
	ベルリン自由大学	全学	2013/3/6 ~ 2018/3/5	研究者 学生	全領域
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	部局間	2013/4/1 ~ 2018/3/31	研究者 学生	障害科学、教育学、心理学、その他の関連分野
	ミュンヘン工科大学	部局間	2013/1/1 ~ 2017/12/31	研究者 学生	量子ビーム（陽電子消滅・中性子ビーム）を用いた物性および太陽電池材料の研究
	ケルン大学	全学	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者 学生	両大学に共通する全ての分野
	デュースブルグエッセン大学	部局間	2014/9/11 ~ 2019/9/10	研究者 学生	先端がん放射線治療（BNCTならびに陽子線治療）の共同研究
	パイロイト大学	全学	2014/8/5 ~ 2019/8/4	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
	ミュンスター大学	部局間	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研究者 学生	健康、スポーツ科学
	ライプニッツ大学ハノーファー	部局間	2014/10/1 ~ 2019/9/30	研究者 学生	化学および関連分野
	フライブルク大学	部局間	2015/7/7 ~ 2020/7/6	研究者 学生	健康、スポーツ科学及びその他関連分野
	ライプツヒ大学	部局間	2015/6/8 ~ 2020/6/7	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	ユーリッヒ総合研究機構（エネルギー・気候研究所）	部局間	2015/11/1 ~ 2020/10/31	研究者 学生	核融合研究
	ボン大学	全学	2016/2/14 ~ 2021/2/13	研究者 学生	全領域
	アウクスブルク応用科学大学	部局間	2016/2/14 ~ 2021/2/13	研究者 学生	機械工学及びその周辺分野
	ボーフム大学	全学	2016/8/16 ~ 2021/8/15	研究者 学生	両大学に共通するすべての分野
	ドルトムント工科大学	部局間	2016/6/1 ~ 2021/5/31	研究者 学生	健康、スポーツ科学
	デュッセルドルフ大学	部局間	2016/10/19 ~ 2021/10/18	研究者 学生	人文社会科学に係る分野
マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学	全学	2017/3/14 ~ 2022/3/13	研究者 学生	全学（人文社会科学と数理物質科学をはじめとする学内で交流可能な分野）	
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラード大学	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者 学生	健康、スポーツ科学及び関連分野
	タンカプヤム教単科大学	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	センメルヴァイス大学	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	ハンガリー体育大学	部局間	2015/6/17 ~ 2020/6/16	研究者 学生	体育科学、健康科学とその他関連分野
	セグド大学	全学	2015/8/25 ~ 2020/8/24	研究者 学生	医学、ビジネス科学、化学、生物学
フィンランド	ヘルシンキ大学	部局間	2011/11/28 ~ 2016/11/27	研究者 学生	生命科学、環境科学及び関連分野
	ヘルシンキ芸術大学 美術アカデミー	部局間	2016/5/1 ~ 2021/4/30	研究者 学生	芸術及び関連分野
フランス	フランス放射線防護原子力安全研究所	全学	2012/7/11 ~ 2017/7/10	研究者 学生	放射線生態学、環境保全
	ヴァレンシエンヌ大学	部局間	2011/2/10 ~ 2016/2/9	研究者 学生	ヒューマンマシンシステム及び関連分野
	パリ第13大学	部局間	2011/10/4 ~ 2016/10/3	研究者 学生	言語研究及び関連分野
	モンペリエ大学	全学	2013/2/28 ~ 2018/2/27	研究者 学生	全領域（特に生命環境科学、人文社会科学及び医学）
	グルノーブル大学	全学	2013/11/12 ~ 2018/11/11	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	ナント大学	部局間	2014/4/17 ~ 2019/4/16	研究者 学生	主に藻類バイオマスに関する分野
	ペルフォール・モンペリヤール工科大学	部局間	2014/9/6 ~ 2019/9/5	研究者 学生	電子・情報工学及び関連分野
	国立工業工芸大学（パリ工科大学）	部局間	2014/12/16 ~ 2019/12/15	研究者 学生	感性情報学、感性デザイン学、プロダクトデザイン、情報デザイン、環境デザイン、建築デザインを中心とした全ての教育プログラム
	フランシュ＝コンテ大学	全学	2015/11/1 ~ 2020/10/31	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域（主に人文、社会科学、体育科学、体育教育）
	パリ第13大学	部局間	2016/9/13 ~ 2020/9/12	研究者 学生	生物学関連分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
フランス	ボルドー・モンテーニュ大学	全学	2016/10/6 ~ 2021/10/5	研究生	言語研究・芸術・メディア・コミュニケーションを中心とした人文学全般、芸術・デザインに関する研究、感性認知脳科学に関する研究、地中海・アフリカ研究
	ボルドー大学	全学	2016/12/26 ~ 2020/9/29	研究生	交流可能な全分野
	ボルドー大学	全学	2015/9/30 ~ 2020/9/29	研究生	CiC協定における全領域
ベルギー	インターユニバーシティマイクロエレクトロニクスセンター、ルーバン・カトリック大学	部局間	2011/5/12 ~ 2016/5/11	研究生	Siナノエレクトロニクス、光エレクトロニクス、スピントロニクス、カーボンナノエレクトロニクス、バイオ/有機ナノエレクトロニクス
ポーランド	ワルシャワ大学	全学	2013/1/10 ~ 2018/1/9	研究生	全分野（特に人文社会科学及び数物理学物質科学を中心とした幅広い分野）
	ヤギェウォ大学	全学	2012/9/2 ~ 2017/9/1	研究生	人文社会科学分野、数物理学物質科学分野及びその他
	ピアウイストック大学	部局間	2016/2/16 ~ 2021/2/15	研究生	社会科学及び関連分野
ラトビア	ラトビア大学	全学	2016/1/24 ~ 2021/1/23	研究生	全学（人文社会科学（地域研究・歴史研究など）、人間総合科学など）
リトアニア	ヴィリニウス大学	全学	2016/12/19 ~ 2021/12/18	研究生	人文社会科学（言語・地域研究・歴史研究など）、情報学および関連分野を中心に相互協力により交流範囲を広める努力を行う
ルーマニア	ティミショアラ西大学	部局間	2015/9/23 ~ 2020/9/22	研究生	コンピュータサイエンス、情報通信技術（ICT）およびその関連分野
	ブカレスト大学	部局間	2015/10/1 ~ 2020/9/30	研究生	
ロシア	ブドカー原子物理学研究所	部局間	2013/2/16 ~ 2018/2/15	研究生	核融合研究
	モスクワ市立教育大学	全学	2014/5/22 ~ 2019/5/21	研究生	全領域
	カザン連邦大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野、交換学生としての本学学生の語学留学（ロシア語、英語）の推進
	ピロゴフ記念ロシア国立研究医科大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム（全学群対象、責任対応組織：人文社会科学系）」（大学の世界展開力強化事業）における医療実務研修および関連の学生交流活動、医学医療系を中心とした学問分野
	ノヴォシビルスク国立医科大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム（全学群対象、責任対応組織：人文社会科学系）」（大学の世界展開力強化事業）における医療実務研修および関連の学生交流活動、医学医療系を中心とした学問分野
	太平洋国立医科大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム（全学群対象、責任対応組織：人文社会科学系）」（大学の世界展開力強化事業）における医療実務研修および関連の学生交流活動、医学医療系を中心とした学問分野
	モスクワ国立大学	部局間	2014/10/7 ~ 2019/10/6	研究生	高分子化学、コロイド科学、生物資源、土壌環境及び関連分野
	モスクワ国立大学	全学	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研究生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野 交換学生としての本学学生の語学留学（ロシア語、英語）の推進
	極東連邦大学	全学	2015/6/17 ~ 2020/6/16	研究生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした関連分野
	ノヴォシビルスク国立大学	全学	2015/7/18 ~ 2020/7/17	研究生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野
ロシア国立体育・スポーツ・青年・観光大学	部局間	2015/12/1 ~ 2020/11/30	研究生	体育・スポーツ科学及び関連分野	
サンクト・ペテルブルグ大学	全学	2017/2/1 ~ 5年間自動更新	研究生	全学（人文社会科学、人間総合科学などの関連分野）	

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
アゼルバイジャン	アゼルバイジャン言語大学	部局間	2016/3/14 ～ 2021/3/13	研究生	人文社会科学を中心とした学問分野
	ADA大学	全学	2016/4/15 ～ 2021/4/14	研究生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野
アルメニア	ロシア・アルメニア・スラヴ大学	全学	2016/5/2 ～ 2021/5/1	研究生	全学（人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野）
ウクライナ	キエフ国立大学	部局間	2011/9/11 ～ 2016/9/10	研究生	人文科学及び社会科学
ウズベキスタン	世界経済外交大学	部局間	2011/10/29 ～ 2016/10/28	研究生	人文社会科学
	サマルカンド国立外国語大学	部局間	2011/9/30 ～ 2016/9/29	研究生	人文社会科学及び人間総合科学
	ウズベキスタン国立世界言語大学	部局間	2015/10/25 ～ 2020/10/24	研究生	日本語教育、日本語学、教育学を中心とした学問分野
	タシケント国立東洋学大学	全学	2015/5/27 ～ 2020/5/26	研究生	人文科学及び関連分野
カザフスタン	カザフ国立大学	全学	2012/1/23 ～ 2017/1/22	研究生	全領域
	ユーラシア国立大学	全学	2013/6/3 ～ 2018/6/2	研究生	主に人文科学、社会科学、生命環境科学などの分野
	ナルホーズ大学	部局間	2012/8/31 ～ 2017/8/30	研究生	人文社会科学
	カザフ国際関係外国語大学	全学	2013/8/25 ～ 2018/8/24	研究生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野
	国立腫瘍移植科学センター	部局間	2015/2/1 ～ 2020/1/31	研究生	両機関に関する医学領域
	カザフ国立教育大学	全学	2015/8/28 ～ 2020/8/27	研究生	人間総合科学、人文社会科学を中心とした幅広い学問分野
	ナザルバエフ大学	全学	2016/5/19 ～ 2021/5/18	研究生	全学（人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野）
キルギス	キルギス民族大学	全学	2013/10/9 ～ 2018/10/8	研究生	人文社会科学、人間総合科学とその他の関連分野
	ビシュケク人文大学	全学	2013/8/26 ～ 2018/8/25	研究生	人文社会科学、人間総合科学分野
	キルギス国立大学	部局間	2015/5/27 ～ 2020/5/26	研究生	人文科学及び社会科学
ジョージア	トビリシ自由大学	全学	2016/4/14 ～ 2021/4/13	研究生	全学（人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野）
タジキスタン	ロシア・タジク・スラヴ大学	全学	2014/9/1 ～ 2019/8/31	研究生	両大学に共通するすべての領域（主として、人文社会科学、人間総合科学等の分野）
	タジク国立言語大学	部局間	2015/10/24 ～ 2020/10/23	研究生	人文社会科学及び関連分野
トルクメニスタン	トルクメニスタン国立アザディ世界言語大学	全学	2013/9/12 ～ 2018/9/11	研究生	人文科学及び社会科学及びその他の関連分野
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学	全学	2012/2/21 ～ 2017/2/20	研究生	両大学に共通する全ての領域（特に、人文社会科学、生命環境科学）
	ベラルーシ国立医科大学	全学	2015/2/16 ～ 2020/2/15	研究生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム（全学群対象、責任対応組織：人文社会科学系）」（大学の世界展開力強化事業）における医療実務研修および関連の学生交流活動、医学医療系を中心とした学問分野
モルドバ	モルドバ国立大学	全学	2016/4/12 ～ 2021/4/11	研究生	全学（人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野）
アルジェリア	アルジェリア民主人民共和国高等教育・科学技術研究省	全学	2011/4/7 ～ 2016/4/6	研究生	両機関が興味関心を共有するすべての領域（包括協定）
	オラン科学技術大学モハメド・ブーディアフ	全学	2012/11/5 ～ 2017/11/4	研究生	両大学に共通する全ての領域（主に生命環境科学、物質工学、土木工学）
	ホウアリ・ブーメディエン科学技術大学	全学	2015/3/2 ～ 2020/3/1	研究生	両機関に共通する全ての領域（主に生命環境科学、都市工学、情報工学）
エジプト	エジプト日本科学技術大学（E-JUST）	全学	2013/1/22 ～ 2018/1/21	研究生	全領域
	カイロ大学	全学	2013/6/26 ～ 2018/6/25	研究生	生命環境科学、人文科学、ビジネス科学、情報通信科学、等
	アインシャムス大学	部局間	2013/2/9 ～ 2018/2/8	研究生	日本語・日本文化研究、アラビア語・アラビア文化研究、中近東地域研究、国際関係論等

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
チュニジア	カルタゴ大学	全学	2011/3/17 ~ 2016/3/16	研究者 学生	バイオテクノロジー、環境科学、情報通信工学、人文社会科学
	スース大学	全学	2011/5/17 ~ 2016/5/16	研究者 学生	人文科学、社会科学、生命環境科学、医学、情報工学を含む、北アフリカ関連の諸問題に関わる全学的な学術領域
	スファックス大学	全学	2011/10/26 ~ 2016/10/25	研究者 学生	バイオテクノロジー、環境科学、医学及び関連分野
	スファックス・バイオテクノロジー・センター	部局間	2011/10/30 ~ 2016/10/29	研究者	バイオテクノロジー、環境科学及び関連分野
	チュニス・エル=マナール大学	全学	2013/7/2 ~ 2018/7/1	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域（主に、語学を含む人文社会科学、医療科学）
ナイジェリア	ナイジェリア大学	部局間	2012/10/17 ~ 2017/10/16	研究者 学生	微生物科学、生化学、植物科学、動物科学、農学、環境科学及び関連分野
モーリアニア	高等技術学院	部局間	2012/10/15 ~ 2017/10/14	研究者 学生	生命環境科学
モロッコ	シディー・モハメド・ベン・アブダッラー大学	全学	2011/3/17 ~ 2016/3/16	研究者 学生	両大学共通する全ての領域（主に生命環境科学、人文社会科学、情報工学）
	モロッコ王国高等教育・科学研究・幹部養成省	全学	2012/9/10 ~ 2017/9/9	研究者 学生	両機関が興味関心を共有するすべての領域
	ハッサンII世農獣医大学	部局間	2011/5/9 ~ 2016/5/8	研究者 学生	生物資源科学、農業土木工学及び関連分野
	アル・アハワイン大学	全学	2014/8/1 ~ 2019/7/31	研究者 学生	両大学共通する全ての領域
	カディ・アヤド大学	全学	2015/3/2 ~ 2020/3/1	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域（主に生命環境科学、人文社会科学、情報工学）
	モハメド5世大学	全学	2017/2/16 ~ 2022/2/15	研究者 学生	全学（生命科学、環境科学、人文科学、社会科学、情報通信科学）
リビア	セブハ大学	全学	2015/5/13 ~ 2020/5/12	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
国際連合	国際連合大学	全学	2012/10/13 ~ 2017/10/12	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域

65カ国・地域、合計343協定（CiC協定：5協定，大学間交流140協定，部局間交流198協定）

イ 協定締結機関先交流者数

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受人数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
中国	中国科学院大学	2005/7/7	6	3	0	0
	浙江大学	2007/11/9	1	16	7	1
	西安交通大学	2008/2/21	2	2	1	0
	北京航空航天大学	2008/2/25	6	3	0	0
	華東師範大学	2012/7/25	14	13	18	13
	清華大学	2005/5/10	3	1	2	1
	中国原子能科学研究院	2002/8/1	2	0	0	0
	瀋陽農薬大学	2004/2/9	0	0	0	1
	中国地質大学	2005/11/23	1	12	1	0
	鄭州大学	2005/11/28	1	2	1	0
	大連大学	2007/2/18	0	8	3	2
	南京大学	2008/4/7	0	5	9	8
	中国科学院 地理科学・資源研究所	2007/4/1	1	0	2	0
	大連民族学院	2013/3/1	1	32	0	0
	南開大学	2007/12/26	0	10	0	0
	中国人民大学	2013/6/1	0	4	5	2
	浙江科技学院	2013/7/1	0	3	2	0
	中国美术学院	2008/5/19	0	3	5	0
	厦門大学	2008/5/21	0	9	4	0
	吉林大学	2008/2/7	1	20	1	0
	中国科学技術大学	2009/4/6	1	1	0	0
	南京農薬大学	2014/2/1	0	4	0	0
	復旦大学	2014/3/23	1	3	6	0
	吉林農薬大学	2014/2/25	0	3	0	0
	雲南大学	2008/3/8	0	4	0	0
	香港理工大学	2014/11/11	0	4	1	0
	香港中文大学	2015/2/17	5	3	1	17
	上海図書館	1999/10/1	0	0	2	2
	東北師範大学	2009/4/10	1	11	5	9
	同済大学	2015/8/1	4	3	6	4
	内蒙古農薬科学院	2016/4/12	0	0	1	0
	蘭州大学	2016/8/17	0	2	0	0
	江南大学	2010/9/28	2	9	5	1
西安外国語大学	2016/11/1	0	2	0	0	
福建師範大学	2016/11/1	1	1	0	0	
澳門大学	2010/3/31	0	6	0	0	
北京師範大学	2011/4/28	0	15	7	9	
北京大学	2011/10/12	7	12	7	7	
湖南大学	1996/3/18	2	9	0	6	
台湾	国立清華大学	2007/11/29	1	8	1	4
	国立台湾師範大学	2012/12/18	2	14	10	0
	輔仁大学	2014/4/16	0	6	2	0
	国立台湾大学	2007/11/16	22	52	57	71

(平成28年度)

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受人数		派遣数		
			教職員	学生	教職員	学生	
台湾	国立彰化師範大学	2013/3/7	0	0	0	6	
	国立台湾科技大学	2008/9/30	0	1	5	0	
	国立成功大学	2014/3/21	4	11	6	2	
	国立防務科学技術センター	2013/10/1	0	0	0	0	
	高雄医学大学	2014/9/22	0	4	0	0	
	国立台湾芸術大学	2005/7/12	0	5	0	2	
	東呉大学	2016/4/23	0	0	0	0	
	国立交通大学	2010/8/25	1	1	8	0	
	国立台湾体育運動大学	2016/11/19	0	0	0	0	
	国立政治大学	2006/7/1	0	7	4	0	
	国立屏東科技大学	2011/11/1	7	2	0	0	
	韓国	高麗大学校	1998/2/1	22	6	13	8
		忠南大学校	1997/3/21	0	3	6	26
仁荷大学校		2002/5/20	0	0	6	1	
仁川大学		2012/11/28	0	0	10	0	
ソウル市立大学校		2013/2/15	0	0	5	0	
梨花女子大学校		1998/2/1	0	1	2	5	
釜山大学校		2013/9/1	0	0	1	9	
西江大学校		2008/2/22	0	1	0	0	
大邱大学校		1998/8/24	0	1	0	0	
韓国外国語大学校		2002/10/22	0	7	0	0	
啓明大学校		2007/11/1	0	5	0	0	
漢陽大学校		2014/1/26	0	1	6	2	
弘益大学校		2009/4/13	0	2	0	0	
慶熙大学校		2009/6/17	2	13	0	0	
延世大学校		1995/10/1	4	0	1	2	
ソウル大学校		2015/6/18	8	2	10	7	
国家核融合研究所		2000/8/1	0	0	0	0	
韓国科学技術院		2010/6/1	0	2	2	3	
韓国国土研究院		1987/11/1	0	0	0	0	
釜山大学校	1997/2/15	0	4	0	9		
インド	マナブラチャナ国際大学	2012/11/1	1	0	10	0	
	マドラス大学	2016/2/4	0	0	1	0	
	ジャワハルラー・ネル大学	2013/4/1	0	5	1	0	
	ハイデラバード大学	2016/12/14	1	0	0	0	
インドネシア	バンドン工科大学	2013/1/27	0	2	0	0	
	ウダヤナ大学	2013/6/1	0	0	0	0	
	パジャジャラン大学	2013/8/1	0	18	0	0	
	ガジャマダ大学	2013/9/1	4	9	10	5	
	インドネシア大学	2014/5/22	0	17	7	1	
	インドネシア教育大学	2014/4/1	0	3	3	0	
ボゴール農科大学	2001/8/6	2	8	6	3		
カンボジア	カンボジア王立農薬大学	2010/7/21	0	8	1	0	

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
カンボジア	王立プノンペン大学	2015/6/22	0	0	5	0
タイ	カセサート大学	1989/2/16	6	27	16	29
	タマサート大学	1996/9/1	3	5	0	4
	チュラロンコン大学	2001/8/9	4	4	9	1
	スラナリー工科大学	2010/3/26	45	0	0	0
	メジョ大学	2011/7/8	0	0	0	0
	アジア工科大学院	2003/9/1	0	2	1	0
	シーナカリンウィロート大学	2014/11/9	3	4	1	1
	キング・モンクット工科大学トンプリ校	1996/8/1	3	3	4	0
	コンケン大学	2016/10/19	98	47	15	0
	パキスタン	ベルシャワール農業大学	2010/11/29	0	0	0
バングラデシュ	国際下痢症研究センター	2007/6/8	1	1	0	1
	バングラデシュ農業大学	2012/10/1	2	0	0	0
	バングラデシュ工科大学	2007/9/1	0	0	0	0
ベトナム	ホーチミン市科学技術局	2006/9/22	0	0	0	0
	熱帯生物学研究所	2007/3/5	1	2	9	0
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	2007/3/5	0	2	15	0
	ハノイ工科大学	2009/10/16	2	2	5	0
	フエ医科大学	2011/4/28	2	7	0	0
	サイゴンハイテクパーク	2012/1/5	0	0	2	0
	ハノイ科学大学	2012/7/13	1	2	4	0
	ハノイ医科大学	2012/10/1	0	0	3	0
	ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学	2013/6/3	0	0	0	0
	チョライ病院	2008/7/18	0	1	0	7
	ホーチミン市美術大学	2014/1/21	0	1	0	0
	ハノイ農業大学	2013/12/16	0	0	0	0
	ホーチミン市師範大学	2014/8/12	0	2	7	3
	ベトナム教育訓練省国際教育開発局	2014/4/21	0	0	0	0
	ベトナム国立図書館	2004/2/2	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校経済大学	2012/7/1	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校教育大学	2012/7/1	1	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学	2012/7/1	0	2	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校工業技術大学	2012/7/1	0	0	0	0
	日越大学	2012/7/1	0	0	9	0
	ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学	2012/7/1	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校	2012/7/1	0	0	8	0
	ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学	2012/7/1	0	0	0	0
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	2016/1/9	0	0	0	0
	ヴイン大学	2015/5/25	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校人文社会科学大学	2010/9/17	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校国際大学	2010/9/17	0	1	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校	2010/9/17	1	7	1	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校自然科学大学	2010/9/17	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校経済法科大学	2010/9/17	0	0	0	0

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン校情報工科大学	2010/9/17	0	0	0	0
	ベトナム科学技術アカデミー・バイオテクノロジー研究所	2016/7/1	0	0	0	0
	交通通信大学	2016/9/9	0	0	0	0
	ホーチミン市医科薬科大学	2007/3/6	3	8	5	2
マレーシア	ケパンサアン・マレーシア大学	2011/1/21	0	2	0	1
	マラヤ大学	2014/5/15	0	5	2	3
	マレーシア工科大学	2012/11/26	4	6	12	8
	ブトラマレーシア大学	2012/10/24	1	6	2	1
ミャンマー	バテイン大学	2014/12/1	1	9	4	18
モンゴル	モンゴル生命科学大学	2009/7/1	0	0	3	3
	フスタイ国立公園研究センター	2010/5/7	0	0	0	0
ラオス	ラオス国立大学	2010/7/27	0	9	2	0
オーストラリア	オーストラリア国立大学	2007/8/1	2	2	4	2
	マードック大学	2013/5/30	0	0	0	1
	アデレード大学	2013/11/25	1	0	0	6
	クイーンズランド大学	2003/8/20	2	6	0	2
	タスマニア大学	2015/1/1	2	10	7	2
	ジェームズクック大学	2015/5/20	0	2	1	0
	モナッシュ大学	1995/8/31	3	3	5	1
	ウーロンゴン大学	2015/11/18	2	0	2	1
	西オーストラリア大学	2016/2/10	1	0	0	0
	ディーキン大学	2015/9/24	2	10	2	0
ニュージーランド	オタゴ大学	2008/6/30	0	0	0	0
	オーkland大学	2015/5/1	0	0	5	4
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	1980/12/8	0	0	5	0
	プリンス・エドワード島大学	2013/3/28	0	0	2	21
	モントリオール大学	2014/9/3	0	1	3	6
	ブロック大学	2014/10/30	1	0	0	2
	サスカチュワン大学	2016/10/27	0	0	0	0
米国	カリフォルニア大学	1996/4/1	3	1	0	0
	ニューヨーク州立大学・ストーニーブルック校	1985/9/1	0	0	0	0
	コーネル大学	2010/9/8	0	0	3	0
	プリンストン大学	2013/2/14	2	0	9	0
	セント州立大学	2014/7/3	2	0	2	0
	カリフォルニア大学アーバイン校	2013/5/2	16	14	4	11
	伊利ノイ大学・シカゴ校	2013/5/31	1	0	4	0
	ワシントン大学・セントルイス	1980/9/1	0	2	3	1
	ユタ大学	2014/2/7	2	0	0	0
	ピッツバーグ大学	2004/3/16	1	0	3	2
	ハワイ大学マノア校	2014/10/9	0	2	3	18
	ミシガン大学	1999/12/1	0	0	3	1
	聖アンソニー看護大学	2014/7/1	0	0	0	1
	アリゾナ州立大学	2015/3/3	0	0	3	9
	南インディアナ大学	1999/9/14	0	2	0	4

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
米国	カリフォルニア州立大学	2011/8/1	0	22	0	4
	ニューメキシコ大学	2015/7/13	1	0	1	3
	ユタ州立大学	2010/4/1	2	10	5	14
	アラスカ大学フェアバンクス校	2000/1/11	0	8	0	9
	オハイオ州立大学	1996/8/31	4	2	5	7
	バドュー大学	2001/4/26	1	2	1	1
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2016/3/4	0	0	6	0
	ニューヨーク州立大学・オスウェゴ校	2016/7/1	0	0	1	0
コロンビア	ロスアンデス大学	2015/8/19	1	6	2	11
	サンタンデール工科大学	2017/1/13	0	0	0	0
チリ	チリ大学	2004/8/5	3	7	7	2
ブラジル	バラー連邦大学	2012/8/20	0	1	0	0
	ベルナンブーコ連邦大学	1981/7/12	0	0	0	0
	ブラジリア大学	2013/3/15	1	0	0	0
	サンパウロ大学	2013/9/27	5	17	5	8
	サンタ・クルス病院	2016/9/19	4	0	0	0
	サンパウロ大学ペロンブレイト校	2016/12/7	0	0	0	0
	カンピナス州立大学	2017/2/28	0	0	0	0
ペルー	カトリカ大学	2008/3/1	2	11	4	5
メキシコ	メキシコ大学院大学	1979/4/9	1	3	2	0
サウジアラビア	キング・アブドゥールアジーズ大学	2010/7/8	0	0	0	0
トルコ	ボアジチ大学	2003/3/5	0	2	0	1
	バムッカレ大学	2014/4/10	0	0	0	0
ヨルダン	ヨルダン科学技術大学	2012/2/28	0	0	0	0
アゼルバイジャン	アゼルバイジャン言語大学	2016/3/14	2	5	0	0
	ADA大学	2016/4/15	2	4	0	0
アルメニア	ロシア・アルメニア・スラヴ大学	2016/5/2	1	4	0	0
イタリア	カ・フォスカリ大学	2011/9/8	0	3	1	2
	マルシェ科学技術大学	2012/4/24	0	0	0	0
	ミラノ工科大学	2013/9/13	0	2	1	1
	ボローニャ大学	2015/7/16	0	0	1	0
	フィレンツェ国立美術学院	2016/7/1	0	0	0	0
エストニア	タリン大学	2006/1/21	0	5	0	1
オーストリア	ウィーン経済・経営大学	1997/4/29	0	1	1	0
オランダ	デルフト工科大学	2001/2/6	3	4	3	19
	アイントホーフェン工科大学	2008/6/12	4	1	1	1
	トウェンテ大学	2008/11/24	0	1	0	0
	エドレヒト大学	2016/10/21	0	1	12	2
英国	シェフィールド大学	2007/9/1	1	3	0	2
	ブリマス大学	2012/7/24	0	0	3	0
	ベドフォードシャー大学	2012/11/26	0	0	0	0
	イースト・アングリア大学	2014/3/10	0	0	0	0
	ラフバラ大学	2014/6/11	3	0	4	3
	マンチェスター大学	1999/8/24	1	2	6	3

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
英国	オックスフォード・ブルックス大学	2015/2/18	1	6	9	5
	リバプール大学	2014/8/6	2	0	7	4
	エディンバラ大学	2010/5/11	1	6	7	3
スウェーデン	ルンド大学	2016/1/8	0	0	2	0
	スウェーデン王立美術大学	2007/3/12	0	1	0	3
	ウプサラ大学	2009/1/16	0	1	12	1
スペイン	サラマンカ大学	2008/2/5	0	1	0	3
	マドリード・コンプルテンセ大学	2009/1/1	0	2	0	0
	バルセロナ大学	2011/2/1	0	1	2	3
スロベニア	リュブリャナ大学	2012/11/4	3	11	2	17
チェコ	カレル大学	2002/9/9	0	1	0	4
デンマーク	コペンハーゲン大学	1999/10/15	1	0	2	0
ドイツ	ボーフム大学	2007/3/25	2	2	0	2
	ブランデンブルク工科大学 コットブス・ゼンテンベルク校	2007/6/26	0	2	0	0
	ベルリン自由大学	2008/3/4	9	7	14	16
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	2013/4/1	0	1	1	4
	ミュンヘン工科大学	2013/1/1	1	0	3	0
	ケルン大学	2013/10/1	2	3	1	8
	デュースブルグエッセン大学	2014/9/11	9	0	5	0
	バイロイト大学	1994/7/20	1	3	0	6
	ミュンスター大学	2015/4/1	1	1	0	0
	ライプニッツ大学ハノーファー	2014/10/1	0	2	0	0
	フライブルク大学	2015/7/7	2	0	0	0
	ライプツヒヒ大学	2005/6/8	0	0	0	0
	ボン大学	2011/2/14	3	16	1	9
	アウクスブルク応用科学大学	2011/2/14	0	0	0	0
	ドルトムント工科大学	2016/6/1	0	0	0	0
デュッセルドルフ大学	2016/10/19	0	0	0	0	
マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学	2012/3/14	1	6	0	2	
ユーリッヒ総合研究機構 (エネルギー・気候研究所)	2015/11/1	0	0	1	0	
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学	2013/10/1	0	0	0	1
	タンカパヤム教皇科大学	2013/10/1	0	0	0	0
	センメルヴァイス大学	2013/10/1	0	0	0	0
	ハンガリー体育大学	2015/6/17	0	0	4	0
	セグド大学	2015/8/25	0	0	0	1
フィンランド	ヘルシンキ大学	2011/11/28	1	2	0	1
	ヘルシンキ芸術大学 美術アカデミー	2016/5/1	0	0	0	1
フランス	フランス放射線防護原子力安全研究所	2012/7/11	1	0	0	0
	ヴァレンシエヌ大学	2011/2/10	2	0	0	0
	パリ第13大学	2013/2/26	3	2	0	0
	モンペリエ大学	2013/2/28	0	7	0	5
	グルノーブル大学	2013/11/12	5	9	4	9
	ナント大学	2014/4/17	0	0	1	0
	ベルフォール・モンベリヤール工科大学	1999/8/19	0	0	0	0

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
フランス	国立工業工科大学(ナリ工科大学)	2014/12/16	0	0	0	0
	フランシュエコンテ大学	2010/11/23	0	9	10	12
	ボルドー・モンテーニュ大学	2016/10/6	2	0	0	0
	ボルドー大学	2013/10/7	19	28	18	25
ベルギー	インターネット・バーチャル・マテリアル・エレクトロニクスセンター・ルーバン・カトリック大学	2011/5/12	4	1	3	0
ポーランド	ワルシャワ大学	2013/1/10	1	3	4	1
	ヤギェウォ大学	2002/9/2	1	3	0	1
	ピアウイスツク大学	2010/1/12	0	2	0	0
ラトビア	ラトビア大学	2006/1/24	0	5	0	0
リトアニア	ヴィリニウス大学	2006/12/19	0	6	0	3
ルーマニア	ティモショアラ西大学	2010/9/23	0	0	1	0
	ブカレスト大学	2015/10/1	1	1	1	0
ロシア	ブドカー原子物理学研究所	1998/2/16	0	0	3	2
	モスクワ市立教育大学	2009/5/22	0	11	2	22
	カザン連邦大学	2015/2/16	1	16	0	3
	ピロゴフ記念ロシア国立研究医科大学	2015/2/16	2	7	0	1
	ノヴォシビルスク国立医科大学	2015/2/16	3	13	0	0
	太平洋国立医科大学	2015/2/16	2	6	0	0
	モスクワ国立大学	2014/10/7	0	8	7	6
	極東連邦大学	2015/6/17	1	7	2	4
	ノヴォシビルスク国立大学	2015/7/18	0	4	0	1
	ロシア国立体育・スポーツ・青年・観光大学	2015/12/1	0	0	0	0
サンクト・ペテルブルグ大学	2012/2/1	3	6	7	3	
ウクライナ	キエフ国立大学	2006/9/11	0	11	2	8
ウズベキスタン	世界経済外交大学	2006/9/29	0	5	2	1
	サマルカント国立外国語大学	2006/9/30	0	3	0	0
	ウズベキスタン国立世界言語大学	2015/10/25	0	2	0	0
	タシケント国立東洋学大学	2005/5/27	0	12	3	1
カザフスタン	カザフ国立大学	2012/1/23	0	13	4	18
	ユーラシア国立大学	2013/6/3	0	10	0	1
	ナルホーズ大学	2007/10/11	0	7	0	0
	カザフ国際関係外国語大学	2013/8/25	0	1	0	0
	国立腫瘍移植科学センター	2015/2/1	0	0	0	0
	カザフ国立教育大学	2015/8/28	1	2	2	2
	ナザルバエフ大学	2016/5/19	7	1	4	2
キルギス	キルギス民族大学	2013/10/9	0	5	1	0
	ビシュケク人文大学	2013/8/26	0	9	1	0
	キルギス国立大学	2005/5/27	0	9	1	0
タジキスタン	ロシア・タジク・スラヴ大学	2014/9/1	0	6	0	0
	タジク国立言語大学	2015/10/24	0	4	0	0
トルクメニスタン	トルクメニスタン国立アザディ世界言語大学	2013/9/12	3	2	0	0
ジョージア	トビリシ自由大学	2016/4/14	1	5	0	0
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学	2012/2/21	0	2	0	0

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
ベラルーシ	ベラルーシ国立医科大学	2015/2/16	0	0	0	0
モルドバ	モルドバ国立大学	2016/4/12	0	2	0	0
アルジェリア	アルジェリア民主人民共和国高等教育・科学技術研究者	2011/4/7	0	0	0	0
	オラン科学技術大学モハメド・ブーディアフ	2012/11/5	0	1	0	0
	ホウアリ・ブーメディエン科学技術大学	2010/3/17	1	0	0	0
エジプト	エジプト日本科学技術大学(E-JUST)	2013/1/22	9	0	0	0
	カイロ大学	2008/6/26	1	5	1	0
	アインシャムス大学	2003/2/9	0	7	0	0
チュニジア	カルタゴ大学	2011/3/17	20	4	2	0
	スース大学	2011/5/17	6	0	0	0
	スファックス大学	2011/10/26	3	2	0	0
	スファックス・バイオテクノロジー・センター	2006/10/30	2	0	0	0
	チュニス・エル=マナール大学	2013/7/2	7	1	0	0
ナイジェリア	ナイジェリア大学	2007/10/17	0	4	0	0
モルタニア	高等技術学院	2012/10/15	0	0	0	0
モロッコ	シディー・モハメド・ベン・アブダッラー大学	2011/3/17	0	0	0	0
	モロッコ王国高等教育・科学研究・幹部養成省	2012/9/10	1	0	0	0
	ハッサンII世農獣医学大学	2011/5/9	4	0	4	0
	アル・アハワイン大学	2011/4/25	0	2	0	7
	カディ・アヤド大学	2010/3/2	0	0	2	0
	モハメッド5世大学	2007/2/16	1	0	0	0
	リビア	セブハ大学	2010/5/14	0	0	0
その他	国際連合大学	2012/10/13	0	2	0	0
小計			569	1,184	750	757
合計			1,753		1,507	

(4) 国際会議等の開催

(平成28年度)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
The Sākhya Doctrine Referred to in the Buddha Corpus	2016/2/10 ~ 2016/2/11	筑波大学東京キャンパス	海外教育研究ユニット招致プログラム	インド思想界に流布した正統バラモン教系のサーンキヤの教説は他学派の文献資料から回収される断片を基に再構築する必要があるため、本ワークショップでは中観仏教文献から抽出されるサーンキヤ説を分析する	2カ国 10名 (1名)
ETH Special Biomaterials Seminarにおける発表及び新領域(「生体材料」)の立ち上げに係る打合せ	2016/3/15 ~ 2016/3/18	スイス連邦工科大学チューリッヒ校(ETH)	スイス連邦工科大学チューリッヒ校(ETH)	ETH Special Biomaterials Seminarでの発表及び新領域(「生体材料」)の立ち上げに係る打合せ	2カ国 2名 (?名)
Workshop "Current Topics in Plant Biotechnology"	2016/3/20 ~ 2016/3/20	Ho Chi Minh City Biotechnology Center	筑波大学	ゲノム編集等を含む植物育種技術に関する知見共有と意見交換	2カ国 3名 (40名)
第24回ICRセミナー	2016/4/5 ~ 2016/4/5	人文社会学系棟 1C303会議室	筑波大学	日本とスロベニアにおける言語教育の現状と課題	2カ国 20名 (2名)
フクシマ以後と例外状態 - 社会、政治、ボエジー -	2016/4/9 ~ 2016/4/9	日仏会館フランス事務所(601号室)	小川美登里 / 筑波大学人文社会国際比較機構(ICR)	フクシマの出来事を振り返るとともに、現在の社会について考える	2カ国 15名 (12名)
第25回ICRセミナー	2016/4/11 ~ 2016/4/11	人文社会学系棟A101	筑波大学	福島第一原発事故に際してASNの行なったインターネットを介した情報流通とコミュニケーションの問題	2カ国 10名 (5名)
第133回知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会	2016/5/11 ~ 2016/5/11	情報メディアユニオン3階共同研究会議室1	知的コミュニティ基盤研究センター	図書館情報学領域における国際比較研究の最先端: 供給と需要の視点から	2カ国 7名 (6名)
第27回ICRセミナー	2016/5/30 ~ 2016/5/30	人文社会学系棟A101	筑波大学	移住なき移民: 日本の制限的移民政策に関する比較分析	2カ国 5名 (2名)
International Symposium on Environmental Education and Sustainability Sciences	2016/5/30 ~ 2016/6/1	江南大学	江南大学 / 筑波大学生命環境科学研究所	Concerning environmental education, development of sustainable technologies and policies	5カ国 1名 (37名)
ドイツ学術交流会(DAAD)東アジア会議「第4回ライフサイエンス・シンポジウム」	2016/6/3 ~ 2016/6/5	筑波大学東京キャンパスドイツ文化会館	筑波大学医学医療系ドイツ学術交流会ドイツ学術交流会友の会	工学、医学、自然科学におけるライフサイクル・マネジメント	5カ国 68名 (50名)
日本・アフリカ大学連携ネットワーク(JAAN)年次総会	2016/6/20 ~ 2016/6/20	筑波大学東京キャンパス	筑波大学	アフリカとの学術活動に関する事例・経験・ノウハウの共有を行う	2カ国 30名 (1名)
Kiban (A) Seminar on Pricing Parisian and Parasian Options	2016/6/21 ~ 2016/6/21	筑波大学文京校舎6講義室	筑波大学ビジネスサイエンス系	Pricing Parisian and Parasian options analytically	2カ国 10名 (2名)
JANET FORUM 2016	2016/6/30 ~ 2016/6/30	Frei Universität Berlin Henry Ford Bau	在欧日本学術拠点ネットワーク	日本の大学・学術機関がドイツ・欧州との間で広く国際学術情報の共有を図り、日独協働で実施する研究教育事業を情報発信し、両者間の交流活動促進に寄与することを目的とする	2カ国 60名 (70名)
原子力災害特別セミナー(外国人講師による公開セミナー: 01AD705)	2016/7/4 ~ 2016/7/4	筑波大学	筑波大学大学院 生命環境科学研究所 環境科学専攻・持続環境学専攻	チェルノブイリ原子力発電所事故によるCs-137やその他放射性核種の河川・湖等における動態について	3カ国 19名 (3名)
原子力災害特別セミナー(外国人講師による公開セミナー: 01AD705)	2016/7/9 ~ 2016/7/9	筑波大学	筑波大学大学院 生命環境科学研究所 環境科学専攻・持続環境学専攻	土壌における放射性物質の移行メカニズムについて	3カ国 9名 (5名)
国際シンポジウム「植物ゲノム編集技術の最前線」	2016/7/10 ~ 2016/7/11	東京理科大学 葛飾キャンパス 図書館ホール	日本学術振興会産学協力第178委員会	植物におけるゲノム編集技術に関する最新の知見の共有と意見交換	6カ国 300名 (20名)
Asia-Pacific Conference on Semiconducting Silicides and Related Materials (Chair: Takashi Suemasu)	2016/7/16 ~ 2016/7/18	九州大学西新プラザ	応用物理学会	To share the science and technology of semiconducting silicides and related materials	6カ国 95名 (23名)
Workshop "Precision Biotechnology Applications"	2016/7/28 ~ 2016/7/28	Ho Chi Minh City Biotechnology Center	筑波大学・Ho Chi Minh City Biotechnology Center	エビゲノムやオミックス解析等の最新の植物バイオ・解析技術に関する知見共有と意見交換	2カ国 3名 (100名)
国際研究者ネットワーク会議	2016/7/28 ~ 2016/7/28	パシフィコ横浜	筑波大学人間系	若年性認知症のリハビリテーションカウンセリング	2カ国 2名 (1名)
高次脳機能障害の社会保障研究	2016/7/29 ~ 2016/7/29	筑波大学文京校舎430講義室	筑波大学人間系	高次脳機能障害の社会保障、福祉、リハビリテーション、生活支援に関する研究動向と実践の現状と課題	2カ国 2名 (1名)
国際共同研究の方法	2016/7/29 ~ 2016/7/29	筑波大学文京校舎430講義室	筑波大学人間総合科学研究科	国際共同研究の方法	2カ国 22名 (1名)
リハビリテーション英語(集中講義)	2016/7/30 ~ 2016/7/30	筑波大学文京校舎8講義室	筑波大学人間総合科学研究科	リハビリテーション領域における最新トピックス、英語論文執筆、口頭発表、効果的なコミュニケーションスキル向上におけるヒント	2カ国 22名 (1名)
若年性認知症と高次脳機能障害の社会福祉	2016/7/30 ~ 2016/7/30	筑波大学文京校舎430講義室	筑波大学人間系	若年性認知症と高次脳機能障害の社会保障、福祉、リハビリテーション、生活支援に関する国際知見と米国を中心とした対象者サービス実践の現状と課題	2カ国 4名 (1名)
Precision breeding : Genome editing for breeders	2016/8/1 ~ 2016/8/4	Kasetsart University, Center for Agricultural Biotechnology	Kasetsart University, Center for Agricultural Biotechnology	植物におけるゲノム編集の最新技術に関する知見共有と意見交換	3カ国 2名 (44名)
Future of the Syrian Cultural Heritage under the Crisis: Considering the framework for the Post-war Rehabilitation	2016/8/27 ~ 2016/9/2	Doshisa University (Ryoshinkan)	World Archaeology Congress	8th world Archaeology Congress WAC-8, T15G	70カ国 2,000名 (1,000名)
Interdisciplinary workshop on science and patents 2016	2016/9/2 ~ 2016/9/2	筑波大学大会館	筑波大学教員物質科学研究科物質工学域	あらゆる学術分野の最新の研究成果の共有	2カ国 100名 (25名)
The 10th International Symposium on Arctic and Alpine Mycology	2016/9/2 ~ 2016/9/3	生命環境系系普高原実験センター	国際極地高山菌学シンポジウム組織委員会・日本菌学会	世界各地の極地および高山帯に生息する菌類の研究発表および、フォーレイ	6カ国 7名 (7名)
大乘仏教シンポジウム	2016/9/13 ~ 2016/9/14	筑波大学東京キャンパス	海外教育研究ユニット招致プログラム	「大乘仏教の多元性」というテーマのもと、インド・中国・日本における大乘仏教の各分野(経典・唯識・中観・如来藏)の専門家に、仏教の寛容性と包括主義に関連する最新の成果を提供いただき議論する	5カ国 50名 (5名)
第4回グローバルエイジング国際会議	2016/9/16 ~ 2016/9/16	つくば国際会議場 会議室301およびホール	筑波大学医学医療系	各国のエイジングの課題を明らかにすること	12カ国 38名 (20名)
グローバルエイジングへの国境なき挑戦	2016/9/16 ~ 2016/9/16	つくば国際会議場 会議室202	筑波大学医学医療系	高齢化の現状と課題について説明し、課題解決に向けた政策提言を行うこと	7カ国 72名 (13名)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
2016年度AEARU若手研究者国際会議	2016/9/17 ~ 2016/9/19	つくば国際会議場	筑波大学国際室	未来へのイノベーション ～人々の幸福と持続可能な社会へ向けて～	4カ国 30名 (25名)
Tsukuba Global Science Week 2016	2016/9/17 ~ 2016/9/19	つくば国際会議場	筑波大学	あらゆる学術分野の最新の研究成果の共有	33カ国 1,300名 (200名)
第5回ヒューマンバイオロジーシンポジウム	2016/9/17 ~ 2016/9/19	つくば国際会議場	筑波大学 教育推進部教育機構支援課 グローバル教育院	Toward the application of human biology basic researches Systems Biology Cafe	6カ国 0名 (13名)
JSPS二国間交流事業チュニジア-日本 シンポジウム(TJS2016)	2016/9/17 ~ 2016/9/19	つくば国際会議場、筑波大学 高細精医療イノベーション棟	筑波大学 北アフリカ研究センター、スファックス工科大学、チュニス・エル・マナール大学	イノベティブ社会構築に向けたマネジメント戦略	2カ国 24名 (23名)
JST-JICA SATREPSシンポジウム	2016/9/17 ~ 2016/9/19	つくば国際会議場、筑波大学 高細精医療イノベーション棟	筑波大学北アフリカ研究センター	エビデンスに基づく乾燥地生物資源シーズ開発による新産業育成研究	4カ国 14名 (17名)
「アジア太平洋地域における自然と文化の連携に関する人材育成ワークショップ記念シンポジウム(第1回 農業景観を中心に)」	2016/9/18 ~ 2016/9/19	つくば国際会議場	筑波大学大学院人間総合科学研究科世界遺産専攻・自然保護寄附講座	自然と文化をつなぐ	16カ国 80名 (25名)
第5回グローバルイノベーション学位プログラム国際会議(合同小委員会)	2016/9/20 ~ 2016/9/20	筑波大学医学系系棟483号室	筑波大学	グローバルイノベーション学位プログラム開設準備に係る合同会議	3カ国 19名 (13名)
第3回JAMBIO国際シンポジウム	2016/9/21 ~ 2016/9/21	筑波大学東京キャンパス120室	筑波大学	海洋酸性化と生物多様性損失:マリンステーションによる地域規模・グローバル規模のアプローチ	5カ国 31名 (10名)
平成28年度「大学の世界展開力強化事業(中南米等との大学間交流形成支援)」第2回共同プログラム運営委員会	2016/9/26 ~ 2016/9/27	筑波大学	筑波大学	事業活動及び促進計画に係る協議	6カ国 38名 (21名)
第2回革新的構造材料のための先端計測拠点 国際会議	2016/9/27 ~ 2016/9/29	産総研つくばセンター 2-12棟	産総研、物材機構、筑波大学、KEK	The SIP-IMASM is the R&D consortium consisting of AIST, NIMS, Tsukuba University, and KEK and focuses on investigations of structural materials relating to aircraft and power plants.	5カ国 52名 (12名)
Physics of bulk-edge correspondence and its universality: From solid state physics to cold atoms: International workshop 2016	2016/9/27 ~ 2016/9/30	京都大学基礎物理学研究所 ナノソニックホール	京都大学基礎物理学研究所 ワークショップ(初貝安弘代表)	バルク・エッジ対応の多様性と普遍性を確立する	9カ国 72名 (11名)
Background of international collaboration of Mexican chayote. International Chayote Workshop	2016/10/6 ~ 2016/10/6	筑波大学生物農林C棟504	筑波大学	メキシコのハヤトウリ遺伝資源の国際分譲に係る意見交換	2カ国 15名 (5名)
オックスフォード大学での筑波大学事務所開所式、調印式	2016/10/7 ~ 2016/10/7	①Memorial Room Queens College ②Oxford Martin School	Master's/Doctral Program in Life Sciece Innovation, University of Tsukuba University of Oxford	オックスフォード大学での筑波大学事務所開所式、調印式	2カ国 5名 (7名)
第137回知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会	2016/10/7 ~ 2016/10/7	東京キャンパス文京校舎119講義室	知的コミュニティ基盤研究センター	Some Perspectives in (Big) Social Data Exploration	3カ国 11名 (5名)
アジア腹部放射線学会 教育講演コース 2016 ジャカルタ大会	2016/10/8 ~ 2016/10/9	シェラトン・ジャカルタ・グラウンディア・ホテル	アジア腹部放射線学会	腹部放射線医学のアジアでの普及と向上	8カ国 6名 (320名+講師28名)
The Later Prehistory of the Shahrizor: Discoveries and Questions	2016/10/11 ~ 2016/10/11	University of Sulaimaniya, Faculty of Humanities, College Hall	University of Sulaimaniya	Expert Meeting at the University of Sulaimaniya.	8カ国 2名 (80名)
TIASスポーツカンファレンス -スポーツと教育のカー-	2016/10/19 ~ 2016/10/20	筑波大学東京キャンパス文京校舎	筑波大学つくば国際スポーツアカデミー(TIAS)	スポーツ・文化・平和について議論し、オリンピック・パラリンピックムーブメントを国際的に高める	4カ国 280名 (14名)
International Meeting of the Federation of Korean Microbiologica (IMFKM) Section 12. MSJ (Mycological Society of Japan) & KSM (Korean Society of Mycology) joint symposium	2016/11/3 ~ 2016/11/4	高陽市、KINTEX	日本菌学会・韓国菌学会	韓国と日本の菌学研究の成果の発表および、研究者の交流促進	2カ国 7名以上 (100名以上)
第5回高校生国際ESDシンポジウム、第2回全国SGH校生徒成果発表会	2016/11/10 ~ 2016/11/10	筑波大学東京キャンパス	筑波大学附属坂戸高等学校	SDGsと高校生～17の開発目標が創る新しい世界～	5カ国 230名 (21名)
第31回ICRセミナー	2016/11/14 ~ 2016/11/14	スチューデントコモンズ	筑波大学	国連の中でのドイツの役割	2カ国 20名 (10名)
Workshop on Biosafety for Modern Biotechnology.	2016/11/16 ~ 2016/11/16	Ministry of Agriculture, Livestock and Irrigation (MOALI) Department of Agricultural Research	Ministry of Agriculture, Livestock and Irrigation (MOALI) Department of Agricultural Research	バイオセーフティに関する知見共有と意見交換	2カ国 2名 (50名)
公開セミナー	2016/11/16 ~ 2016/11/16	筑波大学	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻・持続環境学専攻	原発事故直後の科学者の活動	2カ国 23名 (2名)
Workshop on Advanced Structural Study	2016/11/19 ~ 2016/11/19	筑波大学自然系系棟B118	筑波大学	先端量子ビーム利用研究の動向調査	3カ国 10名 (6名)
シリア内戦と文化遺産-世界遺産バルミラ遺跡の現状と復興に向けて	2016/11/20 ~ 2016/11/23	東京国立博物館、東大寺金鐘ホール	東京文化財研究所	シリア文化遺産の保護活用	5カ国 250名 (15名)
人文学類文化講演会	2016/11/21 ~ 2016/11/21	1H101教室	筑波大学	ISに破壊されたシリア・バルミラ遺跡を護る	2カ国 80名 (10名)
国際シンポジウム Statistical Analysis for Large Complex Data	2016/11/21 ~ 2016/11/23	筑波大学	青嶋 誠 / 筑波大学	大規模複雑データの統計解析に関する最新の研究成果の共有	4カ国 50名 (4名)
発達障害早期支援研究事業に関する座談会	2016/11/22 ~ 2016/11/22	筑波大学総合研究D棟	筑波大学人間系・宇野研究室	発達性読み書き障害のある子どもの早期発見と早期対応	3カ国 10名 (5名)
文字に声を聞こう!	2016/11/23 ~ 2016/11/23	筑波大学筑波キャンパス	海外教育研究ユニット招致プログラム、西アジア文明研究センター、ICR	写本・古文書・檔案+人文情報学	3カ国 30名 (2名)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
18th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL 2016)/Asia-Pacific Forum of Information Schools(APIIS)	2016/12/5 ~ 2016/12/9	情報メディアユニオン / 大学会館	図書館情報メディア系	Knowledge, Information and Data in Open Access Society	18カ国 78名 (87名)
南コーカサス・モルドバにおける 日本語教育・日本研究事情	2016/12/6 ~ 2016/12/6	筑波大学 大学会館研修室	筑波大学 グローバルコミュニケーション教育センター	南コーカサス、モルドバ各国の日本語教育・日本研究事情について共有	5カ国 40名 (30名)
原子力災害特別セミナー (外国人講師による公開セミナー: 01AD705)	2016/12/9 ~ 2016/12/9	筑波大学	筑波大学大学院 生命環境科学研究所 環境科学専攻・持続環境学専攻	On the Evolution of Radioecology- Why we Lost Ecology Along the Way et al.	4カ国 7名 (4名)
2016年日台五大大学院生美術史研究交流会	2016/12/10 ~ 2016/12/10	筑波大学芸術系棟	筑波大学大学院博士前期課程芸術専攻 筑波大学大学院博士後期課程芸術専攻	日本と台湾の五つの大学の大学院生による美術史研究会	3カ国 14名 (11名)
第4回「スポーツ国際開発」国際シンポジウム	2016/12/11 ~ 2016/12/11	立教大学	筑波大学 鹿屋体育大学 日本スポーツ振興センター	どのようにスポーツが開発と平和の領域に貢献できるのか	10カ国 62名 (30名)
Tsukuba CCS-RIKEN Joint Workshop on microscopic theories of nuclear structure and dynamics	2016/12/12 ~ 2016/12/16	筑波大学計算科学研究センター国際ワークショップ室	筑波大学・計算科学研究センター	原子核構造・反応の物理学	10カ国 65名 (16名)
第5回IIIシンポジウム	2016/12/12 ~ 2016/12/12	東京コンファレンスセンター品川	筑波大学国際統合睡眠医学科学研究機構	睡眠の謎に挑む	6カ国 150名 (39名)
デジタル・ヒューマニティーズ講演会 & ワークショップ	2016/12/16 ~ 2016/12/16	3B312プレゼンルーム	筑波大学	デジタル化における古典中国文学	2カ国 30名 (2名)
第一回LAM-ARENAセミナー	2017/1/9 ~ 2017/1/10	人文社会系棟A101	筑波大学	アフリカのグローバル化の多角的見解	3カ国 20名 (30名)
若年性認知症ネットワーク国際シンポジウム	2017/1/13 ~ 2017/1/13	筑波大学文京校舎121講義室	筑波大学人間系	若年性認知症のソーシャルケア、診断サービス、研究動向、実践の現状と課題	2カ国 21名 (2名)
若年性認知症ネットワーク国際研究会	2017/1/14 ~ 2017/1/14	東京ドームホテル	筑波大学人間系	若年性認知症のソーシャルケア、診断サービス、研究動向、実践の現状と課題、日本における若年性認知症ネットワークのあり方	2カ国 1名 (2名)
スタンフォード大学におけるリハビリテーション研究と教育	2017/1/28 ~ 2017/1/28	筑波大学文京校舎120講義室	筑波大学人間総合科学研究科	スタンフォード大学医学におけるリハビリテーション研究および教育の現状と課題	2カ国 9名 (1名)
原子力災害特別セミナー (外国人講師による公開セミナー: 01AD705)	2017/1/30 ~ 2017/1/30	筑波大学	筑波大学大学院 生命環境科学研究所 環境科学専攻・持続環境学専攻	Ukrainian National Radioactive Waste Management Program et al.	6カ国 5名 (7名)
第139回知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会	2017/1/30 ~ 2017/1/30	春日エリア 7B棟3F 大会議室(7B310)	知的コミュニティ基盤研究センター	協力型デジタルレファレンス・サービスの利用者の満足度の影響要因: 韓国の公共図書館の利用者を中心	2カ国 5名 (1名)
講演会「イランの地質」	2017/2/6 ~ 2017/2/6	筑波大学プロジェクト研究棟306,307	筑波大学	イランの地質	2カ国 30名 (10名)
APEC-Tsukuba UNESCO(MGIEP) 国際会議 XI	2017/2/9 ~ 2017/2/12	筑波大学東京キャンパス	University of Tsukuba under the APEC HRD	Innovation of Mathematics Education through Lesson Study	13カ国 38名 (146名)
『量評釈荘厳』知覚章研究会	2017/2/20 ~ 2017/2/21	筑波大学筑波キャンパス	・稲盛財団研究助成 ・科学研究費補助金(基盤B:15H03155、「インド仏教論理学の東アジア世界における受容と展開」) ・海外教育研究ユニット招致プログラム	インド仏教のいづゆる論理認識論学派における、知覚と推論の対峙をめぐる議論を写本レベルで精読しその思想的位相を検討する	3カ国 5名 (2名)
第140回知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会	2017/2/21 ~ 2017/2/21	情報メディアユニオン3F 共同研究会議室1	知的コミュニティ基盤研究センター	図書館情報学とデジタル・ヒューマニティーズー デジタルに転換する時代へ共に歩みだす	2カ国 13名 (1名)
USJ seminar "Plant Science Research for Global Food Security II"	2017/2/26 ~ 2017/2/27	JSPS/JST Seminar Room Washington Office	筑波大学	グローバルフードセキュリティに関する知見共有と意見交換	2カ国 5名 (25名)
Global Initiative for Sports Neuroscience 2017	2017/2/27 ~ 2017/2/27	筑波大学5C216	筑波大学	Development of Exercise Prescription Enhancing Cognitive Functions	3カ国 84名 (7名)
西アジア文明学の創出2:古代西アジア文明が現代に伝えること	2017/3/3 ~ 2017/3/4	サンシャインシティ文化会館集会所、東京	文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究「現代文明の基盤としての古代西アジア文明」の衝突論を克服するために	文部科学省新学術領域研究最終シンポジウム	5カ国 250名 (7名)
第77回岡崎コンファレンス「分子科学及び材料科学における高速ダイナミクスに関する国際シンポジウム」	2017/3/6 ~ 2017/3/7	岡崎国際会議場	分子科学研究所	分子科学及び材料科学における高速ダイナミクスの実験及び理論研究	5カ国 67名 (17名)
日中教育学国際フォーラム	2017/3/7 ~ 2017/3/7	筑波大学筑波キャンパス	筑波大学人間総合科学研究科教育学専攻	教育学研究および教育実践の最新課題について教育研究交流	2カ国 30名 (10名)
ARHHP Human High Performance International Forum 2017	2017/3/7 ~ 2017/3/7	筑波大学5C216	筑波大学	Sport Science for Olympic and Paralympic Games	4カ国 100名 (3名)
ISET-R 全体会議:セシウムボールミーティング	2017/3/11 ~ 2017/3/11	筑波大学	筑波大学アイントープ環境動態センター	Challenges associated with the release of radioactive particles to the environment	2カ国 60名 (1名)
筑波大学人間系国際シンポジウム	2017/3/12 ~ 2017/3/12	筑波大学東京キャンパス	筑波大学人間系	共生人間科学の展開	2カ国 52名 (3名)
海外教育研究ユニット招致報告会	2017/3/13 ~ 2017/3/13	筑波大学1D棟201教室(筑波キャンパス)	筑波大学	海外教育研究ユニット招致制度によりこれまでに招致した全6ユニットの取組状況と成果の共有	2カ国 日本人・外国人を合わせて約70名(内訳不明)
第32回ICRセミナー	2017/3/21 ~ 2017/3/21	人文社会系棟A101	筑波大学	中国の経済発展と環境・労働・格差問題の 解決方法	2カ国 5名 (1名)
ワークショップ "Sedentism, Subsistence and Societies in the Neolithic Anatolia: New Insights from Hasankeyf Höyük"	2017/3/22 ~ 2017/3/23	人文社会系棟A110	筑波大学	アナトリア新石器時代についてご講演いただくとともに、これまでの私たちの調査成果を幅広い視点から検討するワークショップ	2カ国 30名 (10名)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
ワークショップ PREPARING THE MANUALS FOR THE PROTECTION OF SYRIAN CULTURAL HERITAGE	2017/3/22 ~ 2017/3/23	筑波大学人文社会研究棟	筑波大学ICR西アジア文明研究センター	文化庁からの受託事業	3カ国 11名 (4名)
Local zeta functions and the arithmetic of moduli spaces; A conference in memory of Jun-ichi Igusa	2017/3/22 ~ 2017/3/26	Johns Hopkins University	日米数学研究所	井草準一先生に関する数学の発展・他	10カ国 12名 (65名)
Minimal surfaces: Integrable systems and visualization spring 2017 workshop	2017/3/27 ~ 2017/3/29	University College Cork	University College Cork	極小曲面、可積分系、可視化とそれらに関する最新の研究成果の共有	6カ国 1名 (21名)
新進芸術家育成交流作品展FINE ART/UNIVERSITY SELECTION (展覧会、シンポジウム、アーティストトーク)	2016/12/20 ~ 2016/12/25	シンポジウム: つくば文化会館アルス2階 アルスホール アーティスト・トーク: 茨城県つくば美術館	文化庁 筑波大学	海外の作家・作品との交流を通じて、わが国の若手芸術家を育成することを目的とした文化庁委託事業(展覧会、シンポジウム、アーティストトークで構成) シンポジウムのテーマは「芸術作品の評価とその方法」	10カ国 1,300名 (30名)
筑波大学ライフイノベーション学位プログラムに係る打合せ及び関連施設等への訪問	2017/3/27 ~ 2017/2/29	Alzheimer's Research UK Oxford Drug Discovery Institute	筑波大学、島津製作所、医療基盤・健康・栄養研究所、 University of Oxford、	筑波大学ライフイノベーション学位プログラムに係る打合せ及び関連施設等への訪問	2カ国 6名 (7名)

(注) 本学又は本学教員が主催ないし共催した国際会議の一覧を掲載

(5) 国別交流者数

国・地域名	研究者等の受入	教職員の派遣	外国人留学生	学生の派遣	計
インド	24	28 (3)	33	11	96
インドネシア	51	72 (9)	124	34	281
カンボジア	1	25 (5)	12	13	51
シンガポール	21	56 (5)	3	41	121
スリランカ	8	4	18	7	37
タイ	196	79 (13)	34	76	385
ネパール	4	8	12	2	26
パキスタン	3	0	11	0	14
バングラデシュ	18	6	43	4	71
フィリピン	56	19 (2)	33	21	129
ブータン	1	0	0	0	1
ブルネイ	0	2	1	3	6
ベトナム	33	97 (3)	77	57	264
マレーシア	24	61 (3)	29	45	159
ミャンマー	3	18 (1)	17	23	61
モルディブ	0	0	0	0	0
モンゴル	2	8	19	9	38
ラオス	0	6	7	0	13
韓国	116	228 (1)	164	115	623
台湾	98	143 (5)	83	106	430
中国	287	269 (2)	1,351	171	2,078
東ティモール	0	1	0	0	1
北朝鮮	0	0	0	0	0
アフガニスタン	0	0	11	1	12
アラブ首長国連邦	0	1 (1)	0	2	3
イエメン	0	0	1	0	1
イスラエル	2	1 (1)	0	0	3
イラク	1	6	1	0	8
イラン	2	3 (3)	10	1	16
オマーン	0	0	0	0	0
カタール	2	1 (1)	0	1	4
クウェート	0	0	0	0	0
サウジアラビア	0	2 (1)	1	0	3
シリア	1	1	6	0	8
トルコ	4	13 (3)	7	6	30
バーレーン	0	0	1	0	1
パレスチナ	0	1	0	0	1
ヨルダン	0	1	2	0	3
レバノン	0	1	2	0	3
アゼルバイジャン	3	2	5	1	11
アルメニア	1	0	2	0	3
ウクライナ	3	3 (10)	13	14	33
ウズベキスタン	12	13	28	3	56
カザフスタン	25	7 (3)	25	25	82
キルギス	0	2	19	4	25
ジョージア	1	1	3	0	5
タジキスタン	3	1	10	2	16
トルクメニスタン	5	25	1	4	35
ベラルーシ	0	0	3	0	3
モルドバ	2	2	1	0	5
ロシア	42	58 (1)	33	72	205
アイスランド	1	0	1	1	3
アイルランド	1	3 (4)	0	2	6
アルバニア	0	0 (1)	0	0	0
アンドラ	0	1	0	1	2
イタリア	12	53 (11)	13	18	96
エストニア	0	3	2	2	7
オーストリア	7	51 (12)	1	61	120
オランダ	17	26 (20)	8	35	86
キプロス	1	3 (1)	0	0	4
ギリシャ	2	15	4	6	27
クアチア	17	2 (3)	3	4	26
コソボ	0	0	0	0	0
サンマリノ	0	0	0	0	0
スイス	9	34 (7)	0	38	81
スウェーデン	10	17 (10)	2	6	35
スペイン	8	34 (6)	4	23	69
スロバキア	0	0	1	1	2
スロベニア	3	5	6	18	32
セルビア	0	0 (1)	2	1	3
チェコ	1	11 (3)	2	10	24
デンマーク	4	29 (2)	0	6	39
ドイツ	90	141 (10)	30	98	359
ノルウェー	5	11	3	1	20
ハンガリー	5	10	5	14	34
フィンランド	4	5 (1)	3	8	20
フランス	99	123 (7)	18	118	358
ブルガリア	0	0	3	1	4
ベルギー	10	10	1	3	24
ポーランド	4	9	8	4	25
ボスニア・ヘルツェゴビナ	0	1	2	0	3
ポルトガル	1	18	2	14	35
マケドニア	0	0	0	0	0
マルタ	0	1	0	5	6
モナコ	0	5 (1)	0	2	7
モンテネグロ	0	2	0	1	3
ラトビア	0	0	3	0	3
リトアニア	0	2	6	3	11
リヒテンシュタイン	0	0	0	0	0
ルーマニア	5	6	5	2	18
ルクセンブルク	1	0	0	0	1
英国	52	137 (1)	10	111	310
カナダ	28	61 (12)	3	108	200
米国	194	590 (2)	46	467	1,297

(平成28年度)

国・地域名	研究者等の受入	教職員の派遣	外国人留学生	学生の派遣	計
オーストラリア	33	59	8	43	143
キリバス	0	0	0	0	0
クック諸島	0	0	0	0	0
サモア	0	0	1	0	1
ソロモン諸島	2	0	1	0	3
ツバル	0	0	0	0	0
トンガ	0	0	0	0	0
ナウル	0	0	0	0	0
ニウエ	2	0	0	0	2
ニュージーランド	6	16	0	12	34
バヌアツ	0	0	0	0	0
バブアニューギニア	2	7	0	0	9
バラオ	2	2 (1)	1	4	9
フィジー	1	0	3	5	9
マーシャル	0	0	0	0	0
ミクロネシア	0	0	0	0	0
アルゼンチン	4	3	5	1	13
アンティグア・バーブーダ	0	0	1	0	1
ウルグアイ	0	0	0	0	0
エクアドル	0	0	0	1	1
エルサルバドル	0	0	0	0	0
キューバ	0	2	0	0	2
グアテマラ	0	0	2	0	2
コスタリカ	0	1	2	0	3
コロンビア	5	3 (1)	3	12	23
ジャマイカ	0	0	2	0	2
チリ	4	8 (7)	5	2	19
ドミニカ共和国	0	0	0	0	0
ニカラグア	0	0	1	0	1
ハイチ	0	0	2	1	3
パナマ	0	0	0	0	0
バハマ	0	0	0	0	0
パラグアイ	0	0	0	1	1
バルバドス	0	0	0	0	0
ブラジル	22	39 (3)	31	12	104
ベネズエラ	0	0	4	1	5
ペルー	0	0	0	0	0
ペルー	7	5	12	5	29
ボリビア	0	0	1	0	1
ホンジュラス	3	0	1	0	4
メキシコ	6	16 (3)	9	4	35
アルジェリア	1	0	3	0	4
アンゴラ	0	0	1	0	1
ウガンダ	0	4	3	0	7
エジプト	14	3	14	0	31
エチオピア	1	1	5	1	8
エリトリア	0	0	1	0	1
ガーナ	0	1	13	1	15
ガボン	3	0	1	0	4
カメルーン	1	0	1	0	2
ガンビア	0	0	1	0	1
ギニア	0	0	9	0	9
ギニアビサウ	0	0	0	0	0
ケニア	2	8 (1)	0	10	20
コートジボワール	0	0	1	0	1
コンゴ共和国	0	0	0	0	0
コンゴ民主共和国	1	0	0	0	1
ザンビア	0	0	3	1	4
シエラレオネ	0	0	1	0	1
ジンバブエ	1	0	5	0	6
スーダン	1	1	2	0	4
スワジランド	2	0	0	0	2
セネガル	0	0	1	1	2
タンザニア	0	1	3	2	6
チュニジア	78	4 (8)	13	1	96
ナイジェリア	0	0	10	0	10
ナミビア	0	0	0	0	0
ニジェール	0	0	0	0	0
ブルキナファソ	0	0	1	0	1
ベナン	0	0	2	0	2
ボツワナ	0	0	0	0	0
マラウイ	0	0	5	9	14
マリ	0	1	1	0	2
モーリシャス	0	2	0	1	3
モリタニア	0	0	0	1	1
モザンビーク	0	0	2	0	2
モロッコ	8	16	12	9	45
リビア	0	0	0	0	0
リベリア	0	0	1	0	1
ルワンダ	0	0	2	2	4
レソト	0	0	0	0	0
南アフリカ	1	1	2	4	8
南スーダン	3	0	1	0	4
その他	6	2	0	0	8
国・地域不明	35	8	0	10	53
合計	1,903	2,908 (215)	2,668	2,224	9,703

(注) 1. ()内の派遣者数は、2か国以上に渡った者を重複して掲載したものである。
2. 外国人留学生については、平成29年3月1日現在の現員を示す。

7 社会連携・大学公開関係

(1) 社会貢献プロジェクト(採択課題)

※所属/氏名欄の網掛けは、学生の取組みを示す。

分野	所属/氏名	取組み名
科学振興・教育	人文社会系 /井川義次	社会・学校・企業における哲学プラクティスの創出
	数理工学系 /後藤博正	地域社会貢献のための先端研究・国際活動を生かした小中高校生への理科教育
	システム情報系 /吉瀬章子	茨城県南北を結ぶ高校交流による数理モデルを用いた地域課題解決提案
	システム情報系 /亀田敏弘	超小型人工衛星を用いた体験実習型科学教育による地域・社会貢献プロジェクト
	生命環境系 /Matthew C. Wood	学生によるサイエンスコミュニケーションの実践 ～筑波大学サイエンスコミュニケーショングループSCOUT～
	菅平高原実験センター /出川洋介	市民のための生物多様性科学の普及：多様な人々に開かれた自然観察機会の提供
国際	人文社会系 /明石純一	国際都市つくばの新しい国際化施策一定住外国籍児童に対する「職育」プログラム
環境	生命環境系 /田村憲司	環境マイスターの育成による地域環境教育の推進および環境保全事業
	生命環境系 /丸尾文昭	「いもりの里」をモデル拠点とした谷津田・里山の復元・維持管理ネットワークの継続的発展2016
	生命環境学群生物学類 /井戸川直人	つくバグ2016 一虫と遊び、虫に学ぶ
文化・地域活性化	人文社会系 /滝沢 誠	博学連携による地域文化財の再生と利活用 ー土浦市内における重要遺跡の調査と成果の公開ー
	人間系 /原田悦子	高齢者コミュニティで作る産学・社会連携プロジェクト広報誌を介した地域づくり
	体育系 /長谷川聖修	つくば市における健康づくり運動を起点とした文化交流活動の促進
	体育系 /増地克之	東北3県柔道キャラバン
	芸術系 /太田 圭	アートによる国際交流をふまえた「夏休みアート・デイキャンプ&アートたんけん隊2016」の実施
	附属坂戸高等学校 /石井克佳	つくさか地域食育支援プロジェクト
	人文・文化学群比較文化学類 /杉山萌依子	盆LIVE
	芸術専門学群 /宮山由佳	児童養護施設における学習ボランティア活動
	医学群医学類 /小林智美	「ゆめ花火2016」
健康・医療・福祉	体育系 /田中喜代次	住民主導による健康減量教室の普及
	医学医療系 /齋藤 誠	科学的根拠に基づく母乳育児支援専門職の養成
	医学医療系 /鎌田浩史	成長発育期（小・中学生）の「健康手帳」用いた運動器検診とトレーナーによる運動器障害予防活動
	附属病院 /藤部奈津実	『つくばキッズメディカルユニバーシティ』～小学生対象の医療現場体験ツアー～
	附属大塚特別支援学校 /柘植雅義	地域における子育て支援ひろば事業の開催と乳幼児教育相談の実施
	附属久里浜特別支援学校 /雷坂 浩之	知的障害を伴う自閉症児の健全育成セミナー
	人間総合科学研究科看護学専攻 /山口慶子	先天代謝異常症のお子さんをもつ家族のQOLを高めるために～アンケート調査の結果から～
防災・復興支援	システム情報系 /藤井さやか	常総市復興計画推進に向けた大学院講義と連動したまちづくりワークショップ
	体育系 /奈良隆章	スポーツを通じた被災地での支援活動

(2) 地方自治体との連携協定

自治体名	連携事項	締結日	備考
つくば市	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と市の情報、資源及び研究成果等の交流並びにその活用 ・大学と市が共同して行う事業の企画及び実施 	H15.10.1	包括
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と県の相互の情報、技術等知的資源の活用 ・地域の活力を育む人材の育成 ・大学と県が共同して実施する事業の企画、調整及び推進 	H17.2.7	包括
大子町	<ul style="list-style-type: none"> ・教育等の人材育成のための特色ある取り組みに関すること ・地域の健康増進 ・地域の自然、文化を活かしたまちづくり ・農産物等の地域資源の振興 	H20.8.7	包括
文京区	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・文化、スポーツ、芸術の発展及び産業の振興 ・地域コミュニティの発展 	H22.2.9	包括
牛久市	<ul style="list-style-type: none"> ・教育、文化、スポーツの振興 ・健康及び福祉の増進 ・地域資源の活用及び振興 ・地域の自然及び環境対策 ・まちづくりの推進 	H22.7.28	包括
土浦市	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの推進 ・地域資源の活用及び振興 ・教育、文化及びスポーツの振興 ・地域施策の助言 	H23.3.1	包括
常総市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を活かしたまちづくり ・文化・スポーツ・芸術を通じた地域活性化 ・教育支援及び人材育成 ・健康及び福祉の増進 	H24.2.14	包括
行方市	<ul style="list-style-type: none"> ・農業・食、運動、休息による地域活性化 ・まちづくり推進及び健康サービスモデル開発事業 	H24.10.3	共同研究
福島県いわき市	<ul style="list-style-type: none"> ・津波等により甚大な被害を受けた沿岸地域等の復興 ・地域力の再生及び強化 ・地域産業の再生及び復興 ・都市魅力の再生及び復興 	H23.8.10	震災復興
宮城県仙台市及び 国立大学法人東北 大学	<ul style="list-style-type: none"> ・藻類バイオマス技術による東北の復興に向けて、 ・三者の相互の情報、技術的知的資源の活用 ・三者が共同して実施する事業の企画、調整及び推進 	H23.11.10	震災復興
潮来市	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり ・産業の振興による復興支援 ・震災復興に係る施策への助言 	H23.11.21	震災復興
福島県伊達市	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的根拠に基づく先進的な健康づくり ・放射性核種による汚染の実態と対策及び健康管理 	H23.11.28	震災復興
神栖市	<ul style="list-style-type: none"> ・液状化被害、ライフライン被害等の調査検討 ・地域防災計画の見直し ・復興に向けたまちづくりの推進 	H23.11.29	震災復興
北茨城市	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活基盤の復旧及び地域コミュニティの再生 ・地域産業及び経済の再建 ・防災基盤の整備及び防災体制の強化 ・地域の現状や特性に応じたまちづくり 	H23.12.2	震災復興
高萩市	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり ・生涯を通じた心身の健康づくり 	H23.12.6	震災復興
鹿嶋市	<ul style="list-style-type: none"> ・震災からの復興に向けたまちづくりの推進 ・津波及び液状化対策 ・地域防災計画の改定 	H24.2.27	震災復興

(3) 高大連携事業一覧

事業名		対応員数等	参加人数	備考		
茨城県教育委員会	高校生公開授業	5科目	3名	14科目提供		
	高校生公開講座	5講座	75名			
	未来の科学者育成プロジェクト	9研究室	27名	夏休みの研究室体験		
	茨城県高校生科学研究発表会	審査員67名	発表者164名	審査員には大学院生含む。参加者500名		
近隣高校	竹園高校	筑波大学図書館研修	—	国際科81名	中央図書館対応	
		「探Q」アドバイザー派遣事業	派遣大学院生9名	国際科81名	別途、中間発表会に教員1名派遣希望	
		国際科オリエンテーション	派遣大学院生9名	国際科81名		
		研究室体験学習（文系）	派遣教員5名	国際科文系37名	教育研究科で担当、期間中の1日	
		研究室体験学習（理系）	派遣教員2名	国際科理系9名	化学分野、期間中の1日	
		先端科学講座	派遣教員4名	222名	1～3年生の希望者対象	
		大学紹介模擬授業	派遣教員13名	473名	1年生全員、2～3年生希望者	
	茗溪学園	科学研究アドバイザー	派遣大学院生1名	30名	2年生対象、生物分野	
		大学訪問	16組織	44名	3年生	
		SSH講演会	派遣教員11名 派遣学生10名	260名	1年生対象	
		SS研究・個人課題研究発表会	7名	発表者29名	全校生徒参加	
	竜ヶ崎一高	大学研究会（出前講義）	派遣教員3名	280名	2年生対象、社会・資源・社工より派遣	
		入試対策講演	ACセンター教員1名	80名	3年生対象	
	土浦一高	SGH支援事業（講演）	派遣教員1名	641名	1～2年生対象	
		病院見学・体験実習	対応教員3名	52名	医学研の生徒対象	
		出前講義	対応教員2名	（各回20名）	医学研の生徒対象	
	伊奈高校	サポートティーチャー	派遣学生延べ33名	延べ620名	定期試験前学習会、サマースクール、課外授業補助等	
	附属学校	駒場	高校生研究室体験研修	16研究室	163名	高校2年生
			中学生研究室体験研修	（前半）17研究室 （後半）21研究室	123名	中学3年生
		坂戸	模擬授業	22科目	167名	1年生
	その他	リケジョサイエンス合宿	教員13名 14研究室	111名	女子中高生対象	
理工系一日体験教室		数学類	83名	体験学習		
		物理学類	57名	体験学習		
		化学類	101名	体験学習		
		応用理工学類	90名	サマースクール		
日豪高大連携事業		タスマニア大学教員3名 筑波大学教員2名	271名	出前講義@太田第一高校		
			321名	出前講義@土浦第一高校		
			330名	出前講義@水戸第一高		
			180名	タスマニア地域の高校での出前講義		
米軍子弟教育高大連携プロジェクト		13研究室	100名	秀英高校8名が別途参加		
筑波大学と地元高校との高大連携シンポジウム2016	7校	発表者20名	3A402教室、参加者150名			
被災地支援出前講義	派遣教員27名	1,365名	岩手、宮城、福島の7校			
出前講義、模擬授業・研究室体験等	教員延べ713名		県・近隣高等の連携事業を含む。Web申込み142件			

(4) 公開講座実施状況

ア 一般公開講座

公開講座名	講座数	対象者	募集人数	応募者数	受講者数	修了者数
剣道(春季)	1	小学校3年生以上の者	50	37	37	32
剣道(秋季)	1	小学校3年生以上の者	50	40	40	37
弓道	1	中学生以上の弓道初心者	30	52	40	36
ゴルフ(初級)	1	一般市民(初心者)	24	54	27	26
ゴルフ(中級)	1	一般市民(「初級講座」修了者)	24	25	23	23
ゴルフ(上級Ⅰ)	1	一般市民(「中級講座」を修了し、ベストスコアが100以下の方)	24	20	18	18
ゴルフ(上級Ⅱ)	1	一般市民(「中級講座」を修了し、ベストスコアが100以下の方)	24	33	31	31
スポーツ教室 7 講座			226	261	216	203
油絵(初級・中級)	1	初級:16歳以上、中級:18歳以上	30	30	29	26
日本画	1	16歳以上	20	22	21	21
ガラス講座 キルンワークコース	2	初心者及び経験者	32	27	26	25
芸術教室 4 講座			82	79	76	72
憲法で学ぶ社会―若手憲法学者の最前線―第三弾	1	中学生、高校生、一般市民	30	8	8	5
ナチュラリスト養成講座 中級編	1	一般市民	20	16	16	9
英語で学ぶ印象派以降の美術1840年から	1	一般市民(英会話中級程度)	10	14	14	11
哲学カフェ	1	一般市民	20	23	21	21
筑波山地域ジオパーク構想の魅力	1	一般市民	25	31	30	28
世界遺産学の最前線～自然と文化をつなぐ～1	1	一般市民	30	37	31	31
世界遺産学の最前線～自然と文化をつなぐ～2	1	一般市民	30	19	18	18
健康増進を目指した生活習慣	1	一般市民	30	36	35	27
映像資料の読み解き方	1	一般市民(高校生以上)	50	29	26	26
生物機能の理解と応用	1	一般市民	30	43	32	32
頭と体の健康・健康寿命を延ばすための秘訣―生涯発達の中のカウンセリング―	1	一般市民	30	22	21	21
海洋生物学入門	1	高校生	25	44	26	26
学校におけるカウンセリング	1	一般市民(学校教員、スクールカウンセラー、保護者等)	30	34	31	28
老化と健康の科学	1	一般市民(中学3年生以上の生物学の知識を有することが望ましい)	30	59	56	55
みんなで学ぶ発達障害の医学・医療最新情報	1	発達障害当事者(高校生以上)及び支援者等	40	40	39	39
菌類と昆虫の共生関係	1	一般市民	30	39	38	35
じんるいがくカフェ:文化人類学からのグローバル化する世界を捉える	1	一般市民	15	21	19	7
中東・北アフリカの今を知ろう	1	一般市民	40	24	21	18
森林の多様性とその恵み	1	一般市民	40	20	20	18
グローバル社会と法	1	一般市民	30	37	28	23
東洋医学でリフレッシュ!	1	一般市民	40	39	35	28
教養講座 21 講座			625	635	565	506
計 32 講座			933	975	857	781

イ 現職教育講座

公開講座名	講座数	対象者	募集 人数	応募 者数	受講 者数	修了 者数
視覚に障害のある重複障害児の指導と教材・教具	1	特別支援学校・学級の教員等	30	39	36	36
弱視教育研修講座	1	弱視教育担当教員等	35	29	26	25
さまざまな障害のこどもたちの体育指導	1	中学校・高等学校の保健体育教員、小学校、特別支援学校・学級の教員	30	31	30	28
教員のための遺伝子組換え実験教育研修会	1	中学・高等学校の教員及び博物館等の教育施設の関連事業の担当者等の総括責任者が必要と認められた者	20	28	27	27
教員のための遺伝子組換え実験教育研修会 -アドバンスト・コース	1		20	19	19	19
特別支援教育における教材・教具の活用と製作	1	特別支援教育及び関連する指導者等	20	49	19	19
特別支援教育における情動調整の評価と支援	1	幼稚園及び特別支援教育教員等	36	56	35	35
自閉症児における社会性支援プログラムの実際	1	幼稚園及び特別支援教育教員等	36	23	23	19
肢体不自由教育基礎講座	1	特別支援教育及び関連する指導者等	25	30	29	27
肢体不自由児の学校教育におけるICT活用	1	小・中・高等学校及び特別支援学校教員	20	13	12	11
聴覚障害・発音指導研修講座	1	特別支援(聴覚)教員及び関連する指導者等	50	62	57	52
知的障害を伴う自閉症児の幼児期の指導 ～ことばを育てる指導と家族支援を考える～	1	教員・保育士・施設職員	30	28	24	21
静的弛緩誘導法による障害の重い子の成長・発達の援助	1	特別支援学校教員、医療・療育施設職員等	24	24	23	20
障害の重いこどもの知覚－運動学習	1	保育園、幼稚園、小・中・高及び特別支援学校の教員	30	25	23	22
障害児に対する動作法実習	1	特別支援学校教員等	30	13	12	9
自閉症のある子どものアセスメント	1	特別支援学校教員、特別支援学級教員、通級指導教室教員、通常学級教員、教職を目指す学生	20	24	20	18
特別な教育的ニーズのある子どもの学習支援	1	小・中・高等学校教員及び教育委員会等の教育関係者	30	33	28	23
盲・弱視児童生徒理科実験指導研修講座	1	特別支援学校(視覚)・特別支援学級(弱視学級)教員等	15	15	14	13
免許法認定公開講座「特別支援教育の基礎理論」	1	次の3つの要件を全て満たす者 ①小、中、高又は幼稚園の教諭普通免許状等を有する者 ②国公立学校に勤務する教員(非常勤講師等を含む) ③特別支援学校教諭免許状を取得しようとする者	70	103	70	70
免許法認定公開講座「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」	1		70	103	70	70
免許法認定公開講座「視覚障害の理解」	1		40	54	49	48
免許法認定公開講座「聴覚障害の理解」	1		40	55	48	46
免許法認定公開講座「知的障害の理解」	1		70	66	62	62
免許法認定公開講座「肢体不自由の理解」	1		30	34	33	33
免許法認定公開講座「視覚障害の指導法」	1		40	52	46	42
免許法認定公開講座「聴覚障害の指導法」	1		40	44	37	37
免許法認定公開講座「知的障害の指導法」	1		70	59	51	50
免許法認定公開講座「肢体不自由の指導法」	1		30	30	30	29
免許法認定講習「特別支援学校(視覚) 理療科教員免許法認定講習」	1	視覚特別支援学校に勤務している教員で理療に係る特別支援学校自立教科教諭の臨時免許状または二種免許状を有する者	40	21	21	21
計 29 講座			1,041	1,162	974	932

ウ 重点公開講座

公開講座名	講座数	対象者	募集人数	応募者数	受講者数	修了者数
高校生向け 遺伝資源研究の最前線	1	高校生	40	5	6	6
生きるってなんだろう? 死ぬってなんだろう?	1	一般市民	100	75	60	4
生きるためのアンチ・ドーピング	1	小学校高学年以上(親子での参加が望ましい)	60	12	12	12
ワークライフと障害:就職して働き続けるには?	1	一般市民	30	17	16	9
めざせ!オリパラパリュウメンター	1	高校生以上	50	11	10	7
計 5 講座			280	120	104	38

エ 寄付公開講座 実施なし

(5) 教員免許状更新講習

区分	講習名	受講者数	
必修領域	必修A 教育の最新事情(開設4講習)	917人	
選択必修領域	学校で苦戦する子どもの援助～チーム学校の視点から	68人	
	進路と教育	35人	
	学校を巡る近年の状況の変化(2講習)	92人	
	「教育法規と教育政策を理解する」及び「学校における危機管理上の課題(2講習)	84人	
	「開かれた学校」の意義と教育ニーズに応じた学校、家庭、地域の連携・協力の方法(2講習)	76人	
	学校教育におけるICT活用-その可能性と課題を考える-(2講習)	59人	
	『「子どものための学校」を実現するための組織マネジメント』及び「学校における危機管理上の課題」(2講習)	70人	
	学習指導要領の変遷と学校教育をめぐる今日の課題(2講習)	77人	
	すぐに役立つ、児童生徒の望ましい人間関係づくりを身につけよう。	29人	
	キャリア教育の更なる充実に向けて(2講習)	109人	
	グローバル時代の教育課題	47人	
	道徳教育の最新動向-「考える道徳」・「議論する道徳」へ-	48人	
	教育相談の基本的な面接法と好ましい人間関係づくり	42人	
コミュニケーション力と言語活動の充実を図る英語教育の指導法(基礎)	21人		
いじめ・不登校対応と学校心理学	77人		
選択領域	性や薬物乱用等の現代的課題に対応した保健教育の考え方と進め方	37人	
	特別支援教育における体育～障害のある子どもも“いきいき”できる体育活動をめざして～	29人	
	現代的課題に対応した体育科教育の考え方と進め方	12人	
	図画工作・美術教育を複眼的に考える	27人	
	理科好きな子どもを育てる授業	27人	
	「おや?」「なるほど!」による算数・数学科問題解決の指導ー愉しく・優しく育まれる人の心、生きる術、卓越した叡智	68人	
	教育課程における言語活動の重視と読解力の育成(2講習)	69人	
	新聞活用(NIE、新聞づくり)で育む言語力(2講習)	79人	
	「人と人がつながる試み」～子どもの可能性を開く「総合表現」指導法～	29人	
	フィールドワークを取り入れた社会科(地理歴史科)の授業の構成	36人	
	英語学・異文化理解、言語評価の視点から捉えた言語活動(2講習)	25人	
	書写・書道教育の今日的課題	38人	
	世界の授業、日本の授業ー算数・数学授業の国際比較	40人	
	理科好きな子どもを育てる授業	29人	
	オリンピック・パラリンピック教育の授業づくり	36人	
	特別なニーズのある子どもの理解と支援(3講習)	121人	
	社会科(公民科)授業におけるアクティブ・ラーニング	31人	
	心の教育からの脱却と道徳教育	40人	
	コミュニケーション力と言語活動の充実を図る英語教育の指導法(発展)	19人	
	知的障害の心理と指導	35人	
	学校生活で苦戦する子どもへの援助ー発達障害を中心に	38人	
	触って考える数学	17人	
	視覚に障害のある児童・生徒のサポートについて考えよう	21人	
	見えにくさ、読みにくさへの配慮って何だろう?ー拡大教科書やデジ図書、電子図書など学習・読書環境から考える-	20人	
	考える算数・体験的算数	95人	
	幼稚園や小中学校等に在籍する気になる子への支援ー発達障害に焦点を当てて～	60人	
	オリンピックを題材とする体育理論の授業づくりー文化としてのスポーツ学習を中心に	17人	
	気体に関する実験とその指導法	14人	
	演劇の専門家とつくる教室	20人	
	歌唱及び合唱指導法～美しい歌声を導くための実践実習～	20人	
	ゲーム情報を活用する遺伝子実験の紹介	8人	
	書写指導ー児童・生徒の文字への関心を高めるために～	20人	
	光で探る化学ー光や色にかかわる化学実験の紹介ー	13人	
	フリーソフトを用いた楽しい統計	27人	
	漢文訓読～高等学校国語での漢文教材の工夫と有効活用～	20人	
	果樹栽培の魅力と身近な果物のはなし	16人	
	学校トラブルへの法的対処(幼稚園・小学校編)(3講習)	106人	
	ストレスマネジメントスキル	43人	
	選択C	生態系における土壌の役割を考える～地球温暖化から環境教育まで～	15人
		哲学カフェ-「アクティブラーニング」スタート講座	20人
		美術史の名作を読み解く	40人

区分	講習名	受講者数	
必修領域	歴史・教育・文化	25人	
	イタズラ実験オモシロ工作	47人	
	エネルギー資源と新技術	不開講	
	オリンピック・パラリンピックムーブメント-歴史と展望-	23人	
	学校トラブルへの法的対処(中学校・高等学校編)(3講習)	93人	
	教育と医療のコラボレーション ～地域コミュニティの再生に向けて～	16人	
	食べ物を作る動物たち	15人	
	筑波山は噴火したか?	39人	
	身の回りの「情報」から大規模な情報処理へ	8人	
	丈夫でおいしい野菜の品種をめざして～園芸植物育種研究所での体験型学習～(2講習)	39人	
	稲と米のはなし	17人	
	学校における個人情報保護(3講習)	91人	
	児童生徒のこころの健康と体力・運動能力、運動習慣等の向上のための取組を考える	40人	
選択領域	組織マネジメントと人材育成(3講習)	89人	
	アジア・太平洋戦争を問い直す(3講習)	120人	
	動き方の指導の着眼点	31人	
	農業機械とエンジンのしくみ	9人	
	身近な物質の不思議さ・面白さ	9人	
	色のいろいろと化学	6人	
	子どものメンタルヘルス	42人	
	農閑工夫・軟質文化による造形について	10人	
	変動する大地	24人	
	簡単にヴィジュアルプログラミング～楽しみながら魅力的な教材をつくらう～	28人	
	気になる放射線を理解する～放射線の基礎と測定～	28人	
	雑教等を用いた総合学習の展開～基礎知識から応用技術まで～	20人	
	里山探検隊	44人	
	少し物知りになれる数学の話	28人	
	東西の大国(フランス・ドイツ・中国)の言語と文化	26人	
	物質の原子の並びを観る・予測する:計測と計算による物質科学	不開講	
	学校の大規模災害対処と法的責任	37人	
	体づくり運動の指導理論と実践について-プレイングのすすめ-	39人	
	社会と生活の中の数学	15人	
	情報検索の現在	27人	
	地学教育への基本講座ー地層をつくる砂粒から恐竜化石までー	32人	
	筑波実験植物園で学ぶ、ふだん聞けない植物の話	35人	
	身近な物質の不思議さ・面白さ	21人	
	東洋医学的アプローチによる生徒の健康管理	20人	
	リハビリテーションの理論と実際	20人	
	動物観察ことばはじめーミジンコの観察からクマの話までー	32人	
	教員のためのパソコン再入門(初心者編)～表計算ソフト・インターネットを活用し、子どもへの指導をバージョンアップ～(2講習)	59人	
	楽しく学べるやさしい天気予報活用術	59人	
	発達期のこころと行動ー小児科・精神科の視点から～	117人	
	私たちのからだを地球を支える身近なマイクロワールド～食育、環境教育に役立つ微生物・バイオのはなし～	33人	
	心から心に響くうた	17人	
	選択D	附属小学校実践演習(3講習)	123人
		附属視覚特別支援学校実践演習	10人
		附属大塚特別支援学校実践演習(2講習)	54人
		附属桐が丘特別支援学校実践演習(3講習)	45人
		附属久里浜特別支援学校実践演習(2講習)	37人
		附属中学校実践演習(2講習)	50人
		附属高等学校実践演習(2講習)	61人
		附属聴覚特別支援学校実践演習(2講習)	48人
		附属坂戸高等学校実践演習	23人
		附属駒場中・高等学校実践演習	38人
	他の講座等を活用した講習	視覚特別支援学校理療科教育に取り入れたい新しい情報	22人
合計	148講習	5,369人	

※受講者数:受講申込者数から事前辞退者を除いた数(当日欠席者を含む)。

(6) 大学会館施設利用状況

H28. 04. 01～H29. 03. 31

施設名	回数	利用者数				主な利用内容
		学生	教職員	学外者	計	
ホール	110	4,928	965	8,695	14,588	式典等(8回), 音楽会等(19回) 古典芸能(1回), 学会(12回) シンポジウム等(12回), 公開講演会(1回) 授業等(4回), その他(53回)
講堂	84	21,022	751	10,472	32,245	式典等(4回), 音楽会等(7回) 学会(7回), シンポジウム等(3回) 授業等(28回), その他(35回)
国際会議室	115	4,998	1,547	4,382	10,927	国際会議等
特別会議室	158	7,847	1,653	3,152	12,652	学会等諸会議
第1～6会議室	811	14,210	6,388	5,639	26,237	学会等諸会議, 学生健康診断
レクリエーション室	84	624	112	105	841	職員の華道, 茶道の講習会等
別館ホール	43	467	63	211	741	学生, 教職員の作品展示会等
小計	1,405	54,096	11,479	32,656	98,231	
多目的ホール	169	6,938	572	2,413	9,923	学生, 教職員の作品展示会等
ラウンジ	104	6,106	240	1,322	7,668	学生, 教職員の作品展示会等
ギャラリー	74	1,302	177	725	2,204	学生, 教職員の作品展示会等
マルチメディアルーム	153	4,560	386	2,087	7,033	見学者対応等
同窓交流室	27	26	88	68	182	元教職員等の交流
小計	527	18,932	1,463	6,615	27,010	
筑波大学ギャラリー	297	1,145	474	14,741	16,360	見学等
大学会館宿泊施設(20室, 22名)	288	216	1,644	2,441	4,301	講師等の宿泊
天久保宿泊施設(16室, 16名)	353	398	550	2,366	3,314	〃
春日宿泊施設(6室, 6名)	239	169	216	470	855	〃
小計	880	783	2,410	5,277	8,470	
合計	3,109	74,956	15,826	59,289	150,071	

(7) 視察・来訪者

ア キャンパスツアー見学受入数(平成28年度)

見学者別受入数

団体の種類	件数	人数
高等学校(中等教育学校4年以上含む)	70	3,982
中学校	5	496
P T A	3	124
その他	1	8
合計	79	4,610

<年度推移>

平成15年度	44件	2,220人
平成16年度	61件	3,752人
平成17年度	67件	3,782人
平成18年度	99件	5,865人
平成19年度	97件	6,717人
平成20年度	129件	8,154人
平成21年度	122件	7,443人
平成22年度	114件	5,852人
平成23年度	62件	3,469人
平成24年度	70件	4,702人
平成25年度	73件	4,785人
平成26年度	77件	4,190人
平成27年度	88件	5,029人
平成28年度	79件	4,610人

目的別受入数

目的の種類	件数	人数
進路指導	75	4,478
研修・研究会	3	124
施設見学	1	8
修学旅行	0	0
合計	79	4,610

月	学校等名	件数	人数	見学目的
4月	つくば国際大学東風高校 普1年	1	112	進路指導
5月	東京教育大学農学部卒業生(37年度卒)	7	8	施設見学
	宮城県仙台市立寺岡中学校 3年		8	進路指導
	山梨学院大学附属高校 普2年(特進)		99	進路指導
	茨城県立水戸第三高校 普2年		120	進路指導
	栃木県立茂木高校 総合2年		53	進路指導
	聖ウルスラ学院英智高校 普2・3年		61	進路指導
	岩倉高校 普2年		97	進路指導
6月	茨城県立古河中等教育学校中学 3年	9	124	進路指導
	岩瀬日本大学高校 普2・3年(特進)		70	進路指導
	埼玉県立春日部高校 普2・3年(理系)		99	進路指導
	大宮開成高校 普1年		48	進路指導
	山形県立長井高校 普2年		80	進路指導
	大宮開成高校 理系2年		97	進路指導
	栃木県立さくら清修高校 総合2年		44	進路指導
	茨城県立土浦第二高校 普1年		84	進路指導
	茨城県立佐竹高校 普1年		42	進路指導

7月	茨城県立麻生高校 普2年	17	26	進路指導
	東京都立戸山高校 普2年		13	進路指導
	大阪市立桜宮高校 スポーツ科3年		43	進路指導
	東京都立小山台高校 普2年		49	進路指導
	千葉県立匝瑳高校 理数2年		42	進路指導
	新潟県立新潟中央高校PTA		35	PTA研修
	東京都立北園高校 普2年		28	進路指導
	西武学園文理高校 理数1年		30	進路指導
	群馬県立沼田高校 普2年		65	進路指導
	埼玉県立本庄東高校附属中学 3年		114	進路指導
	日本大学藤沢高校 普2年 (特進)		36	進路指導
	樹徳中学・高校 普1年		42	進路指導
	神奈川県立横浜平沼高校 理数3年		42	進路指導
	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校 普2年		56	進路指導
	富山県立南砺福野高校 普2年		78	進路指導
	富山県立高岡南高校 普2年		50	進路指導
新潟県立巻高校 普2年	42	進路指導		
8月	東洋大学附属中学・高校1年 (特進)	4	70	進路指導
	埼玉県立越ヶ谷高校 普1～3年		29	進路指導
	栃木県立宇都宮中央女子高校 普1～3年		82	進路指導
	土浦日本大学高校 普2年 (特進)		80	進路指導
9月	ぐんま国際アカデミー中高等部2年	7	20	進路指導
	千葉県立東葛飾高校PTA		52	PTA研修
	長野県立上田高校 普2年		82	進路指導
	千葉県立柏高校 普通・理数1～3年		61	進路指導
	茨城県立並木中等教育学校中学3年		169	進路指導
	大宮開成中学高校 1年		84	進路指導
	札幌第一高校 普通1年		42	進路指導
10月	岡山県立玉野光南高校 体育2年	16	21	進路指導
	愛媛県立新居浜西高校 普2年		34	進路指導
	茨城県立牛久栄進高 普通1年		84	進路指導
	群馬県立太田市立太田高校 普通1年		97	進路指導
	栃木県立大田原高校PTA		37	PTA研修
	新田高校 普通2年		99	進路指導
	福井県立高志高校 普2年		61	進路指導
	茨城県立日立第一高校 普通1年		84	進路指導
	新島学園高校 2年		17	進路指導
	栃木県立鹿沼南高校 普1年		42	進路指導
	栃木県立石橋高校 普1年		41	進路指導
	富山県立滑川高校 生理系2年		25	進路指導
	栃木県立栃木女子高校 普1年		80	進路指導
	福島県立福島東高校 普2年		72	進路指導
	群馬県立太田高校 普1・2年		33	進路指導
	群馬県立高崎女子高校 普1・2年		27	進路指導

11月	沖縄県立球陽高校理数科2年	7	84	進路指導
	沖縄県立球陽高校理数科2年		86	進路指導
	群馬県立桐生高校 理数1年		84	進路指導
	群馬県立前橋女子高校 普1年		40	進路指導
	茨城県立那珂高校 普1年		82	進路指導
	埼玉県立松山高校 理数2年		42	進路指導
	埼玉県立熊谷高校 普1年		43	進路指導
12月	福島県立会津学鳳高校 総合1年・文2年	6	44	進路指導
	叡明高校 普1・2年		49	進路指導
	新潟県立燕中等教育学校中学1年		81	進路指導
	熊本県立宇土中学・高校 普1年		56	進路指導
	群馬県立太田東高校 普1年		23	進路指導
	芝浦工業大学高校 普1～3年		15	進路指導
1月	青森県立六ヶ所高校 普1・2年	3	8	進路指導
	福岡県立小倉南高校 普2年		86	進路指導
	茨城県立坂東総合高校総合学科 普2年		23	進路指導
3月	水城高校 普2年	2	59	進路指導
	山形県立鶴岡南高校 理数2年		43	進路指導
合 計		79	4,610	

附属学校受入数

月	学 校 等 名	件数	人数	見学目的
4月	附属視覚特別支援学校	2	2	解剖実習準備
	附属視覚特別支援学校		11	解剖実習
6月	附属聴覚特別支援学校	2	24	校外学習
	附属坂戸高等学校		176	学び体験
7月	附属視覚特別支援学校	8	2	解剖実習準備
	附属視覚特別支援学校		6	解剖実習
	附属視覚特別支援学校 (7月6日～8日)		10	解剖実習
	附属駒場中・高等学校		162	研究室訪問
	附属視覚特別支援学校		17	キャンパス体験
	附属視覚特別支援学校		15	解剖実習
	附属坂戸高等学校		32	実習
附属坂戸高等学校	32	実習		
8月	附属視覚特別支援学校	1	7	解剖実習
10月	附属視覚特別支援学校	1	7	病院実習
2月	附属駒場中・高等学校	2	123	研究室訪問
	附属視覚特別支援学校 (2月28日～3月2日)		5	解剖実習
3月	附属桐が丘特別支援学校	1	11	学長訪問
合 計		17	642	

イ 外国人来訪者

●キャンパスツアー

年・月	キャンパスツアー	件数	人数
平成28.5	フランス 教員・事務職員一行 中国高校生一行	2	17
平成28.6	マレーシア高校生・大学生一行 シンガポール高校生一行	2	48
平成28.7	中国高校生一行	1	66
平成28.8	中国高校生一行	1	31
平成28.9	アフリカ諸国学生一行	1	24
平成28.11	フィリピン教員一行	1	31
平成29.1	韓国高校生一行 韓国高校生一行 中国教育関係者一行 中国高校生・大学生一行 中央アジア諸国高校生一行	5	35 22 32 18 66
平成29.2	韓国高校生一行	1	45
合 計		14	435

●視察等

年・月	主な視察・来訪者	件数	人数
平成28.4	ドイツ・ハンブルグ大学 マレーシア・高等教育省 韓国・高麗大学	9	67
平成28.5	駐日インドネシア大使館 タイ・タマサート大学 フランス・ボルドー大学	4	66
平成28.6	ベトナム・国家大学ハノイ校 ブラジル・コチア青年連絡協議会 タイ・スラナリー工科大学	4	53
平成28.7	タイ・国立行政開発大学院大学(NIDA) エジプト・アスワン大学 中国・北京大学	5	23
平成28.8	ミャンマー・教育省高等教育局 韓国・教育部	2	11
平成28.9	台湾・行政院 ドイツ・マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学 フランス・パリ13大学	7	52
平成28.10	ベルギー・ルーバン・カトリック大学 フランス・グルノーブル大学 ドイツ・大学学長会議	6	22
平成28.11	中国・科学院大学 チュニジア・National School of Sciences and Advanced Technologies (ENSTAB) コロンビア・教育省	5	35
平成28.12	カザフスタン・国立研究所(アスタナ) アメリカ・ミシガン州立大学 ベトナム・ハノイ工科大学	6	33
平成29.1	フランス・ボルドー政治学院 エジプト・エジプト日本科学技術大学(E-JUST) モロッコ・モハメド5世大学	5	36
平成29.2	台湾・国立屏東科技大学 タイ・コンケン大学 タイ・立法議会教育スポーツ委員会	7	79
平成29.3	オランダ・アイントホーフェン工科大学 中国・華東師範大学 マレーシア・高等教育省	6	19
合 計		66	496

(8) 広報刊行物等

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
筑波大学概要 筑波大学概要英語版	大学全般の概要をまとめたもの	教職員、国立大学法人、 文部科学省、教育関係機 関、来訪者、一般企業等	広報室
リーフレット リーフレット英語版	大学の基本情報をデータと 地図でまとめたもの	教職員、来訪者等	広報室
TSUKU COMM (TSUKUBA COMMUNICATIONS) (季刊)	本学の運営方針、主要施 策・制度の考え方及び現状 を正しく伝えるとともに、 学内組織や教職員の活動状 況及び大学を取り巻く状況 等広く紹介することによっ て、情報・認識の共有化と 本学のアイデンティティの 確立に寄与するもの	教職員、学生、文部科学 省、教育関係機関、来訪 者、一般企業等	広報室
筑波大学新聞(年7回)	大学内の意見、情報の交流・伝 達を主たる任務とし、併せて大 学文化の向上を図り、文化活動 を行うもの	教職員、学生、文部科学省、 教育関係機関、保護者等	編集：筑波大学新聞編集部 発行：広報室
TSUKUBA FUTURE	本学の若手研究者を中心に、研 究内容や人物像を紹介し、人材 や研究分野の多様さから、進路 としての本学の認知度向上に資 するもの	中高生、保護者等	広報室
利益相反・輸出管理マネジ メント室年報	平成27年度の利益相反・輸 出管理マネジメント室の活 動をまとめたもの	学内関係部局、関係教職 員、国立大学法人産学連 携担当部署等	利益相反・輸出管理マネジメント室
利益相反・輸出管理マネジ メント室リーフレット	利益相反・輸出管理マネジ メント室の概要及び活動を 紹介	学内関係部局、関係教職 員、国立大学法人産学連 携担当部署等	利益相反・輸出管理マネジメント室
安全保障輸出管理ガイド ブック第二版	輸出管理ガイドブックの 内容を改訂し輸出管理手続 きを周知するもの	教職員等	利益相反・輸出管理マネジメント室
安全保障輸出管理ガイドブック 第二版英語版(コンテンツ)	輸出管理ガイドブックの 内容を英語版に翻訳し輸出 管理手続きを周知するもの	外国人教員等	利益相反・輸出管理マネジメント室
eラーニングコンテンツ (利益相反コンテンツ)	筑波大学における組織と しての利益相反マネジメント	教職員等	利益相反・輸出管理マネジメント室
ハラスメントのない快適な キャンパスを	ハラスメントの防止を目的 としたリーフレット	教職員、学生	ハラスメント防止対策委員会
筑波大学公開講座2016	公開講座の開設案内	市役所、公民館、図書館、 希望者等	社会連携課
筑波大学入学案内2017	大学概要説明	受験生、高等学校等	アドミッションセンター

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
A C入試・特別入試GUIDE BOOK 2018リーフレット	アドミッションセンター入試、国際科学オリンピック特別入試及び国際バカロレア特別入試の説明	受験生、高等学校等	アドミッションセンター
つくばスチューデント (通常号年3回特集号年2回)	学生の様々な活動を紹介するとともに、教員・卒業生からのメッセージや大学に関する種々の情報を掲載したものの	教職員、学生	編集：学生生活支援室 発行：学生部学生生活課
T-ACTのススメ	T-ACT経験者の生の声で、T-ACTを勧めることを目的としたもの	教職員、学生、 教育関係機関	学生部学生生活課
外国人留学生のための筑波大学入学案内 Enrollment Guidebook for International Students University of Tsukuba 2017-2018	本学に入学を希望する外国の学生を対象に、入学方法、教育組織、教員の研究分野についてまとめたもの	本学に入学を希望する外国の学生、在外公館、外国の主要大学など	学生部学生交流課
Junior Year at Tsukuba Program 2017-2018	筑波大学短期留学国際プログラム (JTP) の内容を簡潔にまとめたもの	本学に入学を希望する外国の大学生、本学の協定校	学生部学生交流課
アクセシビリティ部門 (パンフレット)	本学の障害学生支援の概要をまとめたもの	教職員、学生、来訪者等	アクセシビリティ部門
平成27 (2015) 年度活動実績報告書	アクセシビリティ部門の活動実績	Web公開	アクセシビリティ部門
筑波大学ダイバーシティ 平成28年度活動報告書	ダイバーシティ部門の活動報告書	教職員、学生、来訪者等	ダイバーシティ部門
ダイバーシティ部門 パンフレット	ダイバーシティ部門のパンフレット	教職員、学生、来訪者等	ダイバーシティ部門
ダイバーシティ部門 シンポジウム報告書	ダイバーシティ部門が実施したシンポジウムの報告書	教職員、学生、来訪者等	ダイバーシティ部門
LGBT等に関する基本理念と対応ガイドライン	LGBT等に関する基本理念と対応ガイドラインをまとめたもの	教職員、学生、来訪者等 Web公開	ダイバーシティ部門
エグゼクティブメッセージ	学長からのダイバーシティに関するエグゼクティブメッセージ	教職員、学生、来訪者等 Web公開	ダイバーシティ部門
相談窓口一覧	ダイバーシティ部門及び関係部署の各種相談窓口一覧	教職員、学生、来訪者等 Web公開	ダイバーシティ部門
ロールモデル集	女性研究者のロールモデルをまとめたもの	教職員、学生、来訪者等	ダイバーシティ部門
理系女子応援チラシ	理系女子を応援するためのチラシ	教職員、学生、来訪者等	ダイバーシティ部門

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
筑波大学附属図書館年報2015	図書館の1年の事業内容や活動状況を広報する目的でまとめたもの	教職員、大学図書館関係者、来訪者等	附属図書館
筑波大学附属図書館研究開発室年次報告2015	研究開発室における1年の成果を職員や関係者に還元するためにまとめたもの	教職員、大学図書館関係者、来訪者等	附属図書館研究開発室
2016年度筑波大学附属図書館特別展 歴史家 二宮宏之の書棚 (図録)	平成28年10月11日～11月13日に開催した図書館特別展の図録	来訪者等	附属図書館
Prism (Practical Information for your Serendipity and Mind)	利用者へのお知らせや利用促進を目的として作成したもの	教職員、学生、来訪者等	
筑波大学附属図書館概要2017 (日本語版・英語版)	図書館の概要、現況をまとめたもの (版型・内容を見直し改訂)	来訪者等	
筑波大学附属図書館利用案内2017 (和英併記)	図書館サービスの概要、利用方法の周知を目的とするもの	教職員、学生、来訪者等	
外来診療案内	当院の案内やお願い、交通案内を目的とするもの	近隣医療機関等	病院総務部患者サービス課
筑波大学附属病院診療案内	本院の各診療グループの特徴並びに専門性を紹介し、医療機関からの紹介患者さんの診療予約を円滑に行うことを目的とするもの	県外 (紹介元実績医療機関) 及び近隣医療機関等	病院総務部患者サービス課
パンフレット「総合診療医の未来予想図part II」	文科省未来医療研究人材養成拠点形成事業「リサーチマインドを持った総合診療医の養成」広報のための概要説明	未来医療GP合同公開フォーラム参加者、レジナビフェア参加者	附属病院総合臨床教育センター 総合診療医養成事業推進支援室
附属学校教育局概要	附属学校教育局及び附属学校全般の概要をとりまとめたもの	学内関係部局、文部科学省、来訪者等	附属学校教育局
附属学校教育局広報誌ポローニア	附属学校の情報を広く理解させることを内容とした広報誌		
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	関係教職員等	附属小学校
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	学校参観者等	附属中学校
所報	各教科・部局の研究報告	学内関係部局	
指導計画	各教科・各学年間等の年間指導計画	教育実習生、学校参観者等	

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	来校者、研究協議会参加者、実習生、免許更新講習者 在籍生徒の保護者、関係教職員等	附属高等学校
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活動状況等		
国際交流	学校の国際教育の取り組み		
附属だより	学校的内容及び生徒活動の報告・紹介等		
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	学内関係部局、関係教職員、来訪者等	附属駒場中・高等学校
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活動状況等		
学校要覧	沿革概要、教育目標、教育課程、研究活動、年間行事計画等の学校概要をまとめたもの	学内外関係部局、関係教職員、来訪者等	附属坂戸高等学校
学校案内	教育課程、学校の特色、学校生活、入試情報などを写真を交えてまとめたもの	入学希望者、来訪者等	
育児学級パンフレット	乳幼児教育相談で行われている育児学級の紹介	視覚障害乳幼児の保護者、幼稚園、保育園、家庭支援センター、各関係機関	附属視覚特別支援学校
サポーターブック	通常の学級に在籍している視覚に障害のあるこどものサポート	通常学校、教育委員会、通常学校に在籍する視覚障害児の保護者等	
学校要覧	学校の沿革、教育課程等をまとめたもの	各種関係機関、来訪者等	
学校案内	教育課程、学校の特色、学校生活、入試情報などを写真を交えてまとめたもの	入学希望者、来訪者等	

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
学校要覧	学校の沿革、教育課程等をまとめたもの	各種関係機関、来訪者等	附属聴覚特別支援学校
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活動状況等	来校者、聾教育実践研修会参加者等	
乳幼児教育相談パンフレット	幼稚部が行う聴覚障害乳幼児に対する教育相談の案内	近隣医療機関等	
専攻科3科パンフレット	専攻科造形芸術科・ビジネス情報科・歯科技工科の教育内容の案内	各種関係機関、来訪者等	
専攻科歯科技工科パンフレット	専攻科歯科技工科の教育内容の案内	各種関係機関、来訪者等	
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	学内関係部局、関係教職員、来訪者等	附属大塚特別支援学校
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活動状況等	来校者、研修会参加者等	
学校要覧	学校の沿革、教育方針・内容、研究活動、その他各種資料	学内関係者、関係教職員、教育委員会、特別支援学校	附属桐が丘特別支援学校
学校案内	学校の内容（年間行事、教育課程）の紹介	学校参観者	
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	学内関係部局、関係教職員、来訪者等	附属久里浜特別支援学校
学校案内	学校の沿革、教育課程等学校の概要をまとめたもの		
校報「きらきら」	(1)学校における当該年度等の教育活動・運営の基本方針、施策等 (2)教育内容の紹介、教育研究活動行事・セミナー等の報告 (3)障害児の療育・教育に関わる者の提言・情報提供	学内関係部局、関係教職員、保護者	附属久里浜特別支援学校
地域広報誌「のびのび」	本校に在籍する子どもたち（幼児・児童）に対する理解促進を旨とし、子どもたちの活動状況、学内各種行事・イベント情報等の報告、開催案内等	近隣の町内会（地域住民）、保護者、教育関係機関、学内関係部局、関係教職員	

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
理療科教員養成施設概要	施設の沿革、教育課程等の概要をまとめ、理療臨床部の治療を紹介したもの	学内関係部局、文部科学省、来訪者等科学省、都道府県庁、全国盲学校等視覚障害関係機関、全国鍼灸関係専門学校、来訪者等	理療科教員養成施設
SNERC通信	筑波大学特別支援教育研究センターの事業および筑波大学附属特別支援学校に関連する事業紹介	筑波大学内 関連機関	特別支援教育研究センター
センターパンフレット	筑波大学特別支援教育研究センターの事業紹介	特別支援教育関係の国公立および私立大学・都道府県および政令指定都市の教育センター	
筑波大学人文・文化学群 人文学類案内2017	学類の案内誌	高校生等	人文・文化学群人文学類
人文学類案内2017別冊 人文学類生による学類紹介	学類の案内誌	高校生等	人文・文化学群人文学類
社会学類への招待	学類の案内誌	高校生等	社会・国際学群社会学類
筑波大学大学院 人文社会科学研究科	専攻の紹介	入学希望者等	人文社会科学研究科
現代語・現代文化専攻 専攻案内パンフレット	専攻・所属教員の紹介 学生の博士論文題目、在学生の研究テーマなど	入学希望者	現代語・現代文化専攻広報委員会、現代語・現代文化専攻
人文社会科学研究科国際地域研究専攻院生募集ポスター	一般入試案内（出願期間・入試日程・募集人員・問合せ先の情報、コースの紹介）	学内（学群・学類・関係部局等）、学外（全国主要国公立大学等）	国際地域研究専攻
経済・公共政策プログラム院生募集ポスター・リーフレット	一般入試案内（出願期間・入試日程・募集人員・問合せ先の情報、コースの紹介）	学外（対象国の在外大使館、省庁、中央銀行、JICA事務所等）	経済・公共政策プログラム
経済・公共政策プログラム経済学コース院生募集ポスター	一般入試案内（出願期間・入試日程・募集人員・問合せ先の情報、コースの紹介）	学内（学群・学類・関係部局等）、学外（全国主要国公立大学、在外公館等）	経済・公共政策プログラム経済学コース
筑波大学東京キャンパス 社会人のための夜間大学院	専攻の概要と施設の紹介	受験希望者等	社会人大学院等支援室
大学院案内リーフレット ビジネス科学研究科 人間総合科学研究科 （東京地区）			
経営システム科学専攻 パンフレット	経営システム科学専攻の概要等	受験希望者、来訪者等	経営システム科学専攻

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
企業法学専攻パンフレット	企業法学専攻の概要等	受験希望者、来訪者等	企業法学専攻
法科大学院パンフレット	法曹専攻（法科大学院）の概要等	受験希望者、来訪者等	法曹専攻
国際経営プロフェッショナル専攻パンフレット	国際経営プロフェッショナル専攻の概要等	受験希望者、来訪者等	国際経営プロフェッショナル専攻
大学研究センターパンフレット	大学研究センターの概要等	来訪者等	大学研究センター
地球学類パンフレット	地球学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	地球学類
地球学類大学説明会パンフレット	在学生による学類の紹介等	大学説明会参加者等	地球学類
数学類パンフレット	数学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	数学類
物理学類パンフレット	物理学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	物理学類
化学類パンフレット	化学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	化学類
数学類・物理学類・化学類合同大学説明会パンフレット	在学生による各学類の紹介等	大学説明会参加者等	数学類・物理学類・化学類
物理学域だより2016（第8号）	物理学域の現在をまとめたもの	関係教職員、学生及び卒業生等	物理学域
数理物質科学研究科パンフレット	数理物質科学研究科の概要、研究分野、専攻、教員の紹介	学内関係部局、国公立大学・高専等関係機関、来訪者等	数理物質科学研究科
数理物質科学研究科オープンキャンパスポスター	数理物質科学研究科学生募集説明会の案内	学内関係部局、国公立大学・高専等関係機関	数理物質科学研究科
数理物質科学研究科学生募集ポスター	入試の案内（専攻・入試日程・出願期間等）	学内関係部局、国公立大学・高専等関係機関	数理物質科学研究科
理工学群パンフレット	理工学群の構成、6学類の特徴と紹介、卒業生の進路等	高等学校及び大学説明会での配布等	理工学群長
社会工学類パンフレット	社会工学類の教育目的、3つの主専攻紹介、メッセージ、学生生活、就職先等	高等学校及び大学説明会での配布等	社会工学類、社会工学類長

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
応用理工学類パンフレット	応用理工学類の特徴、組織とカリキュラム、主専攻・研究室紹介、学生生活について等	高等学校及び大学説明会での配布等	応用理工学類、 応用理工学類長
工学システム学類パンフレット	学類の教育目標、主専攻分野案内、担当教員紹介、学習・教育到達目標等	高等学校及び大学説明会での配布等	工学システム学類、 工学システム学類長
情報科学類パンフレット	情報科学類概要	高等学校、高等専門学校及び大学説明会等での配布	情報科学類
明日のEXECUTIVE (国際総合学類紹介誌)	学類のカリキュラム・分野の説明、教員・学生紹介等	学類学生及び保護者、高校生、受験希望者等	国際総合学類、 国際総合学類長
システム情報工学研究科パンフレット	システム情報工学研究科の概要	学内関係部局、研究科公開・専攻説明会、学外（他大学・企業・高専・予備校等）	システム情報工学研究科 広報委員会
システム情報工学研究科公開用ポスター	システム情報工学研究科公開の案内		
システム情報工学研究科博士後期課程進学促進パンフレット	システム情報工学研究科博士後期課程進学促進のための案内		
社会工学専攻公開用ポスター	専攻公開に関する告知	学内外関係部局	社会工学専攻広報委員会
社会工学専攻リーフレット	専攻の案内等	他大学及び学内関係部局、受験希望者等	
リスク工学専攻パンフレット	専攻概要、研究活動情報等	大学、高専、企業等	リスク工学専攻
リスク工学専攻公開ポスター	専攻公開に関するお知らせ	大学、高専、企業等	リスク工学専攻
コンピュータサイエンス専攻パンフレット（和文・英文）	専攻の教育、教員、研究室（和文は研究紹介を含む）、入試、進路等に関する概要の紹介	各国立私立大学及び工業高等専門学校関係機関、関連企業等、受験希望者、留学生等	コンピュータサイエンス専攻
コンピュータサイエンス専攻公開ポスター	専攻公開に関するお知らせ	各国立私立大学及び工業高等専門学校関係機関、学内掲示板等	
enPiT筑波大ワークショップ2016ポスター	ワークショップに関するお知らせ	学内掲示、大学、企業等	コンピュータサイエンス専攻（筑波大学enPiT事務局）
知能機能システム専攻パンフレット	専攻の教育、研究、教員、入試等に関する概要の紹介	各国公立私立大学及び工業高等専門学校等関係機関、専攻受験希望者	知能機能システム専攻

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
知能機能システム専攻公開用ポスター	専攻公開に関する告知	各国公立大学及び工業高等専門学校等関係機関	知能機能システム専攻公開2016事務局
知能機能システム専攻公開用リーフレット（全2回、各回用）	専攻公開用デモ展示・ポスター展示及び公開研究室等マップ一覧	専攻公開来場者	
構造エネルギー工学専攻パンフレット（和文・英文）	構造エネルギー工学専攻の案内と研究紹介	学内外関係部局、受験予定者、来訪者等	構造エネルギー工学専攻
構造エネルギー工学専攻公開用ポスター	専攻公開に関する告知	各国公立私立大学及び工業高等専門学校	構造エネルギー工学専攻
筑波大学生命環境学群パンフレット	生命環境学群案内	受験希望高校生等	生命環境学群広報委員会
比較文化学類への招待（学類パンフレット）	学類の概要、コース紹介、カリキュラム、教員紹介、卒業論文、留学、就職と進路 他	入学希望者、大学説明会参加者、模擬授業参加者 他	比較文化学類
日本語・日本文化学類案内	学類の概要、教員・学類生からのメッセージ、カリキュラム紹介、国内・海外実習、卒業後の進路等	入学希望者、大学説明会参加者、模擬授業参加者等	日本語・日本文化学類
「TA・TFを活用した主体的学修を促す教育推進事業」報告書	「TA・TFを活用した主体的学修を促す教育推進事業」の実施状況と成果の報告	関係教職員、学生等	日本語・日本文化学類
日本語・日本文化実習報告（国内編）	国内実習「日本語研究フィールド実習」「日本文化研究フィールド実習」報告書	実習協力者・協力組織、関係教職員、学生等	日本語・日本文化学類
日本語・日本文化研修留学生修了報告書「異文化との出会い」	日本語・日本文化研修留学生修了論文	学内外関係組織、教職員、学生等	日本語・日本文化学類
生物学類案内	学類の概要、カリキュラム、コース紹介、教員紹介、入試情報、卒業後の進路等	高等学校及び大学説明会参加者、入学希望者等	生物学類
つくば生物ジャーナル	学類の教員や学生・卒業生からのメッセージ、学類の様々な活動、卒業研究などを掲載するオンライン誌	Web公開	生物学類
Earth Evolution Sciences University of Tsukuba Vol. 11	地球進化科学分野の論文と2015年の活動状況等	Web経由で国内外の大学や研究機関	生命環境系 地球進化科学専攻
筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻	専攻紹介パンフレット	大学院説明会参加者等	生物科学専攻
環境科学専攻・持続環境学専攻リーフレット	環境科学専攻および持続環境学専攻の研究・教育内容の紹介	入学希望者	環境科学・持続環境学専攻 広報・IT委員会

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
環境科学専攻・持続環境学専攻ポスター	専攻説明会、入試案内他	全国国公立大学(949箇所)、Web公開	環境科学・持続環境学専攻広報・IT委員会
JDS International Seminar 2016 (Part II, III)	学内で開催した国際セミナーの概要を紹介したパンフレット	受講希望者、講師等	環境系専攻 JDS office
持続環境学専攻・環境科学専攻英語版パンフレット	持続環境学専攻・環境科学専攻及び英語教育プログラムの概要を紹介したパンフレット	入学希望者、海外連携機関、他大学、受講希望者等	環境系専攻 SUSTEP office
「Ag-ESDシンポジウム2016/TGSW2016」ポスター	「Ag-ESDシンポジウム2016/TGSW2016」に係る案内	学内関係部局等	農林技術センター
「Ag-ESDシンポジウム2016/TGSW2016」チラシ	「Ag-ESDシンポジウム2016/TGSW2016」に係るポスター参加者募集及びプログラム紹介	学生、関係教職員、シンポジウム発表者・来場者等	農林技術センター
菅平高原実験センター年次報告書	年度活動報告	Web公開	菅平高原実験センター
生物資源学類案内パンフレット	学類の概要、カリキュラム、コース紹介、入試情報、卒業後の進路紹介等	入学希望者、大学説明会参加者、出前講義や模擬授業参加者等	生物資源学類
ADVANCE	環境工学コースの研究分野紹介	入学希望者、出前講義や模擬授業参加者等	生物資源学類
CREATE THE FUTURE	環境工学コースの教員紹介、カリキュラム紹介、卒業後の進路紹介等	入学希望者、出前講義や模擬授業参加者等	生物資源学類
教育学専攻院生募集ポスター	入試に向けた大学院説明会開催について	学内（学群・学類）	教育学専攻
教育学専攻院生募集リーフレット日本語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
教育学専攻院生募集リーフレット英語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
教育学専攻院生募集リーフレット中国語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
学校教育学専攻院生募集ポスター	入試に向けた大学院説明会開催について	学内（学群・学類）	学校教育学専攻
学校教育学専攻院生募集リーフレット日本語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
学校教育学専攻院生募集リーフレット英語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
学校教育学専攻院生募集リーフレット中国語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
教育基礎学専攻院生募集ポスター	入試に向けた大学院説明会開催について	学内（学群・学類）	教育基礎学専攻
教育基礎学専攻院生募集リーフレット日本語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
教育基礎学専攻院生募集リーフレット英語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
教育基礎学専攻院生募集リーフレット中国語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
2016年版視覚障がい者のパラリンピックスポーツ	視覚障害者のパラリンピックスポーツの現状、クラス分け、パラリンピック・ブラインド競技を紹介した冊子	全国の盲学校・視覚障害スポーツ競技団体、JPC、日本点字図書館	筑波大学 ブラインドパラスポーツ MTG
ブラインドアスリートのスポーツ科学サポート -リオデジャネイロに向けて-	ブラインドアスリートのスポーツ科学サポートについてフィジカルトレーニングの実際、メンタルサポート、支援のためのテクノロジーからのアプローチ、パラリンピアンからの立場について記載した冊子」		
視覚障害スポーツの現状と課題 -コミュニティ参加に向けて-	盲学校、パラスポーツ、市民スポーツ、特別支援学校教員、地域における視覚障害スポーツの現状について紹介		
ブラインドパラスポーツシンポジウム2016 -リオから東京へ-	リオデジャネイロパラリンピックにおける視覚障害アスリートの活躍、オリパラ統括団体としての取り組みについて紹介		
リオパラリンピック報告 -視覚障害者柔道を中心に-	リオパラリンピックに向けた理療科教員養成施設の取り組み、リオパラリンピックへの帯同報告、視覚障害柔道の特徴について紹介		

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
人間総合科学研究科生涯発達専攻・生涯発達科学専攻パンフレット	生涯発達専攻及び生涯発達科学専攻の概要等	受験希望者、来訪者等	生涯発達専攻 生涯発達科学専攻
(英文) 人間総合科学研究科生涯発達専攻・生涯発達科学専攻パンフレット	生涯発達専攻及び生涯発達科学専攻の概要等		
人間総合科学研究科生涯発達専攻リハビリテーションコースパンフレット	生涯発達専攻リハビリテーションコースの概要等	受験希望者、来訪者等	生涯発達専攻リハビリテーションコース
教育研究科案内	教育研究科紹介、各専攻・コースの紹介、研究分野・授業担当教員、修了後進路の情報等	学内外関係部局、研究科受験予定者等	教育研究科
教育研究科学生募集ポスター	一般入試・社会人特別プログラム、現職教員1年生プログラム募集数及びスケジュール等	学内(学群・学類)、学外(他大学、附属学校、教育委員会、教育長等)	
教育研究科抄録集	教育研究科修士論文概要	学内外関係部局、研究科修了生	
教育学類2017	教育学類のカリキュラム、2つのコースと4つの系列、教育学類構成員の研究テーマ、卒業生の進路、入試等について紹介したパンフレット	高等学校・高校生・教育学類生・大学説明会参加者(高校生・保護者)	教育学類
つくばの心理学2018	心理学類構成員の研究内容や大学生・高校生・一般社会人に薦める書籍を紹介	高等学校・高校生・心理学類生・大学説明会参加者(高校生・保護者)	心理学類
心理学類2018ー心と行動の統合的理解をめざしてー	心理学類構成員、心理学類のカリキュラムとそのコンセプト、取得できる資格・免許、卒業生の進路(就職、進学)等を簡潔に紹介したパンフレット		
障害科学類パンフレット	障害科学類構成員、障害科学類のカリキュラムの紹介、取得できる資格・免許、在校生の声、卒業生の進路、関連組織等を簡潔に紹介したパンフレット	高等学校・高校生・障害科学類生・大学説明会参加者(高校生・保護者)	障害科学類
筑波大学体育専門学群パンフレット2017	体育専門学群の紹介	受験生、来訪者など	筑波大学体育専門学群
2017年筑波大学体育系英文パンフレット	筑波大学体育系の紹介	来校者	筑波大学体育系
筑波大学芸術専門学群2017	芸術専門学群の紹介	全国高等学校、来訪者等	筑波大学芸術専門学群
平成27年度筑波大学芸術専門学群卒業研究・作品集	芸術専門学群の卒業研究・作品集	卒業生、在学生、大学説明会(学外・学内)、教職員	筑波大学芸術専門学群

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻博士後期課程芸術専攻 2017-18	大学院芸術専攻の紹介冊子	全国大学ほか	編集：筑波大学芸術広報委員会 発行：筑波大学
平成28年度筑波大学芸術専門学群卒業研究・作品集	平成28年度筑波大学芸術専門学群卒業研究・作品すべてを掲載している。	卒業生及び大学等	編集：卒業研究・作品集係 発行：筑波大学芸術専門学群
博士前期課程芸術専攻修士論文梗概集2016	博士前期課程芸術専攻の修士論文梗概集	国公立大学大学院、関連研究機関、学内関係部局等	人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻
展覧会カタログ： 新進芸術家育成交流作品展「FINE ART / UNIVERSITY SELECTION 2016-2017」	新進芸術家育成交流作品展「FINE ART / UNIVERSITY SELECTION 2016-2017」に出品された作品の図版、ならびに出品者のプロフィールを所収	出品者、参加大学、国内の大学・図書館、芸術系教員、筑波大学役員	ファインアート展実行委員会（芸術系美術専攻）
事業報告書： 新進芸術家育成交流作品展「FINE ART / UNIVERSITY SELECTION 2016-2017」	平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業「若手ファインアーティストの活躍の場の創生」の活動報告書	芸術系教員、筑波大学役員	ファインアート展実行委員会（芸術系美術専攻）
筑波大学芸術専門学群・博士課程芸術専攻 第18回彫塑展 図録	学群彫塑コース3・4年生と大学院生、研究生の作品展示図録	来場者の内の希望者・国内の美術科のある高等学校・芸術系大学	筑波大学彫塑研究室
2016年日台五大学大学院生美術史研究交流会報告書	2016年12月開催の同名研究会発表原稿を収載した報告書	関係4機関	五十殿利治（筑波大学）、後小路雅弘（九州大学）、曾少千（国立中央大学）、蔡家丘（国立台湾師範大学）、盧慧紋（国立台湾大学）
かしだしっき	喜多方市の漆文化を紹介する冊子	喜多方市美術館、福島県立博物館	編集：喜多方・夢・アート実行委員会 発行：筑波大学宮原研究室
喜多方うるしマップ	喜多方市の漆文化を紹介するマップ	喜多方市美術館、福島県立博物館	編集：喜多方・夢・アート実行委員会 発行：筑波大学宮原研究室
スポーツ国際開発学共同専攻リーフレット	専攻案内	志望学生、大学関係者、各関係大学及び団体、関連分野研究者等	スポーツ国際開発学共同専攻
大学体育スポーツ高度化共同専攻リーフレット	専攻案内	志望学生、大学関係者、各関係大学及び団体、関連分野研究者等	大学体育スポーツ高度化共同専攻
つくば国際スポーツアカデミー（TIAS）パンフレット（英語版）	アカデミーの紹介	教職員、学生、海外及び国内関係機関等	つくば国際スポーツアカデミー
スポーツ・オリンピック学学位プログラム学生詳細	学生詳細冊子	教職員、海外及び国内関係機関等	つくば国際スポーツアカデミー

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
平成28年度筑波大学大学院体育系修士研究論文集第39巻	平成28年度体育系修士学生の研究論文集	学生・教職員	人間総合科学研究科 体育学専攻 スポーツ健康システム・マネジメント専攻 教育研究科 教科教育専攻 保健体育教育コース
博士前期課程芸術専攻・博士後期課程芸術専攻パンフレット2016-2017	研究内容・教員一覧など	一般および受験希望者	博士前期課程芸術専攻 博士後期課程芸術専攻
博士前期課程芸術専攻履修便覧2017	開設授業科目一覧・授業の履修例など	学生	博士前期課程芸術専攻
平成28年度版世界遺産専攻・世界文化遺産学専攻パンフレット(和文・英語版)	研究内容・授業科目・担当教員など	一般および受験希望者	世界文化遺産学専攻 世界遺産専攻
2015学位論文梗概集	2015年度世界遺産専攻・世界遺産文化学専攻の修士論文、博士論文の梗概	学生、受験希望者	世界文化遺産学専攻 世界遺産専攻
平成28年度版 自然保護寄附講座パンフレット	プログラム内容・カリキュラム・公開シンポジウム・担当教員など	一般および学生	自然保護寄附講座事務局
自然保護寄附講座 Newsletter No. 3	インターンシップ報告・サイエンティフィックジャーナリズム報告・平成28年度国際シンポジウム・タスマニア実習報告	一般および学生	自然保護寄附講座事務局
連携大学院博士(公衆衛生学)プログラムパンフレット	博士(公衆衛生学)プログラムの紹介	一般および受験希望者・研究者	ヒューマン・ケア科学専攻
生命科学動物資源センターパンフレット	センターの概要及び研究活動等の説明	来訪者等	生命科学動物資源センター
医学群ガイドブック	医学群の紹介、カリキュラム、卒業後の進路等	受験希望者等	医学群
筑波大学図書館情報メディア系2015年活動報告	図書館情報メディア系の管理運営、研究活動等をまとめたもの	教職員、学内関係組織	図書館情報エリア支援室
情報メディア創成学類パンフレット	情報メディア創成学類の紹介・説明	高等学校、大学説明会参加者等	情報メディア創成学類(広報委員会)
情報学群 知識情報・図書館学類 パンフレット	知識情報・図書館学類の紹介等	高等学校、編入学説明会参加者、大学説明会参加者等	知識情報・図書館学類
KLiS TODAY	学類広報誌	新入生、高校生	知識情報・図書館学類

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
図書館情報メディア研究科パンフレット	図書館情報メディア研究科の紹介	入学希望者、大学院説明会参加者、各大学、各図書館	図書館情報メディア研究科
図書館情報メディア研究科パンフレット（英語版）	図書館情報メディア研究科の紹介	入学希望者（主として留学生）、大学院説明会参加者、海外の大学	図書館情報メディア研究科
図書館情報メディア研究科パンフレット（日本語・電子版）	図書館情報メディア研究科の紹介	入学希望者、大学院説明会参加者、各大学、各図書館	図書館情報メディア研究科
図書館情報メディア研究科大学院説明会ポスター	図書館情報メディア研究科大学院説明会の開催について	各大学、各図書館	図書館情報メディア研究科
図書館情報メディア研究科図書館情報学キャリアアッププログラムリーフレット	図書館情報学キャリアアッププログラムの紹介	各大学、各図書館	図書館情報メディア研究科
図書館情報メディア研究科図書館経営管理コースリーフレット	図書館経営管理コースの紹介	各大学、各図書館	図書館情報メディア研究科
図書館情報メディア研究科図書館情報学英语プログラムリーフレット	図書館情報学英语プログラムの紹介	入学希望者（主として留学生）	図書館情報メディア研究科
図書館情報メディア研究科英語プログラムリーフレット	英語プログラムの紹介	入学希望者（主として留学生）	図書館情報メディア研究科
「Go Abroad!」筑波大生のための海外留学ガイドブック2017	学内各教育組織で行っている海外派遣プログラム及び協定校一覧等、海外留学に関する情報をまとめたもの	学生	グローバル・commons機構
筑波大学海外安全リーフレット 海外へ渡航する学生のみなさんへ	学生が海外へ渡航する際に、必要な手続きや注意事項をまとめたもの	学生	グローバル・commons機構
筑波大学生のための海外安全ハンドブック	海外危機管理の観点から、海外渡航前・滞在中・渡航後における安全対策についてまとめたもの	学生	グローバル・commons機構
スチューデント・commons利用案内パンフレット	国際交流と留学相談の場であるスチューデント・commonsに関する利用案内	学生・教職員	グローバル・commons機構
計算科学研究センターパンフレット	センター活動概要説明	来訪者等	計算科学研究センター
計算科学研究センターパンフレット	センター活動概要説明	来訪者等 SC16配布	計算科学研究センター
計算科学とスーパーコンピュータ	センター活動概要説明（中・高校生向け）	中・高校生見学者	計算科学研究センター
下田臨海実験センターパンフレット	センター研究活動概要説明	来訪者等	下田臨海実験センター

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
プラズマ研究センター パンフレット	センターの概要及び活動等 を紹介	来訪者等	プラズマ研究センター
北アフリカ研究センター (和文・英文パンフレット)	センター設立の趣旨及び研 究内容の概要	関係機関、来訪者等	北アフリカ研究センター
学術情報メディアセンター案内	センター概要説明	来訪者等	学術情報メディアセンター
学術情報メディアセンター 案内リーフレット		来訪者等	
学術情報メディアセンター案内 リーフレット (英語版)		来訪者等、外国人見学者等	
タンデム静電加速器施設の 学術・産業利用 参考資料パンフレット	タンデム静電加速器施設の 紹介と利用設備、施設利用 の手引き等の説明	タンデム静電加速器施設 利用者、施設見学者等	研究基盤総合センター 応用加速器部門 共用運営委員会
工作ニュースNO. 9	利用者による研究報告 製作品公開 利用の手引き 運営報告等	学外関係施設 学内関係組織	研究基盤総合センター 工作部門

8 医療・保健関係

(1) 附属病院

ア 診療科・診療グループ構成

(平成29年3月1日現在)

診療科	診療グループ	延従事者
内科	循環器(内)	25
	消化器(内)	20
	呼吸器(内)	16
	腎泌尿器(内)	11
	内分泌代謝(内)	11
	膠原病リウマチアレルギー(内)	13
	血液	11
	保健衛生外来	7
	細菌学的診断(感染症)	4
	総合	18
	遺伝	5
	睡眠呼吸障害	3
	病理診断	10
神経内科	脳神経(内)	10
精神科・ 神経科	精神神経	10
小児科	小児(内)	26
皮膚科	皮膚	7
放射線科	放射線腫瘍	12
	放射線診断・IVR	11
外科	循環器(外)	11
	消化器(外)	15
	呼吸器(外)	8
	乳腺・甲状腺・内分泌(外)	7
	小児(外)	8
	形成	4
	救急・集中治療	19

診療科	診療グループ	延従事者
脳神経外科	脳神経(外)	19
整形外科	整形	24
泌尿器科	腎泌尿器(外)	13
眼科	眼	10
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉	9
産科・婦人科	婦人・周産期	15
麻酔科	麻酔	15
歯科口腔外科	歯・口腔	6
(診療科共通)	臨床病理	6
合 計		419

イ 業務従事者数(実数)

(平成29年3月1日現在)

職 種		人 数
教 員	医学医療系	247
	人間系	2
	体育系	2
	生命環境系	0
	小 計	251
病 院 講 師	医師・歯科医師	66
	薬剤師	2
	事務系・技術系	3
医員・医員(研修医)		274
看護師		754
助産師		40
薬剤師		54
診療放射線技師		45
臨床検査技師		51
臨床工学技士		27
理学療法士		32
作業療法士		12
言語聴覚士		8
歯科技工士		2
歯科衛生士		3
視能訓練士		3
栄養士		8
調理師		9
臨床心理士		6
社会福祉士		5
診療情報管理士		6
精神保健福祉士		1
保育士		4
内視鏡技師		1
医療機器操作員		1
看護助手		3
技術職員		14
事務職員		107
合計		1,541

ウ 診療実績

区分	件数	備考
患者数	外来	1日平均 1,705名
		新 来 22,752名
患者数	入院	1日平均 714名(病床800床)
		稼働率 89.2%
		新入院 18,576名
		退 院 18,559名
計	674,746	
臨床検査	2,963,194	
X線	136,442	
リハビリテーション	132,315	
調剤処方	667,288	処方延患者 312,447名
手術	20,553	
麻酔	16,310	
分娩	1,063	(死産を除く。)
病理解剖	42	

エ 受託実習生等受入数

区分	受託実習生	病院研修生
臨床検査関係	34	3
放射線関係	50	2
薬剤関係	33	0
看護関係	334	15
理学療法関係	24	1
栄養士関係	14	0
合計	489	21

オ ボランティア受入状況

活動内容	人数
総合案内	14
成人病棟	8
小児病棟 (読み聞かせ8名を含む)	17
患者図書室	17
合計	56

(2) 保健管理センター

ア 保健管理センター勤務職員数

職 種		人数
教 員	内 科	3
	整 形 外 科	1
	眼 科	0
	精 神 科	3
	婦 人 科	0
	歯 科	0
	学 生 相 談	4
	小 計	11
薬 剤 師	1	
看 護 職 員	4	
診 療 放 射 線 技 師	1	
臨 床 検 査 技 師	0	
歯 科 衛 生 士	1	
栄 養 士	0	
事 務 職 員	2	
合 計	21	

イ 利用者数

事項 利用者	一般定期 健康診断	その他の 健康診断	診療及び 健康相談	栄養相談	予防接種	学生相談	精神衛生 相 談	救護等 その他	計
学群学生	8,643	214	3,341	23	1,109	2,161	2,468	6,587	24,546
大学院生	4,163	671	1,778	7		1,369	1,653	6,488	16,129
研究生	761		473	2		4	34	87	1,361
職員	5,857	4,698	160		27	81	11	76	10,910
その他	48		7			88		108	251
合計	19,472	5,583	5,759	32	1,136	3,703	4,166	13,346	53,197

(注1) 一般定期健康診断、学生相談、精神衛生相談における利用者区分の詳細については、後掲の項目参照。

(注2) 救護等その他の内容は、入試・各種大学行事等における救護、入学志願者等の健康診断書の書類審査、健康診断書の発行件数等について計上。

(注3) 利用者のその他は、理療科教員養成施設の学生、研究員、外部者等。

ウ 一般定期健康診断受診内訳

区 分		在籍者数	受診者数	未受診数	受診率(%)
人文・文化学群	人 文 学 類	533	414	119	77.7
	比 較 文 化 学 類	371	314	57	84.6
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	188	171	17	91.0
社会・国際学群	社 会 学 類	425	337	88	79.3
	国 際 総 合 学 類	422	327	95	77.5
人間学群	教 育 学 類	157	136	21	86.6
	心 理 学 類	221	184	37	83.3
	障 害 科 学 類	148	138	10	93.2
生命環境学群	生 物 学 類	393	395	-2	100.5
	生 物 資 源 学 類	598	560	38	93.6
	地 球 学 類	237	210	27	88.6
理工学群	数 学 類	178	150	28	84.3
	物 理 学 類	269	206	63	76.6
	化 学 類	212	179	33	84.4
	応 用 理 工 学 類	564	480	84	85.1
	工 学 シ ス テ ム 学 類	581	487	94	83.8
	社 会 工 学 類	544	449	95	82.5
情報学群	情 報 科 学 類	403	295	108	73.2
	情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	260	227	33	87.3
	知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	467	413	54	88.4
医学群	医 学 類	759	737	54	88.4
	看 護 学 類	311	301	22	97.1
	医 療 科 学 類	164	155	10	96.8
体 育 専 門 学 群		1,040	967	9	94.5
芸 術 専 門 学 群		464	402	62	86.6
学 群 生 合 計		9,909	8,634	1,256	87.1
大学院生	修 士 課 程	187	148	39	79.1
	博 士 課 程	6,556	4,015	2,541	61.2
	小 計	6,743	4,163	2,580	61.7
職員	常 勤 職 員	5,116	4,725	391	92.4
	非 常 勤 職 員	1,207	1,132	75	93.8
	小 計	6,323	5,857	466	92.6
合 計		22,975	18,654	4,302	81.2

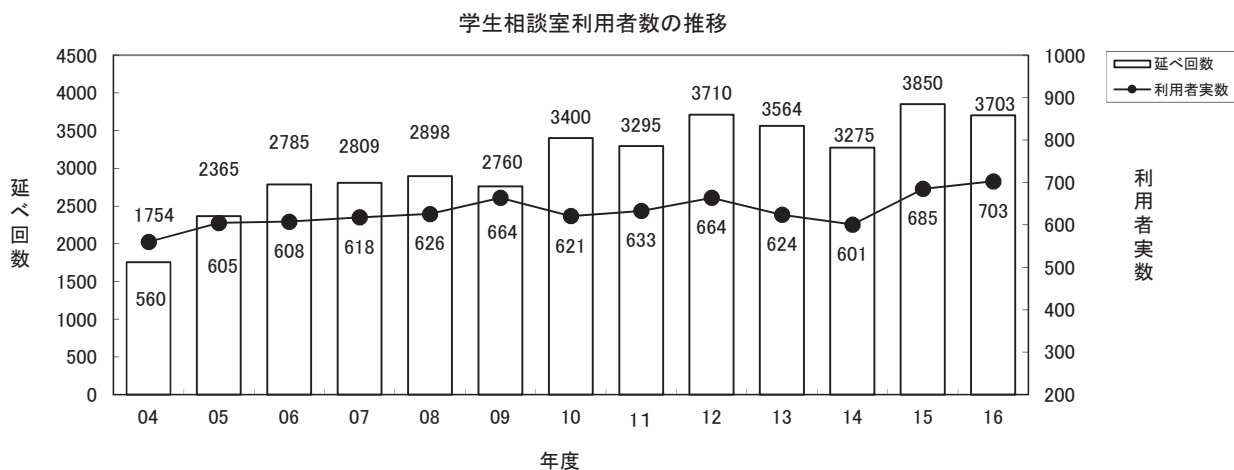
(注) 在籍者数は、健康診断実施時の数である。

エ 学生相談利用状況

(ア) 学生相談内訳

区分	修	進	友	異	結	家	情	人	経	住	そ	U	合	実	
	学	路	人	性	婚	庭	緒	生	済	居	他の	P	計		
	学	路	係	性	婚	庭	格	問	済	居	問題	I呼		数	
								題				出			
												(1			
)面			
												接			
学 群	人文・文化学群	62	40	10	3		10	340	10			18	17	510	89
	社会・国際学群	8	5	5	1			108	4			7	16	153	44
	人間学群	3	4	2				128	2			5	9	153	31
	生命環境学群	14	15		1			143			1	11	23	208	54
	理工学群	96	7	18	6		7	315	2			15	17	483	89
	情報学群	71	12	27	7		1	244				34	22	418	76
	医学群	59	2	2	1			77	1			15	16	173	46
	体育専門学群				3			32				3	10	48	20
	芸術専門学群	10	4				3	110	1			8	5	141	37
小計	323	89	64	22		21	1,497	20		1	116	135	2,288	486	
大学院生	教育研究科	14	4		1			82				1		102	12
	人文社会科学研究科	38	9	14	1		4	156				7		229	31
	人間総合科学研究科	29	19		5		8	164	4		1	7		237	42
	生命環境科学研究科	27	5		4			73	8			8		125	34
	数理工学科学研究科	71	3				6	83				1		164	28
	システム情報工学研究科	154	29	6	7		3	208				10		417	46
	図書館メディア研究科	39	2				2	68				1		112	15
	ビジネス科学研究科							3						3	1
	グローバル教育院							3				1		4	2
小計	372	71	20	18		23	840	12		1	36		1,393	211	
研究生								2			2		4	1	
その他	4					1		11			2		18	5	
合計	699	160	84	40	1	44	2,350	32		2	156	135	3,703	703	
実数	109	27	9	10		9	343	8		1	56	131	703		

(*1)UPI(University Personality Inventory)とは、大学生の心の健康調査をいう。



(イ) 総合相談窓口の利用状況

	学生本人	教職員	保護者・家族	外部者	その他	計
相談	282	36	30	9	1	358
問い合わせ	138	16	36	0	23	213
苦情要望	4	0	1	0	0	5
その他	2	10	0	0	2	14
計	426	62	67	9	26	590

各相談窓口内訳

・ スチューデントプラザ

	学生本人	教職員	保護者・家族	外部者	その他	計
相談	233	24	29	8	1	295
問い合わせ	119	13	28	0	22	182
苦情要望	4	0	1	0	0	5
その他	2	2	0	0	2	6
計	358	39	58	8	25	488

・ 春日

	学生本人	教職員	保護者・家族	外部者	その他	計
相談	49	12	1	1	0	63
問い合わせ	19	3	7	0	1	30
苦情要望	0	0	0	0	0	0
その他	0	4	0	0	0	4
計	68	19	8	1	1	97

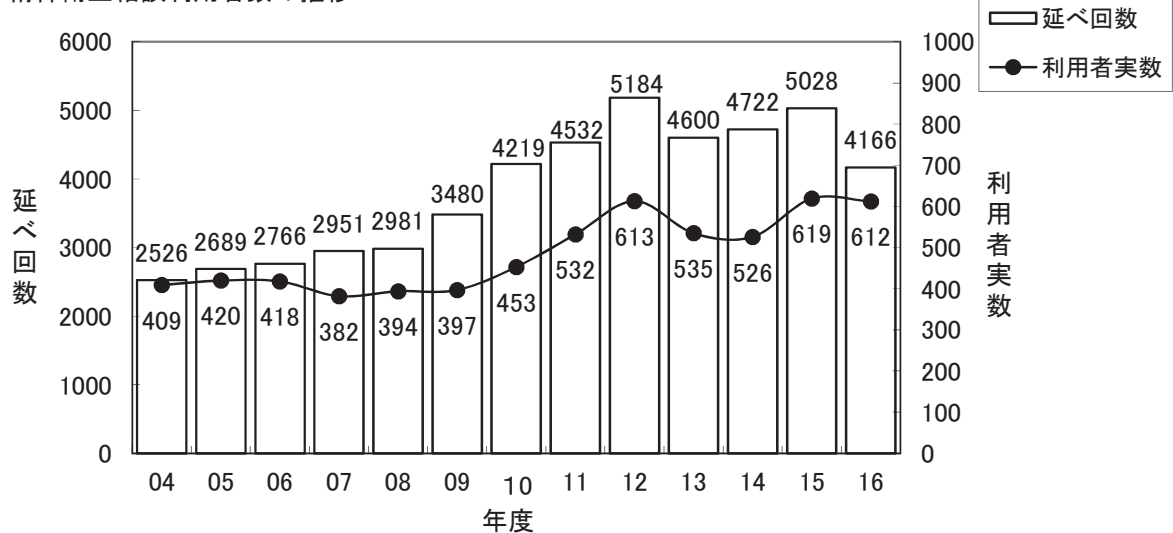
オ 精神衛生相談利用状況

(ア) 精神衛生相談内訳

区 分		延 数	実 数	
学 群 学 生	人文・文化学群	人 文 学 類	203	28
		比 較 文 化 学 類	93	20
		日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	146	17
	社会・国際学群	社 会 学 類	105	14
		国 際 総 合 学 類	45	10
	人 間 学 群	教 育 学 類	29	6
		心 理 学 類	82	15
		障 害 科 学 学 類	46	8
	生命環境学群	生 物 学 類	143	25
		生 物 資 源 学 類	63	10
		地 球 学 類	50	4
	理 工 学 群	数 学 類	44	5
		物 理 学 類	29	8
		化 学 類	10	5
		応 用 理 工 学 類	106	16
		工 学 シ ス テ ム 学 類	205	19
		社 会 工 学 類	33	8
	情 報 学 群	情 報 科 学 類	105	15
		情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	138	11
		知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	133	25
	医 学 群	医 学 類 (旧 医 専 含 む)	178	24
		看 護 学 類	101	16
		医 療 科 学 類	26	3
	体 育 専 門 学 群		63	12
	芸 術 専 門 学 群		292	37
	小	計	2,468	361
	大 学 院 生	修 士 (前 期) 課 程	988	161
博 士 (後 期) 課 程		665	72	
小 計		1,653	233	
研 究 生		34	11	
そ の 他		11	7	
合 計		4,166	612	

(注)その他は教職員、家族等である。

精神衛生相談利用者数の推移



(イ) ICD-10分類による学生の診断別件数（実数）

器質性精神障害

F00	1
F06	1
F09	2
計	4

症状精神病

成人の人格および行動の障害

F60	9
F63	2
F64	4
計	15

精神作用物質による精神および行動の障害

F10	1
計	1

アルコール

心理的発達の障害

F84	38
計	38

広汎性発達障害

統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害

F20	25
F21	19
F23	1
F25	1
F28	1
計	47

統合失調症

小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害

F90	14
F94	1
F95	1
F98	8
計	24

多動性障害

気分障害

F31	18
F32	98
F33	8
F34	15
F38	7
計	146

躁うつ病
うつ病
反復性うつ病
持続性気分障害

その他

てんかん	1
問題なし	6
不明	9
計	16

合計	612
----	-----

神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害

F40	20
F41	23
F42	16
F43	184
F44	5
F45	6
F48	2
計	256

社会不安障害など
パニック障害など
適応障害

生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群

F50	18
F51	46
F52	1
F54	1
計	66

摂食障害
非器質性睡眠障害

9 附属図書館関係

(1) 利用統計

ア 利用者数等

		中央	体芸	医学	図情	大塚	合計
年間開館日数 (日)	平日	238	238	238	246	246	-
	土・日・祝日	114	80	114	118	118	-
	合計	352	318	352	364	364	-
入館者数 (人)	平日	519,100	94,678	128,884	52,134	54,095	848,891
	(学外者 内数)	23,202	2,142	4,489	2,641	24,109	56,583
	土・日・祝日	99,309	11,519	30,307	7,611	38,761	187,507
	(学外者 内数)	9,755	495	3,030	1,019	13,761	28,060
	合計	618,409	106,197	159,191	59,745	92,856	1,036,398
平均入館者数 (人/日)	平日	2,181	398	542	212	220	-
	(学外者 内数)	97	9	19	11	98	-
	土・日・祝日	871	144	266	65	328	-
	(学外者 内数)	86	6	27	9	117	-
	1日当たり	1,757	334	452	164	255	-
貸出冊数 (冊)	学群生	99,432	15,187	13,734	9,397	414	138,164
	院生	87,441	14,734	4,995	6,001	8,700	121,871
	教員	25,170	3,227	3,068	2,567	2,882	36,914
	学外者	5,706	544	536	997	2,344	10,127
	その他	307	3	1	3	0	314
合計	218,056	33,695	22,334	18,965	14,340	307,390	
貸出利用者数 (人)	学群生	44,185	6,561	7,043	4,401	212	62,402
	院生	30,442	5,223	2,137	2,416	3,993	44,211
	教員	5,918	657	869	724	704	8,872
	学外者	2,649	274	271	525	1,128	4,847
	その他	31	1	1	1	0	34
	合計	83,225	12,716	10,321	8,067	6,037	120,366
文献複写(コピー) (件)	学外依頼	4,054	617	2,451	229	1,579	8,930
	学外提供	2,173	161	523	105	131	3,093
	合計	6,227	778	2,974	334	1,710	12,023
相互貸借(図書) (件)	学外借受	1,365	74	28	100	190	1,757
	学外貸出	2,257	292	67	120	104	2,840
	合計	3,622	366	95	220	294	4,597
レファレンス件数 (件)	学生	9,185	1,336	1,515	1,005	4,330	17,371
	教職員	2,784	321	2,372	278	563	6,318
	その他	1,439	90	87	188	1,258	3,062
	合計	13,408	1,747	3,974	1,471	6,151	26,751
	資料に関するもの	9,081	1,236	3,591	652	3,873	18,433
	利用案内・指導	4,270	510	383	812	2,272	8,247
	事実に関するもの	57	1	0	7	6	71
合計	13,408	1,747	3,974	1,471	6,151	26,751	

イ Webコンテンツアクセス数

Webサイトアクセス件数

	(件)
学内	455,323
学外	877,415
合計	1,332,738

つくばリポジトリアクセス件数

	(件)
メタデータアクセス数	593,968
本文ダウンロード数	1,571,518

主要な電子ジャーナルフルテキストアクセス件数
(件)

Cambridge Journals Online	6,133
JSTOR	34,925
Nature	172,559
Oxford Journals	49,804
ProQuest Central	59,891
Science	25,229
ScienceDirect	675,394
SpringerLink	120,105
Wiley Online Library	186,133

主要な文献情報データベースアクセス件数(サーチ数)
(件)

Business Source Complete	8,233
CiNii	500,497
Journal Citation Reports	13,720
Lexis.com	2,119
ProQuest Central	15,752
SciFinder	24,316
Web of Science	139,716
医中誌Web	88,367

主要な電子ブックアクセス件数

	(件)
Cambridge University Press	863
ProQuest Ebook Central**	13,068
Maruzen eBook Library*	1,430
NetLibrary*	1,207
Springer	95,182
Wiley-Blackwell	1,801

*タイトルアクセス数 (その他はセクションアクセス数)

** 2017年1月に ebrary から名称変更

(2) 基盤統計

ア 施設環境

	中央	体芸	医学	図情	大塚	合計
建物面積 (㎡)	19,330	3,518	2,793	2,848	1,552	30,041
座席数 (席)	1,141	372	338	252	131	2,234
利用者用PC台数 (台)	163	70	76	38	25	372

(※2016年度末現在)

イ 図書

		中央	体芸	医学	図情	大塚	合計
年度受入冊数 (和洋区分)	和書	9,226	2,925	1,255	1,911	765	16,082
	洋書	2,307	1,075	105	203	180	3,870
	合計	11,533	4,000	1,360	2,114	945	19,952
(受入区分)	購入	6,463	1,295	1,175	722	679	10,334
	寄贈	3,839	2,449	130	1,211	136	7,765
	製本	1,071	252	55	180	128	1,686
	その他	160	4	0	1	2	167
	合計	11,533	4,000	1,360	2,114	945	19,952
蔵書冊数 (和洋区分)	和書	1,103,398	194,571	90,956	180,184	51,540	1,620,649
	洋書	793,276	67,799	80,425	73,667	26,490	1,041,657
	合計	1,896,674	262,370	171,381	253,851	78,030	2,662,306

ウ 雑誌(冊子)

	年度受入タイトル数			所蔵 タイトル数
	購入	寄贈	合計	
和雑誌	943	6,590	7,533	17,400
洋雑誌	574	1,041	1,615	12,869
合計	1,517	7,631	9,148	30,269

エ Webコンテンツ

つくばリポジトリ 累積登録件 (※2016年度末現在)

内訳	件数
学術雑誌掲載論文	7,924
学位論文全文	3,323
学位論文内容・審査の要旨	8,787
修士論文	162
紀要論文	16,454
研究報告書	2,915
会議発表資料	275
講義資料	77
研究業績目録	23
つくば3Eフォーラム	95
A-LIEP	64
その他(図書)	245
合計	40,344

電子ジャーナル契約タイトル数(※有料契約誌のみ)

内訳	タイトル数
Cambridge Journals Online	363
JSTOR	978
Nature	32
Oxford Journals	261
ProQuest Central	16,700
Science	1
ScienceDirect	2,300
SpringerLink	1,606
Wiley Online Library	1,412
その他	5,933
合計	29,586

提供データベース・検索ツール
(主要契約データベース)

データベース名
Business Source Complete
CINAHL
CiNii
Conference Proceedings Citation Index
DI-Law.com
Journal Citation Reports
Lexis.com
ProQuest Central
ProQuest Dissertations & Theses Global
PsycINFO
SciFinder
Web of Science
Westlaw Japan
医中誌Web

(学外への公開・発信)

公開・提供内容
SCPJ(学協会著作権リポジトリ)
沖縄歴史文庫データベース
つくばサイエンスアクティビティ
つくばリポジトリ
展覧会ポスターデータベース
日本美術シソーラスデータベース(試験運用版)

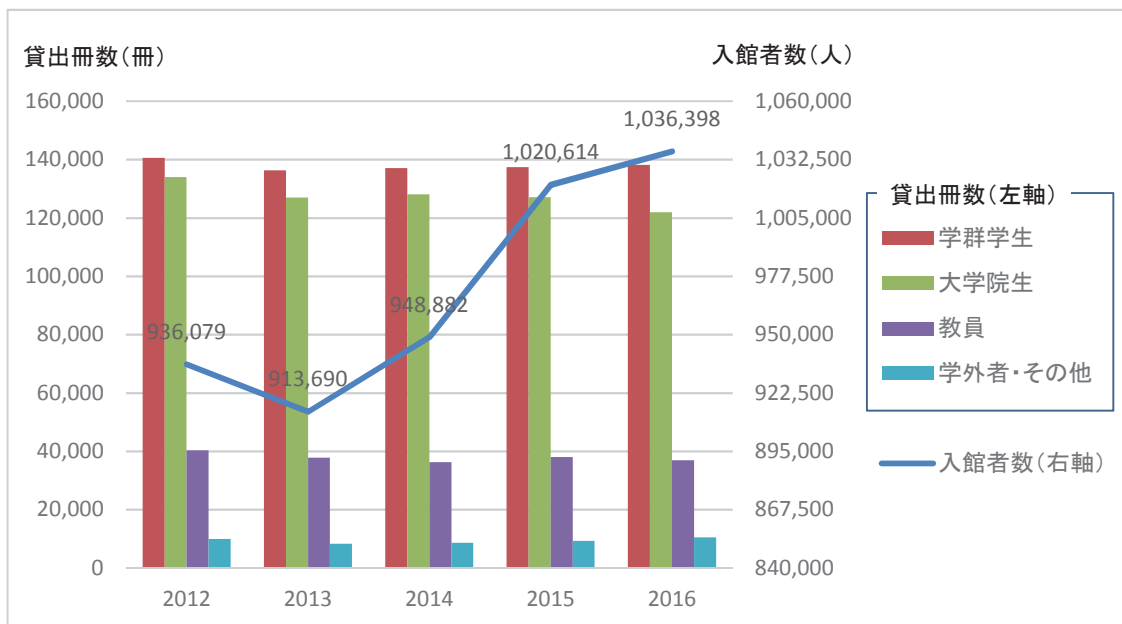
電子ブック契約タイトル 累積数(※2016年度末現在)

内訳	タイトル数	
	和	洋
Cambridge University Press	-	1,666
ProQuest Ebook Central*	-	497
Maruzen eBook Library	646	122
NetLibrary	490	1,027
Springer	-	23,636
Wiley-Blackwell	-	1,120
その他	11	3,475
合計	1,147	31,543

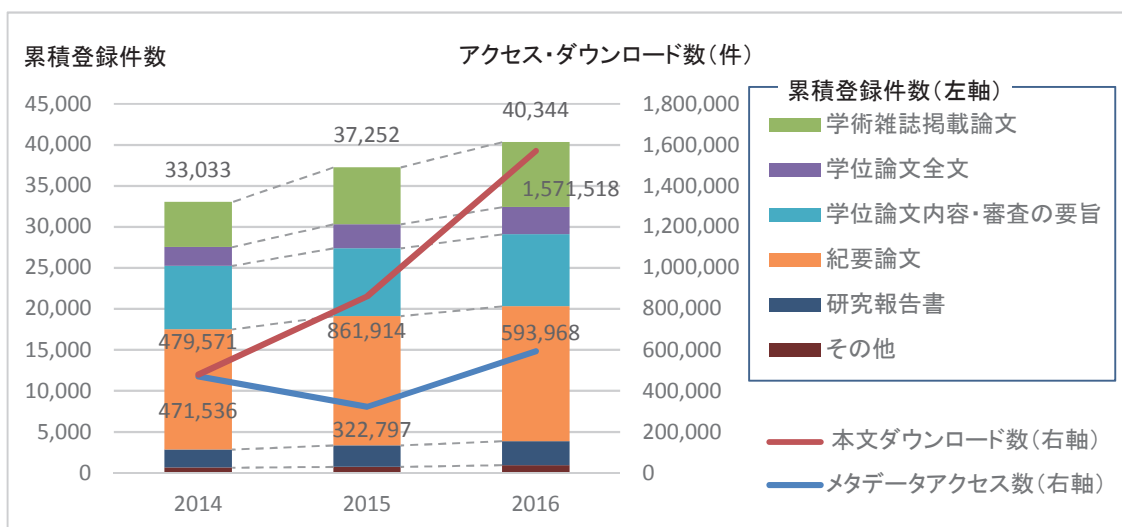
* 2017年1月に ebrary から名称変更

(3) 推移

ア 利用サービスの推移



イ つくばリポジトリ 登録件数と利用の推移



※ JAIRO Cloudのログ集計方法変更により、遡及可能な2014年まで遡って数値を更新しました。

(4) オリエンテーション・講習会

内 容	実施回数	参加者数
新入生オリエンテーション (学群生)	4回	2,419名
新入大学院生オリエンテーション (院生)	8回	373名
留学生オリエンテーション	8回	187名
新任教員オリエンテーション	2回	20名
職員オリエンテーション	1回	102名
図書館の本や雑誌の探し方講習会	6回	12名
論文の探し方講習会	39回	251名
自由テーマオリエンテーション	27回	97名
科目関連指導	73回	3,139名
(内訳) フレッシュマンセミナー (各学類等)	49回	2,132名
授業「看護学研究法」春学期の2コマ分を担当	2回	42名
授業「基礎化学実験」春学期の2コマ分を担当	2回	111名
授業「国語Ⅲ」春学期の2コマ分を担当	2回	154名
授業「知の探検法」秋学期の12コマ分を担当	12回	563名
生涯発達専攻/経営システム科学専攻/理療化教員養成施設 科目内オリエンテーション、講習会6コマ分を担当	6回	137名
その他	6回	91名

開催日	内 容	講 師	参加者数
ライティング支援連続セミナー			
2016. 6. 9	大学院生基礎 自分を守る情報リテラシー：情報の山で迷わないために	逸村裕(図書館情報メディア系)	11名
2016. 6. 15	大学生入門 文書リテラシー (1) 小論文とレポートの違いはわかりますか？	三波千穂美(図書館情報メディア系)	15名
2016. 6. 16	(2) 情報を構造化する		6名
2016. 11. 2	大学生入門 大学で身につけたい言葉の力 (1) 疑うことから始めようー批判的に読むー	島田康行(人文社会系(アドミッションセンター長))	7名
2016. 11. 9	(2) 考えの述べ方ー主張の<構造>ー		12名
2016. 11. 17	大学生基礎 事実？意見？ (1) 図表を文章で表現する	野村港二(教育イニシアティブ機構)	4名
2016. 11. 24	(2) 「事実」と「意見」を区別する		3名
2016. 11. 26	大学院生基礎 自分を守る情報リテラシー：情報の山で迷わないために	逸村裕(図書館情報メディア系)	9名
2016. 11. 30	自分をオープンに伝えてみようー批判は怖くないー	五十嵐沙千子(人文社会系)	12名
2016. 12. 7	ワークショップ (1)		6名
	ワークショップ (2)		
LAセミナー			
2016. 11. 15	ラーニング・アドバイザーが伝える！レポートの書き方セミナー 前編	大山貴稔、Novikova Natalia (附属図書館ラーニング・アドバイザー)	18名
2016. 11. 22	ラーニング・アドバイザーが伝える！レポートの書き方セミナー 後編	飯島悠介、小山田建太 (附属図書館ラーニング・アドバイザー)	12名
2016. 12. 7	申請書で伝える！あなたの研究セミナー	二歩裕、新道真代 (URA研究戦略推進室)	18名
多読入門セミナー			
2016. 6. 9	英語多読の基礎知識ー小学校から始まっていますー	鈴木はる代 (教育研究科)	26名
2016. 10. 27	英語多読をもっと楽しむためのアプローチー「フロー」から考える、多読が効果的なワケー	中川弘明(人文社会科学研究科)	30名
2017. 2. 2	英語多読の効果を高めるアプローチー効率的な実力アップに向けてー	多田豪(人文社会科学研究科)	20名
その他の研究・学習支援企画			
2016. 7. 20	Reading and Writing in English 使える！英文ライティングセミナー (1)	RAKWAL Randeep (体育系)	14名
2016. 7. 27	使える！英文ライティングセミナー (2)		16名
2016. 10. 25	博士論文インターネット公開の基礎知識	船山桂子、中原由美子 (リポジトリ担当)	76名
2016. 12. 15			58名
2016. 12. 14	「英語論文の書き方」と「英語プレゼンテーション」セミナー	西川マリ (カクタス・コミュニケーションズ株式会社)	16名
2017. 1. 18	図書館情報学図書館ラーニングコモンズ 中央図書館本館2階集会室		40名
2017. 1. 21	東京キャンパス文京校舎1階117講義室		32名
2017. 1. 25	医学地区臨床講義室D ※「EndNoteの使い方」を併催	ユサコ株式会社	60名

10 施設・環境関係

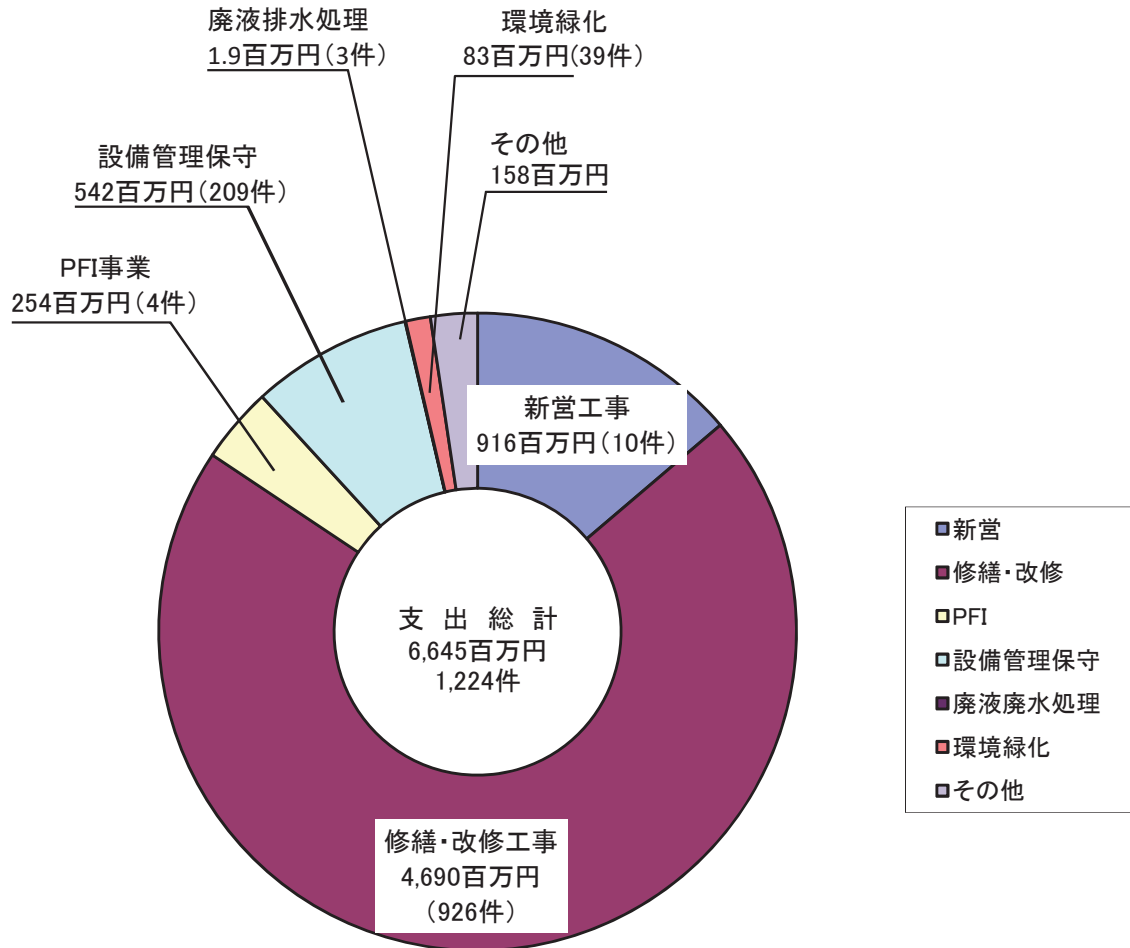
(1) 施設整備状況(平成28年度 竣工ベース)

名 称	財 源	予算年度	構造階数	建築面積	延面積	完成日
構内高圧変電設備改修工事(平成28年度)	運営費交付金(保守費)	28年度	-	-	-	平成28年11月30日
構内仮設電源取扱業務	運営費交付金	28年度	-	-	-	平成28年11月18日
一の矢学生宿舎31・32号改修その他工事	運営費交付金等	28年度	RC8	346 346	2,527 2,534	平成29年3月10日
一の矢学生宿舎31・32号改修電気設備工事	運営費交付金等	28年度	RC8	346 346	2,527 2,534	平成29年3月10日
一の矢学生宿舎31・32号改修機械設備工事	運営費交付金等	28年度	RC8	346 346	2,527 2,534	平成29年3月10日
一の矢学生宿舎33号身障者対応居室改修工事	借入金	28年度	RC8	2,527	88	平成28年9月16日
3A棟太陽光発電設備工事	運営費交付金	28年度	RC5	10,909	10,909	平成29年3月31日
生物・農林学系G棟等外壁改修工事	運営費交付金等	28年度	RC5 RC4	4,108 1,578	4,108 1,578	平成29年3月31日
2H棟等空調設備改修工事	施設費交付金	28年度	RC3 RC5 RC4	1,355 1,074 4,523	1,355 1,074 4,523	平成28年11月18日
中央機械室耐震改修工事	施設費交付金	28年度	RC2	1,858	1,858	平成28年8月31日
生命領域学際研究センターB棟SPF室ボイラー更新工事	運営費交付金等	28年度	RC3	3,666	38	平成29年3月31日
自然系学系B棟(Ⅱ期)渡り廊下改修工事	運営費交付金等	27年度	S8	16	112	平成28年7月29日
計算科学研究センター増築	運営費交付金等	27年度	S2	667	1,300	平成28年12月9日
スポーツリゾン棟新営その他工事	施設整備費	27年度	RC4	1,022	3,154	平成29年2月28日
スポーツリゾン棟新営電気設備工事	施設整備費	27年度	RC4	1,022	3,154	平成29年2月28日
スポーツリゾン棟新営機械設備工事	施設整備費	27年度	RC4	1,022	3,154	平成29年2月28日
5C棟1階収蔵室空調設備増設工事	運営費交付金等	28年度	SRC6-1	18,027	758	平成29年2月28日
共同研究棟B外壁等改修工事	運営費交付金	28年度	RC2	1,000	137	平成29年3月31日
学術情報メディアセンターA101大型計算機室空調機撤去工事	運営費交付金等	28年度	RC4-1	2,959	416	平成29年3月24日
図書館等照明設備改修工事	運営費交付金	28年度	SRC4 RC2 RC4	-	2,243 2,174 555	平成29年3月24日
講堂便所改修工事	運営費交付金等	28年度	RC4	5,077	120	平成29年3月24日
講堂便所改修機械設備工事	運営費交付金等	28年度	RC4	5,077	120	平成29年3月24日
講堂等天井耐震改修工事	施設整備費	28年度	SRC4 RC4	1,819 2,388	1,460 850	平成29年6月30日
講堂等天井耐震改修電気設備工事	施設整備費	28年度	SRC4 RC4	1,819 2,388	1,460 850	平成29年6月30日
講堂等天井耐震改修機械設備工事	施設整備費	28年度	SRC4 RC4	1,819 2,388	1,460 850	平成29年6月30日
留学生センター他エレベーター設備改修工事	運営費交付金等	28年度	-	-	-	平成29年3月31日
総合研究棟D等研究・実験室空調設備改修工事	運営費交付金	28年度	SRC7	14,418	232	平成29年3月31日
セキショウフィールド東側防球ネット設置工事	運営費交付金	28年度	-	-	-	平成29年2月28日
グローバルビレッジ整備事業	PFI事業	27年度	S2 S3	2,796	7,708	平成29年3月31日
医学系学系棟(Ⅲ期)改修工事	施設整備費	26年度	SRC9-1	2,866	8,909	平成28年8月6日
医学系学系棟(Ⅲ期)改修電気設備その他工事	施設整備費	26年度	SRC9-1	2,866	8,909	平成28年8月6日
医学系学系棟(Ⅲ期)改修機械設備工事	施設整備費	26年度	SRC9-1	2,866	8,909	平成28年8月6日
附属病院MRI-CT装置棟改修工事	運営費交付金等	28年度	RC1	809	578	平成29年3月21日
附属病院MRI-CT装置棟等改修電気設備工事	運営費交付金等	28年度	RC1	809	578	平成29年3月21日
附属病院MRI-CT装置棟等改修機械設備工事	運営費交付金等	28年度	RC1	809	578	平成29年3月21日
看護師宿舎4耐震改修工事	施設費交付金	28年度	SRC8	1,699.28	1,699.28	平成29年2月10日
下田臨海実験センター第2ポンプ室海水ポンプ更新工事	運営費交付金等	28年度	-	-	-	平成29年3月3日
附属坂戸高等学校柔剣道場とりこわし工事	施設費交付金	28年度	S1	230	230	平成28年7月8日
附属坂戸高等学校柔剣道場新営工事	施設費交付金	28年度	S1	353.1	353.1	平成28年12月20日
附属坂戸高等学校柔剣道場新営電気設備工事	施設費交付金	28年度	S1	353.1	353.1	平成28年12月20日
附属坂戸高等学校柔剣道場新営機械設備工事	施設費交付金	28年度	S1	353.1	353.1	平成28年12月20日
附属視覚特別支援学校体育館空調設備改修工事	施設費交付金	28年度	S1	681	681	平成27年11月27日
附属視覚特別支援学校体育館屋根防水改修工事	施設費交付金	28年度	S1	681	565	平成28年8月31日
山中共同研究所屋根等改修工事	運営費交付金等	28年度	RC2	932	237	平成29年6月23日
図書館研究管理棟他防水改修工事	運営費交付金	28年度	RC5 RC2	8,744 1,576	647 502	平成29年3月31日
附属久里浜特別支援学校生活・運動学習センター屋根復旧工事	災害復旧事業	28年度	RC3	5,117	1,027	平成28年12月16日
附属病院病棟B改修工事基本計画策定・発注者支援業務	部局負担(附属病院収入)	27年度	SRC12-1	29,970	29,970	平成29年9月29日
構内電力監視設備改修工事	運営費交付金	28年度	-	-	-	平成29年3月31日

環境整備事業：①支障樹木伐採処理、②樹木強剪定、③枯損木処理、④舗装タイル補修、⑤点字ブロック補修、⑥駐輪禁止ライン表示、⑦駐車場止り設置、⑧陸上競技場砂場設置、⑨マンホール補修

(注) 上表は、文教施設整備事業及び主な営繕工事を示す。ただし、設備保守管理、廃液廃水処理、緑化保全を含まない。

平成28年度 施設関係事業構成



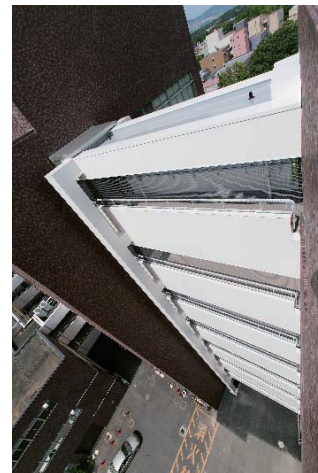
【北地区】

一の矢学生宿舎31・32号改修工事



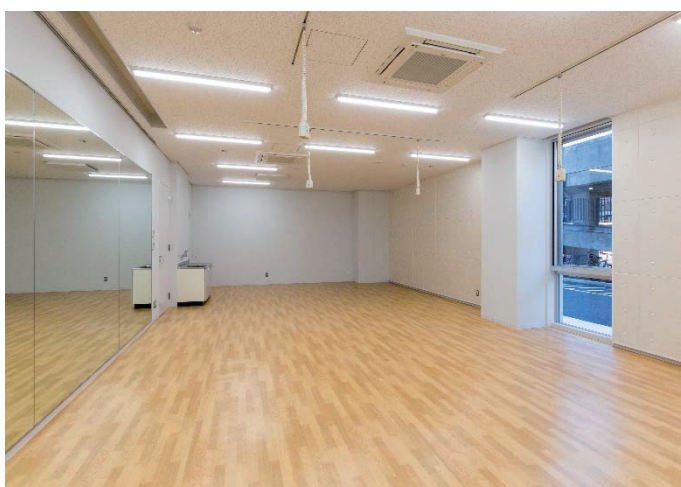
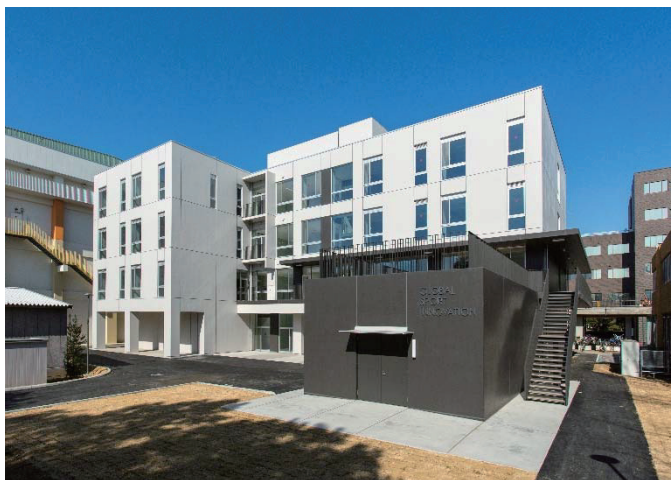
【中地区】

自然系学系B棟渡り廊下改修工事



【南地区】

スポーツリエゾン棟新営その他工事



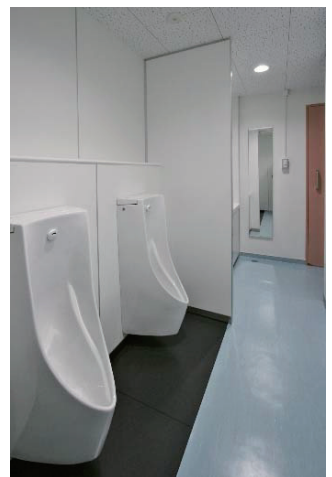
【南地区】

講堂便所改修



【西地区】

医学系学系棟(Ⅲ期)改修



【坂戸】

附属坂戸高等学校柔剣道場新営工事



【山中湖】

研修所屋根等改修



(2) 施設所在地



遠隔地

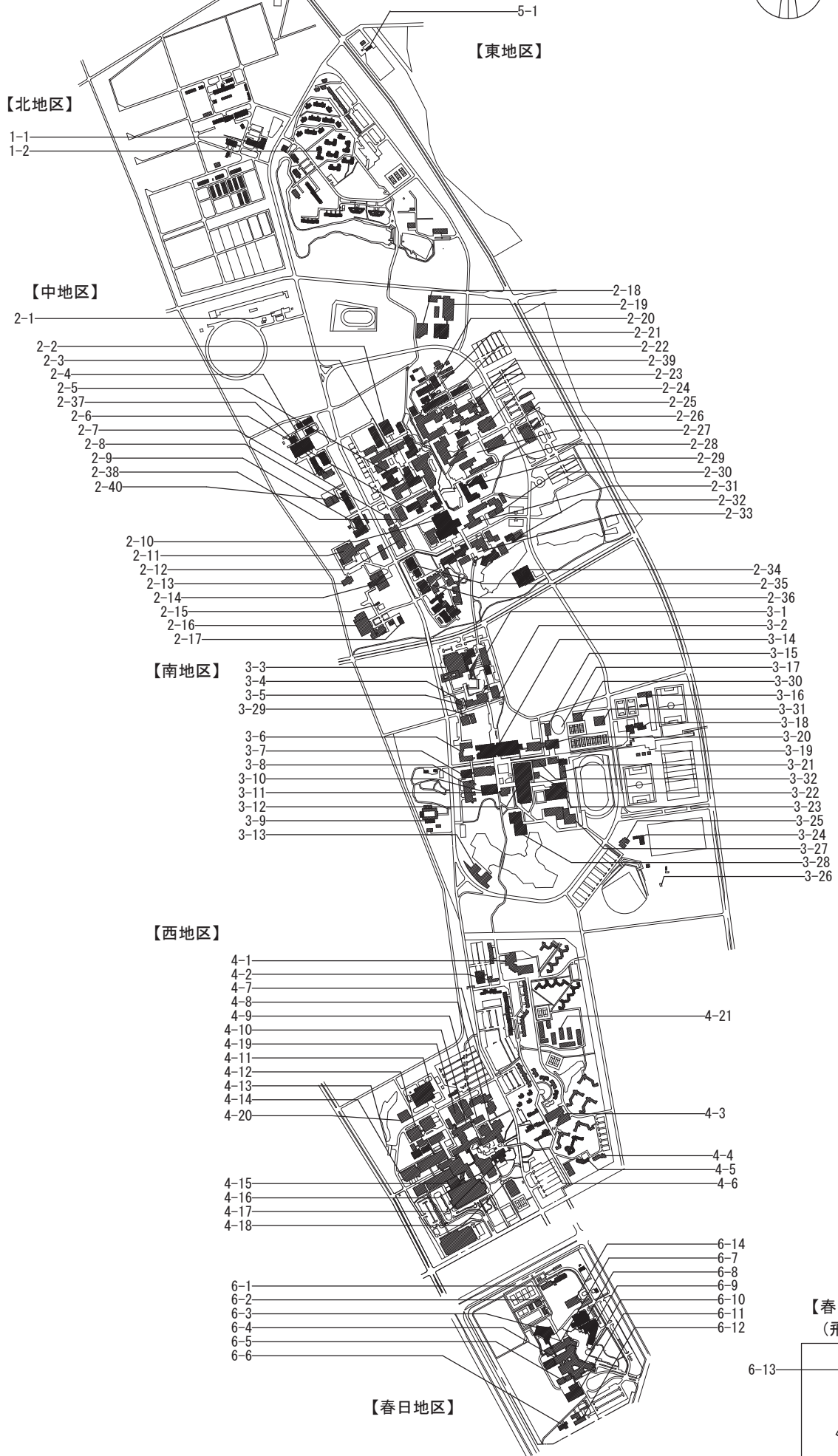
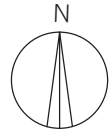
- ① 菅平高原実験センター
- ② 八ヶ岳演習林
- ③ 附属坂戸高等学校
- ④ 戸田艇庫・合宿所
- ⑤ 附属聴覚特別支援学校
- ⑥ 山中共同研修所
- ⑦ 井川演習林
- ⑧ 下田臨海実験センター
- ⑨ 館山研修所
- ⑩ 附属久里浜特別支援学校



東京都内

- ① 附属桐が丘特別支援学校
- ② 附属視覚特別支援学校
- ③ 東京キャンパス文京校舎
- ④ 附属中学校
附属高等学校
- ⑤ 附属大塚特別支援学校
- ⑥ 附属駒場中学校
附属駒場高等学校

(3) 大学構内施設配置図



(4) 施設整備状況

地図 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積 m ²	延面積 m ²	整備年度	備 考
【北地区】						
1-1	農林技術センター・農場施設	鉄筋2階, 他	8,805	9,202	昭48,49,51,52,56,57,平2,16,27	車庫含 1,466戸 (定員1,795)
1-2	一の矢学生宿舎, 同共用棟	鉄筋4・5・8階, 他	11,517	40,467	昭51,52,61,62, 平2,5,8,9,21,24,25,26,27,28	
【中地区】						
2-1	アイトープ環境動態研究センター	鉄筋2階, 鉄骨2階, 鉄骨1階	2,617	2,807	昭51,平18	車庫等含
2-2	第3体育館	鉄骨1階	1,224	1,219	昭54	
2-3	第3エリア	鉄筋3・4・5階	10,677	38,987	昭51,52,53,58, 平5,6,7,8,19,20,27,28	
2-4	プラズマ研究センター	鉄骨鉄筋3階・地下1階, 他	3,150	6,432	昭55,56,62,平8	
2-5	工学系学系棟	鉄骨鉄筋12階・地下1階, 他	6,245	32,186	昭52,53,54,平2,3,5,6,25,26	
2-6	理科系棟	鉄筋5階	2,545	8,473	昭51,53,57,平25,26	
2-7	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	鉄筋4階	527	2,017	平7,8	
2-8	研究基盤総合センター(工作部門)	鉄筋1階, 鉄骨1階	898	889	昭52,58	
2-9	研究基盤総合センター(低温部門)	鉄筋1階	1,532	1,460	昭51	
2-10	中央図書館	鉄筋5・6階	4,942	19,092	昭52,53,平3,5,6,20,21,22,27	
2-11	研究基盤総合センター(応用加速器部門) ・共同研究棟C・プロジェクト研究棟	鉄筋9・3階, 鉄骨4階	3,174	7,697	昭48,49,52,平21	
2-12	総合研究棟B	鉄骨鉄筋12階・地下1階	1,816	17,641	平15	
2-13	研究基盤総合センター(分析部門)	鉄筋2階	495	819	昭52	
2-14	研究基盤総合センター	鉄筋2階	1,859	2,588	昭52,56,平25	
2-15	水銀廃棄物保管庫	鉄骨1階	121	119	昭60	
2-16	中央機械室(中)	鉄筋2・3階	3,152	5,474	昭48,49,50,平3,25,27,28	
2-17	無機系廃液処理施設	鉄筋2階, 鉄骨1・2階, 他	458	648	昭50,55,57	
2-18	産学リエゾン共同研究センター	鉄筋3階	1,002	3,056	平15	
2-19	生命領域学際研究センター	鉄筋2・3階	4,336	6,957	平7,8,9,24,25,28	
2-20	遺伝子実験センター・温室	鉄筋2・4階、鉄骨1階	3,038	5,643	昭58,60,平13,15,17,18,19, 20,21,23,24,25	
2-21	生物・農林RI研究棟	鉄筋2階	352	580	昭58	
2-22	バイオシステム研究科棟	鉄筋5階	827	4,108	平7,8	
2-23	生物・農林学系棟	鉄骨鉄筋8階, 他	4,659	23,381	昭50,51,52,53,平8,9,25,28	
2-24	第1体育館	鉄骨1階	1,552	1,541	昭51	
2-25	総合研究棟A	鉄骨鉄筋7階	1,662	9,286	平14	
2-26	本部棟	鉄骨鉄筋8階, 他	3,340	9,877	昭50,51,57,平25,26,27	
2-27	第2エリア	鉄骨鉄筋2・3・5階, 他	10,082	29,259	昭49,50,51,60,62,平25,26,28	
2-28	文科系修士棟	鉄筋4階	1,738	6,235	昭50,53	
2-29	人間系学系棟	鉄筋5階	3,514	12,026	昭51,52,53,54	
2-30	共同研究棟A・共同利用棟A・D	鉄筋3・6階, 鉄骨2階	1,876	6,785	昭54,平18,25,26	
2-31	人文社会学系棟	鉄骨鉄筋8階	2,814	14,416	昭50,51,平3,25,26,27	
2-32	文科系サークル館	鉄筋3階	805	2,061	昭50,53	
2-33	第1エリア	鉄筋3・4・5階, 他	9,148	24,711	昭48,49,50,61,平22,25,26	
2-34	実験廃水処理施設(中)	鉄筋1階, 他	2,061	2,061	昭50	
2-35	計算科学研究センター	鉄筋1・3階	1,535	3,075	平4,5,6,18,26,28	
2-36	自然系学系棟	鉄骨鉄筋8階, 他	5,098	21,055	昭49,50,51,52,平25,26,27,28	
2-37	グリーンエネルギー実験・実証温室・カーボン ニュートラル実験実証設備建家・用途分 析・ビジネス解析室	鉄骨1階	676	676	平22,24	
2-38	サイバニクス研究棟	鉄筋4階	892	3,210	平22	
2-39	環境防災研究棟	鉄筋3階	407	1,198	平22	
2-40	エンパワーメントスタジオ大空間棟・実験棟	鉄骨1階	1,087	1,087	平26,27	

地区 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積	延面積	整備年度	備 考
			m ²	m ²		
【南地区】						
3-1	大学会館	鉄筋4階	5,315	11,890	昭49,50,57,58,59,平27	
3-2	保健管理センター	鉄筋2階	667	1,186	昭48,49,平26	
3-3	講堂・留学生センター・総合交流会館	鉄骨鉄筋4階、鉄骨2階	4,360	5,908	昭53,54,平18,25,28	
3-4	学術情報メディアセンター	鉄筋2・3・4階・地下1階、他	1,761	5,202	昭49,50,54,平5,6,28	
3-5	外国語・学術情報メディアセンター	鉄筋5階	1,589	5,253	昭50	
3-6	芸術学系棟・建築デザイン実習棟	鉄筋6階、木造1階	1,335	5,513	昭51,52,平17,21,22,26	
3-7	6A棟・6B棟	鉄筋4階	2,237	7,433	昭50,57,平26	
3-8	芸術学系棟(工房)	鉄筋2階	1,638	2,055	昭51,52	
3-9	開学記念館	木造1階	991	928	昭50	
3-10	体芸図書館	鉄骨4階、他	1,059	3,516	昭47,48,平7,8,24,28	
3-11	体芸食堂	鉄筋3階	677	1,214	昭48	
3-12	中央体育館	鉄骨鉄筋4階	3,192	6,280	平25	
3-13	総合研究棟D	鉄骨鉄筋7階	2,470	15,108	平15,28	
3-14	5C棟・建築デザイン実習棟	鉄骨鉄筋6階・地下1階、鉄骨1階	4,279	18,090	昭47,48,平4,5,6,17,18,19,25,28	
3-15	共同研究棟B	鉄筋2階	515	1,000	昭52,平28	
3-16	弓道場	鉄骨1階	591	577	昭49,55,56,57	
3-17	体育総合実験棟	鉄筋3階	1,679	3,508	平15	
3-18	合宿所	鉄骨鉄筋2階	791	1,497	昭47	
3-19	体育グランド施設				昭46,47,48,57	
3-20	体育科学系棟	鉄筋6階	2,050	10,695	昭49,52,53,平20,21	
3-21	体育センター・体育系サークル館	鉄筋2階	1,936	3,111	昭48,49,51,平2	
3-22	サイクリング実習棟	鉄骨1階	267	249	昭62	
3-23	屋内プール	鉄筋2階	2,497	2,778	昭53	
3-24	課外活動練習施設	鉄骨1階	527	414	昭61	
3-25	クラブハウス	鉄筋2階	381	500	昭55	
3-26	野外活動実習管理棟	木造2階	48	69	平15	
3-27	武道館	鉄筋2階	2,376	4,611	昭52,平25	
3-28	球技体育館	鉄骨1階	2,021	2,011	昭53,平26	
3-29	国際講義棟	鉄筋2階	278	500	平23	
3-30	T-Dome	鉄骨1階	495	495	平23	
3-31	スポーツ流体工学実験棟	鉄骨1階	810	899	平23	
3-32	グローバルスポーツインベーション棟	鉄筋4階	1,022	3,154	平28	
【西地区】						
4-1	平砂学生宿舎、同共用棟	鉄筋2・3・4階	8,948	26,802	昭48,49,平21,22,23,24,25,26	1,324戸
4-2	レジデント宿泊施設	鉄筋6階	1,188	4,611	昭54,平20	110戸
4-3	追越学生宿舎、同共用棟	鉄筋2・4・5階	7,357	24,062	昭49,50,平3,11,21,26	1,025戸
4-4	外国人教師等宿泊施設	鉄筋3階	310	900	昭53	12戸
4-5	客員研究員等宿泊施設	鉄筋3階	346	892	昭52,平7	20戸
4-6	看護師宿舎	鉄骨鉄筋8階、他	2,577	12,207	昭50,51,52,55,平5,6,7,8,20,28	313戸
4-7	4B棟・共同利用棟B	鉄筋2・5階、鉄骨2階、他	3,484	7,858	昭53,55,平15,16,18,24	
4-8	4A棟	鉄筋4階	3,228	9,594	昭48,49,平3,20,21,25,27	
4-9	医科学棟	鉄骨鉄筋3階	427	1,234	昭54,平25	
4-10	医学系学系棟	鉄骨鉄筋9階・地下1階、他	3,271	25,627	昭50,51,52,平25,26,27,28	
4-11	中央機械室(西)	鉄筋2階	2,931	3,196	昭48,49,平24,25,27	
4-12	生命科学動物資源センター	鉄筋5階	2,449	9,159	昭52,53,平17,25	
4-13	実験廃水処理施設(西)	鉄筋1階・地下1階	185	1,220	昭50	
4-14	陽子線医学利用研究センター	鉄筋2階、地下1階	2,142	5,138	平11,13	
4-15	附属病院	鉄骨鉄筋6・12階・地下1階、他	24,073	121,255	昭48,49,50,51,54,55,61,62, 平3,4,5,11,12,13,14,21,24,26	800床
4-16	医学図書館・臨床講義室	鉄筋3階	2,157	4,499	昭51,52,平26	
4-17	医学食堂	鉄筋2階	959	1,270	昭50	
4-18	第2体育館	鉄骨1階	1,221	1,218	昭53	
4-19	健康医科学インベーション棟	鉄骨鉄筋8階	1,101	7,501	平22	
4-20	睡眠医科学研究棟	鉄骨6階	1,444	7,989	平26,27	
4-21	グローバルビレッジ	鉄筋2・3階	2,796	7,708	平28	

地区 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積	延面積	整備年度	備 考
			m ²	m ²		
【東地区】						
5-1	厩舎・堆肥舎	鉄骨1階	297	263	昭59,平17,19	
【春日地区】						
6-1	春日1・2号棟	鉄筋5階	596	2,906	昭55,56,平6,11,23,24	160戸
6-2	トレーニング室	鉄骨1階	100	100	平6	
6-3	春日講堂	鉄筋2階	1,188	1,046	昭60	
6-4	7C棟	鉄筋2階	440	878	平8	
6-5	7D棟	鉄筋5階	229	1,118	平8	
6-6	春日宿泊施設	鉄筋2階	233	423	昭58	8戸
6-7	7A棟	鉄筋2階	1,304	2,592	昭54	
6-8	第4体育館	鉄筋1階	1,056	1,050	昭55,平26	
6-9	春日福利厚生棟	鉄筋2階	1,238	1,829	昭55	
6-10	図書館研究管理棟	鉄筋5階	3,615	8,744	昭56,平13,27,28	
6-11	情報メディアユニオン	鉄筋4階	1,128	3,372	平13	
6-12	春日3号棟(留学生)	鉄筋4階	382	762	昭63	20戸
6-13	春日プラザ・車庫	鉄筋4階・鉄骨1階	1,332	4,252	平22	
6-14	高細精医療イノベーション棟	鉄骨鉄筋5階	1,381	6,088	平26	
手代木	外国人教師等宿泊施設 客員研究員宿泊施設	鉄筋2階	1,870	2,547	昭57(所管替)	22戸
東京	東京キャンパス文教校舎	鉄筋6階, 地下1階, 他	3,875	16,049	平23	
【附属学校】						
大塚3丁目	附属小学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1階, 木造1階	4,313	9,680	昭52(所属替),56,57,62, 平6,10,25,26,27	
大塚1丁目	附属中学校、附属高等学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1階, 他	8,408	16,483	昭52(所属替),55,60, 平5,8,21,26,27	
池尻	附属駒場中学校、附属駒場高等学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1階, 他	6,361	11,040	昭52(所属替),53,55,63, 平2,3,11,21,26,27	
坂戸	附属坂戸高等学校	鉄筋1・3階, 鉄骨1階, 他	10,974	17,625	昭52(所属替),53,55,56,58,61, 平6,8,10,26,27,28	
目白台	附属視覚特別支援学校	鉄筋2・4・5階, 鉄骨1階, 他	4,222	12,325	昭52(所属替), 平6,7,8,25,27,28	
国府台	附属聴覚特別支援学校	鉄筋1～4階, 鉄骨1階, 他	6,937	14,510	昭52(所属替),53,55, 平3,5,12,15,26,27	
春日	附属大塚特別支援学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1・3階, 他	1,715	3,858	昭52(所属替),59,平10,15,27	
小茂根2丁目	附属桐が丘特別支援学校(本校)	鉄筋1～3階, 鉄骨1階	4,493	6,339	昭52(所属替),58,63, 平元,26,27	
小茂根1丁目	附属桐が丘特別支援学校(併設学級)	鉄筋2階	1,493	3,444	昭52(所属替),平26	
野比	附属久里浜特別支援学校	鉄筋1～3階	4,708	5,132	平16(所属替),28	
埼玉	戸田艇庫・合宿所・土方リユニオンホール	鉄筋2階, 他	398	676	昭52(所属替),平23	
千葉	館山研修所	鉄筋2階, 他	583	949	昭50(〃),57,平22	定員53
山梨	山中共同研修所	鉄筋2階, 他	705	1,177	昭52(〃),平3,8,22,28	定員76
長野	八ヶ岳演習林	鉄筋1階, 他	1,164	1,151	昭50(〃),63,平6,21,27	
〃	菅平高原実験センター	鉄筋2階, 他	1,063	2,459	昭53(〃),53,56,59, 平11,25	
静岡	下田臨海実験センター	鉄筋2階, 他	2,129	3,931	昭51(〃),53, 平11,21,26,28	
〃	井川演習林	鉄骨1階, 他	589	586	昭50(〃),平3	